

土木工事標準構造図集

(2019. 10)

町田市道路部

土木工事標準構造図集の取り扱いについて

この土木工事標準構造図集は、町田市における工事の設計、積算、契約、施工等における事務の合理化を図ることを目的として作成しています。使用に際しては、次の事項に注意してください。

第1 用語の定義

用語の定義は、次のとおりです。

(1) 標準構造図

「東京都道路工事設計基準」等で定められている構造図のうち使用ひん度の高いもので、土木工事標準図集に収録してある図面をいいます。

(2) 構造図分類

標準構造図の右肩にある分類表で工種、種別、形状、変数及び作成年度から成るものをいいます。

(3) 略称番号

施工一覧表における番号をいう。

第2 構造図分類の記入

標準構造図を採用した場合(現地に適合する場合に限る。)は、工事設計書に次のように構造図分類を記入してください。

(1) 施工一覧表の作成

設計図面(平面図)表題の上部に施工一覧表を付してください。ただし、その量が多く前記表題の上部に付しがたい場合は、その旨を記入して施工一覧表を別に添付しても差し支えありません。

(2) 略号番号記入

設計図面に構造図の位置を示すなどのために構造物の名称を記入したときは、その名称の直前に略号番号を記入し○印で囲んでください。

第3 特記仕様書での明示

特記仕様書には、標準構造図を採用した旨を明示しています。

第4 添付の省略

標準構造図集は、工事設計書及び契約書に添付する必要はありません。

第5 委託設計における準用

委託設計において標準構造図を採用する場合についても準用します。

主な改定点

【1000】法覆工

- ・ 図面を削除(1001、1002、1006～1009)
- ・ レディーミクストコンクリートの呼び名をJIS 表記に改定(1003、1004)

【2000】排水工

- ・ 材料表に管の厚さ及び改良土の種類を追記(2001、2002、2006、2007)
- ・ 材料表に管の厚さを追記(2003～2005)
- ・ 材料表に管の寸法及び改良土の種類を追記(2008～2010)
- ・ 車乗入部では使用しない旨を記載(2094)
- ・ 参考図に変更(2100)

【5000】舗装工

- ・ 図面を削除(5012、5013～5023)
- ・ 粒度調整砕石を再生粒度調整砕石に変更(5026-1)

【6000】交通安全施設工

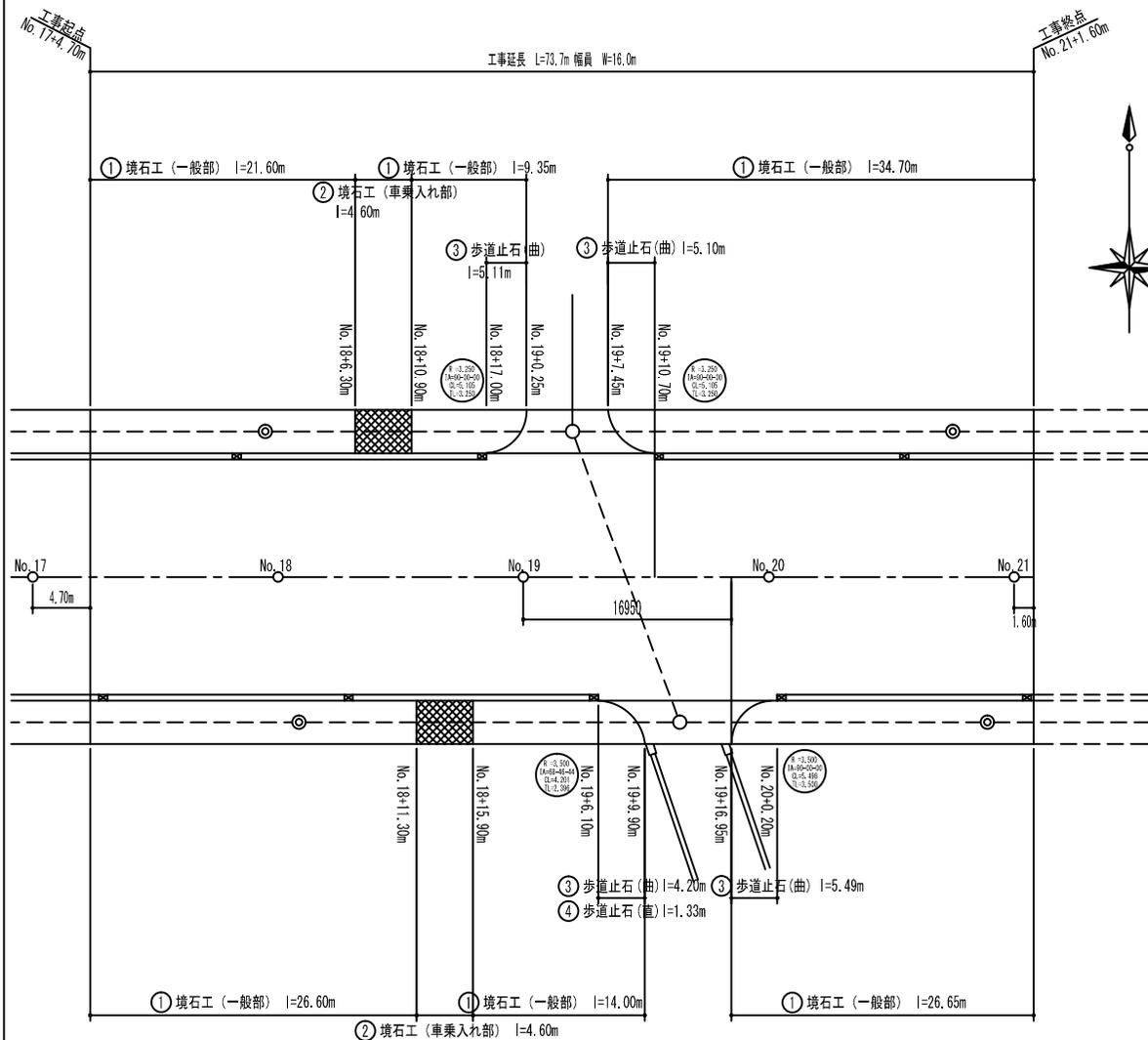
- ・ 図面を削除(6005、6008、6010)
- ・ レディーミクストコンクリートの呼び名をJIS 表記に改定(6015、6029)

【8000】その他

- ・ 土被りを4mまでに変更(8021)
- ・ 土被りを4mまでに変更するとともに土留めを削除(8022～8024)
- ・ 掘削深さを2m以下及び労働安全衛生規則の参照を追記(8026)

(平面図記入例)

街 築 平 面 図 S=1:500



施 工 一 覧 表

番号	施 工 名	工 種	種 別	形 状	変 数	数 量	摘 要	構造図集
①	境界工 (一般部)	街 築	境 石	一般部	なし	132.8		P.4004
②	境界工 (車乗入れ部)	街 築	境 石	車乗入れ部	なし	9.2		P.4004
③	歩道止石 (曲)	街 築	歩道止石	曲	なし	19.9		P.4001
④	歩道止石 (直)	街 築	歩道止石	直	なし	1.3		P.4001

目 次

工 種	種 別	形 状	年度	新頁	改 訂 内 容
法 覆	重力式擁壁工			-	削除
	小型重力式擁壁工			-	削除
	空洞ブロック積工		2019.10	1003	
	コンクリートブロック積工		2019.10	1004	
	基礎及び天端コンクリート工		2019	1005	
	コンクリートブロック積工	宅造用切土部		-	削除
	コンクリートブロック積工	宅造用盛土部		-	削除
	プレキャストL型擁壁工(参考図)	H=1.0~3.0		-	削除
	プレキャストL型擁壁工(参考図)	H=3.25~5.0		-	削除
排 水	管きよ工	砂(A形)基礎	2019.10	2001	材料表の追記、使用材料の変更
	管きよ工	砂(B形)基礎	2019.10	2002	材料表の追記、使用材料の変更
	管きよ工	コンクリート基礎 90°	2019.10	2003	材料表の追記
	管きよ工	コンクリート基礎 120°	2019.10	2004	材料表の追記
	管きよ工	コンクリート基礎 180°	2019.10	2005	材料表の追記
	管きよ工	梯子胴木(A形)基礎	2019.10	2006	材料表の追記、使用材料の変更
	管きよ工	梯子胴木(B形)基礎	2019.10	2007	材料表の追記、使用材料の変更
	管きよ工	90° 硬質塩化ビニル管	2019.10	2008	材料表の追記、使用材料の変更
	管きよ工	180° 硬質塩化ビニル管	2019.10	2009	材料表の追記、使用材料の変更
	管きよ工	360° 硬質塩化ビニル管	2019.10	2010	材料表の追記、使用材料の変更
	有孔透水管工		2019	2011	
	組立円形人孔工	内径900円形	2019	2012	
	組立円形人孔工	内径1200A	2019	2013	
	組立円形人孔工	内径1200B	2019	2014	
	組立円形人孔工	内径1500A	2019	2015	
	組立円形人孔工	内径1800A	2019	2016	
	組立矩形人孔工	900×600	2019	2017	
	組立矩形人孔工	1200×600	2019	2018	
	組立矩形人孔工	1200×800	2019	2019	
	組立矩形人孔工	1200×900	2019	2020	
	足掛金物	コンクリート壁用、人孔側塊用	2019	2021	

目 次

工 種	種 別	形 状	年度	新頁	改 訂 内 容
排 水	取付け管及び支管取付工標準布設図		2019	2022	
	既設本管接続図		2019	2023	
	コンクリート管用60°及び90°支管		2019	2024	
	硬質塩化ビニル管用60°及び90°支管		2019	2025	
	硬質塩化ビニル曲管		2019	2026	
	街きよ工(補修用)	155型	2019	2027	
	街きよ工(補修用)	205型	2019	2028	
	街きよ工	155型	2019	2029	
	街きよ工	205型	2019	2030	
	街きよ工	155SF型	2019	2031	
	街きよ工	155SF型、端末	2019	2032	
	街きよ工(車乗入れ部)(補修用)	155型	2019	2033	
	街きよ工(車乗入れ用歩道切下げ部)(補修用)	155-1型	2019	2034	
	街きよ工(車乗入れ部)(補修用)	205型	2019	2035	
	街きよ工(車乗入れ部)(補修用)	205-1型	2019	2036	
	街きよ工(車乗入れ部)	155SF型	2019	2037	
	街きよ工(車乗入れ部)	155-1型	2019	2038	
	街きよ工(車乗入れ部)	205型	2019	2039	
	街きよ工(車乗入れ部)	205-1型	2019	2040	
	街きよ工(補修用)	155型、2本すりつけ	2019	2041	
	街きよ工(補修用)	205型、2本すりつけ	2019	2042	
	街きよ工(歩行者横断用平坦部)(補修用)	155型及び105型	2019	2043	
	街きよ工(歩行者横断用平坦部)(補修用)	205型	2019	2044	
	街きよ工(歩行者横断用平坦部)(補修用)	155型、3本すりつけ	2019	2045	
	街きよ工(歩行者横断用平坦部)(補修用)	205型、3本すりつけ	2019	2046	
	街きよ工(歩行者横断用平坦部)	155型、5本すりつけ	2019	2047	
	街きよ工(歩行者横断用平坦部)	155型及び105型	2019	2048	
	街きよ工(歩行者横断用平坦部)	205型	2019	2049	
	街きよ工用集水ます工(補修用)	155型、現場打コンクリート使用	2019	2050	
	街きよ工用集水ます工(補修用)	155-I型、側塊使用	2019	2051	
	街きよ工用集水ます工(補修用)	155-II型、側塊使用	2019	2052	

目次

工種	種別	形状	年度	新頁	改訂内容
排水	街きょ工用集水ます工	205B、現場打コンクリート使用	2019	2053	
	街きょ工用集水ます工	205B-I型、側塊使用	2019	2054	
	街きょ工用集水ます工	205B-II型、側塊使用	2019	2055	
	街きょ工用集水ます工	155型、現場打コンクリート使用	2019	2056	
	街きょ工用集水ます工	155-I型、側塊使用	2019	2057	
	街きょ工用集水ます工	155-II型、側塊使用	2019	2058	
	街きょ工用集水ます工	155SF-I型、側塊使用	2019	2059	
	街きょ工用集水ます工	155SF-II型、側塊使用	2019	2060	
	LU形街きょ工(補修用)	500	2019	2061	
	LU形街きょ泥溜ます工(補修用)	500	2019	2062	
	LU形街きょ用集水ます工(補修用)	500上・下側塊	2019	2063	
	L形溝工	鉄筋コンクリートL形、250B	2019	2064	
	L形溝工	鉄筋コンクリートL形、300B	2019	2065	
	L形溝工	鉄筋コンクリートL形、350B	2019	2066	
	L形溝工	切下げ部、250B用	2019	2067	
	L形溝工	切下げ部、300B用	2019	2068	
	L形溝工	切下げ部、350B用	2019	2069	
	L形溝工	鉄筋コンクリートL形、250A	2019	2070	
	L形溝工	切下げ部、250A用	2019	2071	
	L形溝工	歩行者横断用切り下げ部、250A用	2019	2072	
	L形溝工	歩行者横断用切り下げ部、250B用	2019	2073	
	L形溝工	歩行者横断用切り下げ部、300B用	2019	2074	
	L形溝工	歩行者横断用切り下げ部、350B用	2019	2075	
	L形溝用集水ます工	300用	2019	2076	
	L形溝用集水ます工	350用	2019	2077	
	L形溝用集水ます工	300用、現場打コンクリート使用	2019	2078	
	L形溝用集水ます工	350用、現場打コンクリート使用	2019	2079	
	U形溝工	コンクリート基礎	2019	2080	
	U形溝工	砂基礎	2019	2081	
	U形溝用集水ます工	240用	2019	2082	
U形溝用集水ます工	300用	2019	2083		

目次

工種	種別	形状	年度	新頁	改訂内容
排水	U形溝用集水ます工	特殊LU形溝、240用	2019	2084	
	U形溝用集水ます工	特殊LU形溝、300用	2019	2085	
	特殊LU形溝工	240	2019	2086	
	特殊LU形溝工	300B	2019	2087	
	特殊LU形溝工	240、穴あき	2019	2088	
	特殊LU形溝工	300、穴あき	2019	2089	
	特殊LU形用集水ます工	240	2019	2090	
	特殊LU形用集水ます工	300B	2019	2091	
	特殊LU形用集水ます工	300C	2019	2092	
	側溝蓋掛工(標準図)		2019	2093	
	側溝蓋掛	グレーチングタイプ	2019.10	2094	注釈の追記
	組合せ暗きょブロック工(参考図)		2019	2095	
	横断暗きょブロック工(参考図)		2019	2095-1	
	横断グレーチング		2019	2096	
	U形横断用グレーチング工		2019	2097	
	街渠縦断管工		2019	2098	
	BOXカルバート工		2019	2099	
	現場打ちコンクリート蓋(参考図)		2019.10	2100	参考図に変更
	自由勾配側溝		2019	2101	
	排水管コンクリート防護工(参考図)		2019	2102	
	LO形溝工(参考図)	300A、浸透式	2019	2103	
	リブ付硬質塩化ビニル管		2019	2104	
	リブ付硬質塩化ビニル管碎石基礎		2019	2105	
硬質塩化ビニル製小型マンホール	内径30cm	2019	2106		
U字溝蓋一般用	普通目	2019	2107		
水路	コンクリートブロック積	水路用	2019	3001	

目 次

工 種	種 別	形 状	年度	新頁	改 訂 内 容
街 築	歩道止石	一般部	2019	4001	
	歩道止石	SF型	2019	4002	
	歩道止石	歩行者横断部	2019	4003	
	境石	一般部、歩道の車乗入れ部	2019	4004	
	境石	面取り、一般部、歩道の車乗入れ部	2019	4004-1	
	境界標杭	A	2019	4005	
	境界標杭	B	2019	4006	
	境界標杭	C	2019	4007	
	境界プレート・鋳		2019	4008	
	歩道植樹帯縁石	構造A、B	2019	4009	
	歩道植樹帯縁石端部	G-1、A、B	2019	4010	
	歩道植樹帯縁石端部	G-2、A、B	2019	4011	
	歩道植樹帯縁石端部	G-3、A、B	2019	4012	
	歩道植樹帯縁石端部	G-4、A、B	2019	4013	
	歩道植樹帯縁石端部	G-5、A、B	2019	4014	
	街路樹植ます	T-1、A、B	2019	4015	
	街路灯標示板		2019	4016	
	街路灯標示シート	A型	2019	4017	
	街路灯標示シート	B型	2019	4018	
	街路灯標示シート	B7型	2019	4019	
	街路灯標示シート	B9型	2019	4020	
	ハンドホール	H=800	2019	4021	
	ハンドホール	H=900	2019	4022	
	ハンドホール	H=1200	2019	4023	
	ハンドホール	H=1500	2019	4024	
	小型共架道路照明設置工		2019	4025	
	小型道路照明灯柱設置工	単独・接続用 ストレートポール型	2019	4026	
	小型道路照明灯柱設置工	単独・接続用 ストレートポール型（出幅：400）	2019	4027	
	小型道路照明灯柱設置工	段付 接続用 ストレートポール型	2019	4030	
	小型道路照明灯柱設置工	段付 接続用 ストレートポール型（出幅：400）	2019	4031	
大型共架道路照明設置工		2019	4034		

目次

工種	種別	形状	年度	新頁	改訂内容
街 築	大型道路照明設置工	架空単独用 H=8.0m	2019	4035	
	大型道路照明設置工	架空単独用 H=10.0m	2019	4036	
	大型道路照明設置工	架空単独用 H=8.0m (車道、歩道)	2019	4037	
	大型道路照明設置工	架空単独用 H=10.0m (車道、歩道)	2019	4038	
	大型道路照明設置工	架空単独用 H=8.0m (出幅:1800)	2019	4039	
	大型道路照明設置工	架空単独用 H=10.0m (出幅:2100)	2019	4040	
	大型道路照明設置工	架空単独用 H=8.0m (出幅:1800) (両面)	2019	4043	
	デザイン灯柱設置工	単独用 1灯用	2019	4045	
	デザイン灯柱設置工	単独用 1灯用 (バッテリー内蔵型)	2019	4046	
	デザイン灯柱設置工	単独用 丸型1灯用	2019	4047	
	デザイン灯柱設置工	単独用 丸型1灯用 (バッテリー内蔵型)	2019	4048	
	デザイン灯柱設置工	接続用 単独用 角型2灯用	2019	4049	
	デザイン灯柱設置工	接続用 単独用 角型2灯用 (バッテリー内蔵型)	2019	4050	
	引込柱設置工		2019	4051	
	光電式点滅器付自立式1回路用配電盤		2019	4052	
	光電式点滅器付自立式2回路用配電盤		2019	4053	
	光電制御装置付2回路用配電盤		2019	4054	
	配電盤	ポール式	2019	4055	
	配電盤	台座式	2019	4056	
	光電式点滅器付自立式2回路用分電盤	一般	2019	4057	
	屋外灯用引込開閉器盤	一般・ポール径 ϕ 89.1	2019	4058	
	屋外灯用引込開閉器盤	一般・ポール径 ϕ 114.3	2019	4059	
	屋外灯用引込開閉器盤	特殊・ポール径 ϕ 89.1	2019	4060	
	屋外灯用引込開閉器盤	特殊・ポール径 ϕ 114.3	2019	4061	
	屋外灯用引込開閉器盤	一般・ポール径 ϕ 89.1、1・2回路用	2019	4062	
	屋外灯用引込開閉器盤	一般・ポール径 ϕ 114.3、3・2回路用	2019	4063	
	屋外灯用引込開閉器盤	特殊・ポール径 ϕ 89.1、1・2回路用	2019	4064	
	屋外灯用引込開閉器盤	特殊・ポール径 ϕ 114.3、3・2回路用	2019	4065	

目次

工種	種別	形状	年度	新頁	改訂内容
舗装	車道舗装構造表	N1	2019	5001	
	車道舗装構造表	N2	2019	5002	
	車道舗装構造表	N3(旧L交通)	2019	5003	
	車道舗装構造表	N4(旧A交通)	2019	5004	
	車道舗装構造表	N5(旧B交通)	2019	5005	
	車道舗装構造表	N6(旧C交通)	2019	5006	
	車道舗装構造表(補修用)	N3(旧L交通)	2019	5007	
	車道舗装構造表(補修用)	N4(旧A交通)	2019	5008	
	車道舗装構造表(補修用)	N5(旧B交通)	2019	5009	
	車道舗装構造表(補修用)	N6(旧C交通)	2019	5010	
	歩道舗装構造表		2019	5011	
	車道舗装N1交通	設計CBR3%、4%、5%			削除
	車道舗装N1交通	設計CBR3%、生活道路等	2019	5012-1	
	車道舗装N2交通	設計CBR3%、4%、5%			削除
	車道舗装N3交通(旧L交通)	設計CBR3%、4%、5%			削除
	車道舗装N4交通(旧A交通)	設計CBR3%			削除
	車道舗装N4交通(旧A交通)	設計CBR4%			削除
	車道舗装N4交通(旧A交通)	設計CBR5%			削除
	車道舗装N5交通(旧B交通)	設計CBR3%			削除
	車道舗装N5交通(旧B交通)	設計CBR4%			削除
	車道舗装N5交通(旧B交通)	設計CBR5%			削除
	車道舗装N6交通(旧C交通)	設計CBR3%			削除
	車道舗装N6交通(旧C交通)	設計CBR4%			削除
	車道舗装N6交通(旧C交通)	設計CBR5%			削除
	歩道舗装		2019	5024	
	歩道車乗入れ舗装		2019	5025	
	インターロッキングブロック舗装		2019	5026	
	インターロッキングブロック舗装	As基礎	2019.10	5026-1	材料の変更
	簡易舗装		2019	5027	
	半たわみ性舗装		2019	5028	
カラー舗装		2019	5029		

目 次

工 種	種 別	形 状	年度	新頁	改 訂 内 容
舗 装	真空コンクリート舗装	30型	2019	5030	
交通安全施設	ガードレールA	土中	2019	6001	
	ガードレールA	コンクリート中	2019	6002	
	ガードレールC	土中	2019	6003	
	ガードレールC	コンクリート中	2019	6004	
	ガードレールC(参考図)	コンクリート根固め			削除
	ガードレールBm	土中	2019	6006	
	ガードレールBm	コンクリート中	2019	6007	
	ガードレールCp(参考図)	コンクリート根固め			削除
	ガードパイプCp(参考図)	土中式	2019	6009	
	ガードパイプCp(参考図)	コンクリート根固め			削除
	GrGp市施工シール		2019	6011	
	パイプ柵Pp	土中	2019	6013	
	パイプ柵Pp	コンクリート根固め	2019	6014	
	パイプ柵Pp	プレキャストコンクリートブロック	2019	6014-1	
	パイプ柵Pk		2019.10	6015	材料表の追記
	転落防止用パイプ柵(P2)	土中設置	2019	6016	
	転落防止用パイプ柵(P2)	コンクリート根固め設置	2019	6017	
	車乗り入れ防止柱		2019	6018	
	車乗り入れ防止柱	ソフトタイプ	2019	6019	
	車乗り入れ防止柱	ソフトタイプ(着脱3本脚)	2019	6020	
	視線誘導標	独立、防護柵用	2019	6021	
	障害物表示灯		2019	6022	
	障害物表示灯	広角式	2019	6023	
	障害物表示灯	LED2灯用	2019	6024	
	障害物表示灯	ソーラー式LED	2019	6025	
	道路反射鏡	一面鏡 二面鏡	2019	6026	
	分離帯	一般	2019	6027	
	分離帯	切下げ	2019	6028	
中央分離帯構造		2019.10	6029	注釈の追記	

目 次

工 種	種 別	形 状	年度	新頁	改 訂 内 容
交通安全施設	誘導用ブロック	一般部、切下部	2019	6030	
	オーバーハング式道路標識	固定式、逆L型	2019	6032	
	オーバーハング式道路標識	固定式、F型	2019	6033	
	オーバーハング式道路標識	取付け詳細	2019	6034	
	案内標識基礎	φ139.8	2019	6035	
	案内標識基礎	φ216.3~318.5	2019	6036	
	案内標識寸法表		2019	6037	
	規制標識		2019	6038	
	警戒標識		2019	6039	
	案内標識		2019	6040	
	注意看板		2019	6041	
	区画線の施工長換算表		2019	6042	
	一体型ガードレール(1/2)		2019	6043	
	一体型ガードレール(2/2)		2019	6044	
道路植栽	二脚鳥居	添木付	2019	7001	
	二脚鳥居	添木無	2019	7002	
	二脚鳥居組合せ		2019	7003	
	三脚鳥居		2019	7004	
	十字鳥居		2019	7005	
	補強型四脚鳥居		2019	7006	
	ハッ掛	1型	2019	7007	
	ハッ掛	2型	2019	7008	
	ハッ掛	3型	2019	7009	
	添え柱		2019	7010	
	布掛	1型	2019	7011	
	布掛	S型	2019	7012	
	生垣	高さ1.0m	2019	7013	

目 次

工 種	種 別	形 状	年度	新頁	改 訂 内 容
その他	転落防止柵	ネットフェンス、中間柵	2019	8001	
	転落防止柵	ネットフェンス、張り出し柵	2019	8002	
	転落防止柵(参考図)	ガードレール用	2019	8003	
	転落防止柵(参考図)	ネットフェンス、門扉	2019	8004	
	金網柵		2019	8005	
	金網柵	基礎、金網	2019	8006	
	エキスパンドフェンス(参考図)		2019	8007	
	用地管理柵		2019	8008	
	パイプ柵		2019	8009	
	鉄線柵		2019	8010	
	段差すりつけ	タイプA、タイプB	2019	8012	
	アスカーブ	A、B、C	2019	8015	
	土留鋼板		2019	8016	
	板柵		2019	8017	
	階段工(参考図)		2019	8018	
	手すり工	1段	2019	8019	
	手すり工	2段	2019	8020	
	硬質塩化ビニール管基礎形状一覧表		2019.10	8021	一覧表の変更
	遠心力鉄筋コンクリート管基礎形状一覧表	普通地盤	2019.10	8022	一覧表の変更
	遠心力鉄筋コンクリート管基礎形状一覧表	軟弱地盤	2019.10	8023	一覧表の変更
	遠心力鉄筋コンクリート管基礎形状一覧表	硬質地盤	2019.10	8024	一覧表の変更
	管きよ土工標準図	土留め有	2019	8025	
	管きよ土工標準図(参考図)	土留め無	2019.10	8026	注釈の追記

土木工事標準構造図集（2019. 10）

発行年月：2019年 10月 1版

発行者：町田市道路部

〒194-8520 町田市森野2-2-22

TEL 042-722-3111

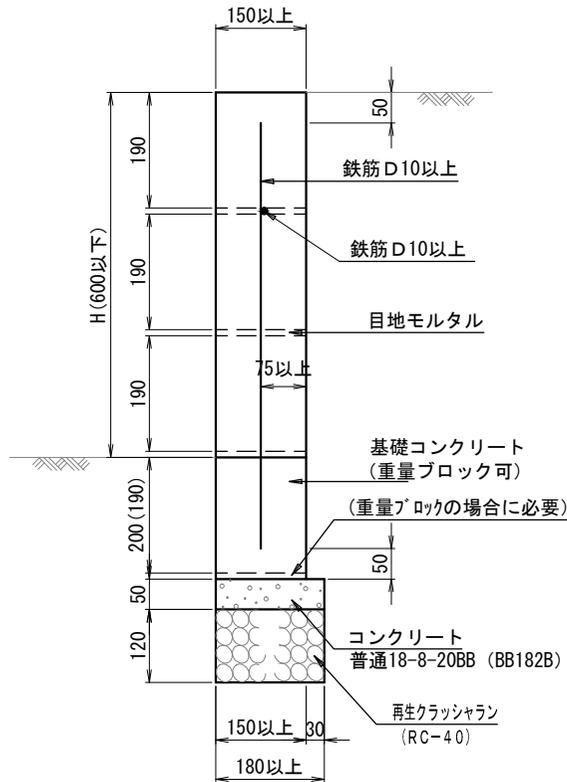
刊行物番号：19-38

印刷：庁内印刷

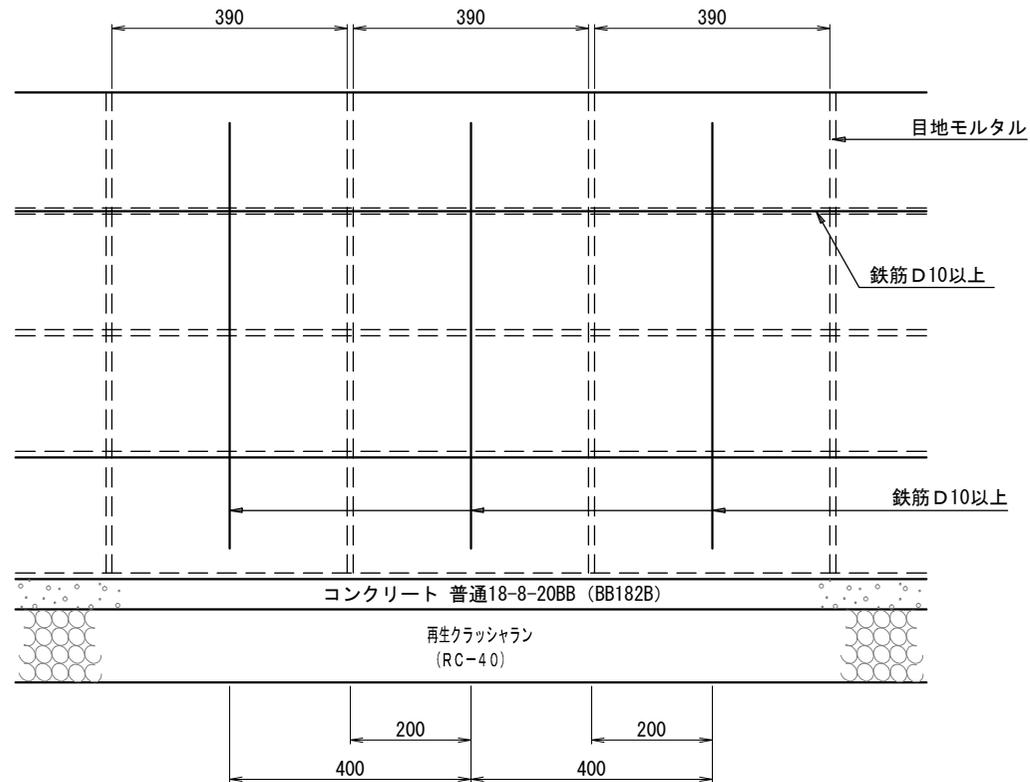
空洞ブロック積工

工種	種別	形状	変数	作成年度
法覆	空洞ブロック積工		H	2019.10

断面図



側面図



背面土 関東ローム等
 コンクリートの強度 21N/mm²
 鉄筋の引張強度 160N/mm²
 ()内は重量ブロックの記述

材料表

基礎コンクリートの場合 (1m当り)

品名	形状・寸法	単位	数量		
			H=200	H=400	H=600
鉄筋	D10	kg	0.504	0.840	1.736
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	0.039	0.039	0.039
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	0.022	0.022	0.022
空洞ブロック	C種 150×190×390	個	2.5	5.0	7.5
型枠		m ²	0.500	0.500	0.500

材料表

基礎(重量ブロック)の場合 (1m当り)

品名	形状・寸法	単位	数量		
			H=200	H=400	H=600
鉄筋	D10	kg	0.504	0.840	1.736
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	0.009	0.009	0.009
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	0.022	0.022	0.022
空洞ブロック	C種 150×190×390	個	5.0	7.5	10.0
型枠		m ²	0.100	0.100	0.100

コンクリートブロック積工

工種	種別	形状	変数	作成年度
法覆	コンクリート ブロック積工		H、N、L a、b	2019.10

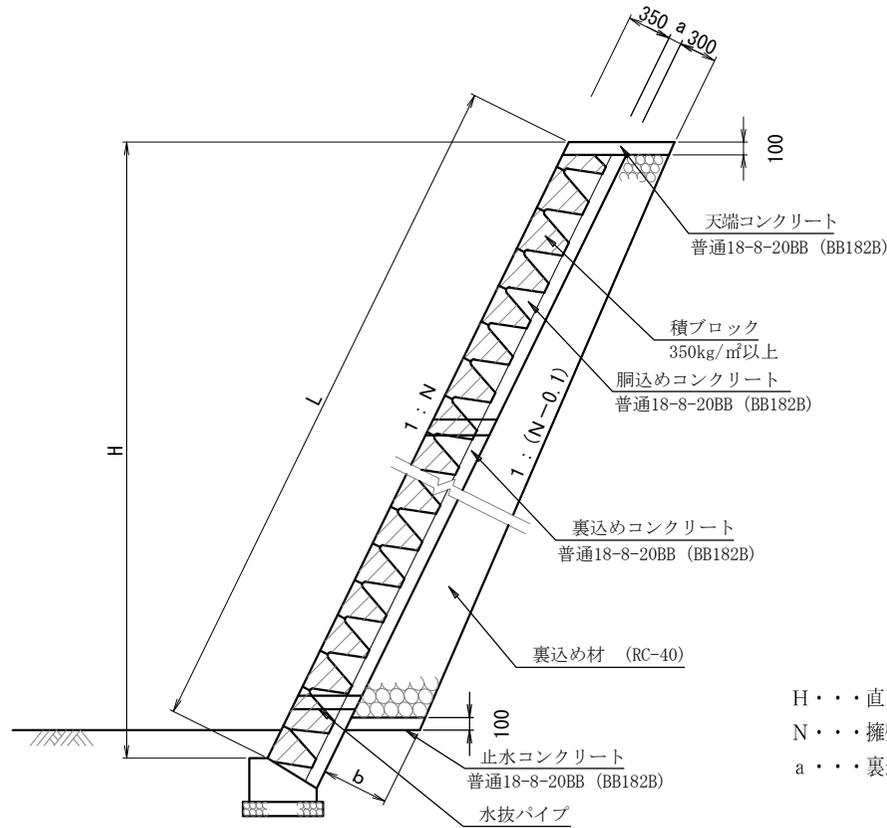
寸法表

H	N	L	a (mm)
1.5mまで	0.3	1.044H	100
3.0mまで	0.4	1.077H	100
5.0mまで	0.5	1.118H	150

寸法及び材料表

(1m当たり)

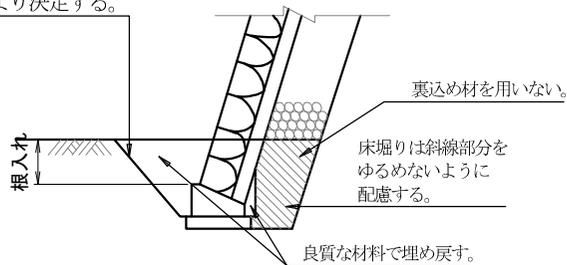
H(直高) (m)	裏込め材の厚さ(b) (m)			裏込め材 (m ³)			裏込めコンクリート (m ³)		
	1:0.3	1:0.4	1:0.5	1:0.3	1:0.4	1:0.5	1:0.3	1:0.4	1:0.5
1.00	0.444	0.439	0.434	0.212	0.218	0.225	0.106	0.113	0.121
1.50	0.492	0.486	0.479	0.416	0.427	0.440	0.158	0.167	0.177
2.00	—	0.532	0.524	—	0.661	0.681	—	0.221	0.232
2.50	—	0.579	0.568	—	0.920	0.946	—	0.274	0.288
3.00	—	0.625	0.613	—	1.204	1.236	—	0.328	0.344
3.50	—	—	0.662	—	—	1.551	—	—	0.602
4.00	—	—	0.707	—	—	1.891	—	—	0.686
4.50	—	—	0.752	—	—	2.257	—	—	0.770
5.00	—	—	0.796	—	—	2.647	—	—	0.854



H・・・直高
N・・・擁壁前面こう配
a・・・裏込めコンクリート厚

基礎部分の施工

勾配は土質により決定する。



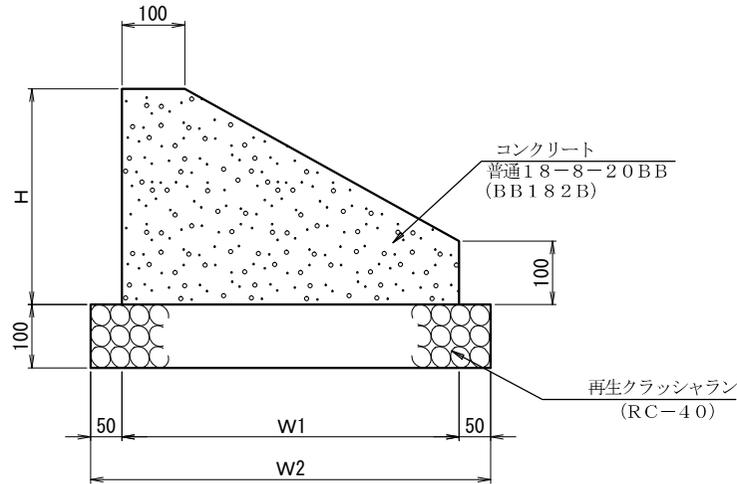
設計留意事項

- 1、基礎の根入れ深さは、擁壁の高さ、基礎地盤の状況などによりそれぞれ考えなければならないが、少なくとも30cm程度以上入れること。
- 2、鉛直方向目地の間隔は、10m程度を標準とする。
- 3、水抜きパイプ(硬質塩化ビニル管)の径は50mm以上とし、3m²当たり1箇所以上設ける。
- 4、切土部の場合で比較的良好な地山では裏込め材の厚さを上下等厚としてよい。
- 5、コンクリート積みブロックは、谷積みとする。
- 6、調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

工種	種別	形状	変数	作成年度
法覆	基礎及び天端コンクリート		H、W1、W2 a	2019

基礎及び天端コンクリート工 (参考図)

基礎工

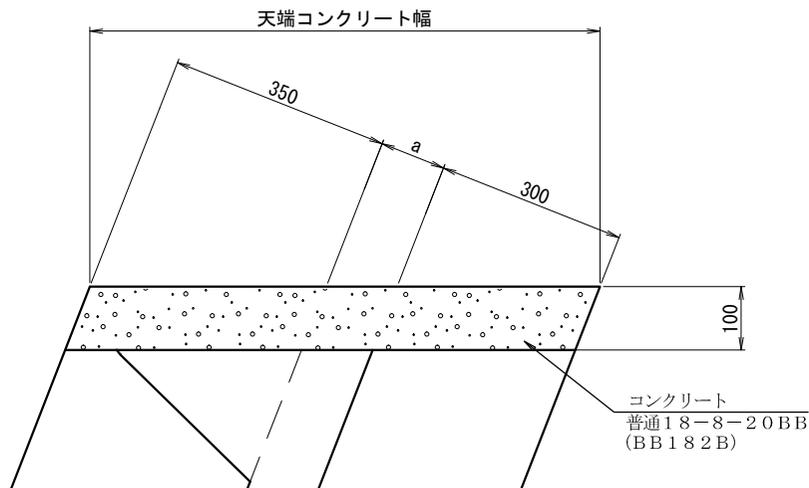


基礎工寸法表及び材料表

(100m当り)

a (mm)	寸法表 (mm)			材料表		
	H	W1	W2	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材 (m ³)
100	300	520	620	11.40	40.00	6.20
150	350	550	650	13.63	45.00	6.50

天端コンクリート



天端コンクリート寸法表及び材料表

(100m当り)

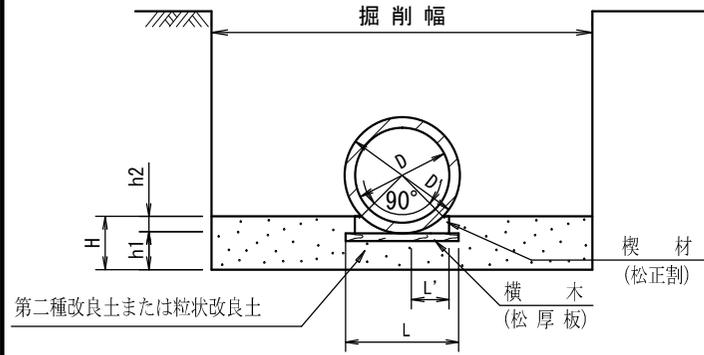
a (mm)	擁壁前面 勾配	天端コンクリート 幅	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B)	型枠	摘要
100	1:0.3	0.783m	7.83m ³	20.88m ²	
	1:0.4	0.808	8.08	21.54	
150	1:0.5	0.894	8.94	22.36	

管きよ工(砂(A形)基礎) S=1/20

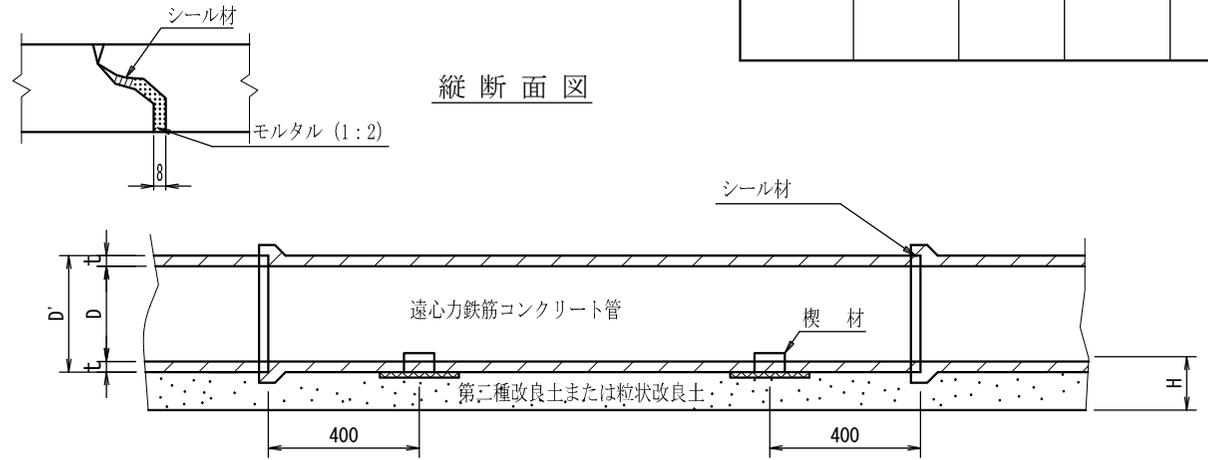
継手部詳細図(NC形管)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	管きよ	砂(A形)基礎	D B	2019.10

横断面図



縦断面図



寸法および材料表

(1.0m当り)

管内径 D (mm)	管外径 D' (mm)	厚さ t (mm)	基礎厚			控除容積 (V) m ³	横木材		楔材		丸釘 (mm)	備考	
			H (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)		松厚板	L (mm)	松正割	L' (mm)			
250	(370)	306	28	140	100	40	0.008	厚1.8cm×幅21.0cm	250	厚4.5cm×幅4.5cm	100	φ4×長100	
300	(424)	360	30	150	"	50	0.010	"	300	"	"	"	
350	(482)	414	32	160	"	60	0.013	"	350	6.0×6.0	150	"	
400	(544)	470	35	170	"	70	0.017	"	400	"	"	"	
450	(606)	526	38	180	"	80	0.021	"	450	"	200	"	
500	(672)	584	42	240	150	90	0.026	"	500	"	"	"	
600	(804)	700	50	260	"	110	0.037	"	600	"	"	"	
700	(936)	816	58	270	"	120	0.050	"	700	7.5×7.5	300	5×150	
800	(1,068)	932	66	340	200	140	0.066	3.0×21.0	800	"	"	"	
900	(1,204)	1,050	75	360	"	160	0.084	"	900	"	"	"	
1,000	(1,332)	1,164	82	370	"	170	0.102	"	1,000	"	"	"	
1,100	(1,458)	1,276	88	440	250	190	0.122	"	1,100	"	"	"	
1,200	(1,586)	1,390	95	450	"	200	0.147	4.5×21.0	1,200	"	400	"	
1,350	(1,768)	1,556	103	530	300	230	0.184	"	1,350	"	"	"	
1,500		1,780	140	560	"	260	0.238	"	1,500	9.0×9.0	"	"	
1,650		1,950	150	640	350	290	0.285	"	1,650	"	"	"	
1,800		2,120	160	660	"	310	0.335	"	1,800	"	"	"	
2,000		2,350	175	740	400	340	0.416	6.0×21.0	2,000	"	"	"	

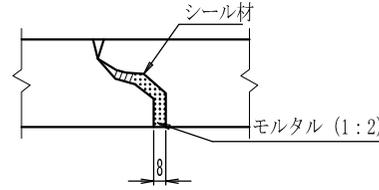
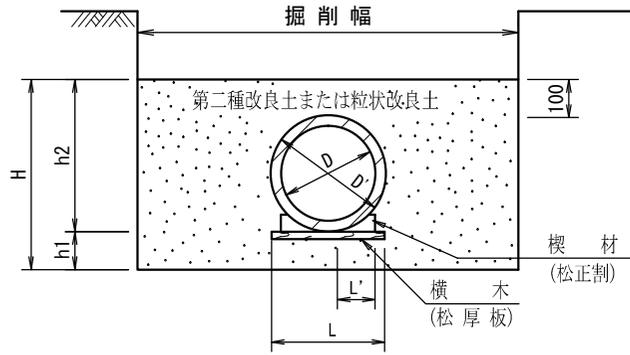
(注1) ()内は、B形管のソケット部の外径である。管径1,500mmはNC形管とする。

管きよ工(砂(B形)基礎) S=1/20

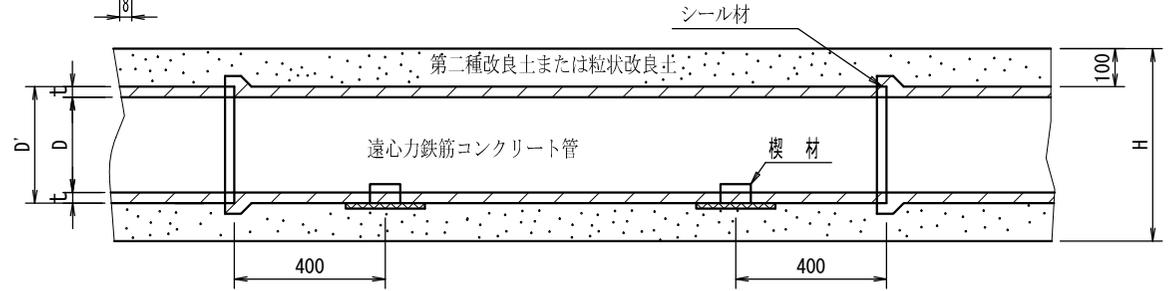
継手部詳細図(NC形管)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	管きよ	砂(B形)基礎	D B	2019.10

横断面図



縦断面図



寸法および材料表

(1.0m当り)

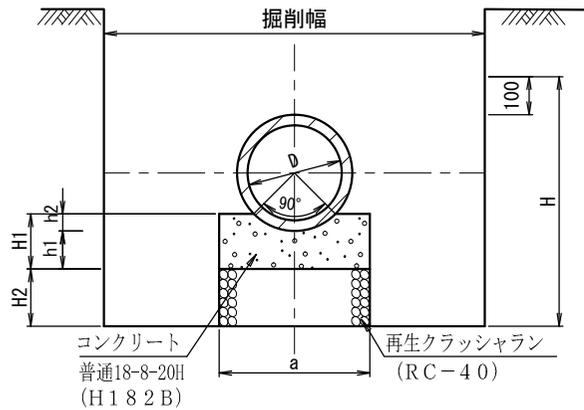
管内径 D (mm)	管外径 D' (mm)	厚さ t (mm)	基礎厚			控除容積 (V) m ³	横木材		楔材		丸釘 (mm)	備考
			H (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)		松厚板	L (mm)	松正割	L' (mm)		
250	(370) 306	28	140	100	40	0.008	厚1.8cm×幅21.0cm	250	厚4.5cm×幅4.5cm	100	φ4×長100	
300	(424) 360	30	150	"	50	0.010	"	300	"	"	"	
350	(482) 414	32	160	"	60	0.013	"	350	6.0×6.0	150	"	
400	(544) 470	35	170	"	70	0.017	"	400	"	"	"	
450	(606) 526	38	180	"	80	0.021	"	450	"	200	"	
500	(672) 584	42	240	150	90	0.026	"	500	"	"	"	
600	(804) 700	50	260	"	110	0.037	"	600	"	"	"	
700	(936) 816	58	270	"	120	0.050	"	700	7.5×7.5	300	5×150	
800	(1,068) 932	66	340	200	140	0.066	3.0×21.0	800	"	"	"	
900	(1,204) 1,050	75	360	"	160	0.084	"	900	"	"	"	
1,000	(1,332) 1,164	82	370	"	170	0.102	"	1,000	"	"	"	
1,100	(1,458) 1,276	88	440	250	190	0.122	"	1,100	"	"	"	
1,200	(1,586) 1,390	95	450	"	200	0.147	4.5×21.0	1,200	"	400	"	
1,350	(1,768) 1,556	103	530	300	230	0.184	"	1,350	"	"	"	
1,500	1,780	140	560	"	260	0.238	"	1,500	9.0×9.0	"	"	
1,650	1,950	150	640	350	290	0.285	"	1,650	"	"	"	
1,800	2,120	160	660	"	310	0.335	"	1,800	"	"	"	
2,000	2,350	175	740	400	340	0.416	6.0×21.0	2,000	"	"	"	

(注1) ()内は、B形管のソケット部の外径である。管径1,500mmはNC形管とする。(注2)改良土は第二種改良土とする。

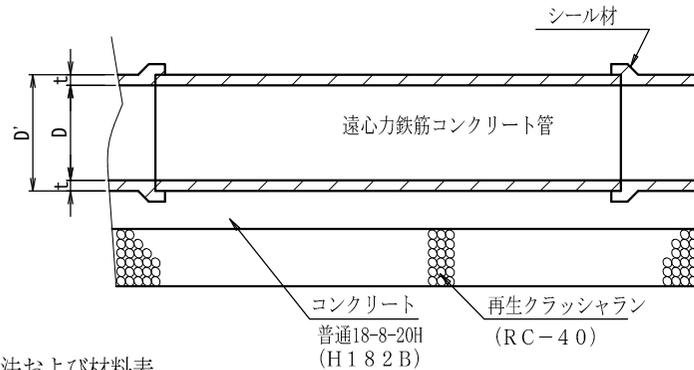
管きょ工(コンクリート基礎90°)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	管きょ工	コンクリート基礎90°	D B	2019.10

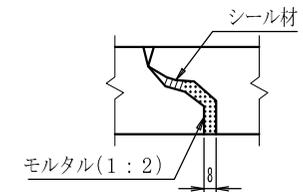
横断面図



縦断面図



継手部詳細図(NC形管)



寸法および材料表

(1.0m当り)

管内径 D (mm)	管外径 D' (mm)	厚さ t (mm)	基礎厚						基礎幅 a (mm)	再生クラッシュラン RC-40 (m ³)	コンクリート 普通18-8-20H (H182B) (m ³)	控除容積 (V1) m ³	型枠 (m ²)	備考
			H (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)							
250	(370)	306	28	656	140	150	100	40	400	0.060	0.049	0.183	0.280	
300	(424)	360	30	710	150	"	"	50	450	0.068	0.059	0.228	0.300	
350	(482)	414	32	764	160	"	"	60	500	0.075	0.068	0.277	0.320	
400	(544)	470	35	820	170	"	"	70	550	0.083	0.078	0.334	0.340	
450	(606)	526	38	875	180	"	"	80	600	0.090	0.088	0.396	0.360	
500	(672)	584	42	984	240	"	150	90	650	0.098	0.132	0.497	0.480	
600	(804)	700	50	1,100	260	"	"	110	750	0.113	0.160	0.657	0.520	
700	(936)	816	58	1,216	270	"	"	120	900	0.135	0.196	0.853	0.540	
800	(1,068)	932	66	1,382	340	"	200	140	1,000	0.150	0.278	1.110	0.680	
900	(1,204)	1,050	75	1,500	360	"	"	160	1,150	0.173	0.336	1.374	0.720	
1,000	(1,332)	1,164	82	1,614	370	"	"	170	1,250	0.188	0.367	1.617	0.740	
1,100	(1,458)	1,276	88	1,826	440	200	250	190	1,350	0.270	0.478	2.027	0.880	
1,200	(1,586)	1,390	95	1,940	450	"	"	200	1,500	0.300	0.538	2.355	0.900	
1,350	(1,768)	1,556	103	2,156	530	"	300	230	1,650	0.330	0.703	2.933	1.060	
1,500		1,780	140	2,380	560	"	"	260	1,850	0.370	0.811	3.612	1.120	
1,650		1,950	150	2,600	640	"	350	290	2,050	0.410	1.042	4.375	1.280	
1,800		2,120	160	2,770	660	"	"	310	2,200	0.440	1.133	5.037	1.320	
2,000		2,350	175	3,050	740	"	400	340	2,400	0.480	1.384	6.152	1.480	

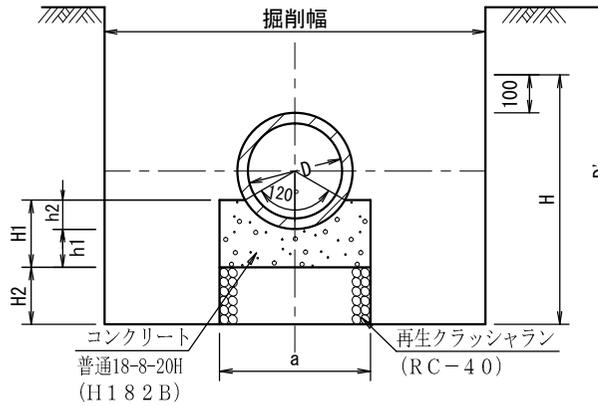
(注1) ()内は、B形管のソケット部の外径である。管内径1,500mm以上はNC形管とする。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

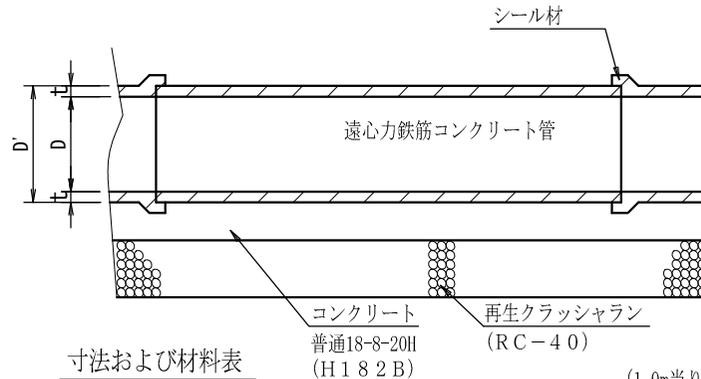
管きょ工(コンクリート基礎120°)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	管きょ工	コンクリート基礎 120°	D B	2019.10

横断面図



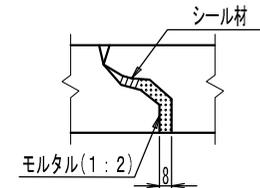
縦断面図



寸法および材料表

(1.0m当り)

継手部詳細図(C形管)



管内径 D (mm)	管外径 D' (mm)	厚さ t (mm)	基礎厚					基礎幅 a (mm)	再生クラッシュラン RC-40 (m ³)	コンクリート 普通18-8-20H (H182B) (m ³)	控除容積 (V ₁) m ³	型枠 (m ²)	備考	
			H (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)							
250	(370)	306	28	656	200	150	100	100	450	0.068	0.076	0.217	0.400	
300	(424)	360	30	710	"	"	"	"	500	0.075	0.080	0.257	0.400	
350	(482)	414	32	764	250	"	"	150	550	0.083	0.112	0.329	0.500	
400	(544)	470	35	820	"	"	"	"	600	0.090	0.116	0.379	0.500	
450	(606)	526	38	875	"	"	"	"	650	0.098	0.120	0.435	0.500	
500	(672)	584	42	984	300	"	150	"	750	0.113	0.172	0.553	0.600	
600	(804)	700	50	1,100	350	"	"	200	900	0.135	0.240	0.760	0.700	
700	(936)	816	58	1,216	400	"	"	250	1,000	0.150	0.297	0.971	0.800	
800	(1,068)	932	66	1,382	450	"	200	"	1,150	0.173	0.384	1.239	0.900	
900	(1,204)	1,050	75	1,500	500	"	"	300	1,300	0.195	0.480	1.542	1.000	
1,000	(1,332)	1,164	82	1,614	"	"	"	"	1,450	0.218	0.516	1.798	1.000	
1,100	(1,458)	1,276	88	1,826	600	200	250	350	1,550	0.310	0.679	2.269	1.200	
1,200	(1,586)	1,390	95	1,940	"	"	"	"	1,700	0.340	0.722	2.580	1.200	
1,350	(1,768)	1,556	103	2,156	700	"	300	400	1,900	0.380	0.957	3.240	1.400	
1,500		1,780	140	2,380	750	"	"	450	2,150	0.430	1.125	3.997	1.500	
1,650		1,950	150	2,600	850	"	350	500	2,300	0.460	1.369	4.765	1.700	
1,800		2,120	160	2,770	900	"	"	550	2,500	0.500	1.558	5.535	1.800	
2,000		2,350	175	3,050	1000	"	400	600	2,800	0.560	1.950	6.789	2.000	

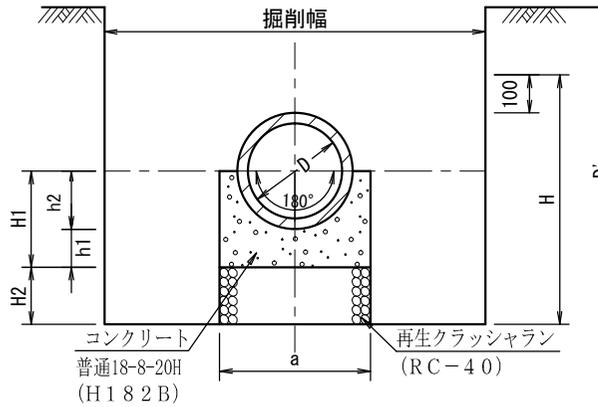
(注1) ()内は、B形管のソケット部の外径である。管内径1,500mm以上はNC形管とする。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

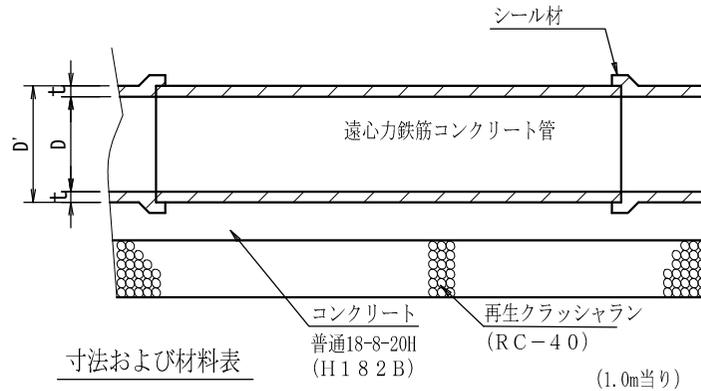
管きょ工(コンクリート基礎180°)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	管きょ工	コンクリート基礎 180°	D B	2019.10

横断面図



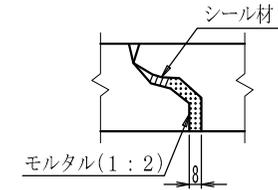
縦断面図



寸法および材料表

(1.0m当り)

継手部詳細図(NC形管)



管内径 D (mm)	管外径 D' (mm)	厚さ t (mm)	基礎厚					基礎幅 a (mm)	再生クラッシュラン RC-40 (m ³)	コンクリート 普通18-8-20H (H182B) (m ³)	控除容積 (V _i) m ³	型枠 (m ²)	備考	
			H (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)							
250	(370)	306	28	656	250	150	100	150	500	0.075	0.088	0.237	0.500	
300	(424)	360	30	710	280	〃	〃	180	550	0.083	0.103	0.287	0.560	
350	(482)	414	32	764	310	〃	〃	210	600	0.090	0.119	0.343	0.620	
400	(544)	470	35	820	340	〃	〃	240	650	0.098	0.134	0.405	0.680	
450	(606)	526	38	875	360	〃	〃	260	750	0.113	0.161	0.491	0.720	
500	(672)	584	42	984	440	〃	150	290	850	0.128	0.240	0.635	0.880	
600	(804)	700	50	1,100	500	〃	〃	350	1,000	0.150	0.307	0.842	1.000	
700	(936)	816	58	1,216	560	〃	〃	410	1,150	0.173	0.382	1.078	1.120	
800	(1,068)	932	66	1,382	670	〃	200	470	1,300	0.195	0.529	1.407	1.340	
900	(1,204)	1,050	75	1,500	730	〃	〃	530	1,450	0.218	0.626	1.709	1.460	
1,000	(1,332)	1,164	82	1,614	780	〃	〃	580	1,600	0.240	0.715	2.020	1.560	
1,100	(1,458)	1,276	88	1,826	890	200	250	640	1,750	0.350	0.918	2.547	1.780	
1,200	(1,586)	1,390	95	1,940	950	〃	〃	700	1,900	0.380	1.046	2.944	1.900	
1,350	(1,768)	1,556	103	2,156	1,080	〃	300	780	2,100	0.420	1.317	3.639	2.160	
1,500		1,780	140	2,380	1,190	〃	〃	860	2,350	0.470	1.551	4.372	2.380	
1,650		1,950	150	2,600	1,330	〃	350	950	2,550	0.510	1.897	5.243	2.660	
1,800		2,120	160	2,770	1,380	〃	〃	1,070	2,750	0.550	2.139	6.031	2.840	
2,000		2,350	175	3,050	1,580	〃	400	1,180	3,100	0.620	2.728	7.506	3.160	

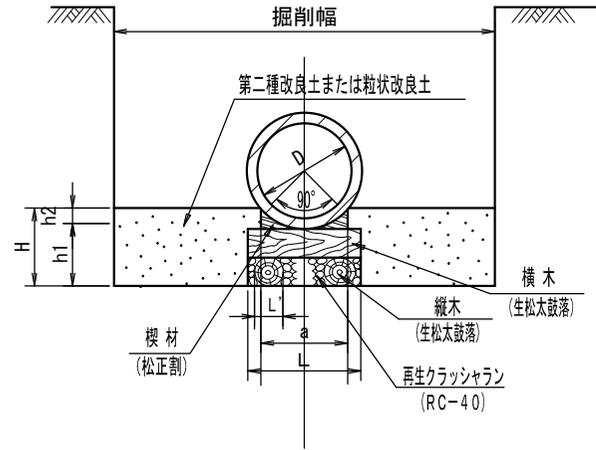
(注1) ()内は、B形管のソケット部の外径である。管内径1,500mm以上はNC形管とする。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

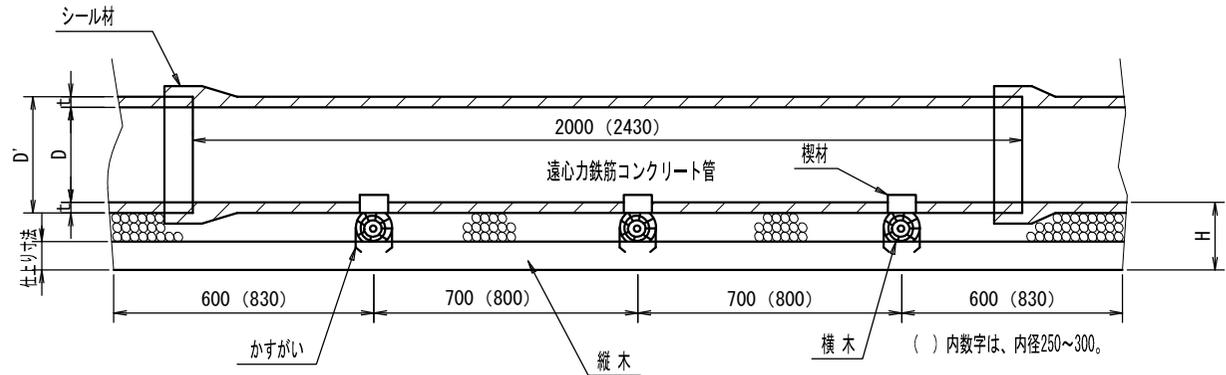
管きょ工(梯子胴木(A形)基礎)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	管きょ工	梯子胴木(A形)基礎	D B	2019.10

横断面図



縦断面図



寸法および材料表

(1.0m当り)

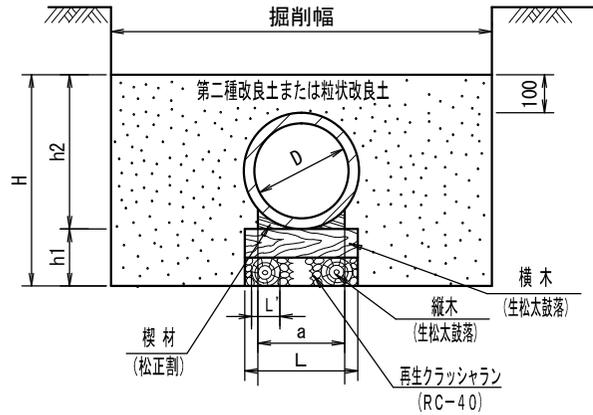
管内径 D (mm)	管外径 D' (mm)	厚さ t (mm)	基礎			控除容積 (V1) m ³	再生クラッシュラン RC-40 (m ³)	縦木材		横木材		楔材		ボルトナット (角座金付)	かすがい	丸釘
			H (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)			生松太鼓落	a (mm)	生松太鼓落	L (mm)	松正割	L' (mm)			
250	(370) 306	28	205	165	40	0.052	0.043	末口cm×仕上りcm 12.0×9.0	300	末口cm×仕上りcm 10.5×7.5	450	幅cm×高cm 6.0×6.0	150	φ×首下 9×125	φ×長 9×150	φ×長 4×100
300	(424) 360	30	215	〃	50	0.063	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
350	(482) 414	32	225	〃	60	0.086	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
400	(544) 470	35	250	180	70	0.097	0.052	〃	〃	12.0×9.0	〃	〃	〃	〃	〃	〃
450	(606) 526	38	260	〃	80	0.128	0.080	〃	400	〃	600	〃	200	〃	〃	〃
500	(672) 584	42	270	〃	90	0.132	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
600	(804) 700	50	290	〃	110	0.143	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
700	(936) 816	58	360	240	120	0.264	0.172	15.0×12.0	600	15.0×12.0	900	7.5×7.5	300	9×150	9×180	5×150
800	(1,068) 932	66	380	〃	140	0.278	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
900	(1,204) 1,050	75	400	〃	160	0.295	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1000	(1,332) 1,164	82	410	〃	170	0.313	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1100	(1,458) 1,276	88	430	〃	190	0.404	0.244	〃	800	〃	1200	〃	400	〃	〃	〃
1200	(1,586) 1,390	95	440	〃	200	0.426	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1350	(1,768) 1,556	103	470	〃	230	0.533	0.324	〃	1000	〃	1500	〃	〃	〃	〃	〃

(注1) ()内は、B形管のソケット部の外径である。

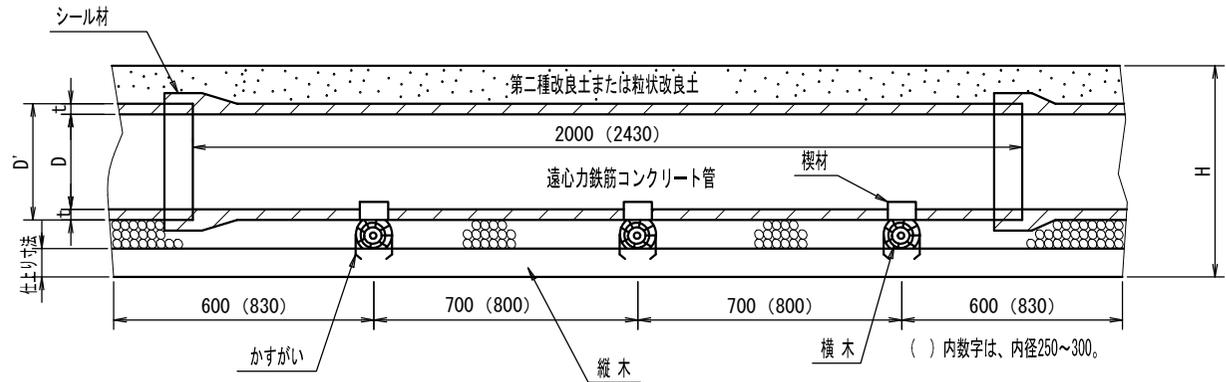
管きょ工(梯子胴木(B形)基礎)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	管きょ工	梯子胴木(B形)基礎	D B	2019.10

横断面図



縦断面図



寸法および材料表

(1.0m当り)

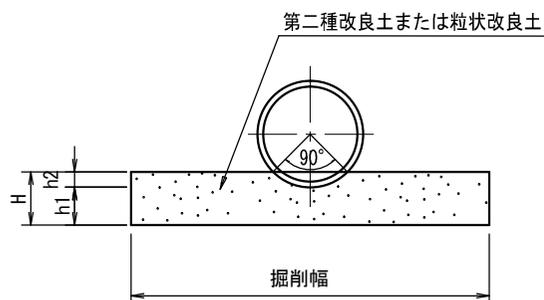
管内径 D (mm)	管外径 D' (mm)	厚さ t (mm)	基礎			控除容積 (V1) m ³	再生クラッシュラン RC-40 (m ³)	縦木材		横木材		楔材		ボルトナット (角座金付)	かすがい	丸釘	
			H (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)			生松太鼓落 a (mm)	生松太鼓落 L (mm)	松正割 幅cm×高cm	L' (mm)						
250	(370)	306	28	571	165	406	0.119	0.043	末口cm×仕上りcm 12.0×9.0	300	末口cm×仕上りcm 10.5×7.5	450	幅cm×高cm 6.0×6.0	150	φ×首下 9×125	φ×長 9×150	φ×長 4×100
300	(424)	360	30	625	〃	460	0.156	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
350	(482)	414	32	679	〃	514	0.209	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
400	(544)	470	35	750	180	570	0.254	0.052	〃	〃	12.0×9.0	〃	〃	〃	〃	〃	〃
450	(606)	526	38	806	〃	626	0.325	0.080	〃	400	〃	600	〃	200	〃	〃	〃
500	(672)	584	42	864	〃	684	0.376	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
600	(804)	700	50	980	〃	800	0.493	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
700	(936)	816	58	1,156	240	916	0.739	0.172	15.0×12.0	600	15.0×12.0	900	7.5×7.5	300	9×150	9×180	5×150
800	(1,068)	932	66	1,272	〃	1,032	0.898	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
900	(1,204)	1,050	75	1,390	〃	1,150	1.082	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1000	(1,332)	1,164	82	1,504	〃	1,264	1.280	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1100	(1,458)	1,276	88	1,616	〃	1,376	1.567	0.244	〃	800	〃	1200	〃	400	〃	〃	〃
1200	(1,586)	1,390	95	1,730	〃	1,490	1.805	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
1350	(1,768)	1,556	103	1,896	〃	1,656	2.262	0.324	〃	1000	〃	1500	〃	〃	〃	〃	〃

(注1) ()内は、B形管のソケット部の外径である。

管きょ工(90° 砂基礎、硬質塩化ビニル管)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	管きょ工	90° 砂基礎 硬質塩化ビニル管	D B	2019.10

横断面図



寸法表

(1.0m当り)

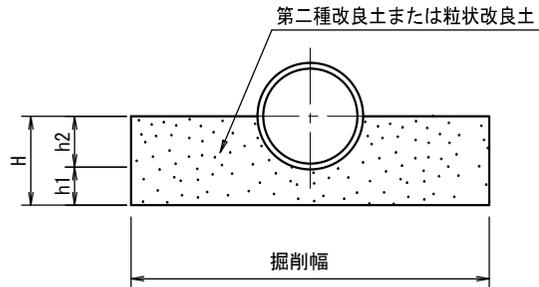
呼び径 (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	近似内径 (mm)	普通地盤・硬質地盤			軟弱地盤			管の控除容積 V1 (m ³)
				H (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)	H (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)	
250	267	7.8	250	140	100	40	340	300	40	0.005
300	318	9.2	298	147	100	47	347	300	47	0.007
350	370	10.5	348	155	100	55	355	300	55	0.010
400	420	11.8	395	162	100	62	362	300	62	0.013
450	470	13.2	442	169	100	69	369	300	69	0.016
500	520	14.6	489	177	100	77	377	300	77	0.019
600	630	17.8	592	193	100	93	393	300	93	0.028

- 注 1. 硬質地盤において転石を含む場合は、軟弱地盤と同じ基礎寸法とする。
 2. 軟弱地盤で基床部の支持力が不足する場合及び基礎砂の流失が予想される場合は、基礎構造を別途検討する。管底部には枕木等を使用してはならない。

管きょ工(180° 砂基礎、硬質塩化ビニル管)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	管きょ工	180° 砂基礎 硬質塩化ビニル管	D B	2019.10

横断面図



寸法表

(1.0m当り)

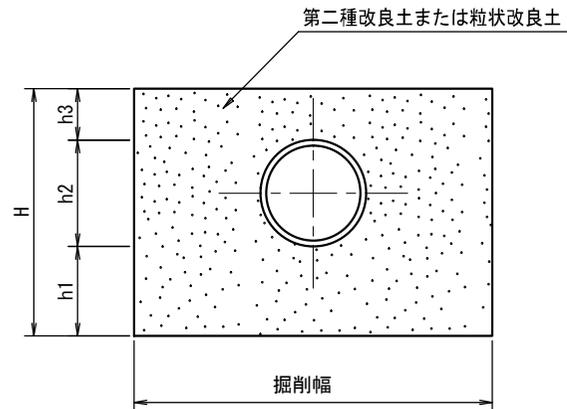
呼び径 (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	近似内径 (mm)	普通地盤・硬質地盤			軟弱地盤			管の控除容積 V1 (m ³)
				H (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)	H (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)	
250	267	7.8	250	234	100	134	434	300	134	0.028
300	318	9.2	298	259	100	159	459	300	159	0.040
350	370	10.5	348	285	100	185	485	300	185	0.054
400	420	11.8	395	310	100	210	510	300	210	0.069
450	470	13.2	442	335	100	235	535	300	235	0.087
500	520	14.6	489	360	100	260	560	300	260	0.106
600	630	17.8	592	415	100	315	615	300	315	0.156

- 注 1. 硬質地盤において転石を含む場合は、軟弱地盤と同じ基礎寸法とする。
 2. 軟弱地盤で基床部の支持力が不足する場合及び基礎砂の流失が予想される場合は、基礎構造を別途検討する。管底部には枕木等を使用してはならない。

管きょ工(360° 砂基礎、硬質塩化ビニル管)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	管きょ工	360° 砂基礎 硬質塩化ビニル管	D B	2019.10

横断面図



寸法表

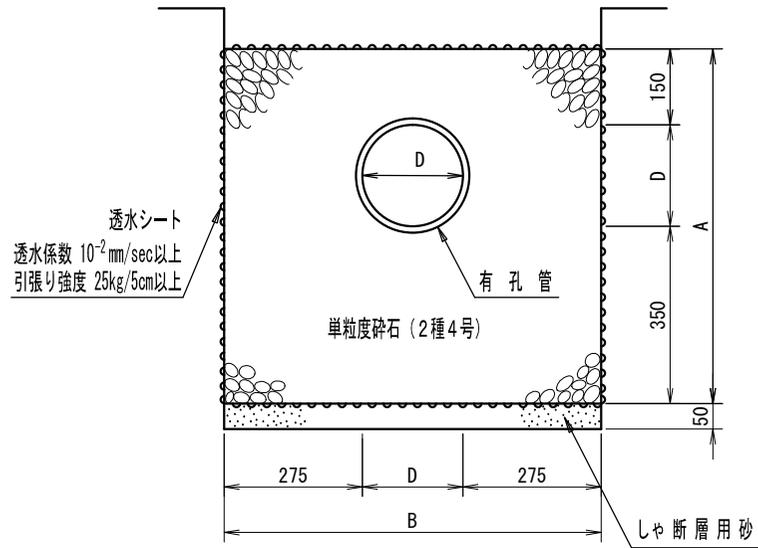
(1.0m当り)

呼び径 (mm)	外径 (mm)	厚さ (mm)	近似内径 (mm)	普通地盤・硬質地盤				軟弱地盤				管の控除容積 V1 (m ³)
				H (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)	h3 (mm)	H (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)	h3 (mm)	
250	267	7.8	250	467	100	267	100	667	300	267	100	0.055
300	318	9.2	298	518	100	318	100	718	300	318	100	0.079
350	370	10.5	348	570	100	370	100	770	300	370	100	0.107
400	420	11.8	395	620	100	420	100	820	300	420	100	0.138
450	470	13.2	442	670	100	470	100	870	300	470	100	0.173
500	520	14.6	489	720	100	520	100	920	300	520	100	0.212
600	630	17.8	592	830	100	630	100	1030	300	630	100	0.311

- 注 1. 硬質地盤において転石を含む場合は、軟弱地盤と同じ基礎寸法とする。
 2. 軟弱地盤で基床部の支持力が不足する場合及び基礎砂の流失が予想される場合は、基礎構造を別途検討する。管底部には枕木等を使用してはならない。

有孔透水管工

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	有孔透水管工		D A B	2019



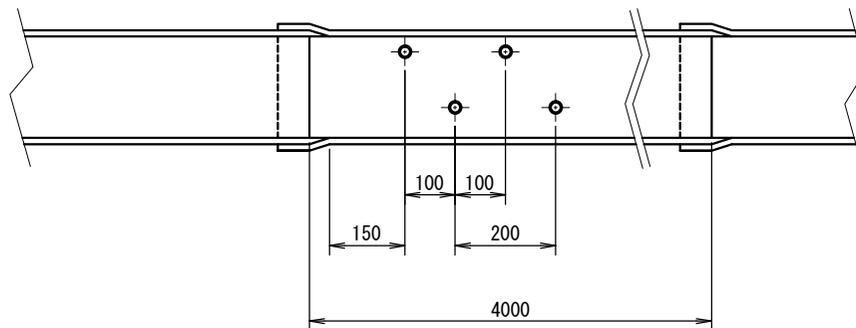
材料表

(100m当り)

D 管径	硬質塩化ビニール管 (有孔管)	単粒度砕石 (2種4号)	しゃ断用砂	透水シート
φ150	25本	43.36m ³	3.50m ³	270.0m ²
φ200	25本	48.84m ³	3.75m ³	290.0m ²
φ250	25本	54.40m ³	4.00m ³	310.0m ²
φ300	25本	60.06m ³	4.25m ³	330.0m ²

寸法表

内径 D	外径 D'	A	B
φ150	165	650	700
φ200	216	700	750
φ250	267	750	800
φ300	318	800	850

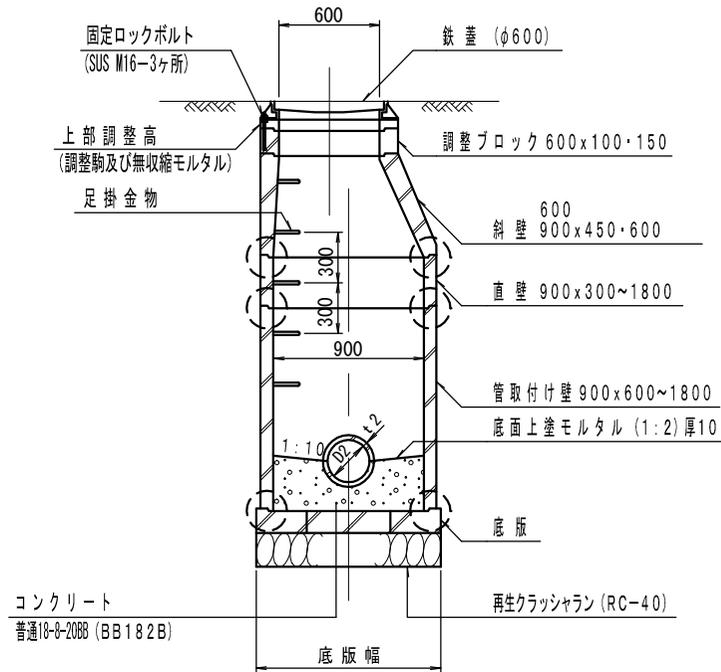


注 調達可能な場合は、再生単粒度砕石を活用できる。

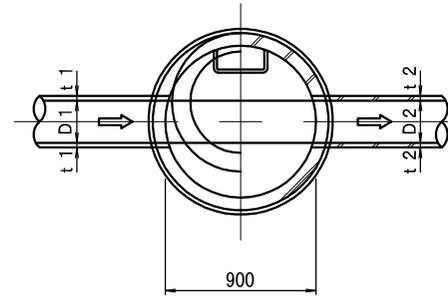
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 円形人孔工	内径 900円形	H	2019

組立円形人孔（内径900円形）

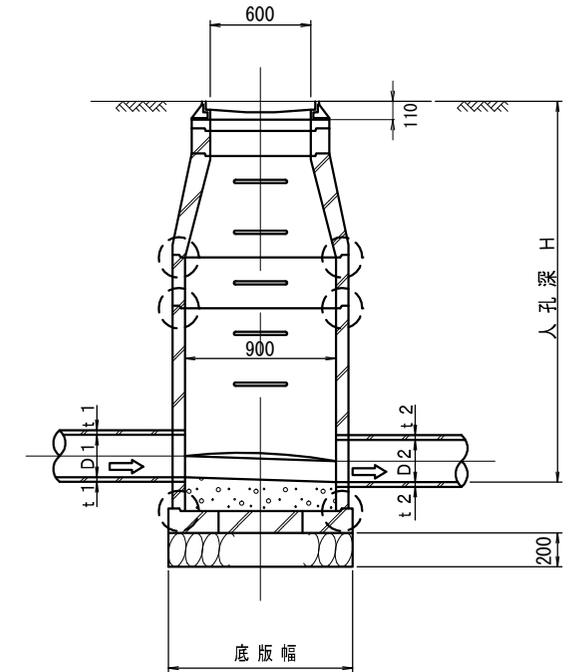
横断面図



平面図



縦断面図

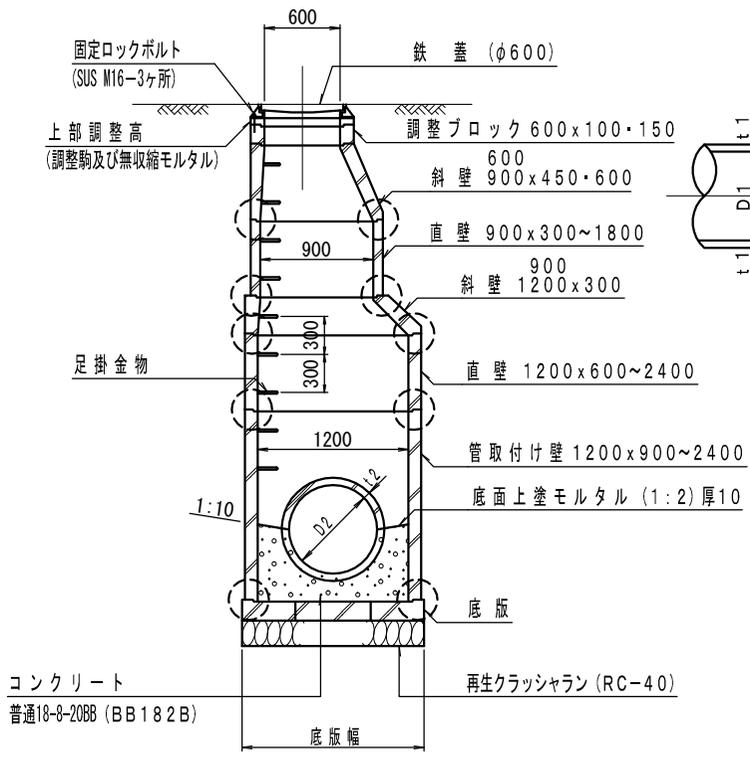


- 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整用ワッシャー等により調整を行う。
- 調整ブロックの両端面、並びにこれと接合する側塊の上端部の形状及び寸法については組立人孔側塊上部継手及び調整ブロックの形状と寸法の許容差による。また、本図○の継手部及び各部材と寸法の許容差は、日本下水道協会規格 JSWAS A-11による。
- 底付管取付け壁及び底版一体型管取付け壁を使用する場合のインバートは、現場打、工場製品のいずれでも良い。
- 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

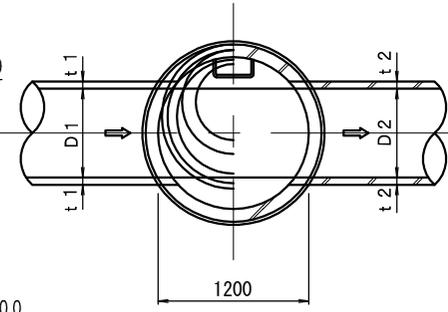
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 円形人孔工	内径 1200A	H	2019

組立円形人孔工 (内径1200A)

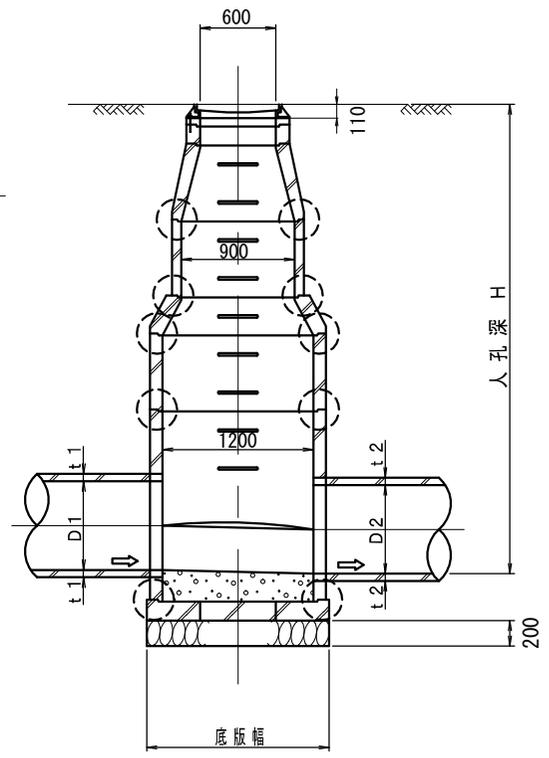
横断面図



平面図



縦断面図

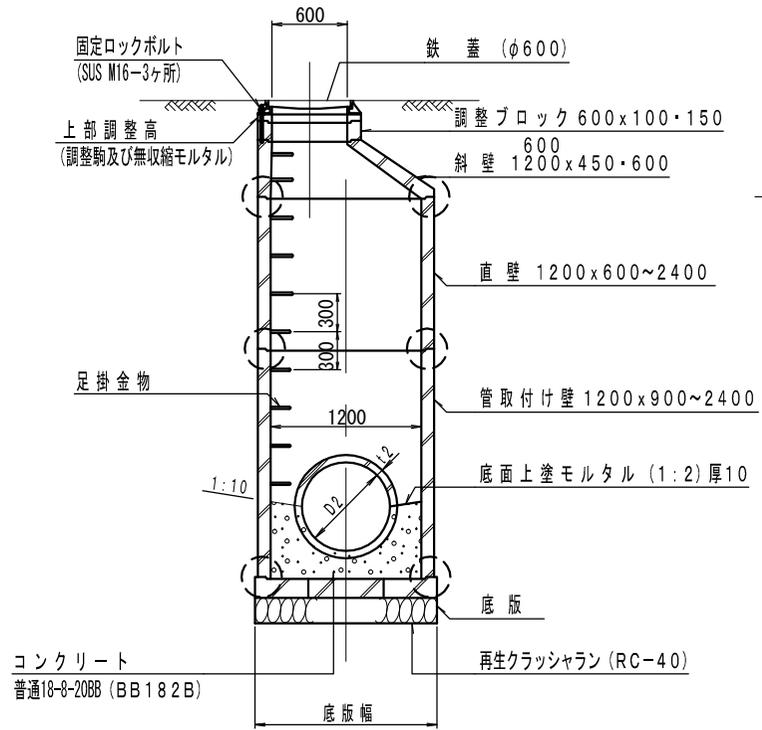


- 注
1. 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整用ワッシャー等により調整を行う。
 2. 調整ブロックの両端面、並びにこれと接合する側塊の上端部の形状及び寸法については組立人孔側塊上部継手及び調整ブロックの形状と寸法の許容差による。また、本図の継手部及び各部材と寸法の許容差は、日本下水道協会規格 JSWAS A-11による。
 3. 底付管取付け壁及び底版一体型管取付け壁を使用する場合のインバートは、現場打、工場製品のいずれでも良い。
 4. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

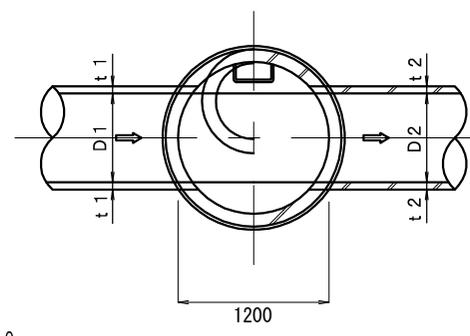
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 円形人孔工	内径 1200B	H	2019

組立円形人孔工 (内径1200B)

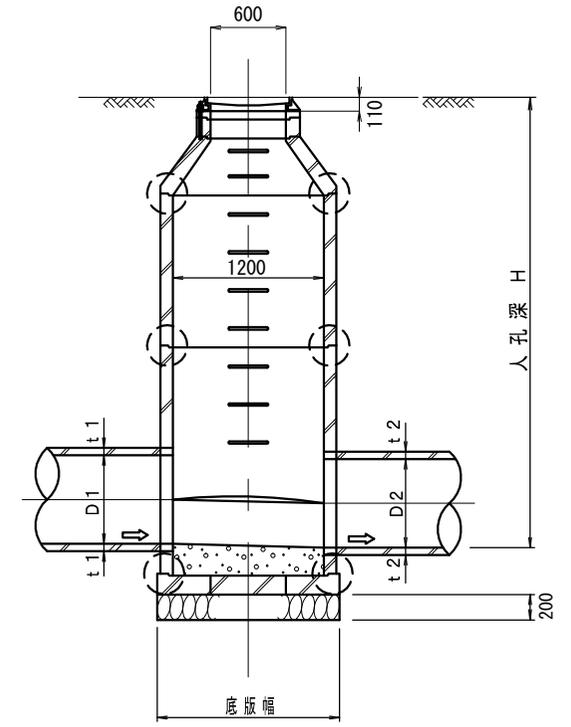
横断面図



平面図



縦断面図

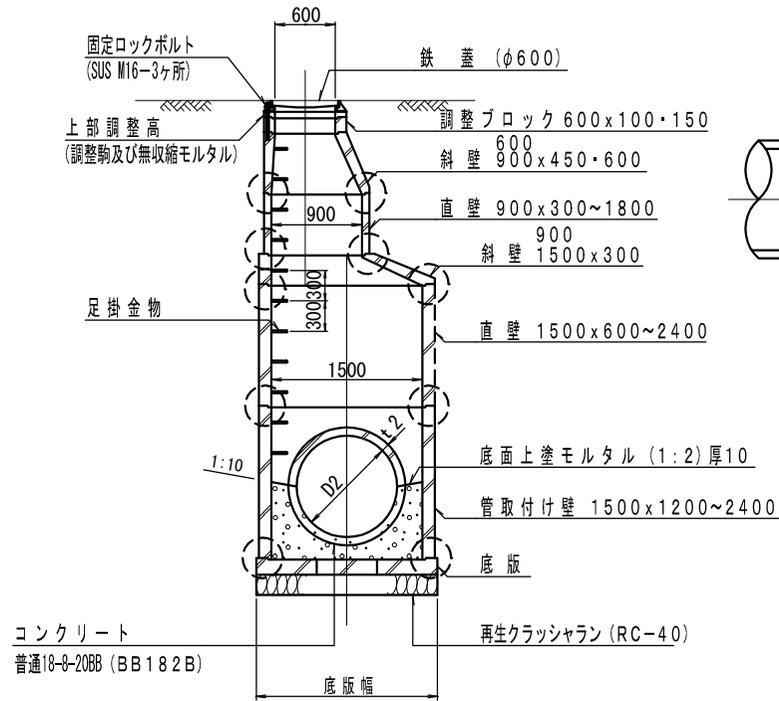


- 注
1. 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整用ワッシャー等により調整を行う。
 2. 調整ブロックの両端面、並びにこれと接合する側塊の上端部の形状及び寸法については組立人孔側塊上部継手及び調整ブロックの形状と寸法の許容差による。また、本図○の継手部及び各部材と寸法の許容差は、日本下水道協会規格 JSWAS A-11による。
 3. 底分管取付け壁及び底版一体型管取付け壁を使用する場合のインパートは、現場打、工場製品のいずれでも良い。
 4. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

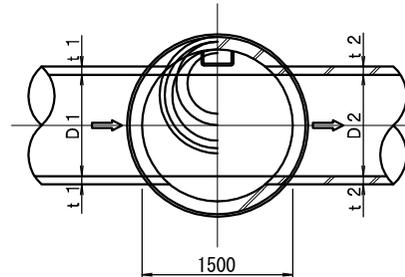
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 円形人孔工	内径 1500A	H	2019

組立円形人孔工（内径1500A）

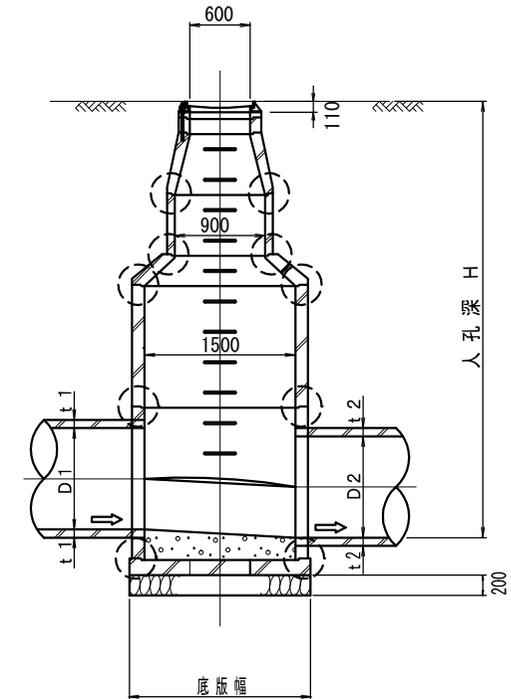
横断面図



平面図



縦断面図

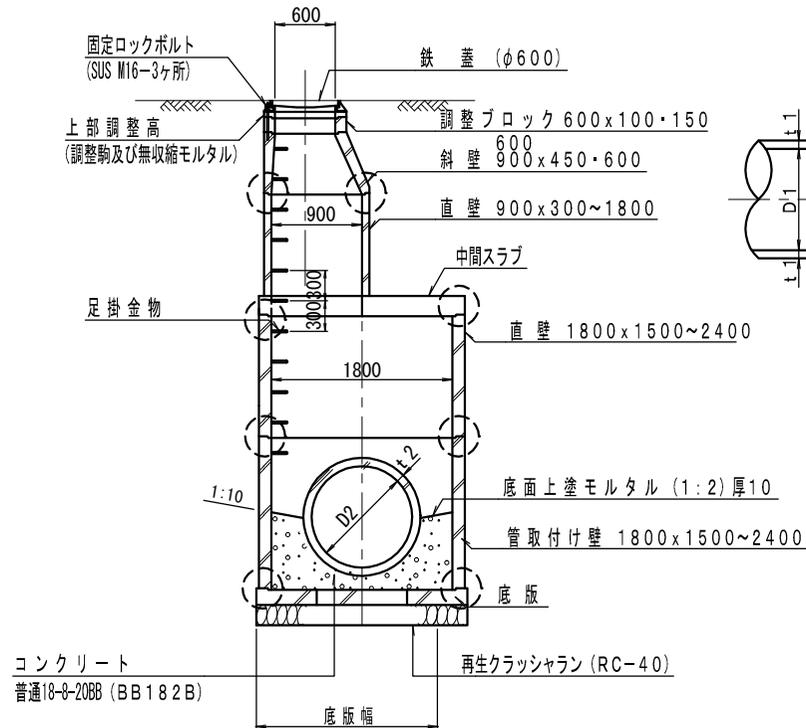


1. 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整用ワッシャー等により調整を行う。
2. 調整ブロックの両端面、並びにこれと接合する側塊の上端部の形状及び寸法については組立人孔側塊上部継手及び調整ブロックの形状と寸法の許容差による。また、本図○の継手部及び各部材と寸法の許容差は、日本下水道協会規格 JSWAS A-11による。
3. 底付管取付け壁及び底版一体型管取付け壁を使用する場合のインパースは、現場打、工場製品のいずれでも良い。
4. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

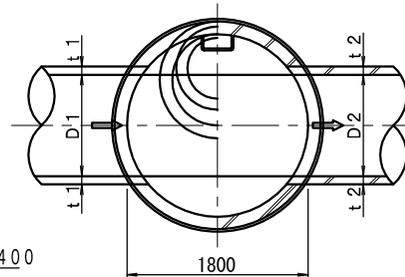
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 円形人孔工	内径 1800A	H	2019

組立円形人孔工（内径1800A）

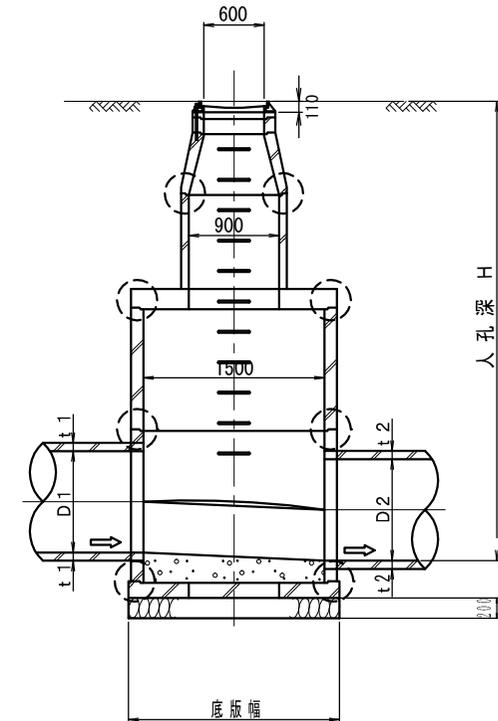
横断面図



平面図



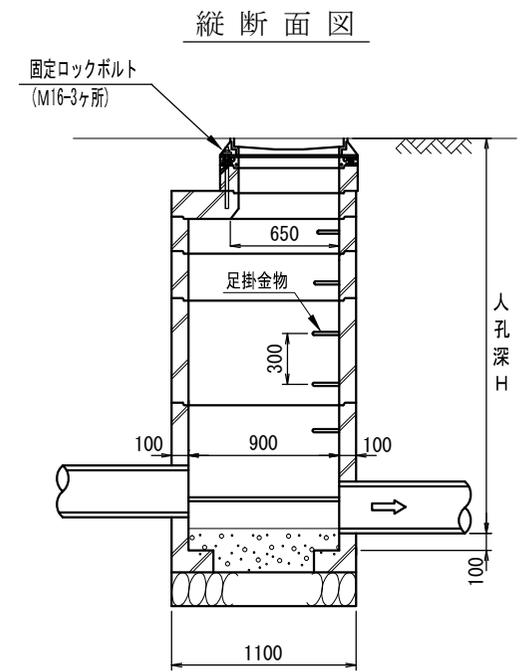
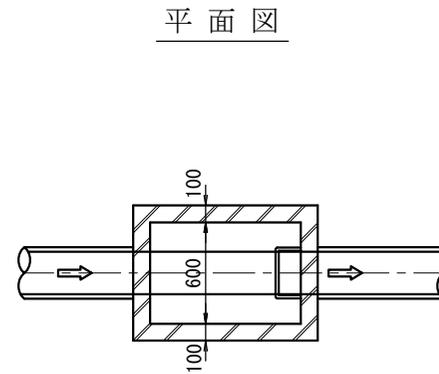
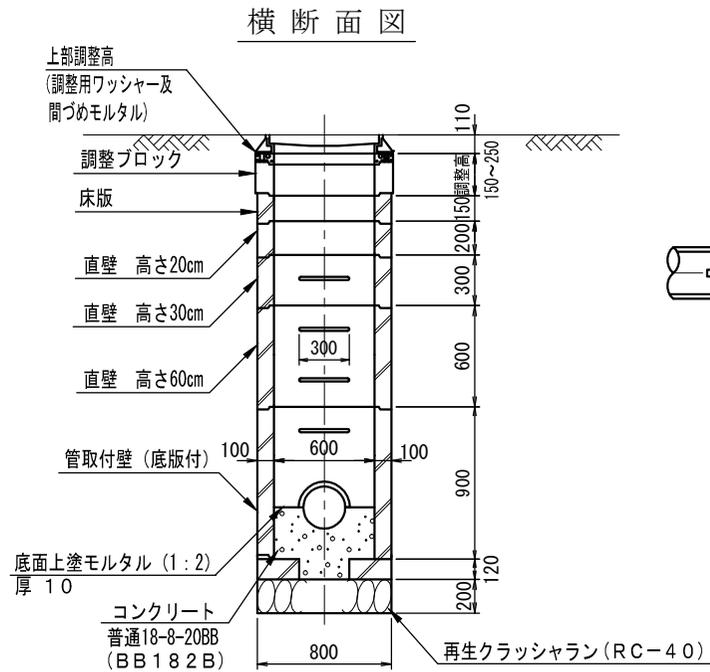
縦断面図



- 注 1. 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整用ワッシャー等により調整を行う。
2. 調整ブロックの両端面、並びにこれと接合する側塊の上端部の形状及び寸法については組立人孔側塊上部継手及び調整ブロックの形状と寸法の許容差による。また、本図○の継手部及び各部材と寸法の許容差は、日本下水道協会規格 JSWAS A-11による。
3. 底付管取付け壁及び底板一体型管取付け壁を使用する場合のインパートは、現場打、工場製品のいずれでも良い。
4. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

組立矩形人孔工 (内法 900×600) S=1/40

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 矩形人孔工	900×600	H	2019

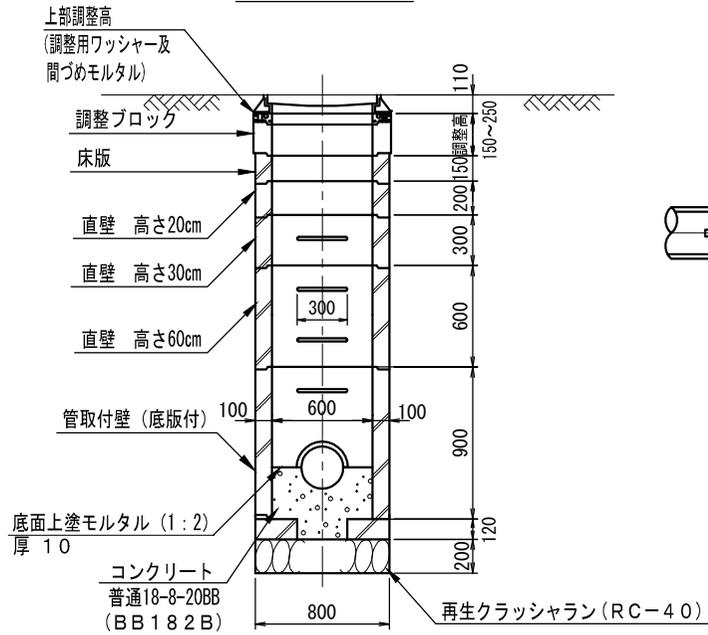


- 注 1. 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整ワッシャー等により調整を行う。
2. 本品は、東京都下水道局及び共同開発者の両者によって、実用新案登録(第2560609号)済みである。
3. 本図の人孔深は、2.00mを超えているが、標準では2.00mまでとする。
4. 下水道局協定工事に使用する場合に、本図を適用する。
当部管理施設に使用する場合は参考図と考えること。
5. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

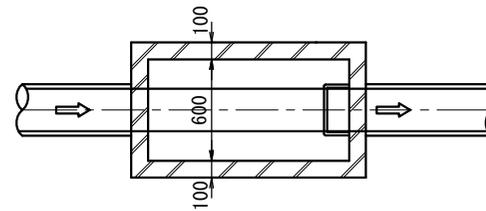
組立矩形人孔工（内法1200×600） S=1/40

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 矩形人孔工	1200×600	H	2019

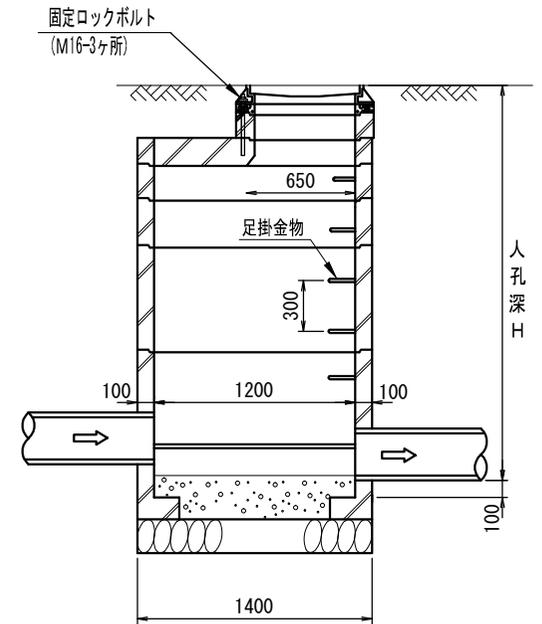
横断面図



平面図



縦断面図



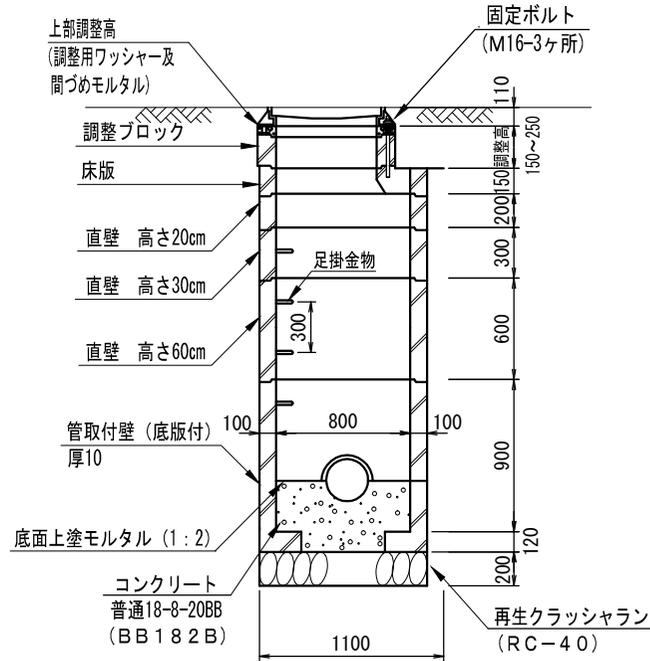
人孔深 H=3.5m 未満

- 注 1. 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整ワッシャー等により調整を行う。
 2. 本品は、東京都下水道局及び共同開発者の両者によって、実用新案登録（第2560609号）済みである。
 3. 下水道局協定工事に使用する場合に、本図を適用する。
 当部管理施設に使用する場合は参考図と考えること。
 4. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

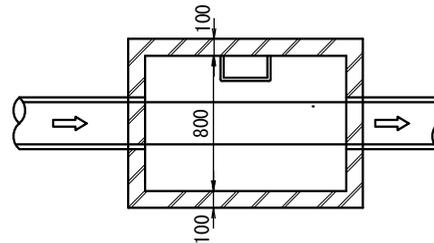
組立矩形人孔工 (内法 1200×800) S=1/40

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 矩形人孔工	1200×800	H	2019

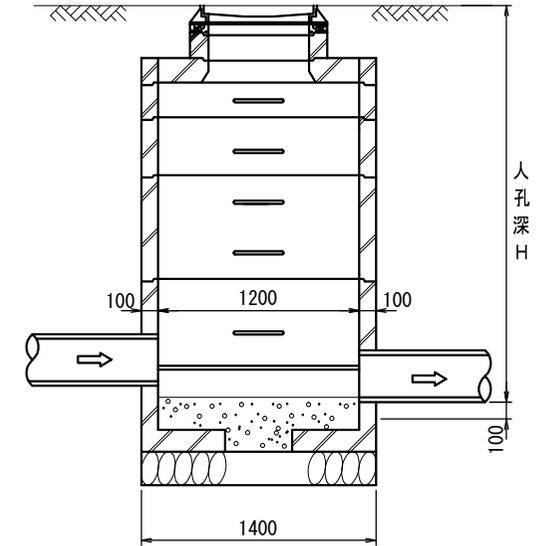
横断面図



平面図



縦断面図

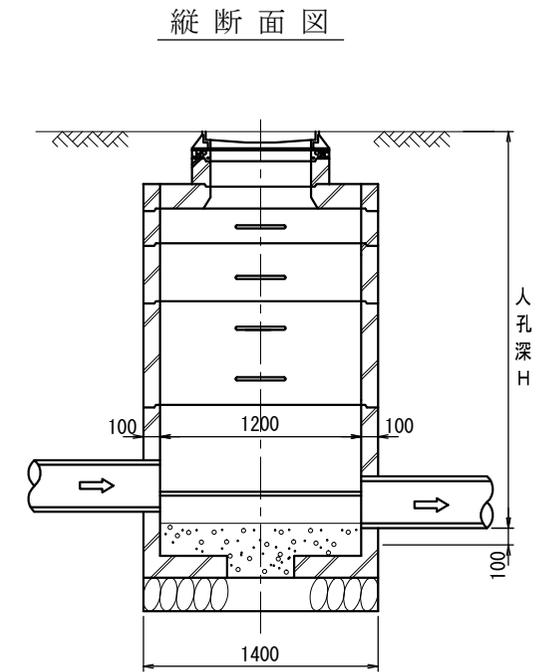
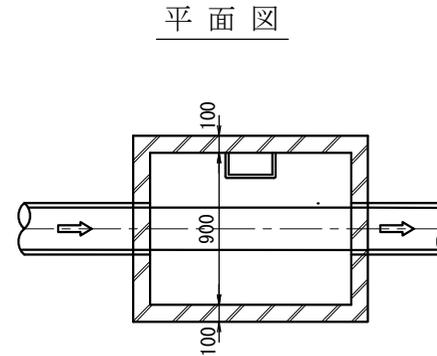
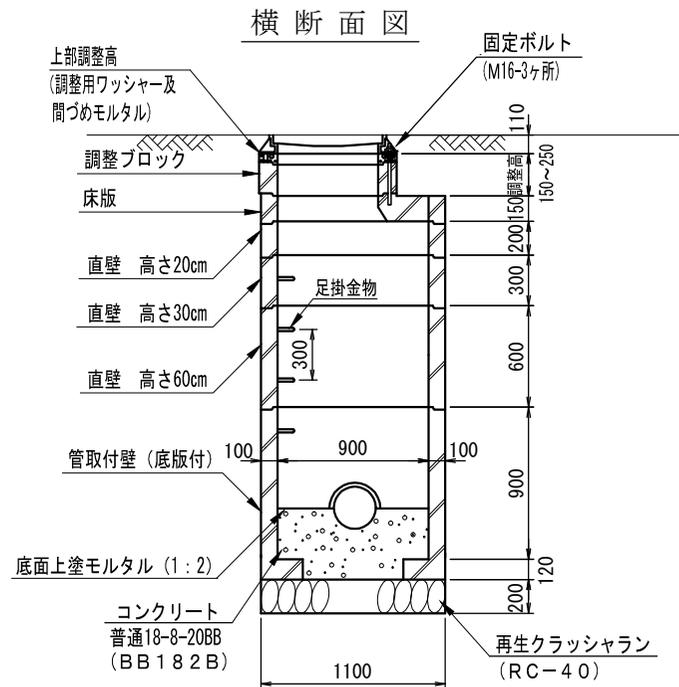


人孔深 H=3.5m 未満

- 注 1. 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整ワッシャー等により調整を行う。
2. 本品は、東京都下水道局及び共同開発者の両者によって、実用新案登録 (第2560609号) 済みである。
3. 下水道局協定工事に使用する場合に、本図を適用する。
当部管理施設に使用の場合は参考図と考えること。
4. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

組立矩形人孔工 (内法 1200×900) S=1/40

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組立 矩形人孔工	1200×900	H	2019



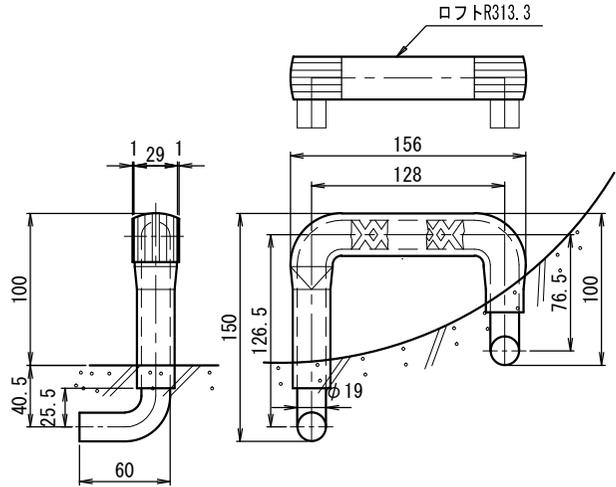
人孔深 H=3.5m 未満

- 注 1. 上部調整高は、調整ブロックで調整できない範囲を微調整する高さであり、現場において、調整ワッシャー等により調整を行う。
2. 本品は、東京都下水道局及び共同開発者の両者によって、実用新案登録 (第2560609号) 済みである。
3. 下水道局協定工事に使用する場合に、本図を適用する。
当部管理施設に使用の場合は参考図と考えること。
4. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

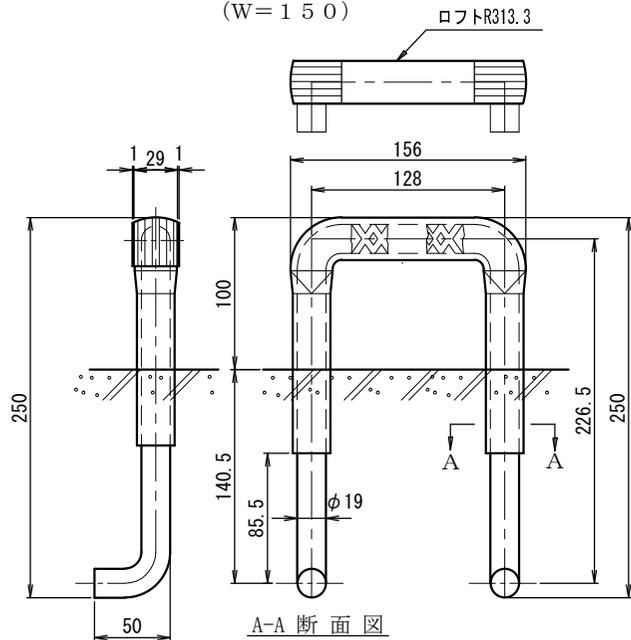
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	足掛金物	コンクリート壁用 人孔側塊用		2019

足掛金物 (コンクリート壁用、人孔側塊用)

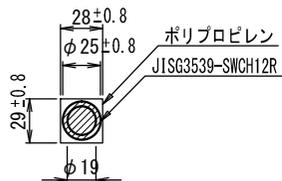
人孔側塊用



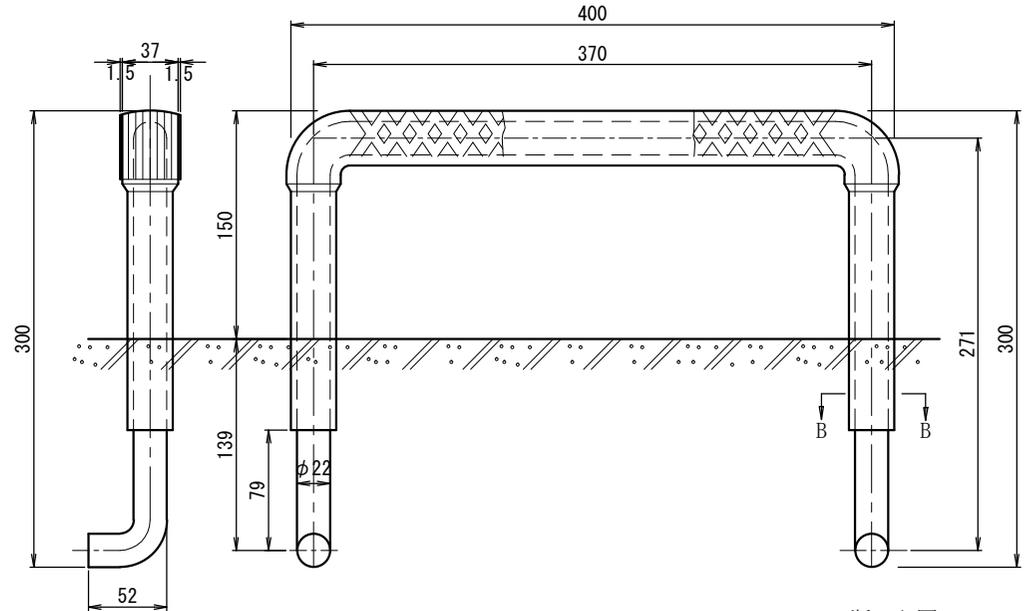
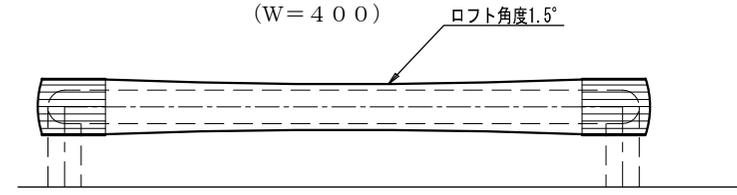
コンクリート壁用
(W=150)



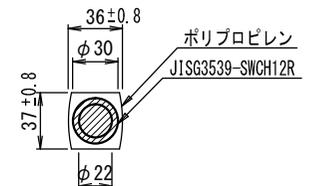
A-A 断面図



コンクリート壁用
(W=400)



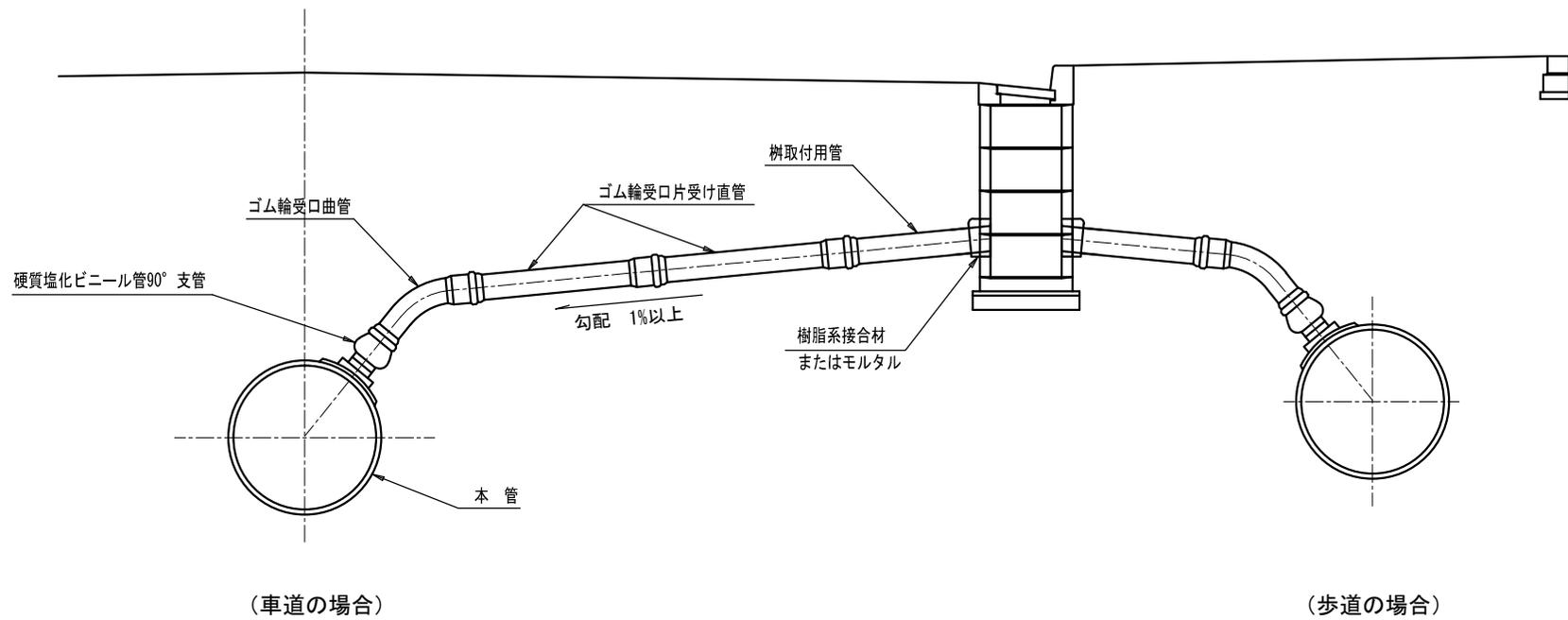
B-B 断面図



注) すべり止めは両面加工とする。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	取付け管及び支管取付工			2019

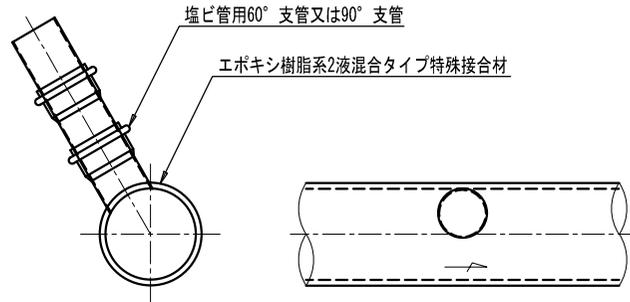
取付け管及び支管取付工標準布設図



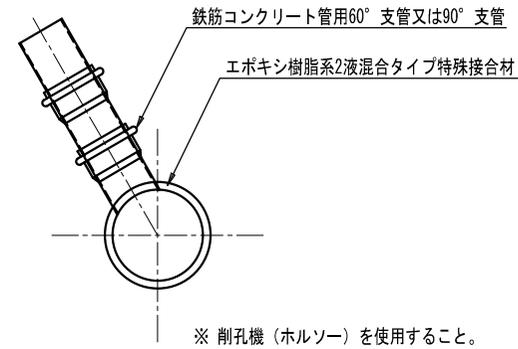
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	既設本管 接続図			2019

既設本管接続図

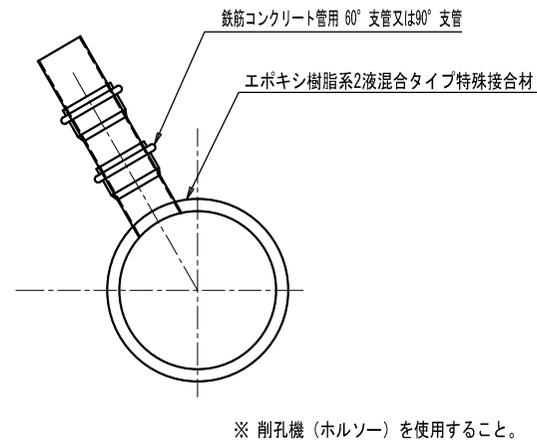
本管が硬質塩化ビニル管の場合



本管が鉄筋コンクリート管で管径 $\phi 200\text{mm} \sim \phi 300\text{mm}$ の場合



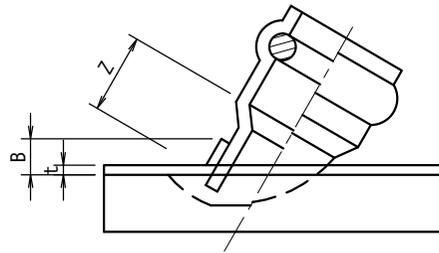
本管が鉄筋コンクリート管で管径 $\phi 350\text{mm}$ 以上の場合



コンクリート管用60° 及び90° 支管 (鉄筋コンクリート管用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	コンクリート管用 60° 90° 支管		D	2019

60度 (略号 60 SHR)



寸法表

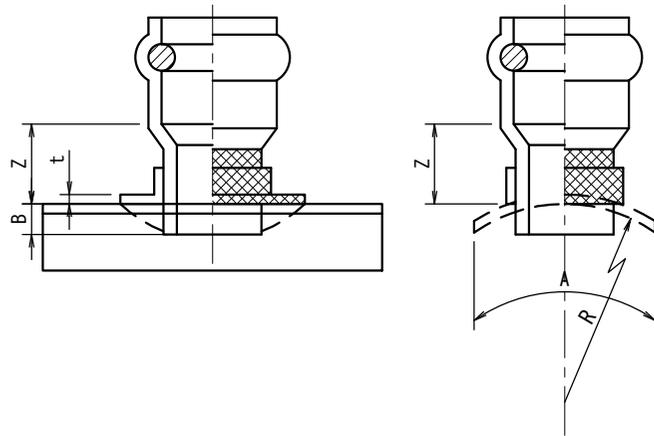
(単位: mm)

呼び径 本管径-取付管径	Z ₁		t (最小)	A (最小)	B (最大)	R	参考質量 kg/個
	60°	90°					
250-150	95	50	4	255	26	153	1.7
250-200	110	50		300			2.4
300-150	95	50	4	255	28	180	1.7
300-200	110	50		300			2.4
350-150	95	50	4	255	30	207	1.7
350-200	110	50		300			2.4
400-150	95	50	4	255	33	235	1.7
400-200	110	50		300			2.4
400-250	130	60		370			3.1
400-300	150	70		370			4.5
450-150	95	50	4	255	36	263	1.7
450-200	110	50		300			2.4
450-250	130	60		370			3.1
450-300	150	70		370			4.5
500-150	95	50	4	255	40	292	1.7
500-200	110	50		300			2.4
500-250	130	60		370			3.1
500-300	150	70		370			4.5
600-150	95	50	4	255	48	350	1.7
600-200	110	50		300			2.5
600-250	130	60		370			3.6
600-300	150	70		370			4.8
700-150	95	50	4	255	56	408	1.7
700-200	110	50		300			2.5
700-250	130	60		370			3.6
700-300	150	70		370			4.8
800-150	95	50	4	255	64	466	1.7
800-200	110	50		300			2.5
800-250	130	60		370			3.6
800-300	150	70		370			4.8
900-150	95	50	4	255	73	525	1.7
900-200	110	50		300			2.5
900-250	130	60		370			3.6
900-300	150	70		370			4.8

(単位: mm)

呼び径 本管径-取付管径	Z ₁		t (最小)	A (最小)	B (最大)	R	参考質量 kg/個
	60°	90°					
1000-150	95	50	4	255	79	582	1.7
1000-200	110	50		300			2.5
1000-250	130	60		370			3.6
1000-300	150	70		370		4.8	
1100-150	95	50	4	255	85	638	1.7
1100-200	110	50		300			2.8
1100-250	130	60		370			4.0
1100-300	150	70		370		5.4	
1200-150	95	50	4	255	92	695	1.7
1200-200	110	50		300			2.8
1200-250	130	60		370			4.0
1200-300	150	70		370		5.4	
1350-150	95	50	4	255	100	778	1.7
1350-200	110	50		300			2.8
1350-250	130	60		370			4.0
1350-300	150	70		370		5.4	
1500-150	95	50	4	255	108	862	1.7
1500-200	110	50		300			2.8
1500-250	130	60		370			4.0
1500-300	150	70		370		5.4	
1650-150	95	50	4	255	116	945	1.7
1650-200	110	50		300			2.8
1650-250	130	60		370			4.0
1650-300	150	70		370		5.4	
1800-150	95	50	4	255	123	1027	1.7
1800-200	110	50		300			2.8
1800-250	130	60		370			4.0
1800-300	150	70		370		5.4	
2000-150	95	50	4	255	140	1145	1.7
2000-200	110	50		300			2.8
2000-250	130	60		370			4.0
2000-300	150	70		370		5.4	

90度 (略号 90 SHR)

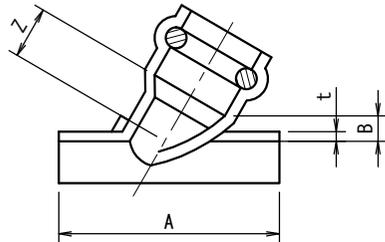


- 注) 1. Zは、呼び径200mm以下は許容差 ±15mm、呼び径250mm以上は最小値を示す。
 2. 受口寸法は、硬質塩化ビニル管(VU)ゴム輪受口片受直管と同値である。但し呼び径150、200mmは取付管形、呼び径250、300mmは本管形である。
 3. ゴム輪の品質は、JIS K 6353 (水道用ゴム) に規定するI類Aに適合したものを使用する。
 4. Rは、標準値を示す。

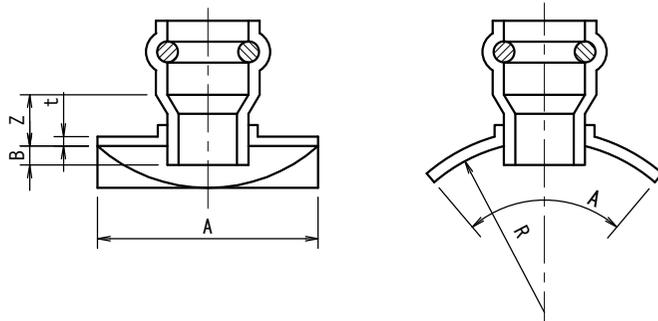
硬質塩化ビニル管用60° 及び90° 支管

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	硬質塩化ビニル管用 60° 及び 90° 支管		D	2019

60度 (略号 60 SVR)



90度 (略号 90 SVR)



寸法表

(単位: mm)

呼び径 本管径-取付管径	Z		t (最小)	A (最小)	B (最大)	R	参考重量 kg/個
	60度	90度					
250-150	95	50	4	300	7.8	133.5	1.7
250-200	110	50					2.4
300-150	95	50	4	300	9.2	159.0	1.7
300-200	110	50					2.4
350-150	95	50	4	300	10.5	185.0	1.7
350-200	110	50					2.4
400-150	95	50	4	300	11.8	210.0	1.7
400-200	110	50					2.4
450-150	95	50	4	300	13.2	235.0	1.7
450-200	110	50					2.4
500-150	95	50	4	300	14.6	260.0	1.7
500-200	110	50					2.4
600-150	95	50	4	300	17.8	315.0	1.7
600-200	110	50					2.5

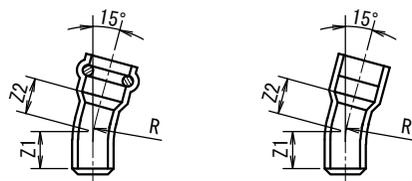
- 注) 1. Zの許容差は、±15mmとする。
 2. Rは標準値を示す。
 3. 受口寸法は、硬質塩化ビニル管(VU)ゴム輪受口片受直管と同種である。

硬質塩化ビニル曲管

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	硬質塩化ビニル曲管		D	2019

15度曲管

ゴム輪受口 (略号 15 SR) 接着受口 (略号 15 ST)



寸法表

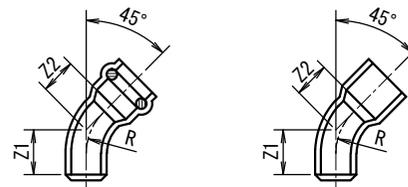
(単位: mm)

呼び径 D	Z1	Z2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
150	129	30	59	90	220
200	149	40	72	110	280

- 注) 1. Z1およびZ2は、呼び径 200mm以下許容差±15mm、呼び径250mm以上は最小値を示す。
 2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする。
 3. 受口寸法は、硬質塩化ビニル管(VU)ゴム輪受口片受直管と同値である。但し呼び径150、200mmは取付管形、呼び径 250、300mmは本管形である。
 4. 呼び径250mm以上は、AS37による。
 5. ゴム輪の品質は、JIS K 6353(水道用ゴム)に規定するI類Aに適合したものを使用する。

45度曲管

ゴム輪受口 (略号 45 SR) 接着受口 (略号 45 ST)



寸法表

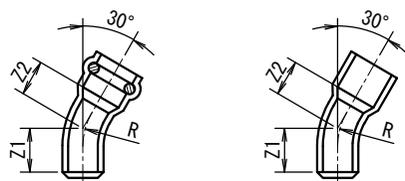
(単位: mm)

呼び径 D	Z1	Z2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
150	191	55	121	90	220
200	228	70	151	110	280

- 注) 1. Z1およびZ2は、呼び径 200mm以下許容差±15mm、呼び径250mm以上は最小値を示す。
 2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする。
 3. 受口寸法は、硬質塩化ビニル管(VU)ゴム輪受口片受直管と同値である。但し呼び径150、200mmは取付管形、呼び径 250、300mmは本管形である。
 4. 呼び径250mm以上は、AS37による。
 5. ゴム輪の品質は、JIS K 6353(水道用ゴム)に規定するI類Aに適合したものを使用する。

30度曲管

ゴム輪受口 (略号 30 SR) 接着受口 (略号 30 ST)



寸法表

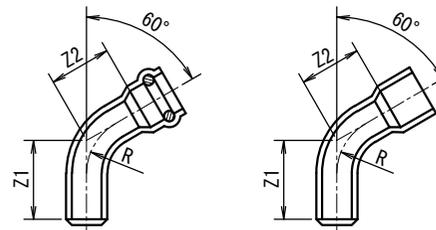
(単位: mm)

呼び径 D	Z1	Z2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
150	159	30	89	90	220
200	187	40	110	110	280

- 注) 1. Z1およびZ2は、呼び径 200mm以下許容差±15mm、呼び径250mm以上は最小値を示す。
 2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする。
 3. 受口寸法は、硬質塩化ビニル管(VU)ゴム輪受口片受直管と同値である。但し呼び径150、200mmは取付管形、呼び径 250、300mmは本管形である。
 4. 呼び径250mm以上は、AS37による。
 5. ゴム輪の品質は、JIS K 6353(水道用ゴム)に規定するI類Aに適合したものを使用する。

60度曲管

ゴム輪受口 (略号 60 SR) 接着受口 (略号 60 ST)



寸法表

(単位: mm)

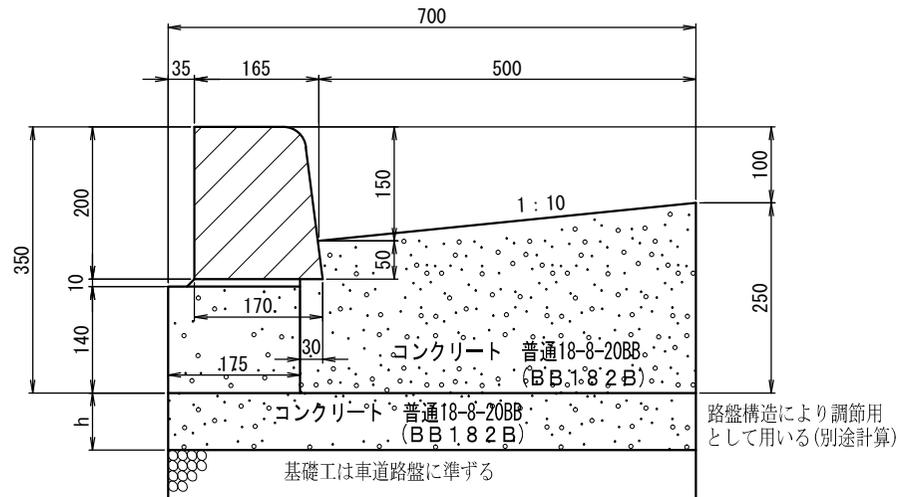
呼び径 D	Z1	Z2		R (参考)	
		射出成形品	2次成形品	射出成形品	2次成形品
150	227	75	157	90	220
200	274	90	199	110	280

- 注) 1. Z1およびZ2は、呼び径 200mm以下許容差±15mm、呼び径250mm以上は最小値を示す。
 2. Z1は、射出成形品及び2次成形品に共通の寸法とする。
 3. 受口寸法は、硬質塩化ビニル管(VU)ゴム輪受口片受直管と同値である。但し呼び径150、200mmは取付管形、呼び径 250、300mmは本管形である。
 4. 呼び径250mm以上は、AS37による。
 5. ゴム輪の品質は、JIS K 6353(水道用ゴム)に規定するI類Aに適合したものを使用する。

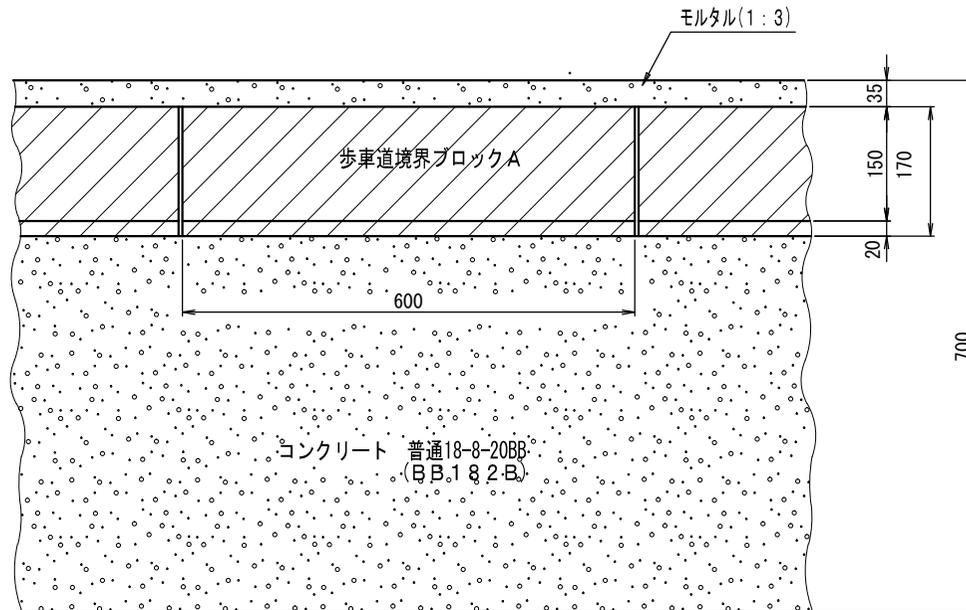
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工	155型	h	2019

街きよ工(155型) S=1/10
(補修用)

横断面図



平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材料表

(100m当り)

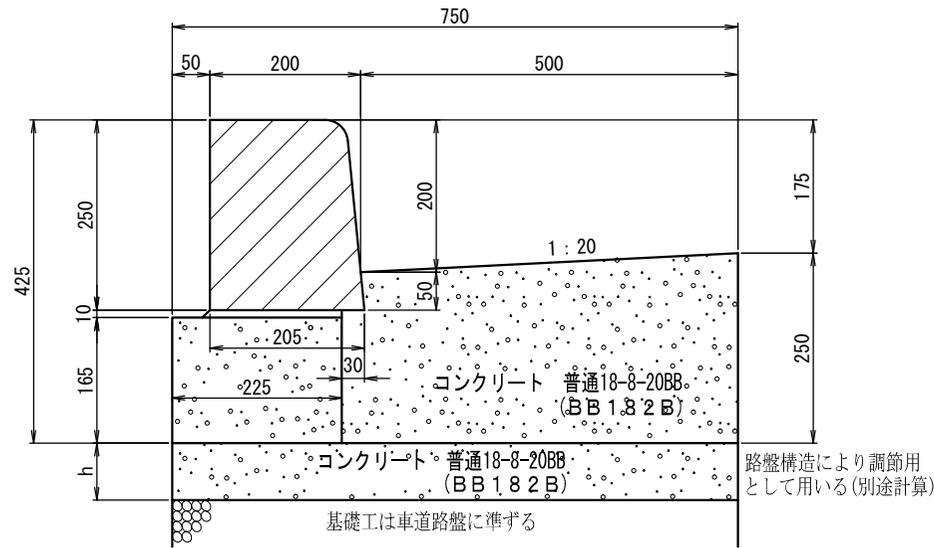
品名	形状寸法	数量	単位	摘要
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	14.1	m ³	
歩車道境界ブロックA	150×200×600	165.0	本	45 kg/個
モルタル	(1:3)	0.1	m ³	敷モルタル用
型枠		53.0	m ²	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

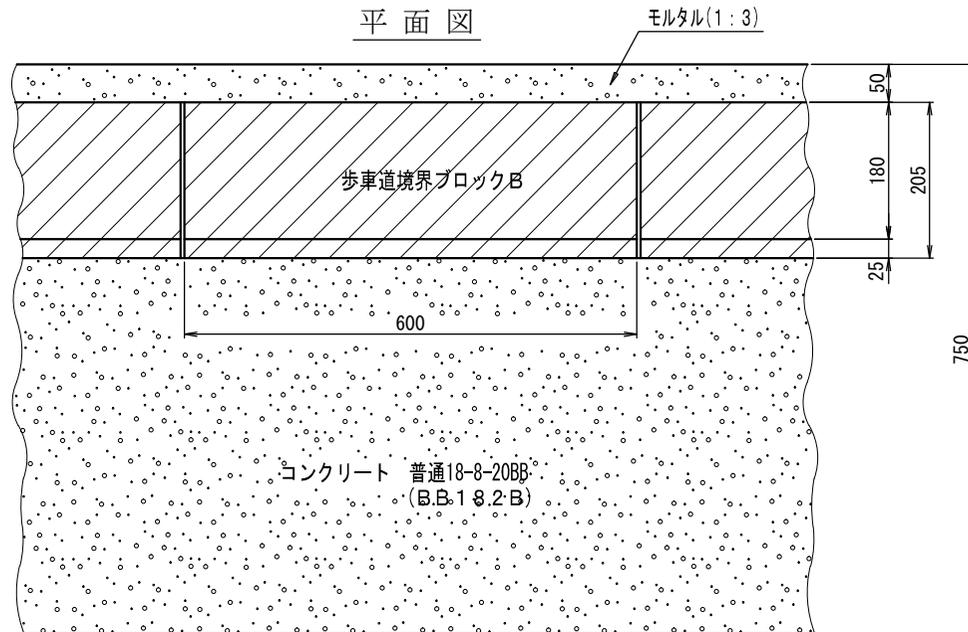
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きょ工	205型	h	2019

街きょ工(205型) S=1/10
(補修用)

横断面図



平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材料表

(100m当り)

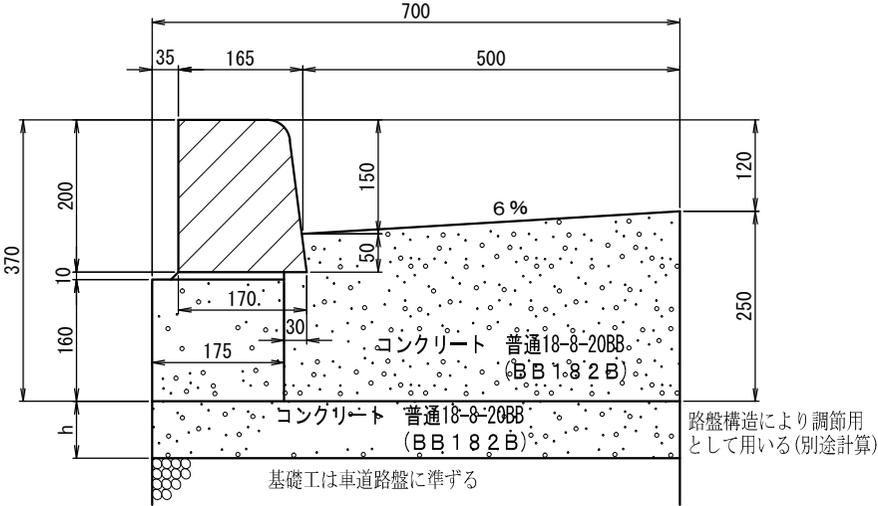
品名	形状寸法	数量	単位	摘要
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	16.0	m ³	
歩車道境界ブロックB	180×250×600	165.0	本	69 kg/個
モルタル	(1:3)	0.1	m ³	敷モルタル用
型枠		58.0	m ²	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

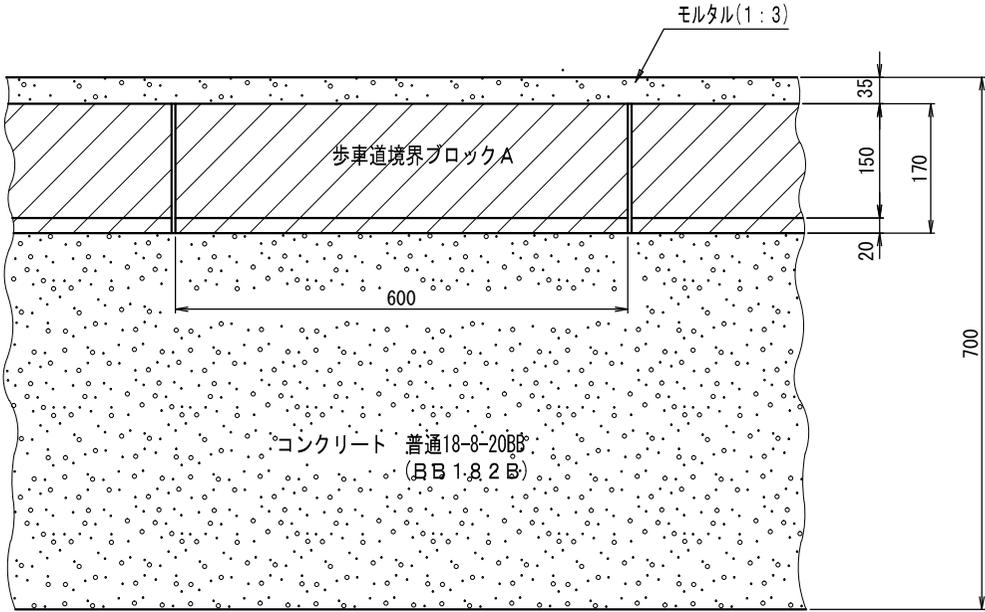
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工	155型	h	2019

街きよ工(155型) S=1/10

横断面図



平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材 料 表

(100m当り)

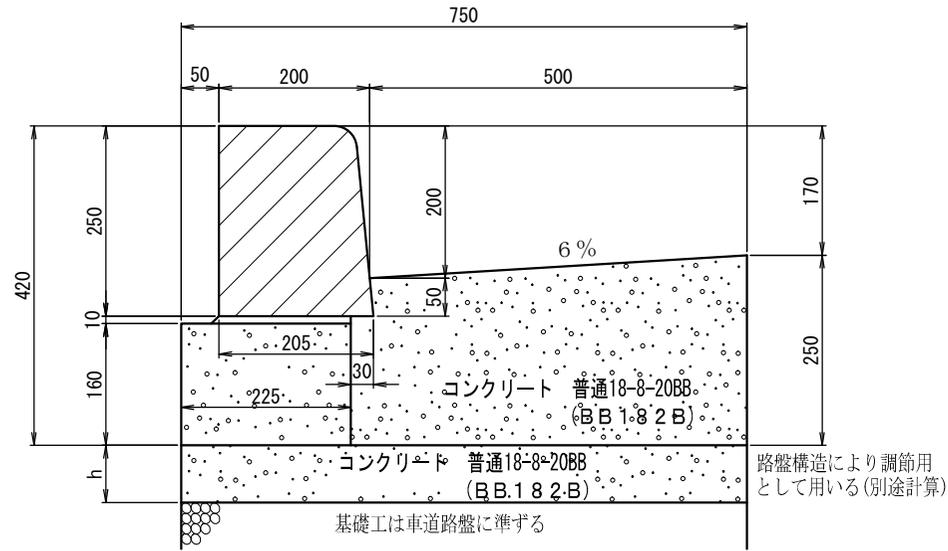
品 名	形状寸法	数 量	単 位	摘 要
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	15.0	m ³	
歩車道境界ブロックA	150×200×600 170	165.0	本	45 kg/個
モルタル	(1:3)	0.1	m ³	敷モルタル用
型 枠		57.0	m ²	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

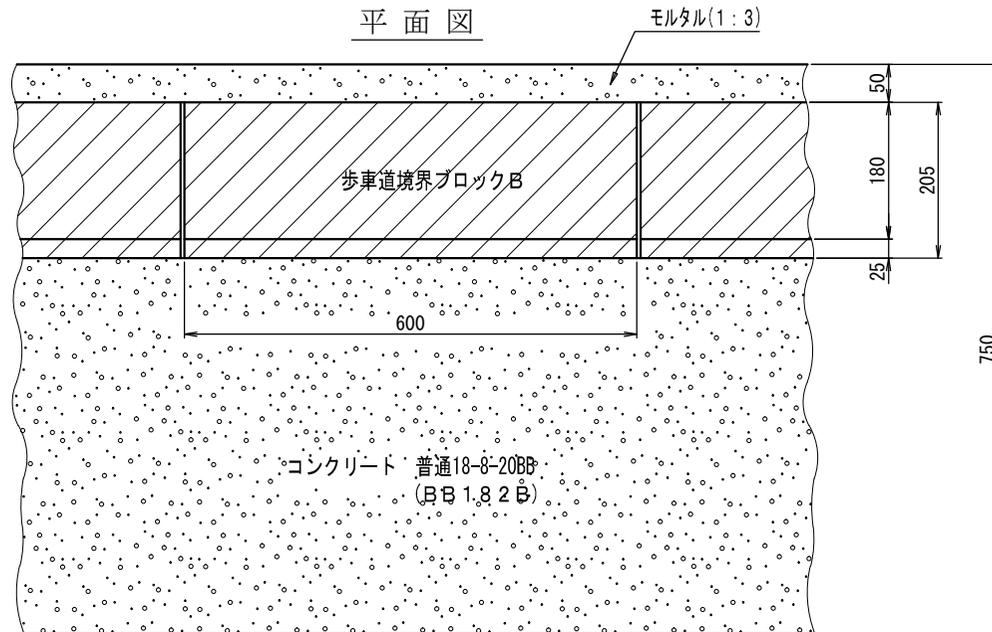
街きよ工(205型) S=1/10

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工	205型	h	2019

横断面図



平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材料表

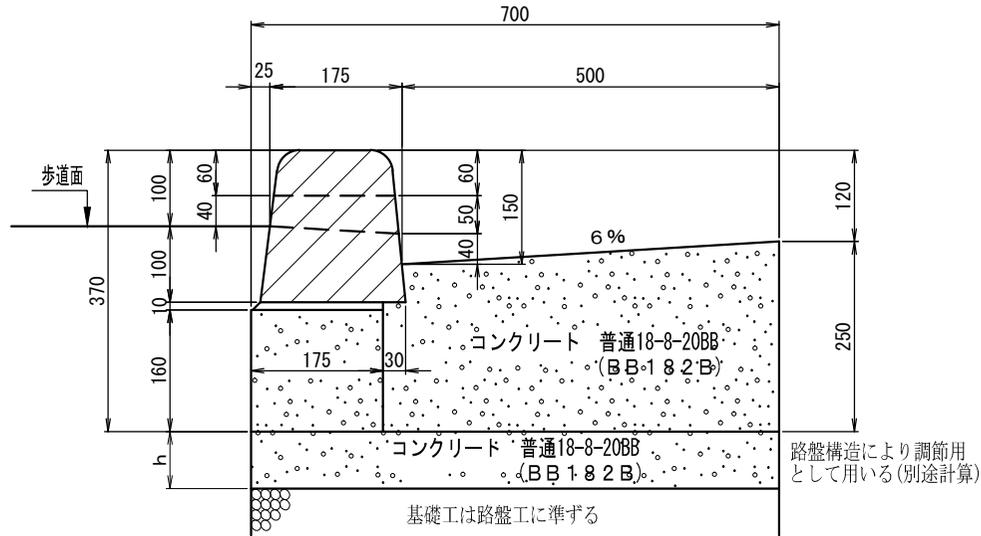
(100m当り)

品名	形状寸法	数量	単位	摘要
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	15.8	m ³	
歩車道境界ブロックB	180/205×250×600	165.0	本	69 kg/個
モルタル	(1:3)	0.2	m ³	敷モルタル用
型枠		57.0	m ²	

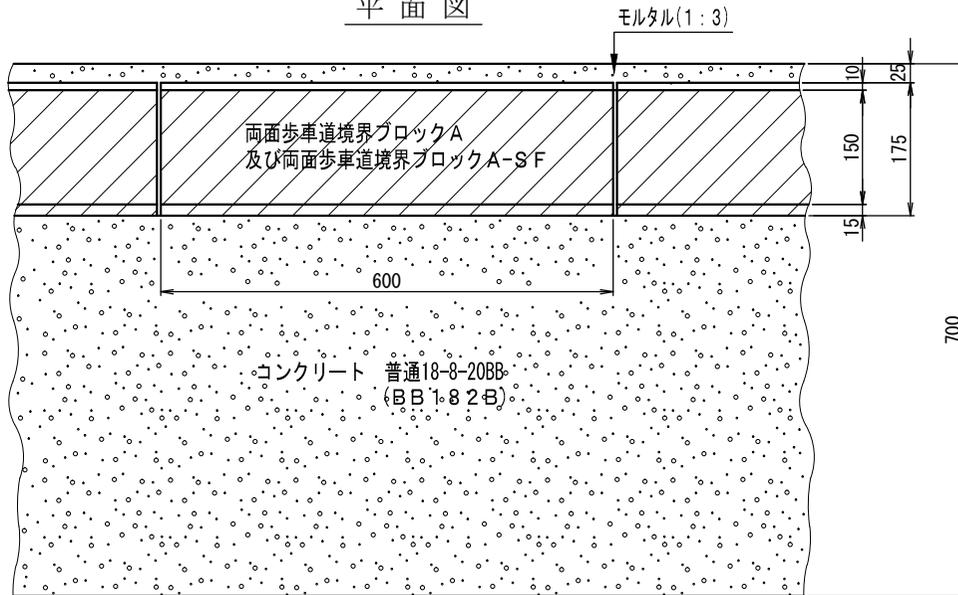
(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きよ工(155SF型) S=1/10

横断面図



平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工	155SF型	h	2019

材料表

(100m当り)

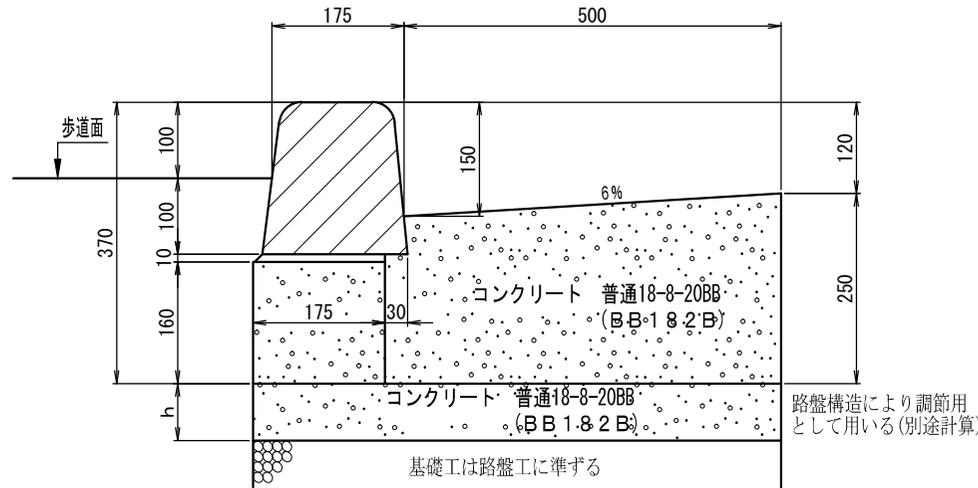
品名	形状寸法	単位	数量	備考
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	m ³	15.0	
両面歩車道境界ブロックA	150/190×200×600	本	83.0	49 kg/個
両面歩車道境界ブロックA-SF	150/190×200×600 (水抜き)	本	82.0	37 kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.2	
型枠		m ²	57.0	

(注) 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きよ工(155SF型)端末 S=1/10

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工	155SF型 端末	h	2019

横断面図



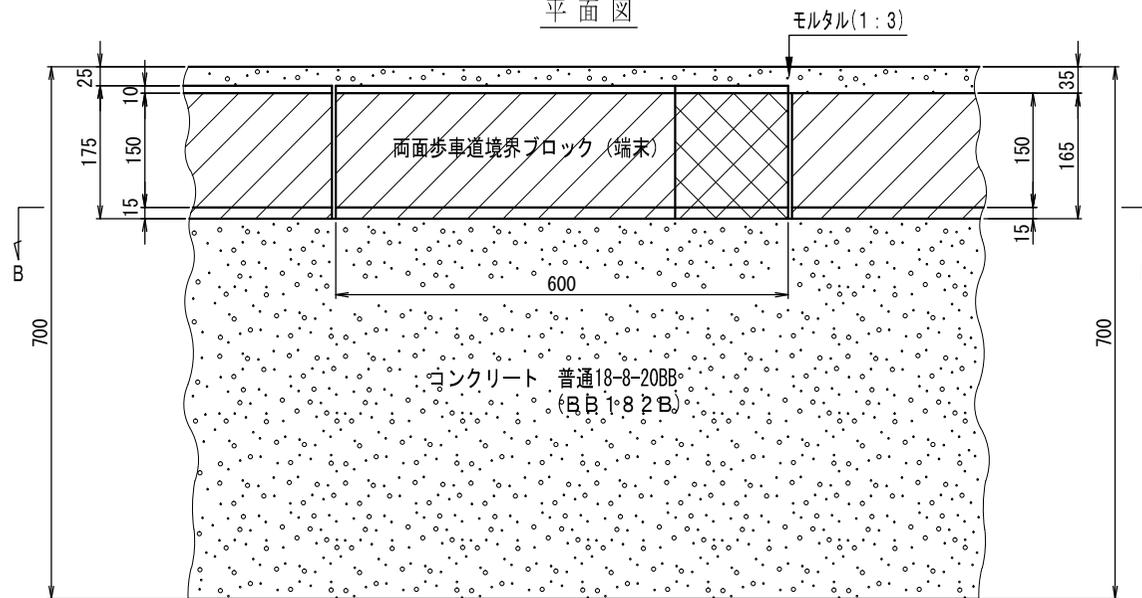
材料表

(100箇所当り)

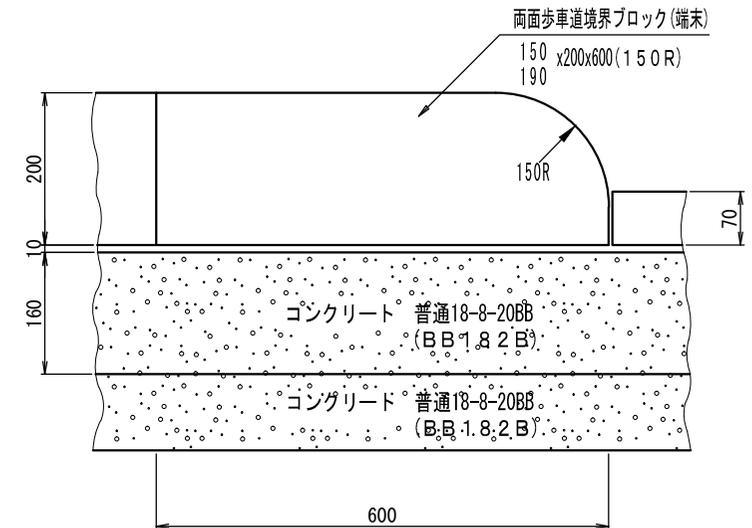
品名	形状寸法	数量	単位	摘要
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	18.0	m ³	
両面歩車道境界ブロック(端末)	150 190×200×600(R150)	200.0	本	44 kg/個
モルタル	(1:3)	0.2	m ³	
型枠		68.4	m ²	

(注1) 本材料表は、すりつけ部両側の数量である。
 (注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

平面図



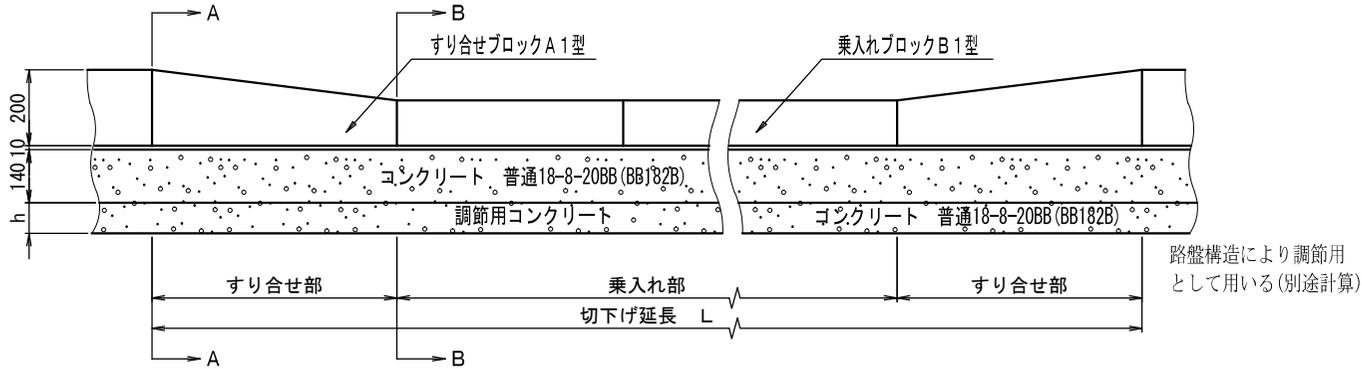
B-B断面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

街きよ工(155型 車乗入れ部) S=1/20
(補修用)

正面図



路盤構造により調節用として用いる(別途計算)

(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

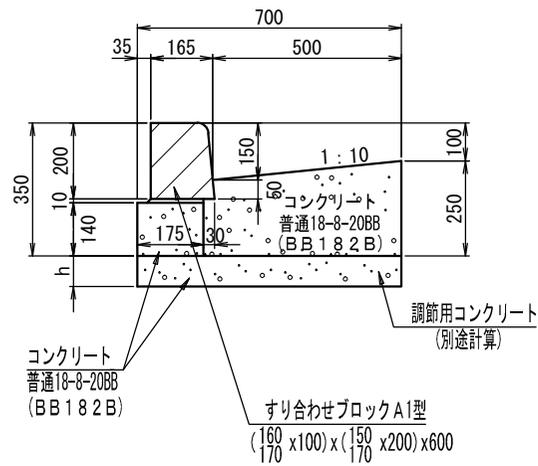
材料表

(100箇所当り)

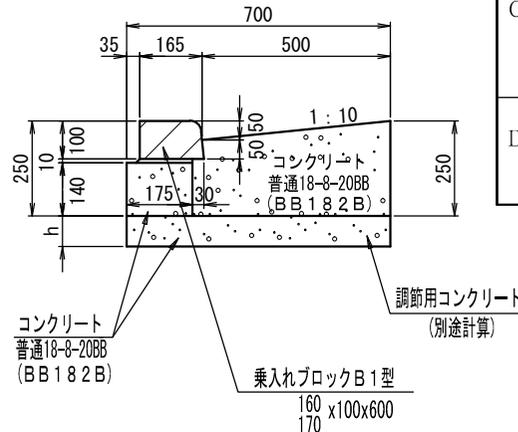
型式	切り下延長 L (cm)	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B) (m ³)	モルタル 1:3 (m ³)	型 枠 (m ²)	すり合せ ブロック A1型 (個)	乗入れ ブロック B1型 (個)	収容施設の種別 (参考)
A型	303	42.6	0.4	160.6	200 (35kg/個)	300 (24kg/個)	軽自動車を収容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	59.7	0.6	224.8	200 (35kg/個)	500 (24kg/個)	小型自動車(8の一部及び 4,5,6ナンバー)及び 普通自動車(3の一部) を収容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	76.7	0.8	289.1	200 (35kg/個)	700 (24kg/個)	小型自動車(8の一部及び 4,5,6ナンバー)及び 普通自動車(3の一部) を収容する施設で前面道 路の狭い場合 (例 2t~4tトラック)
D型	727	102.3	1.1	385.5	200 (35kg/個)	1,000 (24kg/個)	普通自動車(3,8の一部 及び1,2ナンバー)を収 容する施設 (例 大型トラック)

(注1) 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

A-A 断面図



B-B 断面図

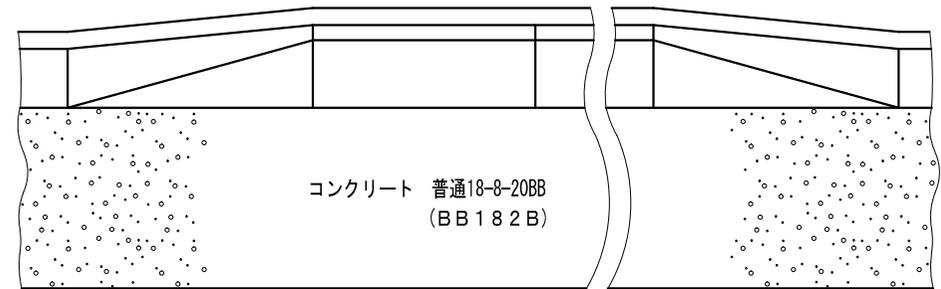
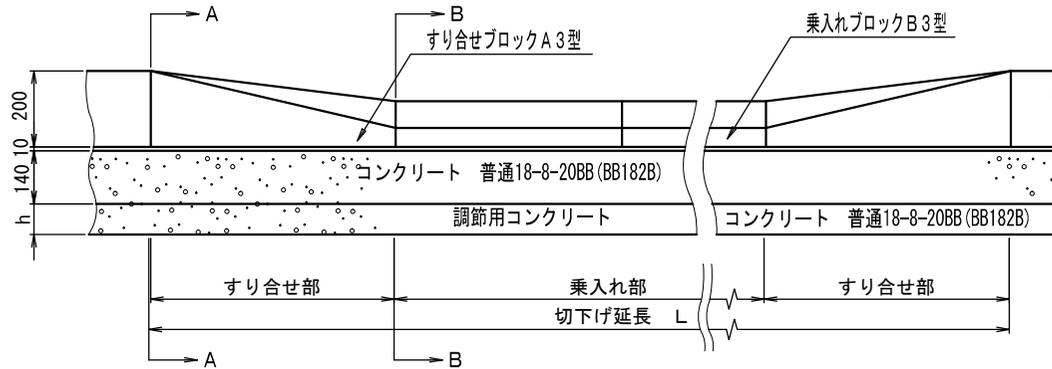


街きよ工 (155-1型 車乗入れ部) S=1/20
(補修用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工 (車乗入れ部)	155-1型	T h	2019

正面図

平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

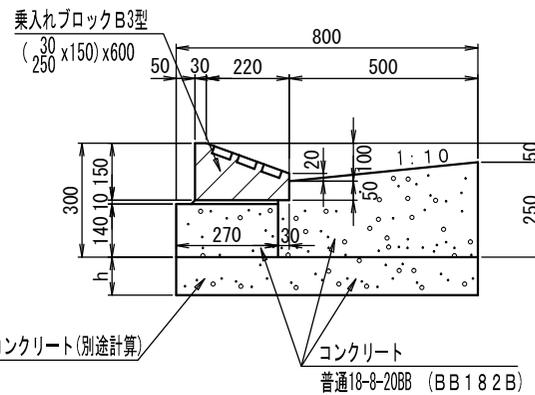
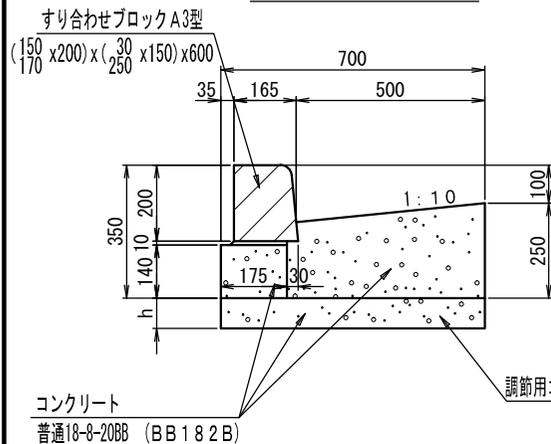
材料表

(100箇所当り)

型式	切り下 延長 L (cm)	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B) (m ³)	モルタル 1:3 (m ³)	型 枠 (m ²)	すり合せ ブロック A3型 (個)	乗入れ ブロック B3型 (個)	收容施設の種別 (参考)
T							
A型	303	46.1	0.6	160.6	200 (44kg/個)	300 (39kg/個)	軽自動車を收容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	64.9	0.9	224.8	200 (44kg/個)	500 (39kg/個)	小型自動車 (8の一部及 び4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を收容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	83.7	1.2	289.1	200 (44kg/個)	700 (39kg/個)	小型自動車 (8の一部及 び4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を收容する施設で前面道 路の狭い場合 (例 2t~4tトラック)
D型	727	111.8	1.6	385.5	200 (44kg/個)	1,000 (39kg/個)	普通自動車 (3,8の一部 及び1,2ナンバー) を収 容する施設 (例 大型トラック)

A-A 断面図

B-B 断面図



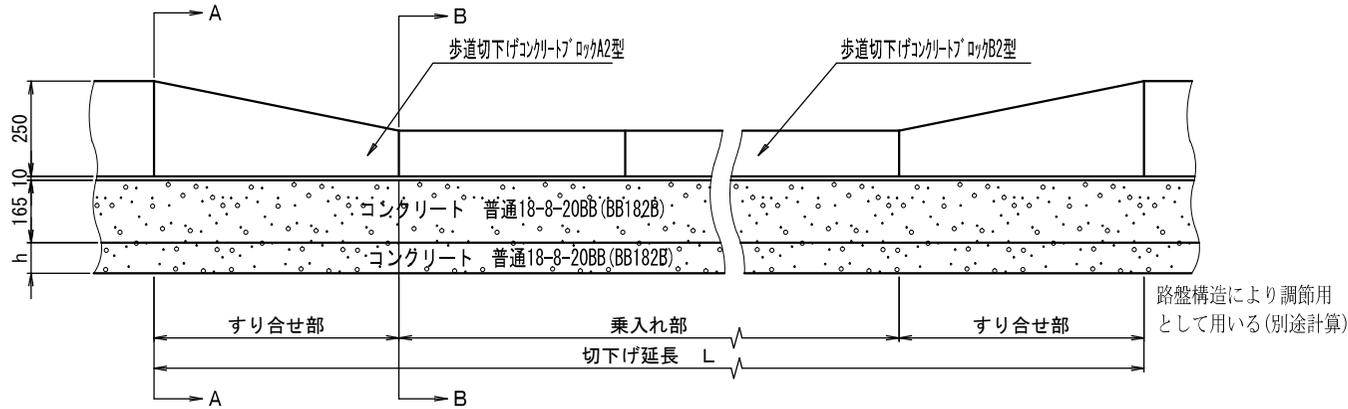
(注1) 收容施設の延長は、種別を参考に收容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きよ工(205型 車乗入れ部) S=1/20
(補修用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工 (車乗入れ部)	205型	T h	2019

正面図



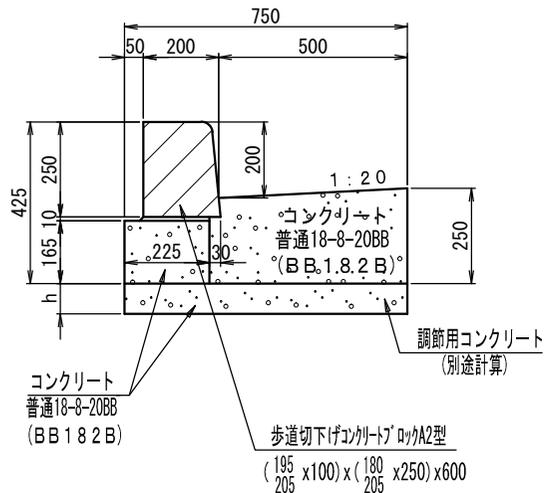
(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材料表

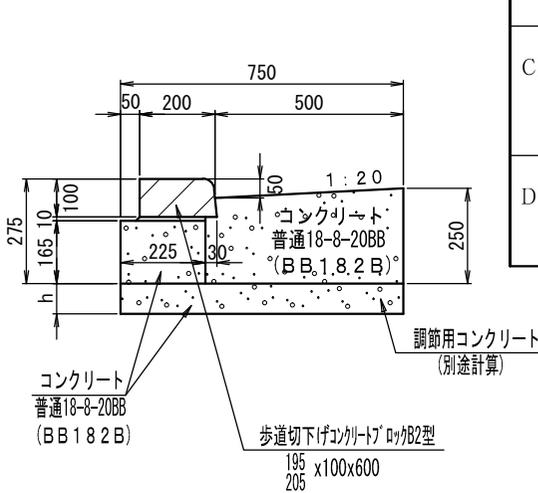
(100箇所当り)

型式	切り下延長 L (cm)	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B) (m ³)	モルタル 1:3 (m ³)	型 枠 (m ²)	すり合せ ブロック A2型 (個)	乗入れ ブロック B2型 (個)	収容施設の種別 (参考)
A型	303	48.5	0.5	175.7	200 (43kg/個)	300 (28kg/個)	軽自動車を受容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	67.5	0.8	246.0	200 (43kg/個)	500 (28kg/個)	小型自動車(8の一部及び 4,5,6ナンバー)及び 普通自動車(3の一部) を受容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	87.4	1.0	316.4	200 (43kg/個)	700 (28kg/個)	小型自動車(8の一部及び 4,5,6ナンバー)及び 普通自動車(3の一部) を受容する施設で前面道 路の狭い場合 (例 2t~4tトラック)
D型	727	116.5	1.3	421.8	200 (43kg/個)	1,000 (28kg/個)	普通自動車(3,8の一部 及び1,2ナンバー)を受 容する施設 (例 大型トラック)

A-A 断面図



B-B 断面図

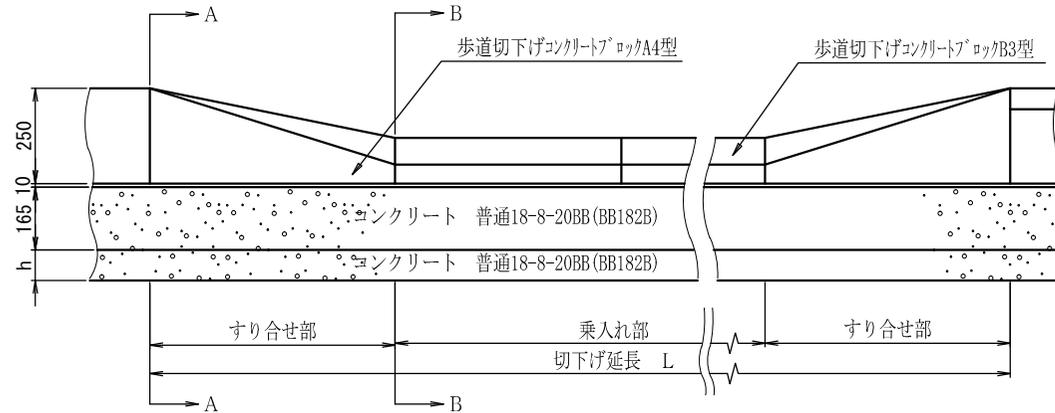


(注1) 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

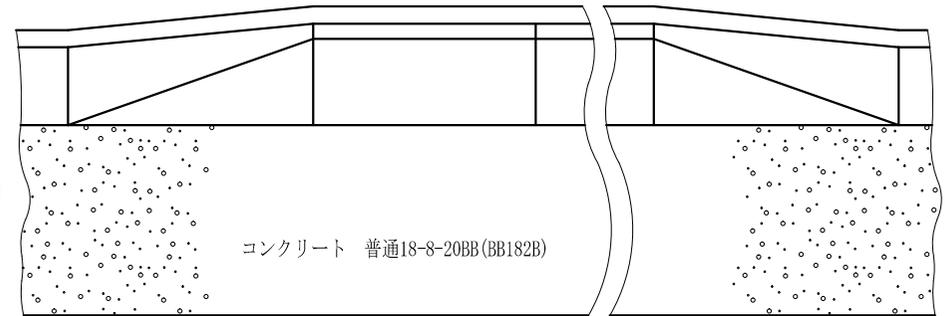
街きよ工(205-1型 車乗入れ部) S=1/20
(補修用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工 (車乗入れ部)	205-1型	T h	2019

正面図



平面図



- (注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。
(注2) 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

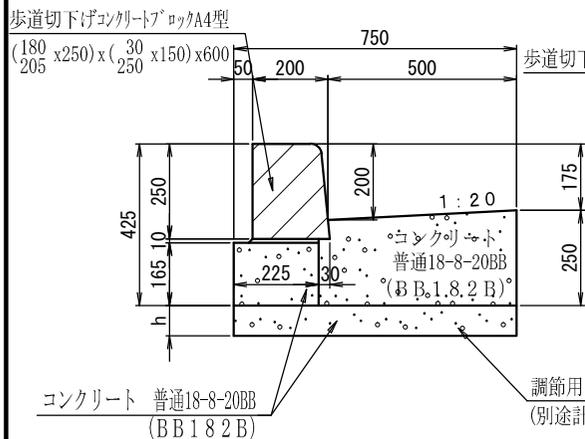
材 料 表

(100箇所当り)

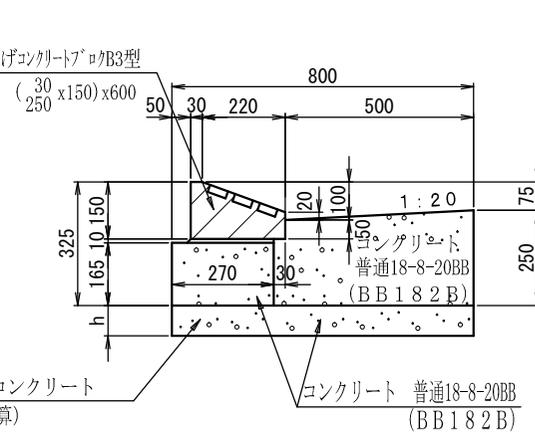
型式	切り下 延長 L (cm)	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B) (m ³)	モルタル 1:3 (m ³)	型 枠 (m ²)	すり合せ ブロック A4型 (個)	乗入れ ブロック B3型 (個)	収容施設の種別 (参考)
A型	303	50.6	0.6	175.7	200 (50kg/個)	300 (39kg/個)	軽自動車収容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	71.1	0.9	246.0	200 (50kg/個)	500 (39kg/個)	小型自動車(8の一部及び 4,5,6ナンバー)及び 普通自動車(3の一部) を収容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	91.5	1.2	316.4	200 (50kg/個)	700 (39kg/個)	小型自動車(8の一部及び 4,5,6ナンバー)及び 普通自動車(3の一部) を収容する施設で前面道路 の狭い場合 (例 2t~4tトラック)
D型	727	122.2	1.6	421.8	200 (50kg/個)	1,000 (39kg/個)	普通自動車(3,8の一部 及び1,2ナンバー)を収容 する施設 (例 大型トラック)

(注) 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。

A-A 断面図



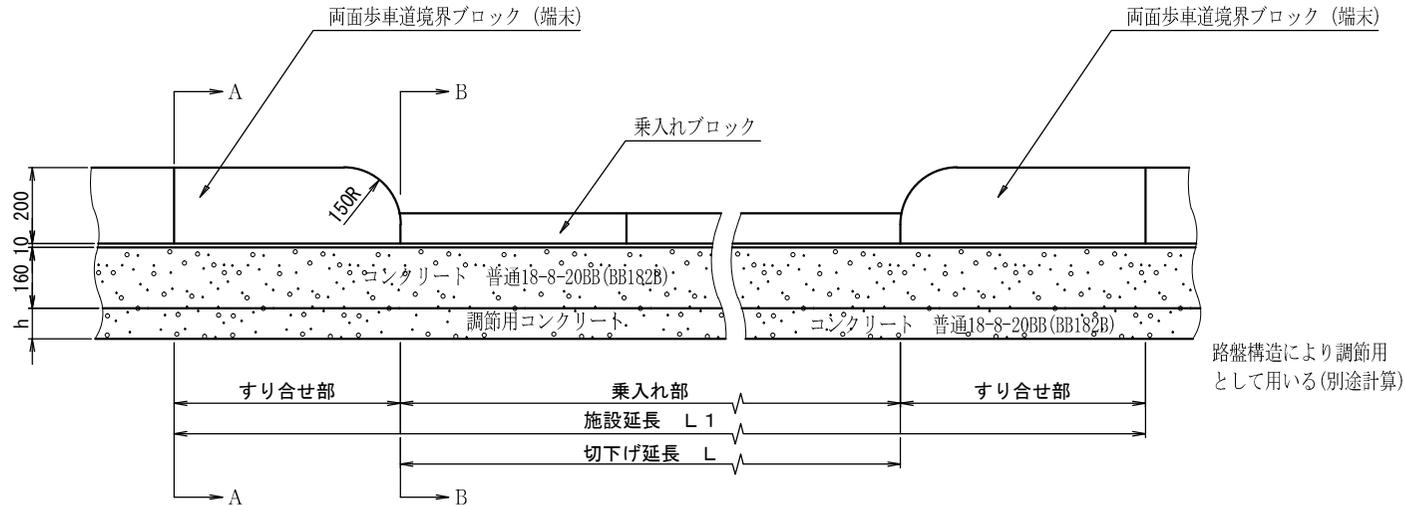
B-B 断面図



街きょ工(155SF型 車乗入れ部) S=1/20

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きょ工 (車乗入れ部)	155 SF 型	T h	2019

正面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材料表

(100箇所当り)

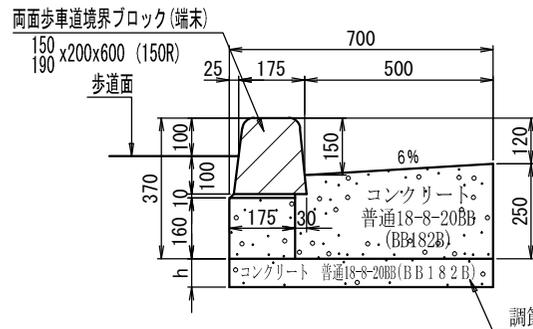
型式	切り下 延長	施設 延長	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B)	モルタル 1:3	型 枠	両面歩車道 境界ブロック (端末)	乗入れ ブロック	収容施設の種別 (参考)
T	L (cm)	L1 (cm)	(m ³)	(m ³)	(m ²)	(個)	(個)	
A型	303	424	63.4	0.7	241.7	200 (44kg/個)	500 (23kg/個)	軽自動車を収容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	545	81.5	0.9	310.7	200 (44kg/個)	700 (23kg/個)	小型自動車 (8の一部及 び4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	666	99.7	1.1	379.6	200 (44kg/個)	900 (23kg/個)	小型自動車 (8の一部及 び4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を収容する施設で前面道 路の狭い場合 (例 2t~4tトラック)
D型	727	848	126.9	1.4	483.4	200 (44kg/個)	1,200 (23kg/個)	普通自動車 (3,8の一部 及び1,2ナンバー) を収 容する施設 (例 大型トラック)

(注1) 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。

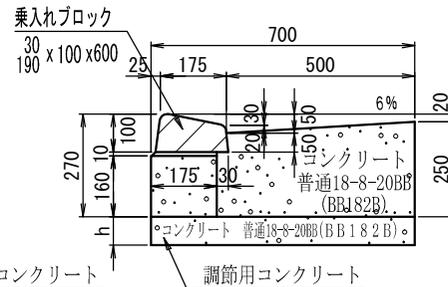
材料表には端末ブロック数量を含む。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

A-A 断面図



B-B 断面図

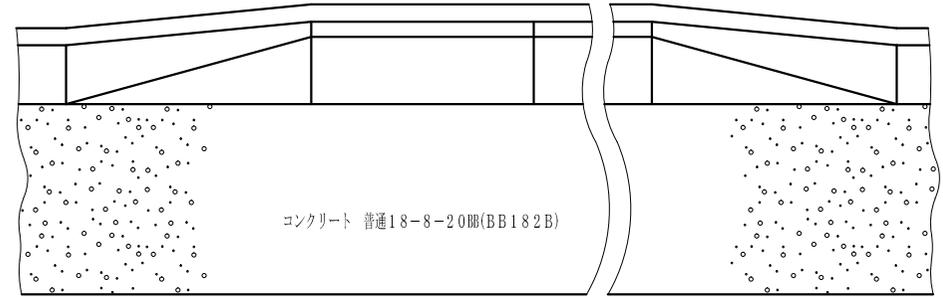
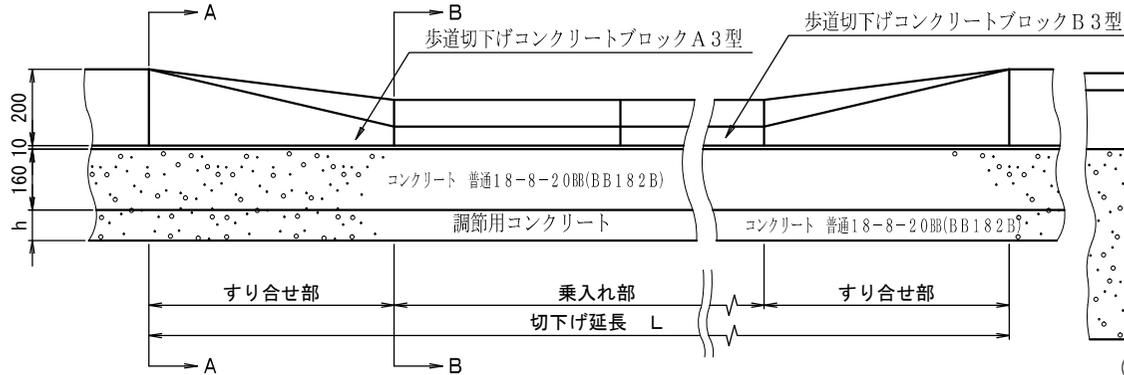


街きよ工(155-1型 車乗入れ部) S=1/20

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工 (車乗入れ部)	155-1型	T h	2019

正面図

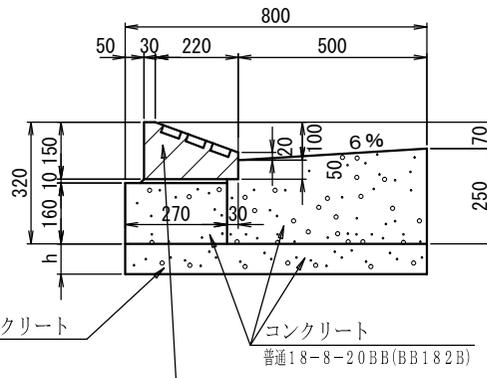
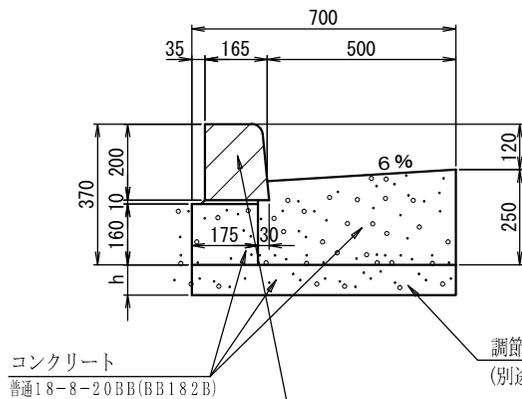
平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

A-A 断面図

B-B 断面図



コンクリート
普通18-8-20BB(BB182B)

調節用コンクリート
(別途計算)

歩道切下げコンクリートブロックA3型

$(\frac{150}{170} \times 200) \times (\frac{30}{250} \times 150) \times 600$

コンクリート
普通18-8-20BB(BB182B)

歩道切下げコンクリートブロックB3型

$(\frac{30}{250} \times 150) \times 600$

材料表

(100箇所当り)

型式	切り下 延長 L (cm)	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B) (m ³)	モルタル 1:3 (m ³)	型 枠 (m ²)	すり合せ ブロック A3型 (個)	乗入れ ブロック B3型 (個)	收容施設の種別 (参考)
T							
A型	303	49.0	0.6	172.7	200 (44kg/個)	300 (39kg/個)	軽自動車を收容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	69.0	0.9	241.7	200 (44kg/個)	500 (39kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を收容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	88.9	1.2	310.7	200 (44kg/個)	700 (39kg/個)	小型自動車 (8の一部及び 4,5,6ナンバー) 及び 普通自動車 (3の一部) を收容する施設で前面道 路の狭い場合 (例 2t~4tトラック)
D型	727	118.9	1.6	414.4	200 (44kg/個)	1,000 (39kg/個)	普通自動車 (3,8の一部 及び1,2ナンバー) を収 容する施設 (例 大型トラック)

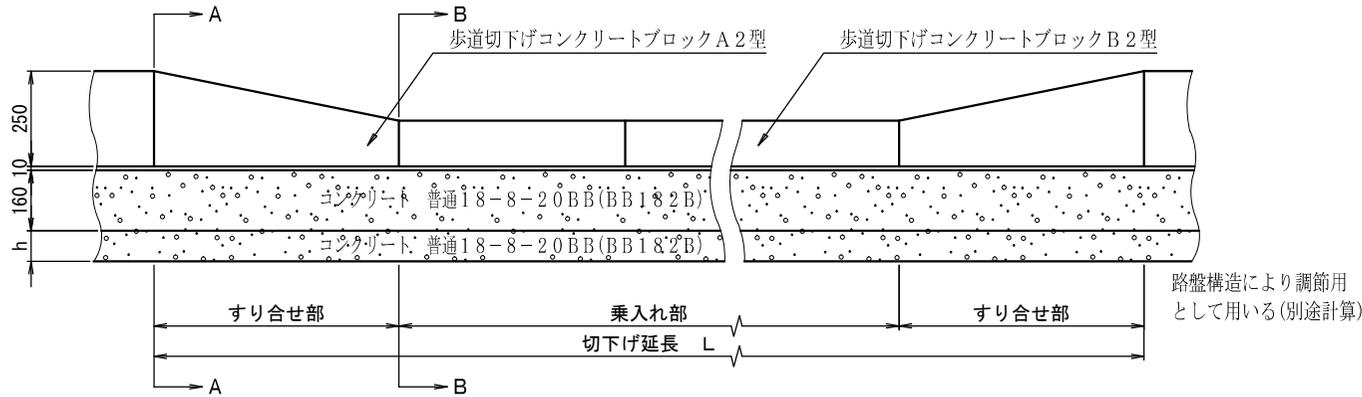
(注1) 收容施設の延長は、種別を参考に收容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きょ工(205型 車乗入れ部) S=1/20

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きょ工 (車乗入れ部)	205型	T h	2019

正面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

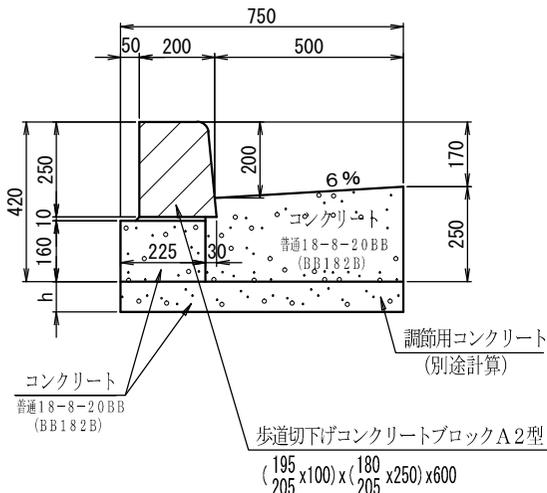
材料表

(100箇所当り)

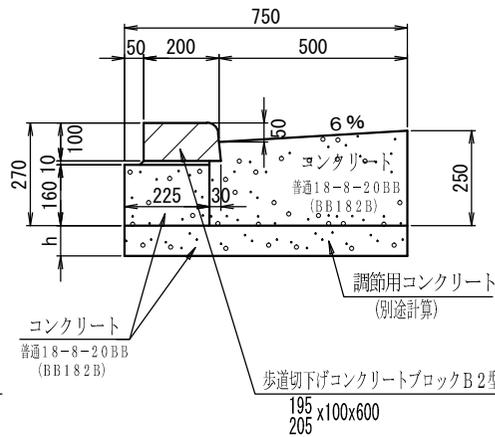
型式	切り下延長	コンクリート BB182B	モルタル 1:3	型 枠	すり合せブロック A2型 (個)	乗入れブロック B2型 (個)	収容施設の種別 (参考)
T	L (cm)	(m ³)	(m ³)	(m ²)			
A型	303	47.8	0.5	172.7	200 (43kg/個)	300 (28kg/個)	軽自動車を収容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	66.8	0.8	241.7	200 (43kg/個)	500 (28kg/個)	小型自動車 (8の一部及び4,5,6ナンバー) 及び普通自動車 (3の一部) を収容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	85.9	1.0	310.7	200 (43kg/個)	700 (28kg/個)	小型自動車 (8の一部及び4,5,6ナンバー) 及び普通自動車 (3の一部) を収容する施設で前面道路の狭い場合 (例 2t~4tトラック)
D型	727	114.6	1.3	414.4	200 (43kg/個)	1,000 (28kg/個)	普通自動車 (3,8の一部及び1,2ナンバー) を収容する施設 (例 大型トラック)

(注1) 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

A-A 断面図



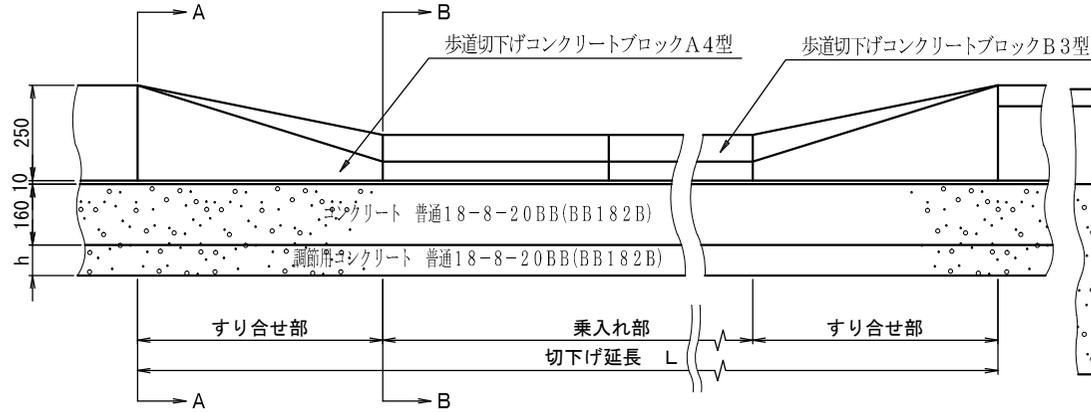
B-B 断面図



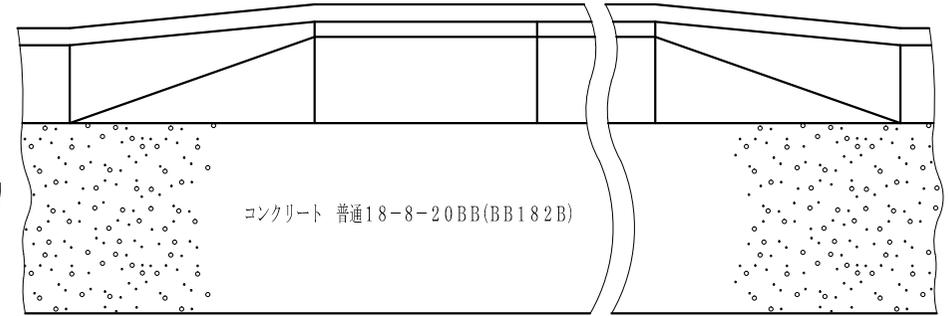
街きょ工(205-1型 車乗入れ部) S=1/20

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きょ工 (車乗入れ部)	205-1型	T h	2019

正面図

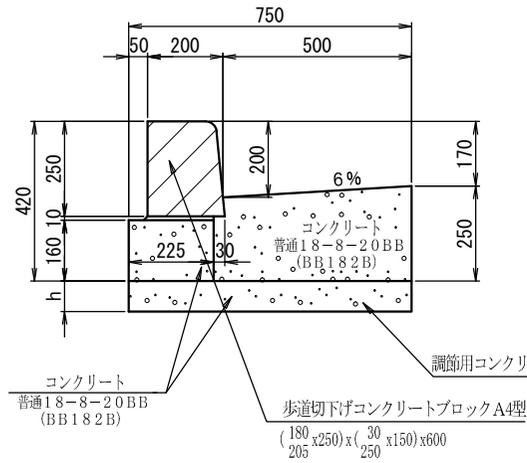


平面図

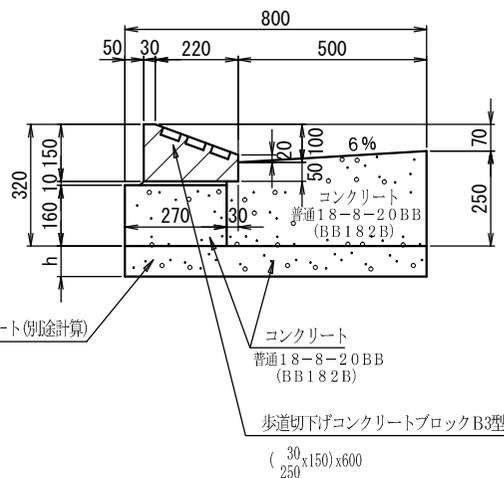


(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

A-A 断面図



B-B 断面図



材料表

(100箇所当り)

型式	切り下 延長 L (cm)	コンクリート 普通18-8-20BB BB182B (m ³)	モルタル 1:3 (m ³)	型 枠 (m ²)	すり合せ ブロック A4型 (個)	乗入れ ブロック B3型 (個)	収容施設の種別 (参考)
T							
A型	303	49.5	0.7	172.7	200 (50kg/個)	300 (39kg/個)	軽自動車を受容する施設 (例 軽自動車)
B型	424	69.5	0.9	241.7	200 (50kg/個)	500 (39kg/個)	小型自動車(8の一部及び 4,5,6ナンバー)及び 普通自動車(3の一部) を受容する施設 (例 普通乗用車)
C型	545	89.4	1.2	310.7	200 (50kg/個)	700 (39kg/個)	小型自動車(8の一部及び 4,5,6ナンバー)及び 普通自動車(3の一部) を受容する施設で前面道 路の狭い場合 (例 2t~4t トラック)
D型	727	119.4	1.6	414.4	200 (50kg/個)	1,000 (39kg/個)	普通自動車(3,8の一部 及び1,2ナンバー)を受 容する施設 (例 大型トラック)

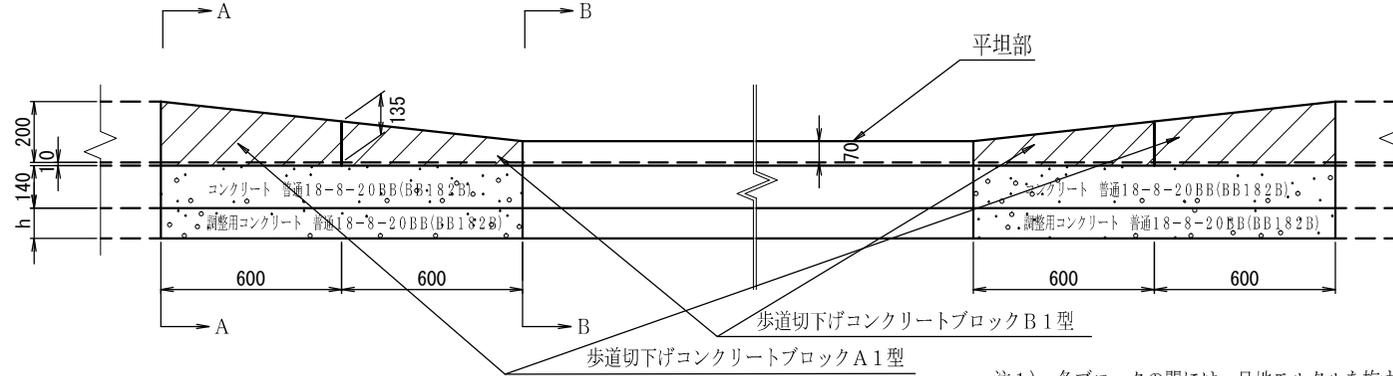
(注1) 収容施設の延長は、種別を参考に収容車両が必要とする最低限の幅を検討するものとする。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きょ工(155型 2本すりつけ) S=1/20
(補修用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きょ工	155型 2本すりつけ	h	2019

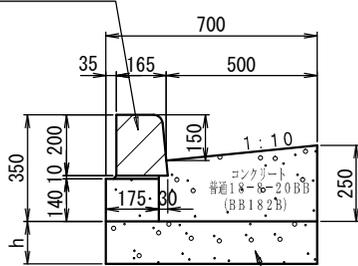
正面図



- 注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。
歩行者の通行動線方向に5(8)%以下の勾配になるように舗装をすりつける。
注2) 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

A-A 断面図

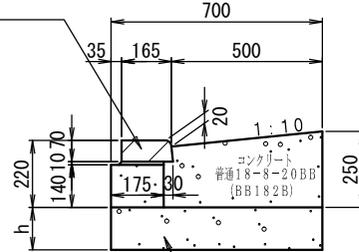
歩道切下げコンクリート
ブロックA1型



調節用コンクリート (別途計算)

B-B 断面図

歩道切下げコンクリート
ブロックC1型



調節用コンクリート (別途計算)

材 料 表

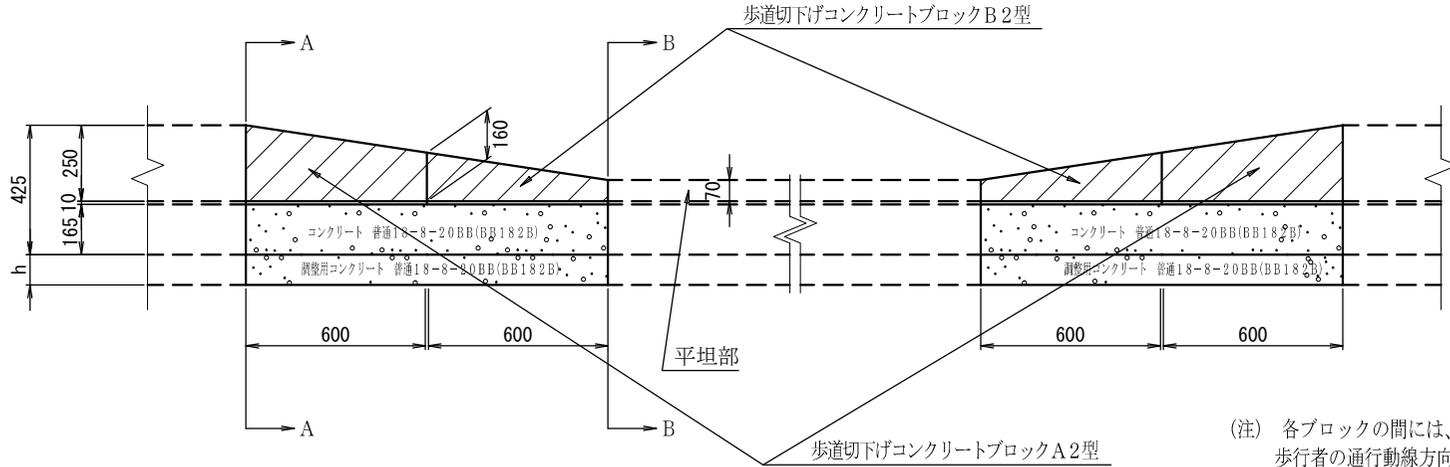
(100箇所当り)

品 名	形状寸法	単位	数 量	摘 要
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	34.1	
コンクリートブロック(A1)	$(\frac{150}{170} \times 200) \times (\frac{157}{170} \times 135) \times 600$	本	200.0	38 kg/個
〃 (B1)	$(\frac{157}{170} \times 135) \times (\frac{163}{170} \times 70) \times 600$	〃	200.0	24 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.4	敷モルタル用
型 枠		m ²	128.5	

街きょ工(205型 2本すりつけ) S=1/20
(補修用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きょ工	205型 2本すりつけ	h	2019

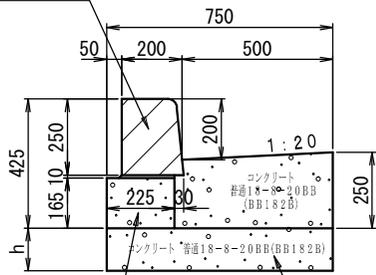
正面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。
歩行者の通行動線方向に5(8)%以下の勾配になるように舗装をすりつける。

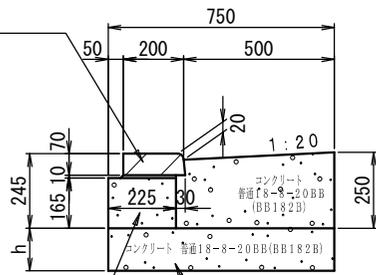
A-A 断面図

歩道切下げコンクリート
ブロックA2型



B-B 断面図

歩道切下げコンクリート
ブロックC2型



材 料 表

(100箇所当り)

品 名	形状寸法	単位	数量	摘 要
すりつけ ブロック(A2)	$(180 \times 250) \times (\frac{189}{205} \times 160) \times 600$	本	200.0	56 kg/個
すりつけ ブロック(B2)	$(189 \times 160) \times (\frac{198}{205} \times 70) \times 600$	"	200.0	32 kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	m ³	38.8	
モ ル タ ル	1 : 3	"	0.4	敷モルタル用
型 枠		m ²	140.6	

コンクリート
普通18-8-20BB
(BB182B)

調整用コンクリート(別途計算)

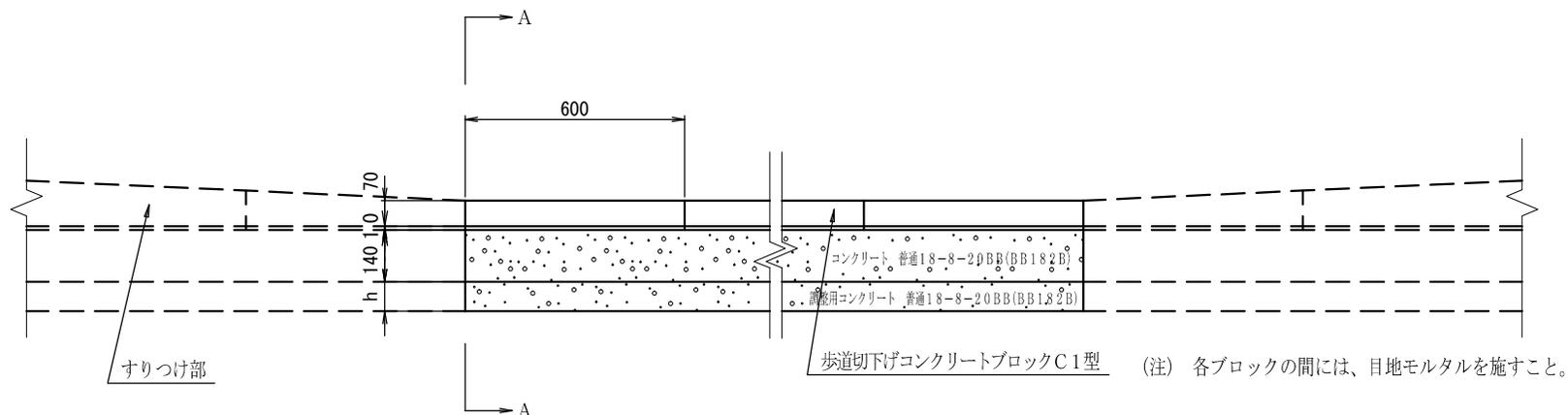
コンクリート
普通18-8-20BB
(BB182B)

調整用コンクリート(別途計算)

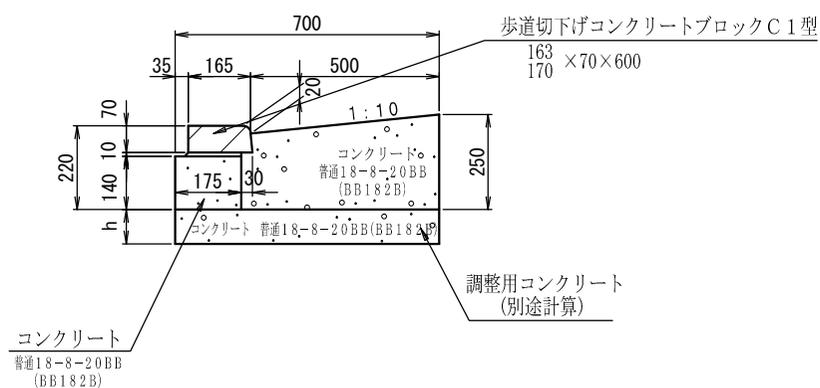
街きょ工(155型及び105型 歩行者横断用平坦部) S=1/20
(補修用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きょ工 (歩行者横断用 平坦部)	155型及び 105型	h	2019

正面図



A-A 断面図



材料表

(100m当り)

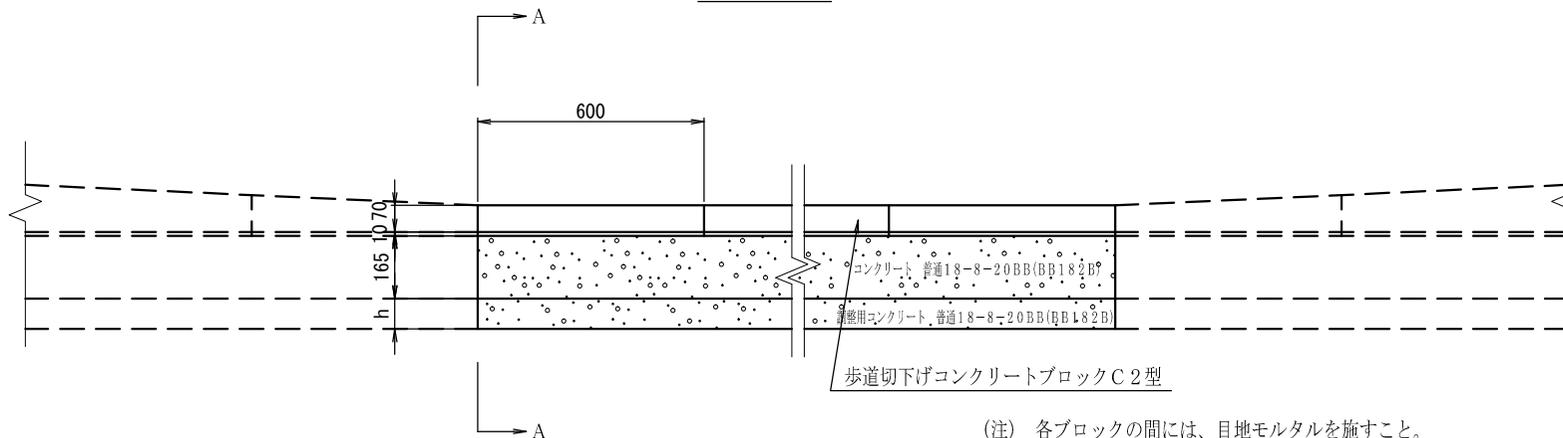
品名	形状寸法	単位	数量	摘要
コンクリートブロック(C1)	163 170 × 70 × 600	本	165.0	17 kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	14.1	
モルタル	1:3	"	0.1	敷モルタル用
型枠		m ²	53.0	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きよ工(205型 歩行者横断用平坦部) S=1/20
(補修用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工 (歩行者横断用 平坦部)	205型	h	2019

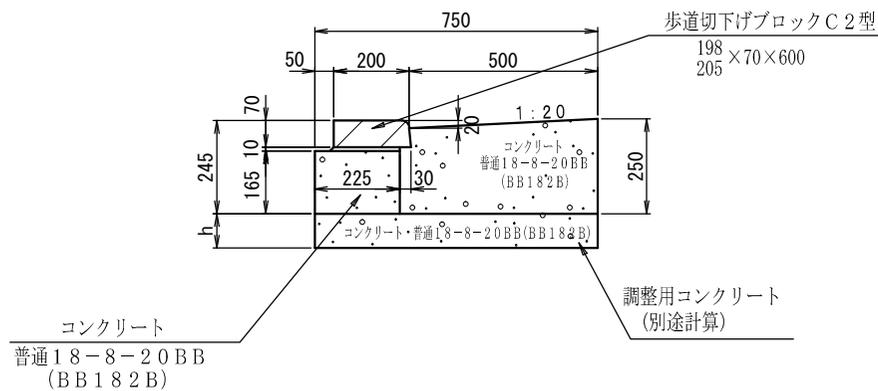
正面図



歩道切下げコンクリートブロックC2型

(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

A-A 断面図



材料表

(100m当り)

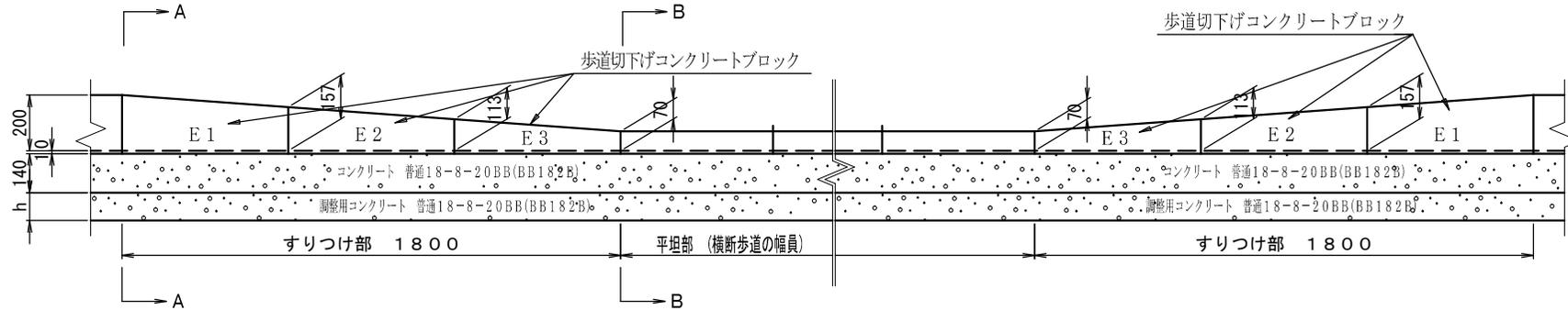
品名	形状寸法	単位	数量	摘要
コンクリートブロック(C2)	198 205 ×70×600	本	165.0	20 kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	16.5	
モルタル	1:3	〃	0.2	敷モルタル用
型枠		m ²	58.0	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きょ工(155型 歩行者横断用平坦部3本すりつけ) S=1/25
(補修用)

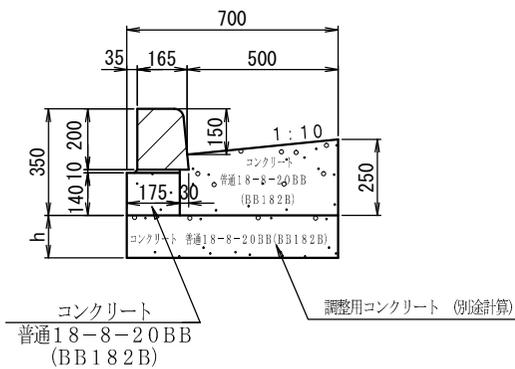
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きょ工 (歩行者横断用 平坦部)	155型 3本すりつけ	h	2019

正面図

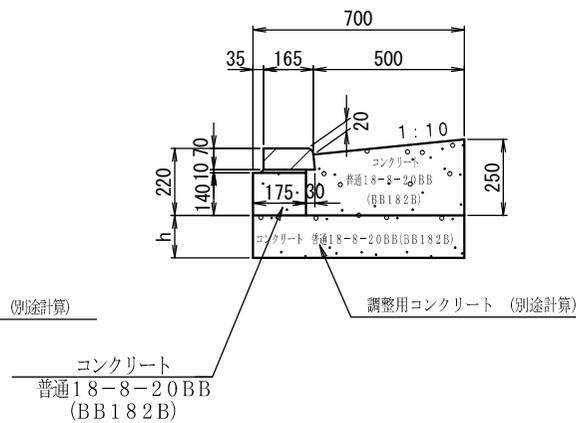


注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。
歩行者の通行動線方向に5(8)%以下の勾配になるように舗装をすりつける。

A-A 断面図



B-B 断面図



材料表

155型 (100箇所当り)

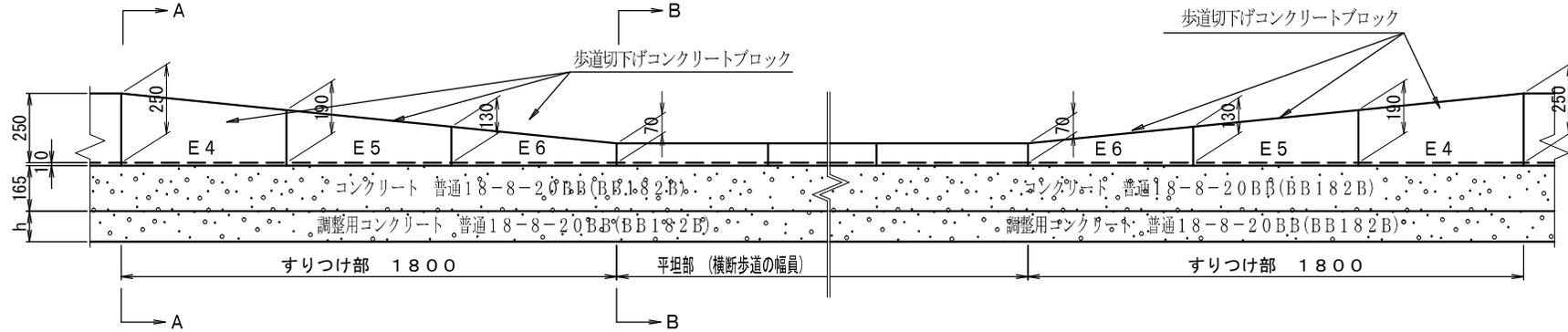
品名	形状寸法	単位	数量	摘要
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	68.2	
すりつけブロック(E1)	($\frac{150}{170} \times 200$) × ($\frac{154}{170} \times 157$) × 600	本	200.0	40 kg/個
” (E2)	($\frac{154}{170} \times 157$) × ($\frac{159}{170} \times 113$) × 600	”	200.0	30 kg/個
” (E3)	($\frac{159}{170} \times 113$) × ($\frac{163}{170} \times 70$) × 600	”	200.0	21 kg/個
モルタル	1 : 3	m ³	0.7	
型枠		m ²	256.5	

(注1) 調整用コンクリートとその型枠は、別途考慮する。
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きよ工(205型 歩行者横断用平坦部3本すりつけ) S=1/25
(補修用)

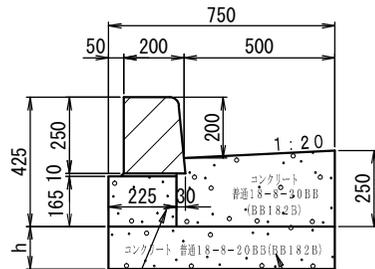
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工 (歩行者横断用 平坦部)	205型 3本すりつけ	h	2019

正面図



注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。
歩行者の通行動線方向に5(8)%以下の勾配になるように舗装をすりつける。

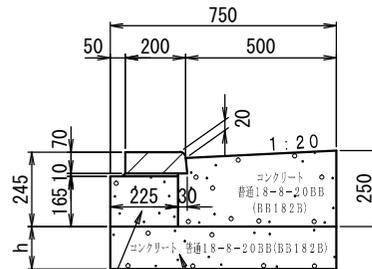
A-A 断面図



調整用コンクリート (別途計算)

コンクリート
普通18-8-20BB
(BB182B)

B-B 断面図



調整用コンクリート (別途計算)

コンクリート
普通18-8-20BB
(BB182B)

材料表

205型 (参考)		(100箇所当り)		
品名	形状寸法	単位	数量	備考
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	58.5	
コンクリートブロック(E4)	(180×250)×(186×190)×600	本	200.0	60 kg/個
〃 (E5)	(186×190)×(192×130)×600	〃	200.0	43 kg/個
〃 (E6)	(192×130)×(198×70)×600	〃	200.0	21 kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.8	
型枠		m ²	280.7	

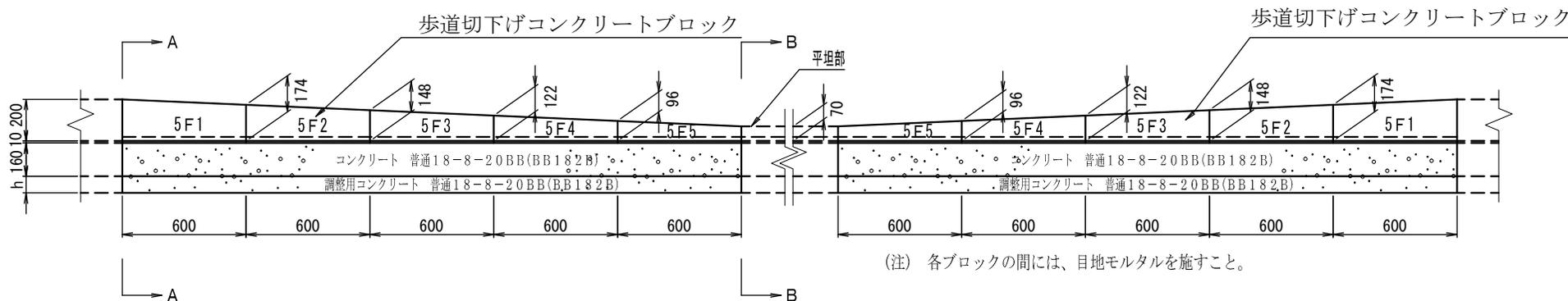
(注1) 調整用コンクリートとその型枠は、別途考慮する。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きよ工(155型 歩行者横断用平坦部5本すりつけ) $S=1/30$

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工 (歩行者横断用 平坦部)	155型 5本すりつけ	h	2019

正面図

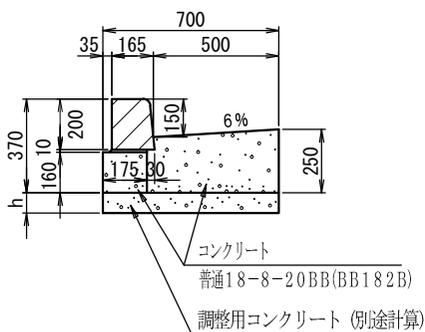


材 料 表

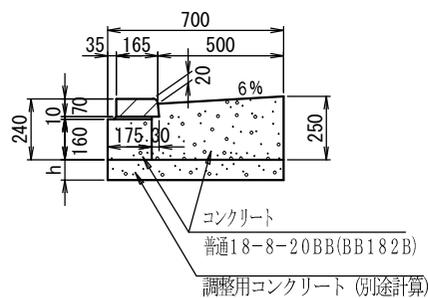
(100箇所当り)

品 名	形状寸法	単位	数量	摘 要
すりつけブロック(5F1)	$(\frac{150}{170} \times 200) \times (\frac{153}{170} \times 174) \times 600$	本	200.0	42kg/個
〃 (5F2)	$(\frac{153}{170} \times 174) \times (\frac{155}{170} \times 148) \times 600$	〃	200.0	37kg/個
〃 (5F3)	$(\frac{155}{170} \times 148) \times (\frac{158}{170} \times 122) \times 600$	〃	200.0	31kg/個
〃 (5F4)	$(\frac{158}{170} \times 122) \times (\frac{160}{170} \times 96) \times 600$	〃	200.0	25kg/個
〃 (5F5)	$(\frac{160}{170} \times 96) \times (\frac{163}{170} \times 70) \times 600$	〃	200.0	19kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	m ³	90.7	
モルタル	1:3	〃	0.9	
型 枠		m ²	345.4	

A-A 断面図



B-B 断面図



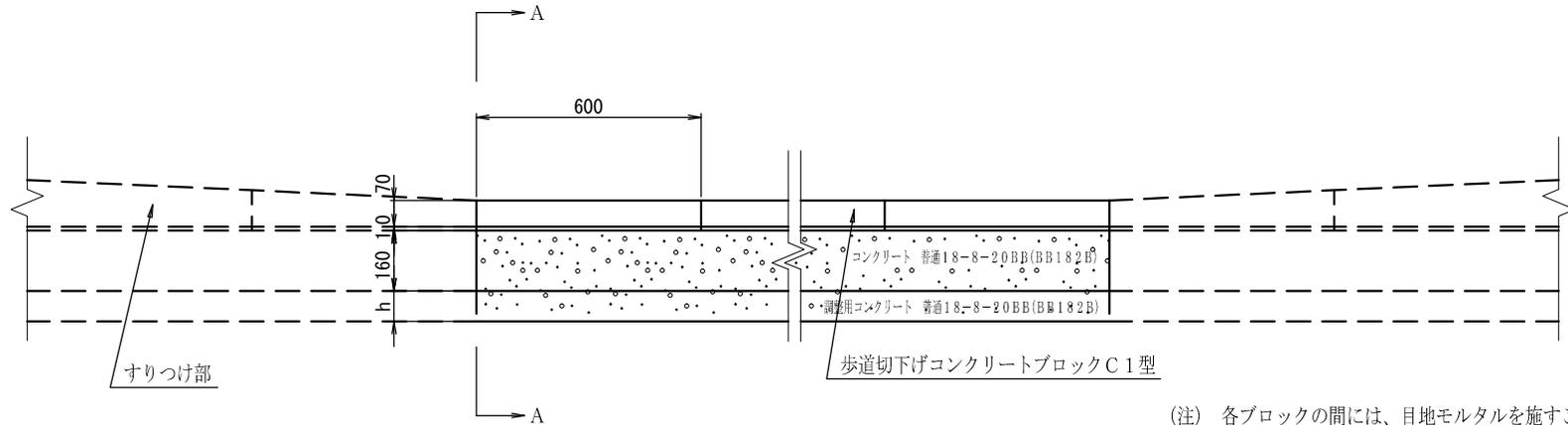
(注1) 本材料表はすりつけ部両側の数量である。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きよ工(155型及び105型 歩行者横断用平坦部) S=1/25

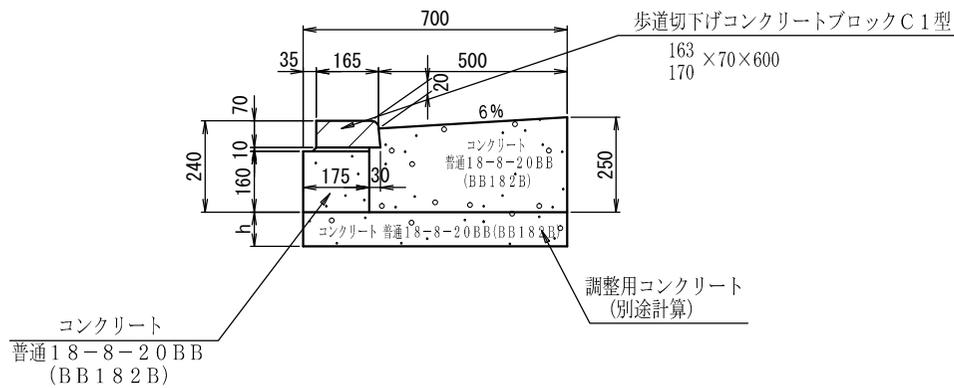
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工 (歩行者横断用 平坦部)	155型及び 105型	h	2019

正面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

A-A 断面図



材料表

(100m当り)

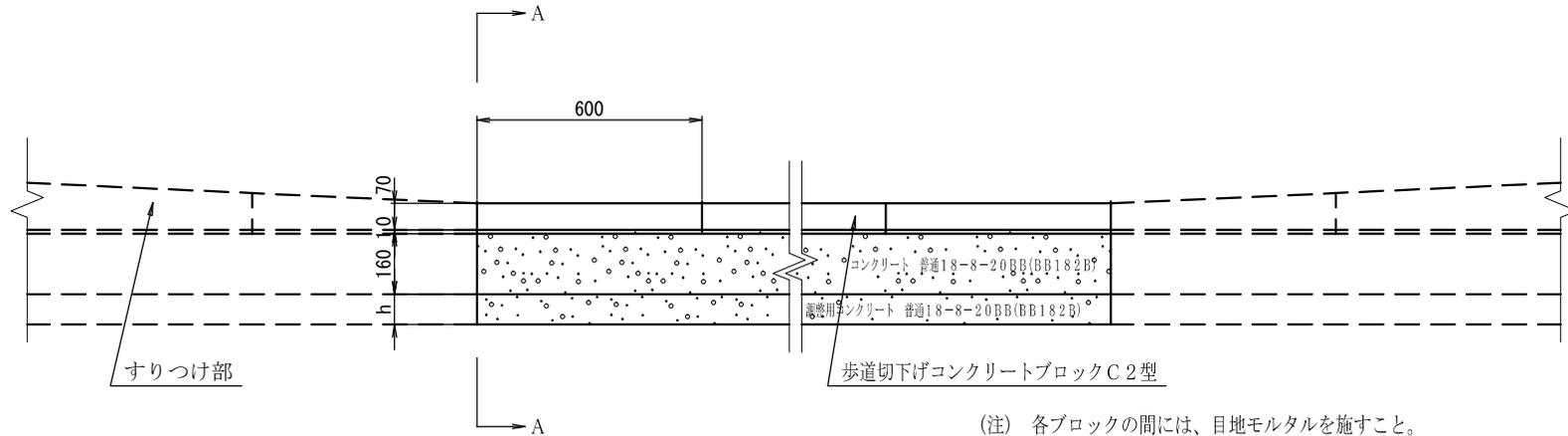
品名	形状寸法	単位	数量	摘要
コンクリートブロックC1	163 170×70×600	本	165.0	17 kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	15.0	
モルタル	1 : 3	〃	0.1	
型 枠		m ²	57.0	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

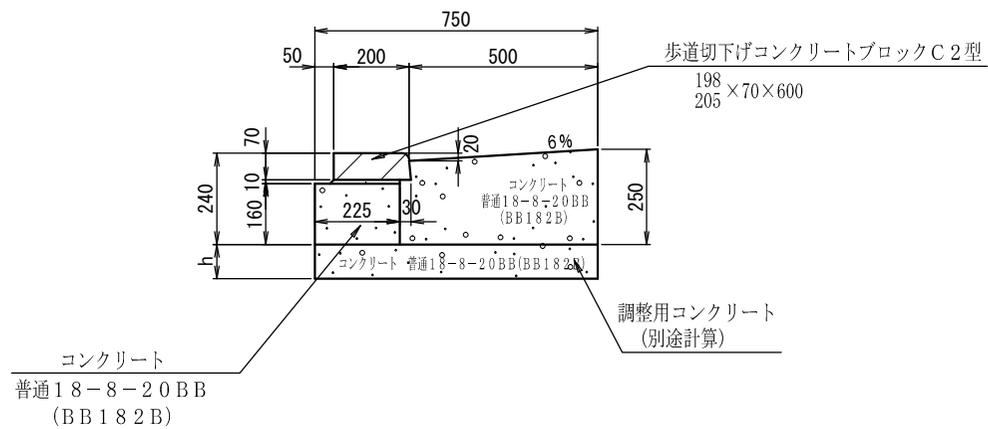
街きよ工(205型 歩行者横断用平坦部) S=1/20

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ工 (歩行者横断用 平坦部)	205型	h	2019

正面図



A-A 断面図



材料表

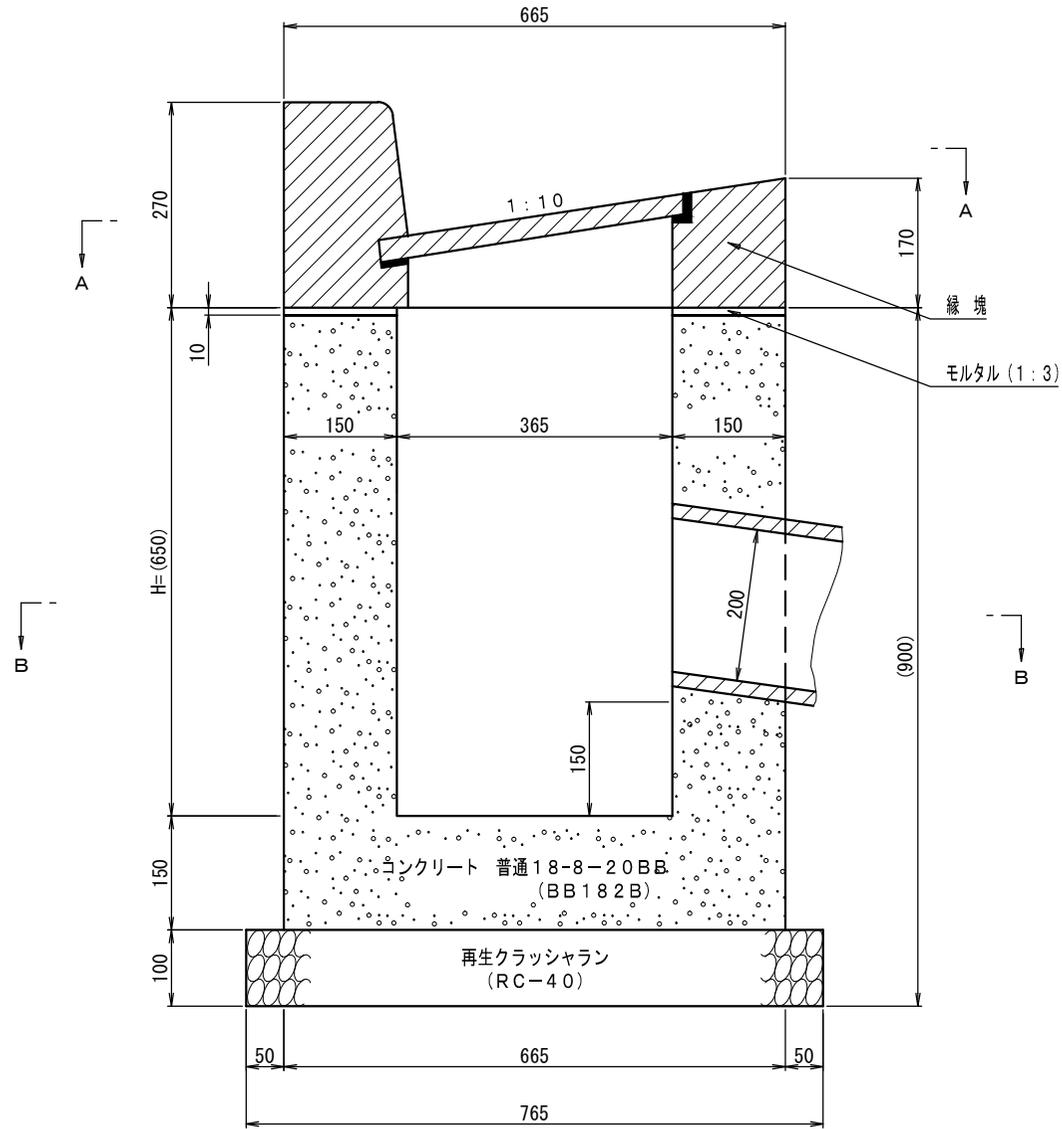
(100m当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
コンクリートブロックC2	198 205×70×600	本	165.0	20 kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	15.8	
モルタル	1:3	〃	0.2	
型枠		m ²	57.0	

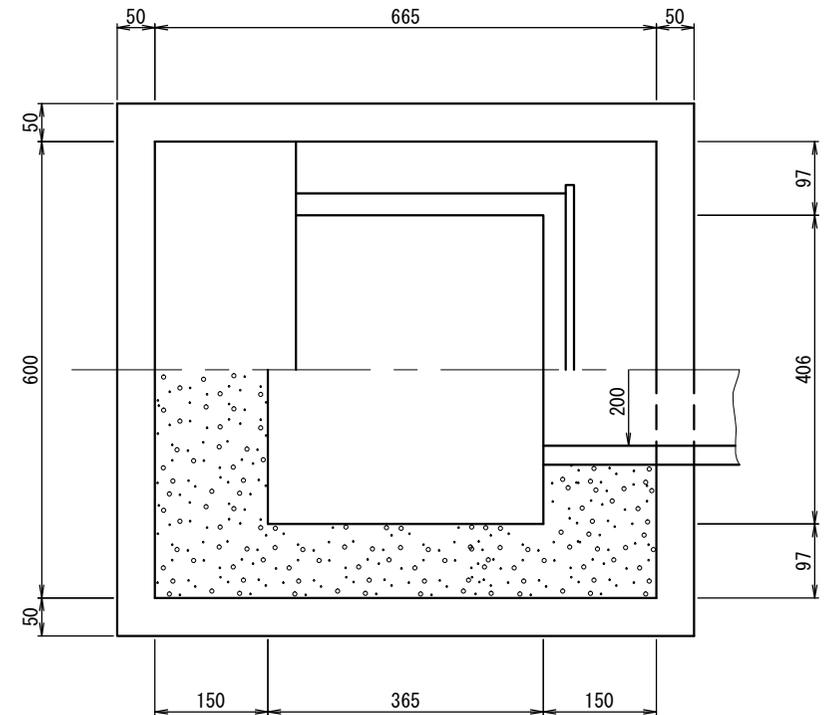
(注) 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きょ用集水ます工（155型、現場打コンクリート使用）
（補修用）

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きょ用集水ます工	155型 現場打コン クリート使用		2019



A-A 断面図



B-B 断面図

材 料 表

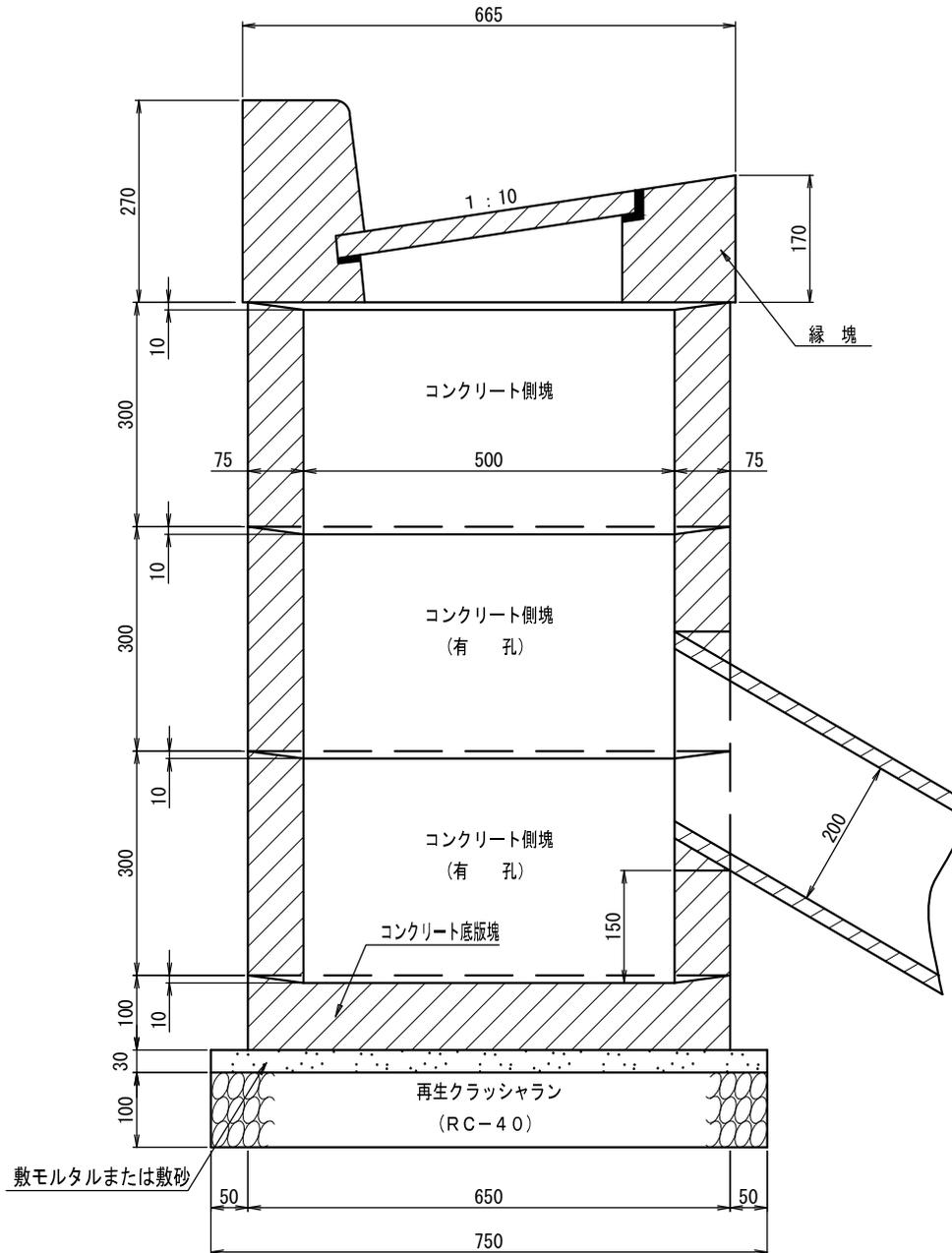
(100箇所当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	5.4	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	21.3	
縁塊	ふた共	組	100.0	100 kg/個
モルタル	1:3 (据付用)	m ³	0.3	
型枠		m ²	298.6	

- 注) ・ () 内は、標準値を示す。
 ・ 流出・排水施設については変更する場合がある。
 ・ 原則としてグレーチングふたを使用する。なお歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
 ・ 供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。
 ・ 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きよ用集水ます工 (155-I型、側塊使用)
(補修用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ用 集水ます工	155-I型 側塊使用		2019



材 料 表

(100箇所当り)

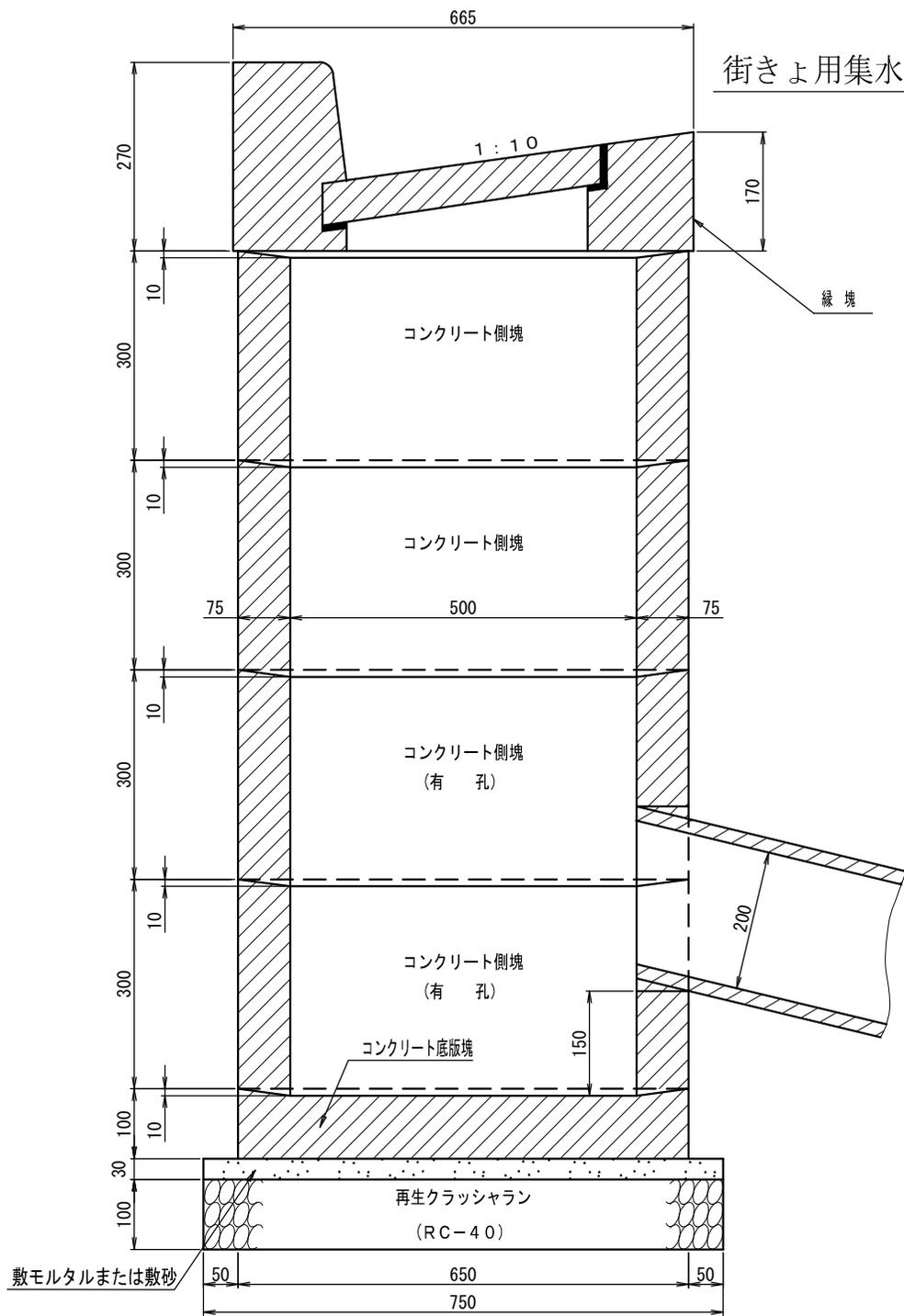
品 名	形状・寸法	単位	数 量	摘 要
基 礎 材	RC-40	m ³	4.4	
	敷モルタルまたは敷砂	"	1.3	
底 版 塊		個	100.0	79 kg/個
側 塊	1 号	"	100.0	99 kg/個
"	2 号	"	100.0	99 kg/個
"	3 号	"	100.0	106 kg/個
縁 塊		組	100.0	100 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.8	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

(注)・流出・排水施設については変更する場合がある。

- ・原則としてグレーチングふたを使用する。なお歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
- ・供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。

街きょ用集水ます工(155-II型、側塊使用)
(補修用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きょ用 集水ます工	155-II型 側塊使用		2019



材 料 表

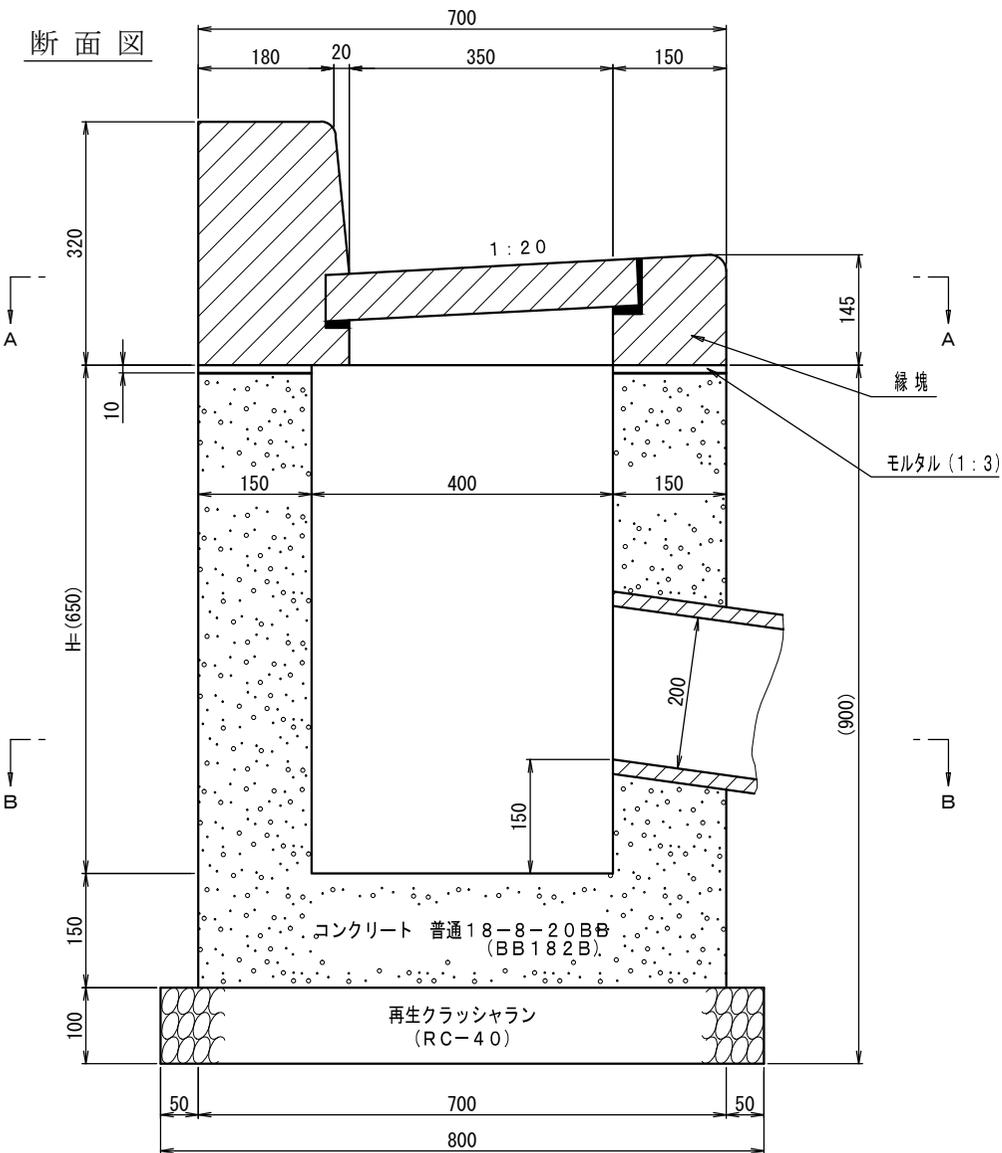
(100箇所当り)

品 名	形状・寸法	単位	数 量	摘 要
基 礎 材	RC-40	m ³	4.4	
	敷モルタルまたは敷砂	"	1.3	
底 版 塊		個	100.0	79 kg/個
側 塊	1 号	"	100.0	99 kg/個
	2 号	"	100.0	99 kg/個
	3 号	"	200.0	106 kg/個
縁 塊		組	100.0	100 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.9	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

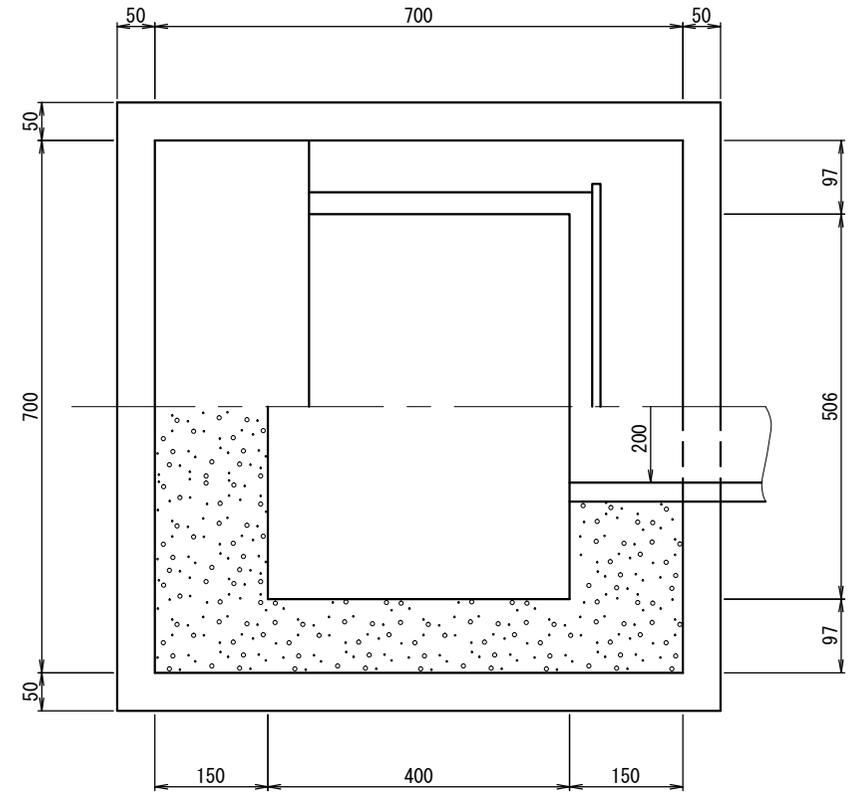
- (注)・流出・排水施設については変更する場合がある。
- ・原則としてグレーチングふたを使用する。なお歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
 - ・供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。

街きょ用集水ます工 (205B、現場打コンクリート使用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きょ用集水ます工	205B現場打コンクリート使用		2019



A-A 断面図



B-B 断面図

材料表

(100箇所当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	6.4	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	25.0	
縁塊		組	100.0	150 kg/個
モルタル	1:3 (据付用)	m ³	0.3	
型枠		m ²	337.2	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

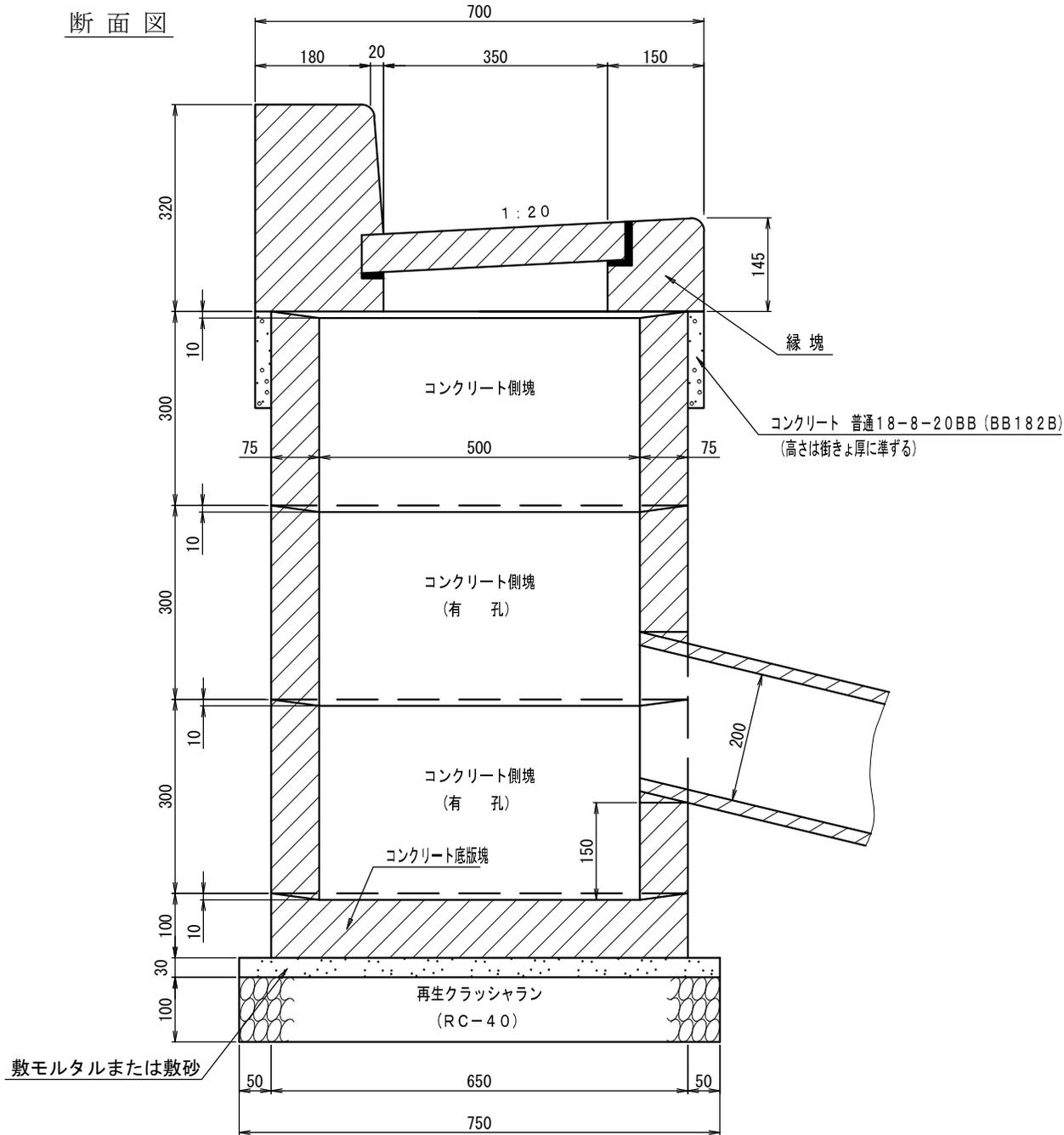
注) () 内は、標準値を示す。

- ・流入・流出施設については変更する場合がある。
- ・原則としてグレーチングふたを使用する。なお歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
- ・供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。
- ・調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きよ用集水ます工 (205BI型、側塊使用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ用 集水ます工	205BI型 側塊使用		2019

断面図



材 料 表

(100箇所当り)

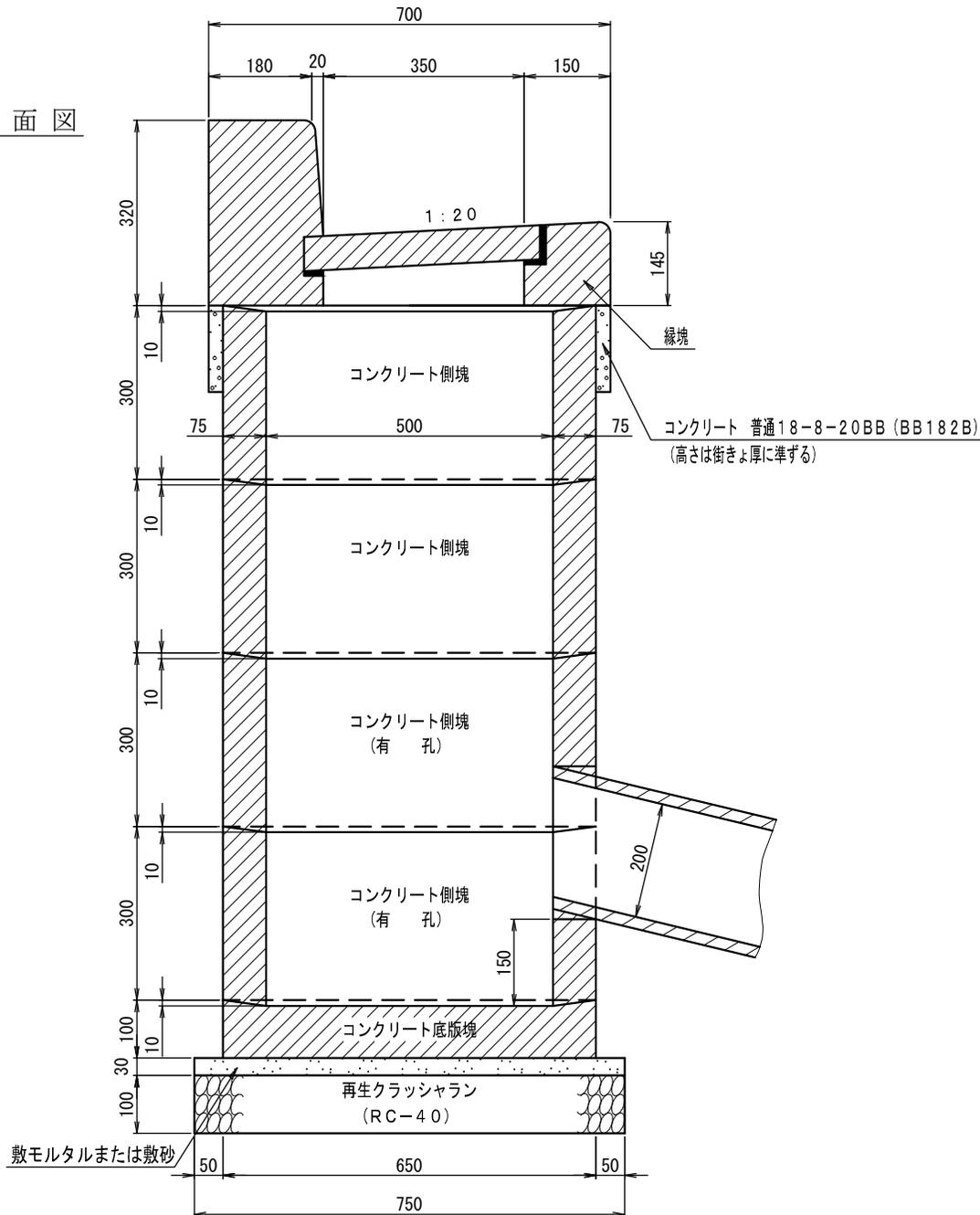
品 名	形状・寸法	単位	数 量	摘 要
基 礎 材	RC-40	m ³	4.4	
	敷モルタルまたは敷砂	"	1.3	
底 版 塊		個	100.0	79 kg/個
側 塊	1 号	"	100.0	99 kg/個
"	2 号	"	100.0	99 kg/個
"	3 号	"	100.0	106 kg/個
縁 塊		組	100.0	150 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.8	
コ ン ク リ ート	BB182B	"	1.7	
型 枠		m ²	14.7	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

- 注) ・流出施設については変更する場合がある。
 ・原則としてグレーチングふたを使用する。なお歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
 ・供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。
 ・調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きよ用集水ます工（205BⅡ型、側塊使用）

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ用 集水ます工	205BⅡ型 側塊使用		2019

断面図



材 料 表

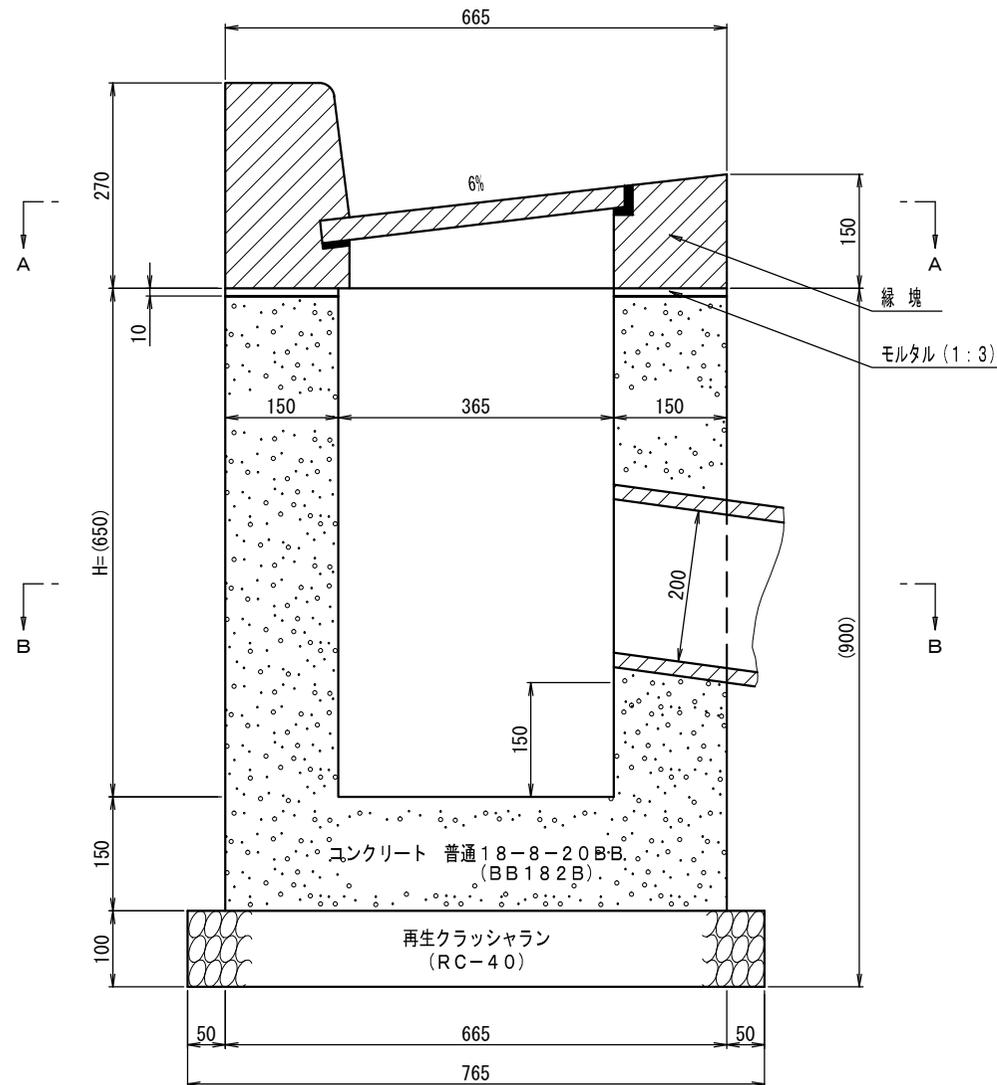
(100箇所当り)

品 名	形状・寸法	単位	数 量	摘 要
基 礎 材	RC-40	m ³	4.4	
	敷モルタルまたは敷砂	"	1.3	
底 版 塊		個	100.0	79 kg/個
側 塊	1 号	"	100.0	99 kg/個
"	2 号	"	100.0	99 kg/個
"	3 号	"	200.0	106 kg/個
緑 塊		組	100.0	150 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.9	
コ ン ク リ ー ト	BB182B	"	1.7	
型 枠		m ²	14.7	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

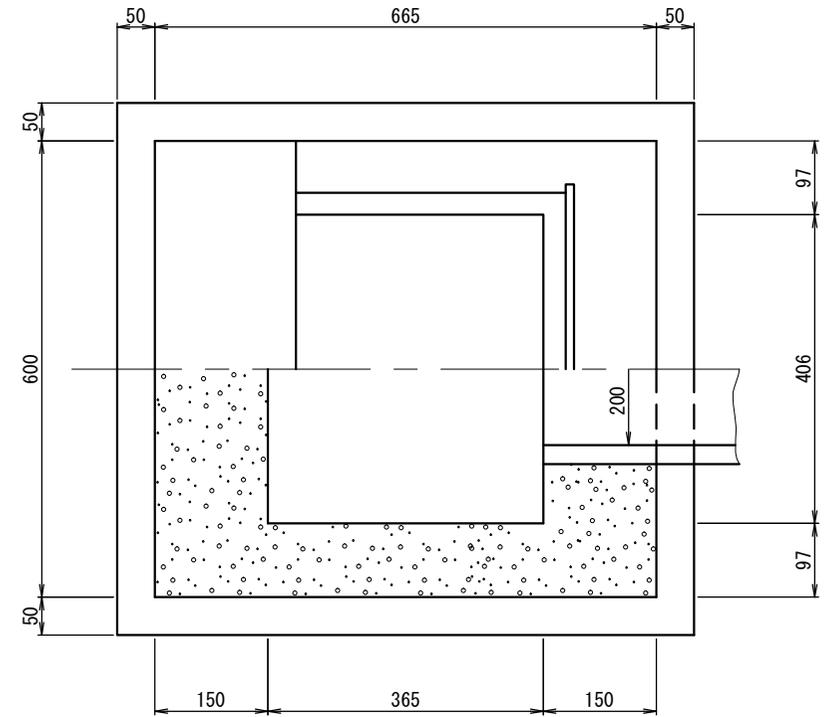
- (注) ・流出・排水施設については変更する場合があります。
 ・原則としてグレーチングふたを使用する。なお歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
 ・供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。
 ・調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きよ用集水ます工 (155型、現場打コンクリート使用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ用 集水ます工	155型 現場打コン クリート使用		2019



A-A 断面図



B-B 断面図

材料表

(100箇所当り)

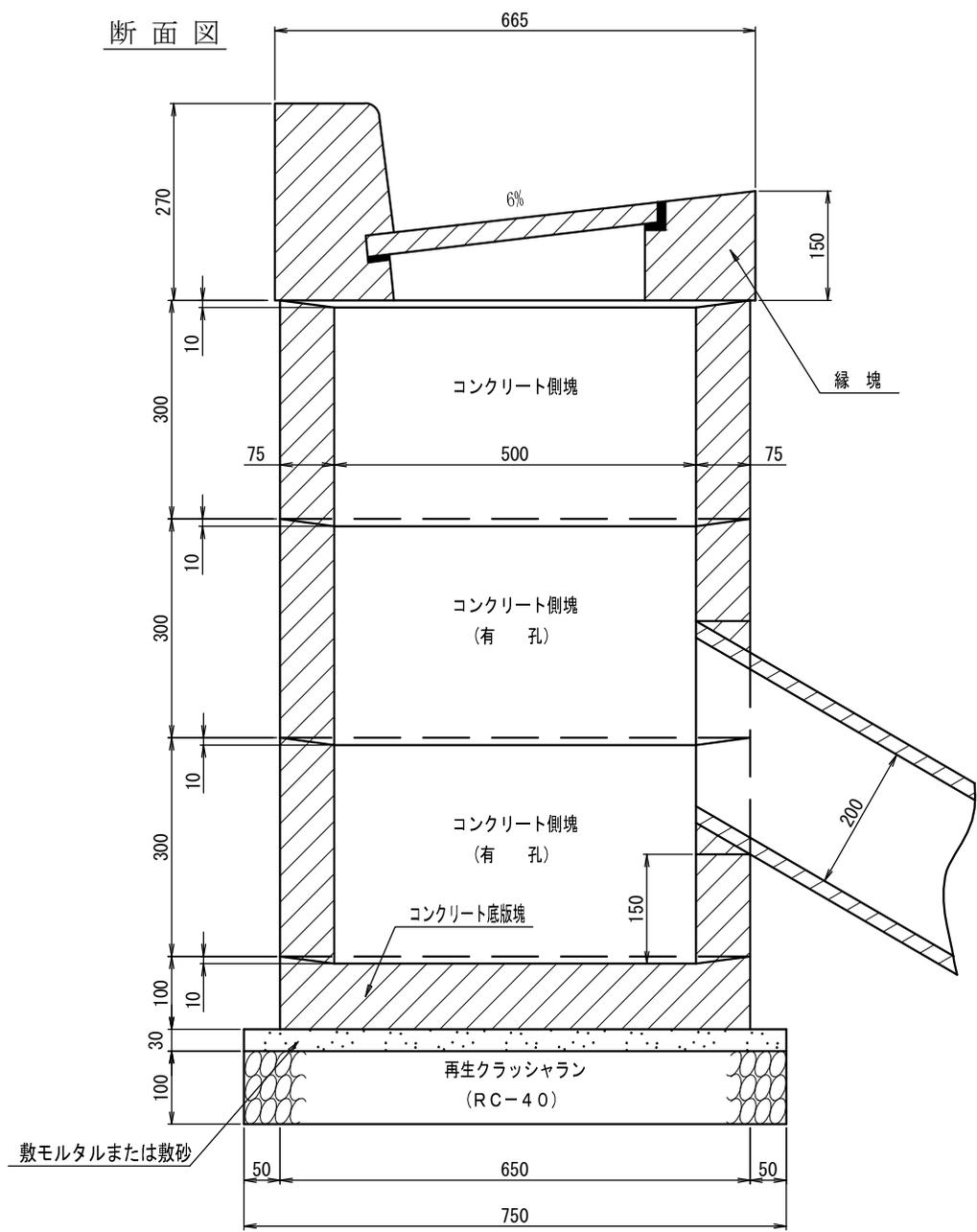
品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	5.4	
コンクリート	普通18-8-20 BB (BB182B)	m ³	21.3	
縁塊		組	100.0	100 kg/個
モルタル	1:3 (据付用)	m ³	0.3	
型枠		m ²	298.6	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

- 注) ・ () 内は、標準値を示す。
 ・ 流出・排水施設については変更する場合がある。
 ・ 原則としてグレーチングふたを使用する。なお歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
 ・ 供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。
 ・ 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

街きょ用集水ます工（155-I型、側塊使用）

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きょ用 集水ます工	155-I型 側塊使用		2019

断面図



材 料 表

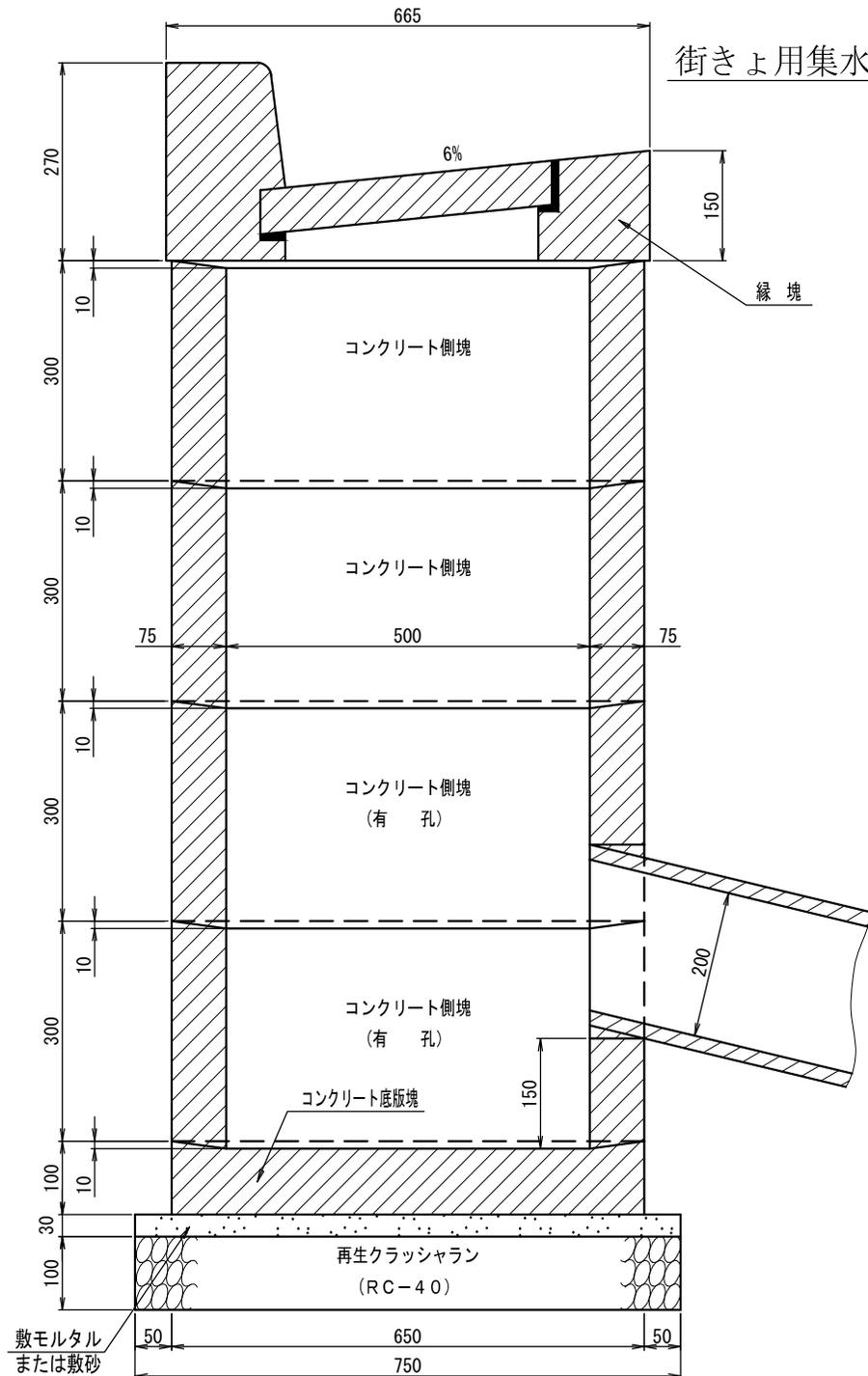
(100箇所当り)

品 名	形状・寸法	単位	数 量	摘 要
基 礎 材	RC-40	m ³	4.4	
	敷モルタルまたは敷砂	"	1.3	
底 版 塊		個	100.0	79 kg/個
側 塊	1 号	"	100.0	99 kg/個
	2 号	"	100.0	99 kg/個
	3 号	"	100.0	106 kg/個
縁 塊		組	100.0	100 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.8	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

- (注) ・流出・排水施設については変更する場合がある。
 ・原則としてグレーチングふたを使用する。なお歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
 ・供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ用 集水ます工	155-II型 側塊使用		2019

街きよ用集水ます工(155-II型、側塊使用)



材 料 表

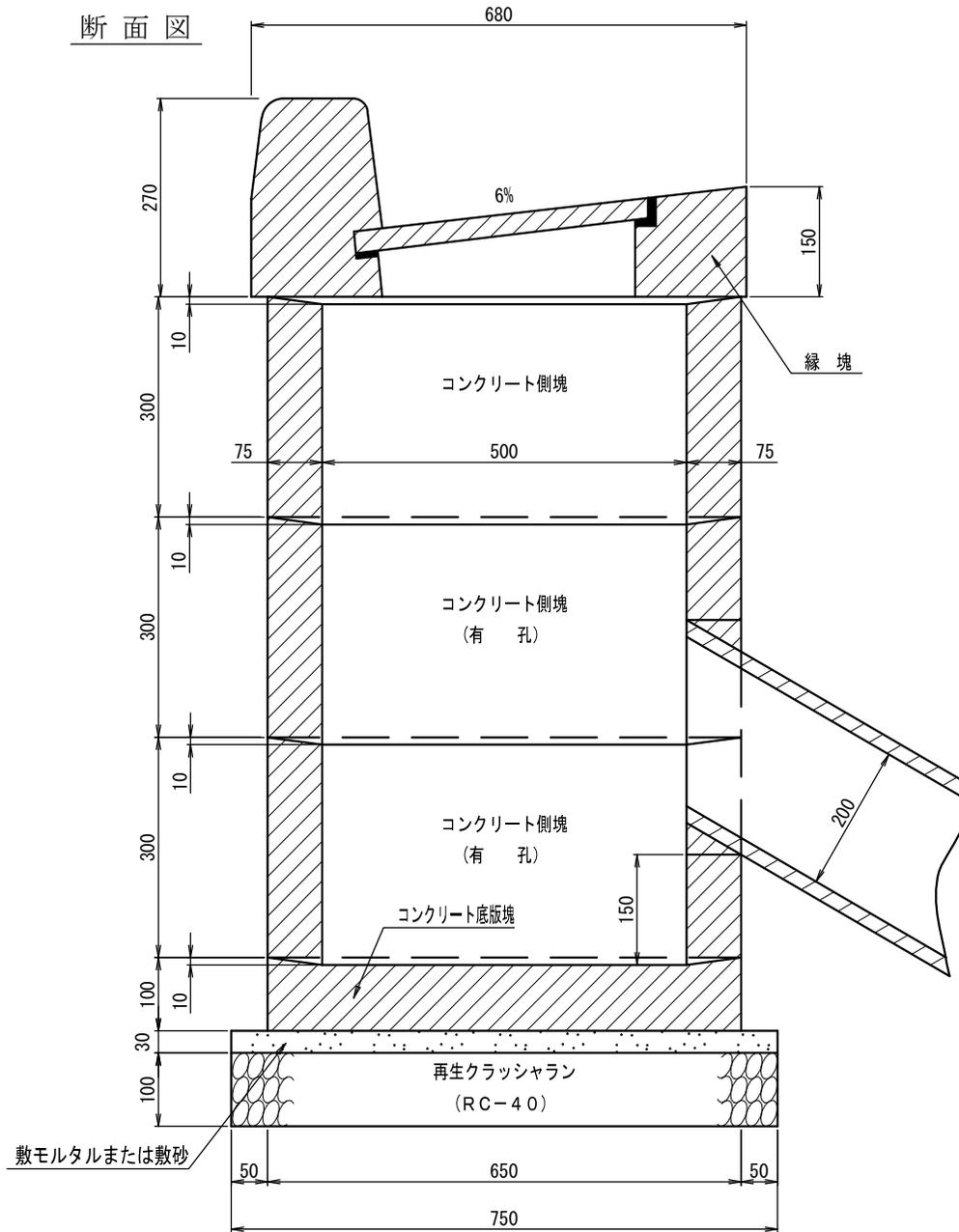
(100箇所当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40	m ³	4.4	
	敷モルタルまたは敷砂	"	1.3	
底板塊		個	100.0	79 kg/個
側塊	1号	"	100.0	99 kg/個
	2号	"	100.0	99 kg/個
	3号	"	200.0	106 kg/個
縁塊		組	100.0	100 kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.9	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

- (注) ・流出・排水施設については変更する場合がある。
 ・原則としてグレーチングふたを使用する。なお歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
 ・供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ用 集水ます工	155SF-I型 側塊使用		2019

街きよ用集水ます工（155SF-I型、側塊使用）



材 料 表

(100箇所当り)

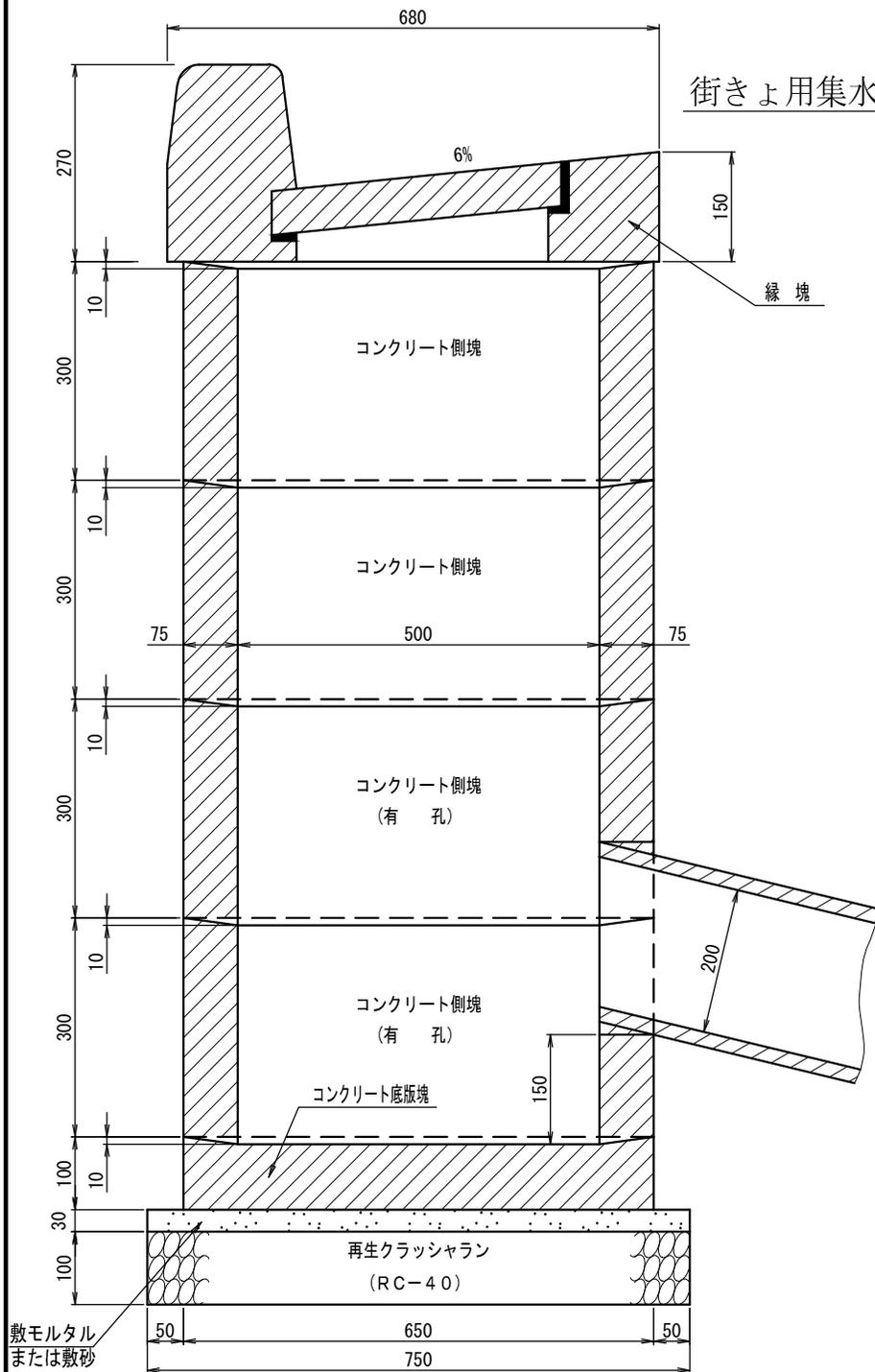
品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40	m ³	4.3	
	敷モルタルまたは敷砂	"	1.0	
底版塊		個	100.0	79 kg/個
側塊	1号	"	100.0	99 kg/個
"	2号	"	100.0	99 kg/個
"	3号	"	100.0	106 kg/個
縁塊		組	100.0	112 kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.8	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

(注)・流出・排水施設については変更する場合がある。

- ・原則としてグレーチングふたを使用する。なお歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
- ・供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街きよ用 集水ます工	155SF -II型 側塊使用		2019

街きよ用集水ます工(155SF-II型、側塊使用)



材 料 表

(100箇所当り)

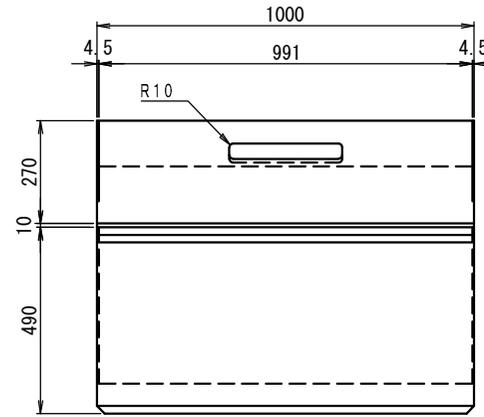
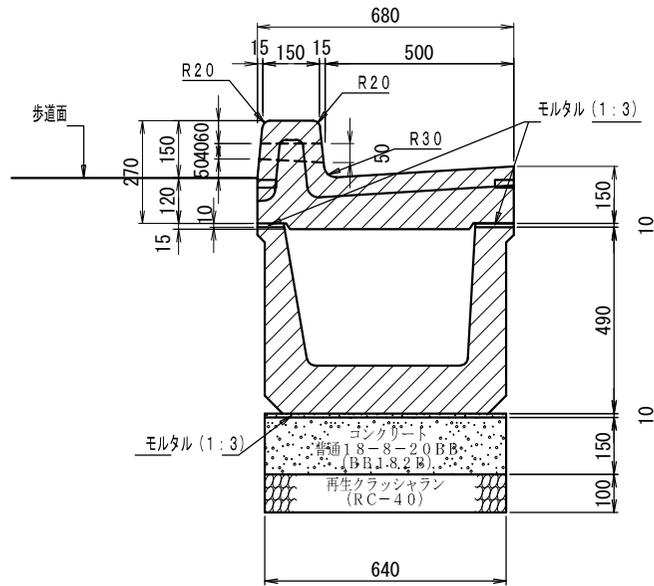
品 名	形状・寸法	単位	数 量	備 考
基 礎 材	RC-40	m ³	4.4	
	敷モルタルまたは敷砂	〃	1.3	
底 版 塊		個	100.0	79 kg/個
側 塊	1 号	〃	100.0	99 kg/個
	2 号	〃	100.0	99 kg/個
	3 号	〃	200.0	106 kg/個
縁 塊		組	100.0	112 kg/個
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.9	
グレーチングふた	T-25	枚	100.0	

(注)・流出・排水施設については変更する場合がある。

- ・原則としてグレーチング蓋を使用する。なお、歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
- ・供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	LU形街きよ工	500		2019

LU形街きよ工(500) (補修用)



材 料 表

(100m当り)

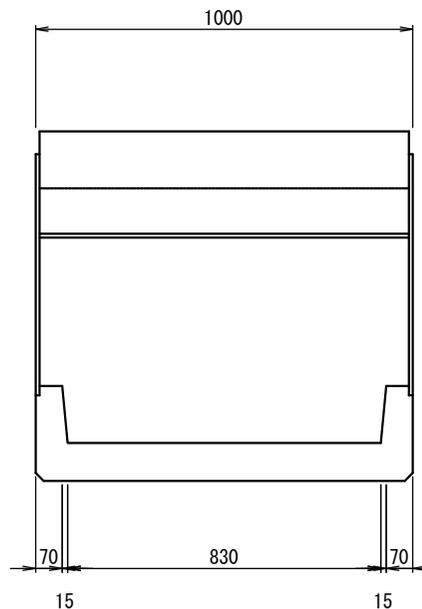
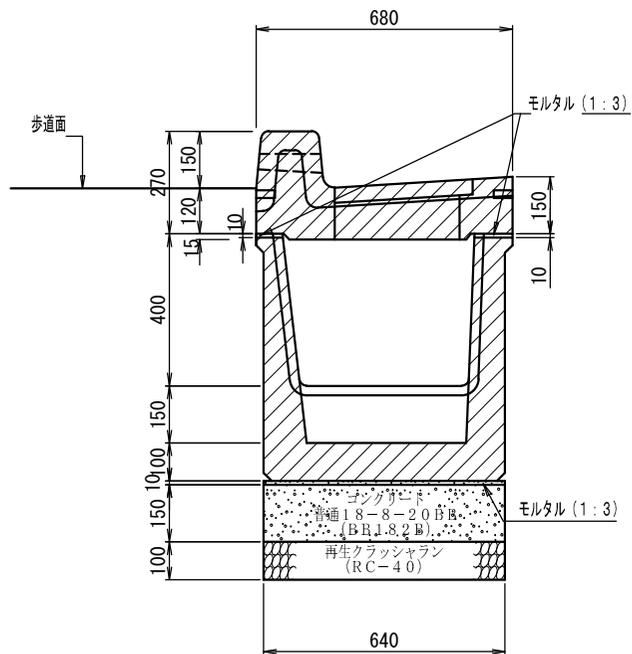
品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
U形	500	個	100.0	
L形	SF型 500	"	100.0	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	9.6	
モルタル	1:3	"	0.8	
再生クラッシュラン	RC-40	"	6.4	
型枠		m ²	30.0	

(注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

L U形街きょ泥溜ます工(500) (補修用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L U形街きょ泥溜ます工	500		2019



材 料 表

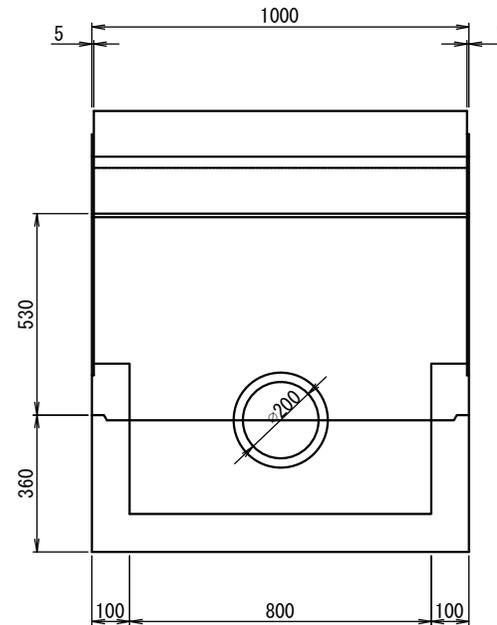
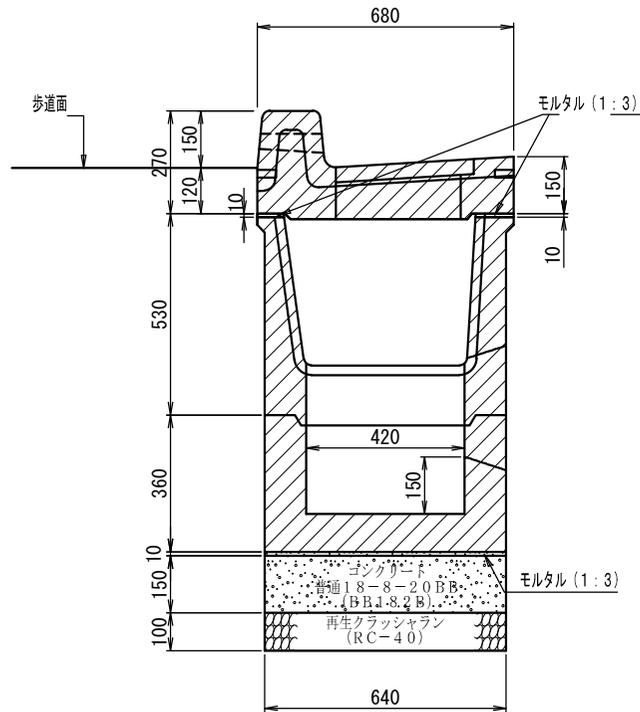
(100箇所当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
泥溜ます	500用	個	100.0	
L形縁塊	SF型500	〃	100.0	
グレーチングふた	500用	枚	100.0	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	9.6	
モルタル	1:3	〃	0.6	
再生クラッシュラン	RC-40	〃	6.4	
型枠		m ²	49.2	

(注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

L U形街きょ用集水ます工 (500) (上・下側塊)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L U形街きょ用集水ます工	500 上・下側塊		2019



材 料 表

(100箇所当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
上部側塊	500	個	100.0	
下部側塊	500	〃	100.0	
L形縁塊	SF型 500	〃	100.0	
グレーチングふた	500用	枚	100.0	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	5.8	
モルタル	1:3	〃	0.5	
再生クラッシュラン	RC-40	〃	3.8	
型 枠		m ²	37.2	

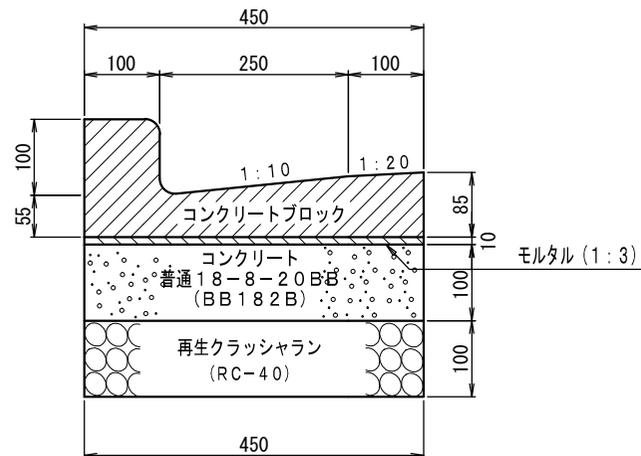
(注1)・各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

(注2)・調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝工	鉄筋コンクリートL形 250B		2019

L形溝工（鉄筋コンクリートL形、250B）

断面図



材 料 表

(100m当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	4.5	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	〃	4.5	
鉄筋コンクリート L形	250B	個	165.0	59 kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.5	敷モルタル用
型 枠		m ²	20.0	

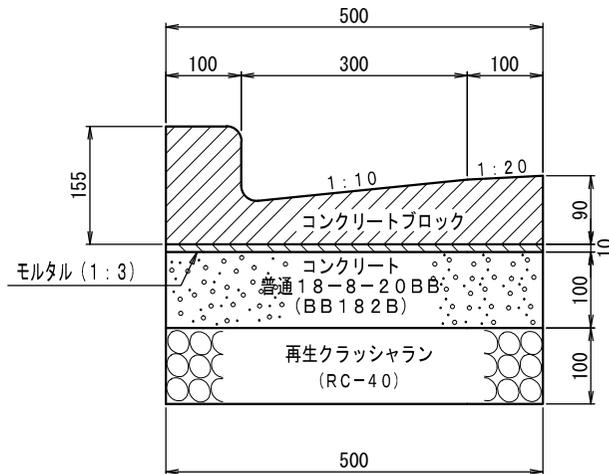
(注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝工	鉄筋コンクリートL形 300B		2019

L形溝工（鉄筋コンクリートL形、300B）

断面図



材 料 表

(100m当り)

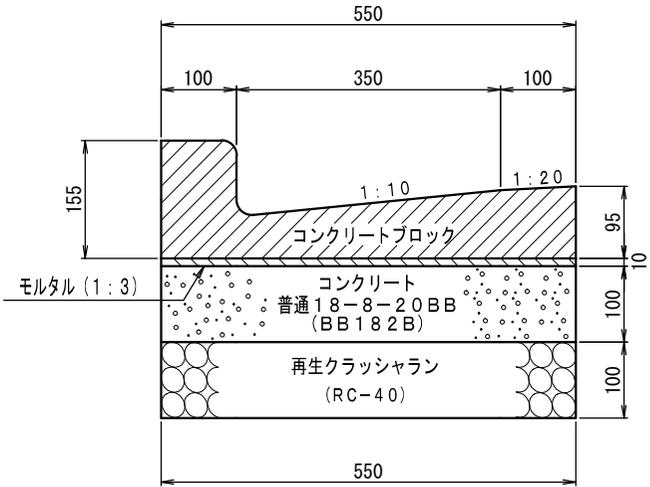
品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	5.0	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	"	5.0	
鉄筋コンクリート L形	300B	個	165.0	65 kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.5	敷モルタル用
型 枠		m ²	20.0	

- (注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝工	鉄筋コンクリートL形 350B		2019

L形溝工（鉄筋コンクリートL形、350B）

断面図



材 料 表

(100m当り)

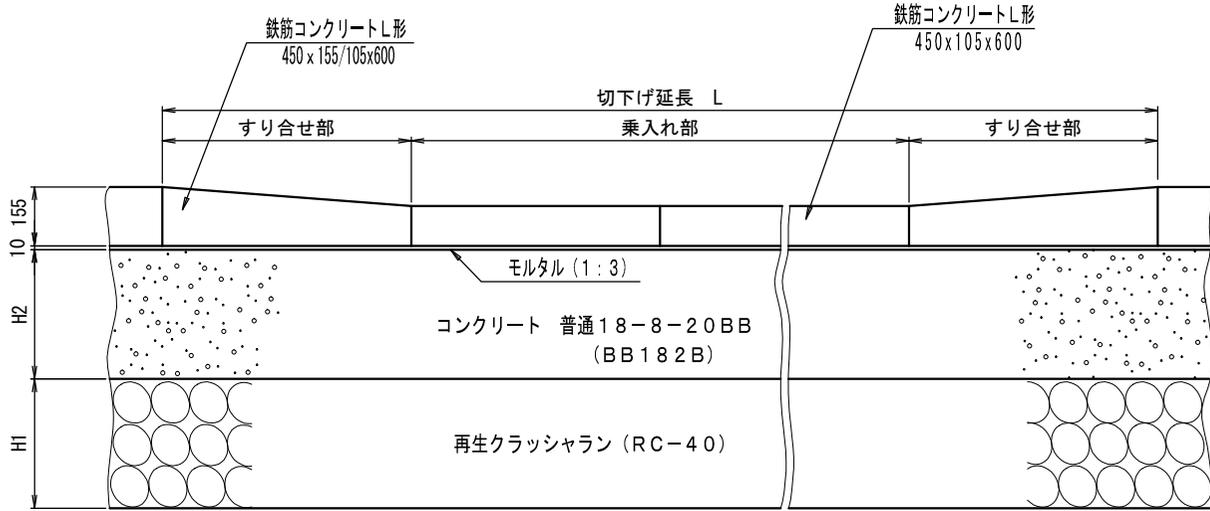
品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	5.5	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	〃	5.5	
鉄筋コンクリート L形	350B	個	165.0	74 kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.6	敷モルタル用
型 枠		m ²	20.0	

- (注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。
- (注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝工	切下げ部 250B用	L H1 H2	2019

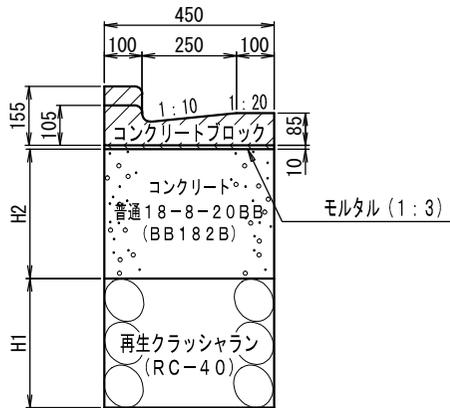
L形溝工（切下げ部、250B用）

正面図



(注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

断面図



材料表

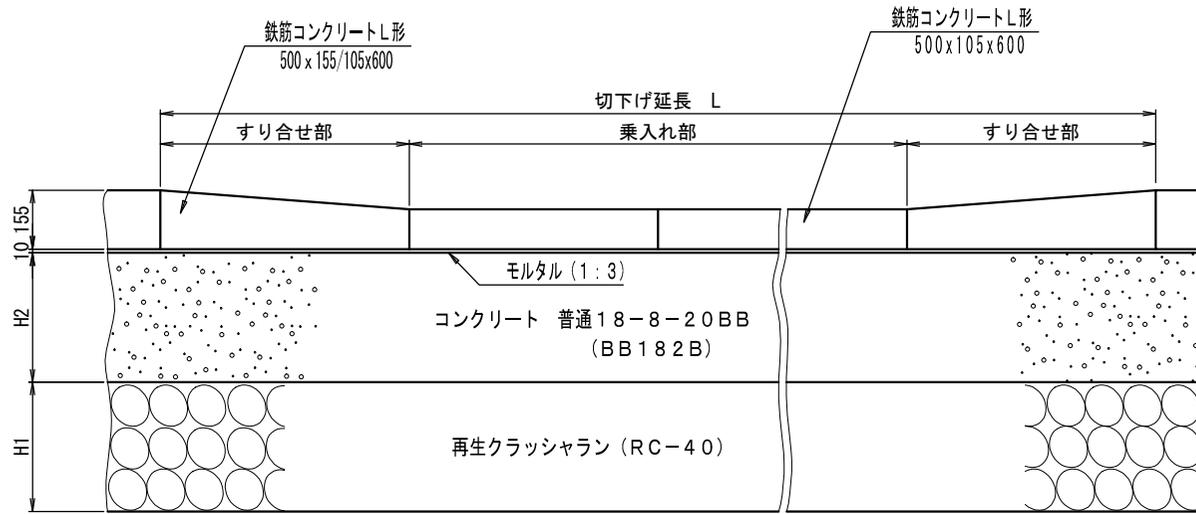
(100箇所当り)

型式	切下げ 延長 L(cm)	H1 (cm)	H2 (cm)	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B) (m ³)	モルタル 1:3 敷モルタル用 (m ³)	型 枠 (m ²)	再生クラッシュラン RC-40 (m ³)	すり合せ ブロック (個)	乗入れ ブロック (個)
AS型	303	10	10	13.6	1.4	60.6	13.6	200 (56kg/個)	300 (52kg/個)
BS型	424	20	20	38.2	1.9	169.7	38.2	200 (56kg/個)	500 (52kg/個)
CS型	545	20	20	49.1	2.5	218.2	49.1	200 (56kg/個)	700 (52kg/個)
DS型	727	20	20	65.4	3.3	290.9	65.4	200 (56kg/個)	1,000 (52kg/個)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝工	切下げ部 300B用	L H1 H2	2019

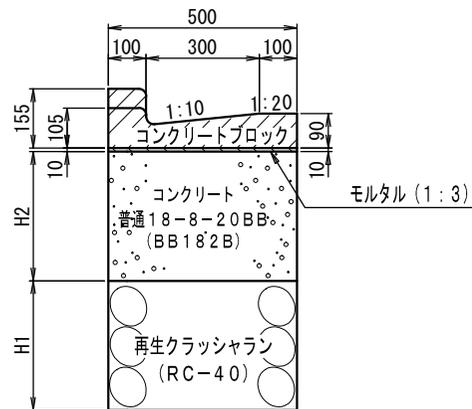
L形溝工（切下げ部、300B用）

正面図



- (注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

断面図



材 料 表

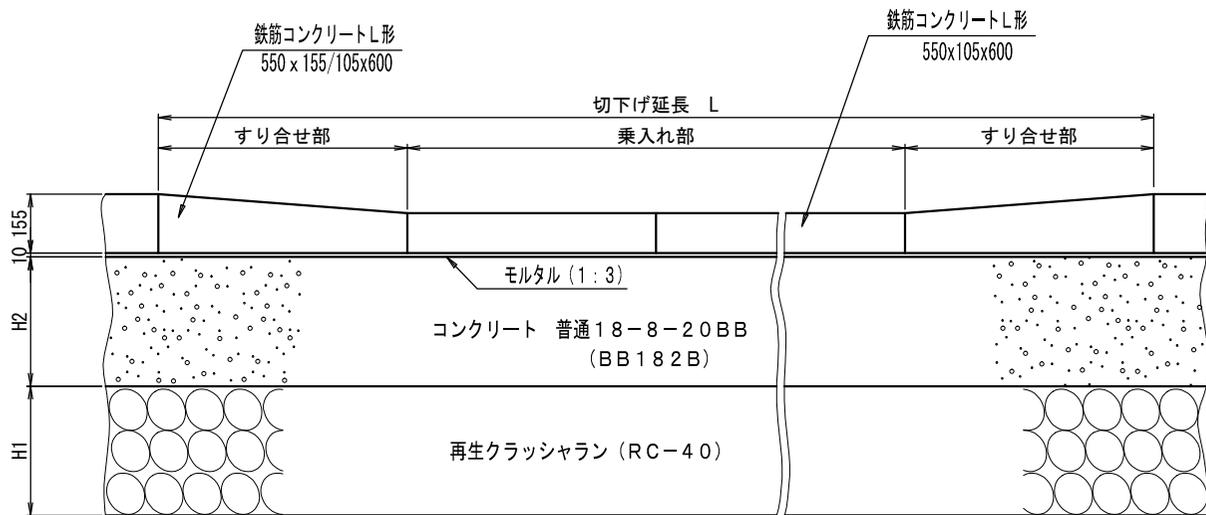
(100箇所当り)

型式	切下げ 延長 L(cm)	H1 (cm)	H2 (cm)	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B) (m ³)	モルタル 1:3 敷モルタル用 (m ³)	型 枠 (m ²)	再生クラッシュラン RC-40 (m ³)	すり合せ ブロック (個)	乗入れ ブロック (個)
AS型	303	10	10	15.2	1.5	60.6	15.2	200 (62kg/個)	300 (58kg/個)
BS型	424	20	20	42.4	2.1	169.7	42.4	200 (62kg/個)	500 (58kg/個)
CS型	545	20	20	54.5	2.7	218.2	54.5	200 (62kg/個)	700 (58kg/個)
DS型	727	20	20	72.7	3.6	290.9	72.7	200 (62kg/個)	1,000 (58kg/個)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝工	切下げ部 350B用	L H1 H2	2019

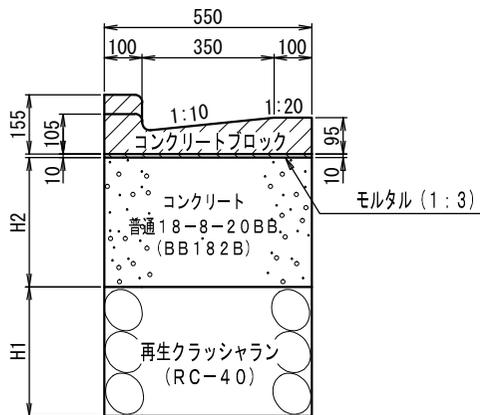
L形溝工（切下げ部、350B用）

正面図



(注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

断面図



材 料 表

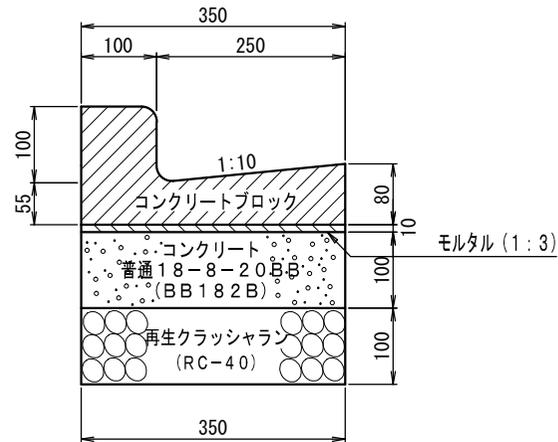
(100箇所当り)

型式	切下げ 延長 L(cm)	H1 (cm)	H2 (cm)	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B) (m ³)	モルタル 1:3 敷モルタル用 (m ³)	型 枠 (m ²)	再生クラッシュラン RC-40 (m ³)	すり合せ ブロック (個)	乗入れ ブロック (個)
AS型	303	10	10	16.7	1.7	60.0	16.7	200 (71kg/個)	300 (67kg/個)
BS型	424	20	20	46.7	2.3	169.7	46.6	200 (71kg/個)	500 (67kg/個)
CS型	545	20	20	60.0	3.0	218.2	60.0	200 (71kg/個)	700 (67kg/個)
DS型	727	20	20	80.0	4.0	290.9	80.0	200 (71kg/個)	1,000 (67kg/個)

L形溝工（鉄筋コンクリートL形、250A）

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝工	鉄筋コンクリートL形 250A		2019

断面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材 料 表

(100m当り)

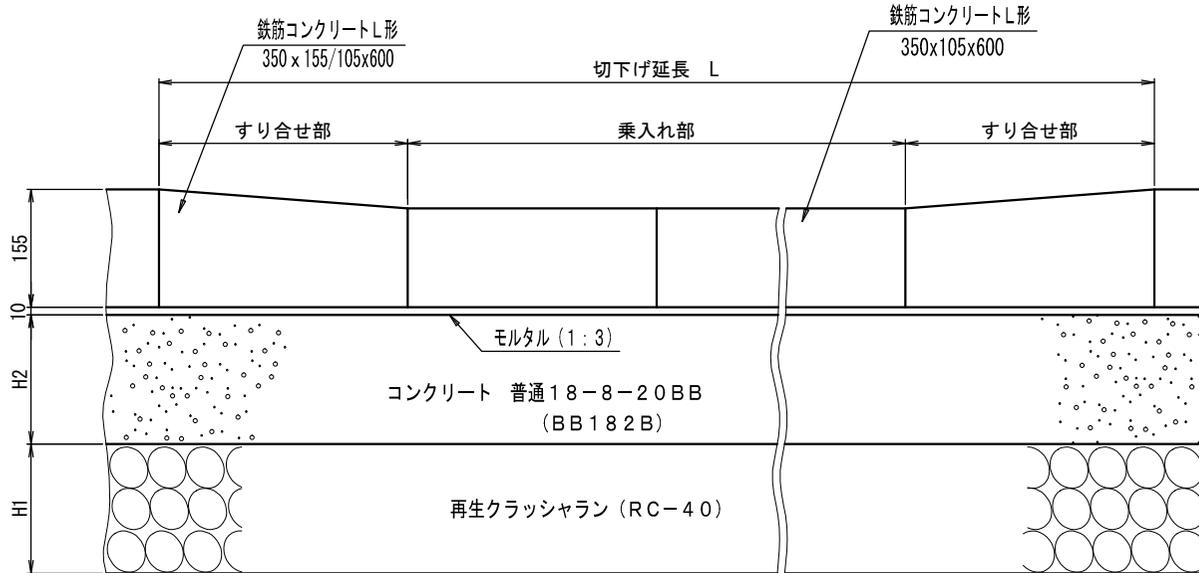
品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	3.5	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	//	3.5	
鉄筋コンクリートL形	250A	個	165.0	46 kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.4	敷モルタル用
型 枠		m ²	20.0	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

L形溝工 (切下げ部、250A用)

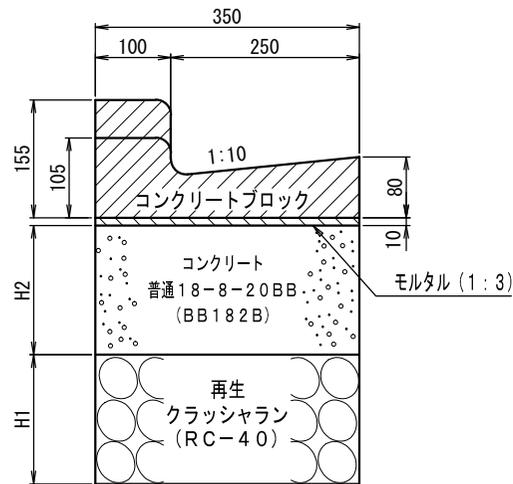
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝工	切下げ部 250A用	L H1 H2	2019

正面図



- (注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと
- (注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

断面図



材料表

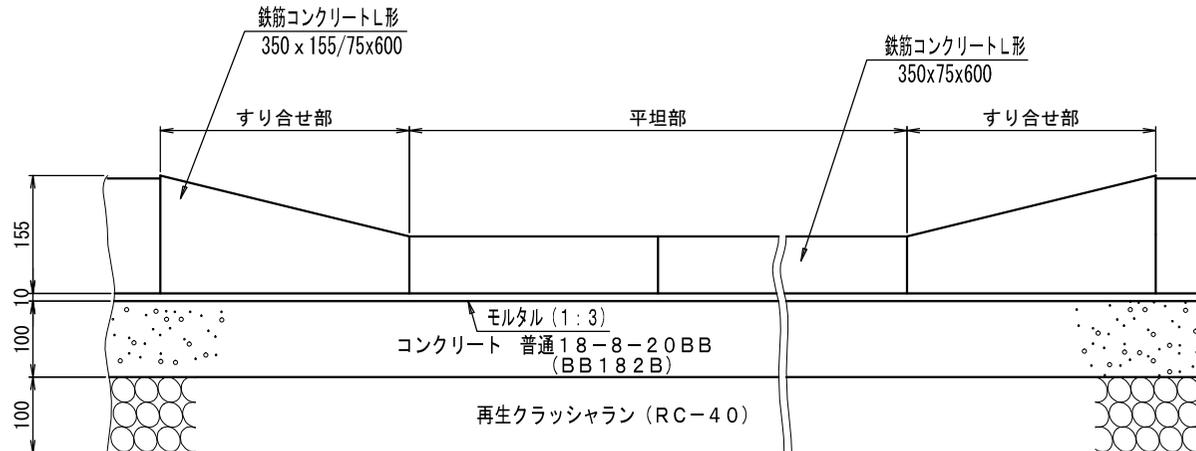
(100箇所当り)

型式	切下げ 延長 L(cm)	H1 (cm)	H2 (cm)	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B) (m ³)	モルタル 1:3 敷モルタル用 (m ³)	型 枠 (m ²)	再生クラッシュラン RC-40 (m ³)	すり合せ ブロック (個)	乗入れ ブロック (個)
AS型	303	10	10	10.6	1.1	60.0	10.6	200 (41kg/個)	300 (37kg/個)
BS型	424	20	20	29.7	1.5	169.6	29.7	200 (41kg/個)	500 (37kg/個)
CS型	545	20	20	38.2	1.9	218.0	38.2	200 (41kg/個)	700 (37kg/個)
DS型	727	20	20	50.9	2.5	290.8	50.9	200 (41kg/個)	1,000 (37kg/個)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝工	歩行者横断用 切り下げ部 250A用		2019

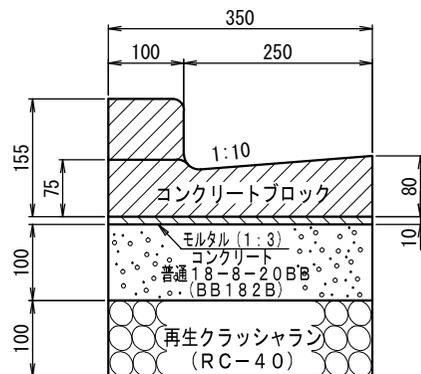
L形溝工（歩行者横断用切り下げ部、250A用）

正面図



- (注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

断面図



材 料 表

平坦部材料表

(100m当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	3.5	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	3.5	
鉄筋コンクリート L形	250A 平坦部	個	165.0	33kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.4	敷モルタル用
型 枠		m ²	20.0	

すり合せ部材料表

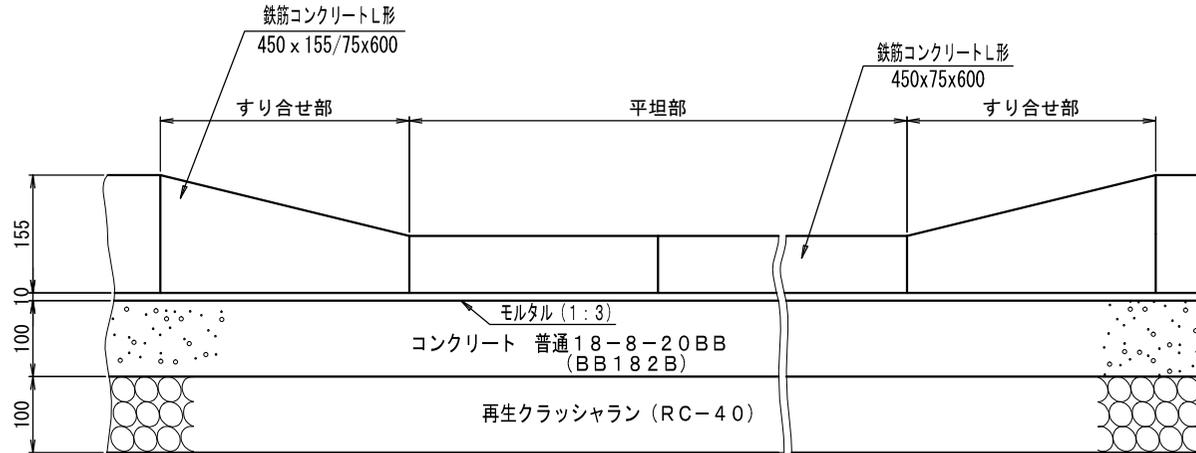
(100箇所当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	4.2	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	4.2	
鉄筋コンクリート L形	250A すり合せ	個	200.0	39kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.4	敷モルタル用
型 枠		m ²	24.0	

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝工	歩行者横断用 切り下げ部 250B用		2019

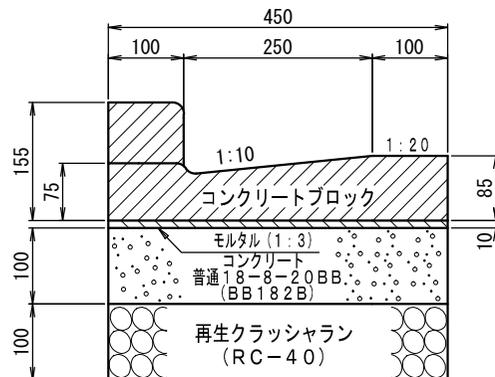
L形溝工（歩行者横断用切り下げ部、250B用）

正面図



- (注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

断面図



平坦部材料表

(100m当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	4.5	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	4.5	
鉄筋コンクリートL形	250B 平坦部	個	165.0	47kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.5	敷モルタル用
型枠		m ²	20.0	

すり合せ部材料表

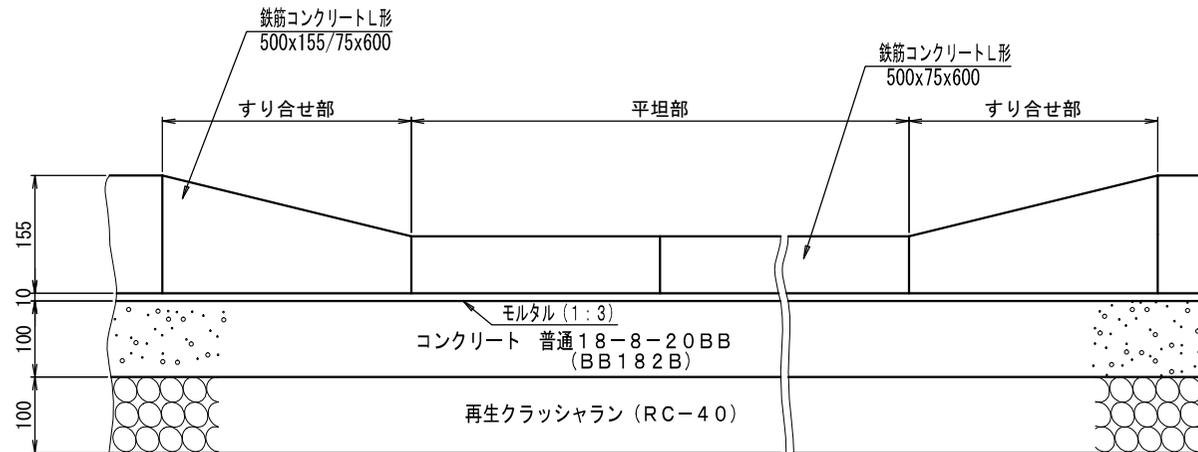
(100箇所当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	5.4	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	5.4	
鉄筋コンクリートL形	250B すり合せ	個	200.0	52kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.5	敷モルタル用
型枠		m ²	24.0	

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝工	歩行者横断用 切り下げ部 300B用		2019

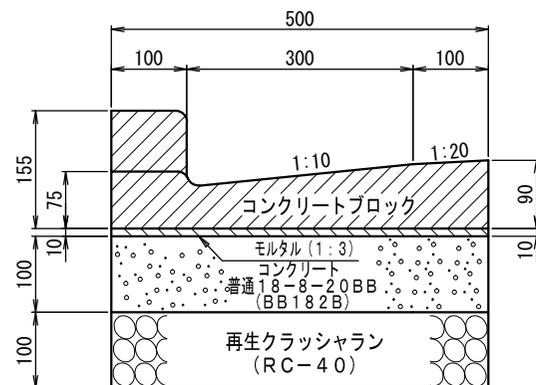
L形溝工（歩行者横断用切り下げ部、300B用）

正面図



- (注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

断面図



平坦部材料表

(100m当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	5.0	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	5.0	
鉄筋コンクリート L形	300B 平坦部	個	165.0	51kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.5	敷モルタル用
型枠		m ²	20.0	

すり合せ部材料表

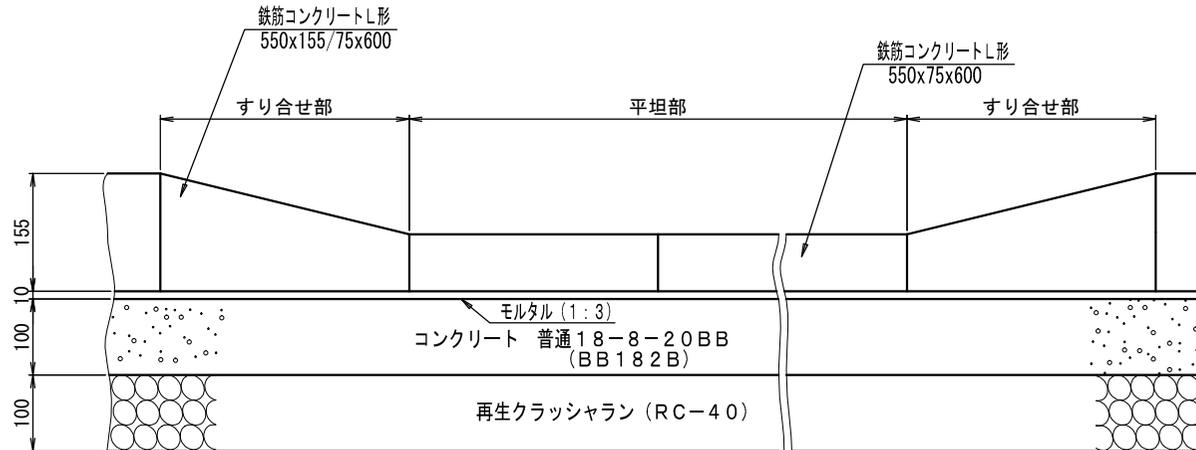
(100箇所当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	6.0	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	6.0	
鉄筋コンクリート L形	300B すり合せ	個	200.0	57kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.6	敷モルタル用
型枠		m ²	24.0	

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝工	歩行者横断用 切り下げ部 350B用		2019

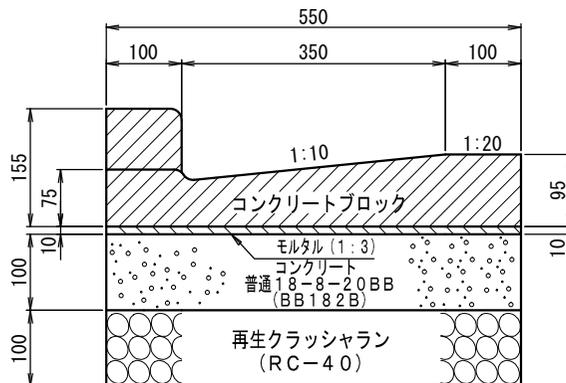
L形溝工（歩行者横断用切り下げ部、350B用）

正面図



- (注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

断面図



平坦部材料表

(100m当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	5.5	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	5.5	
鉄筋コンクリート L形	350B 平坦部	個	165.0	58kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.6	敷モルタル用
型枠		m ²	20.0	

すり合せ部材料表

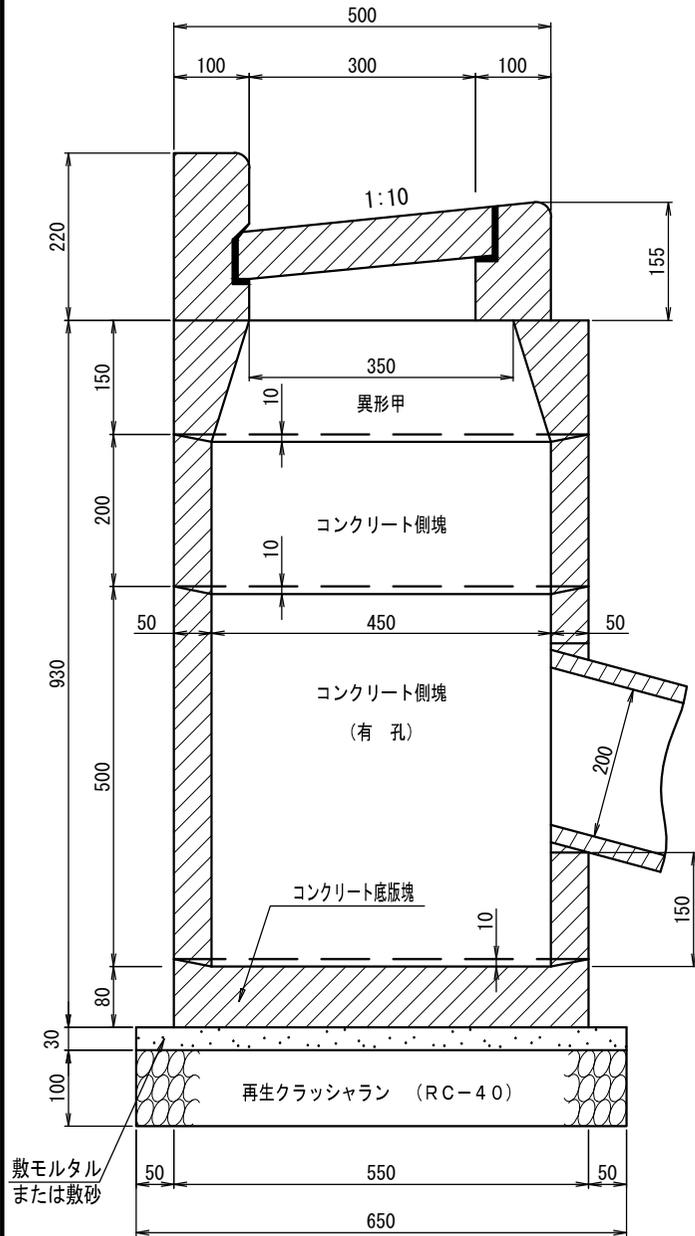
(100箇所当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	6.6	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	6.6	
鉄筋コンクリート L形	350B すり合せ	個	200.0	64kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.7	敷モルタル用
型枠		m ²	24.0	

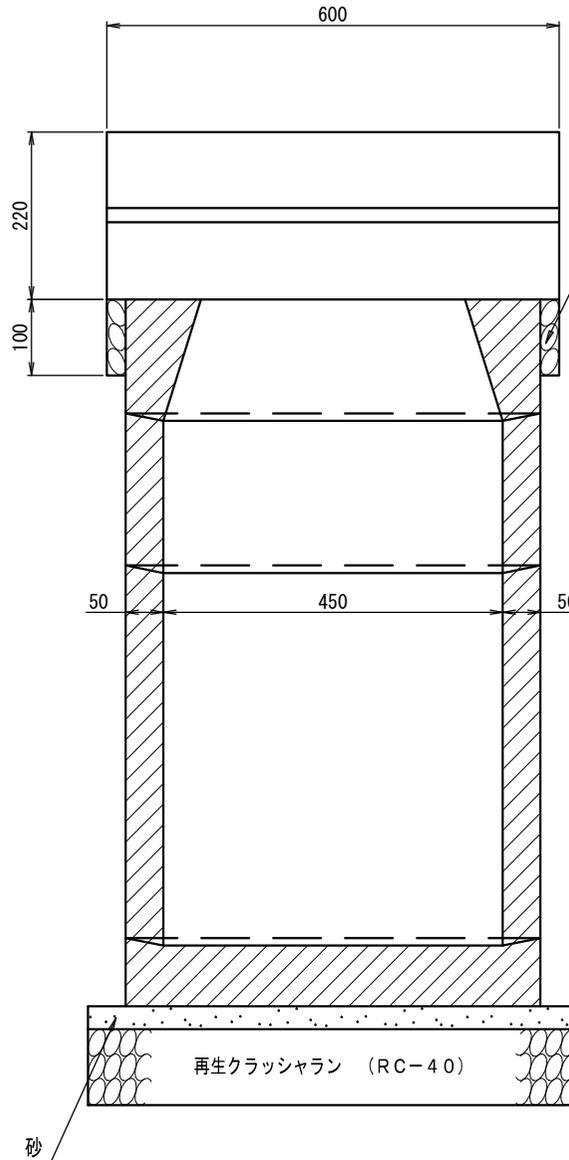
L形溝用集水ます工 (300用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝用 集水ます工	300用		2019

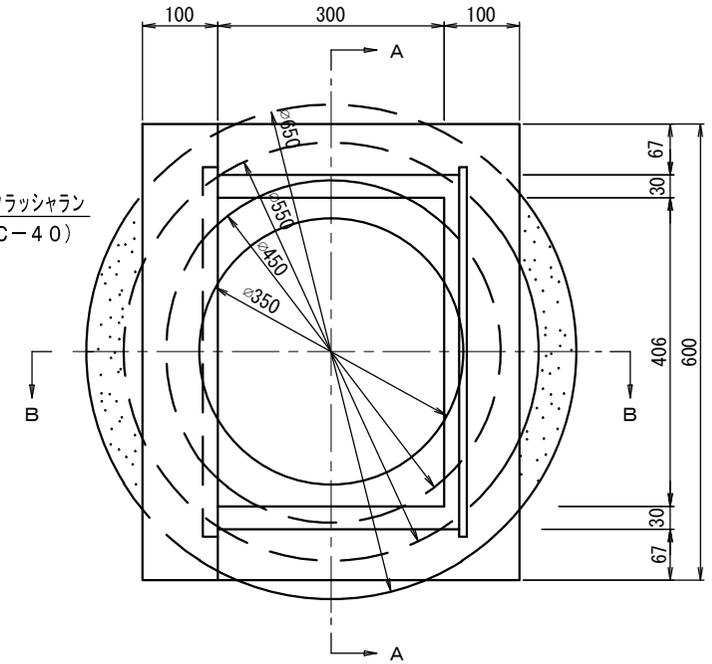
B-B 断面図



A-A 断面図



平面図



材料表

(100箇所当たり)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40	m ³	4.0	縁塊まわりを含む
	敷モルタルまたは敷砂	"	1.0	
モルタル	1:3	"	0.7	
底板塊		個	100.0	41 kg/個
側塊	有孔	"	100.0	89 kg/個
"		"	100.0	38 kg/個
"	異形甲	"	100.0	43 kg/個
縁塊		"	100.0	66 kg/個
グレーチングふた	300用	"	100.0	

注) 流出・排水施設については変更する場合がある。
供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。

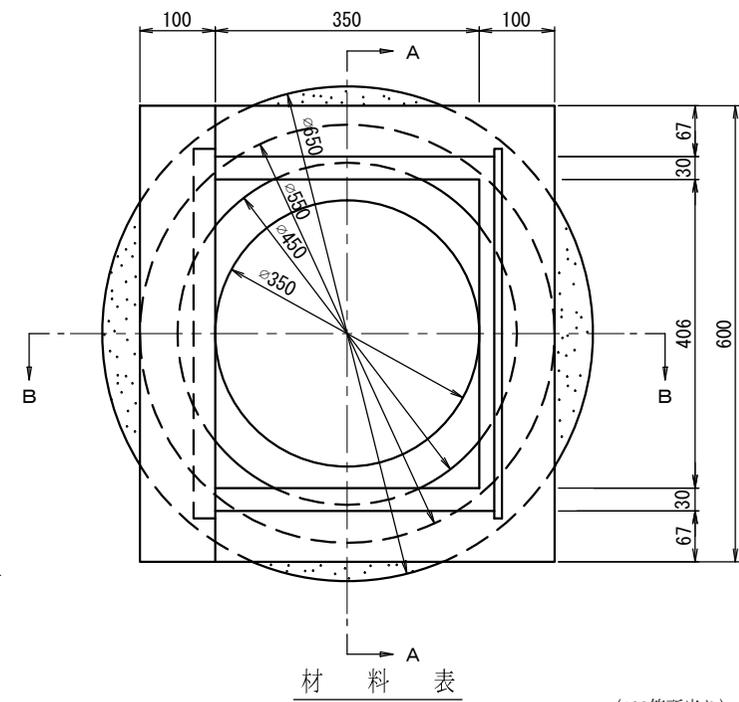
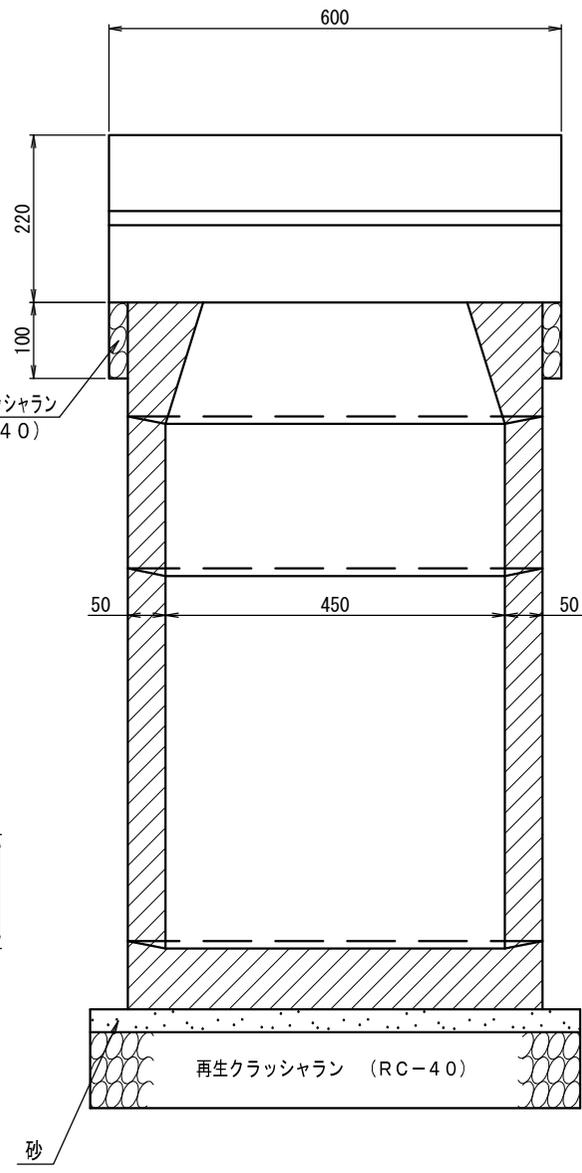
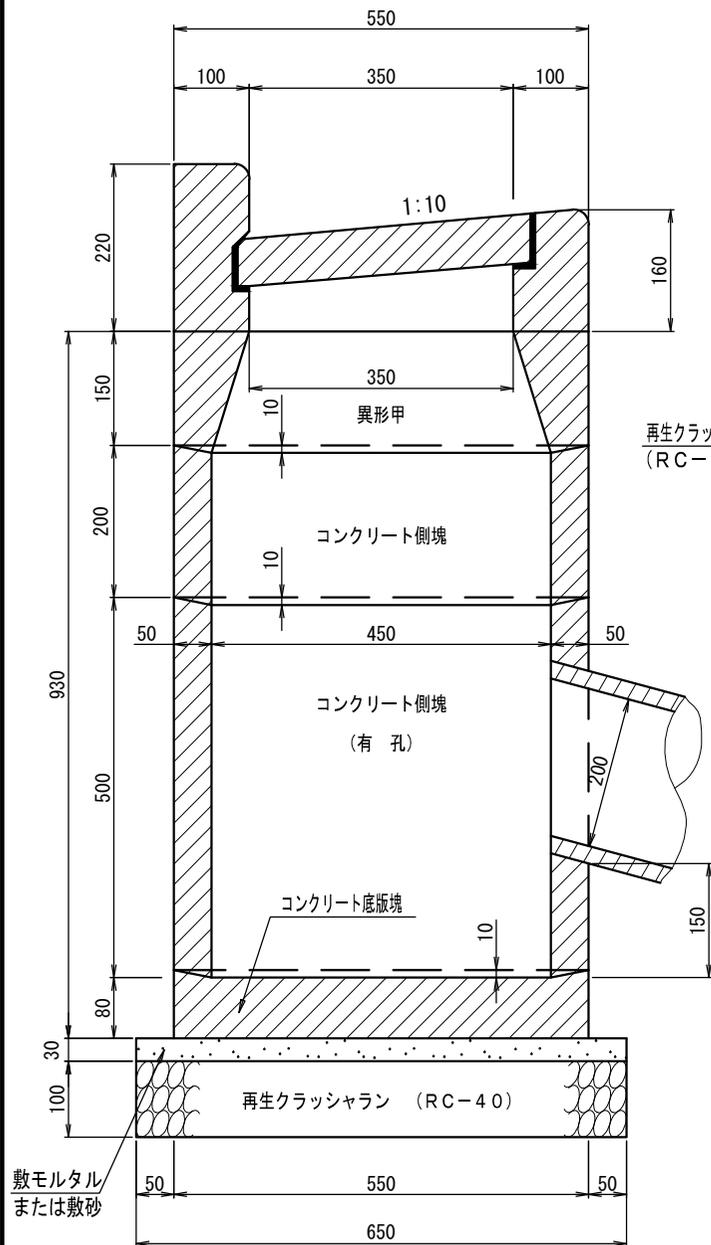
L形溝用集水ます工 (350用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝用 集水ます工	350用		2019

B-B 断面図

A-A 断面図

平面図



材料表

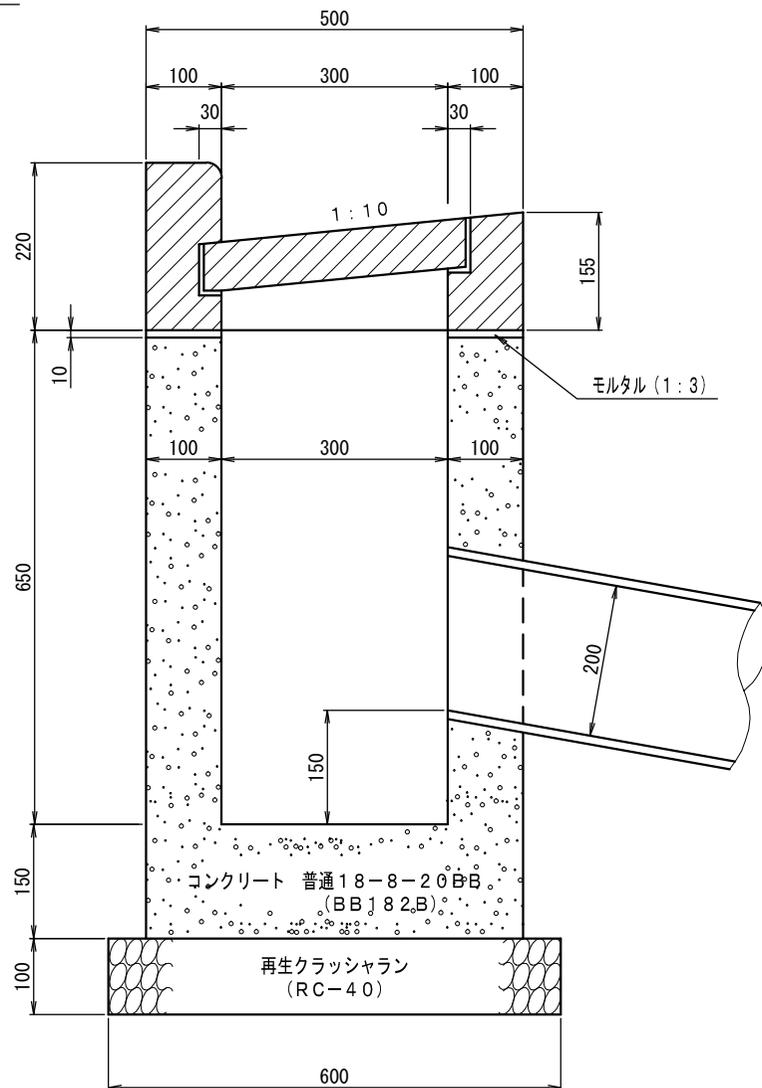
(100箇所当り)				
品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
基礎材	RC-40	m ³	4.2	縁塊まわりを含む
	敷モルタルまたは敷砂	"	1.0	
モルタル	1:3	"	0.7	
底版塊		個	100.0	41 kg/個
側塊	有孔	"	100.0	89 kg/個
"		"	100.0	38 kg/個
"	異形甲	"	100.0	43 kg/個
縁塊		"	100.0	70 kg/個
グレーチングふた	350用	"	100.0	

注) 流出・排水施設については変更する場合がある。
供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。

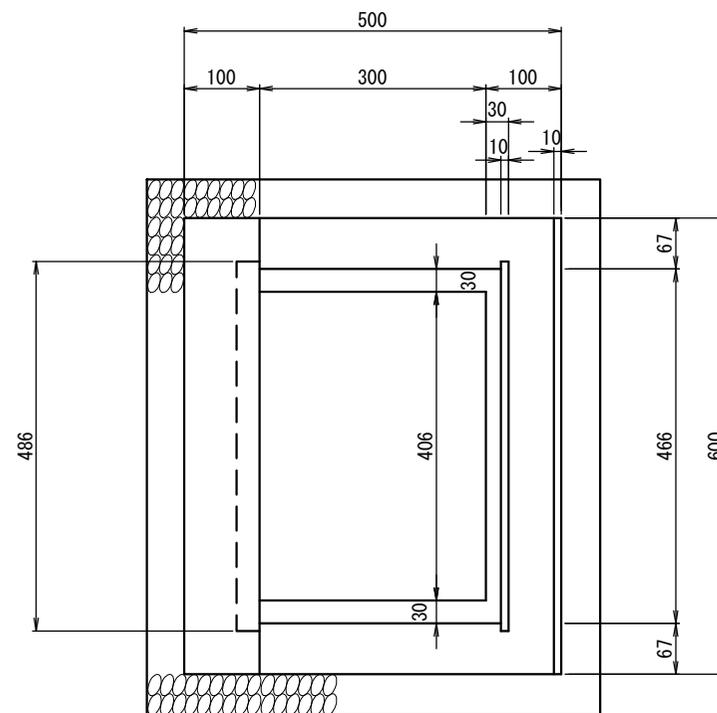
L形溝用集水ます工（300用、現場打コンクリート使用）

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝用 集水ます工	300用 現場打コン クリート使用		2019

断面図



平面図



材料表

(100箇所当たり)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	4.2	
コンクリート	普通 18-8-20 BB (BB182B)	〃	15.4	
縁塊		個	100.0	66 kg/個
グレーチングふた	300用	〃	100.0	
型枠		m ²	264.2	
モルタル	1:3	m ³	0.2	

注1) 流入流出等の排水施設については変更する場合もある。

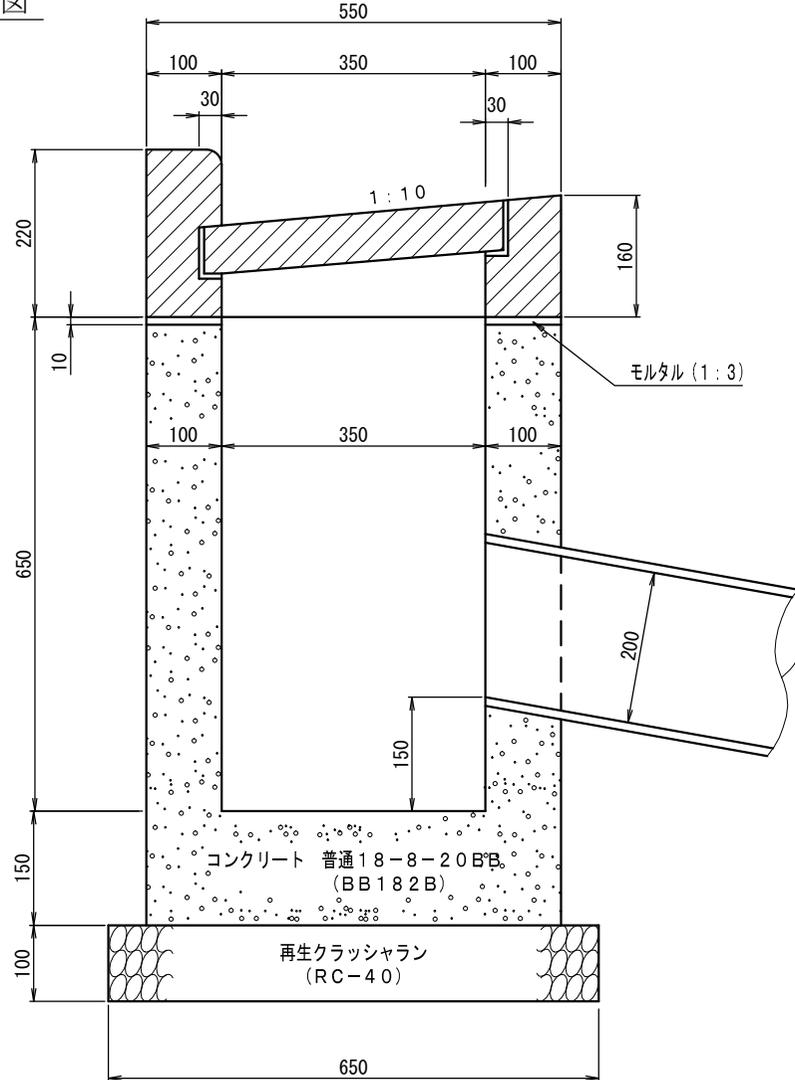
供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。

注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

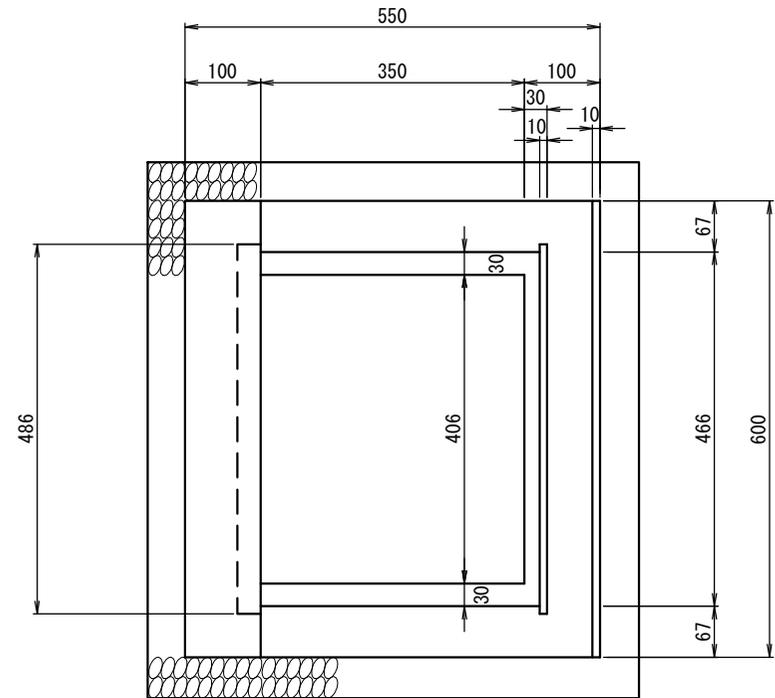
L形溝用集水ます工（350用、現場打コンクリート使用）

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝用 集水ます工	350用 現場打コン クリート使用		2019

断面図



平面図



材料表

(100箇所当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	4.6	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	〃	16.5	
縁塊		個	100.0	70 kg/個
グレーチングふた	350用	〃	100.0	
型枠		m ²	278.5	
モルタル	1:3	m ³	0.2	

注1) 流入流出等の排水施設については変更する場合もある。

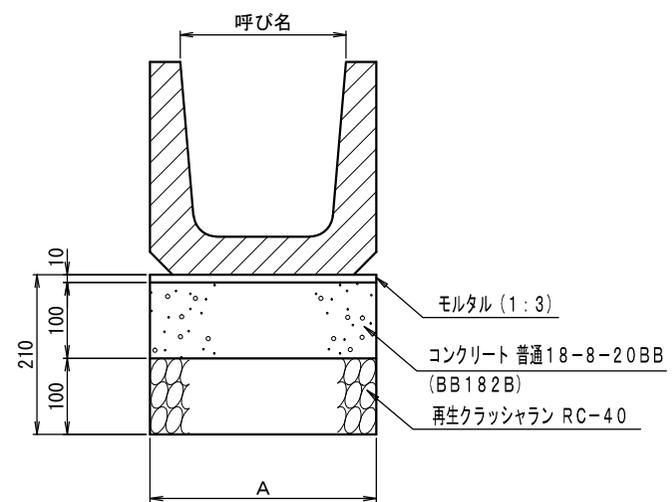
供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。

注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

U型溝工 (コンクリート基礎)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	U型溝工	コンクリート基礎	A	2019

断面図



寸法表

(単位 mm)

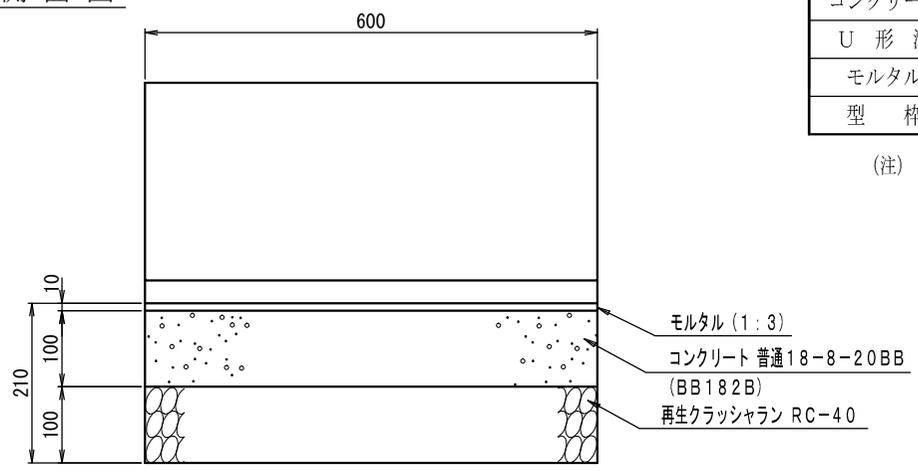
	呼 び 名				
	180	240	300A~C	360A、B	450
A	250	300	370	460	560
重量	34 kg/個	53 kg/個	A. 67kg/個 B. 78 # C. 89 #	A. 100kg/個 B. 120 #	140 kg/個

材 料 表

(100m当り)

品 名	形状寸法	単位	呼 び 名				
			180	240	300A~C	360A、B	450
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	2.5	3.0	3.7	4.6	5.6
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	2.5	3.0	3.7	4.6	5.6
U形溝	2種	個	165.0	165.0	165.0	165.0	165.0
モルタル	1:3	m ³	0.25	0.30	0.37	0.46	0.56
型 枠		m ²	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0

側面図



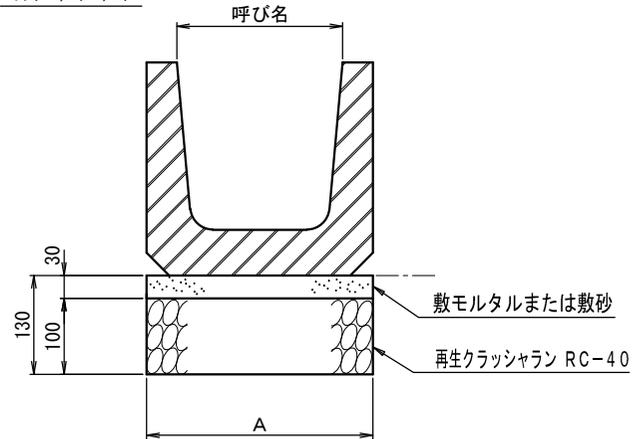
(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	U形溝工	砂基礎	A	2019

U形溝工

断面図

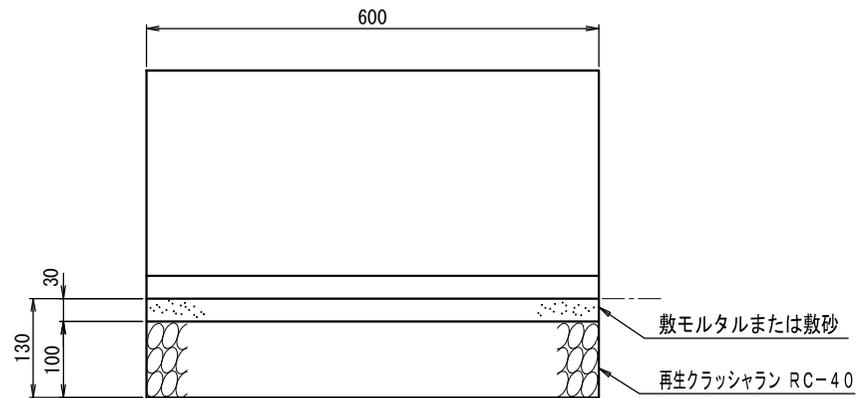


寸法表

(単位 mm)

	呼 び 名				
	180	240	300A~C	360A、B	450
A	250	300	370	460	560
重量	34 kg/個	53 kg/個	A. 67kg/個 B. 78 // C. 89 //	A. 100kg/個 B. 120 //	140 kg/個

側面図



材 料 表

(100m当り)

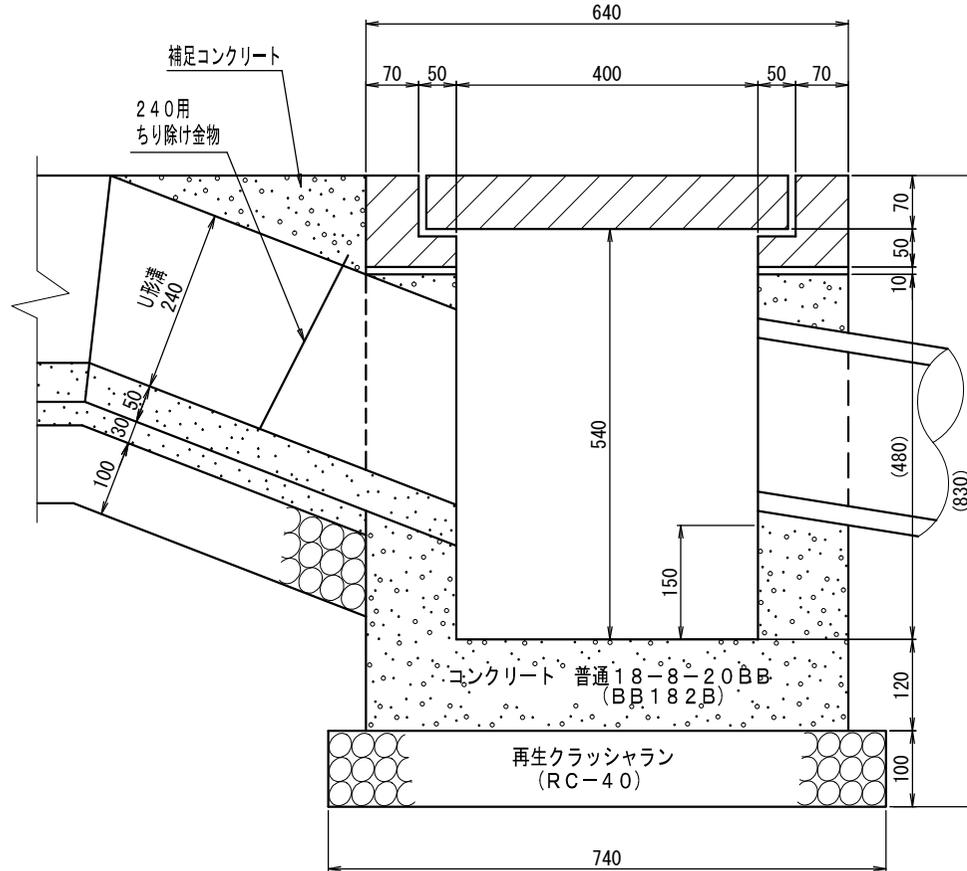
品 名	形状寸法	単位	呼 び 名				
			180	240	300A~C	360A、B	450
基 礎 材	RC-40	m ³	2.5	3.0	3.7	4.6	5.6
	敷モルタルまたは敷砂	m ³	0.8	0.9	1.1	1.4	1.7
U 形 溝	1種	個	165.0	165.0	165.0	165.0	165.0

(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

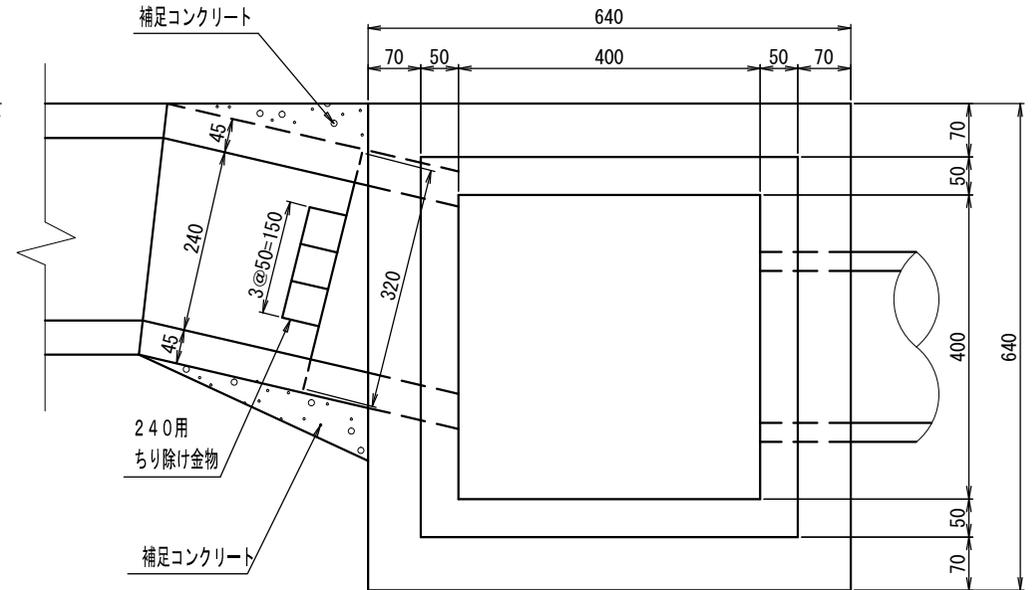
U形溝用集水ます工(240用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	U形溝用 集水ます工	240用		2019

断面図



平面図



材料表

(100箇所当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	5.5	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	"	15.3	
コンクリート ブロック	640×640×120	個	100.0	55kg/個
ちり除け金物	240用	"	100.0	
モルタル	1:3	m ³	0.2	
ますぶた 型枠	490×490×70 (鋳鉄製)	個	100.0	
		m ²	230.4	

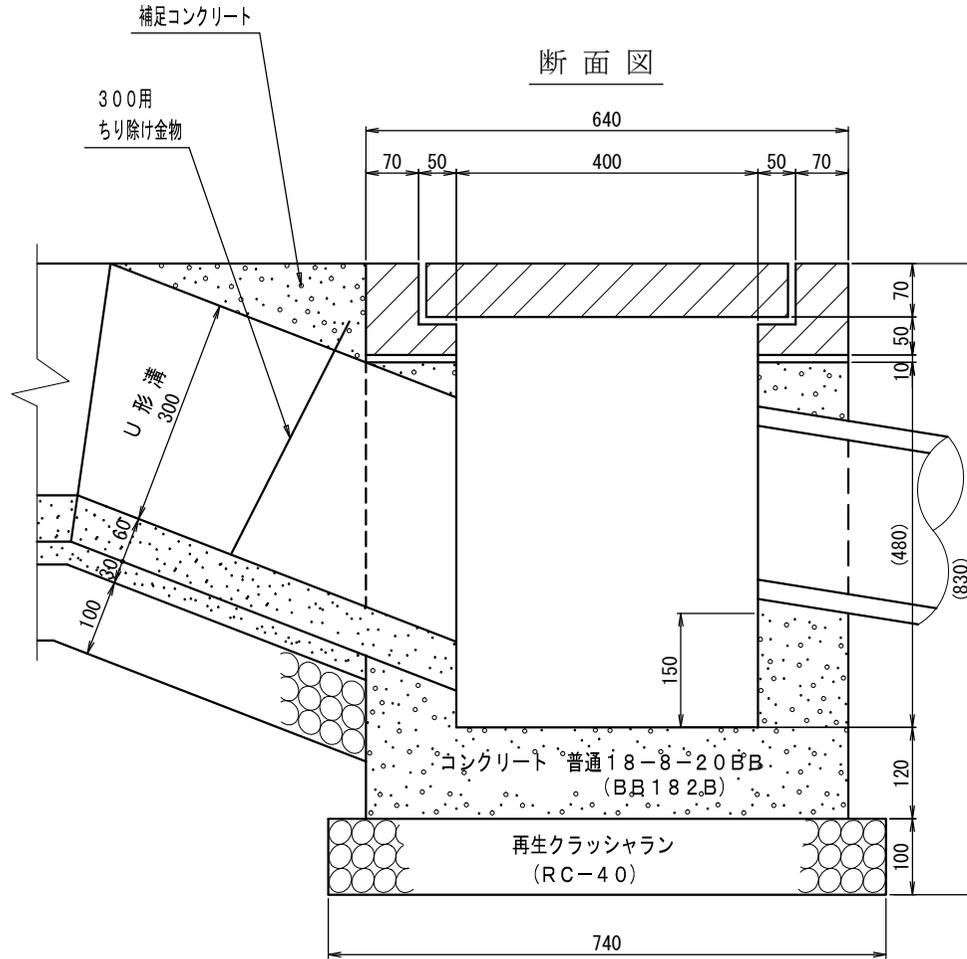
- 注1) 流入流出等の排水施設については変更する場合もある。
供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。
- 注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

* この表のコンクリートには補足コンクリートは含まれていない。

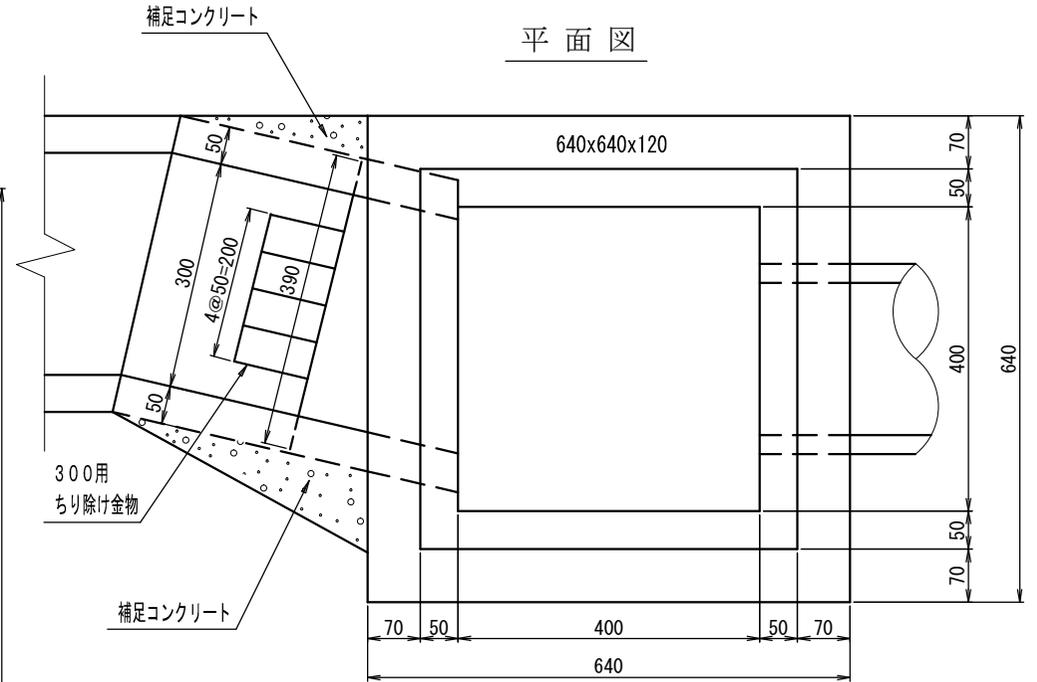
U形溝用集水ます工(300用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	U形溝用 集水ます工	300用		2019

断面図



平面図



材料表

(100箇所当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	5.5	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	"	14.7	
コンクリート ブロック	640×640×120	個	100.0	55kg/個
ちり除け金物	300用	"	100.0	
モルタル	1:3	m ³	0.2	
ますぶた	490×490×70(鋳鉄製)	個	100.0	
型枠		m ²	230.4	

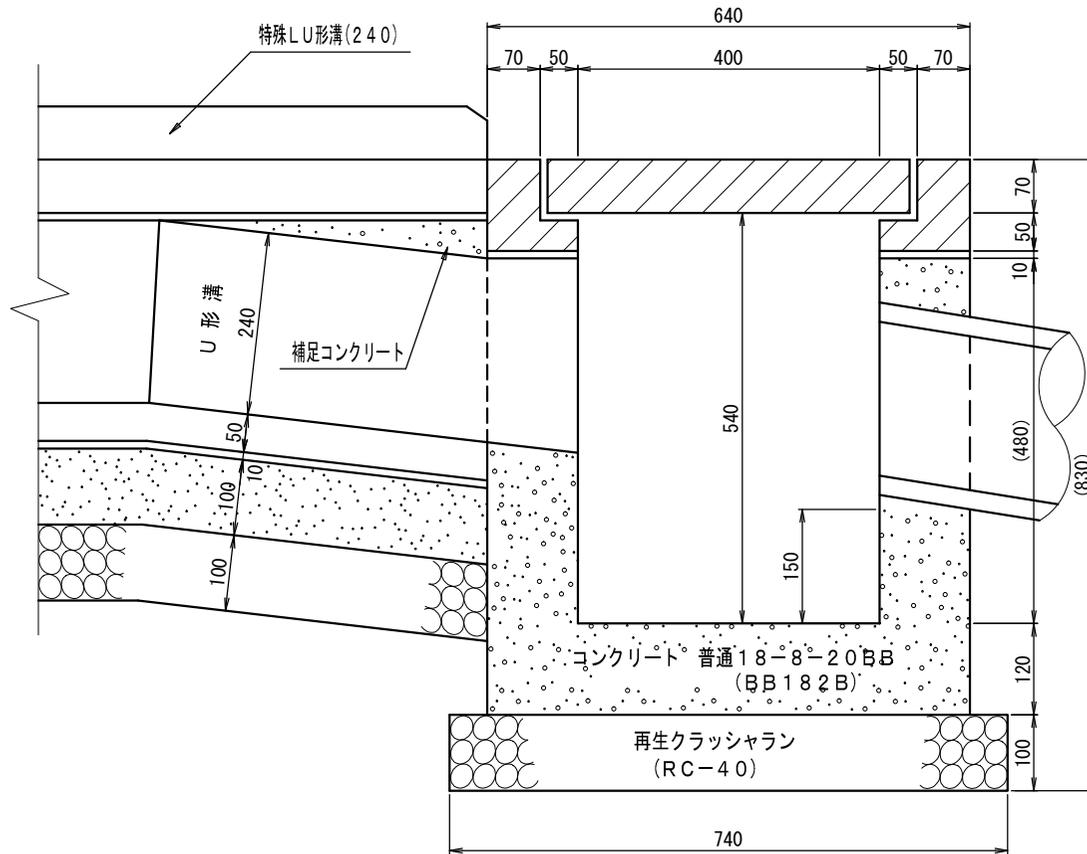
- 注1) 流入流出等の排水施設については変更する場合もある。
供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。
- 注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

※ この表のコンクリートには補足コンクリートは含まれていない。

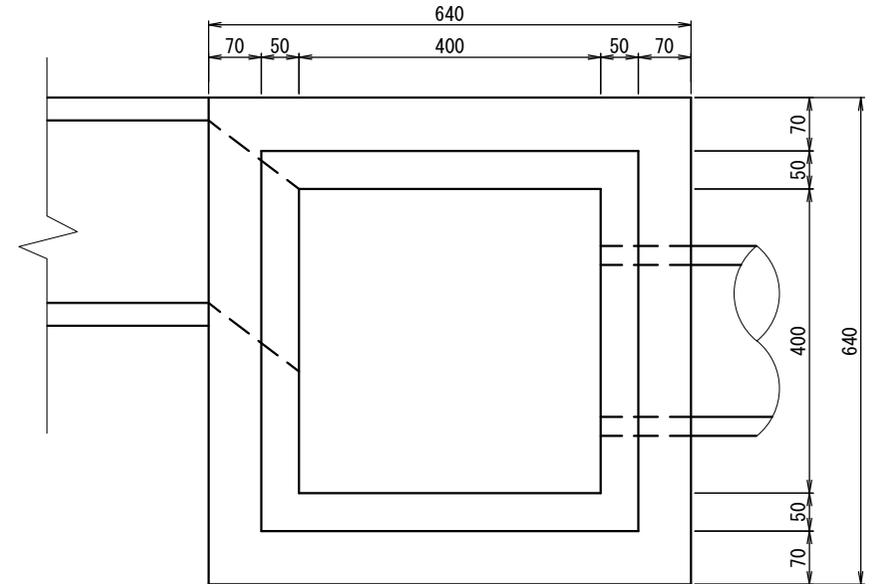
U形溝用集水ます工(特殊LU形溝240用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	U形溝用 集水ます工	特殊 LU形溝 240用		2019

断面図



平面図



材料表

(100箇所当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	5.5	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	〃	15.3	
コンクリート ブロック	640×640×120	個	100.0	55kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.2	
ますぶた	490×490×70 (鋳鉄製)	個	100.0	
型枠		m ²	230.4	

備考

U形溝用集水ますへの取付は、
特殊LU形溝の前後一本にて
調整を行う。

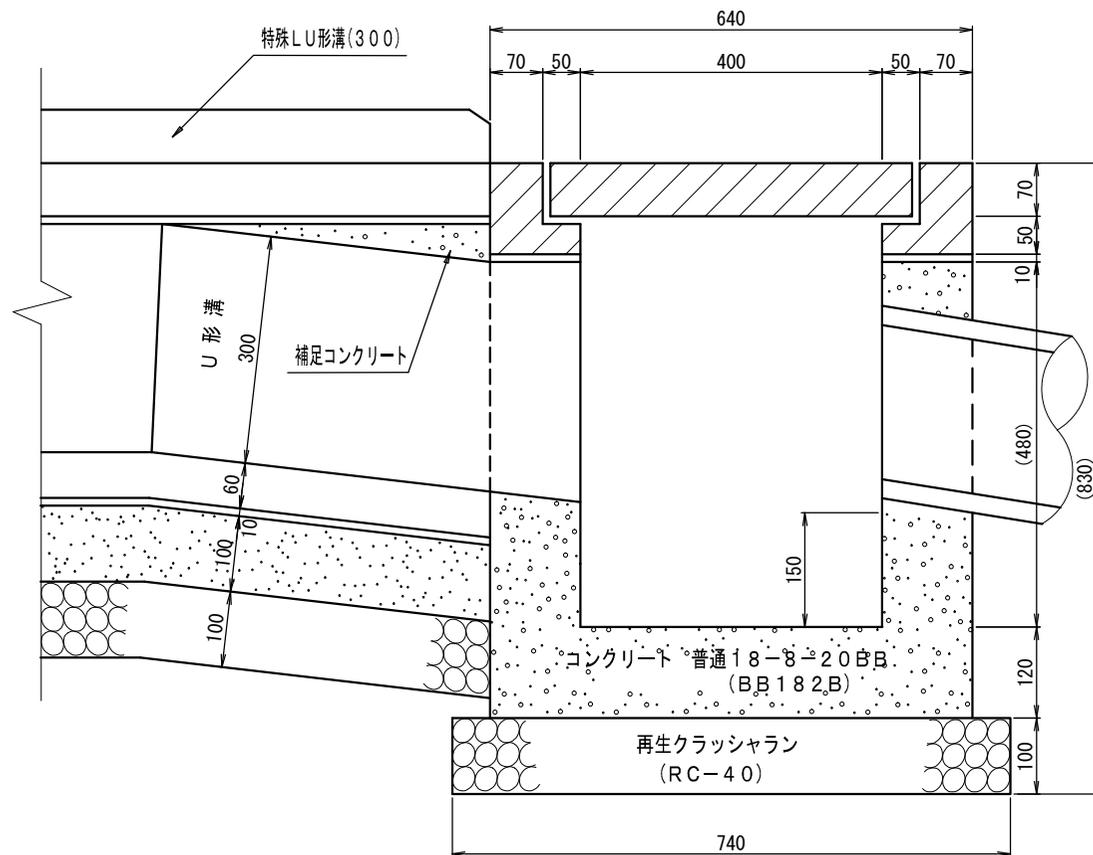
- 注1) 流入流出等の排水施設については変更する場合もある。
供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。
注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

※ この表のコンクリートには補足コンクリートは含まれていない。

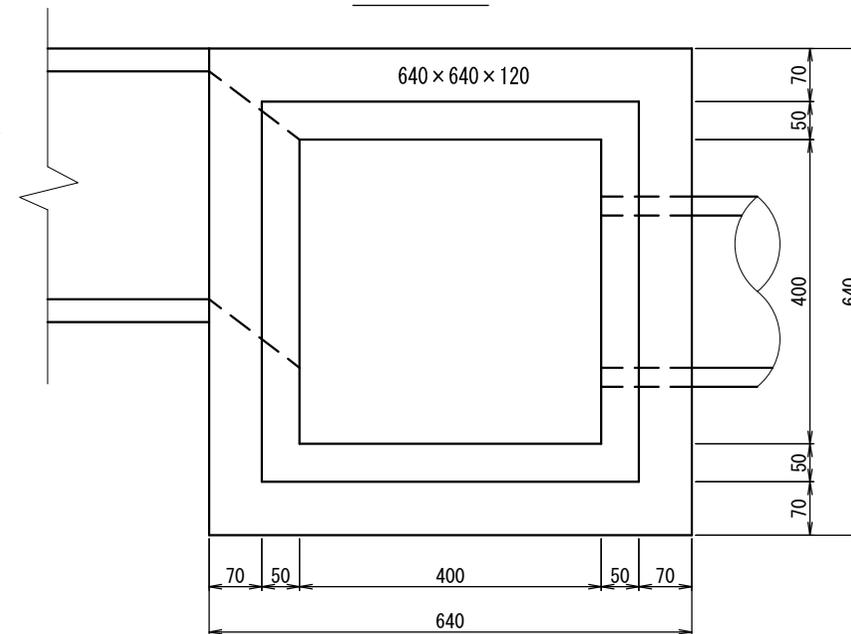
U形溝用集水ます工(特殊LU形溝300用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	U形溝用集水ます工	特殊LU形溝300用		2019

断面図



平面図



材料表

(100箇所当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	5.5	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	〃	14.7	
コンクリートブロック	640×640×120	個	100.0	55kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.2	
ますぶた	490×490×70 (鋳鉄製)	個	100.0	
型枠		m ²	230.4	

※ この表のコンクリートには補足コンクリートは含まれていない。

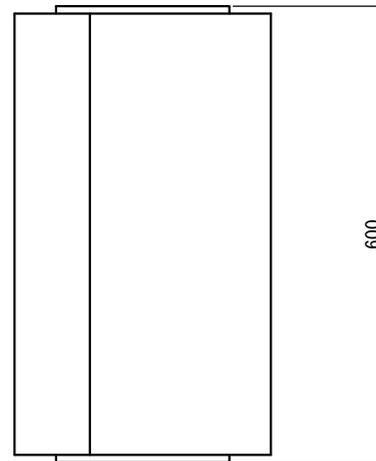
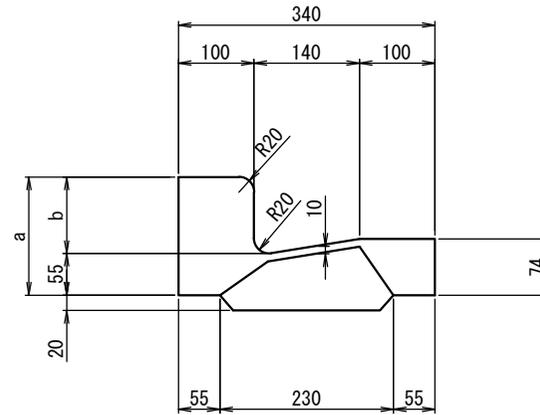
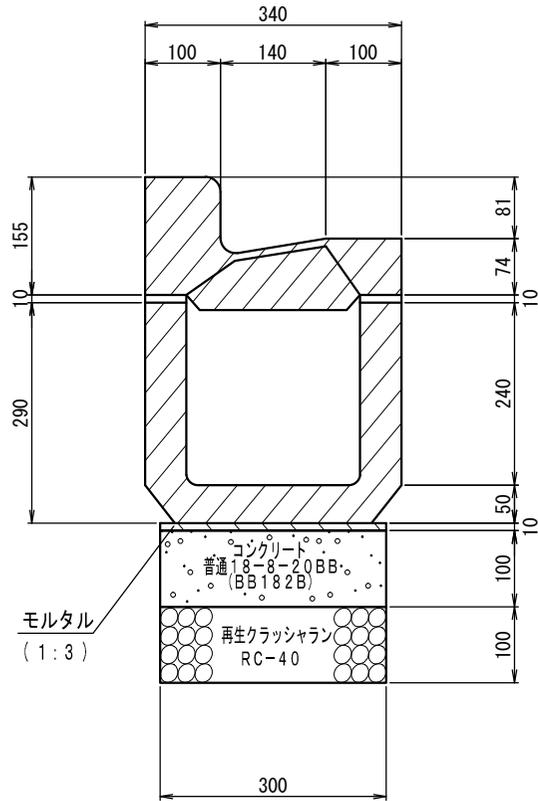
備考

U形溝用集水ますへの取付は、特殊LU形溝の前後一本にて調整を行う。

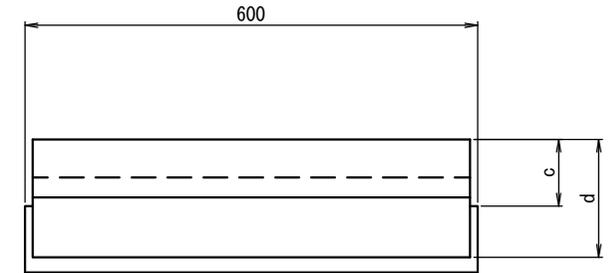
- 注1) 流入流出等の排水施設については変更する場合もある。供用後も、蓋と縁塊の隙間が開かない(1.5cm以下を目安)構造とすること。
- 注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

特殊LU形溝工 (240)

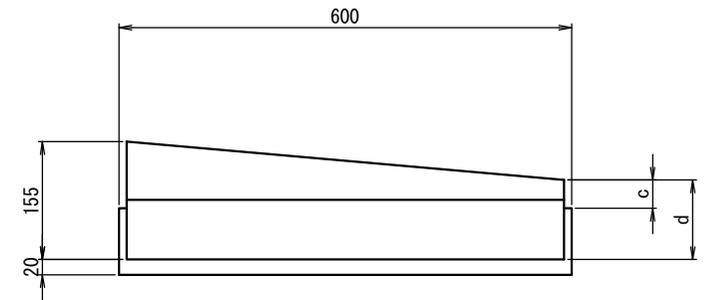
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	特殊LU形溝工	240		2019



一般部・平坦部



すり合わせ部



材料表

(100m当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	3.0	
型枠		m ²	20.0	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	3.0	
モルタル	1:3	〃	0.4	
U形溝	240 (2種)	個	165.0	53kg/個
特殊L型溝	240用	〃	166.0	50kg/個

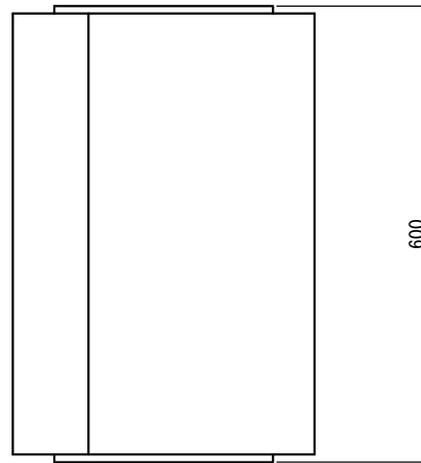
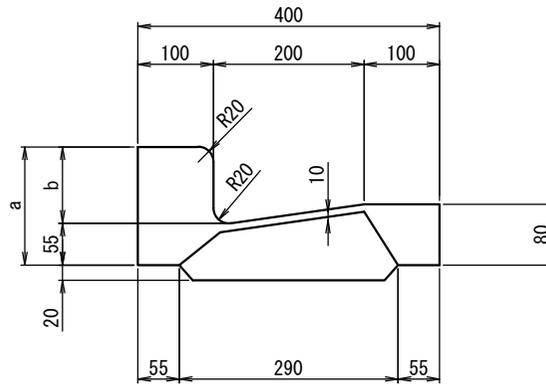
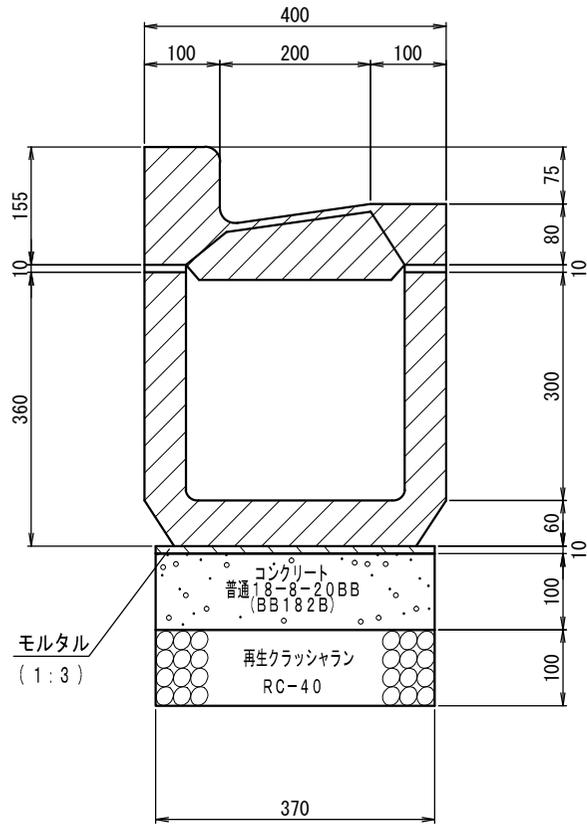
呼び名	形状・寸法 (mm)			
	a	b	c	d
240 一般部	155	100	100	155
240 平坦部 2cm	75	20	20	75
240 平坦部 5cm	105	50	50	105
240 すり合わせ部 2cm	—	—	20	75
240 すり合わせ部 5cm	—	—	50	105

(注1) 各ブロック間には、目地モルタルを施すこと。

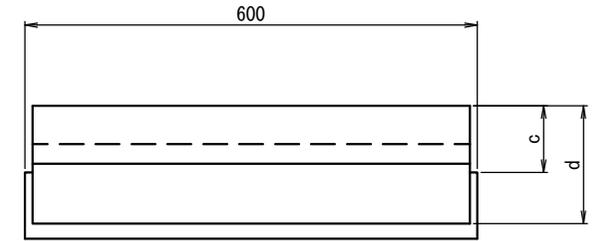
(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

特殊LU形溝工 (300B)

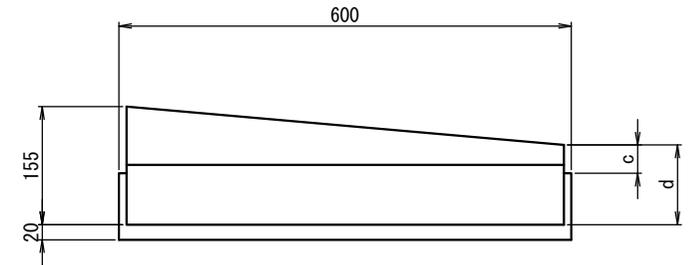
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	特殊LU形溝工	300B		2019



一般部・平坦部



すり合わせ部



材料表

(100m当り)

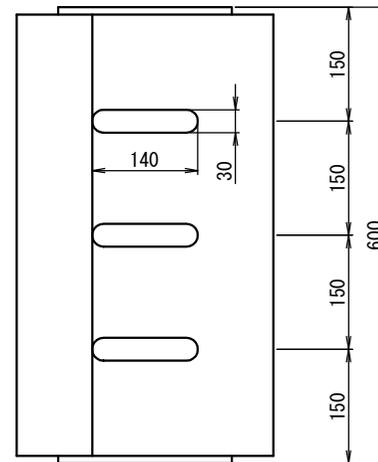
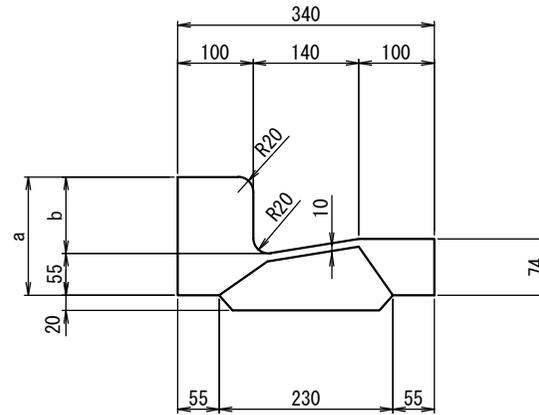
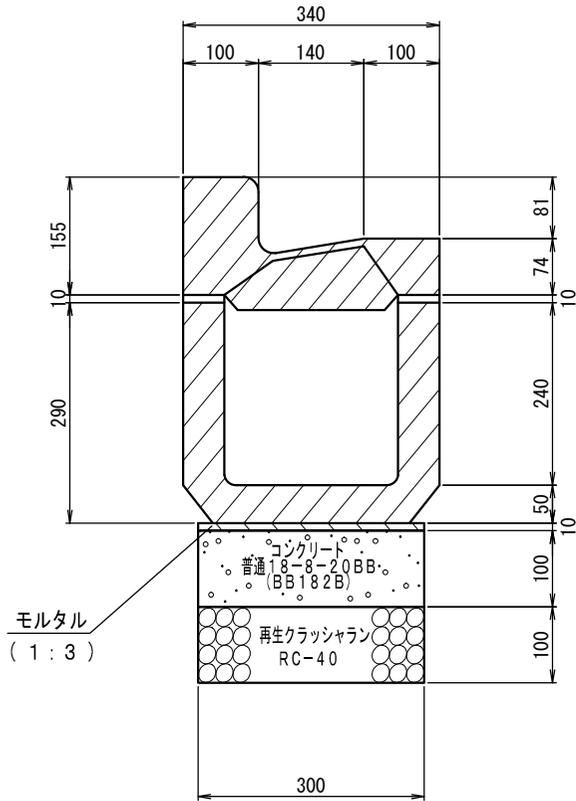
品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	3.7	
型枠		m ²	20.0	
コンクリート	普通 18-8-20BB (BB182B)	m ³	3.7	
モルタル	1:3	#	0.5	
U形溝	300B (2種)	個	165.0	78kg/個
特殊L型溝	300用	#	166.0	57kg/個

呼び名	形状・寸法 (mm)			
	a	b	c	d
300 一般部	155	100	100	155
300 平坦部 2cm	75	20	20	75
300 平坦部 5cm	105	50	50	105
300 すり合わせ部 2cm	—	—	20	75
300 すり合わせ部 5cm	—	—	50	105

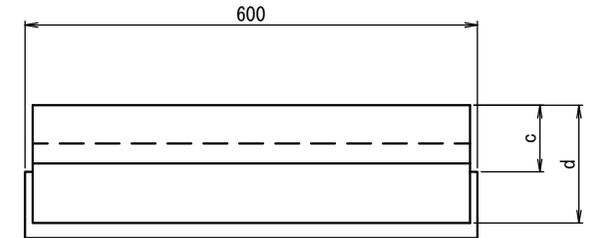
(注1) 各ブロック間には、目地モルタルを施すこと。
 (注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

特殊LU形溝工 (240穴あき)

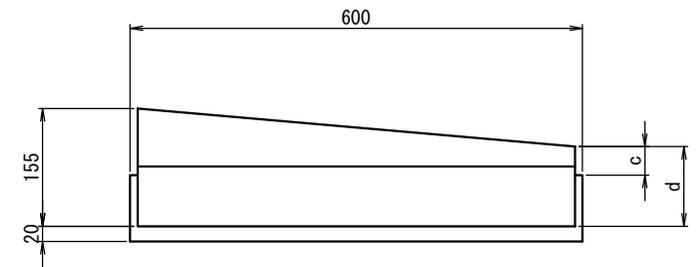
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	特殊LU形溝工	240穴あき		2019



一般部・平坦部



すり合わせ部



材料表

(100m当り)

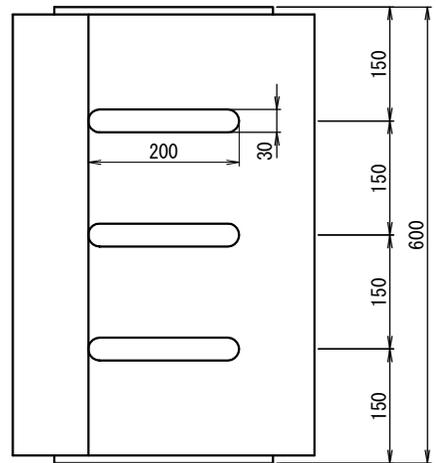
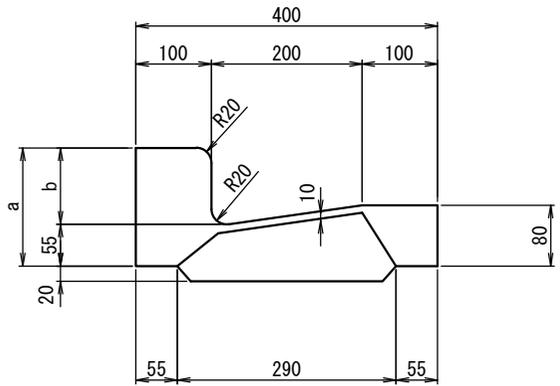
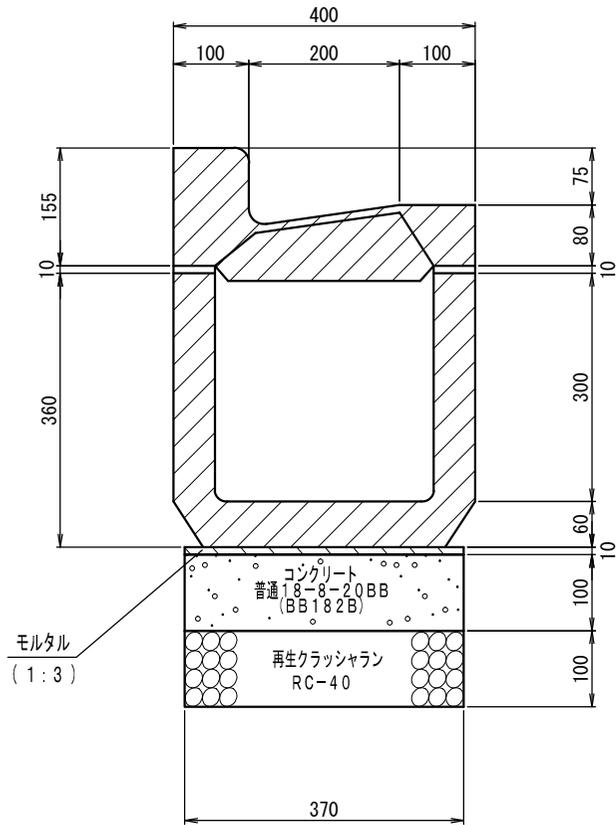
品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	3.0	
型枠		m ²	20.0	
コンクリート	普通 18-8-20BB (BB182B)	m ³	3.0	
モルタル	1:3	〃	0.4	
U形溝	240 (2種)	個	165.0	53kg/個
特殊L型溝	240用	〃	166.0	48kg/個

(注) 各ブロック間には、目地モルタルを施すこと。
穴あきは6m (10枚) に1箇所とする。
調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

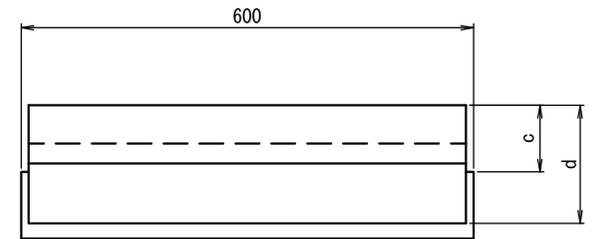
呼び名	形状・寸法 (mm)			
	a	b	c	d
240穴あき 一般部	155	100	100	155
240穴あき 平坦部 2cm	75	20	20	75
240穴あき 平坦部 5cm	105	50	50	105
240穴あき すり合わせ部 2cm	—	—	20	75
240穴あき すり合わせ部 5cm	—	—	50	105

特殊LU形溝工（300穴あき）

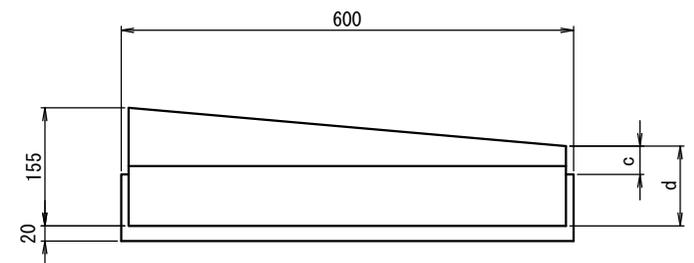
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	特殊LU形溝工	300穴あき		2019



一般部・平坦部



すり合わせ部



材料表

(100m当り)

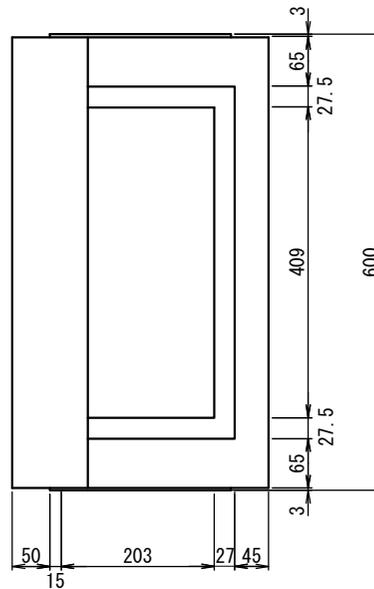
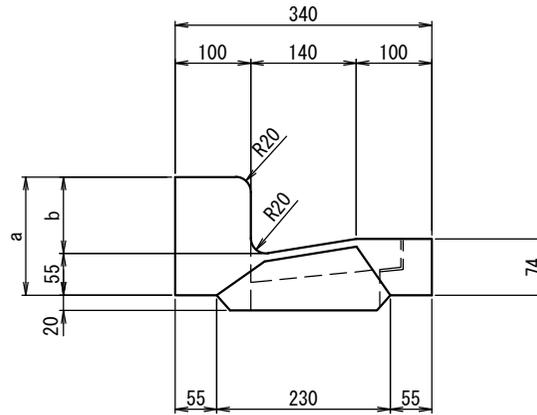
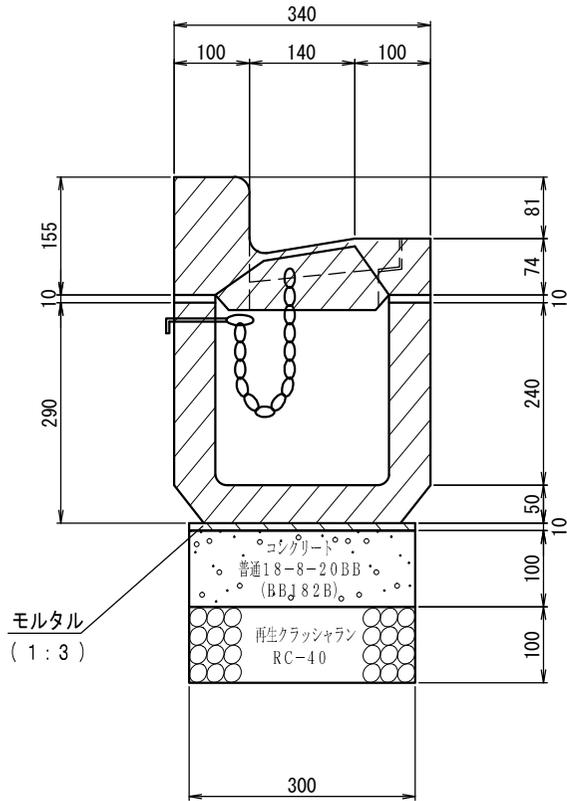
品名	形状・寸法	単位	数量	数量
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	3.7	
型枠		m ²	20.0	
コンクリート	普通 18-8-20BB (BB182B)	m ³	3.7	
モルタル	1:3	〃	0.5	
U形溝	300B (2種)	個	165.0	78kg/個
特殊L型溝	300用	〃	166.0	55kg/個

(注) 各ブロック間には、目地モルタルを施すこと。
穴あきは6m (10枚) に1箇所とする。
調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

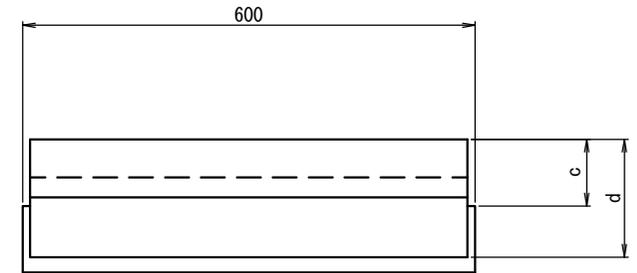
呼び名	形状・寸法 (mm)			
	a	b	c	d
300穴あき 一般部	155	100	100	155
300穴あき 平坦部 2cm	75	20	20	75
300穴あき 平坦部 5cm	105	50	50	105
300穴あき すり合わせ部 2cm	—	—	20	75
300穴あき すり合わせ部 5cm	—	—	50	105

特殊L U形用集水ます工 (240)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	特殊L U形用集水ます工	240		2019



一般部・平坦部



材料表

(100箇所当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	1.8	
コンクリート	普通18-8-20BB (BBJ 82B)	〃	1.8	
U形溝	240 2種	個	100.0	53kg/個
特殊L形縁塊	240	〃	100.0	32kg/個
ふた	グレーチング T-14	〃	100.0	
モルタル	1:3	m ³	0.3	
型枠		m ²	18.0	

呼び名	形状・寸法 (mm)			
	a	b	c	d
240縁塊 一般部	155	100	100	155
240縁塊 平坦部 2cm	75	20	20	75
240縁塊 平坦部 5cm	105	50	50	105

注) ・グレーチングふたは鎖にて固定すること。

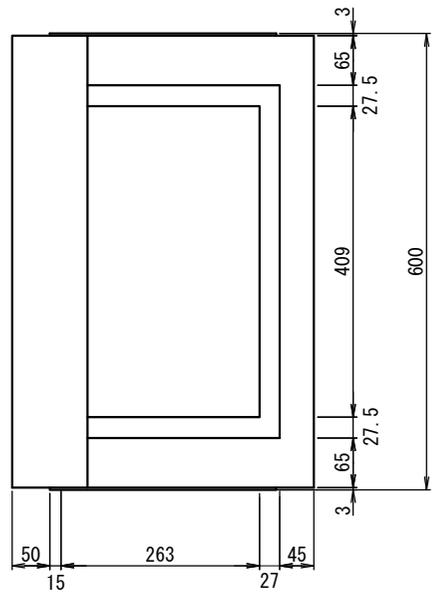
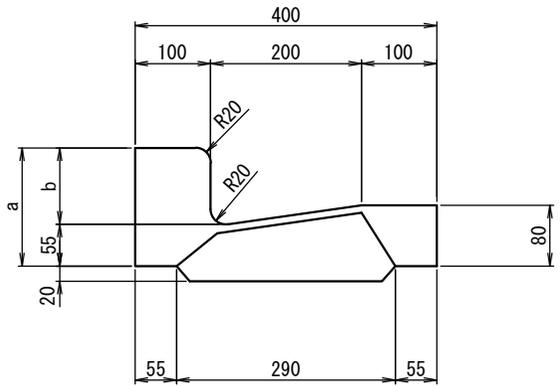
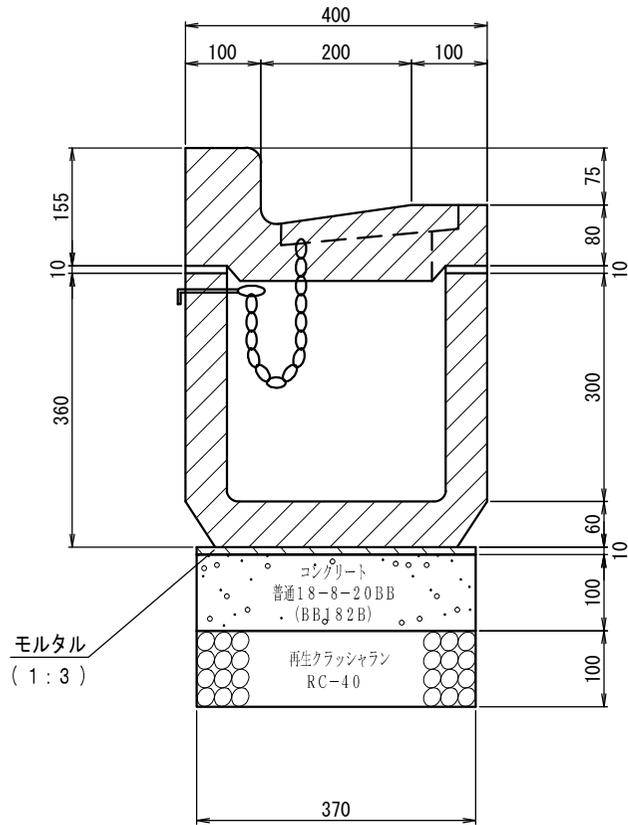
・グレーチングふたは滑り止めタイプとする。なお

歩行者横断部のグレーチングふたは原則として細目タイプとする。

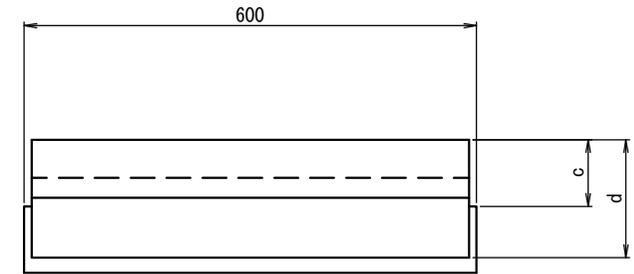
・調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

特殊LU形用集水ます工 (300B)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	特殊LU形用集水ます工	300B		2019



一般部・平坦部



材料表

(100箇所当り)

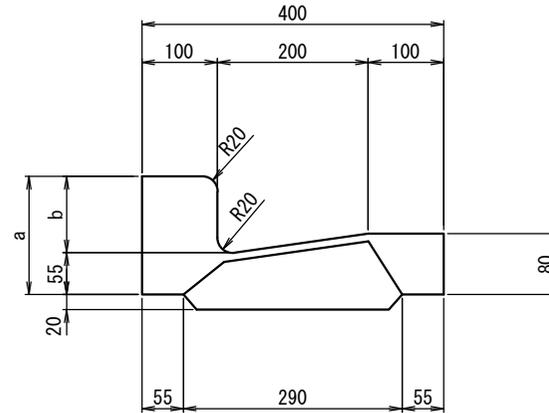
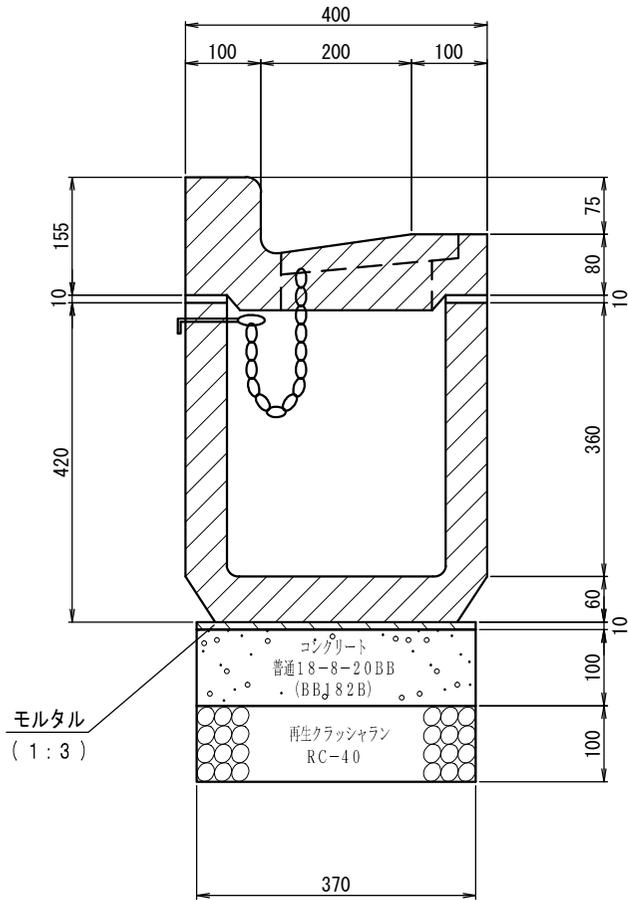
品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	2.2	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	〃	2.2	
U形溝	300B 2種	個	100.0	78kg/個
特殊L形縁塊	300	〃	100.0	35kg/個
ふた	グレーチング T-14	〃	100.0	
モルタル	1:3	m ³	0.3	
型枠		m ²	19.4	

呼び名	形状・寸法 (mm)			
	a	b	c	d
300縁塊 一般部	155	100	100	155
300縁塊 平坦部 2cm	75	20	20	75
300縁塊 平坦部 5cm	105	50	50	105

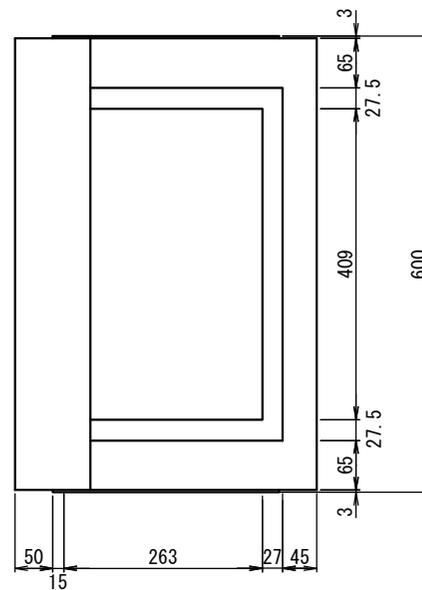
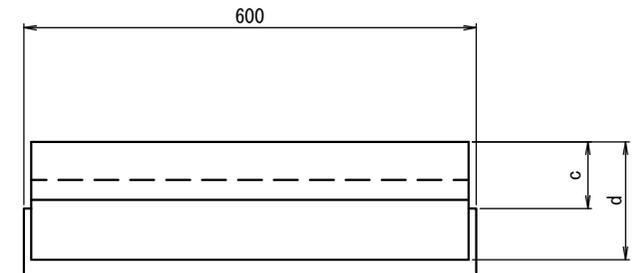
- 注) ・グレーチングふたは鎖にて固定すること。
 ・グレーチングふたは滑り止めタイプとする。なお
 歩行者横断部のグレーチングふたは原則として細目タイプとする。
 ・調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

特殊L U形用集水ます工 (300C)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	特殊L U形用集水ます工	300C		2019



一般部・平坦部



モルタル
(1:3)

材料表

(100箇所当り)

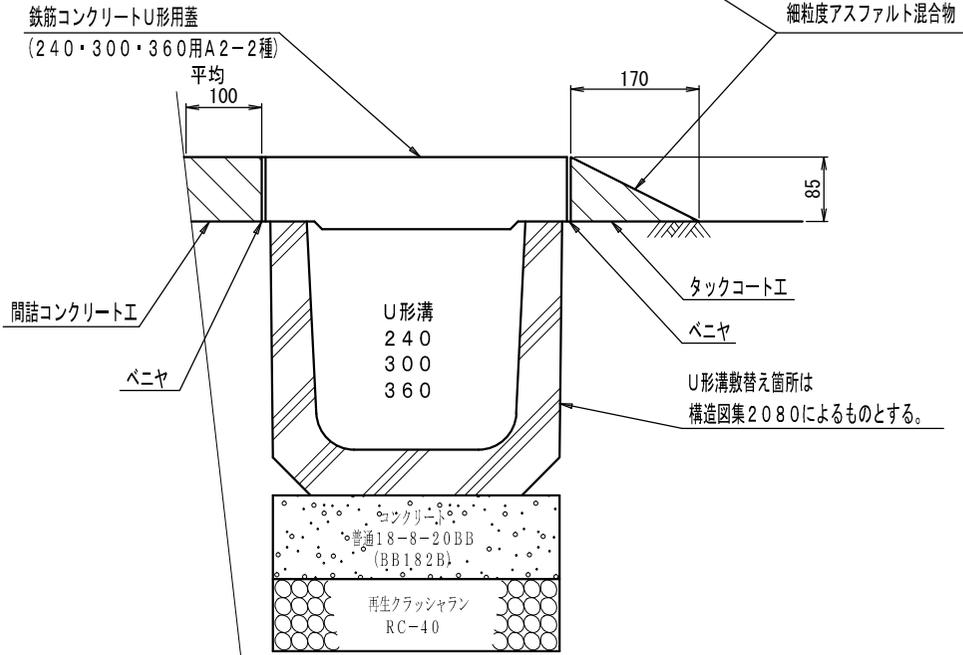
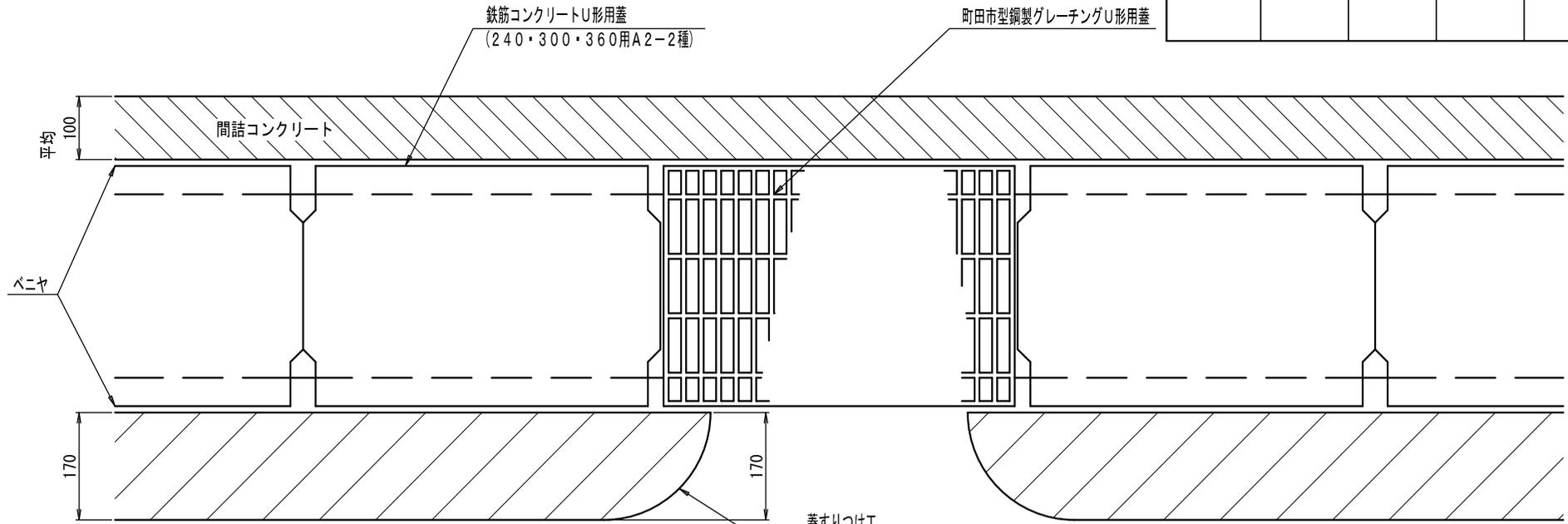
品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	2.2	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	〃	2.2	
U形溝	300C 2種	個	100.0	89kg/個
特殊L形縁塊	300	〃	100.0	35kg/個
ふた	グレーチング T-14	〃	100.0	
モルタル	1:3	m ³	0.3	
型枠		m ²	19.4	

呼び名	形状・寸法 (mm)			
	a	b	c	d
300縁塊 一般部	155	100	100	155
300縁塊 平坦部 2cm	75	20	20	75
300縁塊 平坦部 5cm	105	50	50	105

- 注) ・グレーチングふたは鎖にて固定すること。
 ・グレーチングふたは滑り止めタイプとする。なお
 歩行者横断部のグレーチングふたは原則として細目タイプとする。
 ・調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

側溝蓋掛工(標準図)

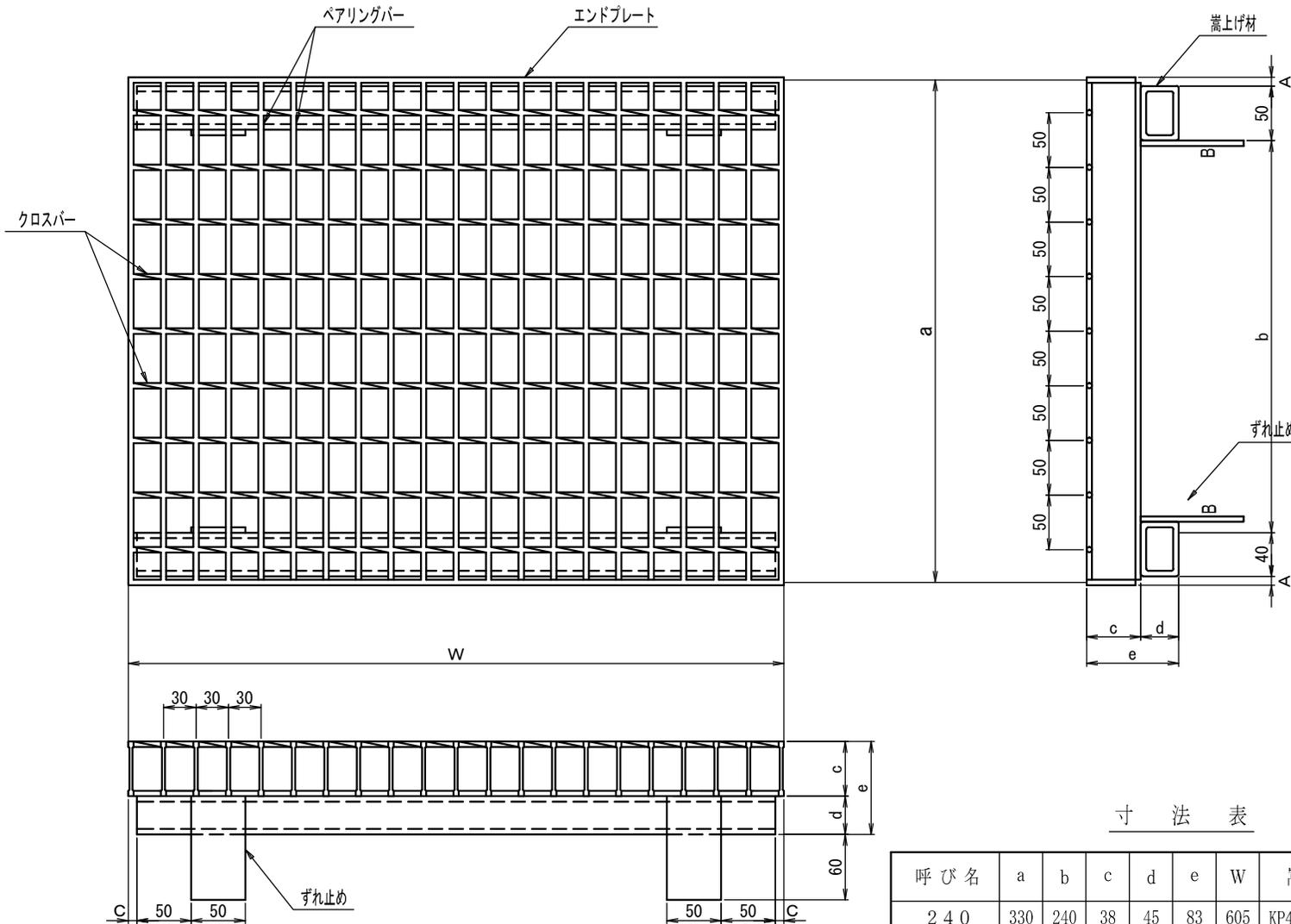
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	側溝蓋掛工			2019



- ・町田市型グレーチング蓋はすりつけを施す路線に12m(20枚)に1箇所の割合で入れる。
- ・調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

側溝蓋掛 (グレーチングタイプ)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	側溝蓋掛	グレーチングタイプ		2019.10



寸法表

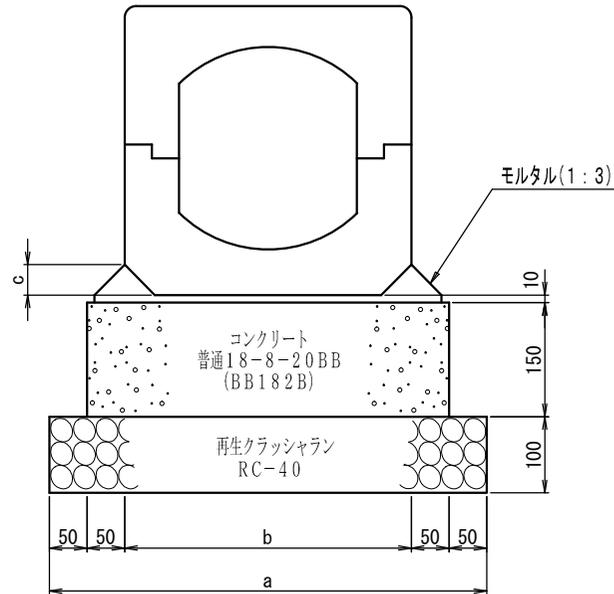
呼び名	a	b	c	d	e	W	嵩上げ材	A	B	C	参考重量
240	330	240	38	45	83	605	KP45×40×3.2	12	60	4	15.1 kg
300	400	300	44	40	84	605	KP40×40×3.2	8	60	8	17.2
360	460	360	50	35	85	607	KP35×40×3.2	8	60	8	23.3
450	560	450	55	45	100	607	KP45×40×3.2	8	60	8	29.9

※ 車乗入部では、使用しない。

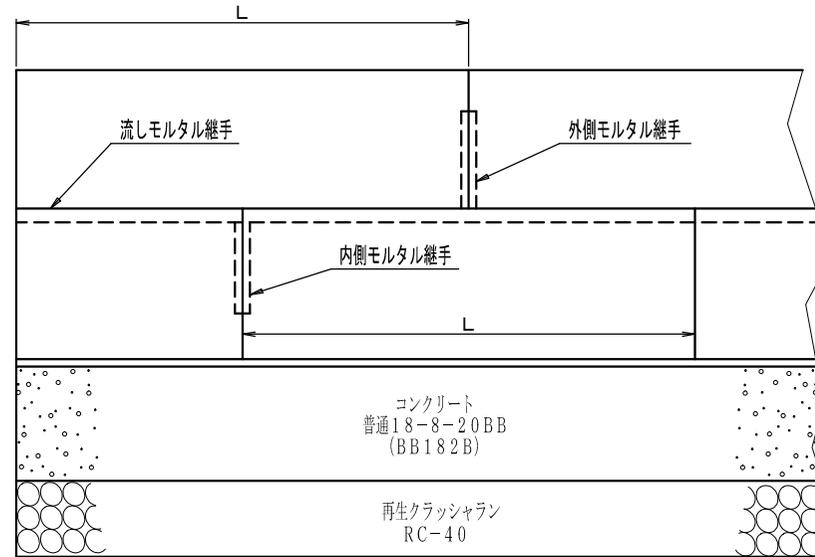
組合せ暗きよブロック工
(参考図)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	組合せ暗きよブロック工			2019

断面図



側面図



材料表

(100m当り)

寸法表

呼び名	a	b	c	L
180×180	500	300	-	600
240×240	580	380	40	600
300×300	640	440	50	600
360×360	710	510	50	500
450×450	830	630	60	500
600×600	1000	800	60	500

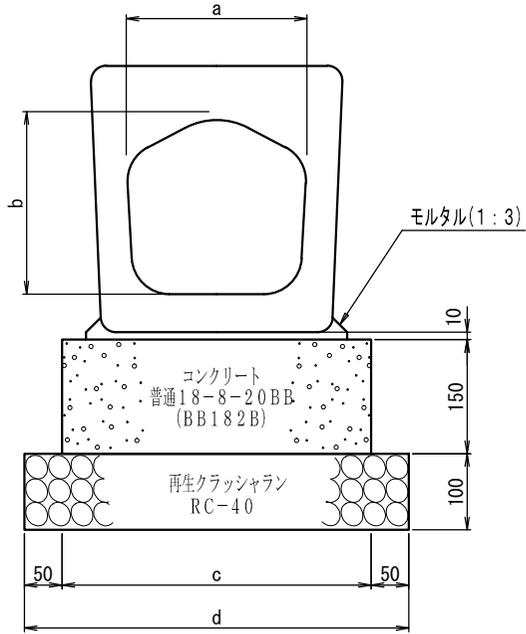
品名	形状寸法	単位	暗きよブロックの呼び名					
			180×180	240×240	300×300	360×360	450×450	600×600
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	5.0	5.8	6.4	7.1	8.3	10.0
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	6.0	7.2	8.1	9.2	11.0	13.5
暗きよブロック		m	100	100	100	100	100	100
モルタル	1:3	m ³	0.3	0.8	1.0	1.1	1.5	1.6
型枠		m ²	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0

※大型車の通行が予想される場合は T-25 相当の製品とする。
※調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

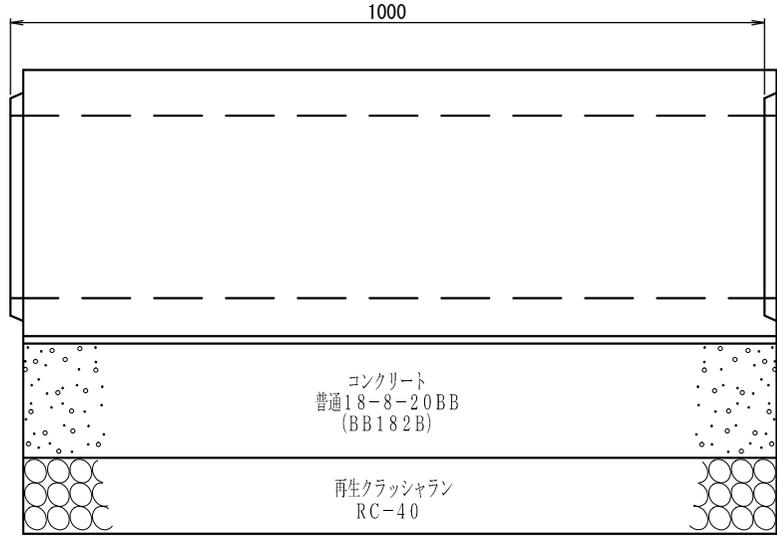
工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	暗きよブロック工			2019

横断暗きよブロック工
(参考図)

断面図



側面図



材 料 表

(100m当り)

寸 法 表

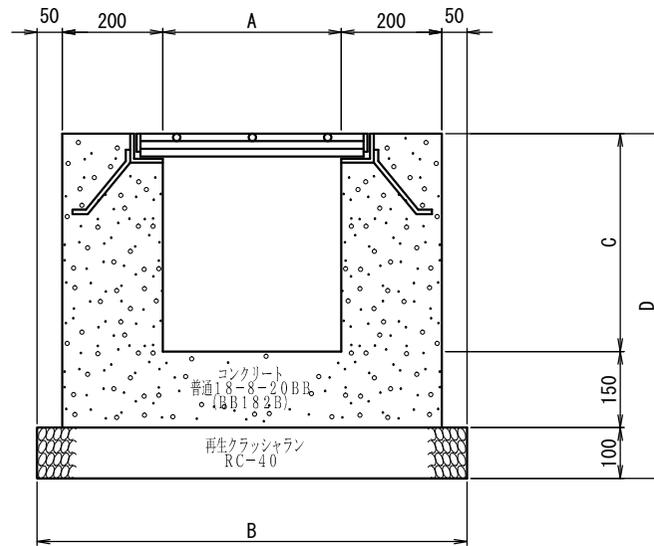
呼び名	a	b	c	d	L
180×180	180	180	350	450	1000
240×240	240	240	410	510	1000
300×300	300	300	470	570	1000
360×360	360	360	520	620	1000
450×450	450	450	640	740	1000
600×600	600	600	790	890	1000

品 名	形状寸法	単位	暗きよブロックの呼び名					
			180×180	240×240	300×300	360×360	450×450	600×600
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	4.5	5.1	5.7	6.2	7.4	8.9
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	5.2	6.1	7.0	7.8	9.6	11.8
暗きよブロック		m	100	100	100	100	100	100
モルタル	1 : 3	m ³	0.3	0.4	0.4	0.5	0.6	0.7
型 枠		m ²	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0

※大型車の通行が予想される場合は T-2.5相当の製品とする。
 ※調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

横断グレーチング

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	横断 グレーチング		A C	2019



寸法表

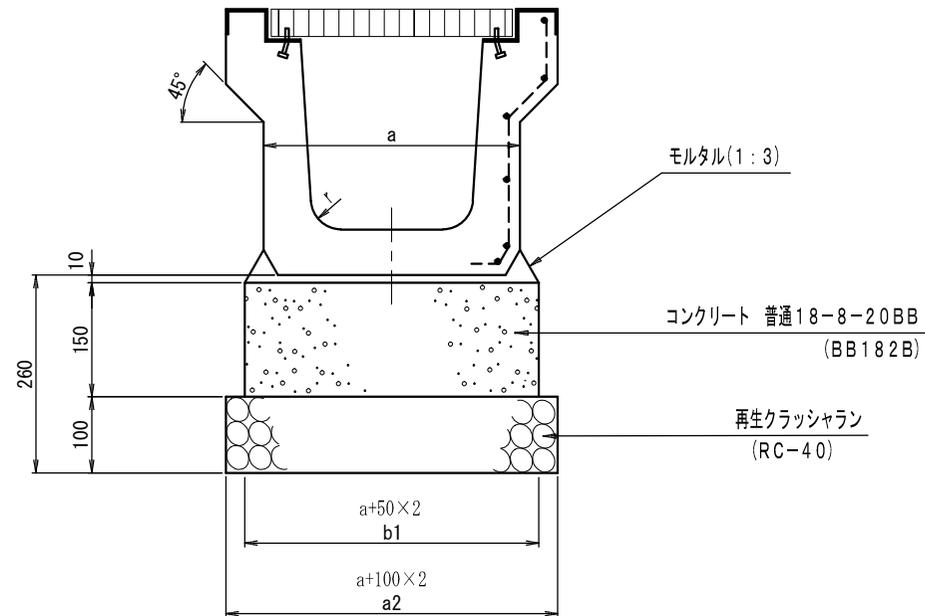
工種記号	A	B	C	D
250	250	750	310	560
300	300	800	370	620
350	350	850	420	670
400	400	900	480	730
450	450	950	540	790
500	500	1,000	590	840

- ※歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
- ※グレーチングは騒音対策型又は固定型とし、すべり止タイプとする。
- ※調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	U形横断用 グレーチング			2019

U形横断用グレーチング工 (参考図)

本 体

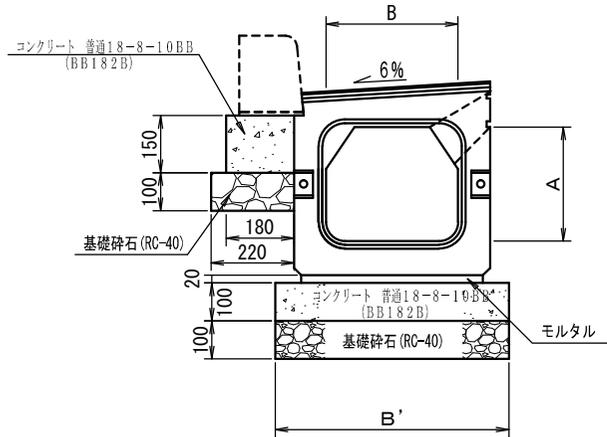


- ※ 各ブロックの間には目地モルタルを施すこと。
- ※ 歩行者横断部のグレーチング蓋は原則として細目タイプとする。
- ※ グレーチングは騒音対策型、またはボルト固定型とし、すべり止めタイプとする。
- ※ 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

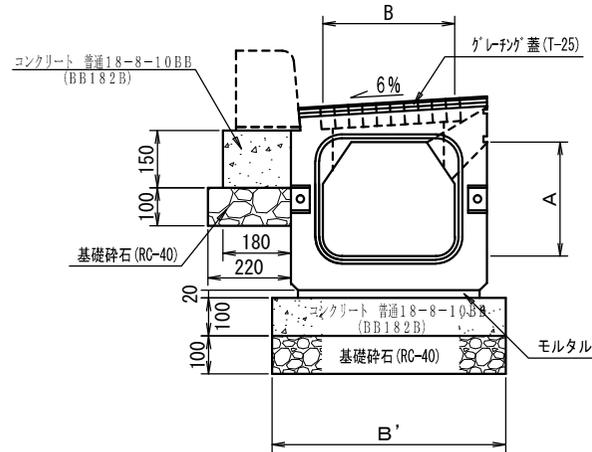
街渠縦断管工

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	街渠 縦断管工		A、B	2019

標準タイプ



グレーチング蓋タイプ



寸法表

呼び名	A (mm)	B (mm)	B' (mm)	L (mm)	参考重量 (kg)
D-250	250	250	520	2000	642
D-300	300	350	620	2000	790
D-400	400	400	670	2000	1130
D-500	500	500	790	2000	1560

寸法表

呼び名	A (mm)	B (mm)	B' (mm)	L (mm)	参考重量 (kg)
D-250	250	250	520	2000	600
D-300	300	350	620	2000	720
D-400	400	400	670	2000	1050
D-500	500	500	790	2000	1400

材料表 (参考数量) (10m当り)

呼び名	個数	コンクリート (m ³)	基礎材 (m ³)	モルタル (m ³)	摘要
D-250	5	0.52	0.52	0.08	
D-300	5	0.62	0.62	0.10	
D-400	5	0.67	0.67	0.11	
D-500	5	0.79	0.79	0.13	

材料表 (参考数量) (10m当り)

呼び名	個数	コンクリート (m ³)	基礎材 (m ³)	モルタル (m ³)	摘要
D-250	5	0.52	0.52	0.08	
D-300	5	0.62	0.62	0.10	
D-400	5	0.67	0.67	0.11	
D-500	5	0.79	0.79	0.13	

縁石部材料表 (参考数量) (10m当り)

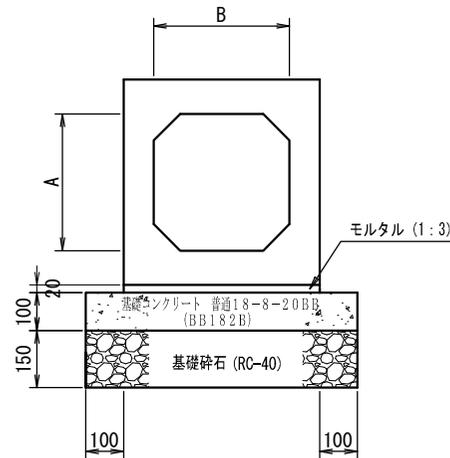
縁石個数	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材 (m ³)	モルタル (m ³)
16.5	0.27	1.5	0.22	0.02

※ 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

BOXカルバート工

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	BOXカルバート		A、B	2019

断面図



※ 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

寸法表

A×B	A (mm)	B (mm)	L (mm)	参考重量 (kg)
240×240	240	240	1000	216
300×300	300	300	1000	288
360×360	360	360	1000	384
450×450	450	450	1000	504
600×600	600	600	1000	797

材料表 (参考数量)

(10m当り)

A×B	個数	コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	基礎材 (m ³)	モルタル (m ³)
240×240	10	0.580	2.000	0.870	0.076
300×300	10	0.640	2.000	0.960	0.088
360×360	10	0.720	2.000	1.080	0.104
450×450	10	0.810	2.000	1.215	0.122
600×600	10	1.000	2.000	1.500	0.160

注意事項

道路下(T-25)、土被り0.5~3.0mに使用する。それ以外に使用する場合は、別途検討とする。

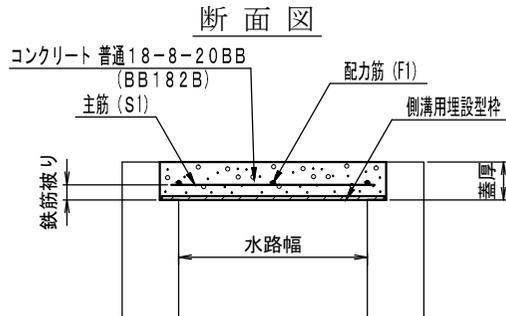
設計条件

製品の使用にあたっては、次の設計条件を基本とし、設計計算書および設計図により確認すること。なお、下記条件と現場条件が異なる場合には、別途検討とする。

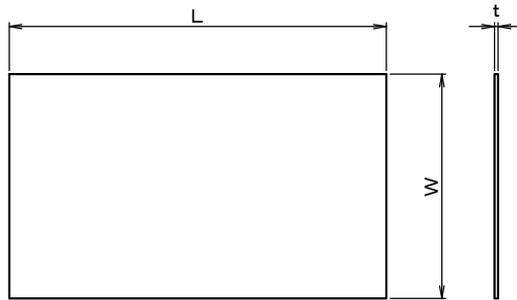
- コンクリート設計基準強度 $\sigma_{ck} = 30\text{N}/\text{mm}^2$
 コンクリート許容曲げ圧縮応力度 $\sigma_{ca} = 10\text{N}/\text{mm}^2$
 鉄筋の許容引張応力度 (SD295) $\sigma_{sa} = 160\text{N}/\text{mm}^2$
- コンクリート② 呼び強度 $\sigma_{ck} = 18\text{N}/\text{mm}^2$
- 基礎材は、クラッシャーラン(最大粒径80mm以下)とする。
- 土の性質
 単位重量: $\gamma_s = 18\text{KN}/\text{m}^3$
 土圧係数: $K_a = 0.5$

現場打ちコンクリート蓋 (参考図)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	現場打ち コンクリート蓋		W	2019.10



側溝用埋設型枠



寸法表

水路幅	W (mm)	t (mm)	L (mm)	参考重量 (kg)
250用	340	6	1000	4.4
300用	390	6、8	1000	5.0
350用	440	8	1000	7.6
400用	490	8、10	1000	8.4
450用	540	10	1000	11.6
500用	590	10、13	1000	12.6
550用	640	13	1000	17.8
600用	690	13	1000	19.2

蓋配筋表 (参考)

蓋厚	水路幅							
	250用	300用	350用	400用	450用	500用	550用	600用
110	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D16-@125 F1 D16-3本	—	—	—	—	—	—
120	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@125 F1 D13-3本	—	—	—	—	—	—
130	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@125 F1 D13-3本	S1 D16-@125 F1 D16-3本	—	—	—	—
140	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@125 F1 D13-3本	S1 D13-@125 F1 D13-3本	S1 D16-@125 F1 D16-4本	—	—	—
150	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@125 F1 D13-3本	S1 D13-@125 F1 D13-4本	S1 D16-@125 F1 D16-4本	—	—
160	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@125 F1 D13-3本	S1 D13-@125 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本	S1 D16-@125 F1 D16-4本	—
170	—	—	—	—	S1 D13-@125 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本	S1 D16-@125 F1 D16-4本
180	—	—	—	—	S1 D13-@125 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本
190	—	—	—	—	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本
200	—	—	—	—	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本

横断側溝用 (T-25)

蓋配筋表 (参考)

蓋厚	水路幅							
	250用	300用	350用	400用	450用	500用	550用	600用
100	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@125 F1 D13-3本	—	—	—	—	—
110	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@125 F1 D13-3本	—	—	—	—
120	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	—	—	—	—
130	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	—	—	—	—
140	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本	—
150	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本
160	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-3本	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本
170	—	—	—	—	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本
180	—	—	—	—	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@125 F1 D13-4本
190	—	—	—	—	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@200 F1 D13-4本
200	—	—	—	—	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@200 F1 D13-4本	S1 D13-@200 F1 D13-4本

縦断側溝用 (T-25)

注) 鉄筋被り (t=35mm, 40mm, 45mm)

設計条件

・土被り h=0.0m
・土の単位体積重量 $\gamma_s=18\text{kN/m}^3$
・鉄筋コンクリートの単位体積重量 $\gamma_c=24.5\text{kN/m}^3$
・コンクリートの設計基準強度 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$
・コンクリートの許容曲げ圧縮強度 $\sigma_{ca}=8\text{N/mm}^2$
・鉄筋の許容引張強度 $\sigma_{sa}=180\text{N/mm}^2$

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

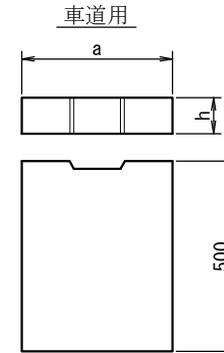
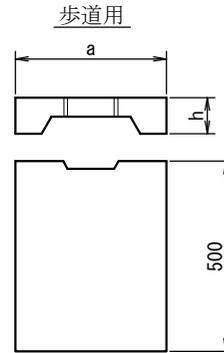
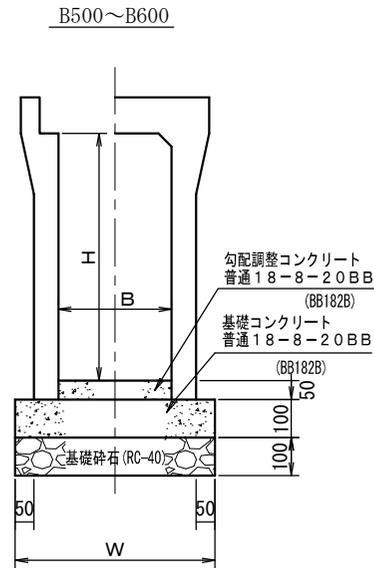
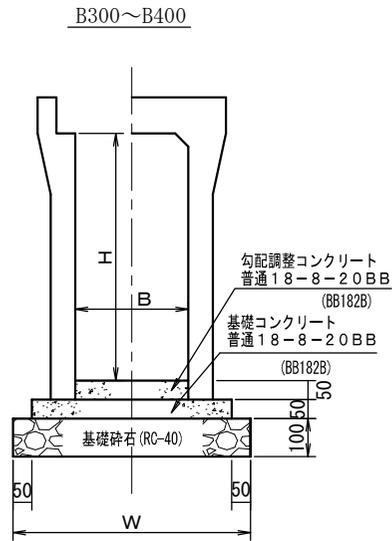
注) 鉄筋被り (t=35mm, 40mm, 45mm)

自由勾配側溝工

側溝

側溝用蓋

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	自由勾配側溝工			2019



寸法表

呼び名	寸法 (mm)		参考重量 (kg/枚)
	a	h	
B-300	400	95	31
B-400	500	110	44
B-500	600	125	57
B-600	700	140	74

寸法表

呼び名	寸法 (mm)		参考重量 (kg/枚)
	a	h	
B-300	400	95	42
B-400	500	110	61
B-500	600	125	84
B-600	700	140	111

【適用条件】

主として車道 (T-25相当) に平行して用い、動水勾配を確保する必要がある場合(勾配自在)等に使用する。

※ 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

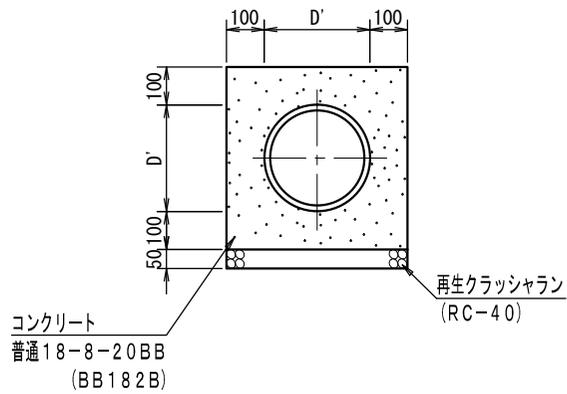
(側溝 L=2.0m)

呼び名	寸法 (mm)			参考数量表 (10m当り)							呼び名	寸法 (mm)			参考数量表 (10m当り)						
	B	H	W	勾配調整コンクリート (m ³)	基礎コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	個数	ふた枚数	参考重量 (kg/個)	基礎材 (m ³)		B	H	W	勾配調整コンクリート (m ³)	基礎コンクリート (m ³)	型枠 (m ²)	個数	ふた枚数	参考重量 (kg/個)	基礎材 (m ³)
B300×H300	300	300	500	0.15	0.25	1.0	5	10	326	0.50	B500×H400	500	400	720	0.25	0.72	2.0	5	10	545	0.72
B300×H400	300	400	510	0.15	0.26	1.0	5	10	403	0.51	B500×H500	500	500	720	0.25	0.72	2.0	5	10	600	0.72
B300×H500	300	500	510	0.15	0.26	1.0	5	10	455	0.51	B500×H600	500	600	740	0.25	0.74	2.0	5	10	715	0.74
B300×H600	300	600	530	0.15	0.27	1.0	5	10	560	0.53	B500×H700	500	700	740	0.25	0.74	2.0	5	10	780	0.74
B300×H700	300	700	530	0.15	0.27	1.0	5	10	625	0.53	B500×H800	500	800	740	0.25	0.74	2.0	5	10	845	0.74
B300×H800	300	800	550	0.15	0.28	1.0	5	10	760	0.55	B500×H900	500	900	770	0.25	0.77	2.0	5	10	1040	0.77
B300×H900	300	900	550	0.15	0.28	1.0	5	10	830	0.55	B500×H1000	500	1000	770	0.25	0.77	2.0	5	10	1120	0.77
B300×H1000	300	1000	570	0.15	0.29	1.0	5	10	995	0.57	B500×H1100	500	1100	770	0.25	0.77	2.0	5	10	1200	0.77
B300×H1100	300	1100	570	0.15	0.29	1.0	5	10	1070	0.57	B500×H1200	500	1200	790	0.25	0.79	2.0	5	10	1390	0.79
B400×H400	400	400	610	0.20	0.31	1.0	5	10	459	0.61	B500×H1300	500	1300	790	0.25	0.79	2.0	5	10	1480	0.79
B400×H500	400	500	620	0.20	0.31	1.0	5	10	535	0.62	B500×H1400	500	1400	790	0.25	0.79	2.0	5	10	1570	0.79
B400×H600	400	600	620	0.20	0.31	1.0	5	10	590	0.62	B600×H400	600	400	830	0.30	0.83	2.0	5	10	640	0.83
B400×H700	400	700	640	0.20	0.32	1.0	5	10	715	0.64	B600×H500	600	500	830	0.30	0.83	2.0	5	10	700	0.83
B400×H800	400	800	640	0.20	0.32	1.0	5	10	780	0.64	B600×H600	600	600	830	0.30	0.83	2.0	5	10	760	0.83
B400×H900	400	900	660	0.20	0.33	1.0	5	10	930	0.66	B600×H700	600	700	850	0.30	0.85	2.0	5	10	890	0.85
B400×H1000	400	1000	660	0.20	0.33	1.0	5	10	1000	0.66	B600×H800	600	800	850	0.30	0.85	2.0	5	10	960	0.85
B400×H1100	400	1100	680	0.20	0.34	1.0	5	10	1180	0.68	B600×H900	600	900	850	0.30	0.85	2.0	5	10	1030	0.85
B400×H1200	400	1200	680	0.20	0.34	1.0	5	10	1270	0.68	B600×H1000	600	1000	880	0.30	0.88	2.0	5	10	1240	0.88
											B600×H1100	600	1100	880	0.30	0.88	2.0	5	10	1320	0.88
											B600×H1200	600	1200	880	0.30	0.88	2.0	5	10	1410	0.88
											B600×H1300	600	1300	900	0.30	0.90	2.0	5	10	1620	0.90
											B600×H1400	600	1400	900	0.30	0.90	2.0	5	10	1710	0.90
											B600×H1500	600	1500	900	0.30	0.90	2.0	5	10	1800	0.90

排水管コンクリート防護工(硬質塩化ビニル管)
(参考図)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	管きよ工	コクリート防護 硬質塩化ビニル管	D B	2019

横断面図



寸法および材料表

(1.0m当り)

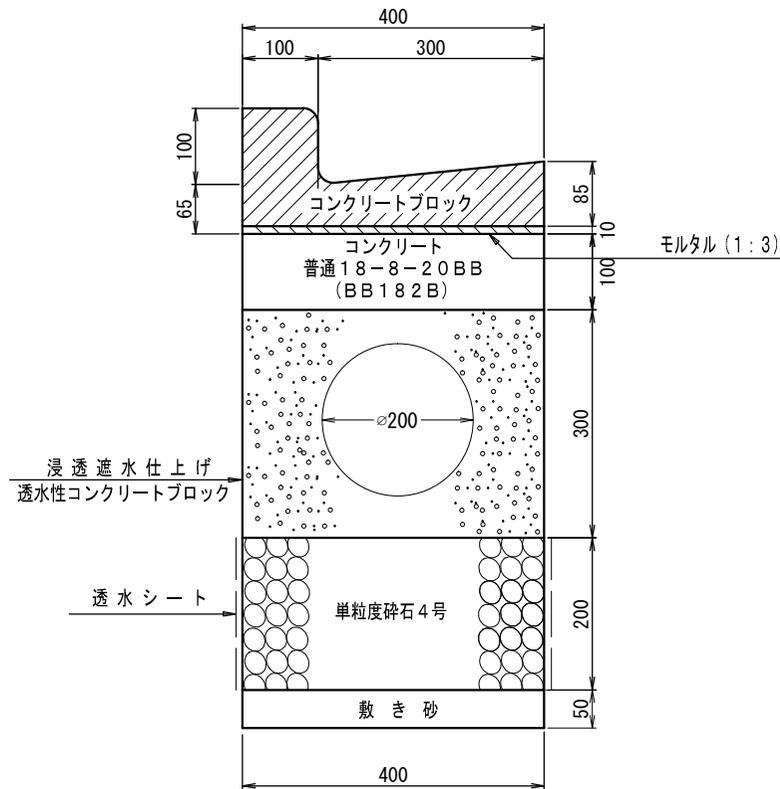
呼び径 D (mm)	管外径 D' (mm)	再生クラッシュラン RC-40 (m ³)	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B) (m ³)	控除容積 (V ₁) m ³	型枠 (m ²)
250	267	0.023	0.163	0.055	0.500
300	318	0.025	0.189	0.079	0.560
350	370	0.028	0.217	0.107	0.620
400	420	0.031	0.246	0.138	0.680
450	470	0.033	0.275	0.173	0.720
500	520	0.036	0.306	0.212	0.880
600	630	0.041	0.377	0.311	1.000

※ 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	L形溝工	鉄筋コンクリートL形 300A		2019

L形溝工 (浸透式、300A)
(参考図)

断面図



材 料 表

(100m当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
鉄筋コンクリートL形	300A	個	165.0	45 kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.4	敷モルタル用
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	〃	4.0	
透水性コンクリートブロック		個	100.0	
単粒度砕石	4号	m ³	8.0	
型 枠		m ²	20.0	
敷き砂		m ³	2.0	

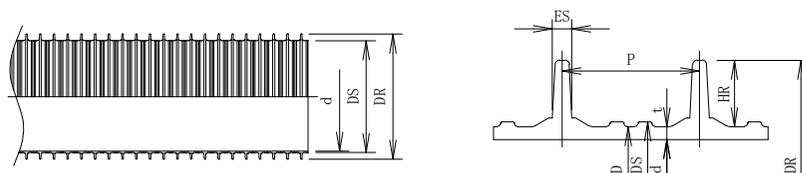
(注1) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

(注2) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

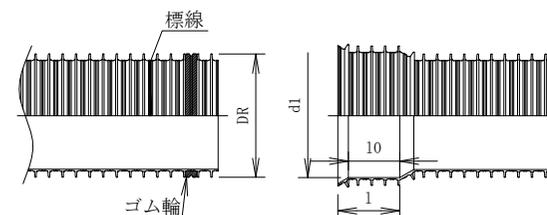
リブ付硬質塩化ビニル管（直管部、受口差し口部）

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	リブ付硬質塩化ビニル管			2019

直管部（共通）



受口及びゴム輪差し口（共通）



直管部共通寸法

(単位：mm)

直管、異形管受口及びゴム輪差し口共通寸法

(単位：mm)

呼び径	シール部外径DS		厚さt		リブ間隔P		標準値				参考	
	基準寸法	許容差	最小	許容差	基準寸法	許容差	外径D	リブ外径DR	リブ高さHR	リブ幅ES	近似内径d	1m当りの質量(kg)
150	157.5	±0.6	2.4	+0.8 0	19.1	±0.6	155.5	171.0	7.7	3.1	150	3.000
200	207.7	±0.7	2.4		25.4	±0.8	205.5	228.8	11.6	3.6	200	4.350
250	258.5	±0.9	2.7	+1.2 0	30.5	±0.9	256.1	286.2	15.0	4.4	250	6.380
300	309.7	±1.0	3.0		38.1	±1.1	307.1	343.6	18.2	5.4	300	9.020
350	360.2	±1.1	3.1	+1.4 0	38.1	±1.1	357.4	400.6	21.6	5.9	350	12.030
400	411.0	±1.3	3.3		38.1	±1.1	407.6	448.4	20.4	5.8	400	13.860
450	461.8	±1.4	3.5	38.1	±1.1	457.8	502.0	22.1	6.8	450	17.360	

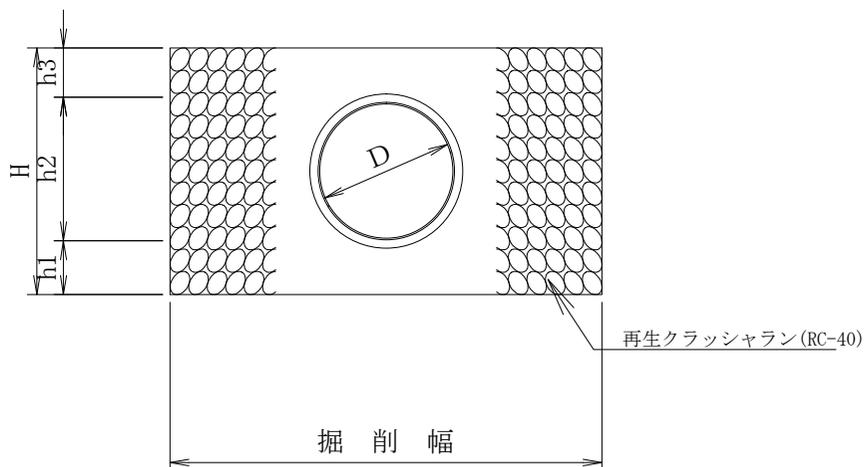
呼び径	差し口部	受口部			
	リブ外径DR (標準値)	受口内径d1 (最小)	平行部長さ10 (最小)	受口長さl (標準値)	接合長さe (参考)
150	171.0	171.7	90	100	61.3
200	228.8	229.7	100	115	61.9
250	286.2	287.3	115	140	69.2
300	343.6	344.9	135	170	77.8
350	400.6	402.1	135	170	77.8
400	448.4	450.2	135	170	77.8
450	502.0	504.0	135	170	77.8

- 注1. 外径及びリブ外径は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の外径測定値及びリブ外径測定値の平均値をいう。
 2. 表中1m当りの質量は、密度1.43g/cm³で算出したものである。
 3. リブ根元部分の詳細形状については、規定しない。

- 注1. 受口部内径d1は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の内径測定値の平均値とする。
 2. ゴム輪の形状は、規定しない。
 3. ゴム輪差し口でのゴム輪取付け位置は、管端より第2番目と第3番目のリブの間とする。
 4. 標線位置は、呼び径150の場合は管端より第6番目と第7番目のリブの間、呼び径200以上の場合は第5番目と第6番目のリブの間とする。
 5. 接合長さeは、平行部長さ10 (最小) - (1.5×リブ間隔P) として算出したものである。

リブ付硬質塩化ビニル管砕石基礎

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	リブ付硬質塩化ビニル管	砕石基礎		2019



寸法表

(単位: mm)

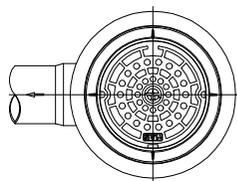
呼び径 D	H	h1	h2	h3
φ200	408	100	208	100
φ250	459	〃	259	〃
φ300	510	〃	310	〃
φ350	560	〃	360	〃
φ400	611	〃	411	〃
φ450	662	〃	462	〃

注 軟弱地盤等では、h1の寸法を300mmとする。

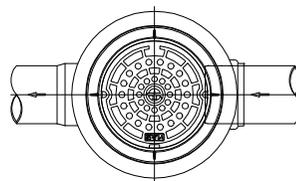
硬質塩化ビニル製小型マンホール（内径 30 cm）

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	塩ビ製小型マンホール			2019

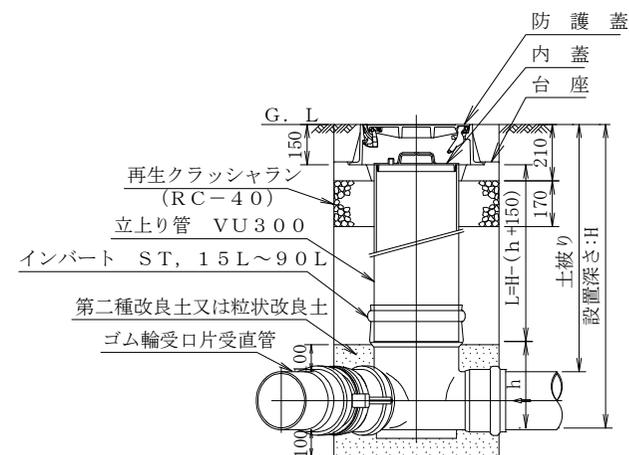
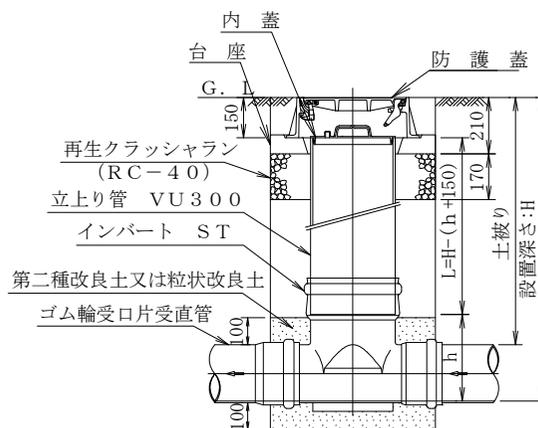
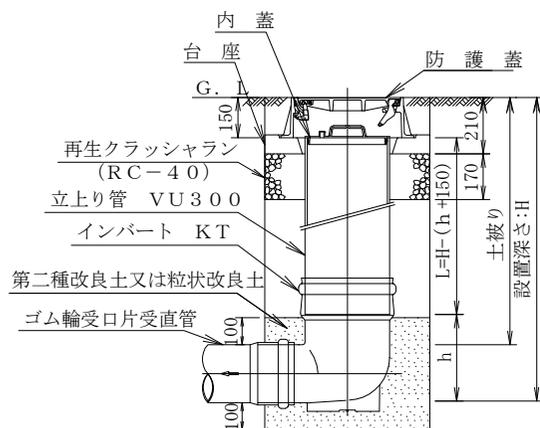
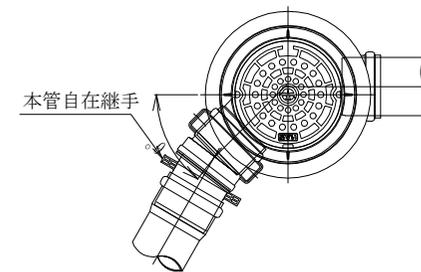
起 点



中 間 点

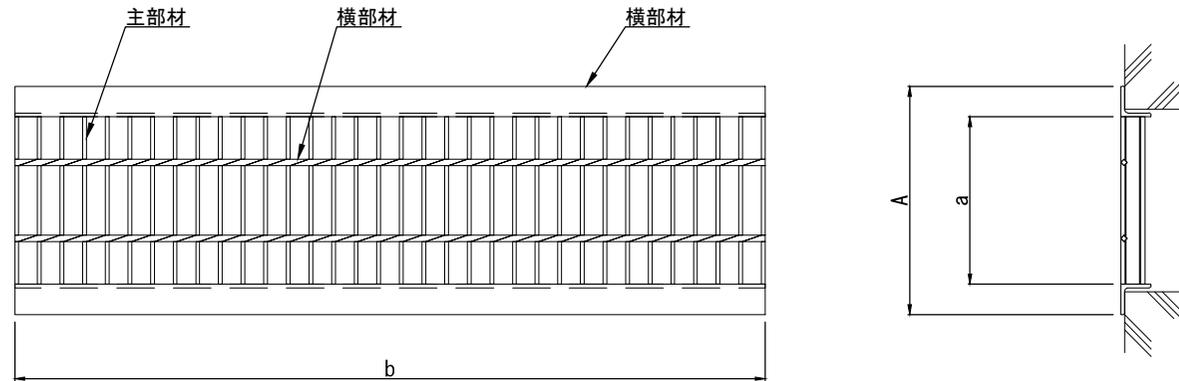


曲 点



U字溝蓋一般用(普通目)

工種	種別	形状	変数	作成年度
排水	U字こうぶた 一般用		A a b	2019



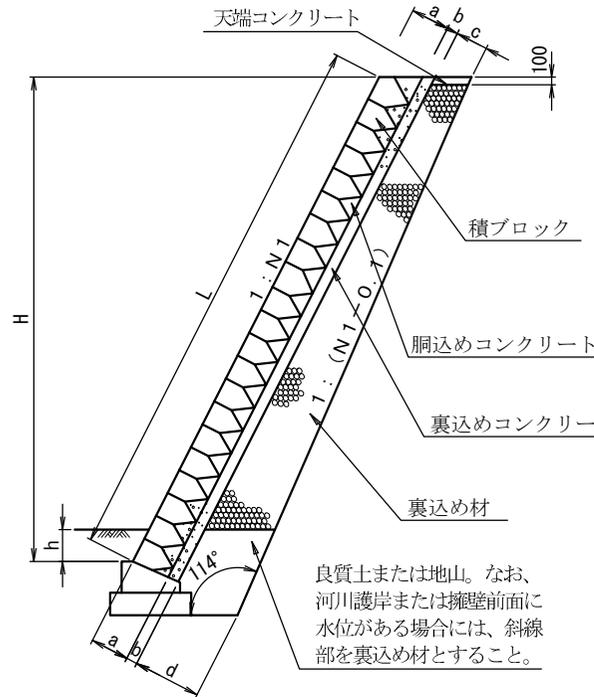
寸法および材料表

みぞ幅 (mm)	荷重 条件	寸法(mm)					質量 (kg)
		a	A	b	主部材	山形鋼	
150	T-14 T-6	130	210	995	ZI-25	L40×40×5	9.6
	T-2	134	194	993	ZF-19	L30×30×3	5.2
180	T-14 T-2 T-6	160	240	995	ZI-25	L40×40×5	10.4
200	T-14	180	260	995	ZI-32	L40×40×5	12.2
	T-6 T-2	180	260	995	ZI-25	L40×40×5	10.9
240	T-14 T-6	220	300	995	ZI-32	L40×40×5	13.5
	T-2	220	300	995	ZI-25	L40×40×5	11.9
300	T-14	275	375	995	ZI-44	L50×50×6	21.5
	T-6	280	360	995	ZI-38	L40×40×5	17.1
	T-2	280	360	995	ZI-25	L40×40×5	13.5
360	T-14	335	435	995	ZI-50	L50×50×6	29.4
	T-6	335	435	995	ZI-44	L50×50×6	24.4
	T-2	340	420	995	ZI-25	L40×40×5	15.2
450	T-14	417	547	995	EI-55	L65×65×8	43.4
	T-6	425	525	995	ZI-50	L50×50×6	35.0
	T-2	430	510	995	ZI-32	L40×40×5	20.9
600	T-14	567	697	995	EI-75	L65×65×8	66.5
	T-6	575	675	995	EI-55	L50×50×6	47.4
	T-2	580	660	995	ZI-38	L40×40×5	29.4

工種	種別	形状	変数	作成年度
水路	コンクリートブロック積	水路用	H	2019

コンクリートブロック積（水路用）

標準断面図



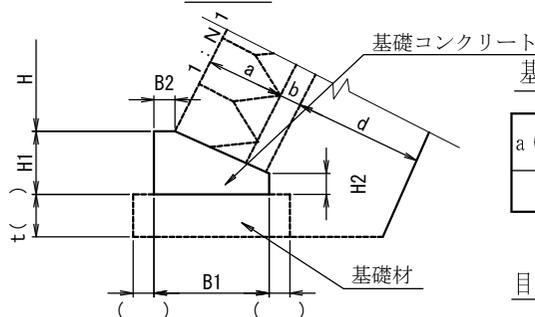
寸法表

H(直高) (m)	L(のり長) N1(前面勾配)			控長 a	裏込めコン クリート厚さ b	裏込め材厚さ							
	1:0.3	1:0.4	1:0.5			U1(裏込め土が良好な場合)			U2(裏込め土が普通な場合)				
						c			d				
1.00	1044	1077	1118	350	100	200	344	339	334	300	444	439	434
1.50	1566	1616	1677	350	100	200	392	386	379	300	492	486	479
2.00	—	2154	2236	350	100	200	—	432	424	300	—	532	524
2.50	—	2693	2795	350	100	200	—	479	468	300	—	579	568
3.00	—	3231	3354	350	100	200	—	525	513	300	—	625	613
3.50	—	—	3913	350	150	200	—	—	562	300	—	—	662
4.00	—	—	4472	350	150	200	—	—	607	300	—	—	707
4.50	—	—	5031	350	150	200	—	—	652	300	—	—	752
5.00	—	—	5590	350	150	200	—	—	696	300	—	—	796

材料表

H(直高) (m)	裏込め材 (m ³)						裏込めコンクリート (m ³)		
	U1(裏込め土が良好な場合)			U2(裏込め土が普通な場合)			裏込めコンクリート (m ³)		
	1:0.3	1:0.4	1:0.5	1:0.3	1:0.4	1:0.5	1:0.3	1:0.4	1:0.5
1.00	0.149	0.153	0.158	0.212	0.218	0.225	0.106	0.113	0.121
1.50	0.301	0.308	0.317	0.416	0.427	0.440	0.158	0.167	0.177
2.00	—	0.489	0.502	—	0.661	0.681	—	0.221	0.232
2.50	—	0.694	0.711	—	0.920	0.946	—	0.274	0.288
3.00	—	0.924	0.945	—	1.204	1.236	—	0.328	0.344
3.50	—	—	1.205	—	—	1.551	—	—	0.602
4.00	—	—	1.489	—	—	1.891	—	—	0.686
4.50	—	—	1.798	—	—	2.257	—	—	0.770
5.00	—	—	2.133	—	—	2.647	—	—	0.854

基礎



基礎寸法表および材料表

a(控長)	b(裏込めコン クリート厚さ)	寸法表				材料表(1m当り)		
		B1	B2	H1	H2	コンクリート(m ³)	型枠(m ²)	基礎材(m ²)
350	100	520	100	300	100	0.114	0.400	
	150	550	100	350	100	0.136	0.450	

目地厚の標準値

構造物の目地間隔	目地厚
10m以内	10mm
20m以内	15mm

裏込め材料計算一般式 (m ²)	
擁壁前面に水位がない場合	
$A = \frac{(H-h-0.1)}{2} \{ 2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H-h+0.1) \}$	
河川護岸または擁壁前面に水位がある場合	
$A = \frac{(H+H1+t-0.1)}{2} \{ 0.1^2 + 2c\sqrt{1+N^2} + 0.1(H+H1+t) \}$	
天端コンクリート材料計算一般式 (m ²)	
$A = 0.1(a+b+c)\sqrt{1+N^2}$	

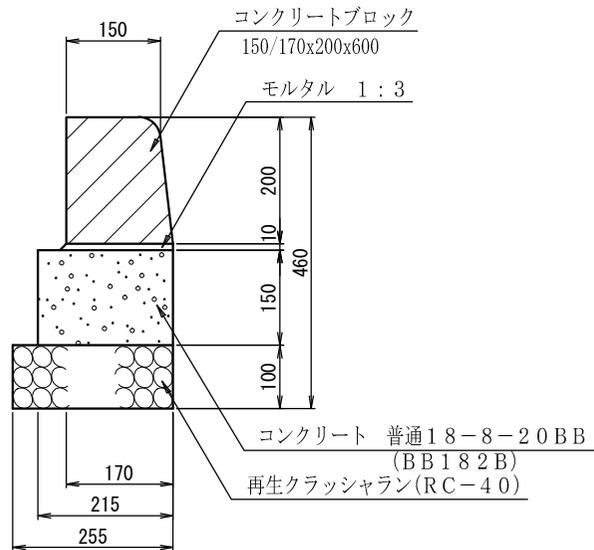
注意事項

- 1、中間の設計条件に対しては、直近上位のものを使用すること。
- 2、ブロックは、圧縮強度 $\sigma c k = 18N/mm^2$ 以上とし、1m²当りの使用質量は、350kg以上であること。
- 3、裏込めコンクリート、胴込めコンクリートおよび基礎コンクリートは、 $\sigma c k = 18N/mm^2$ 以上とすること。
- 4、裏込めコンクリートおよび裏込め材の寸法は、前面勾配に直角として表示してある。
- 5、寸法表中の裏込め材厚さ (d) は、基礎材厚 (t) を20cmと仮定してある。
- 6、材料表中の裏込め材の数量は、根入れ深さ (h) を30cmと仮定してある。したがって、根入れ深さがこれと異なる場合は、別途計算すること。また、河川護岸または、擁壁前面に水位がある場合は、図中の良質土または地山の部分も裏込め材とすること。
- 7、比較的良好な地山の切土部に使用する場合は、裏込め材を上下等厚とし、材厚30~40cmとしてよい。
- 8、基礎材は、基礎地盤の状況に応じて別途検討し、材種、敷厚および数量を該当する箇所に明記すること。
- 9、原則として水抜きパイプは設けない。ただし、逆流防止の水抜き管を設ける場合がある。設置する際には2m²に1箇所を原則とする。水位がある場合は、設けないこととする。
- 10、伸縮目地は20m以内に1箇所設けるものとする。材料は樹脂発砲系のもを原則として使用する。
- 11、寸法表、材料表、基礎寸法表および材料表の該当する部分を赤線で囲むなど、使用箇所を明記するのがよい。
- 12、足掛金物は片岸護岸延長100m以内に1箇所設置を標準とする。

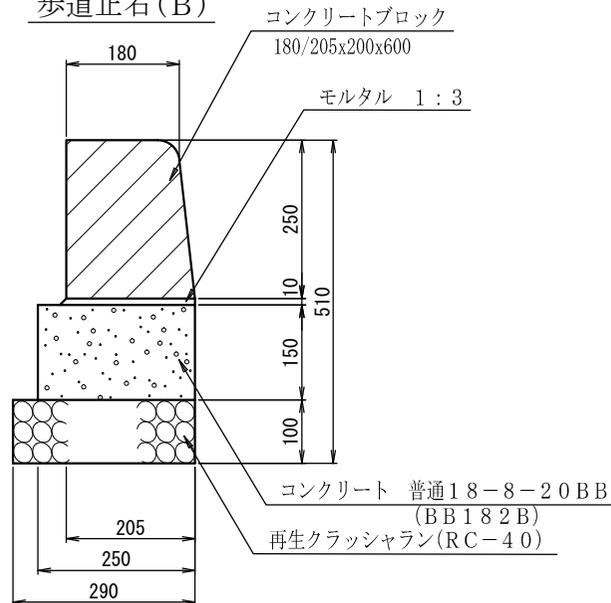
工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	歩道止石	一般部		2019

歩道止石（一般部）

歩道止石(A)



歩道止石(B)



材 料 表

(100m当り)

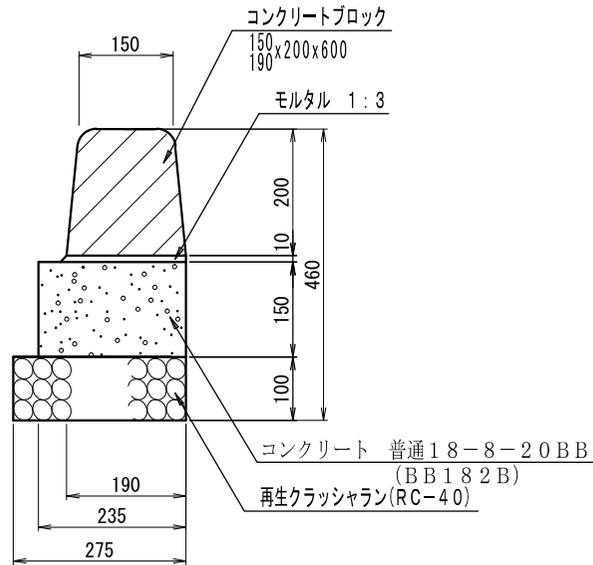
品 名	形状寸法	単位	種 別		摘 要
			(A)	(B)	
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	2.6	2.9	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	〃	3.2	3.8	
モルタル	1:3	〃	0.2	0.2	
コンクリートブロック	150/170×200×600	本	165.0	-	45 kg/個
〃	180/205×250×600	〃	-	165.0	69 kg/個
型 枠		m ²	30	30	

注) 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	歩道止石	SF型		2019

歩道止石(A)
(155SF)



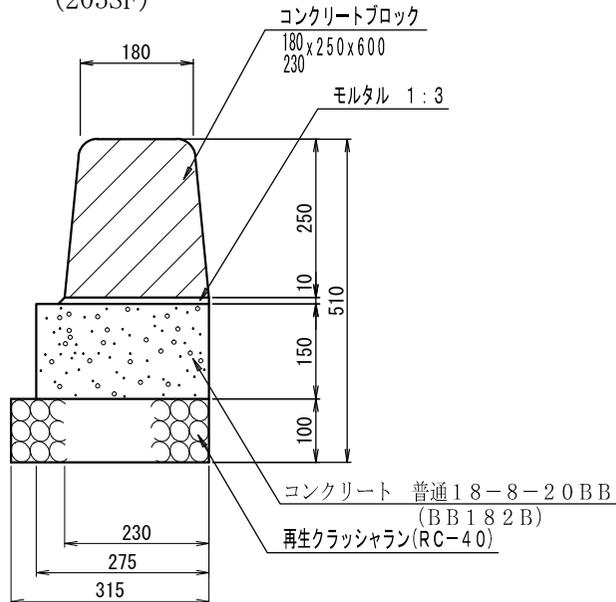
歩道止石 (SF型)

材 料 表

(100m当り)

品 名	形状寸法	単位	種 別		摘 要
			(A)	(B)	
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	2.8	3.2	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	〃	3.5	4.1	
モルタル	1:3	〃	0.2	0.2	
コンクリートブロック	150×200×600	本	165.0	-	49 kg/個
〃	180×250×600	〃	-	165.0	73 kg/個
型 枠		m ²	30	30	

歩道止石(B)
(205SF)



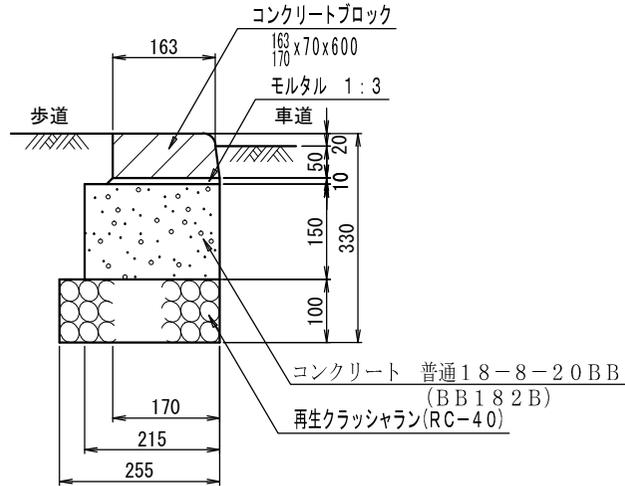
注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

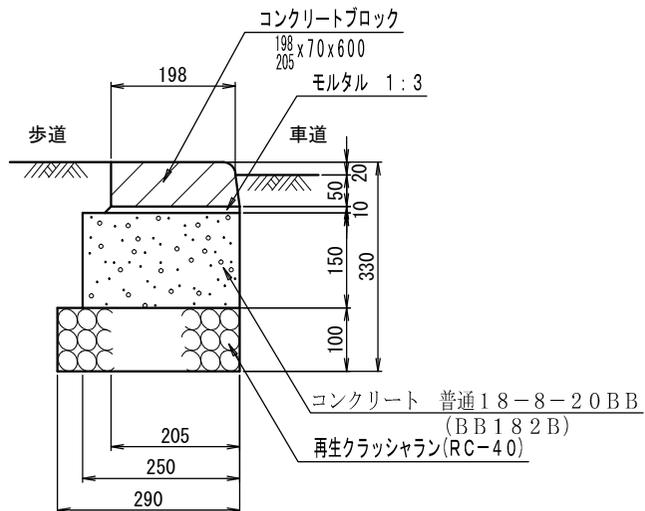
歩道止石（歩行者横断部）

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	歩道止石	歩行者横断部		2019

歩道止石(C1)



歩道止石(C2)



注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

材 料 表

(100m当り)

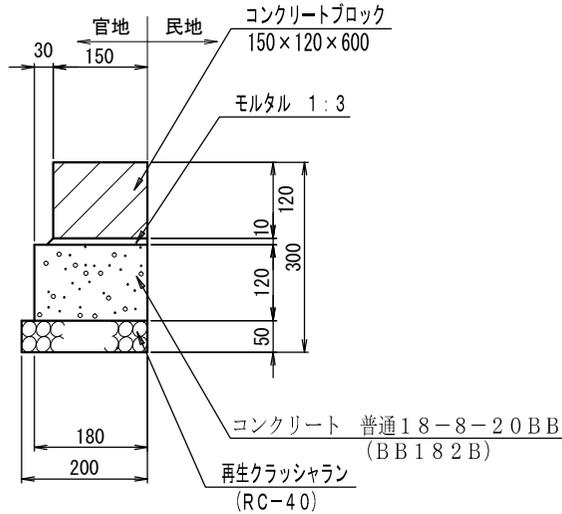
品 名	形状寸法	単位	種 別		摘 要
			(C1)	(C2)	
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	2.6	2.9	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	//	3.2	3.8	
モルタル	1:3	//	0.2	0.2	
コンクリートブロック	$163 \times 170 \times 600$	本	165.0	-	17 kg/個
〃	$198 \times 205 \times 600$	//	-	165.0	20 kg/個
型 枠		m ²	30	30	

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

境石

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	境石	一般部 歩道の車 乗入り部	H1 H2	2019

一般部



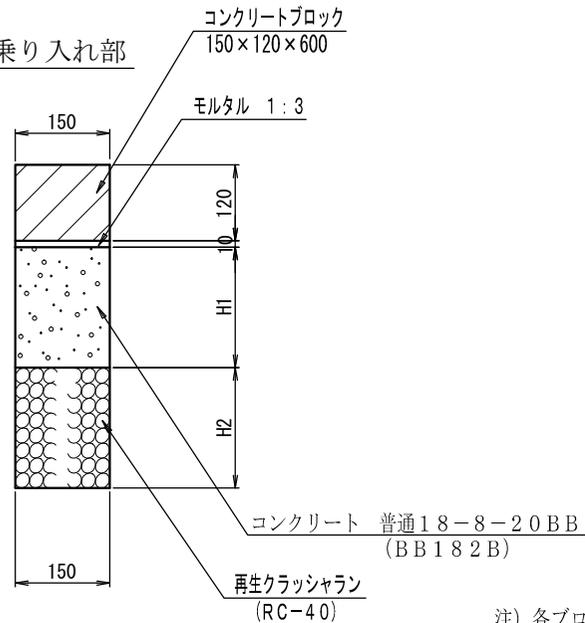
材料表

(100m当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	1.0	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	〃	2.2	
モルタル	1:3	〃	0.2	
コンクリートブロック	150×120×600	本	165.0	25 kg/個
型 枠		m ²	24.0	

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

歩道の車乗り入れ部



材料表

(100m当り)

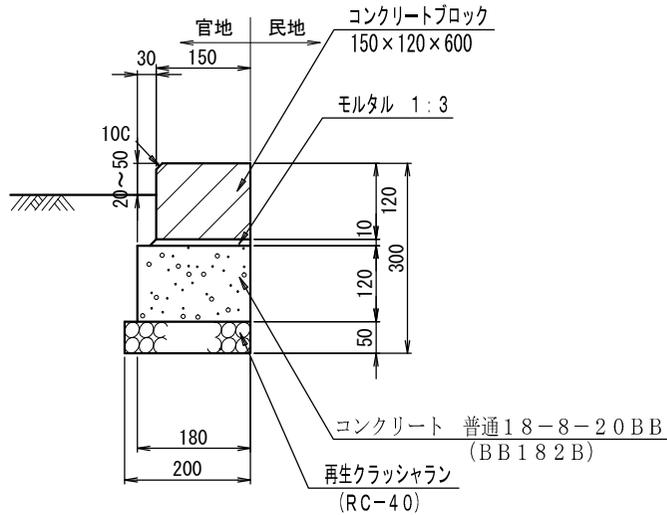
種別	コンクリート普通18-8-20BB (BB182B)		再生クラッシュラン (RC-40)		モルタル (1:3) (m ³)	コンクリート ブロック (本)	型 枠 (m ²)	切下げ延長 (cm)
	H1 (cm)	数量 (m ³)	H2 (cm)	数量 (m ³)				
A型	15	2.3	15	2.3	0.2	165	30	303
B型	15	2.3	15	2.3	0.2	165	30	424
C型	15	2.3	15	2.3	0.2	165	30	545
D型	20	3.0	20	3.0	0.2	165	40	727

注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

境石 (面取り)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	境石	一般部 歩道の車 乗入れ部	H1 H2	2019

一般部

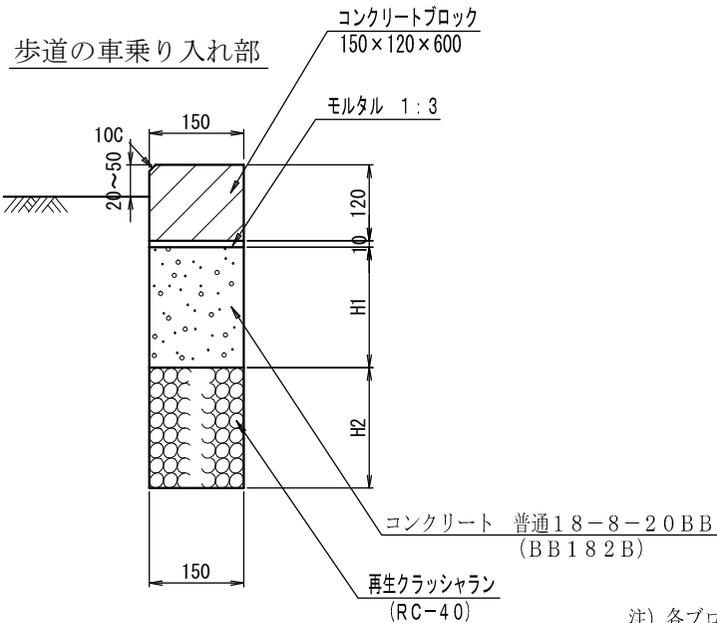


材料表

(100m当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	1.0	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	//	2.2	
モルタル	1:3	//	0.2	
コンクリートブロック	150×120×600	本	165.0	25 kg/個
型 枠		m ²	24.0	

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。



材料表

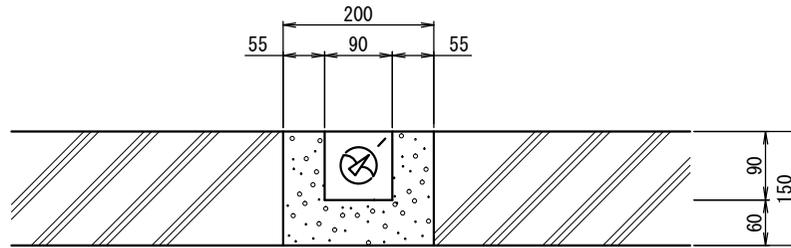
(100m当り)

種別	コンクリート普通18-8-20BB (BB182B)		再生クラッシュラン (RC-40)		モルタル (1:3) (m ³)	コンクリート ブロック (本)	型 枠 (m ²)	切下げ延長 (cm)
	H1 (cm)	数量 (m ³)	H2 (cm)	数量 (m ³)				
A型	15	2.3	15	2.3	0.2	165	30	303
B型	15	2.3	15	2.3	0.2	165	30	424
C型	15	2.3	15	2.3	0.2	165	30	545
D型	20	3.0	20	3.0	0.2	165	40	727

注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

境界標杭 (A)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	境界標杭	A		2019

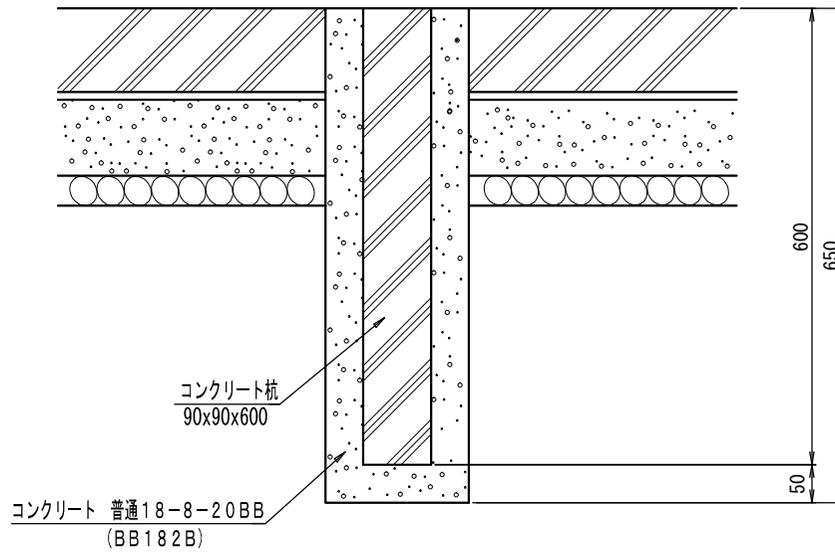


材料表

(100本当り)

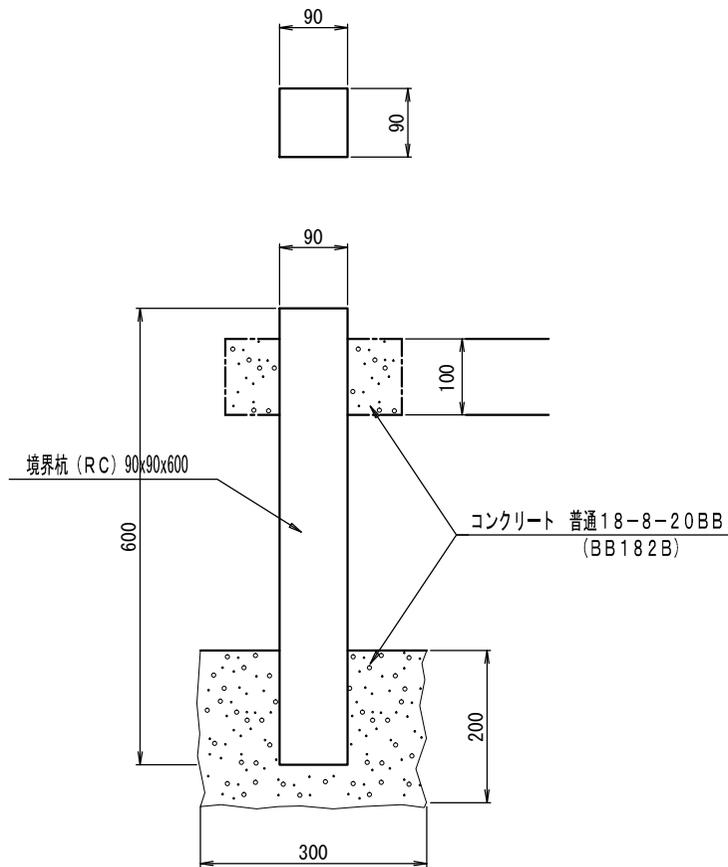
品名	形状寸法	単位	数量
境界杭	90×90×600	本	100.0
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	1.5

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。



境界標杭 (B)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	境界標杭	B		2019



材 料 表

(100本当り)

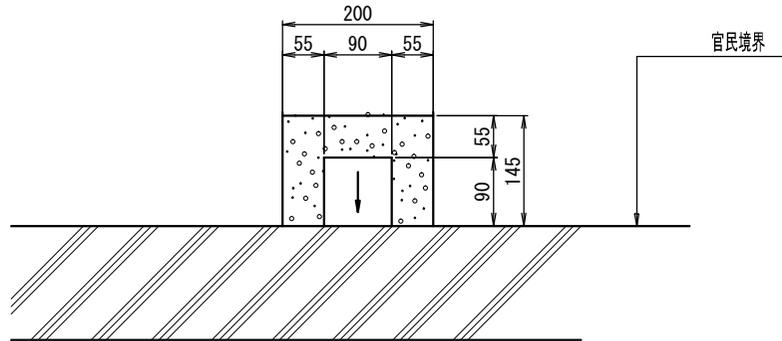
品名	形状寸法	単位	数量
境界杭	90×90×600	本	100.0
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	1.7 (2.4)

(注) ()内は、境界標杭のみで境界を明示する場合。

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

境界標杭 (C)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	境界標杭	C		2019



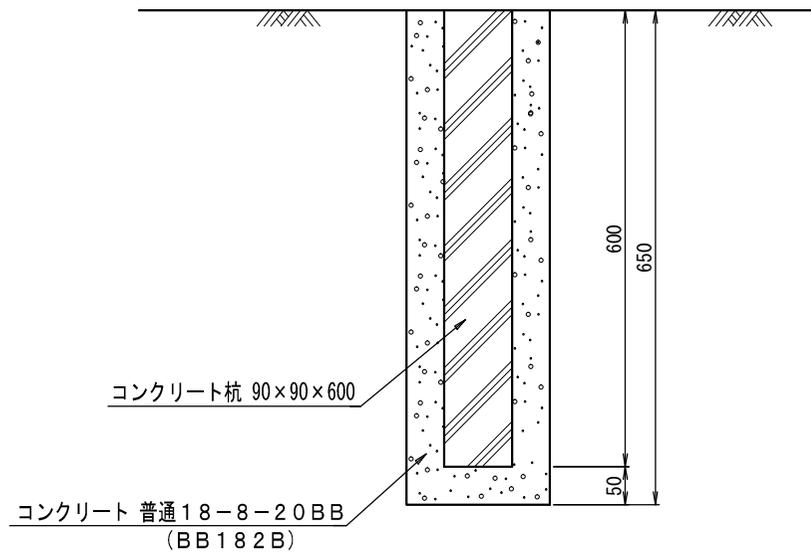
材料表

(100本当り)

品名	形状寸法	単位	数量
境界杭	90×90×600	本	100.0
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	1.4

※ 矢印   タイプ有

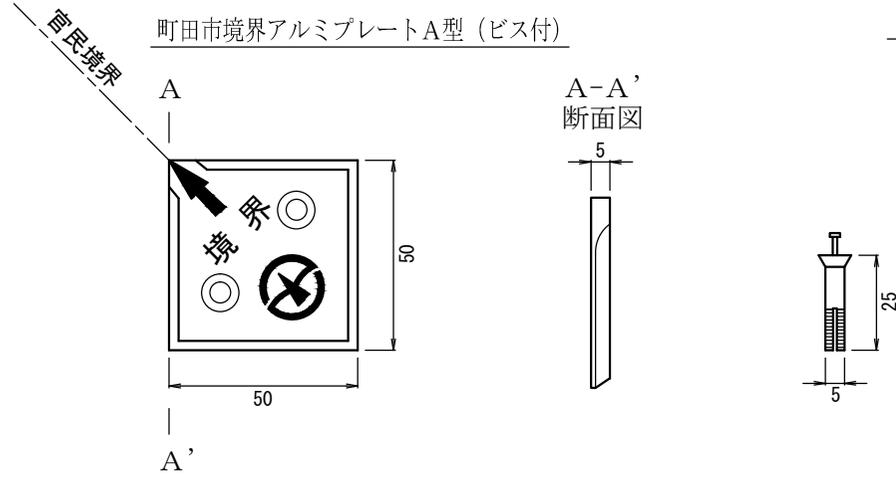
注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。



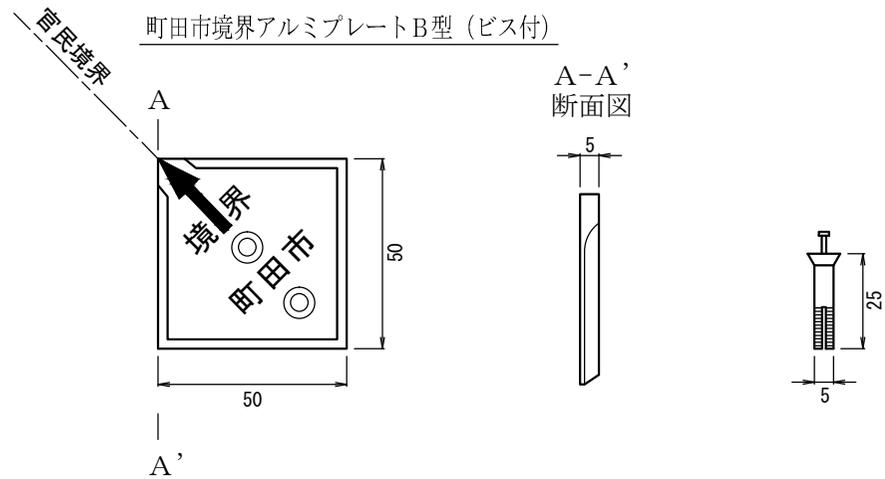
工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	境界プレート 鋺			2019

境界プレート・鋺

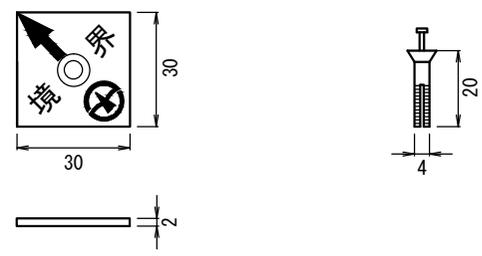
町田市境界アルミプレートA型 (ビス付)



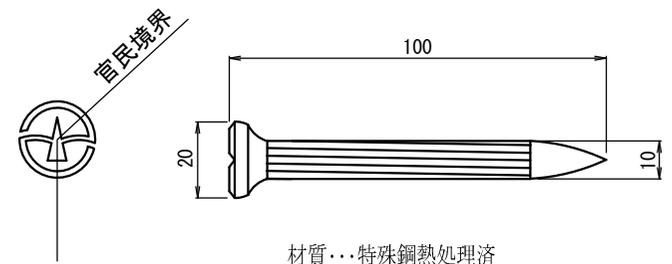
町田市境界アルミプレートB型 (ビス付)



町田市境界アルミプレートC型 (ビス付)



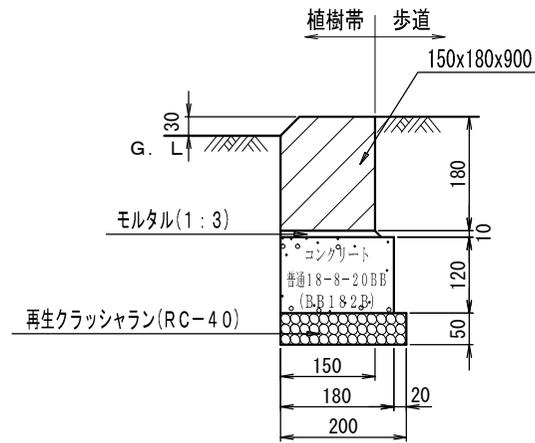
町田市鋺



工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	歩道植樹帯 縁石	構造 A B		2019

歩道植樹帯縁石

歩道植樹帯縁石(A)



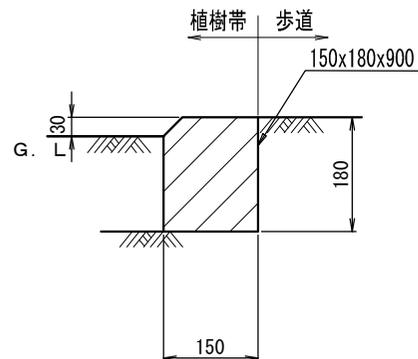
材 料 表

(100m当り)

品 名	形状・寸法	単 位	数 量	摘 要
植樹帯用コンクリートブロック	150×180×900	本	110.0	59 kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	2.2	
モルタル	1:3	〃	0.2	敷モルタル用
再生クラッシュラン	RC-40	〃	1.0	
型 枠		m ²	24.0	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

歩道植樹帯縁石(B) (現道内施工)



材 料 表

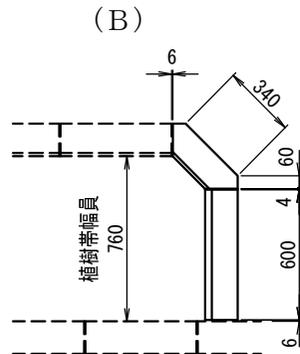
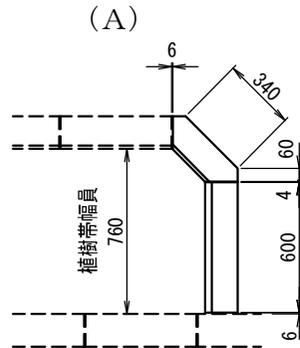
(100m当り)

品 名	形状・寸法	単 位	数 量	摘 要
植樹帯用コンクリートブロック	150×180×900	本	110.0	59 kg/個

(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	歩道植樹帯縁石端部	G-1 A、B		2019

歩道植樹帯縁石端部(G-1)



(A) 材 料 表 (片側100箇所当り)

品 名	形状 寸法	単位	数 量	摘 要
植樹帯用コンクリートブロック	150×180×600	本	100.0	2号ブロック 38kg/個
"	150×180×300	"	100.0	5号ブロック 18kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	2.1	
モルタル	1 : 3	"	0.1	敷モルタル用
再生クラッシュラン	RC-40	"	1.0	
型 枠		m ²	23.4	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

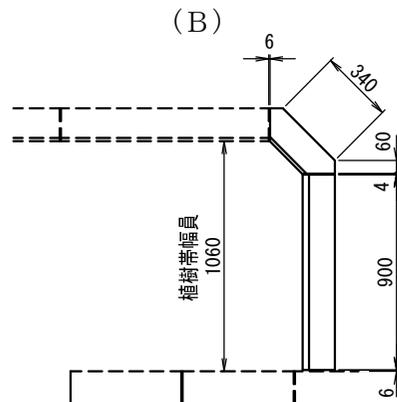
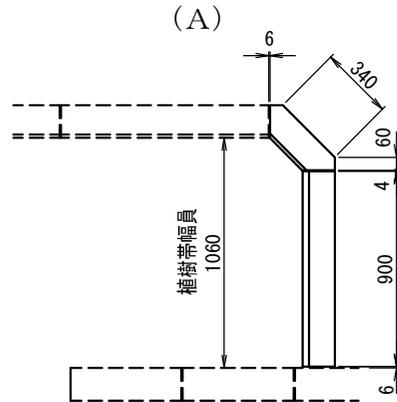
(B) (現道内施工) 材 料 表 (片側100箇所当り)

品 名	形状 寸法	単位	数 量	摘 要
植樹帯用コンクリートブロック	150×180×600	本	100.0	2号ブロック 38kg/個
"	150×180×300	"	100.0	5号ブロック 18kg/個

(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	歩道植樹帯 縁石端部	G-2 A、B		2019

歩道植樹帯縁石端部(G-2)



材 料 表

(A) (片側100箇所当り)

品 名	形状 寸法	単 位	数 量	摘 要
植樹帯用コンクリートブロック	150×180×900	本	100.0	1号ブロック 59kg/個
〃	150×180×300	〃	100.0	5号ブロック 18kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	2.8	
モルタル	1 : 3	〃	0.2	敷モルタル用
再生クラッシュラン	RC-40	〃	1.3	
型 枠		m ²	30.6	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

材 料 表

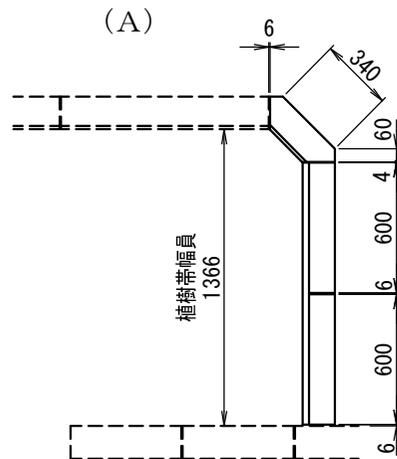
(B)(現道内施工) (片側100箇所当り)

品 名	形状 寸法	単 位	数 量	摘 要
植樹帯用コンクリートブロック	150×180×900	本	100.0	1号ブロック 59kg/個
〃	150×180×300	〃	100.0	5号ブロック 18kg/個

(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	歩道植樹帯 縁石端部	G-3 A、B		2019

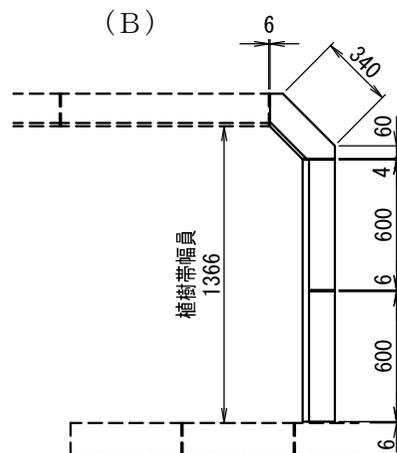
歩道植樹帯縁石端部(G-3)



(A) 材 料 表 (片側100箇所当り)

品 名	形状 寸法	単 位	数 量	摘 要
植樹帯用コンクリートブロック	150×180×600	本	200.0	2号ブロック 38kg/個
〃	150×180×300	〃	100.0	5号ブロック 18kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	3.4	
モルタル	1 : 3	〃	0.2	敷モルタル用
再生クラッシュラン	RC-40	〃	1.6	
型 枠		m ²	37.9	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。



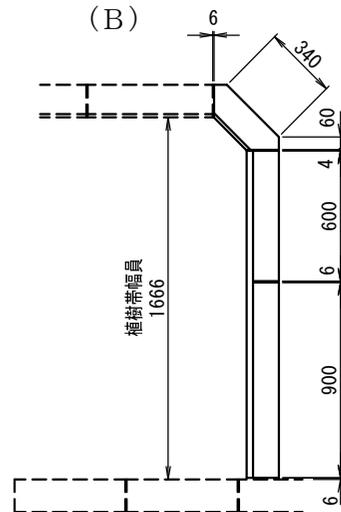
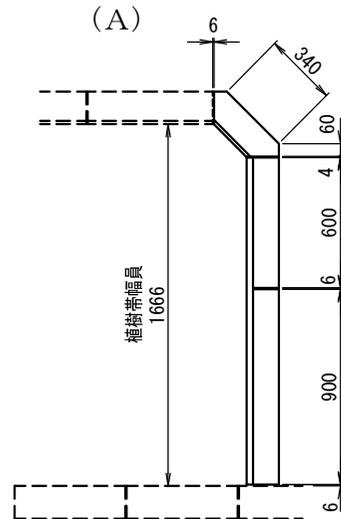
(B)(現道内施工) 材 料 表 (片側100箇所当り)

品 名	形状 寸法	単 位	数 量	摘 要
植樹帯用コンクリートブロック	150×180×600	本	200.0	2号ブロック 38kg/個
〃	150×180×300	〃	100.0	5号ブロック 18kg/個

(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

歩道植樹帯縁石端部(G-4)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	歩道植樹帯 縁石端部	G-4 A、B		2019



(A) 材 料 表 (片側100箇所当り)

品 名	形状 寸法	単 位	数 量	摘 要
植樹帯用コンクリートブロック	150×180×900	本	100.0	1号ブロック 59kg/個
〃	150×180×600	〃	100.0	2号ブロック 38kg/個
〃	150×180×300	〃	100.0	5号ブロック 18kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	4.1	
モルタル	1 : 3	〃	0.3	敷モルタル用
再生クラッシュラン	RC-40	〃	1.9	
型 枠		m ²	45.1	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

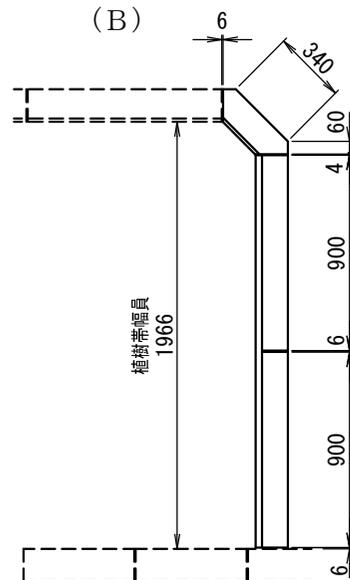
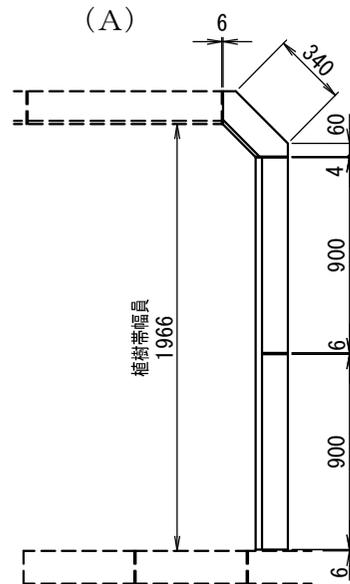
(B) (現道内施工) 材 料 表 (片側100箇所当り)

品 名	形状 寸法	単 位	数 量	摘 要
植樹帯用コンクリートブロック	150×180×900	本	100.0	1号ブロック 59kg/個
〃	150×180×600	〃	100.0	2号ブロック 38kg/個
〃	150×180×300	〃	100.0	5号ブロック 18kg/個

(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	歩道植樹帯 縁石端部	G-5 A、B		2019

歩道植樹帯縁石端部(G-5)



材 料 表

(A) (片側100箇所当り)

品 名	形状 寸法	単 位	数 量	摘 要
植樹帯用コンクリートブロック	150×180×900	本	200.0	1号ブロック 59kg/個
〃	150×180×300	〃	100.0	5号ブロック 18kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	4.7	
モルタル	1 : 3	〃	0.3	敷モルタル用
再生クラッシュラン	RC-40	〃	2.2	
型 枠		m ²	52.3	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

材 料 表

(B)(現道内施工) (片側100箇所当り)

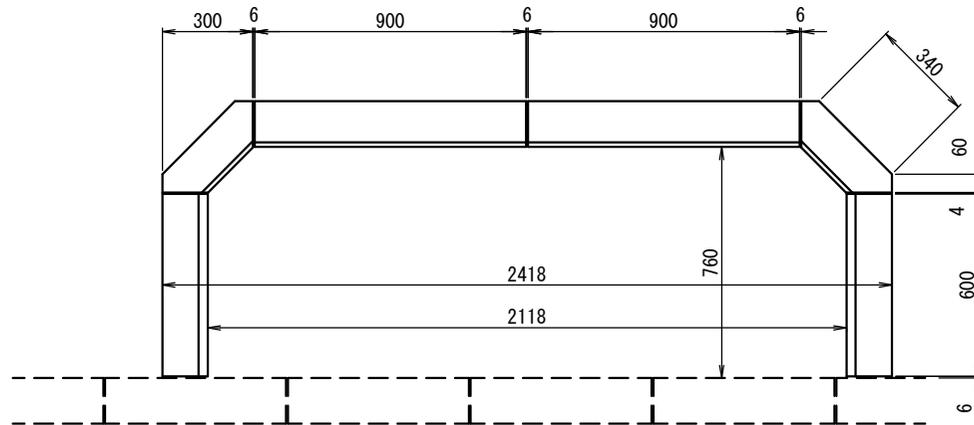
品 名	形状 寸法	単 位	数 量	摘 要
植樹帯用コンクリートブロック	150×180×900	本	200.0	1号ブロック 59kg/個
〃	150×180×300	〃	100.0	5号ブロック 18kg/個

(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

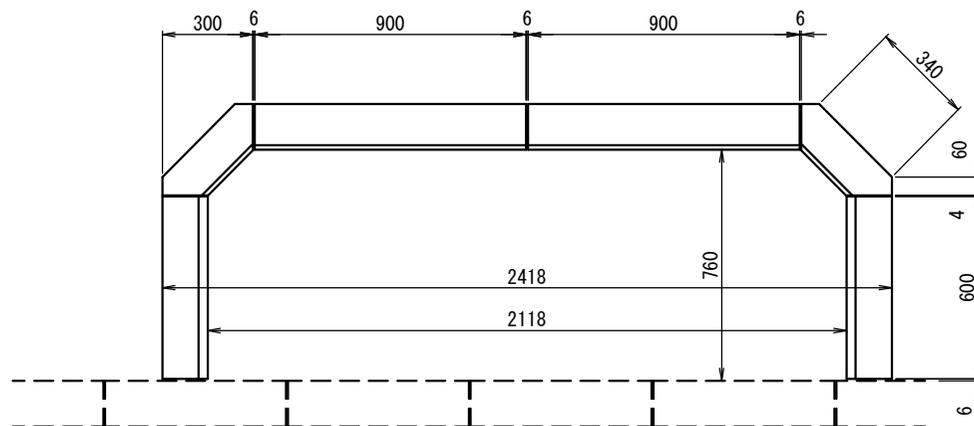
街路樹植ます(T-1)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	街路樹植 ます	T-1 A、B		2019

(A)



(B)



材 料 表

(A)

(100箇所当り)

品 名	形状 寸法	単位	数 量	摘 要
植樹帯用コンクリートブロック	150×180×900	本	200.0	1号ブロック 59 kg/個
〃	150×180×600	〃	200.0	2号ブロック 38 kg/個
〃	150×180×300	〃	200.0	5号ブロック 18 kg/個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	8.2	
モルタル	1 : 3	〃	0.6	敷モルタル用
再生クラッシュラン	RC-40	〃	3.8	
型 枠		m ²	90.1	

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

材 料 表

(B)(現道内施工)

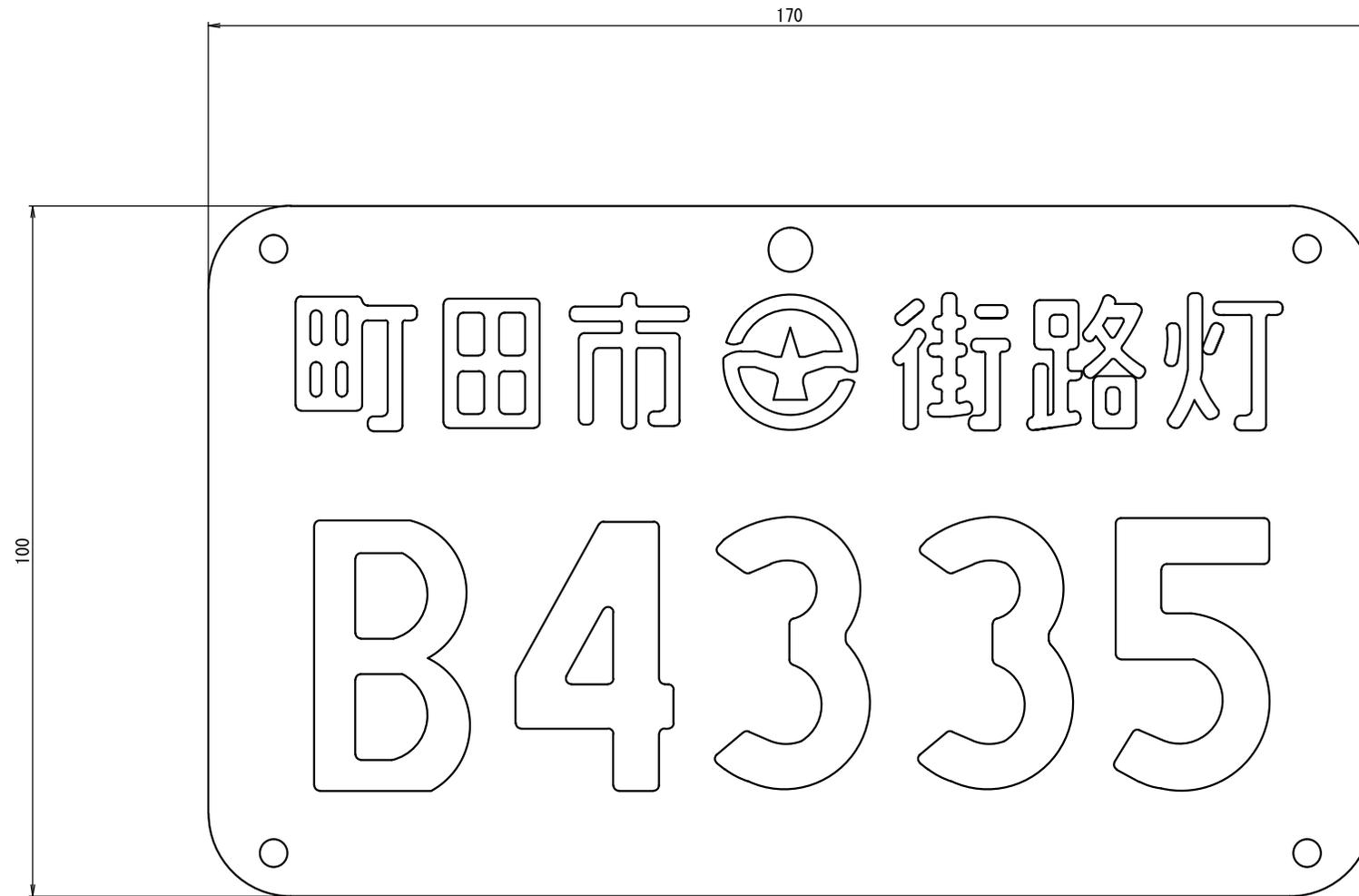
(100箇所当り)

品 名	形状 寸法	単位	数 量	摘 要
植樹帯用コンクリートブロック	150×180×900	本	200.0	1号ブロック 59 kg/個
〃	150×180×600	〃	200.0	2号ブロック 38 kg/個
〃	150×180×300	〃	200.0	5号ブロック 18 kg/個

(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	街路灯標示板			2019

街路灯標示板



街路灯標示シート
A型 大型街路灯

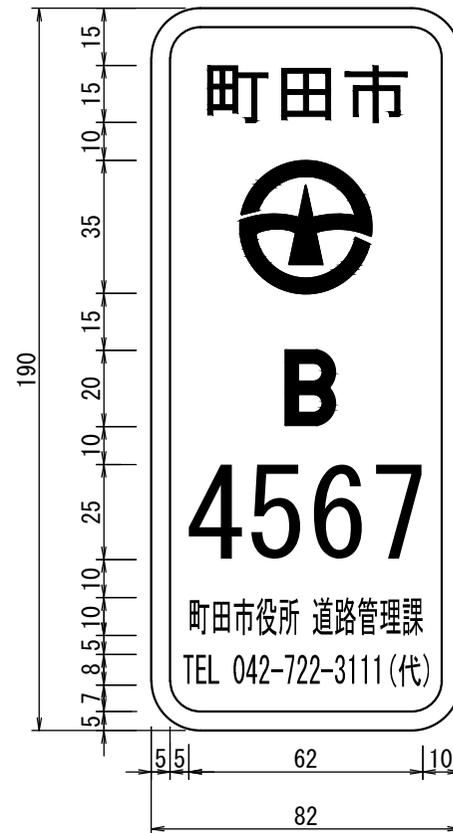
工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	街路灯 標示シート	A		2019



材 質：高輝度反射シート（カプセルプリズム型）白3930（環境配慮タイプ）
 加 工：全型抜き、裏面接着剤、離型紙スリット入れ
 寸 法：枠線・マーク・字体・配列等は、図示のとおり
 印 刷：マーク（指定オレンジ色）・その他（黒色）
 その他：記号・管理番号は、印刷 又は カルフィルム貼付（黒色）

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	街路灯 標示シート	B		2019

街路灯標示シート
B型 小型街路灯



材 質：高輝度反射シート（カプセルプリズム型）白3930（環境配慮タイプ）
 加 工：全型抜き、裏面接着剤、離型紙スリット入れ
 寸 法：枠線・マーク・字体・配列等は、図示のとおり
 印 刷：マーク（指定オレンジ色）・その他（黒色）
 その他：記号・管理番号は、印刷 又は カルフィルム貼付（黒色）

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	街路灯 標示シート	B7		2019

街路灯標示シート
B7型 分電盤・開閉器盤

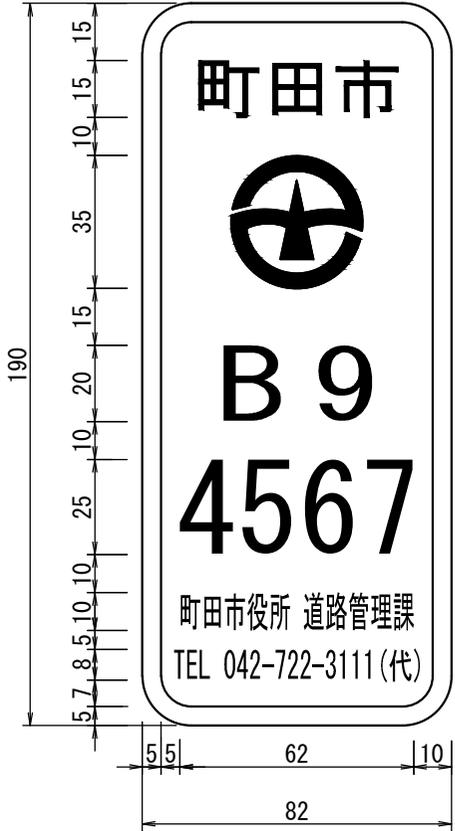


B **7**
地区記号 分電盤・開閉器盤

材 質：高輝度反射シート（カプセルプリズム型）白3930（環境配慮タイプ）
加 工：全型抜き、裏面接着剤、離型紙スリット入れ
寸 法：枠線・マーク・字体・配列等は、図示のとおり
印 刷：マーク（指定オレンジ色）・その他（黒色）
その他：記号・管理番号は、印刷 又は カルフィルム貼付（黒色）

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	街路灯 標示シート	B9		2019

街路灯標示シート
B9型 引込柱・中継柱

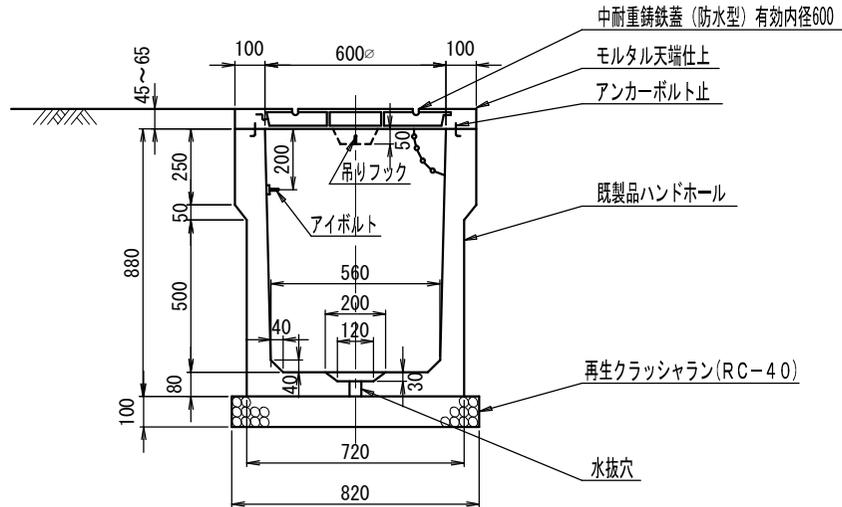
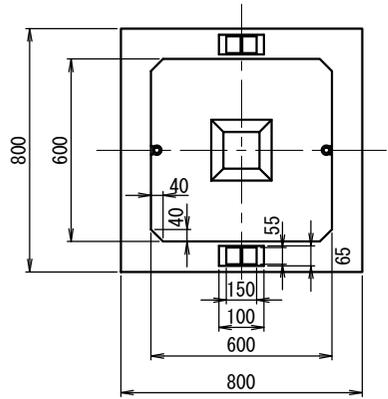


B **9**
 地区記号 引込柱・中継柱

材 質：高輝度反射シート（カプセルプリズム型）白3930（環境配慮タイプ）
 加 工：全型抜き、裏面接着剤、離型紙スリット入れ
 寸 法：枠線・マーク・字体・配列等は、図示のとおり
 印 刷：マーク（指定オレンジ色）・その他（黒色）
 その他：記号・管理番号は、印刷 又は カルフィルム貼付（黒色）

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	ハンドホール	H=800		2019

ハンドホール (H=800)



- 1, 既製品ハンドホールは、承認図を提出し、監督員の承認を得ること。
- 2, 特に指示がある場合は樹底に水抜穴を設ける。
- 3, 铸铁ふたには市及び低圧の表示をする。

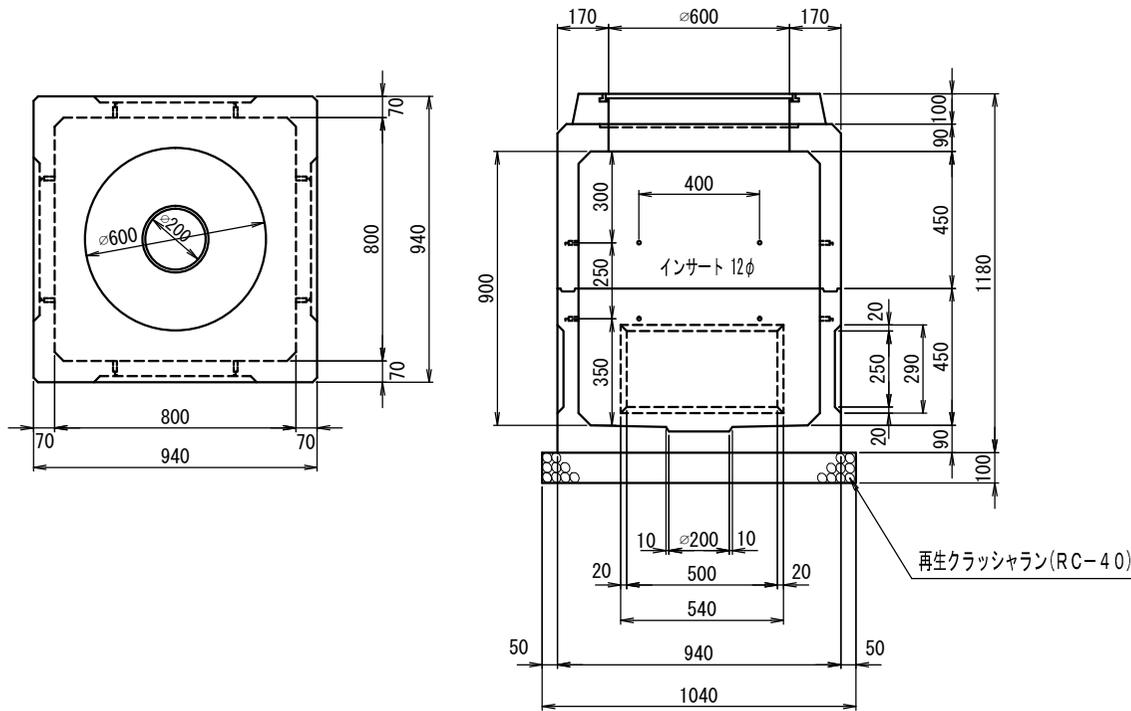
材 料 表

(1基当り)

品名	形状寸法	数量	単位
再生クラッシュラン	RC-40	0.067	m ³
ハンドホール	既製品 600×600×800	1.0	個
铸铁製ふた	中耐重, ϕ600m/m 鎖・枠付	1.0	枚

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	ハンド ホール	H=900		2019

ハンドホール (H=900)



- 1, 既製品ハンドホールは、承認図を提出し、監督員の承認を得ること。
- 2, 特に指示がある場合は柵底に水抜穴を設ける。
- 3, 铸铁ふたには市及び低圧の表示をする。

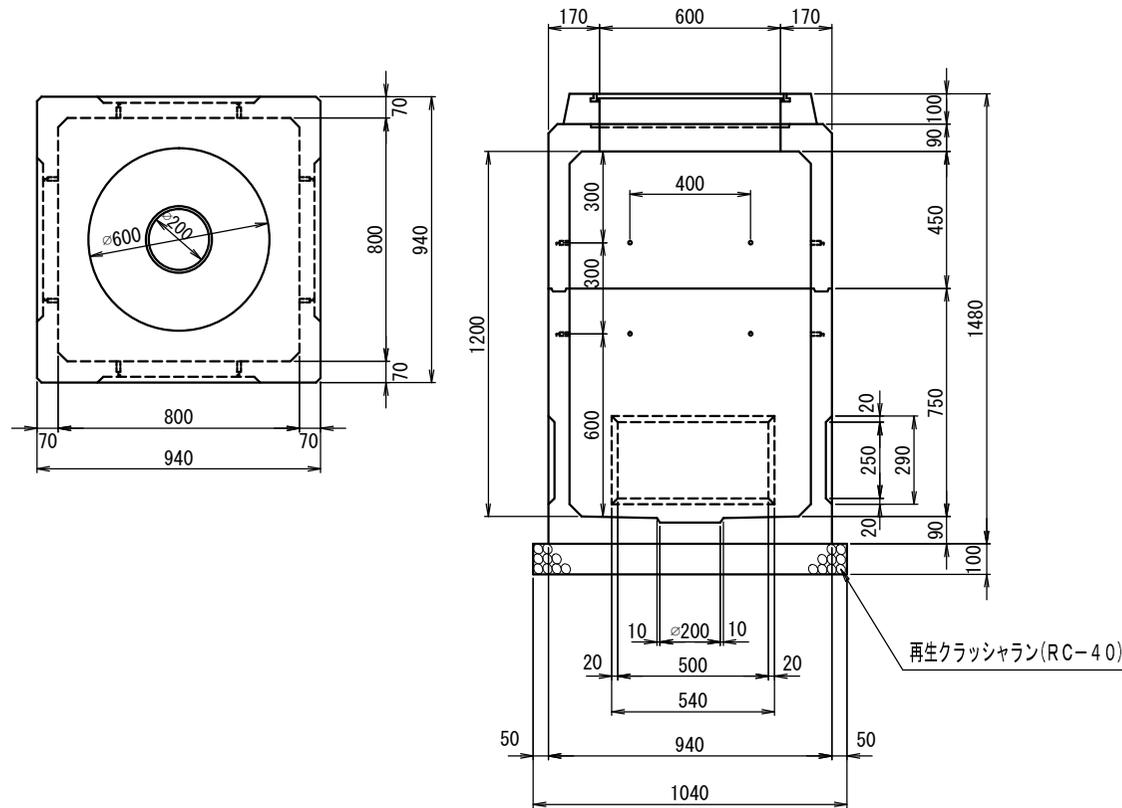
材 料 表

(1基当り)

品 名	形状寸法	単 位	数 量
鉄 蓋		枚	1.0
首環ブロック	R-60用	個	1.0
上部ブロック		個	1.0
下部ブロック		個	1.0
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	0.108

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	ハンドホール	H=1200		2019

ハンドホール (H=1200)



- 1, 既製品ハンドホールは、承認図を提出し、監督員の承認を得ること。
- 2, 特に指示がある場合は樹底に水抜穴を設ける。
- 3, 铸铁ふたには市及び低圧の表示をする。

材 料 表

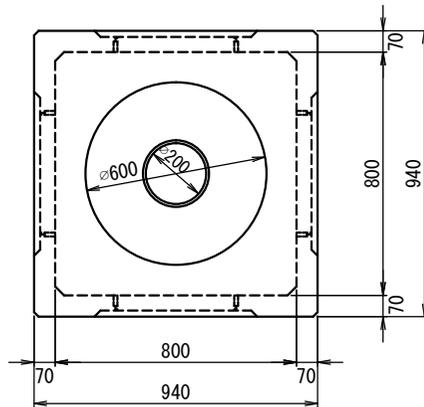
(1基当り)

品名	形状寸法	単位	数量
鉄蓋		枚	1.0
首環ブロック	R-60用	個	1.0
上部ブロック		個	1.0
下部ブロック		個	1.0
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	0.108

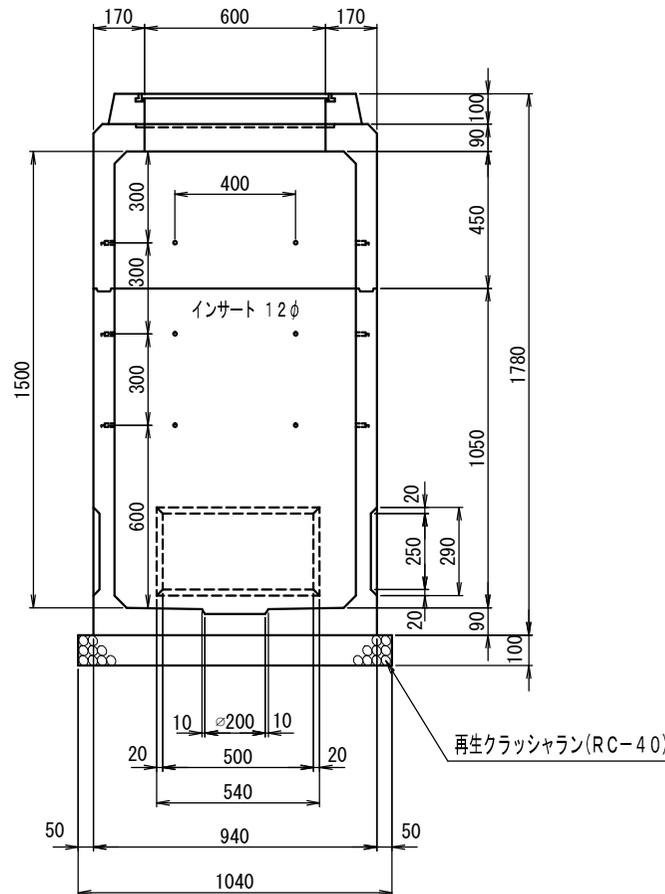
工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	ハンドホール	H=1500		2019

ハンドホール (H=1500)

平面図



断面図



- 1, 既製品ハンドホールは、承認図を提出し、監督員の承認を得ること。
- 2, 特に指示がある場合は柵底に水抜穴を設ける。
- 3, 铸铁ふたには市及び低圧の表示をする。

材料表

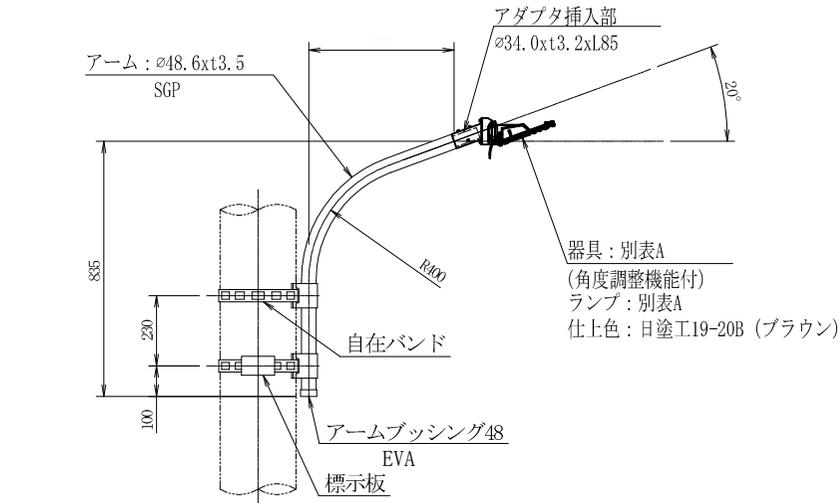
(1基当り)

品名	形状寸法	単位	数量
鉄蓋		枚	1.0
首環ブロック	R-60用	個	1.0
上部ブロック		個	1.0
下部ブロック		個	1.0
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	0.108

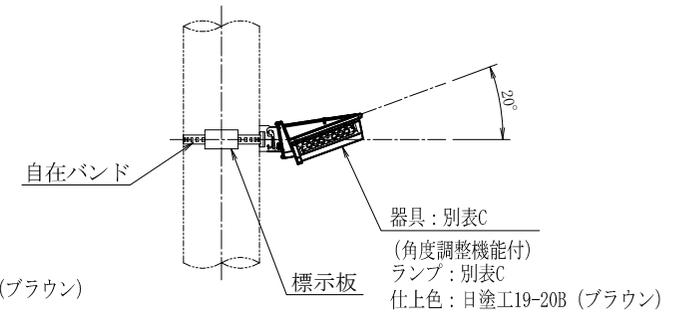
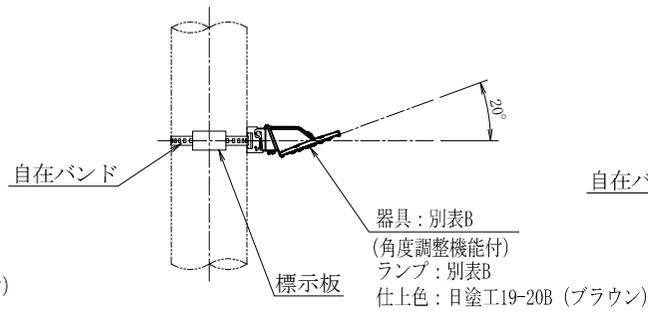
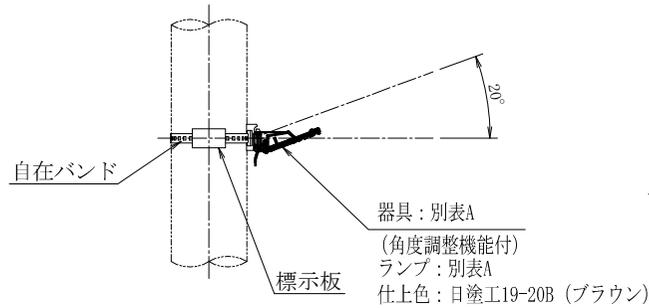
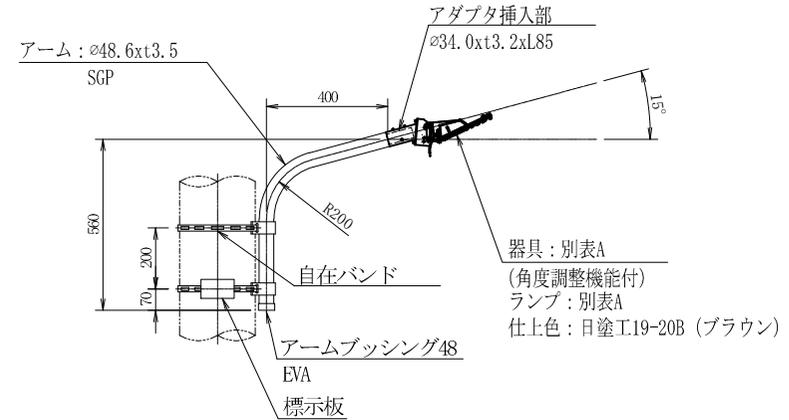
小型共架道路照明設置工

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	小 型	共 架 型		2019

出幅：480



出幅：400



別 表

タイプ		器 具	ランブ
A	10VA 相当	本体：アルミダイカスト製 グローブ：アクリル樹脂製 自動点滅器内蔵	LED
B	20VA 相当		LED
C	40VA 相当		LED

注記1.

1. アーム仕上：溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護被覆仕上げ。
2. アーム仕上色：ブラウン 日塗工 19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。

注記2.

- 灯具の選定に当たって、下記のこと(①～②)を重視すること。
- ① 灯具に対応した遮光板があること。
 - ② 灯具にサージ対策が施されていること。

材 料 表

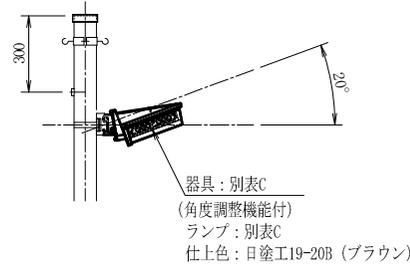
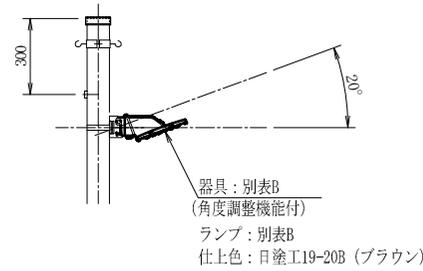
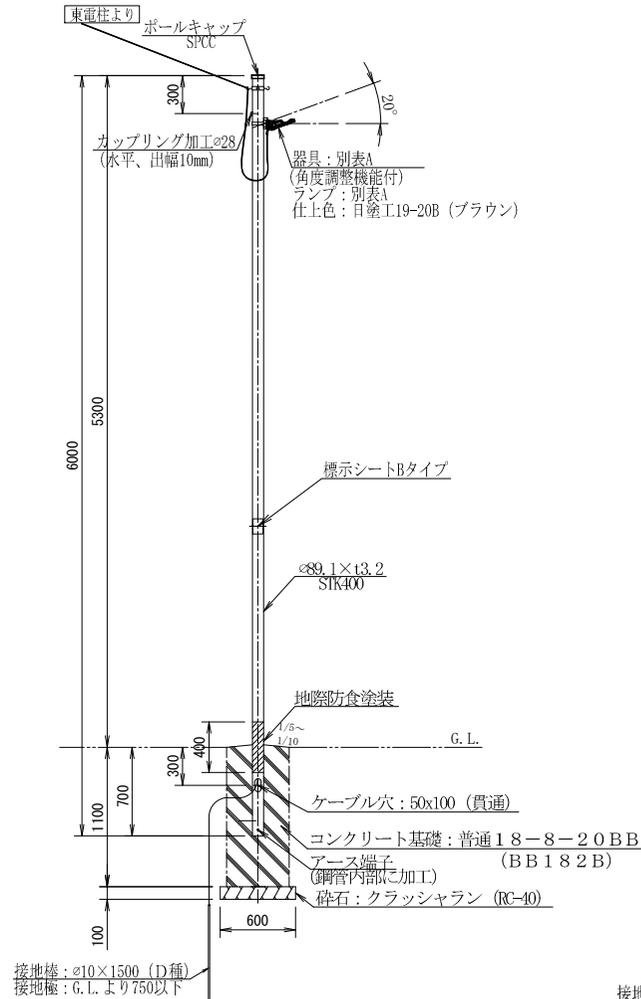
(1基当り)

品 名	形状寸法	数 量	単 位
器 具	別表による	1.0	灯
ラ ン ブ	別表による	1.0	本
アーム/取付金具		1.0	個
自在バンド		2.0 (1.0)	個
標 示 板	180×70×0.6	1.0	枚

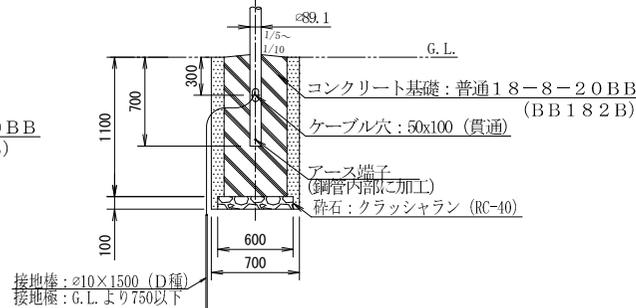
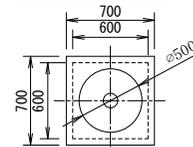
小型道路照明灯柱設置工 (単独・接続用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	小 型	独立柱 埋込式		2019

ストレートポール型



基礎工 (小型)



別表

タイプ		器具	ランプ
A	10VA 相当	本体：アルミダイカスト製 グローブ：アクリル樹脂製 自動点滅器内蔵	LED
B	20VA 相当		LED
C	40VA 相当		LED

注記1.

1. ポール・アーム仕上：溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護被覆仕上げ。
2. 仕上色：ブラウン 日塗工 19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。

注記2.

灯具の選定に当たって、下記のこと(①～②)を重視すること。

- ① 灯具対応した遮光板があること。
- ② 灯具にサージ対策が施されていること。

材 料 表

(1基当り)

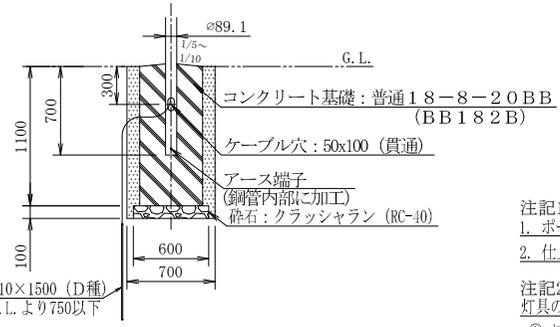
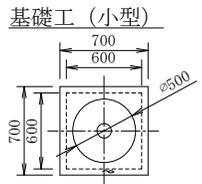
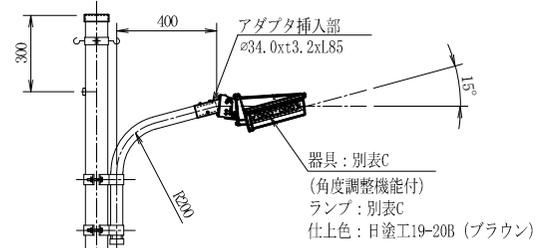
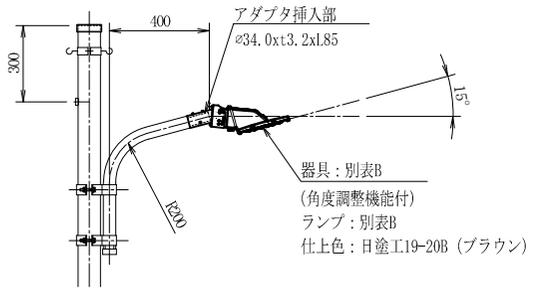
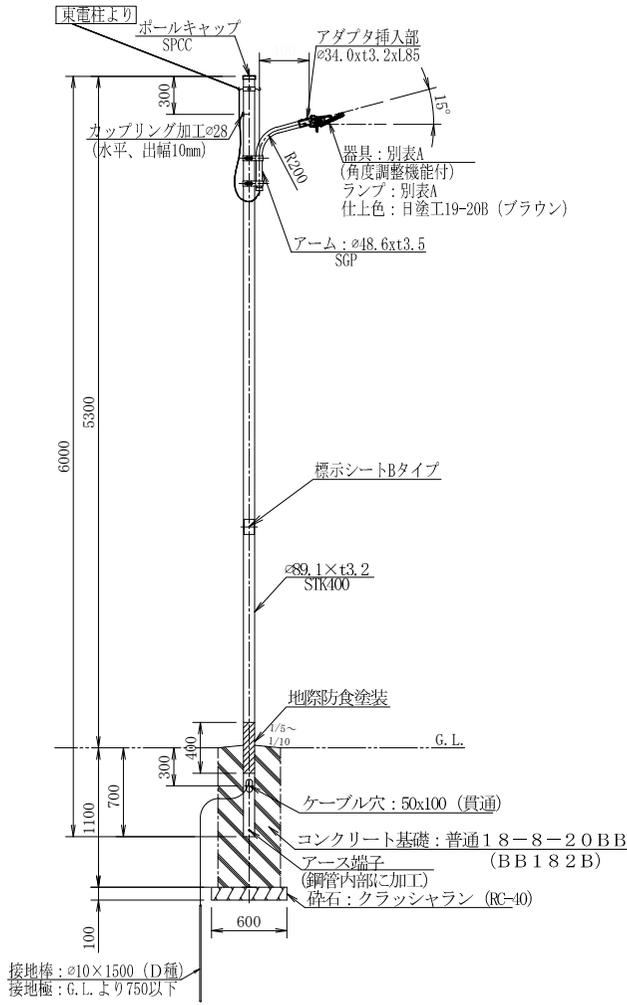
品 名	形状寸法	数 量	単 位
器 具	別表による	1.0	灯
ラ ン プ	別表による	1.0	本
ポ ー ル	STK400	1.0	本
標 示 シ ー ト	Bタイプ	1.0	枚
引 込 金 具		1.0	式
サービスキャップ		1.0	個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.22	m ³
型 枠	スパイラルダクトφ500	1.1	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接 地 棒	φ10-1500mm	1.0	本

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

小型道路照明灯柱設置工（単独・接続用）

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	小型	アーム型 独立柱 埋込式		2019

ストレートポール型（出幅：400）



別表

タイプ	器具	ランプ
A	10VA相当 本体：アルミダイカスト製 グロブ：アクリル樹脂製 自動点滅器内蔵	LED
B	20VA相当	LED
C	40VA相当	LED

材料表

(1基当り)

品名	形状寸法	数量	単位
器具	別表による	1.0	灯
ランプ	別表による	1.0	本
ポール	STK400	1.0	本
アーム	SGP	1.0	個
標示シート	Bタイプ	1.0	枚
引込金具		1.0	式
サービスキャップ		1.0	個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.22	m ³
型枠	スパイラルダクト $\phi 500$	1.1	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接地棒	$\phi 10-1500$ mm	1.0	本

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

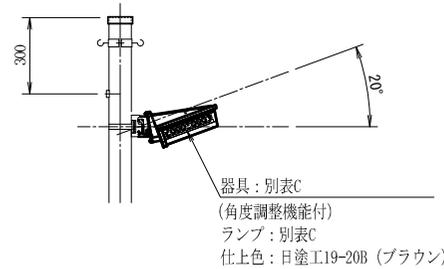
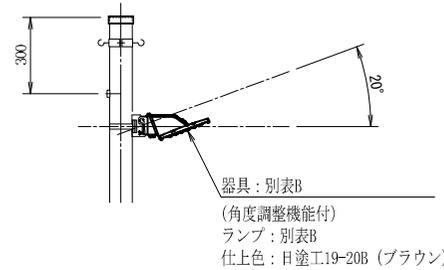
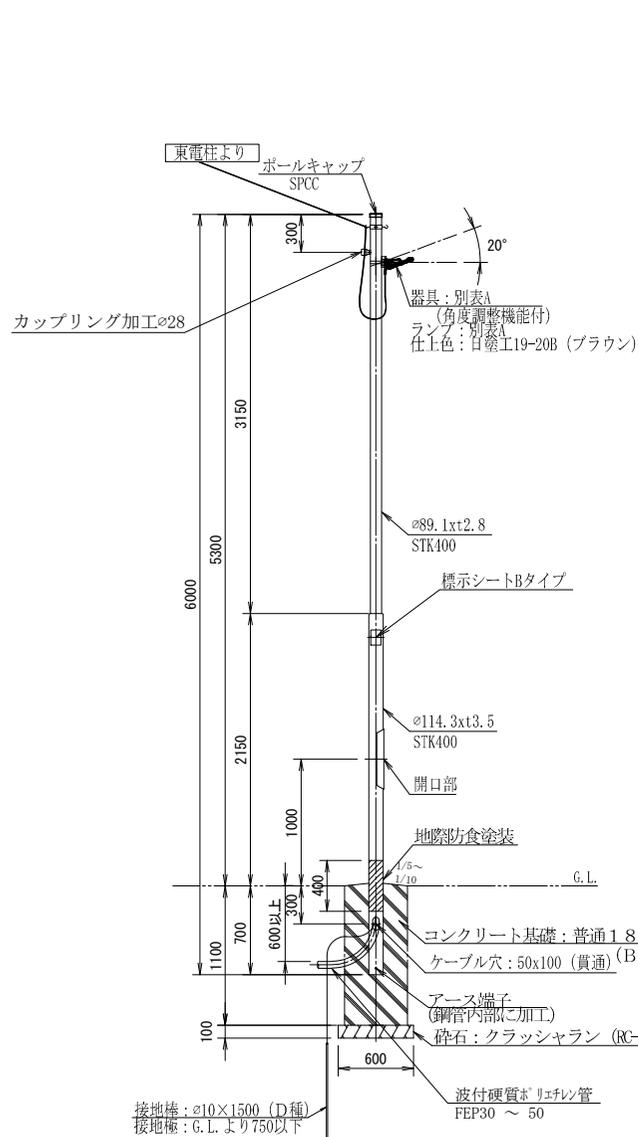
注記1.
1. ポール・アーム仕上：溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護被覆仕上げ。
2. 仕上色：ブラウン 日塗工 19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。

注記2.
灯具の選定に当たって、下記のこと(①～②)を重視すること。
① 灯具対応した遮光板があること。
② 灯具にサージ対策が施されていること。

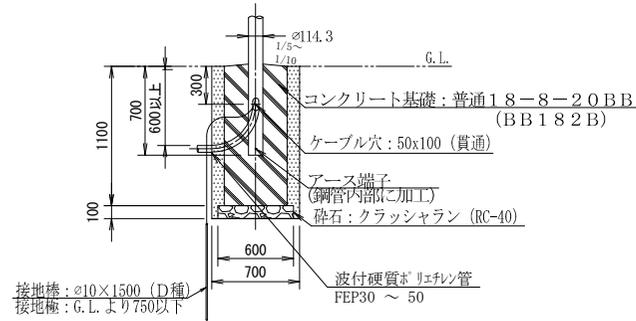
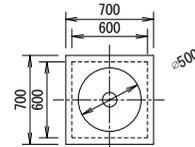
小型道路照明灯柱設置工（段付 接続用）

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	小 型	独立柱埋込式		2019

ストレートポール型



基礎工（小型）



別表

タイプ	器具	ランプ	
A	10VA相当	本体：アルミダイカスト製 グローブ：アクリル樹脂製	LED
B	20VA相当	自動点滅器内蔵	LED
C	40VA相当		LED

注記1.

- ポール・アーム仕上：溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護被覆仕上げ。
- 仕上色：ブラウン 日塗工 19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。

注記2.

灯具の選定に当たって、下記のこと（①～②）を重視すること。

- ① 灯具に対応した遮光板があること。
- ② 灯具にサージ対策が施されていること。

材 料 表

(1基当り)

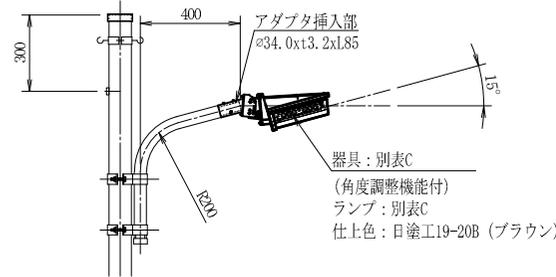
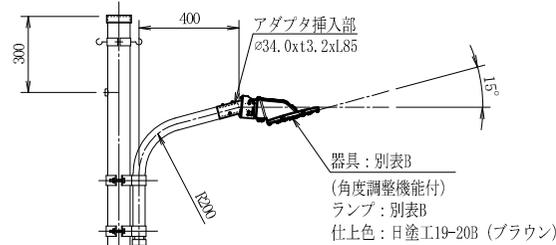
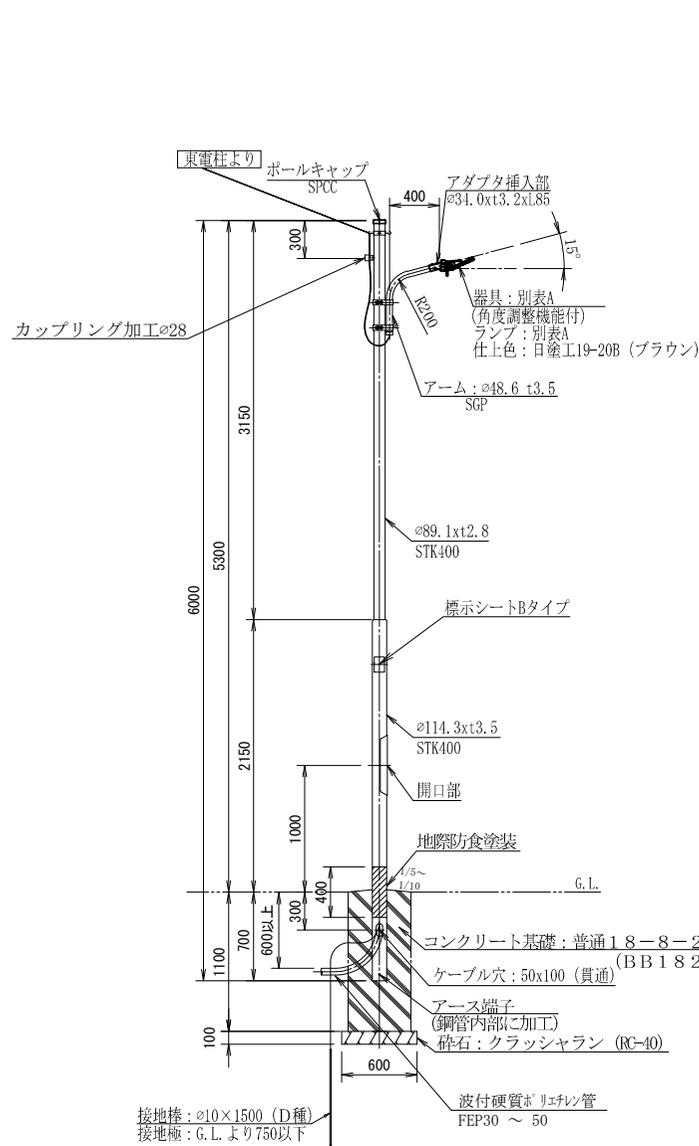
品 名	形状寸法	数 量	単 位
器 具	別表による	1.0	灯
ラ ン プ	別表による	1.0	本
ポ ー ル	STK400	1.0	本
標 示 シ ー ト	Bタイプ	1.0	枚
引 込 金 具		1.0	式
サービスキャップ		1.0	個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.22	m ³
型 枠	スパイラルダクトφ500	1.1	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接 地 棒	φ10-1500mm	1.0	本

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

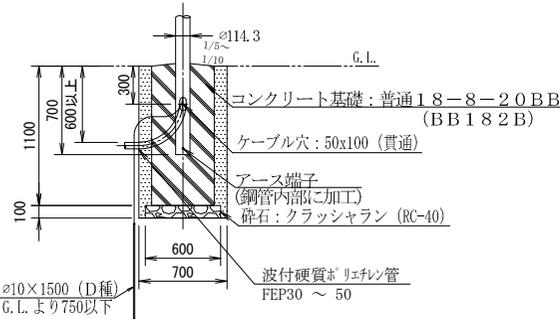
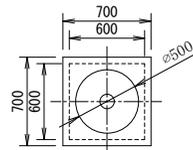
小型道路照明灯柱設置工（段付 接続用）

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	小型	アーム型 独立柱 埋込式		2019

ストリートポール型（出幅：400）



基礎工（小型）



別表

タイプ	器具	ランプ
A	10VA相当 本体：アルミダイカスト製 グローブ：アクリル樹脂製	LED
B	20VA相当 自動点滅器内蔵	LED
C	40VA相当	LED

注記1.

1. ポール・アーム仕上：溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護被覆仕上げ。
2. 仕上色：ブラウン 日塗工 19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。

注記2.

灯具の選定に当たって、下記のこと（①～②）を重視すること。

- ① 灯具に対応した遮光板があること。
- ② 灯具にサージ対策が施されていること。

材料表

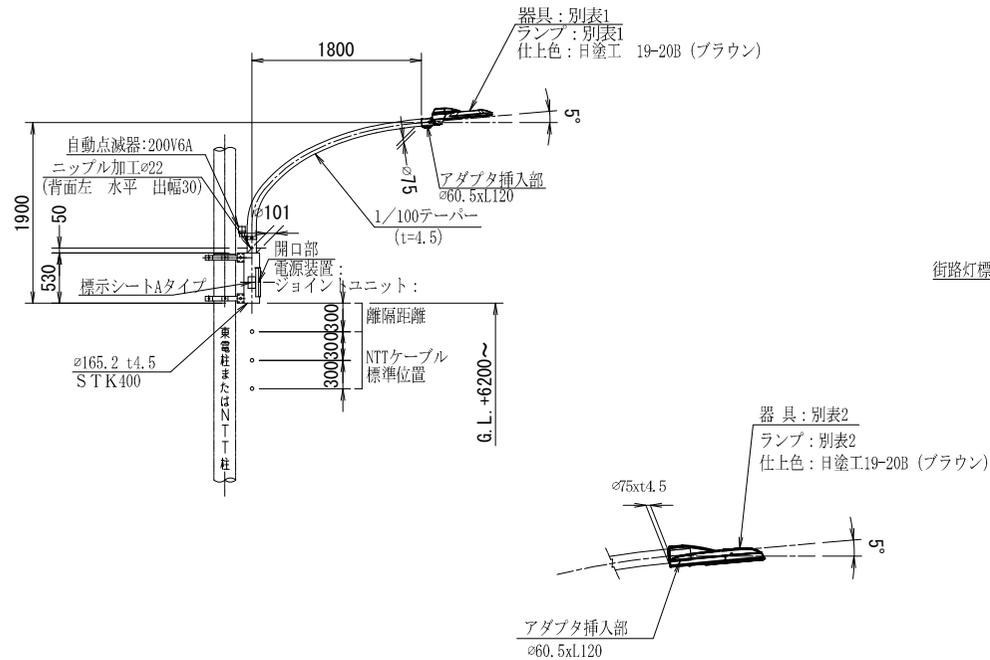
（1基当たり）

品名	形状寸法	数量	単位
器具	別表による	1.0	灯
ランプ	別表による	1.0	本
ポール	STK400	1.0	本
アーム	SGP	1.0	個
標示シート	Bタイプ	1.0	枚
引込金具		1.0	式
サービスキャップ		1.0	個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.22	m ³
型枠	スパイラルダクトφ500	1.1	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接地棒	φ10-1500mm	1.0	本

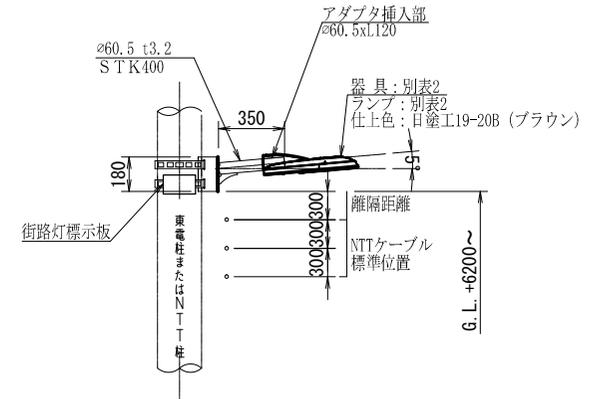
注）調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	大 型	アーム型 独立柱 共架型		2019

大型共架道路照明設置工
(出幅：1800)



大型共架道路照明設置工
(出幅：350)



注記

1. ボール仕上：溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護被覆仕上げ。
2. 仕上色：ブラウン 日塗工 19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。
3. 灯具に自動点滅器が内蔵されている場合は、外付けの自動点滅器は不要とする。

別表1

器具	ランプ光束
KCE070 HF300W相当LED	8,100 lm 以上

別表2

器具	ランプ光束
都タイプ 101x HF200W相当LED	3,880 lm 以上
KCE050 HF250W相当LED	6,300 lm 以上
KCE070 HF300W相当LED	8,400 lm 以上

※適合アーム径：φ34.0、φ48.6、φ60.5兼用

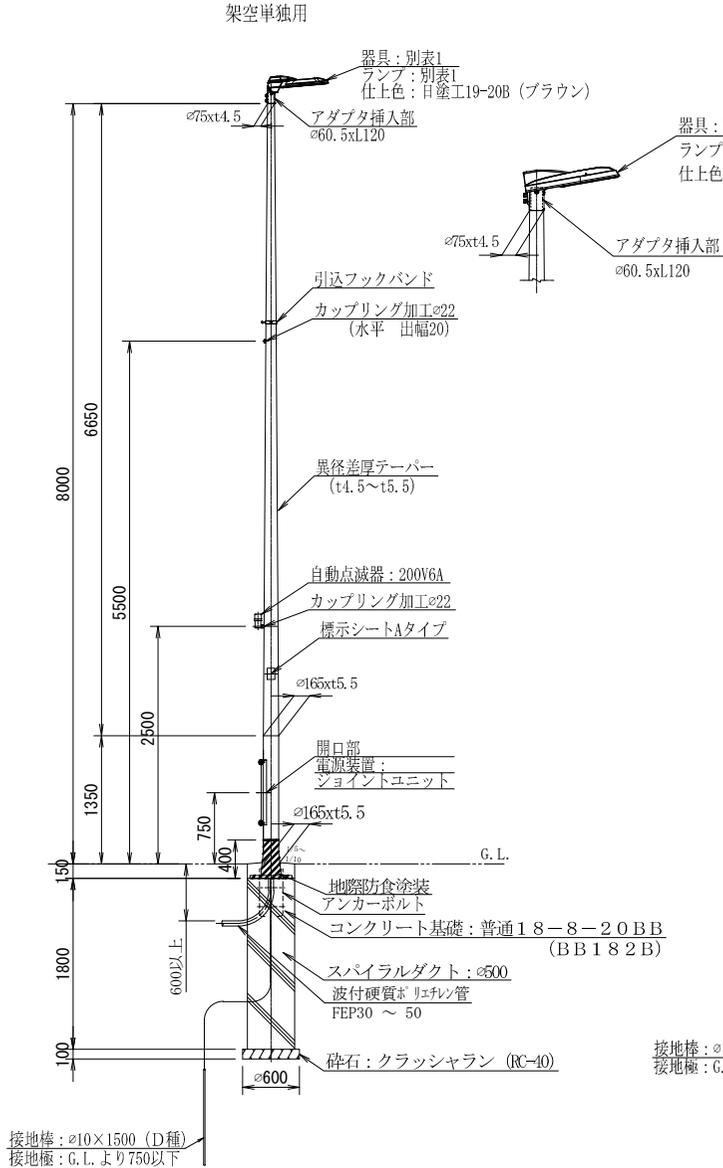
材 料 表

(1基当り)

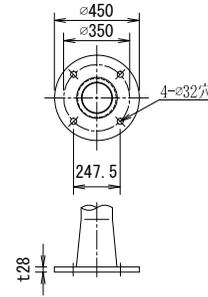
品 名	形状寸法	数 量	単 位
器 具	別表による	1.0	灯
ア ー ム	STK400	1.0	本
自動点滅器	200V6A	1.0	個
ジョイントユニット		1.0	個
街路灯標示板		1.0	枚
引込金具		1.0	式
サービスクラップ		1.0	個

大型道路照明設置工 (架空単独用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	大型	独立柱 ベースプレート式		2019



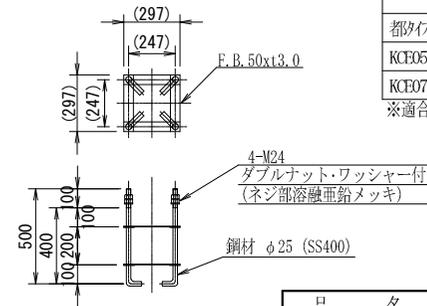
ベース部詳細図



別表1

器具	ランプ光束
KCE070	HF300W相当LED 8,100 lm 以上

アンカーボルト詳細図

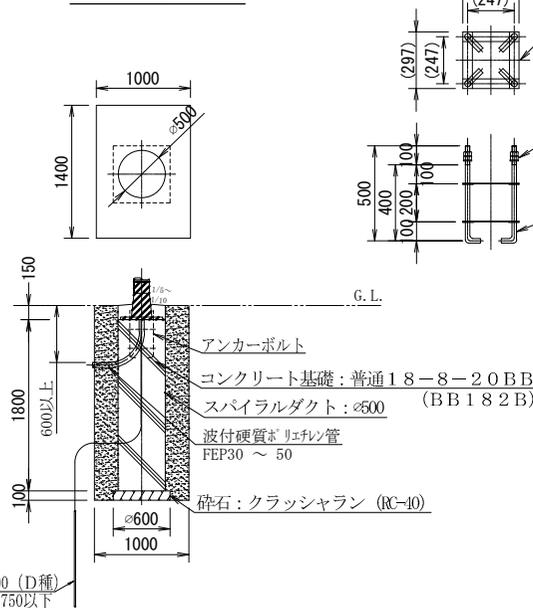


別表2

器具	ランプ光束
都タイ 10Lx	HF200W相当LED 3,880 lm 以上
KCE050	HF250W相当LED 6,300 lm 以上
KCE070	HF300W相当LED 8,400 lm 以上

※適合アーム径: φ34.0、φ48.6、φ60.5兼用

基礎図



材料表

(1基当り)

品名	形状寸法	数量	単位
器具	別表による	1.0	灯
ボール	STK400	1.0	本
アンカーボルト	4-M24	1.0	本
自動点滅器	200V6A	1.0	個
ジョイントユニット		1.0	個
標示シート	Aタイプ	1.0	枚
引込金具		1.0	式
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.38	m ³
型枠	スパイラルダクトφ500	1.95	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接地棒	φ10-1500mm	1.0	本

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

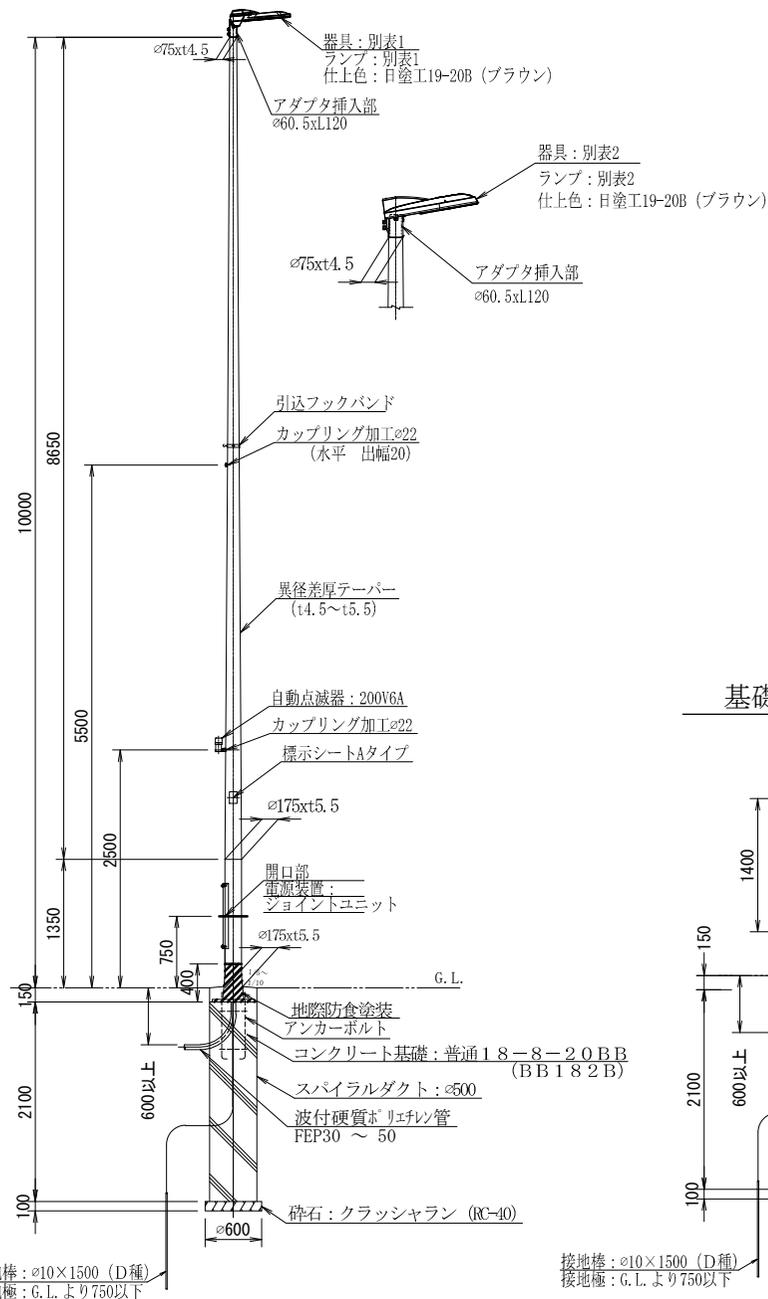
ネジ部: 溶融亜鉛メッキ (HDZ35) 仕上げ

注記

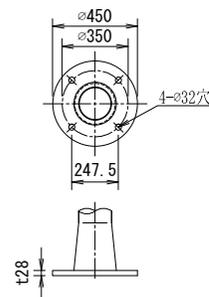
1. ボール仕上: 溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護被覆仕上げ。
2. 仕上色: ブラウン 日塗工 19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。
3. 灯具に自動点滅器が内蔵されている場合は、外付けの自動点滅器は不要とする。

大型道路照明設置工 (架空単独用)

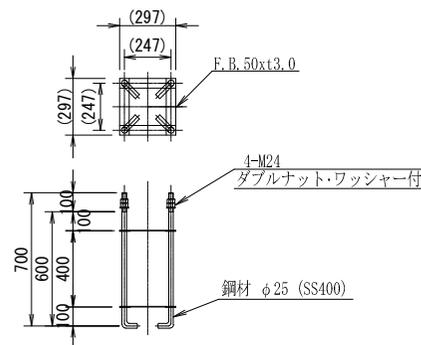
工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	大 型	独立柱 ベースプレート式		2019



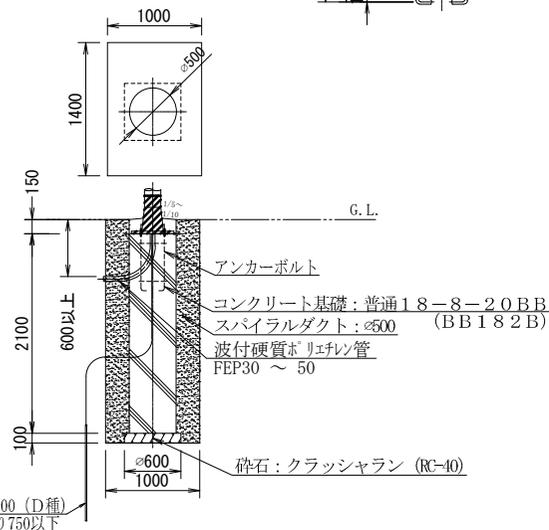
ベース部詳細図



アンカーボルト詳細図



基礎図



別表 1

	器具	ランプ光束
KCE070	HF300W相当LED	8,100 lm 以上

別表 2

	器具	ランプ光束
KCE050	HF250W相当LED	6,300 lm 以上
KCE070	HF300W相当LED	8,400 lm 以上

※適合アーム径: φ34.0、φ48.6、φ60.5兼用

材 料 表

(1基当り)

品 名	形状寸法	数 量	単 位
器 具	別表による	1.0	灯
ポ ール	STK400	1.0	本
アンカーボルト	4-M24	1.0	本
自動点滅器	200V6A	1.0	個
ジョイントユニット		1.0	個
標示シート	Aタイプ	1.0	枚
引込金具		1.0	式
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.44	m ³
型 枠	スパイラルダクトφ500	2.25	m
再生クラッシュヤラン	RC-40	0.03	m ²
接 地 棒	φ10-1500mm	1.0	本

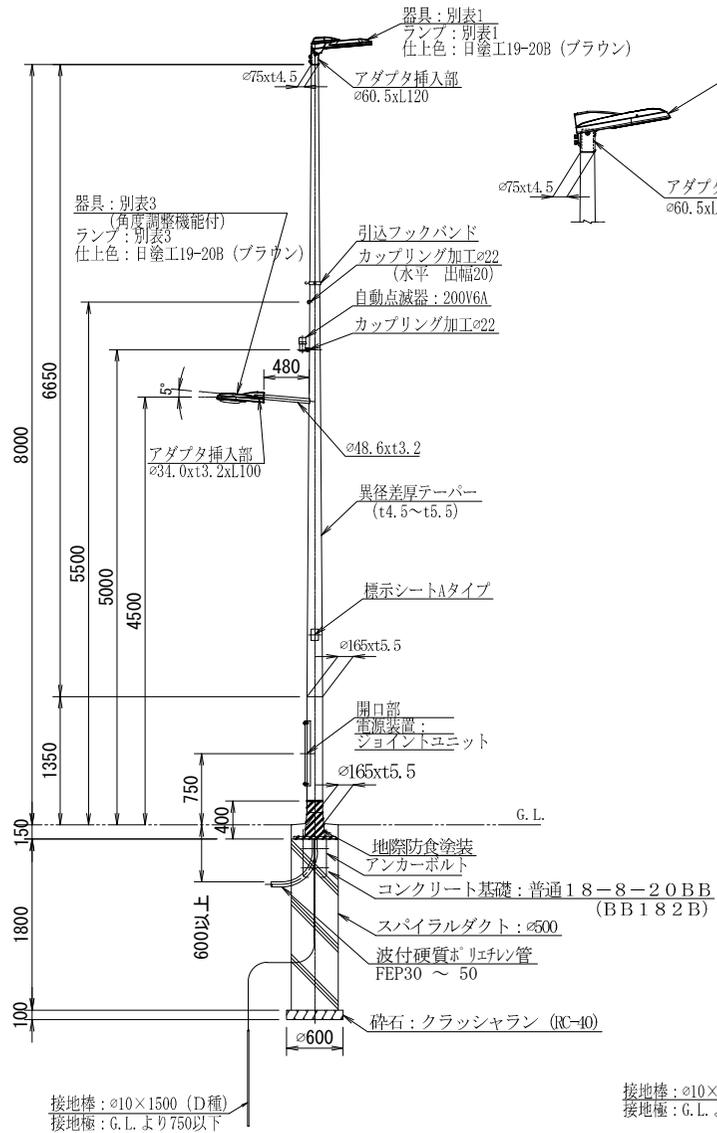
注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

注記

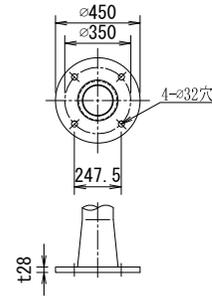
1. ボール仕上: 溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護被覆仕上。
2. 仕上色: ブラウン 日塗工 19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。
3. 灯具に自動点滅器が内蔵されている場合は、外付けの自動点滅器は不要とする。

ネジ部: 溶融亜鉛メッキ (HDZ35) 仕上げ

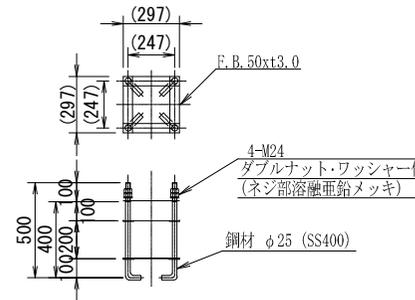
大型道路照明設置工
(架空単独用)



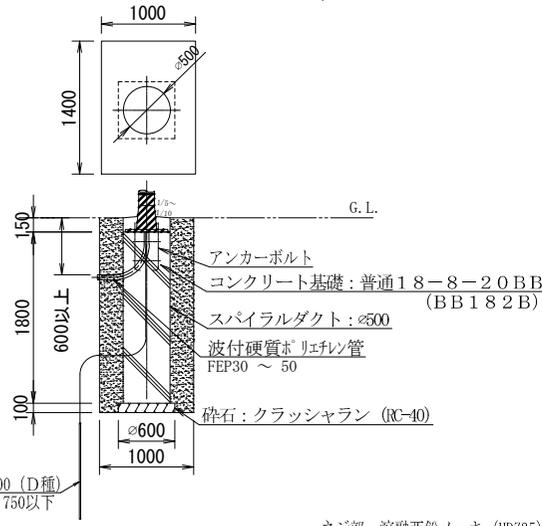
ベース部詳細図



アンカーボルト詳細図



基礎図



ネジ部：溶融亜鉛メッキ (HDZ35) 仕上げ

注記

1. ボール仕上：溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護被覆仕上げ。
2. 仕上色：ブラウン 日塗工 19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	大 型	独立柱 ベースプレート式		2019

別表 1

器具	ランプ光束
KCE070	HF300W相当LED 8,100 lm 以上

別表 2

器具	ランプ光束
都タイプ 10Lx	HF200W相当LED 3,880 lm 以上
KCE050	HF250W相当LED 6,300 lm 以上
KCE070	HF300W相当LED 8,400 lm 以上

※適合アーム径：φ34.0、φ48.6、φ60.5兼用

別表 3

器具	ランプ
都タイプ 5Lx	本体：アルミダイカスト製 グローブ：アクリル樹脂製 自動点滅器なし LED

材 料 表

(1基当り)

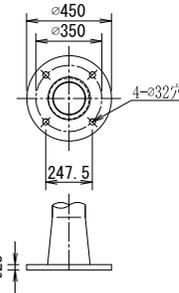
品 名	形状寸法	数 量	単 位
車道用器具	別表 1, 2 による	1.0	灯
歩道用器具	別表 3 による	1.0	灯
ボ ー ル	STK400	1.0	本
アンカーボルト	4-M24	1.0	本
自動点滅器	200V6A	1.0	個
ジョイントユニット		1.0	個
標示シート	Aタイプ	1.0	枚
引込金具		1.0	式
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.38	m ³
型 枠	スパイラルダクトφ500	1.95	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接 地 棒	φ10-1500mm	1.0	本

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

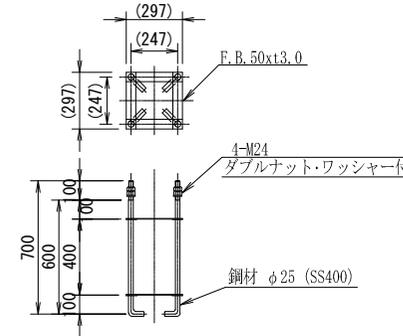
大型道路照明設置工 (架空単独用)

ベース部詳細図

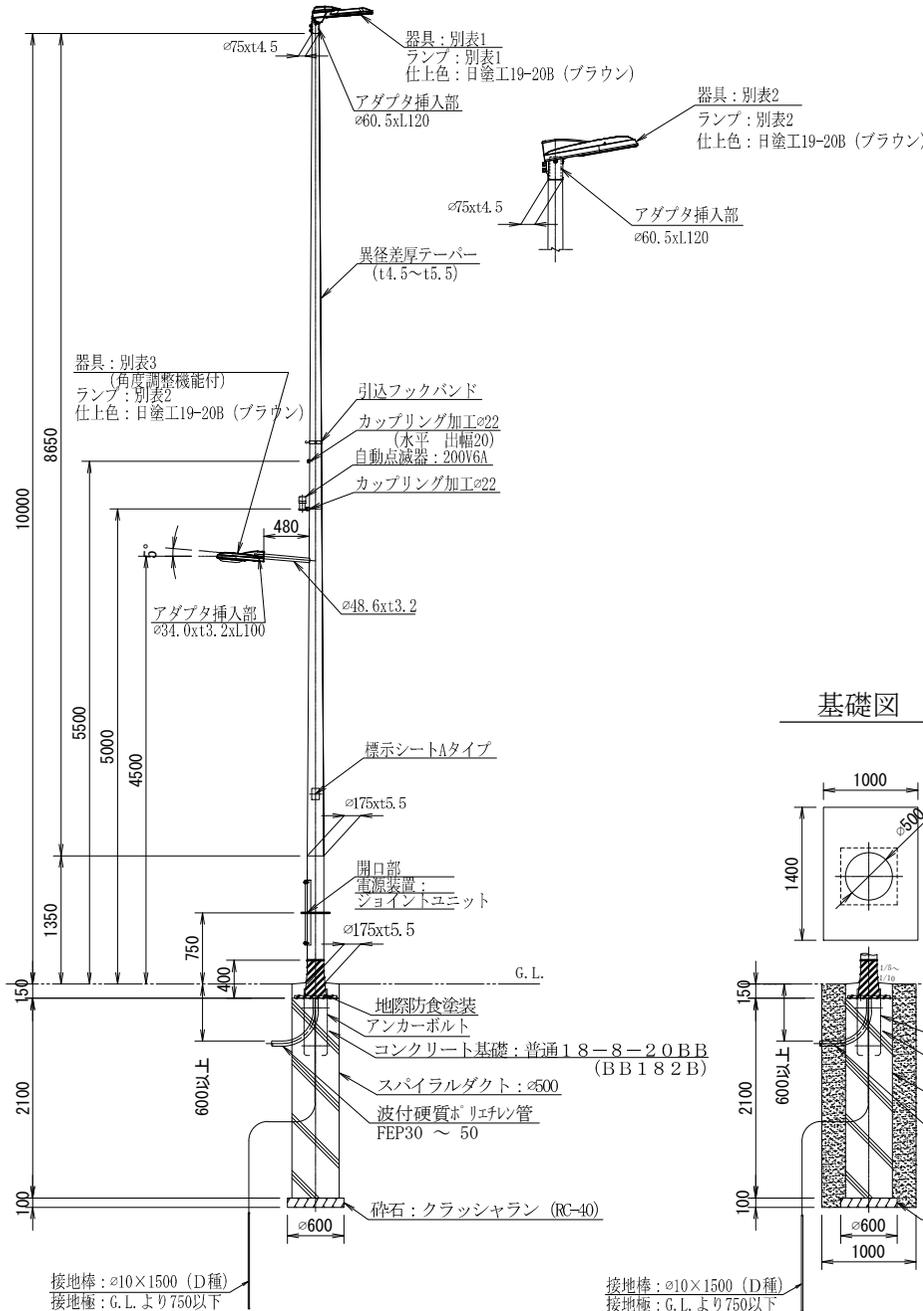
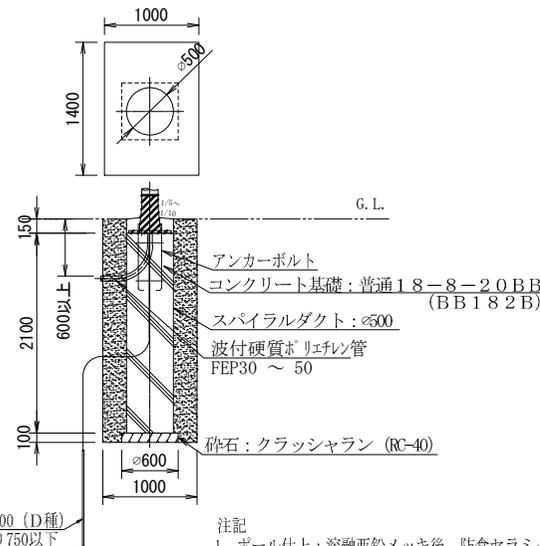
工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	大 型	独立柱 ベースプレート式		2019



アンカーボルト詳細図



基礎図



別表 1

器具	ランプ光束
KCE070	HF300W相当LED 8,100 lm 以上

別表 2

器具	ランプ光束
KCE050	HF250W相当LED 6,300 lm 以上
KCE070	HF300W相当LED 8,400 lm 以上

※適合アーム径: φ34.0、φ48.6、φ60.5兼用

別表 3

器具	ランプ
都府庁 5lx	本体: アルミダイカスト製 グローブ: アクリル樹脂製 自動点滅器なし

ネジ部: 溶融亜鉛メッキ (HDZ35) 仕上げ

材 料 表

(1基当り)

品 名	形状寸法	数 量	単 位
車道用器具	別表 1, 2 による	1.0	灯
歩道用器具	別表 3 による	1.0	灯
ポール	STK400	1.0	本
アンカーボルト	4-M24	1.0	本
自動点滅器	200V6A	1.0	個
ジョイントユニット		1.0	個
標示シート	Aタイプ	1.0	枚
引込金具		1.0	式
コンクリート	普通 18-8-20 BB (BB182B)	0.44	m ³
型 枠	スパイラルダクトφ500	2.25	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接 地 棒	φ10-1500mm	1.0	本

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

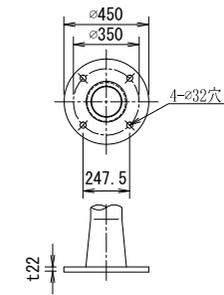
注記

1. ポール仕上: 溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護被覆仕上げ。
2. 仕上色: ブラウン 日塗工 19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。

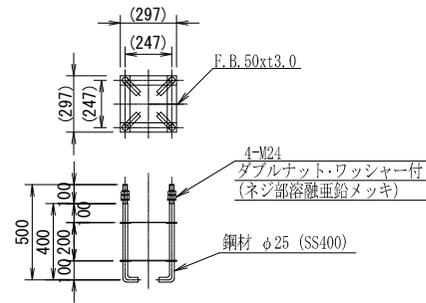
大型道路照明設置工 (架空単独用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	大型	アーム型 独立柱 ベースプレート式		2019

ベース部詳細図



アンカーボルト詳細図



別表1

器具	ランプ光束
KCE070	HF300W相当LED 8,100 lm 以上

別表2

器具	ランプ光束
都タイプ 10Lx	HF200W相当LED 3,880 lm 以上
KCE050	HF250W相当LED 6,300 lm 以上
KCE070	HF300W相当LED 8,400 lm 以上

※適合アーム径：φ34.0、φ48.6、φ60.5兼用

ネジ部：溶融亜鉛メッキ (HDZ35) 仕上げ

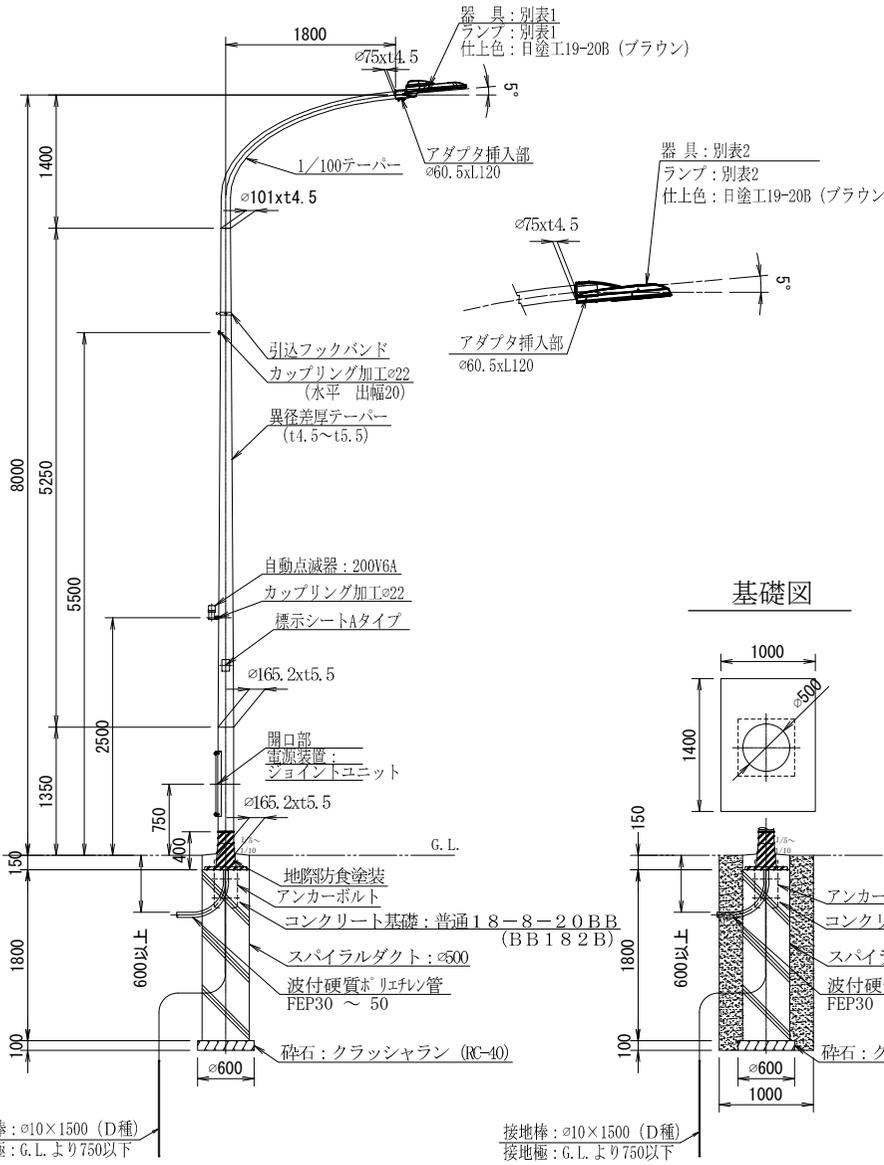
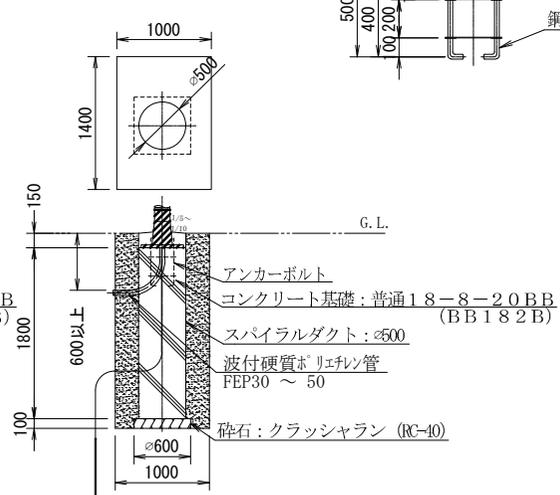
材料表

(1基当り)

品名	形状寸法	数量	単位
器具	別表による	1.0	灯
ボール	STK400	1.0	本
アンカーボルト	4-M24	1.0	本
自動点滅器	200V6A	1.0	個
ジョイントユニット		1.0	個
標示シート	Aタイプ	1.0	枚
引込金具		1.0	式
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.38	m ³
型枠	スパイラルダクトφ500	1.95	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接地棒	φ10-1500mm	1.0	本

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

基礎図

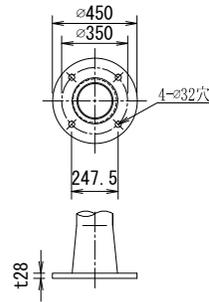


注記

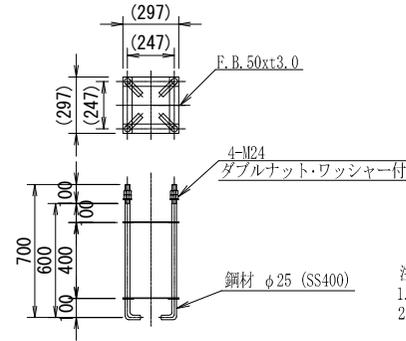
1. ボール仕上: 溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護被覆仕上げ。
2. 仕上色: ブラウン 日塗工 19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。
3. 灯具に自動点滅器が内蔵されている場合は、外付けの自動点滅器は不要とする。

大型道路照明設置工 (架空単独用)

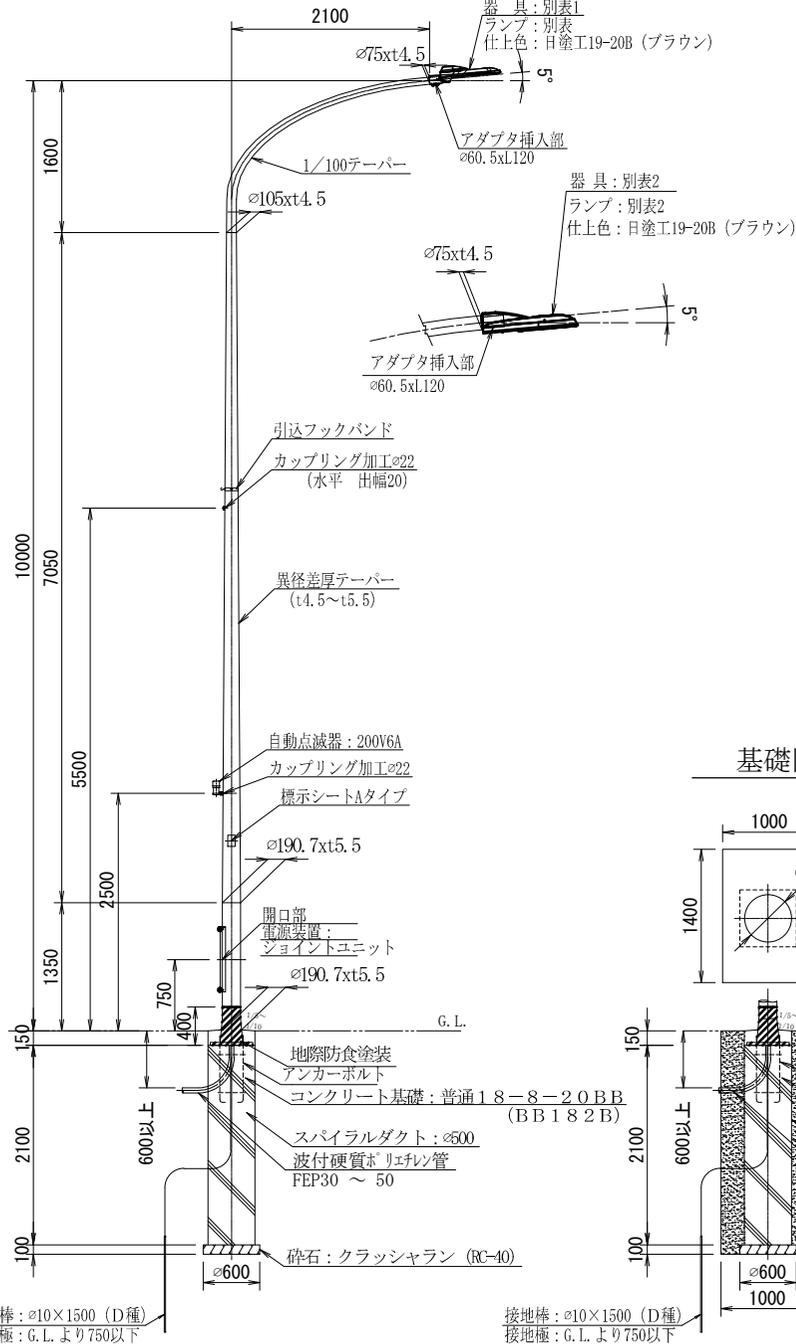
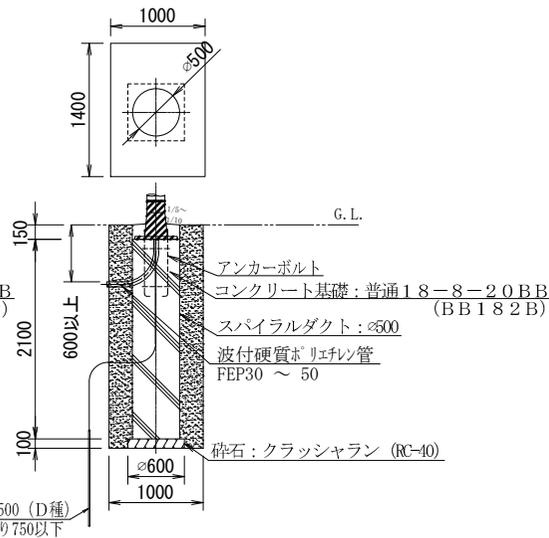
ベース部詳細図



アンカーボルト詳細図



基礎図



工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	大 型	アーム型 独立柱 ベースプレート式		2019

別表 1

器具	ランプ光束
KCE070	HF300W相当LED 8,100 lm 以上

別表 2

器具	ランプ光束
KCE050	HF250W相当LED 6,300 lm 以上
KCE070	HF300W相当LED 8,400 lm 以上

※適合アーム径：φ34.0、φ48.6、φ60.5兼用

ネジ部：溶融亜鉛メッキ (HDZ35) 仕上げ

注記

- ポール仕上：溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護被覆仕上げ。
- 仕上色：ブラウン 日塗工 19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。

材 料 表

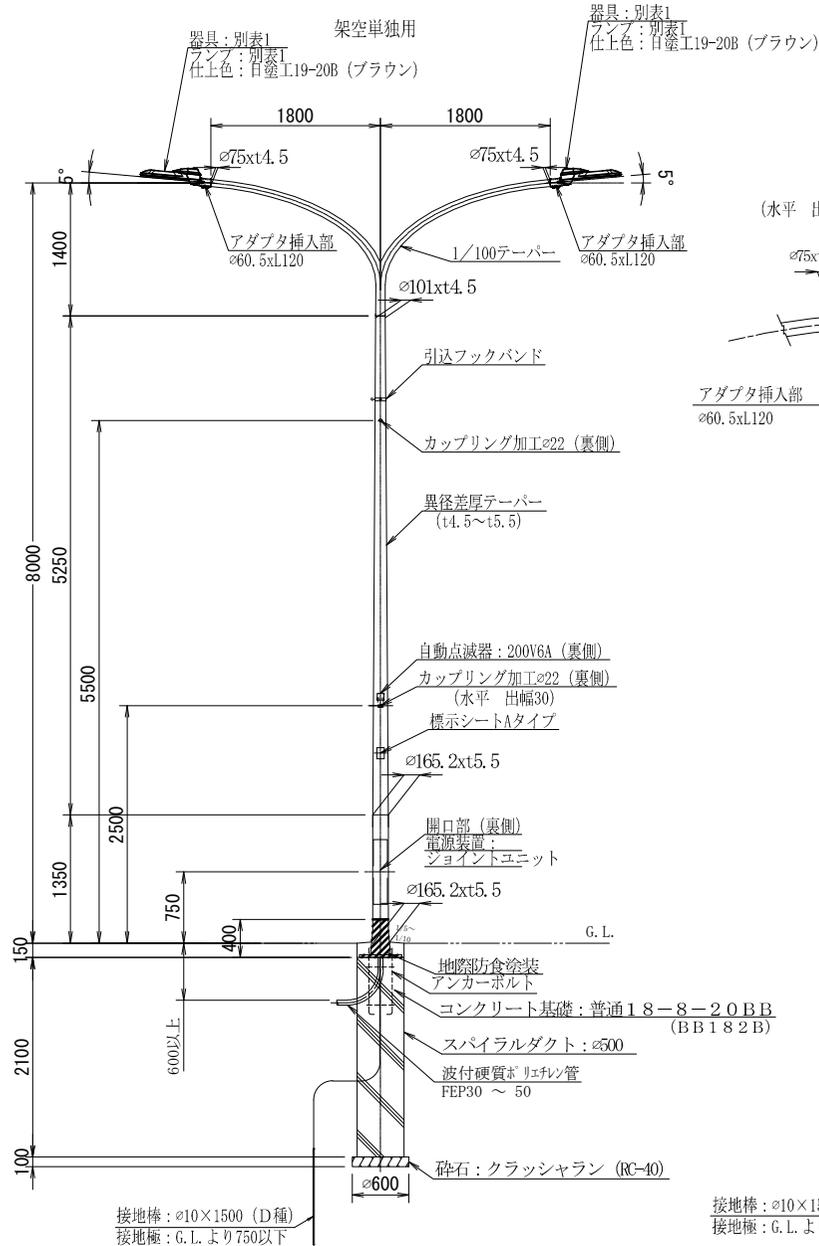
(1基当り)

品 名	形状寸法	数 量	単 位
器 具	別表による	1.0	灯
ポ ール	STK400	1.0	本
アンカーボルト	4-M24	1.0	本
自動点滅器	200V6A	1.0	個
ジョイントユニット		1.0	個
標示シート	Aタイプ	1.0	枚
引込金具		1.0	式
コンクリート	普通18-8-2.0BB (BB182B)	0.44	m ³
型 枠	スパイラルダクトφ500	2.25	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接 地 棒	φ10-1500mm	1.0	本

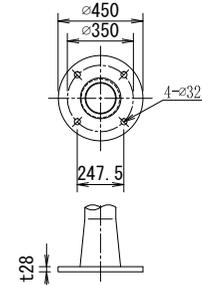
注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

大型道路照明設置工 (架空単独用)

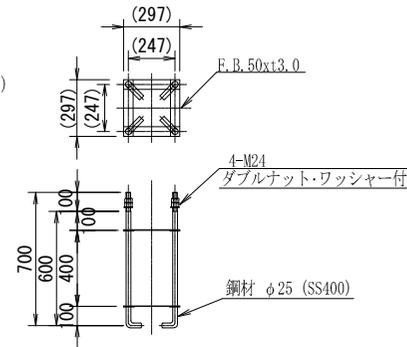
工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	大 型	アーム型 独立柱 ベースプレート式		2019



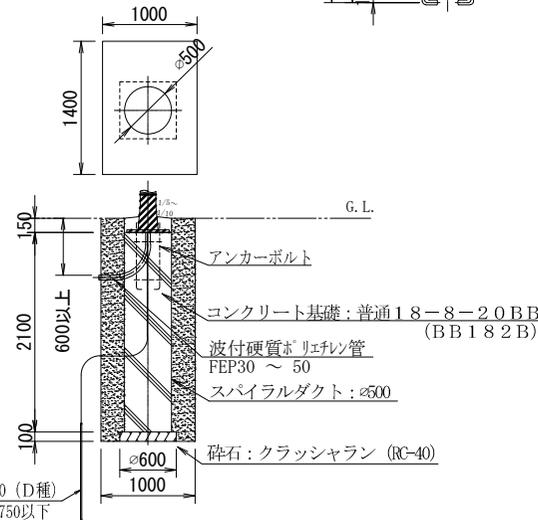
ベース部詳細図



アンカーボルト詳細図



基礎図



別表 1

	器具	ランプ光束
KCE070	HF300W相当LED	8,100 lm 以上

別表 2

	器具	ランプ光束
都タイプ 10Lx	HF200W相当LED	3,880 lm 以上
KCE050	HF250W相当LED	6,300 lm 以上
KCE070	HF300W相当LED	8,400 lm 以上

※適合アーム径： $\phi 34.0$ 、 $\phi 48.6$ 、 $\phi 60.5$ 兼用

ネジ部：溶融亜鉛メッキ (HDZ35) 仕上げ

材 料 表

(1基当り)

品 名	形状寸法	数 量	単 位
器 具	別表	2.0	灯
ポ ー ル	STK400	1.0	本
アンカーボルト	4-M24	1.0	本
自動点滅器	200V6A	1.0	個
ジョイントユニット		1.0	個
標示シート	Aタイプ	1.0	枚
引込金具		1.0	式
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.44	m ³
型 枠	スパイラルダクト $\phi 500$	2.25	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接 地 棒	$\phi 10-1500$ mm	1.0	本

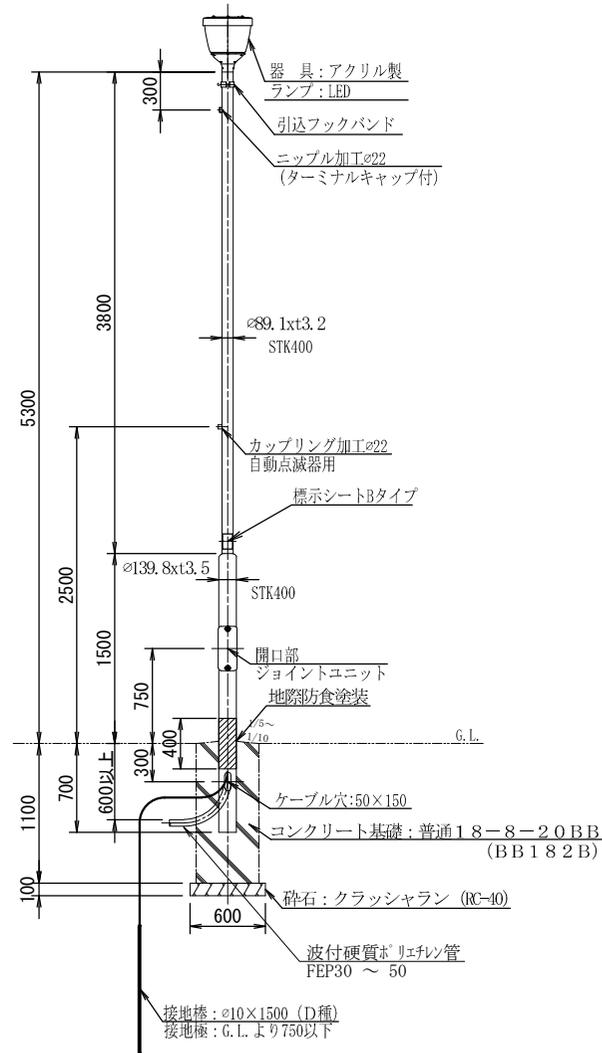
注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

注記

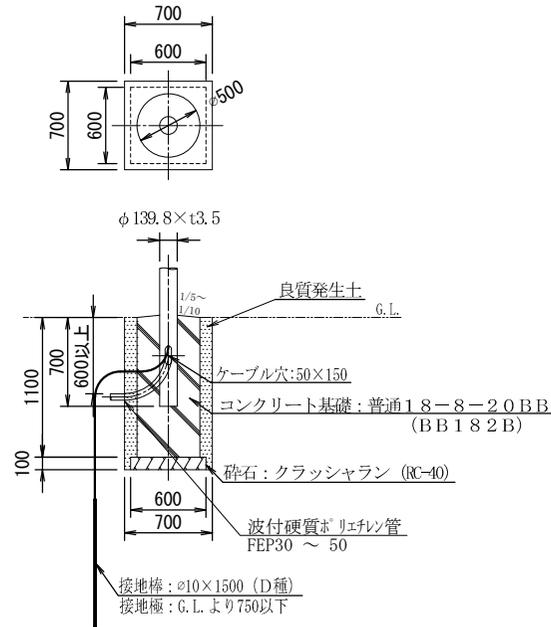
- ポール仕上：溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護被覆仕上げ。
- 仕上色：ブラウン 日塗工 I19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。

デザイン灯柱設置工 (単独用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	デザイン	独立柱埋込式		2019



基礎図



照明器具

LEDクラス	明るさ表記
LED 30W クラス	水銀灯100W相当
LED 60W クラス	水銀灯250W相当
LED 120W クラス	水銀灯400W相当

注記

1. ホール仕上: 溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護皮膜仕上。
2. 仕上色: ブラウン 目録上 19-20B (マンセル L0V2/1) とする。
3. 器具の選定にあたっては町田市担当者との協議の上、決定すること。

材 料 表

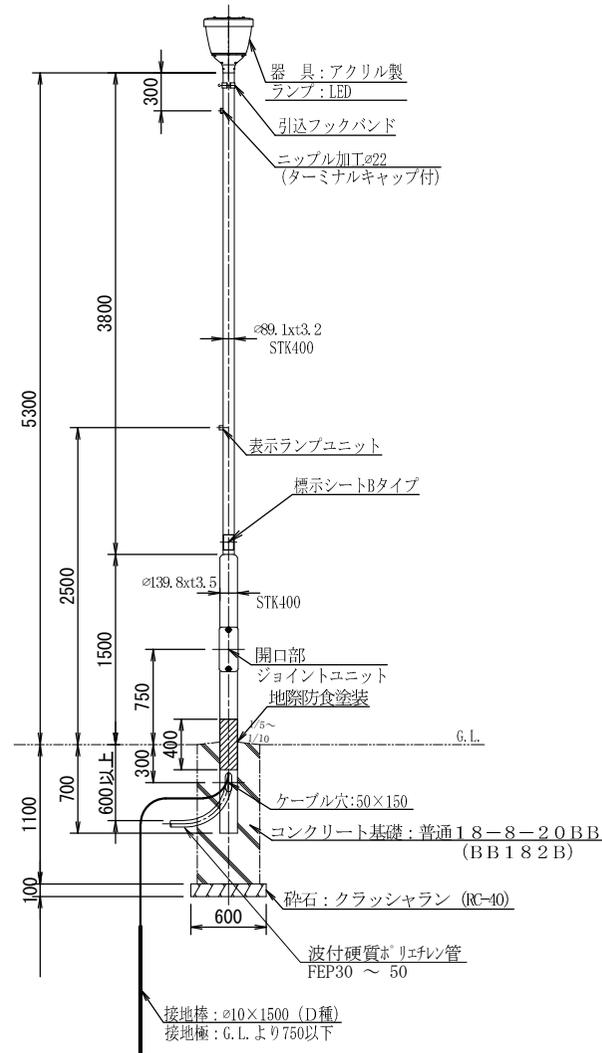
(1基当り)

品 名	形状寸法	数 量	単 位
器 具		1.0	灯
ポ ール	STK400	1.0	本
自動点滅器	200V6A	1.0	個
ジョイントユニット		1.0	個
引込金具		1.0	式
標示シート	Bタイプ	1.0	枚
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.22	m ³
型 枠	スパイラルダクトφ500	1.1	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接 地 棒	φ10-1500mm	1.0	本

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

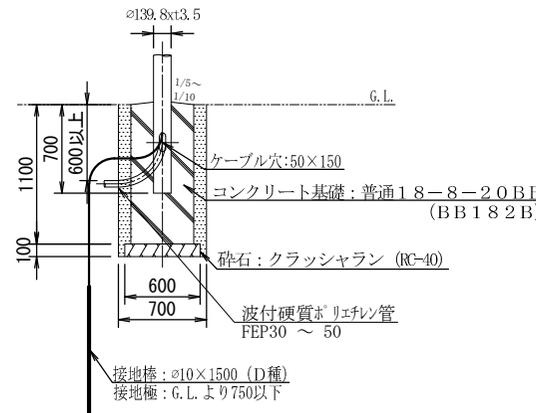
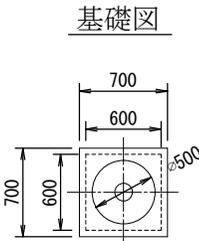
デザイン灯柱設置工 (単独用) バッテリー内蔵型

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	デザイン	独立柱埋込式		2019



照明器具

LEDクラス	明るさ表記
LED 30W クラス	水銀灯100W相当
LED 60W クラス	水銀灯250W相当
LED 120W クラス	水銀灯400W相当



ポール内部参考図



材 料 表

(1基当り)

品 名	形状寸法	数 量	単 位
器 具		1.0	灯
ポ ー ル	STK400	1.0	本
表示ランプユニット		1.0	個
ジョイントユニット		1.0	個
引込金具		1.0	式
標示シート	Bタイプ	1.0	枚
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.22	m ³
型 枠	スパイラルダクトφ500	1.1	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接 地 棒	φ10-1500mm	1.0	本

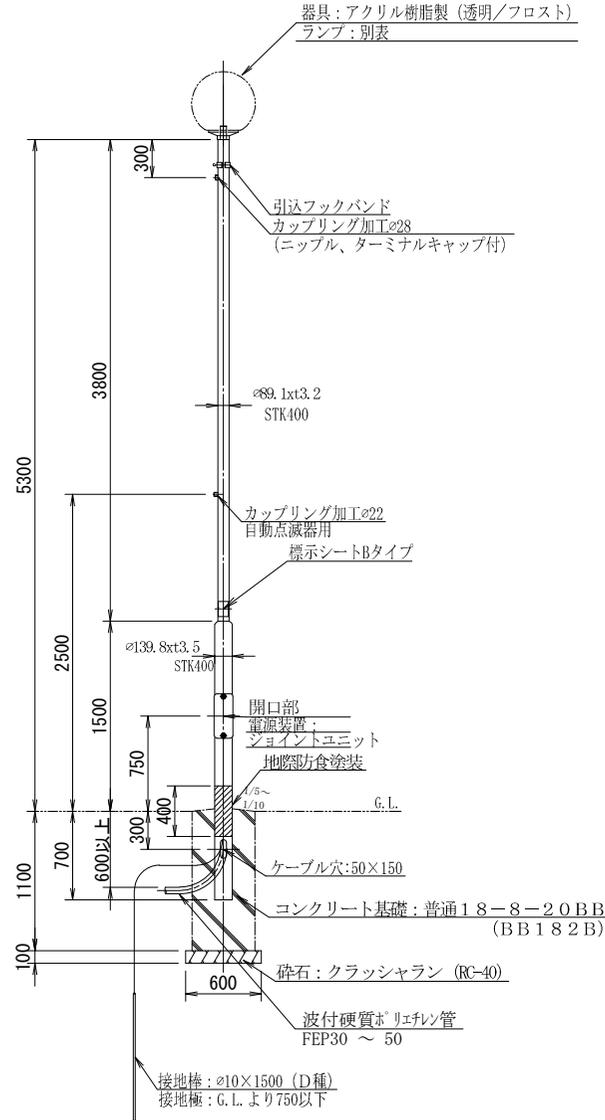
注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

注記

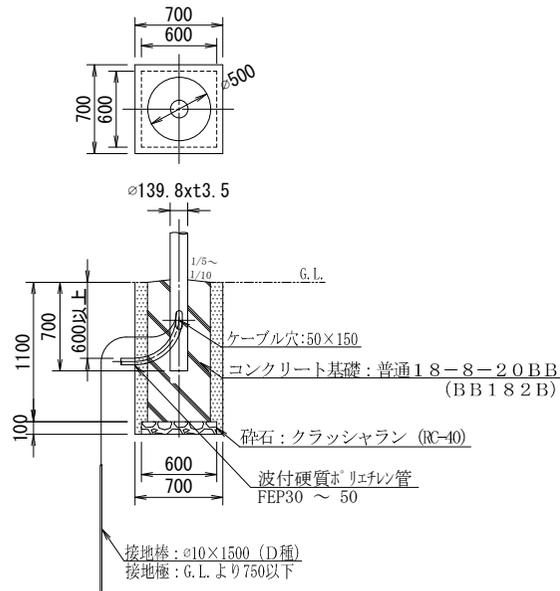
1. ポール仕上: 溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護皮膜仕上。
2. 仕上色: フラウン H塗工 19-20B (マンゼル 10VR2/1) とする。
3. 器具の選定にあたっては町田市担当者との協議の上、決定すること。

デザイン灯柱設置工 (単独用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	デザイン	独立柱埋込式		2019



基礎図



別表

ランプクラス	明るさ表記
LED29Wクラス	水銀灯100W相当
LED56Wクラス	水銀灯200W相当
LED70Wクラス	水銀灯250W相当
LED103Wクラス	水銀灯300W相当

注記

- ポール仕上: 溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護膜仕上。
- 仕上色: ブラウン 目録工 19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。

材 料 表

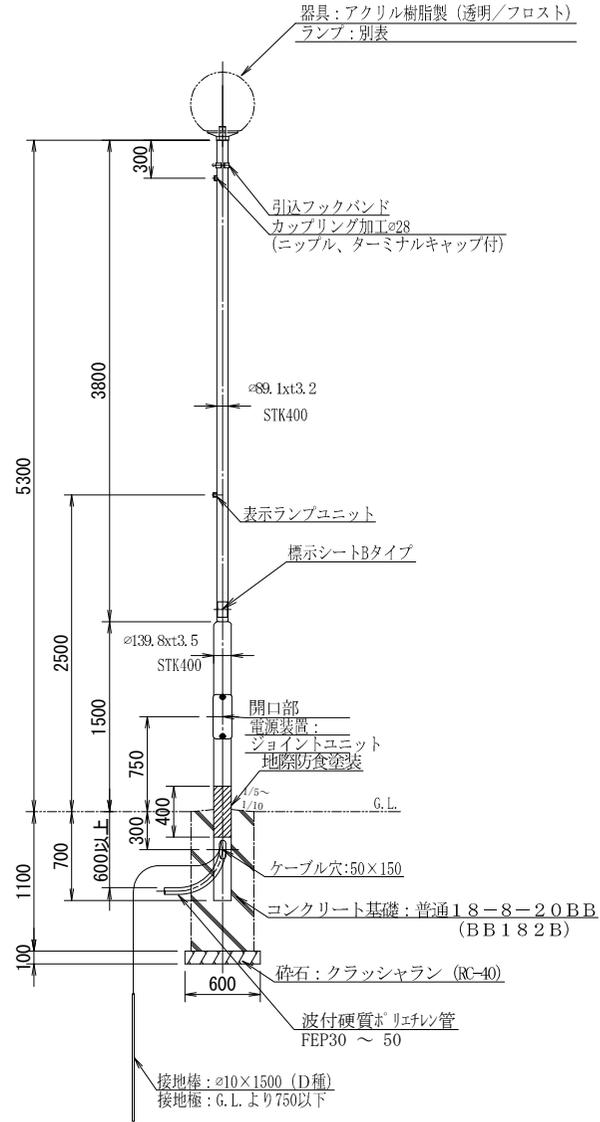
(1基当り)

品 名	形状寸法	数 量	単 位
器 具		1.0	灯
ポ ー ル	STK400	1.0	本
自動点滅器	200V6A	1.0	個
ジョイントユニット		1.0	個
標示シート	Bタイプ	1.0	枚
引込金具		1.0	式
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.22	m ³
型 枠	スパイラルダクトφ500	1.1	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接 地 棒	φ10-1500mm	1.0	本

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

デザイン灯柱設置工 (単独用) バッテリー内蔵型

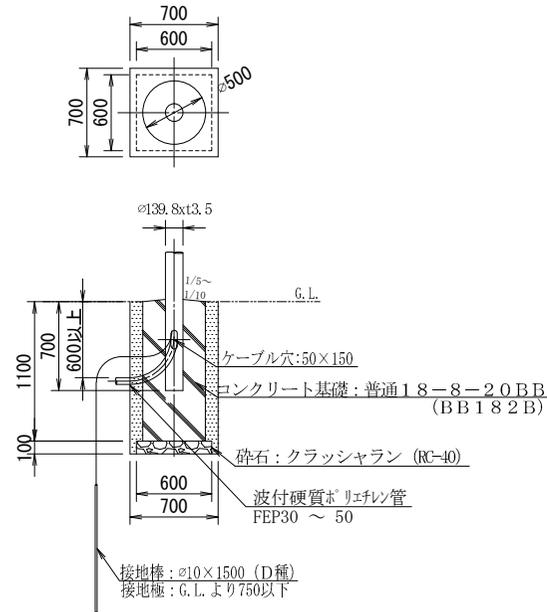
工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	デザイン	独立柱埋込式		2019



別表

ランプクラス	明るさ表記
LED29Wクラス	水銀灯100W相当
LED56Wクラス	水銀灯200W相当
LED70Wクラス	水銀灯250W相当
LED103Wクラス	水銀灯300W相当

基礎図



ポール内部参考図



材 料 表 (1基当り)

品 名	形状寸法	数 量	単 位
器 具		1.0	灯
ポ ー ル	STK400	1.0	本
表示ランプユニット		1.0	個
ジョイントユニット		1.0	個
標示シート	Bタイプ	1.0	枚
引込金具		1.0	式
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.22	m ³
型 枠	スパイラルダクトφ500	1.1	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接 地 棒	φ10-1500mm	1.0	本

注) 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

- 注記
1. ポール仕上: 溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護皮膜仕上。
 2. 仕上色 : ブラウン 目録工 19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。
 3. 器具の選定にあたっては、町田市担当者との協議の上、決定すること。

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	デザイン	独立柱埋込式		2019

デザイン柱設置工 (連接用)

デザイン柱設置工 (単独用)

別表

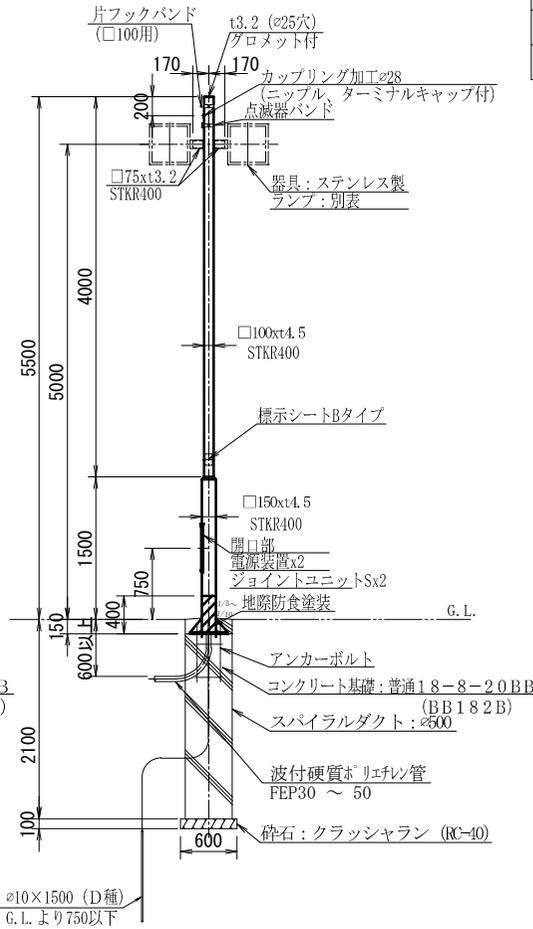
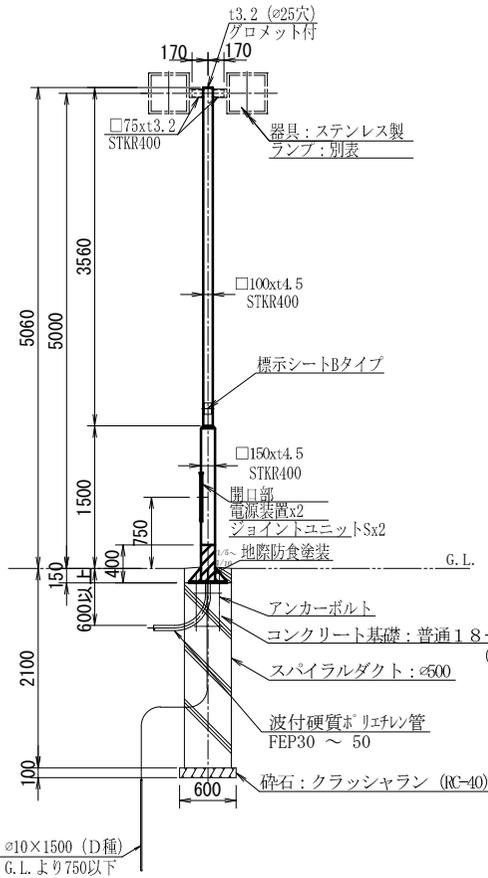
ランプクラス	明るさ表記
LED29Wクラス	水銀灯100W相当
LED56Wクラス	水銀灯200W相当
LED70Wクラス	水銀灯250W相当
LED103Wクラス	水銀灯300W相当

材料表

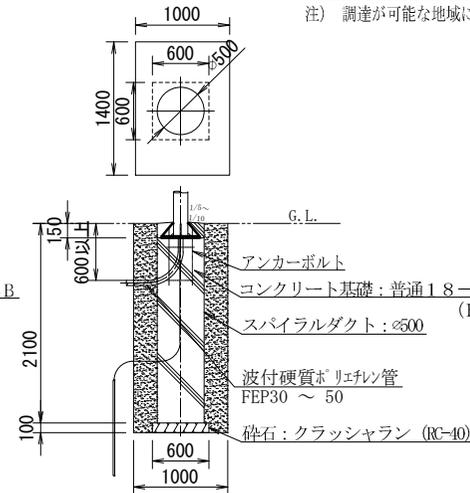
(1基当り)

品名	形状寸法	数量	単位
器具	別表による	1.0	灯
ボール	STK400	1.0	本
アンカーボルト	4-M24	1.0	本
自動点滅器	200V6A	1.0	個
ジョイントユニット		1.0	個
標示シート	Bタイプ	1.0	枚
引込金具		1.0	式
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.41	m ³
型枠	スパイラルダクトφ500	2.10	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接地棒	φ10-1500mm	1.0	本

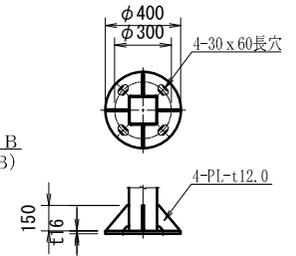
注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。



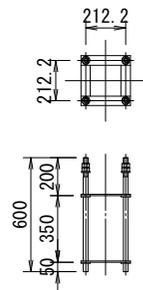
基礎図



ベース部詳細図



アンカーボルト詳細図



注記

1. 表面処理: 熔融亜鉛メッキ (HDZ-55) 後、指定色塗装を施す。
2. 指定色: ブラウン 日塗工 19-20B (色相 10YR2/1) とする。
3. ベースからGL上200mmまでは、地際防食塗装を施すものとし、特殊変性エポキシ系塗料 (耐マクロセル腐食・耐アンモニア腐食・耐塩腐食型) を塗布するものとする。
使用塗料は環境負荷物 (Pd, Cb, Cn, タール) を含まず、揮発性有機溶剤の発生を低減したものとする。
4. 指定色を施す際は、防食セラミック入りアクリルシリコン保護皮膜とする。

ネジ部: 熔融亜鉛メッキ (HDZ35) 仕上げ

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	デザイン	独立柱埋込式		2019

ポール内部参考図



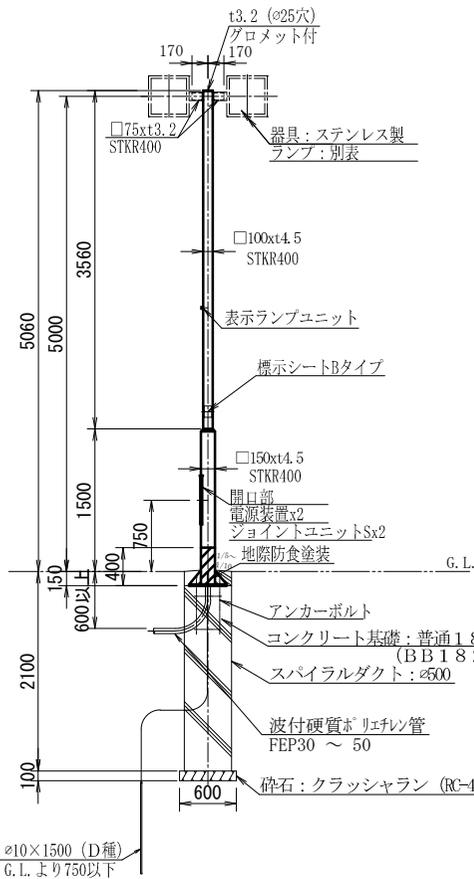
材 料 表

(1基当り)

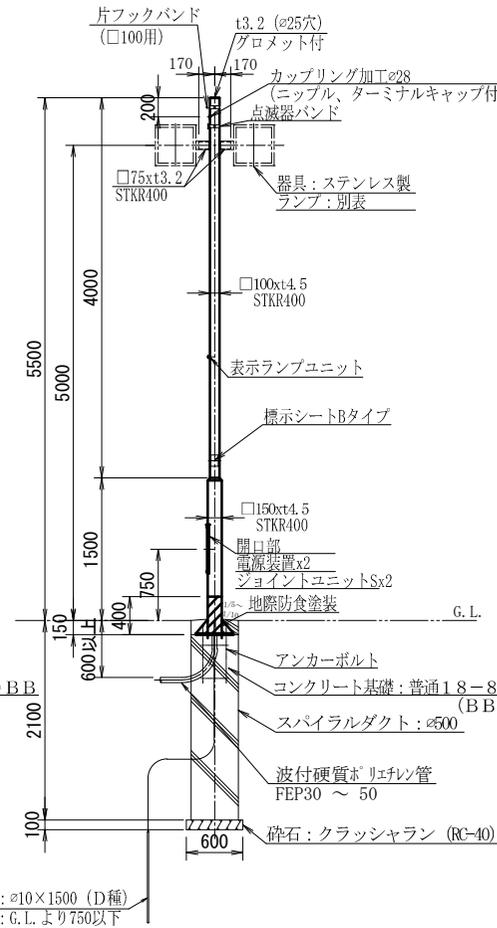
品 名	形状寸法	数 量	単 位
器 具	別表による	1.0	灯
ポ ー ル	STK400	1.0	本
アンカーボルト	4-M24	1.0	本
表示ランプユニット		1.0	個
ジョイントユニット		1.0	個
標示シート	Bタイプ	1.0	枚
引込金具		1.0	式
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.41	m ³
型 枠	スパイラルダクトφ500	2.10	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接 地 棒	φ10-1500mm	1.0	本

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

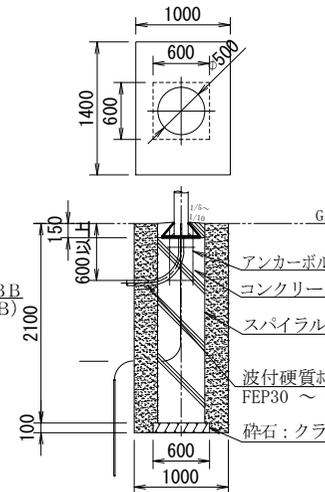
デザイン柱設置工(バッテリー内蔵型)
(連接用)



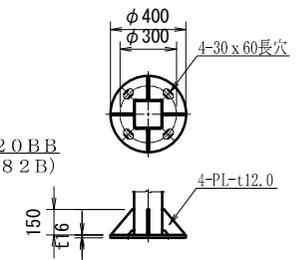
デザイン柱設置工(バッテリー内蔵型)
(単独用)



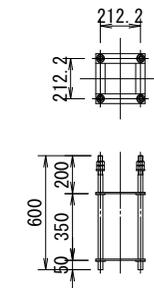
基礎図



ベース部詳細図



アンカーボルト詳細図



別 表

ランプクラス	明るさ表記
LED29Wクラス	水銀灯100W相当
LED56Wクラス	水銀灯200W相当
LED70Wクラス	水銀灯250W相当
LED103Wクラス	水銀灯300W相当

注記

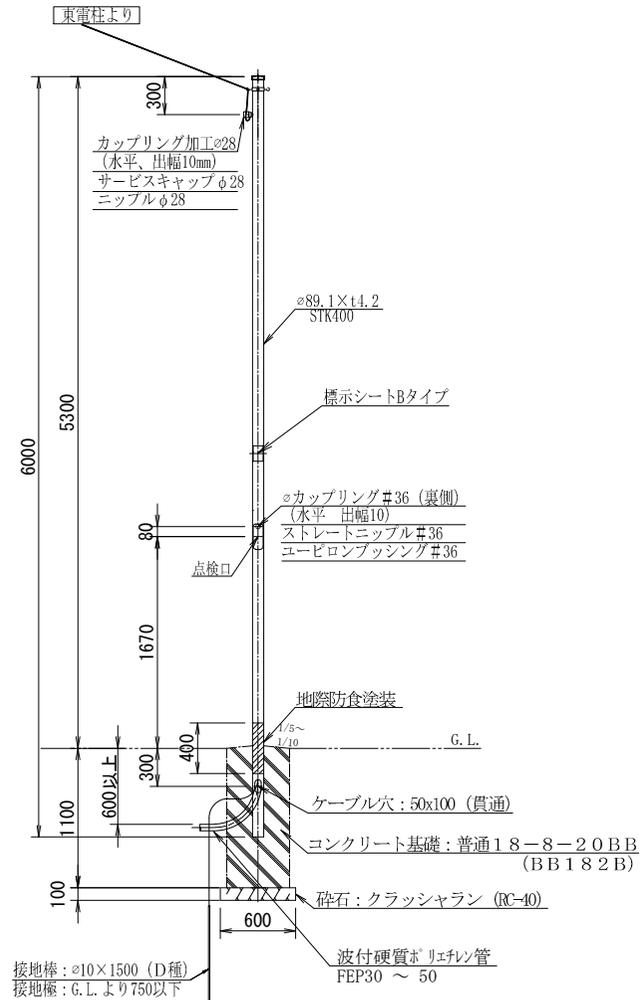
1. 表面処理: 熔融亜鉛メッキ (HDZ-55) 後、指定色塗装を施す。
2. 指定色: ブラウン 目塗り 19-20B (マゼル 10YR2/1) とする。
3. ベースからGL上200mmまでは、地際防食塗装を施すものとし、特殊変性エポキシ系塗装 (耐マクロセル腐食・耐アンモニア腐食・耐塩腐食型) を塗布するものとする。
使用塗料は環境負荷物 (Pd, Cb, Cn, タール) を含まず、揮発性有機溶剤の発生を低減したものとす。
4. 指定色を施す際は、防食セラミック入りアクリルシリコン保護皮膜とする。
5. 器具の選定にあたっては、町田市担当者と協議の上、決定すること。

ネジ部: 熔融亜鉛メッキ (HDZ35) 仕上げ

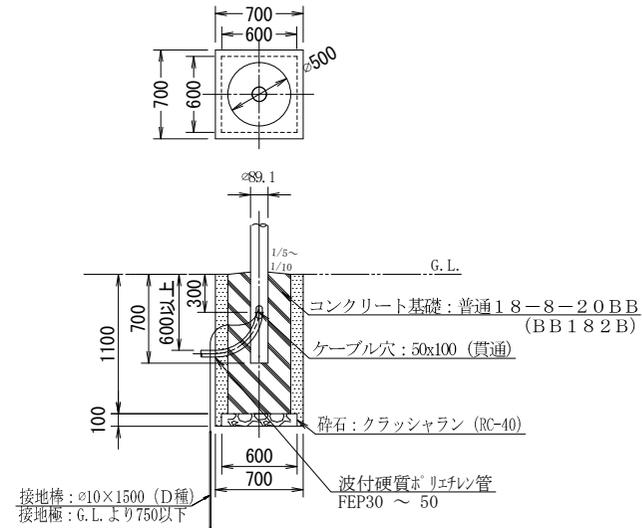
引込柱設置工

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	引込柱			2019

ストレートポール (3インチ)



基礎工



材 料 表

(1基当り)

品 名	形状寸法	数 量	単 位
ポ ール	STK400	1.0	本
標示シート	Bタイプ	1.0	枚
引込金具		1.0	式
サービスキャップ		1.0	個
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.22	m ³
型 枠	スパイラルダクトφ500	1.1	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接 地 棒	φ10-1500mm	1.0	本

注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

注記1.

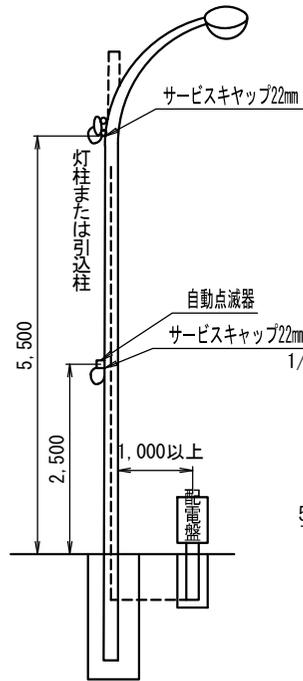
1. ポール仕上: 溶融亜鉛メッキ後、防食セラミック入りアクリルシリコン保護被覆仕上げ。

2. 仕上色: ブラウン 日塗工 19-20B (マンセル 10YR2/1) とする。

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	光电式点滅器付自立式1回路用配電盤			2019

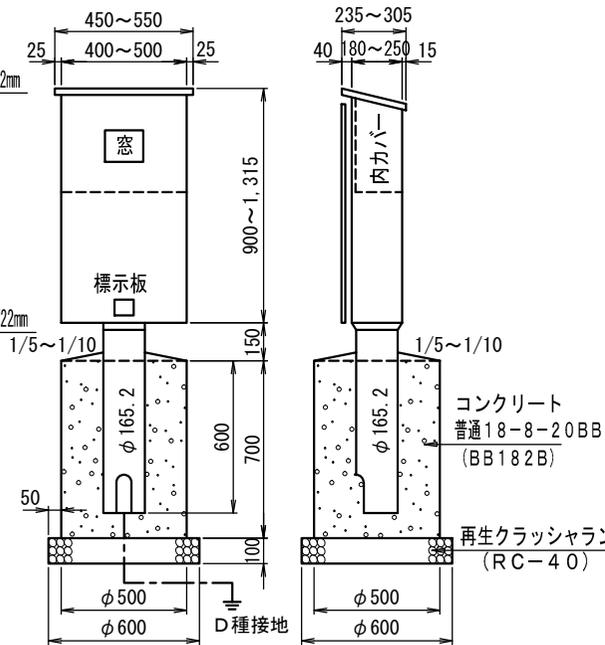
架空引込標準図

S=1/100



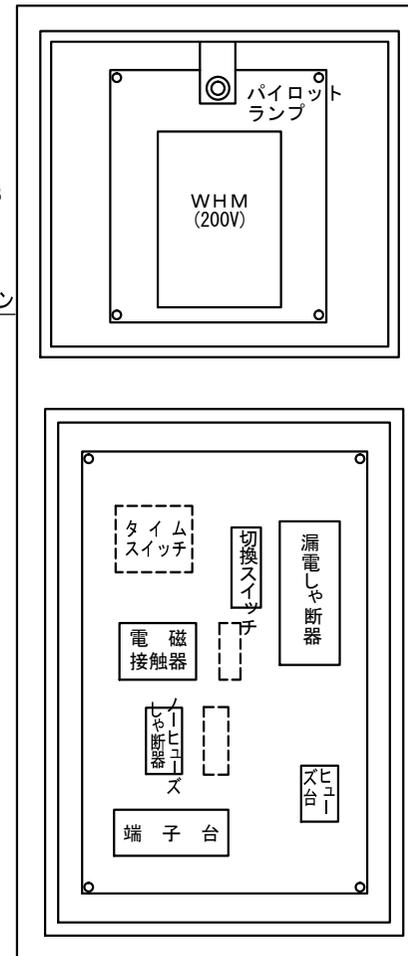
配電盤姿図

S=1/30

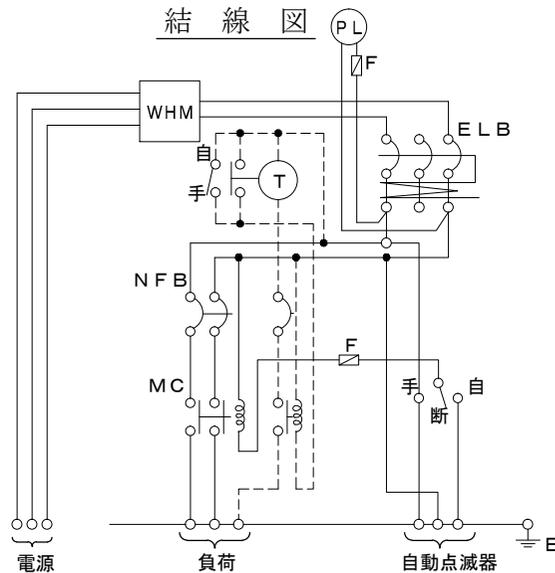


光电式点滅器付自立式1回路用配電盤

盤内配置図



結線図



(注) 破線の表示は減光用

材料表

1.0基当り

品名	形状寸法	数量	単位
配電線		1.0	面
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.12	m ³
型枠	スパイラルダクトφ500	0.7	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接地棒	φ10-1500mm	1.0	本

(注) 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

1. 配電盤は配電盤専門メーカーの製作したもので製作所の銘板を扉の内側にはりつけること。
2. 函の板厚は2.0mm以上とする。
3. 函は脚部にボルトにとりつけるものとする。
4. 扉は1枚扉とし、または透明アクリル樹脂 (3mm以上) 又は透明ガラス (ワイヤープレート6mm以上) とシカギはA-372・F-3を使用する。
5. メーター部には封印用の内カバーをつけること。
6. 塗装は錆止めを施したうえ、灯柱と同色に焼付仕上げとする。
7. 扉の蝶番は扉の内側にかくれるようにする。
8. 配電盤の中に結線図および現場の配線経路図を入れること。

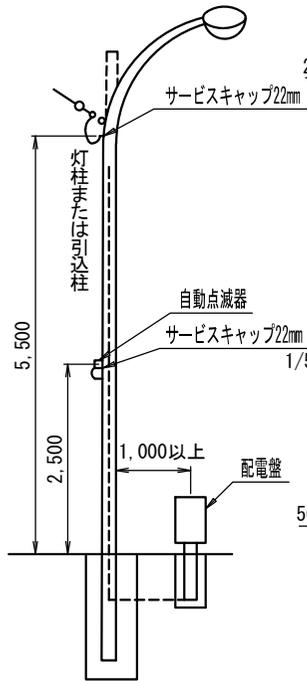
(注) 漏電しゃ断器がノーヒューズブレーカーを兼用する構造のものはノーヒューズブレーカーを省くことができる。

光電式点滅器付自立式2回路用配電盤

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	光電式点滅器付自立式2回路用配電盤			2019

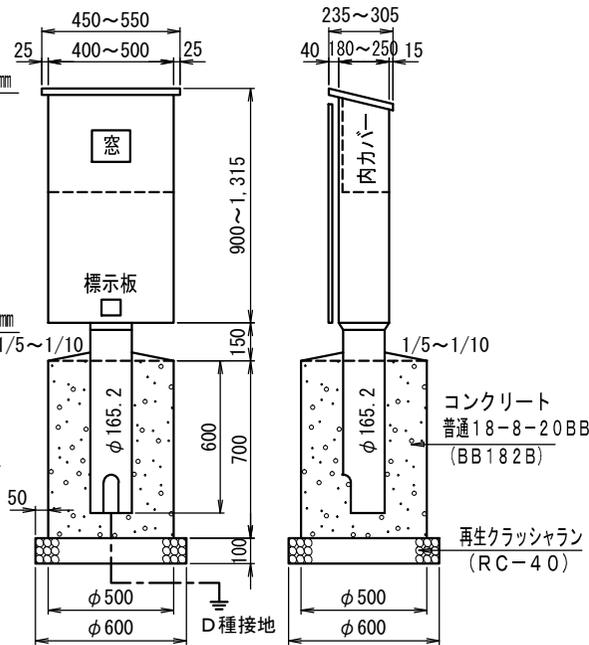
架空引込標準図

S=1/100

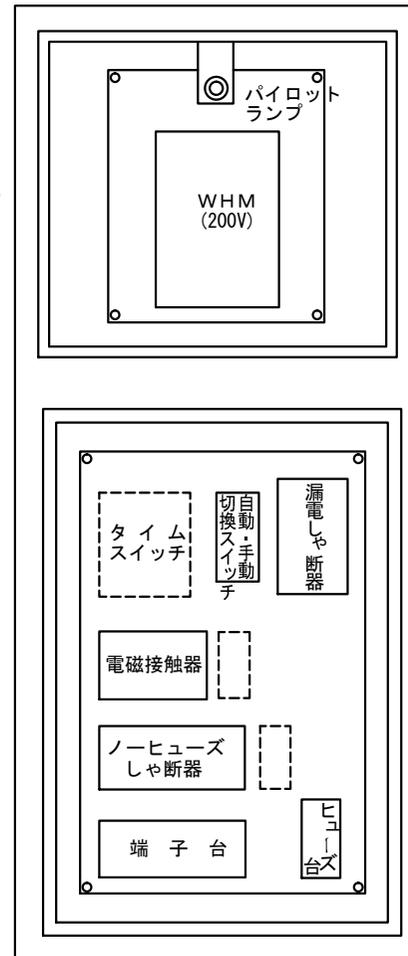


配電盤姿図

S=1/30



盤内配置図



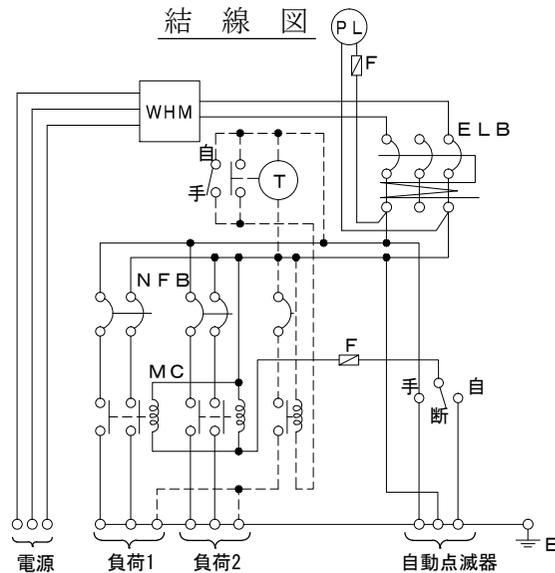
材 料 表

1.0基当り

品 名	形状寸法	数 量	単 位
配 電 盤		1.0	面
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.12	m ³
型 枠	スパイラルダクトφ500	0.7	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接 地 棒	φ10-1500mm	1.0	本

(注) 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

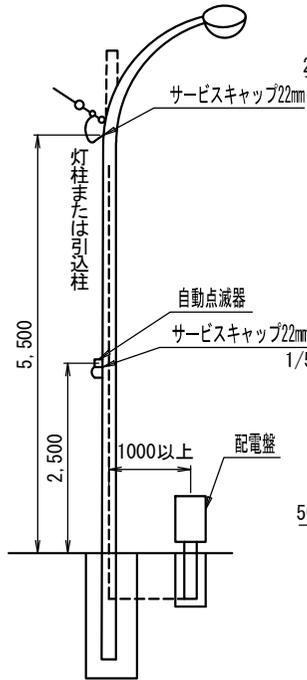
結 線 図



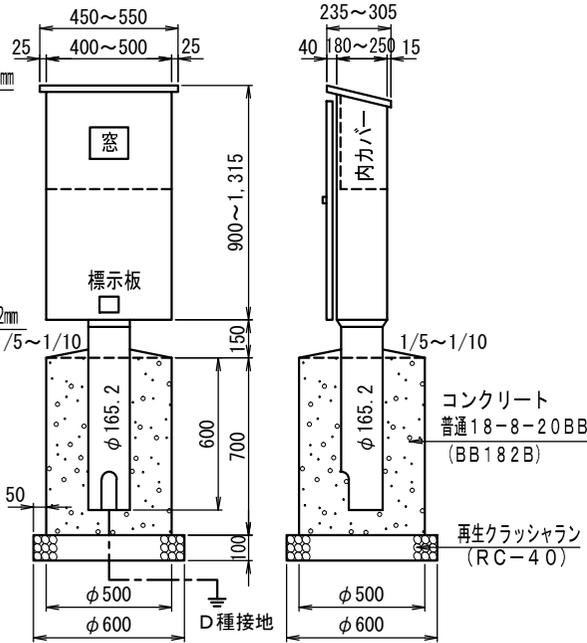
(注) 破線の表示は減光用

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	光電制御装置付2回路用配電盤			2019

架空引込標準図
S=1/100

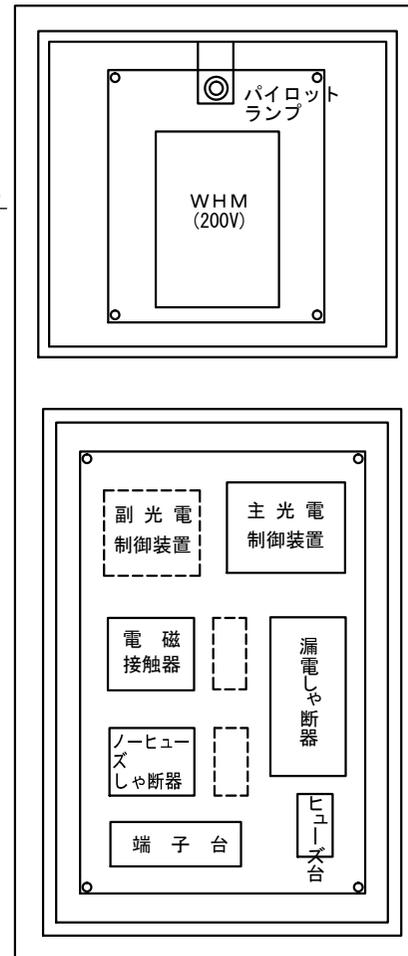


配電盤姿図
S=1/30



光電制御装置付2回路用配電盤

盤内配置図



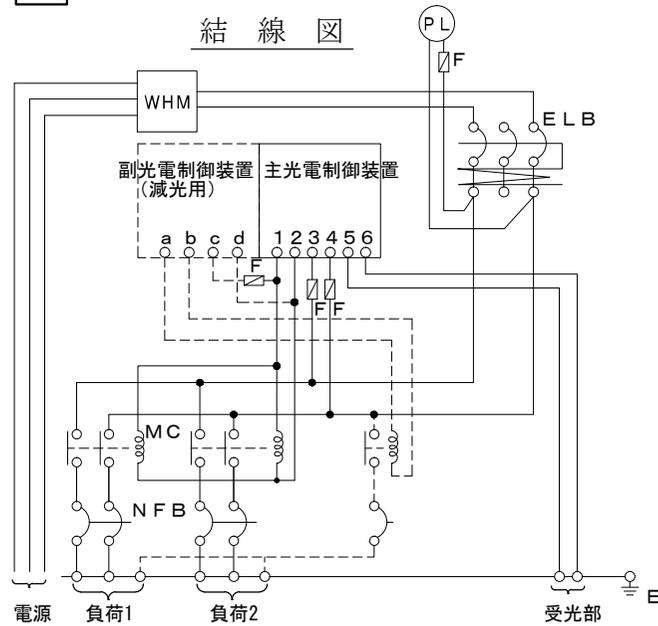
材料表

1.0基当り

品名	形状寸法	数量	単位
配電盤		1.0	面
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.12	m ³
型枠	スパイラルダクトφ500	0.7	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接地棒	φ10-1600mm	1.0	本

(注) 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

結線図

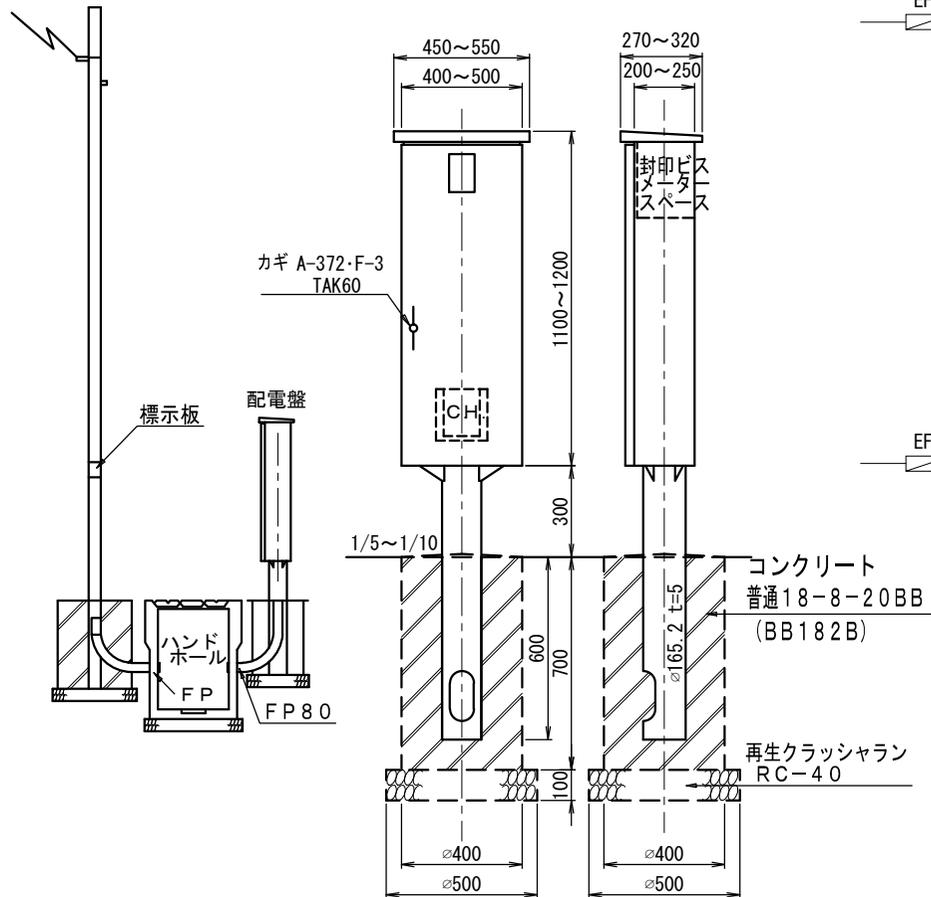


(注) 破線の表示は減光用

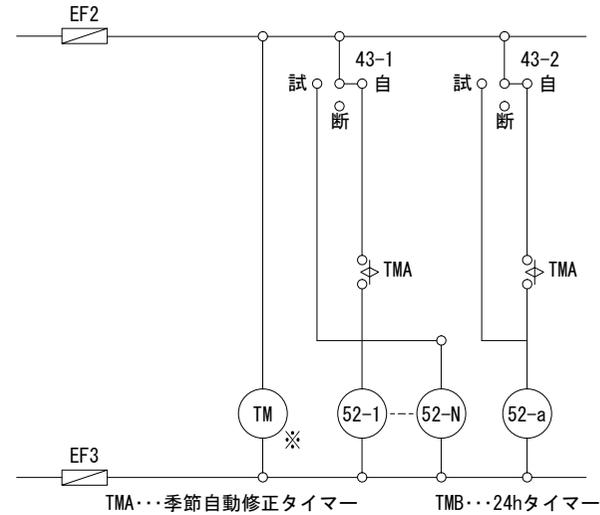
配電盤 (ポール式)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	配電盤	ポール式		2019

配電盤詳細図



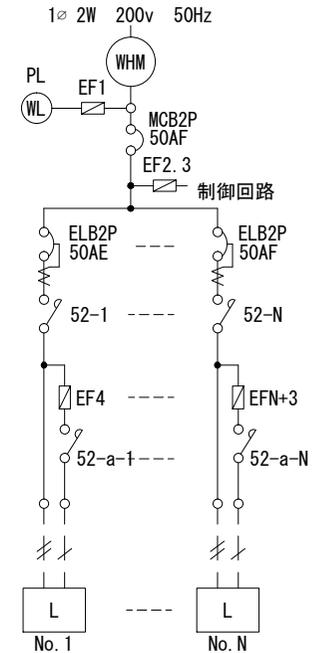
制御回路図



※TM

(M)	1	2	1	2
	3	3	3	
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12			
電源	TMA	TMB		

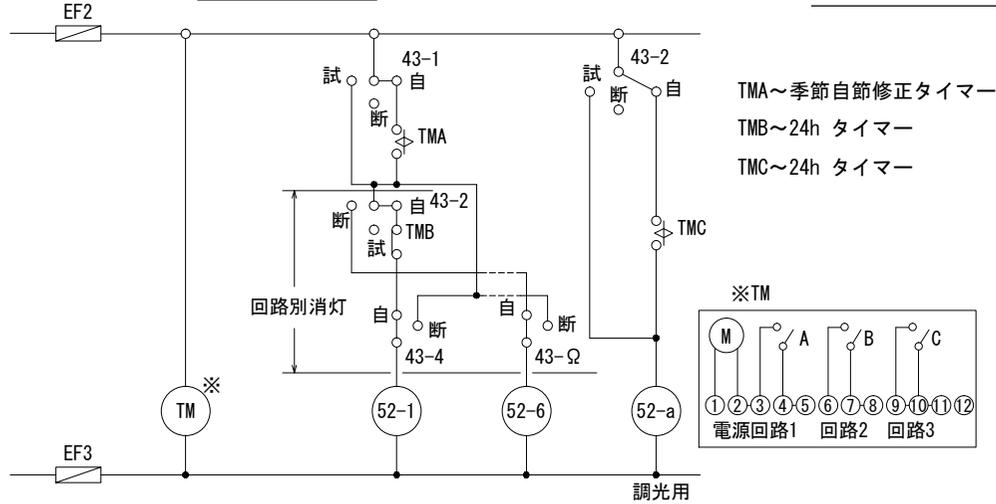
結線図



- (注) 1. 配電盤は配電盤専門メーカーの製作したもので製作所の銘板を扉の内側にはりつけること。
 2. 函の板厚は2.0mm以上とする。
 3. 函は脚部にゴムパッキン取付, ステンレスボルトで取付けるものとする。
 4. 扉は一枚扉とし, まどは透明アクリル樹脂板 (5mm以上) 又は透明ガラス (ワイヤープレート6mm以上) とし, カギはA-372・F-3を使用すること。
 5. メーター部には封印用の内カバーをつけること。
 6. 塗装は錆止めを施したうえ, 灯柱と同色に焼付仕上げすること。
 7. 扉の蝶番は扉の内側にかくれるようにする。
 8. MCB, ELBのATは各負荷により決定する。
 9. ELBは警報端子付とし, 盤内に赤ランプ及び出力端子を取付けるものとする。
 10. 調達可能な地域においては, 再生骨材コンクリートを活用する。

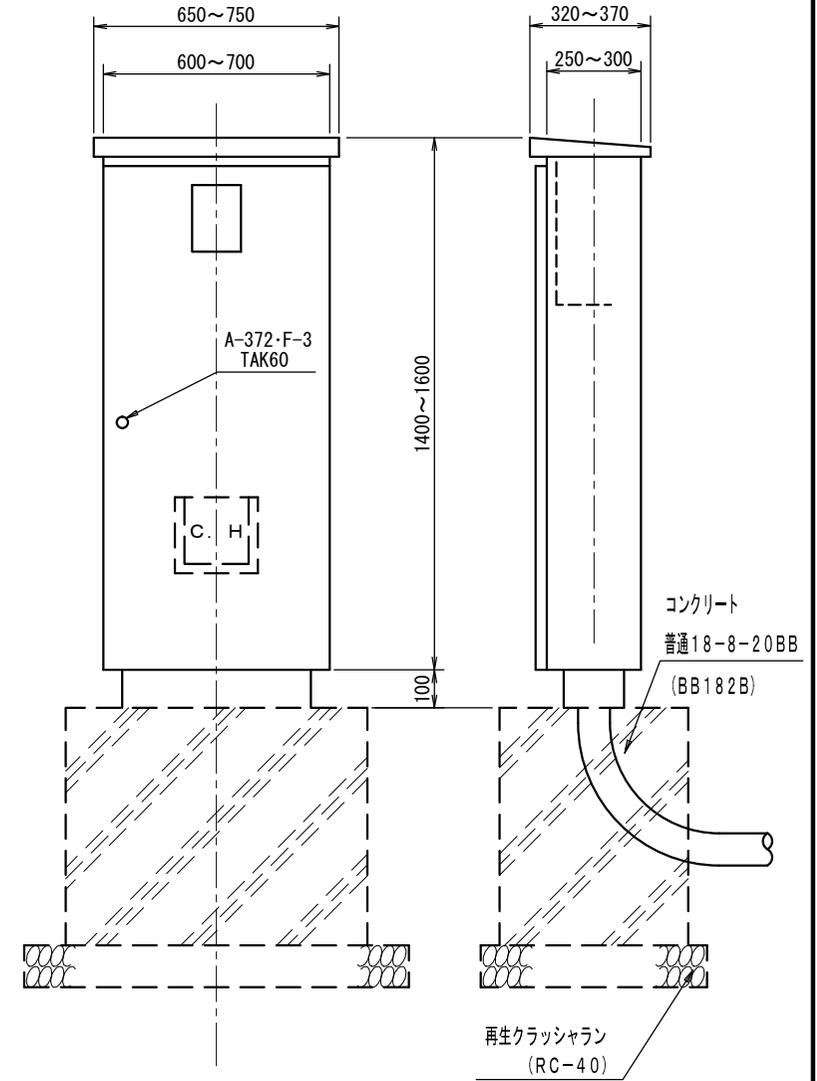
工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	配電盤	台座式		2019

配電盤制御回路図

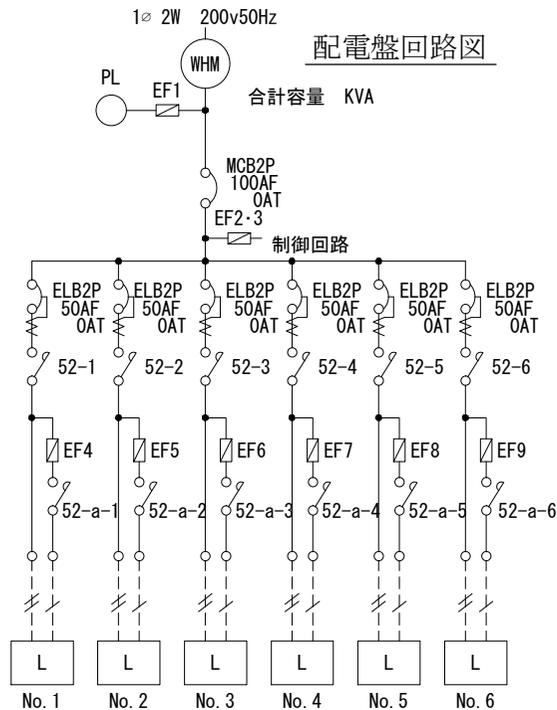


配電盤 (台座式)

配電盤姿図



配電盤回路図

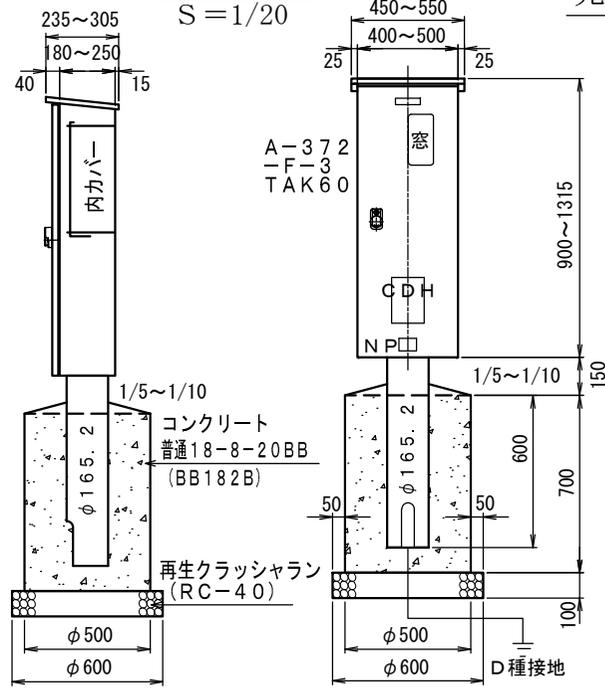


- (注) 1. 配電盤は配電盤専門メーカーの製作したもので製作所の銘板を扉の内側にはりつけること。
2. 扉の板厚は2.0mm以上とする。
3. 扉はアンカーボルトにて取付けるものとする。
4. 扉は一枚扉とし、または透明アクリル樹脂板 (5mm以上) 又は透明ガラス (ワイヤープレート6mm以上) とし、カギはA-372-F-3を使用すること。
5. メーター部には封印用の内カバーをつけること。
6. 塗装は錆止めを施したうえ、灯柱と同色に焼付仕上げすること。
7. 扉の蝶番は扉の内側にかくれるようにする。
8. MCB, ELBのATは各負担により決定する。
9. ELBは警報端子付とし、盤内に赤ランプ及び出力端子を取付けるものとする。
10. 消灯回路は必要なき場合省略する。
11. 調達が可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

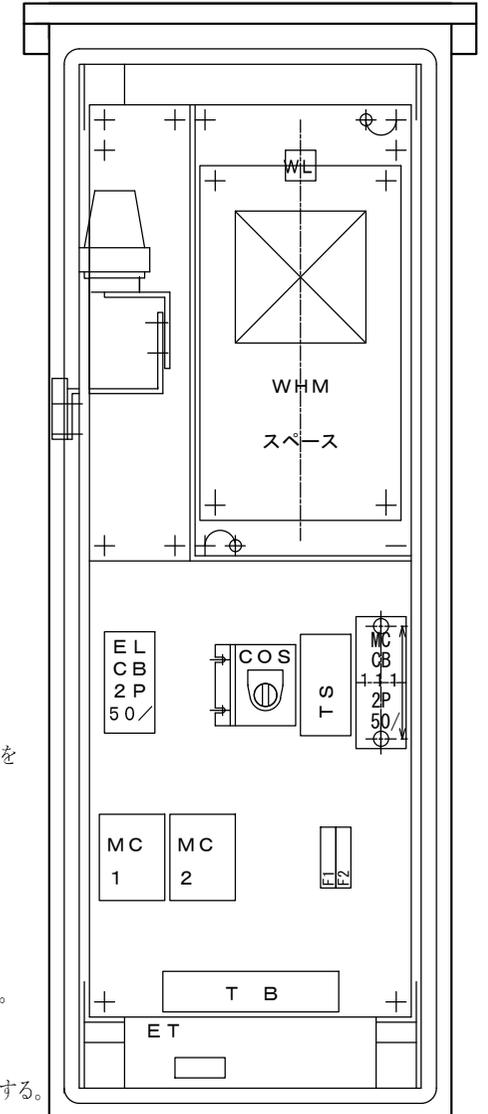
光電式点滅器付自立式2回路用分電盤 (一般)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街 築	光電式点滅器付自立式2回路用配電盤	一般		2019

配電盤姿図



盤内配置図

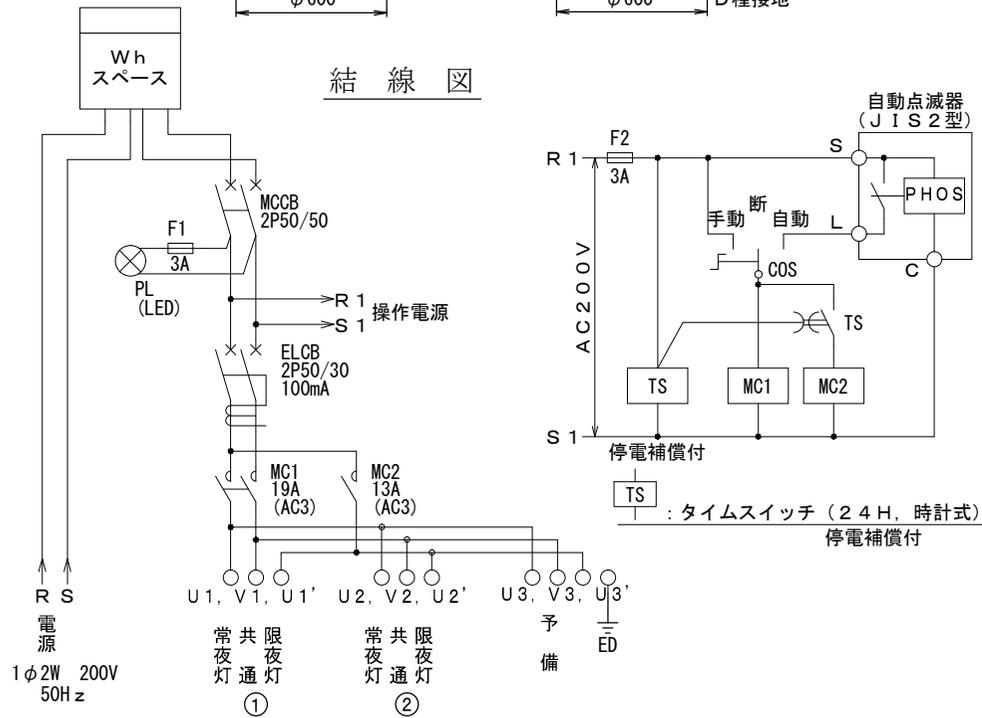


材 料 表

1.0基当り

品 名	形状寸法	数 量	単 位
配 電 盤		1.0	面
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.12	m ³
型 枠	スパイラルダクトφ500	0.7	m
再生クラッシュラン	RC-40	0.03	m ³
接 地 棒	φ10-1500mm	1.0	本

結 線 図



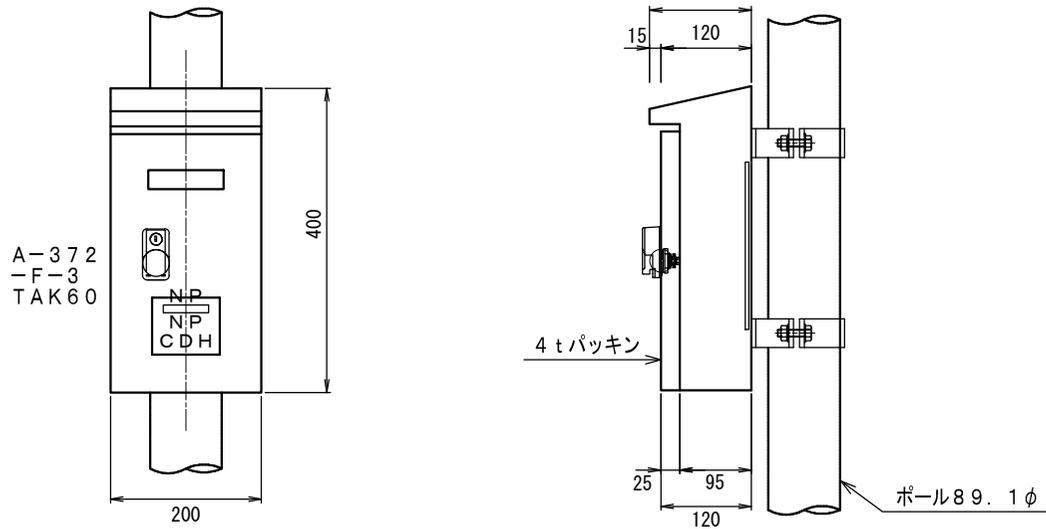
1. 配電盤は配電盤専用メーカーの製作したもので製作所の銘板を扉の内側に貼り付けること。
2. 函の板厚は2.0mm以上とする。
3. 函は脚部にボルトに取り付けるものとする。
4. 扉は1枚扉とし、窓は透明アクリル樹脂(3mm以上)又は透明ガラス(ワイヤープレート6mm以上)としカギはA-372-F-3を使用する。
5. メーター部には封印用の内カバーをつけること。
6. 塗装は錆止めを施したうえ、灯柱と同色に焼付仕上げとする。
7. 扉の蝶番は扉の内側に隠れるようにする。
8. 配電盤の中に結線図および現場の配線系統図を入れること。
9. 調達可能な地域においては、再生骨材コンクリートを活用する。

(注) 漏電遮断器がノーヒューズブレーカーを兼用する構造のものはノーヒューズブレーカーを省くことができる。

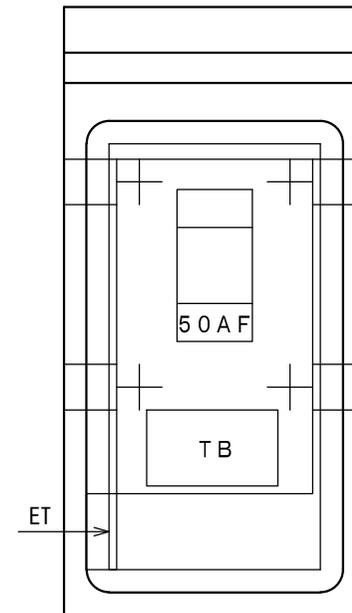
屋外灯用引込開閉器盤 (一般・ポール径φ89.1)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	屋外灯用 引込開閉器盤	共架形		2019

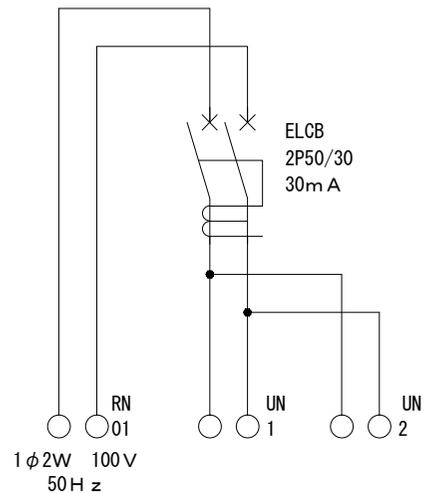
開閉器盤姿図
S=1/10



盤内配置図



結線図

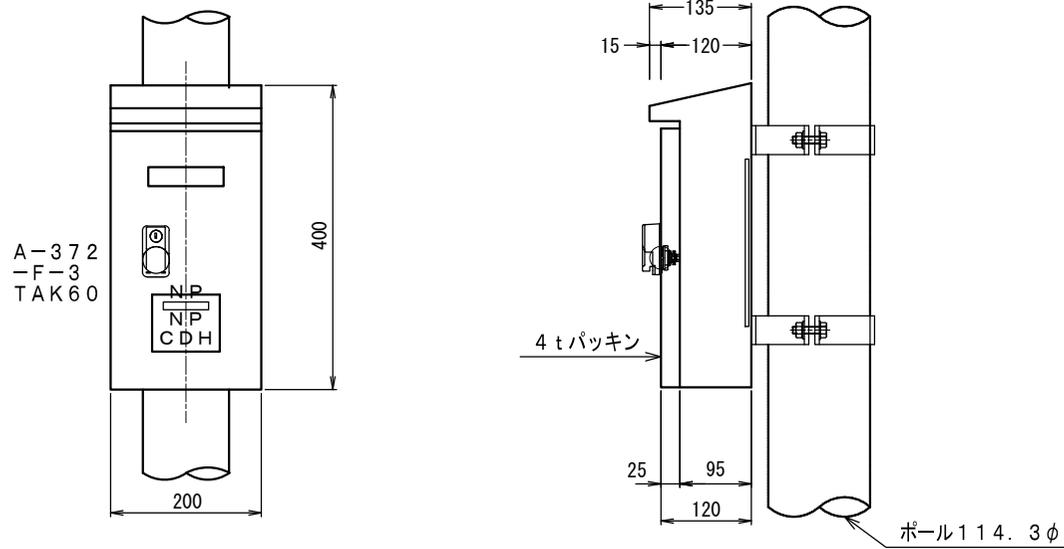


1. 配電盤は配電盤専用メーカーの製作したもので製作所の銘板を扉の内側に貼り付けること。
2. 函の板厚は2.0mm以上とする。
3. カギはA-732-F-3を使用する。
4. 塗装は錆止めを施したうえ、灯柱と同色に焼付仕上げとする。
5. 扉の蝶番は扉の内側に隠れるようにする。
6. 配電盤の中に結線図および現場の配線系統図を入れること。

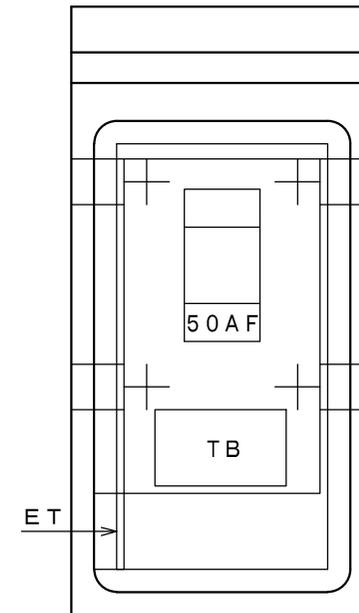
屋外灯用引込開閉器盤 (一般・ポール径φ114.3)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	屋外灯用 引込開閉器盤	共架形		2019

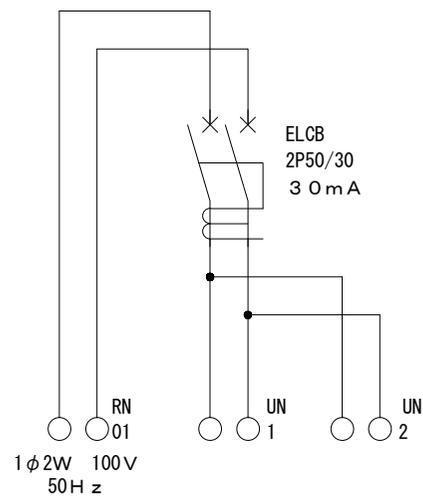
開閉器盤姿図
S=1/10



盤内配置図



結線図

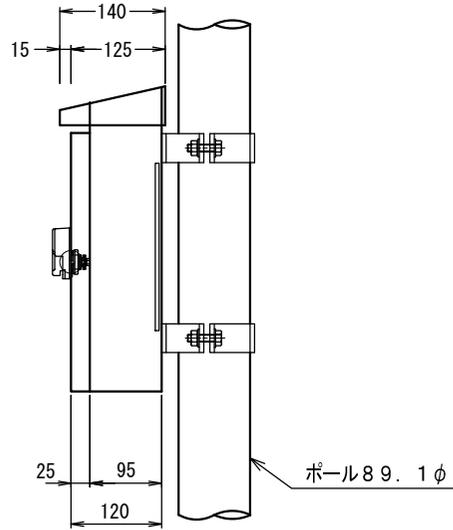
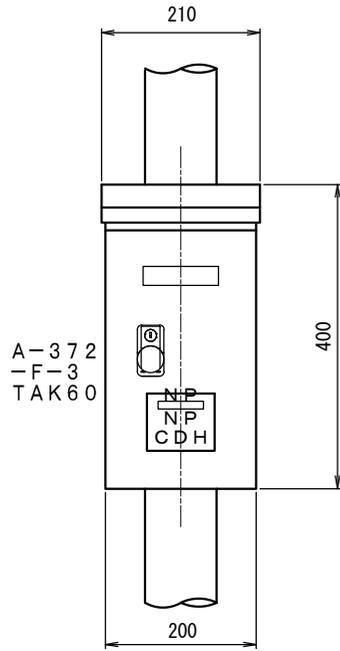


1. 配電盤は配電盤専用メーカーの製作したもので製作所の銘板を扉の内側に貼り付けること。
2. 函の板厚は2.0mm以上とする。
3. カギはA-732-F-3を使用する。
4. 塗装は錆止めを施したうえ、灯柱と同色に焼付仕上げとする。
5. 扉の蝶番は扉の内側に隠れるようにする。
6. 配電盤の中に結線図および現場の配線系統図を入れること。

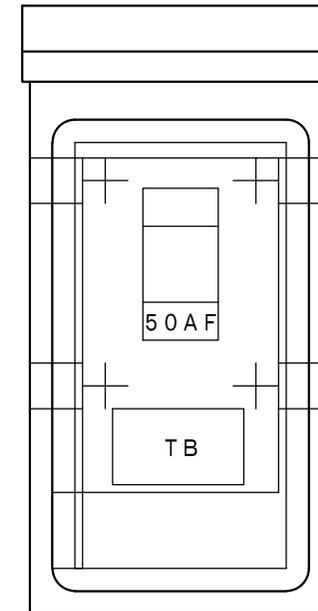
屋外灯用引込開閉器盤 (特殊・ポール径φ89.1)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	屋外灯用 引込開閉器盤	共架形		2019

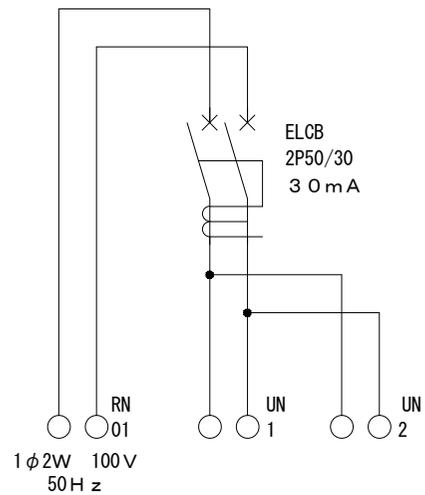
開閉器盤姿図
S=1/10



盤内配置図



結線図

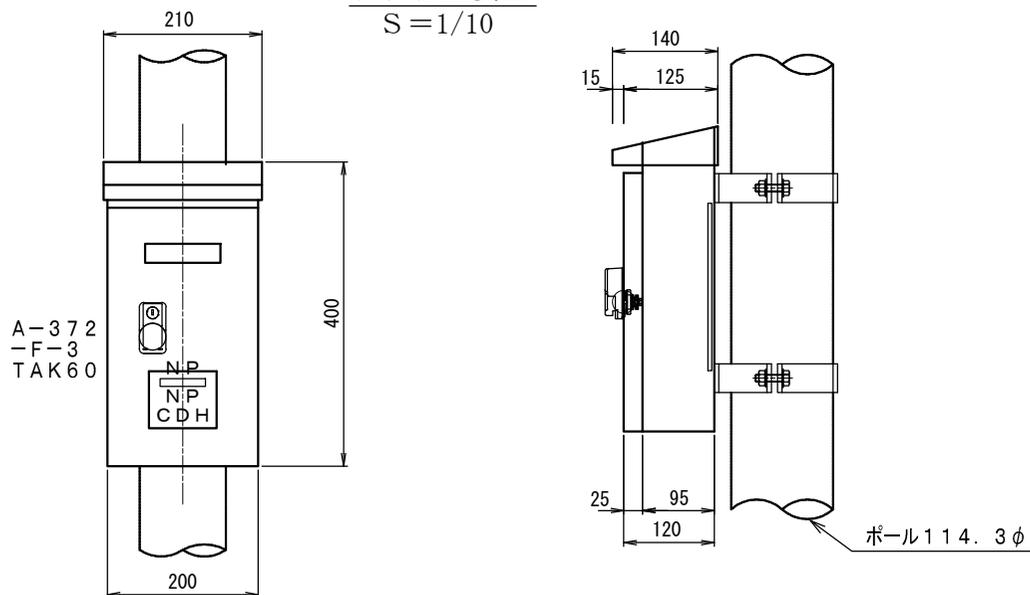


1. 配電盤は配電盤専用メーカーの製作したもので製作所の銘板を扉の内側に貼り付けること。
2. 函の板厚は2.0mm以上とする。
3. カギはA-732-F-3を使用する。
4. 塗装は錆止めを施したうえ、灯柱と同色に焼付仕上げとする。
5. 扉の蝶番は扉の内側に隠れるようにする。
6. 配電盤の中に結線図および現場の配線系統図を入れること。

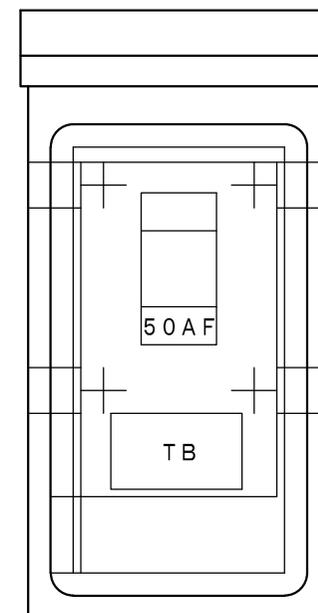
屋外灯用引込開閉器盤 (特殊・ポール径φ114.3)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	屋外灯用 引込開閉器盤	共架形		2019

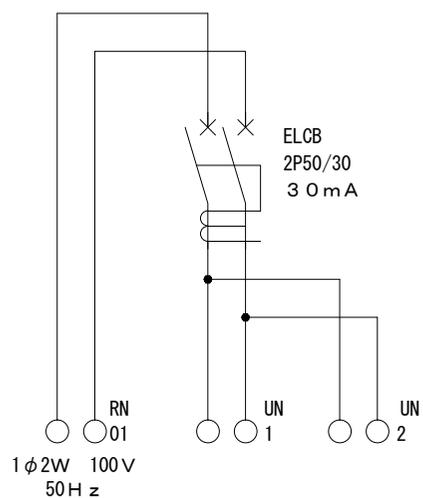
開閉器盤姿図
S=1/10



盤内配置図



結線図



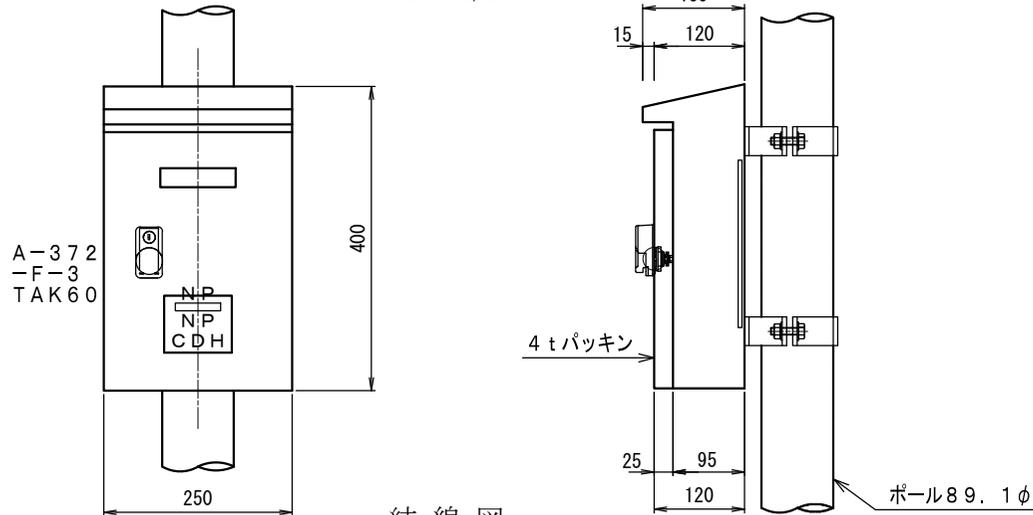
1. 配電盤は配電盤専用メーカーの製作したもので製作所の銘板を扉の内側に貼り付けること。
2. 函の板厚は2.0mm以上とする。
3. カギはA-732-F-3を使用する。
4. 塗装は錆止めを施したうえ、灯柱と同色に焼付仕上げとする。
5. 扉の蝶番は扉の内側に隠れるようにする。
6. 配電盤の中に結線図および現場の配線系統図を入れること。

屋外灯用引込開閉器盤 (一般・ポール径φ89.1・2回路用)

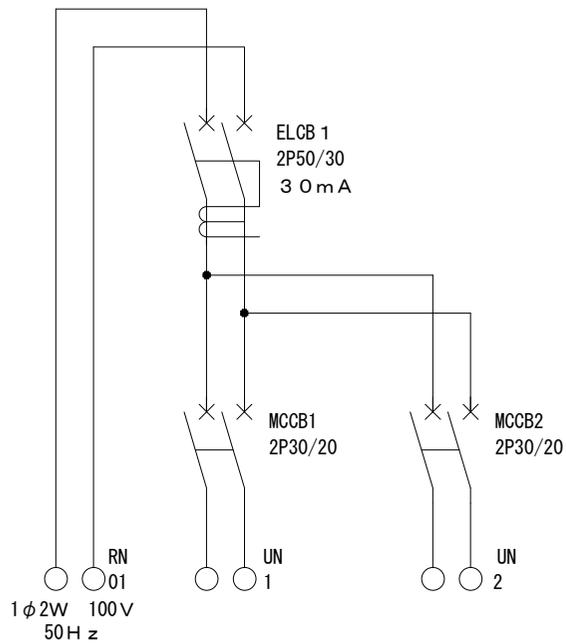
工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	屋外灯用 引込開閉器盤	共架形		2019

開閉器盤姿図

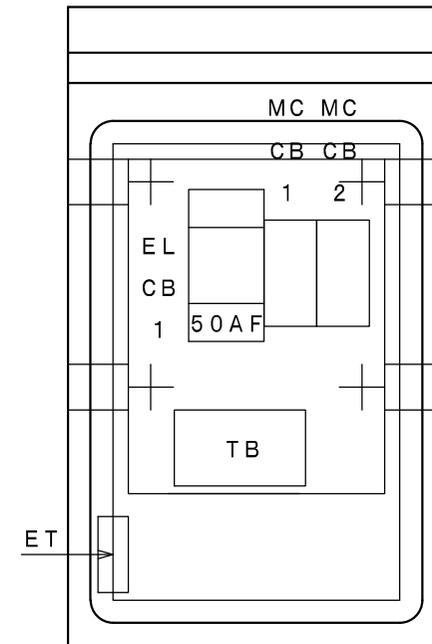
S = 1/10



結線図



盤内配置図



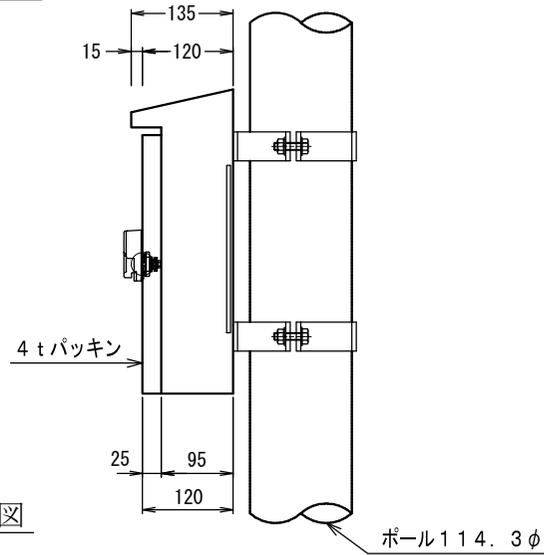
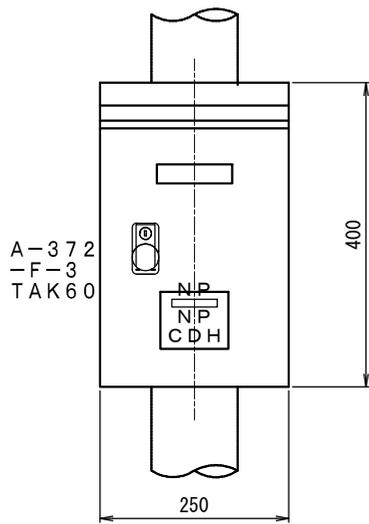
1. 配電盤は配電盤専用メーカーの製作したもので製作所の銘板を扉の内側に貼り付けること。
2. 函の板厚は2.0mm以上とする。
3. カギはA-732-F-3を使用する。
4. 塗装は錆止めを施したうえ、灯柱と同色に焼付仕上げとする。
5. 扉の蝶番は扉の内側に隠れるようにする。
6. 配電盤の中に結線図および現場の配線系統図を入れること。

屋外灯用引込開閉器盤 (一般・ポール径φ114.3・2回路用)

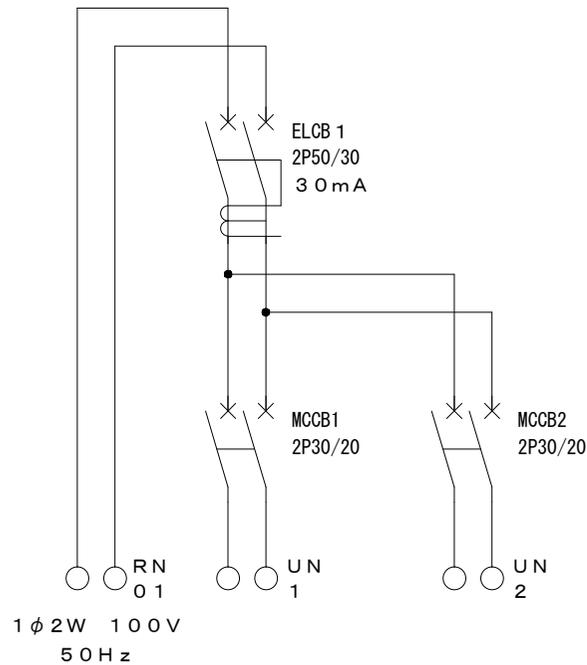
工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	屋外灯用 引込開閉器盤	共架形		2019

開閉器盤姿図

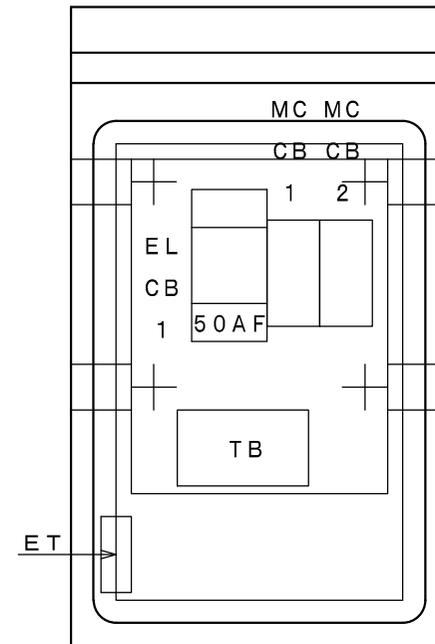
S=1/10



結線図



盤内配置図



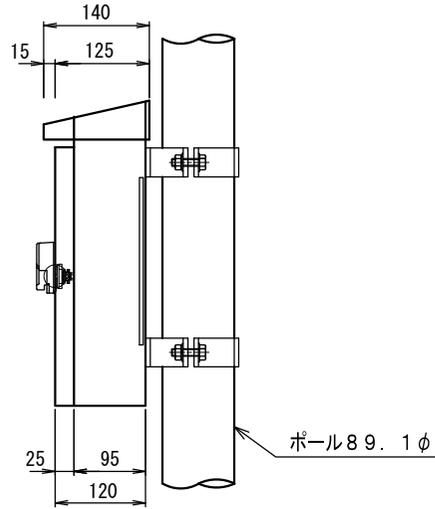
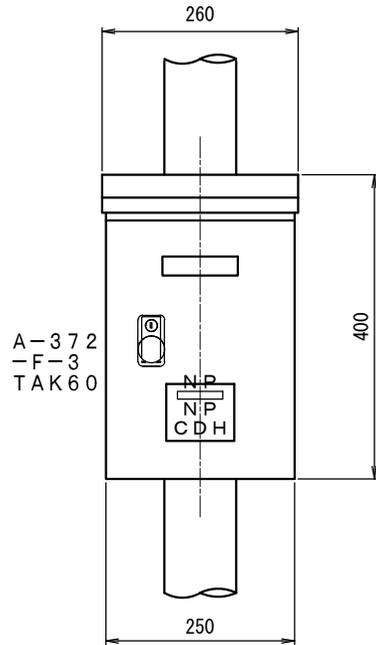
1. 配電盤は配電盤専用メーカーの製作したもので製作所の銘板を扉の内側に貼り付けること。
2. 函の板厚は2.0mm以上とする。
3. カギはA-732-F-3を使用する。
4. 塗装は錆止めを施したうえ、灯柱と同色に焼付仕上げとする。
5. 扉の蝶番は扉の内側に隠れるようにする。
6. 配電盤の中に結線図および現場の配線系統図を入れること。

屋外灯用引込開閉器盤 (特殊・ポール径φ89.1・2回路用)

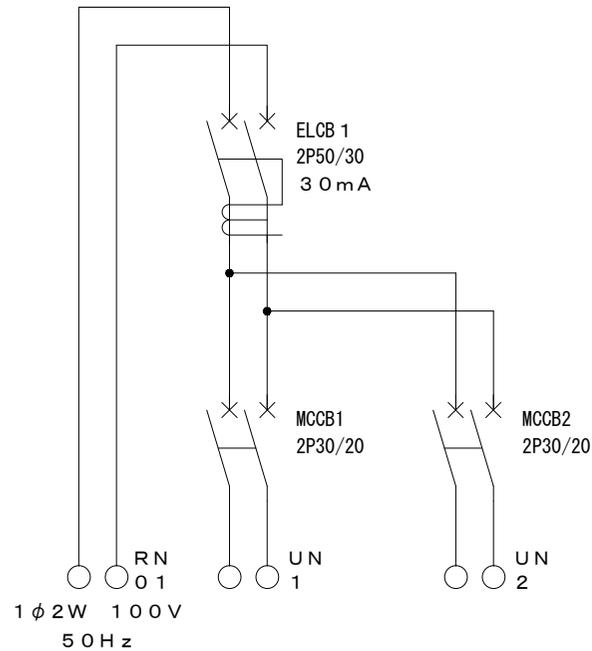
工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	屋外灯用 引込開閉器盤	共架形		2019

開閉器盤姿図

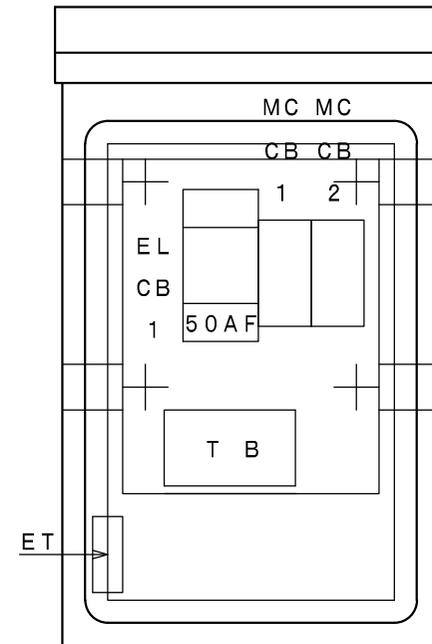
S = 1/10



結線図



盤内配置図

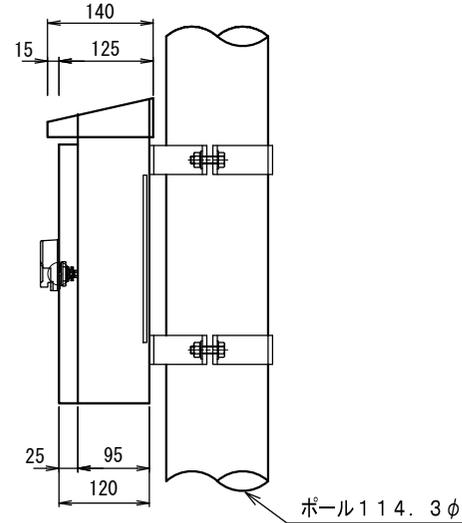
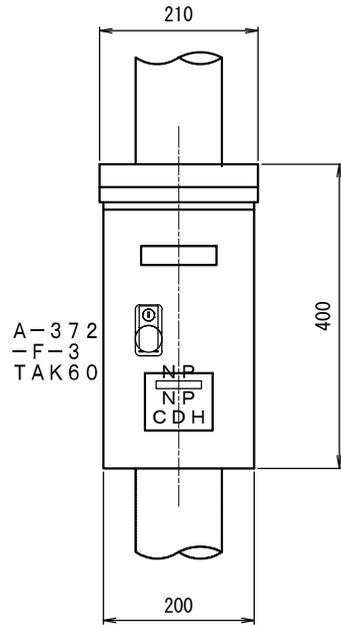


1. 配電盤は配電盤専用メーカーの製作したもので製作所の銘板を扉の内側に貼り付けること。
2. 函の板厚は2.0mm以上とする。
3. カギはA-732-F-3を使用する。
4. 塗装は錆止めを施したうえ、灯柱と同色に焼付仕上げとする。
5. 扉の蝶番は扉の内側に隠れるようにする。
6. 配電盤の中に結線図および現場の配線系統図を入れること。

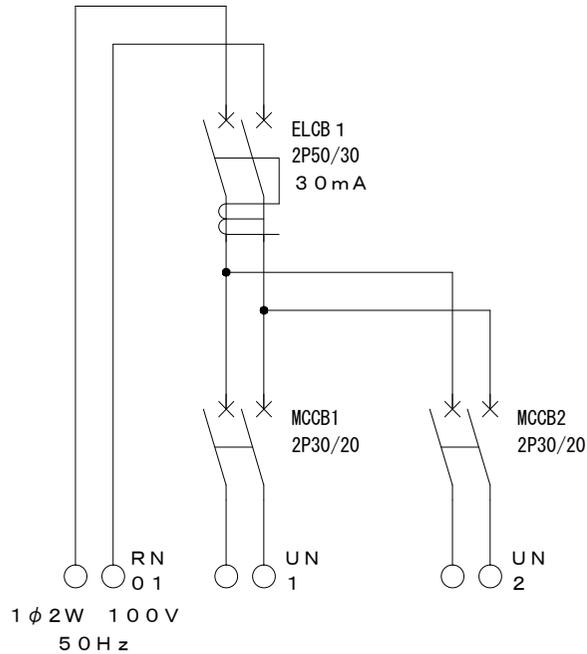
屋外灯用引込開閉器盤 (特殊・ポール径φ114.3・2回路用)

工種	種別	形状	変数	作成年度
街築	屋外灯用 引込開閉器盤	共架形		2019

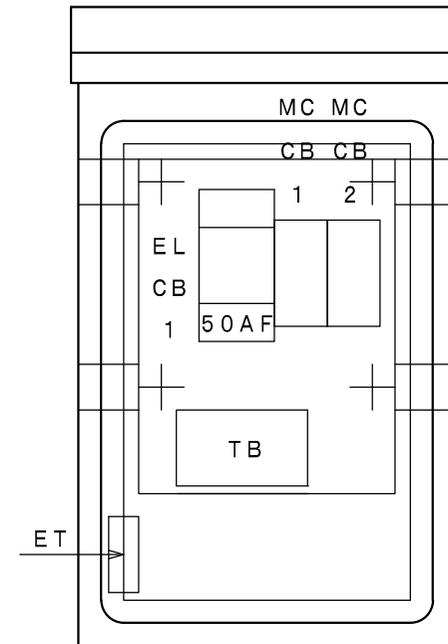
開閉器盤姿図
S=1/10



結線図



盤内配置図



1. 配電盤は配電盤専用メーカーの製作したもので製作所の銘板を扉の内側に貼り付けること。
2. 函の板厚は2.0mm以上とする。
3. カギはA-732-F-3を使用する。
4. 塗装は錆止めを施したうえ、灯柱と同色に焼付仕上げとする。
5. 扉の蝶番は扉の内側に隠れるようにする。
6. 配電盤の中に結線図および現場の配線系統図を入れること。

車道舗装構造表 N1 交通

工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	車道舗装構造表	N1		2019

名称	使用材料名	舗装厚 (cm)					注意事項
		C B R (%)					
		3	4	5	6	8	
表層工	再生密粒度アスファルト混合物 または 密粒度アスファルト混合物	5					プライムコート工 (PK-3)
上層路盤工	再生粒度調整碎石 (RM-40) または 粒度調整碎石 (M-40)	—	—	—	—	—	
下層路盤工	再生クラッシュラン (RC-40) または クラッシュラン (C-40)	20	20	15	15	10	1層仕上げ厚: 20cm以下 ※
しゃ断層	しゃ断層用砂	—	—	—	—	—	路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず
舗装合計厚 (cm)		25	25	20	20	15	

※ 原則として再生材を使用する。
ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

プライムコート工: アスファルト乳剤 (PK-3)
1. 2Q/m²

アスファルト舗装		
交通区分	C B R (%)	舗装合計厚 (cm)
N1	(%)	(cm)

車道舗装構造表 N2 交通

工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	車道舗装構造表	N2		2019

名称	使用材料名	舗装厚 (cm)					注意事項
		C B R (%)					
		3	4	5	6	8	
表層工	再生密粒度アスファルト混合物 または 密粒度アスファルト混合物	5					プライムコート工 (PK-3)
上層路盤工	再生粒度調整碎石 (RM-40) または 粒度調整碎石 (M-40)	10	10	—	—	—	1層仕上げ厚: 15cm以下 ※
下層路盤工	再生クラッシュラン (RC-40) または クラッシュラン (C-40)	15	10	20	20	20	1層仕上げ厚: 20cm以下 ※
しゃ断層	しゃ断層用砂	—	—	—	—	—	路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず
舗装合計厚 (cm)		30	25	25	25	25	

※ 原則として再生材を使用する。
ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

プライムコート工: アスファルト乳剤 (PK-3)
1. 2Q/m²

アスファルト舗装		
交通区分	C B R (%)	舗装合計厚 (cm)
N2	(%)	(cm)

車道舗装構造表 N3 交通

工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	車道舗装構造表	N3		2019
		旧L交通		

名称	使用材料名	舗装厚 (cm)						注意事項
		C B R (%)						
		2	3	4	5	6	8	
表層工	再生密粒度アスファルト混合物 または 密粒度アスファルト混合物	5						プライムコート工 (PK-3)
上層路盤工	再生粒度調整碎石 (RM-40) または 粒度調整碎石 (M-40)	20	15	15	10	10	10	1層仕上げ厚: 15cm以下 ※
下層路盤工	再生クラッシュラン (RC-40) または クラッシュラン (C-40)	20	20	15	20	15	10	1層仕上げ厚: 20cm以下 ※
しゃ断層	しゃ断層用砂	15	—	—	—	—	—	路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず
舗装合計厚 (cm)		45	40	35	35	30	25	

※ 原則として再生材を使用する。
ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

プライムコート工: アスファルト乳剤 (PK-3)
1. 2.0 / m²

アスファルト舗装		
交通区分	C B R	舗装合計厚
N3 (旧L交通)	(%)	(cm)

車道舗装構造表 N4 交通

工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	車道舗装構造表	N4		2019
		旧A交通		

名称	使用材料名	アスファルト処理混合物使用の場合								基層のある場合					注意事項
		舗装厚 (cm)								舗装厚 (cm)					
		C B R (%)								C B R (%)					
		2	3	4	5	6	8	12	2	3	4	5			
表層工	再生密粒度アスファルト混合物 または 密粒度アスファルト混合物	5								5					タックコート工 (PK-4)
基層工	再生粗粒度アスファルト混合物 または 粗粒度アスファルト混合物	—								5					タックコート工 (PK-4) または プライムコート工 (PK-3)
上層路盤工	再生アスファルト処理混合物 または アスファルト処理混合物	5								—					プライムコート工 (PK-3)
	再生粒度調整碎石 (RM-40) または 粒度調整碎石 (M-40)	20	15	15	10	10	15	15	15	15	25	20	1層仕上げ厚：15cm以下 ※		
下層路盤工	再生クラッシュラン (RC-40) または クラッシュラン (C-40)	20	20	15	15	15	—	—	25	15	—	—	1層仕上げ厚：20cm以下 ※		
しゃ断層	しゃ断層用砂	15	—	—	—	—	—	—	15	—	—	—	路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず		
舗装合計厚 (cm)		50	45	40	35	35	25	25	50	40	35	30			

※ 原則として再生材を使用する。
ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

プライムコート工：アスファルト乳剤 (PK-3)
1.2 ℓ/m²

タックコート工：アスファルト乳剤 (PK-4) 0.3～0.6 ℓ/m²を標準とする。

- ・交通解放する場合：0.6 ℓ/m²
- ・汚さずに数日後表層を舗設する場合：0.3 ℓ/m²
- ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合：0

アスファルト舗装		
交通区分	C B R (%)	舗装合計厚 (cm)
N4 (旧A交通)	(%)	(cm)

車道舗装構造表 N5 交通

工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	車道舗装構造表	N5		2019
		旧B交通		

名称	使用材料名	アスファルト処理混合物使用の場合								セメント処理混合物使用の場合								注意事項
		舗装厚 (cm)								舗装厚 (cm)								
		C B R (%)								C B R (%)								
		2	3	4	5	6	8	12	2	3	4	5	6	8	12			
表層工	再生密粒度アスファルト混合物 または 密粒度アスファルト混合物	5								5								タックコート工 (PK-4)
基層工	再生粗粒度アスファルト混合物 または 粗粒度アスファルト混合物	5								5								タックコート工 (PK-4) または プライムコート工 (PK-3) ^{※2}
上層路盤工	再生アスファルト処理混合物・ アスファルト処理混合物 またはセメント処理混合物	5								15	15	15	15	10	10	10	1層仕上げ厚：15cm以下 プライムコート工 (PK-3) ^{※1}	
	再生粒度調整砕石 (RM-40) または 粒度調整砕石 (M-40)	25	20	15	10	20	15	10	15	15	10	—	10	—	—	1層仕上げ厚：15cm以下 ※3		
下層路盤工	再生クラッシュラン (RC-40) または クラッシュラン (C-40)	25	20	20	20	—	—	—	25	10	10	15	10	15	10	1層仕上げ厚：20cm以下 ※3		
しゃ断層	しゃ断層用砂	15	—	—	—	—	—	—	15	—	—	—	—	—	—	路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず		
舗装	合計厚 (cm)	65	55	50	45	35	30	25	65	50	45	40	40	35	30			

※3 原則として再生材を使用する。
ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

プライムコート工：アスファルト乳剤 (PK-3)

- ※1. アスファルト処理路盤とする場合：1. 2 ℓ/m²
- ※2. セメント処理混合物層を仕上げ直後に散布する：1. 0 ℓ/m²

タックコート工：アスファルト乳剤 (PK-4) 0.3～0.6 ℓ/m²を標準とする。

- ・交通解放する場合：0.6 ℓ/m²
- ・汚さずに数日後表層を舗設する場合：0.3 ℓ/m²
- ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合：0

アスファルト舗装		
交通区分	C B R (%)	舗装合計厚 (cm)
N5 (旧B交通)	(%)	(cm)

車道舗装構造表 N6 交通

工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	車道舗装構造表	N6		2019
		旧C交通		

名称	使用材料名	アスファルト処理混合物使用の場合								セメント処理混合物使用の場合								注意事項						
		舗装厚 (cm)								舗装厚 (cm)														
		C B R (%)								C B R (%)														
		2	3	4	5	6	8	12	2	3	4	5	6	8	12									
表層工	再生密粒度アスファルト混合物 または 密粒度アスファルト混合物	5								5								タックコート工 (PK-4)						
基層工	再生粗粒度アスファルト混合物 または 粗粒度アスファルト混合物	10								5	10								タックコート工 (PK-4) または プライムコート工 (PK-3)※3					
上層路盤工	再生アスファルト処理混合物・ アスファルト処理混合物 またはセメント処理混合物	10								25	20	20	20	15	15	10	1層仕上げ厚：10cm以下(7%処理) 1層仕上げ厚：15cm以下(7%処理) プライムコート工 (PK-3)※2 プライムコート工 (PK-3)※1							
	再生粒度調整砕石 (RM-40) または 粒度調整砕石 (M-40)	25	20	15	10	15	10	15	15	15	10	15	15	10	—	1層仕上げ厚：15cm以下 ※4								
下層路盤工	再生クラッシャーラン (RC-40) または クラッシャーラン (C-40)	30	20	15	15	—	—	—	20	15	10	—	—	—	10	1層仕上げ厚：20cm以下 ※4								
しゃ断層	しゃ断層用砂	15	—	—	—	—	—	—	15	—	—	—	—	—	—	路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず								
舗装合計厚 (cm)		80	65	55	50	40	35	35	75	65	55	50	45	40	35									

※4 原則として再生材を使用する。
ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

プライムコート工：アスファルト乳剤 (PK-3)

- ※1. アスファルト処理路盤とする場合：1.2 ℓ/m²
- ※2. セメント処理混合物層を同日に加工できない
場合のみ仕上げ直後に散布する：1.0 ℓ/m²
- ※3. セメント処理路盤仕上げ直後に散布：1.0 ℓ/m²

タックコート工：アスファルト乳剤 (PK-4) 0.3～0.6 ℓ/m²を標準とする。

- ・交通解放する場合：0.6 ℓ/m²
- ・汚さずに数日後表層を舗設する場合：0.3 ℓ/m²
- ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合：0

アスファルト舗装		
交通区分	C B R	舗装合計厚
N6 (旧C交通)	(%)	(cm)

車道舗装構造表（補修用） N3交通

工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	車道舗装構造表(補修用)	N3		2019
		旧L交通		

名称	使用材料名	舗装厚 (cm)				注意事項
		C B R (%)				
		2	3	4	5	
表層工	再生密粒度アスファルト混合物 または 密粒度アスファルト混合物	5				プライムコート工 (PK-3)
上層路盤工	再生粒度調整碎石 (RM-40) または 粒度調整碎石 (M-40)	20	30	30	25	1層仕上げ厚：15cm以下 ※
下層路盤工	再生クラッシュラン (RC-40) または クラッシュラン (C-40)	20	—	—	—	1層仕上げ厚：20cm以下 ※
しゃ断層	しゃ断層用砂	15	—	—	—	路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず
舗装合計厚 (cm)		45	35	35	30	

※ 原則として再生材を使用する。
ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

プライムコート工：アスファルト乳剤 (PK-3)
1.2 ℓ/m²

アスファルト舗装		
交通区分	C B R (%)	舗装合計厚 (cm)
N3 (旧L交通)	(%)	(cm)

車道舗装構造表（補修用） N4交通

工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	車道舗装構造表 (補修用)	N4		2019
		旧A交通		

名称	使用材料名	舗装厚 (cm)				注意事項
		C B R (%)				
		2	3	4	5	
表層工	再生密粒度アスファルト混合物 または 密粒度アスファルト混合物	5				タックコート工 (PK-4)
基層工	再生粗粒度アスファルト混合物 または 粗粒度アスファルト混合物	5				プライムコート工 (PK-3)
上層路盤工	再生粒度調整碎石 (RM-40) または 粒度調整碎石 (M-40)	15	15	25	20	1層仕上げ厚: 15cm以下 ※
下層路盤工	再生クラッシュラン (RC-40) または クラッシュラン (C-40)	25	15	—	—	1層仕上げ厚: 20cm以下 ※
しゃ断層	しゃ断層用砂	15	—	—	—	路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず
舗装合計厚 (cm)		50	40	35	30	

※ 原則として再生材を使用する。
ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

プライムコート工: アスファルト乳剤 (PK-3)
1.2 l/m²

タックコート工: アスファルト乳剤 (PK-4) 0.3~0.6 l/m²を標準とする。

- ・交通解放する場合: 0.6 l/m²
- ・汚さずに数日後表層を舗設する場合: 0.3 l/m²
- ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合: 0

アスファルト舗装		
交通区分	C B R (%)	舗装合計厚 (cm)
N4 (旧A交通)	(%)	(cm)

車道舗装構造表（補修用） N5 交通

工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	車道舗装構造表(補修用)	N5		2019
		旧B交通		

名称	使用材料名	舗装厚 (cm)				注意事項
		C B R (%)				
		2	3	4	5	
表層工	再生密粒度アスファルト混合物 または 密粒度アスファルト混合物	5				タックコート工 (PK-4)
基層工	再生粗粒度アスファルト混合物 または 粗粒度アスファルト混合物	10				プライムコート工 (PK-3)
上層路盤工	再生粒度調整碎石 (RM-40) または 粒度調整碎石 (M-40)	30	20	30	20	1層仕上げ厚: 15cm以下 ※
下層路盤工	再生クラッシュラン (RC-40) または クラッシュラン (C-40)	15	20	—	—	1層仕上げ厚: 20cm以下 ※
しゃ断層	しゃ断層用砂	15	—	—	—	路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず
舗装合計厚 (cm)		60	55	45	35	

プライムコート工: アスファルト乳剤 (PK-3)
1.2 ℓ/m²

タックコート工: アスファルト乳剤 (PK-4) 0.3~0.6 ℓ/m²を標準とする。
 { ・交通解放する場合: 0.6 ℓ/m²
 ・汚さずに数日後表層を舗設する場合: 0.3 ℓ/m²
 ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合: 0

※ 原則として再生材を使用する。
ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

アスファルト舗装		
交通区分	C B R (%)	舗装合計厚 (cm)
N5 (旧B交通)		

車道舗装構造表（補修用） N6交通

工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	車道舗装構造表(補修用)	N6		2019
		旧C交通		

名称	使用材料名	舗装厚 (cm)				注意事項
		C B R (%)				
		2	3	4	5	
表層工	再生密粒度アスファルト混合物 または 密粒度アスファルト混合物	5				タックコート工 (PK-4)
基層工	再生粗粒度アスファルト混合物 または 粗粒度アスファルト混合物	20				プライムコート工 (PK-3) 1層仕上げ厚: 10cm以下
上層路盤工	再生粒度調整碎石 (RM-40) または 粒度調整碎石 (M-40)	20	15	25	20	1層仕上げ厚: 15cm以下 ※
下層路盤工	再生クラッシュラン (RC-40) または クラッシュラン (C-40)	30	20	—	—	1層仕上げ厚: 20cm以下 ※
しゃ断層	しゃ断層用砂	15	—	—	—	路床をそこなわないように均等に敷均す しゃ断層は舗装厚に含まず
舗装合計厚 (cm)		75	60	50	45	

※ 原則として再生材を使用する。
ただし、材料の入手が困難な場合はこの限りではない。

プライムコート工: アスファルト乳剤 (PK-3)
1.2 ℓ/m²

タックコート工: アスファルト乳剤 (PK-4) 0.3~0.6 ℓ/m²を標準とする。

- ・交通解放する場合: 0.6 ℓ/m²
- ・汚さずに数日後表層を舗設する場合: 0.3 ℓ/m²
- ・アスファルト系下層の上に連続して舗設する場合: 0

アスファルト舗装		
交通区分	C B R	舗装合計厚
N6 (旧C交通)	(%)	(cm)

歩道舗装構造表

工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	歩道舗装 構造表			2019

非透水性舗装

名称	使用材料名	舗装厚 (cm)	注意事項
表層工	細粒度アスファルト混合物	3	
路盤工	再生クラッシュラン (RC-30)	10	
舗装合計厚 (cm)		13	

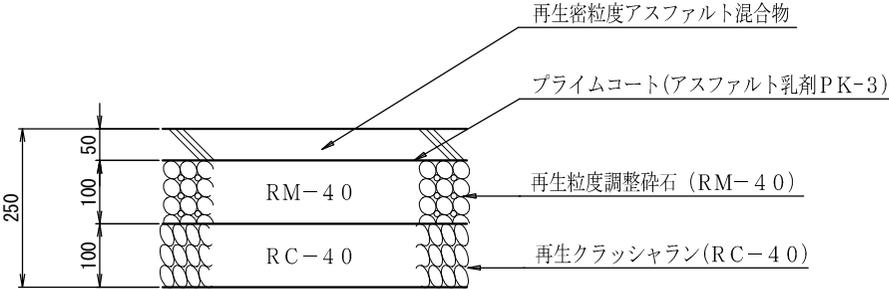
透水性舗装

名称	使用材料名	舗装厚 (cm)	注意事項
表層工	開粒度アスファルト混合物 (2号)	4	
路盤工	再生クラッシュラン (RC-30)	10	
フィルター層	しゃ断層用砂	5	
舗装合計厚 (cm)		19	

工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	車道舗装 N1交通	設計CBR 3%		2019

生活道路等の場合

<参考>



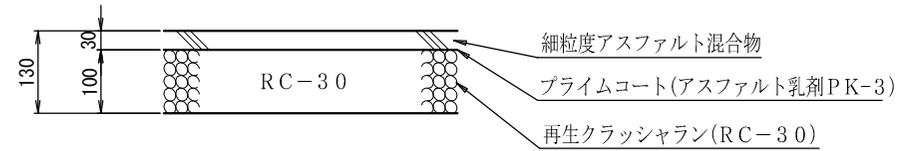
- ・使用材料については原則、再生材を使用する。
- ・表層は再生密粒度アスファルト混合物を使用することを原則とし、状況によりポリマー改質アスファルトⅠ型、ポリマー改質アスファルトⅡ型及び開粒度アスファルト混合物Ⅰ号を使用する。
- ・ポリマー改質アスファルトⅠ型、ポリマー改質アスファルトⅡ型を使用する場合は、改質アスファルト乳剤（PKR-T）を使用すること。
- ・生活道路等については本舗装構成を標準とする。

工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	歩道舗装			2019

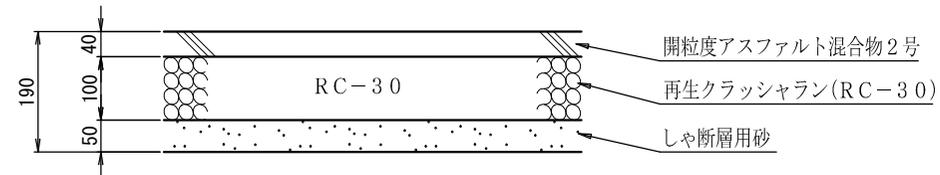
歩道舗装

<参考>

(1) 非透水性舗装



(2) 透水性舗装(19型)



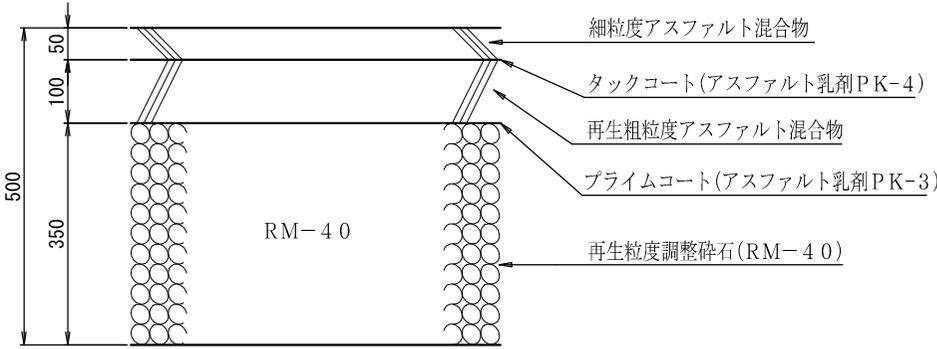
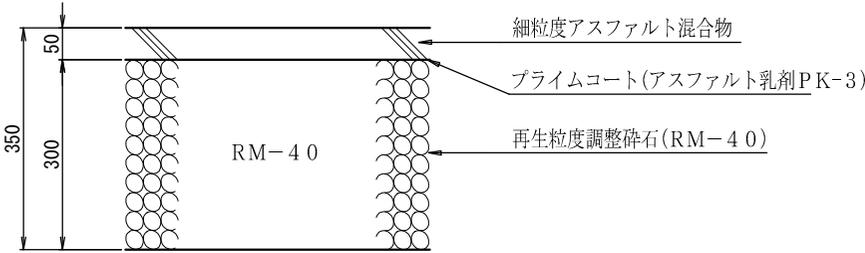
・使用材については、原則、再生材を使用する。

工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	歩道車乗入れ舗装			2019

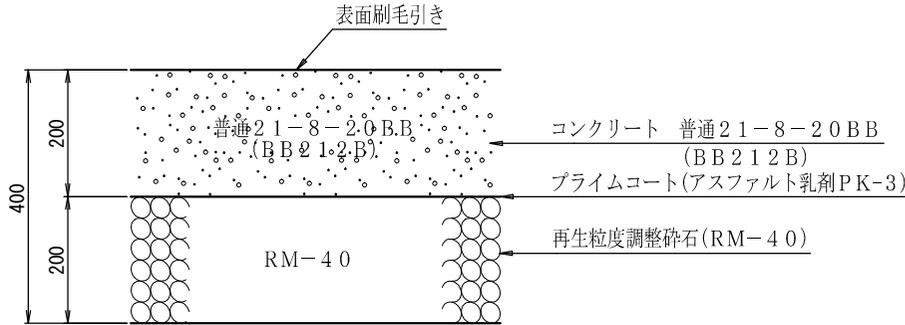
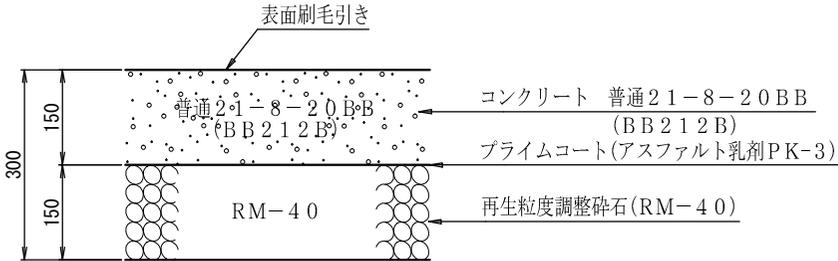
歩道車乗入れ舗装

<参考>

アスファルト舗装



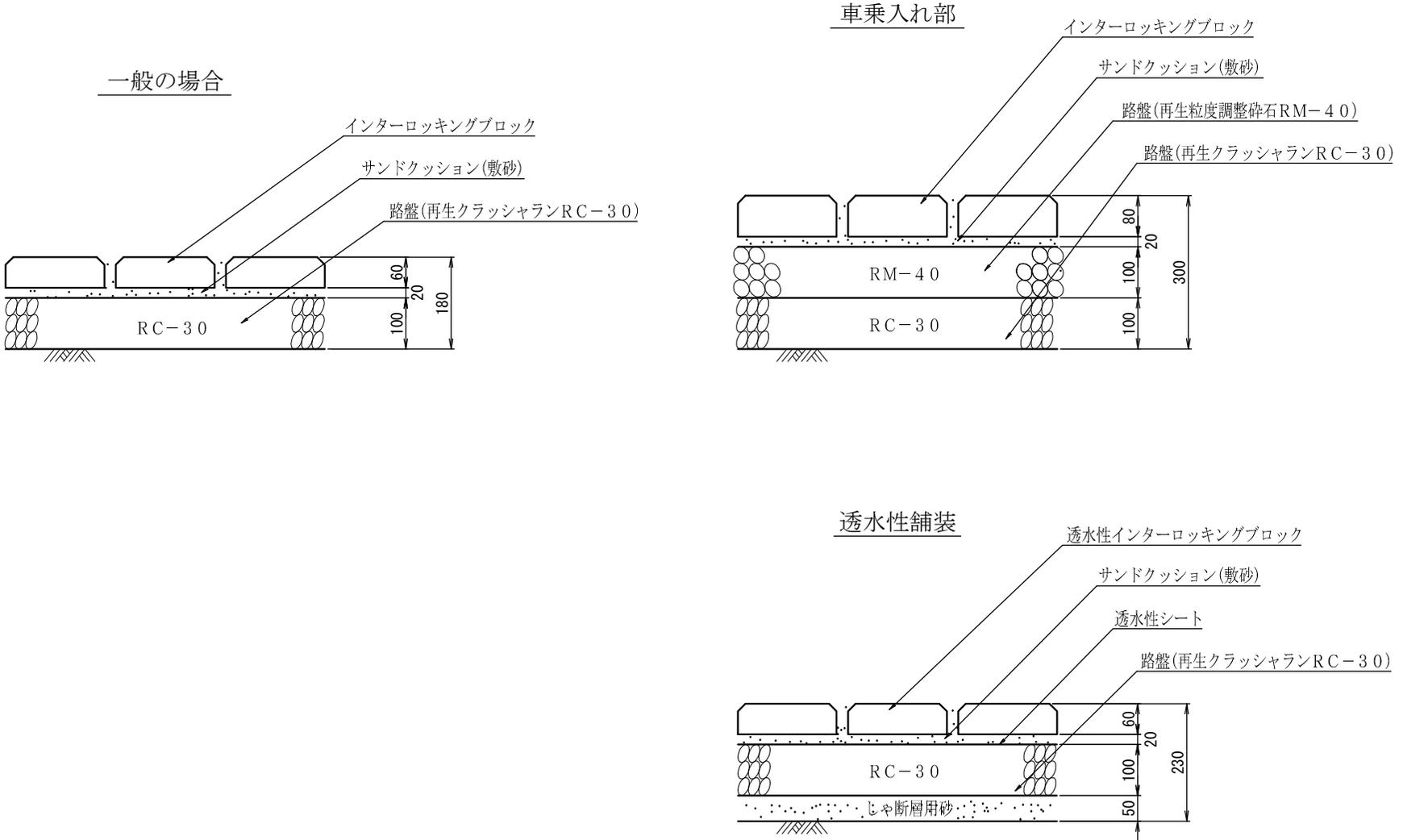
コンクリート舗装



工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	インターロッキングブロック舗装			2019

インターロッキングブロック舗装

<参考>

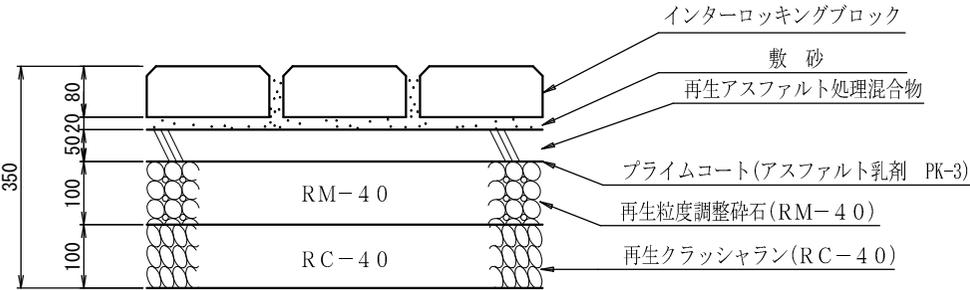


工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装				2019.10

インターロッキングブロック舗装
As基礎

<参考>

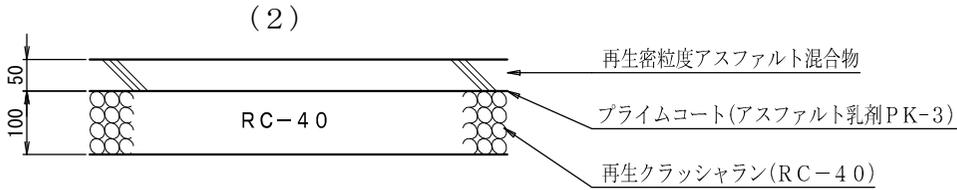
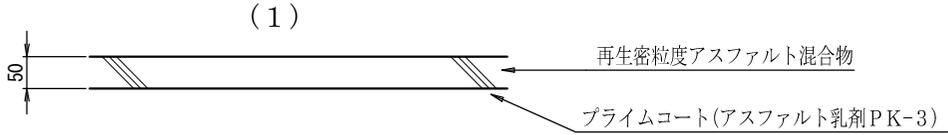
車乗入れ部



工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	簡易舗装			2019

簡易舗装

<参考>

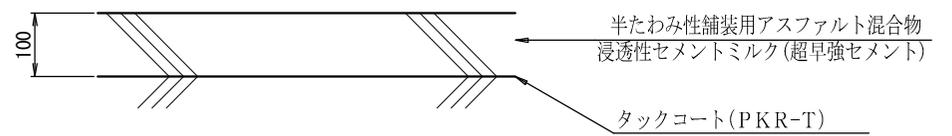
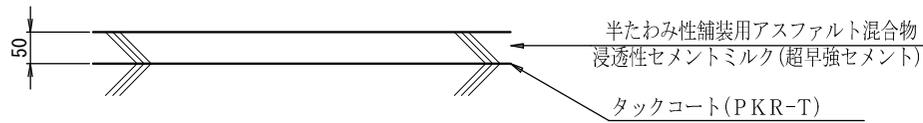
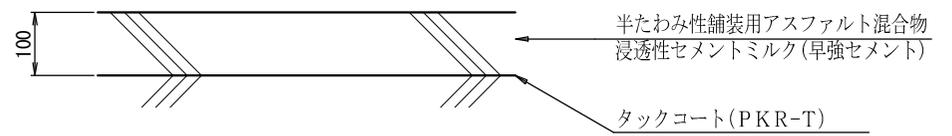
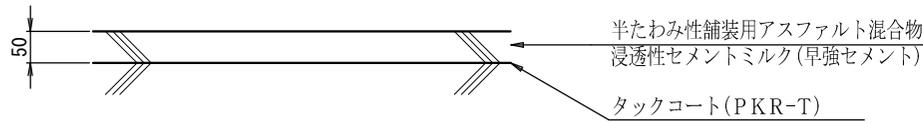
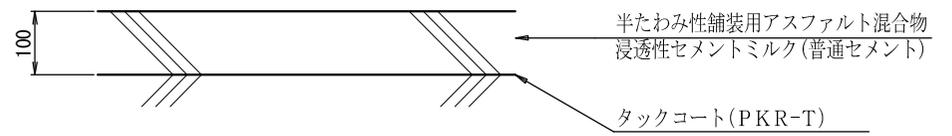
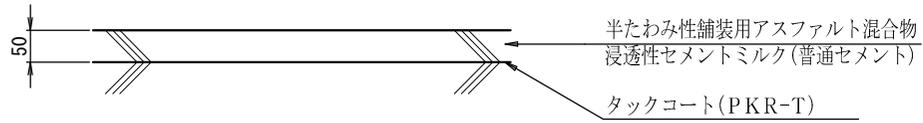


工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	半たわみ性舗装			2019

半たわみ性舗装

(t = 5cm)

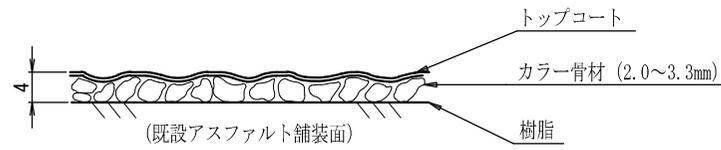
(t = 10cm)



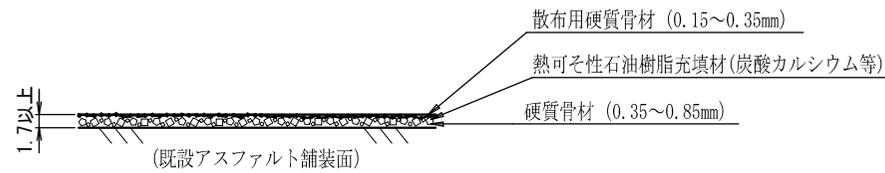
工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	カラー舗装			2019

カラー舗装

常温塗布式樹脂舗装

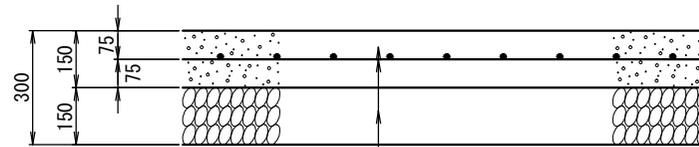


熔融噴射式カラー舗装



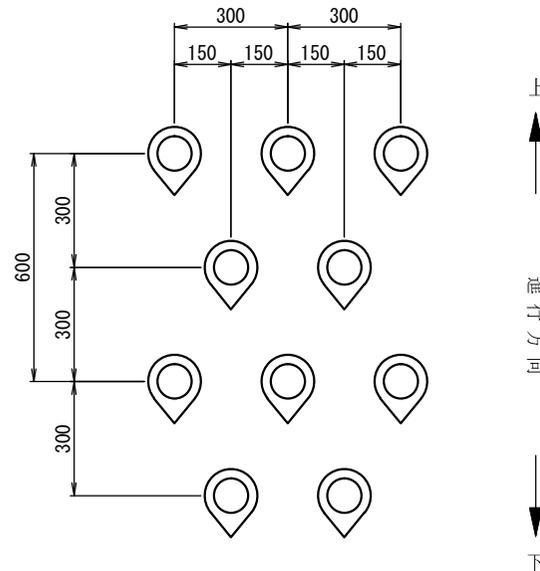
工種	種別	形状	変数	作成年度
舗装	真空コンクリート舗装			2019

真空コンクリート舗装 (30型)



コンクリート 普通21-8-20H(H212B)	t=15cm	0.150m ³ /m ²
溶接金網 (D6 150×150)		
プライムコート (アスファルト乳剤 PK-3)		1.26 ℓ/m ²
再生粒度調整碎石 (RM-40)	t=15cm	0.191m ³ /m ²

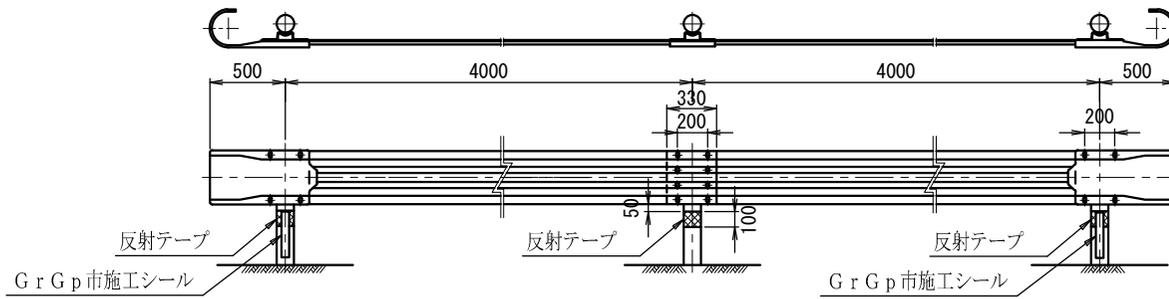
プルトップ型リング標準割付図



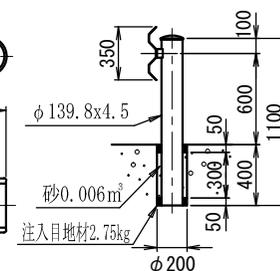
ガードレールA (コンクリート中)

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	ガードレール A	コンクリート 中		2019

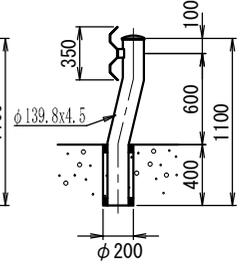
組立図



支柱

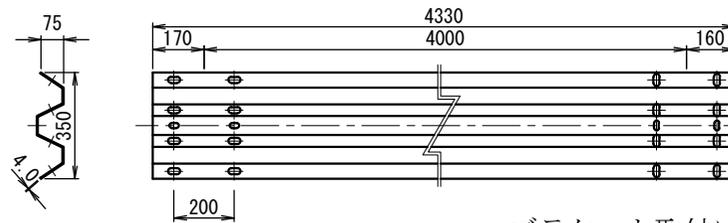


曲柱

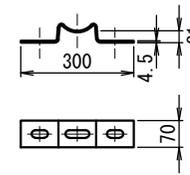


注：補強鉄筋は別途考慮すること

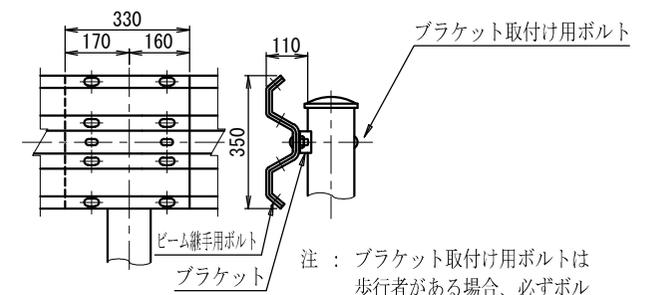
ビーム



ブラケット

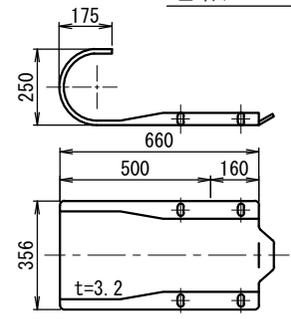


取付け詳細図

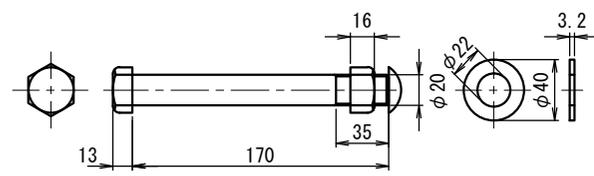


注：ブラケット取付け用ボルトは歩行者がある場合、必ずボルト頭部を丸形とすること。

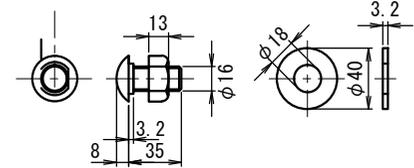
巻袖ビーム



ブラケット取付け用ボルト



ビーム継手用ボルト



材料表

品名	形状・寸法	数量	単位
ビーム	^[75] 350×4330×2.3	1.0	枚
(袖ビーム)	350×660×2.3	2.0	〃
支柱	φ139.8×1100×4.5	(3.0) 2.0	本
砂		(0.02) 0.01	m³
注入目地材	ガムファルト類	(8.25) 5.50	kg
反射テープ		1.0	式

1組当り

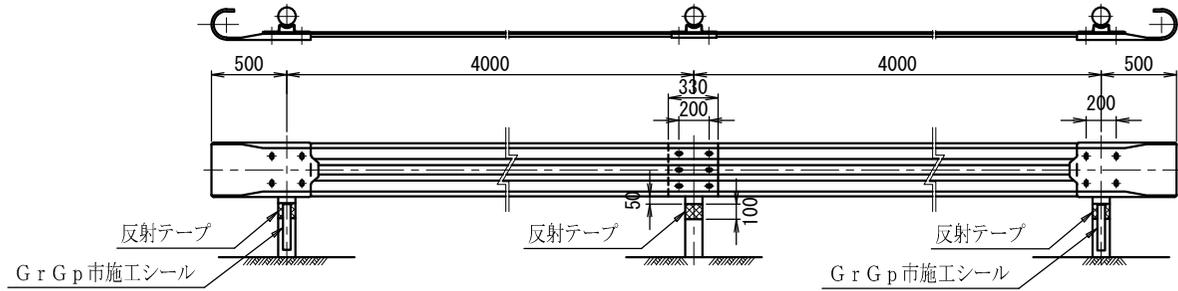
() 内端支間

※ 必要に応じて袖ビームについてはラバーキャップを設置すること。

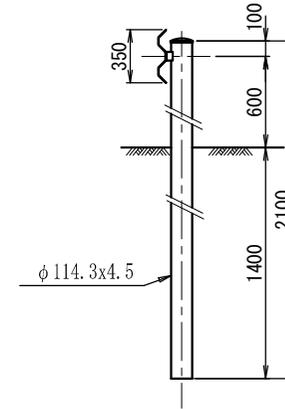
ガードレールC (土中)

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	ガードレールC	土中		2019

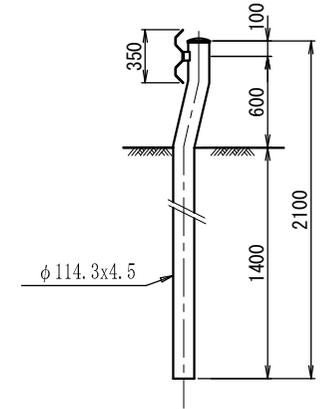
組立図



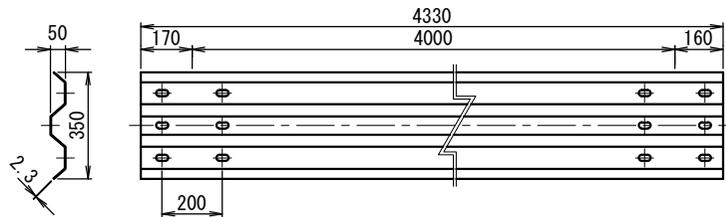
支柱



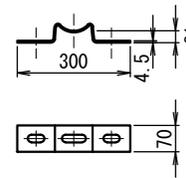
曲柱



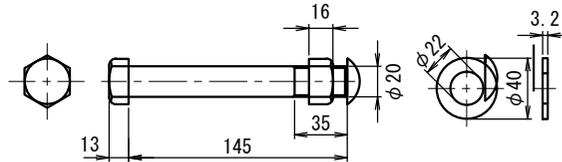
ビーム



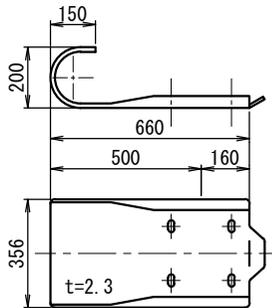
ブラケット



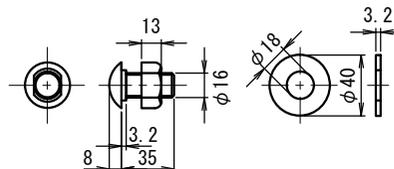
ブラケット取付け用ボルト



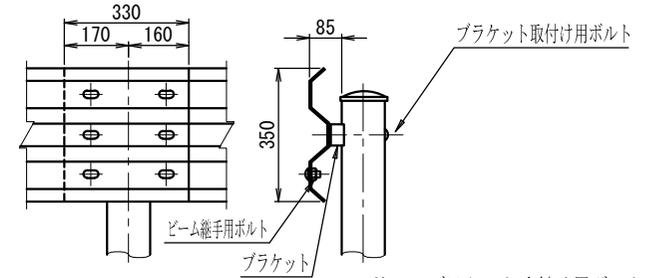
巻袖ビーム



ビーム継手用ボルト



取付け詳細図



注: ブラケット取付け用ボルトは歩行者がある場合、必ずボルト頭部を丸形とすること。

材料表

品名	形状・寸法	数量	単位
ビーム	^[50] 350×4330×2.3	1.0	枚
(袖ビーム)	350×660×2.3	2.0	〃
支柱	$\phi 114.3 \times 2100 \times 4.5$	(2.0) 1.0	本
反射テープ		1.0	式

1組当り

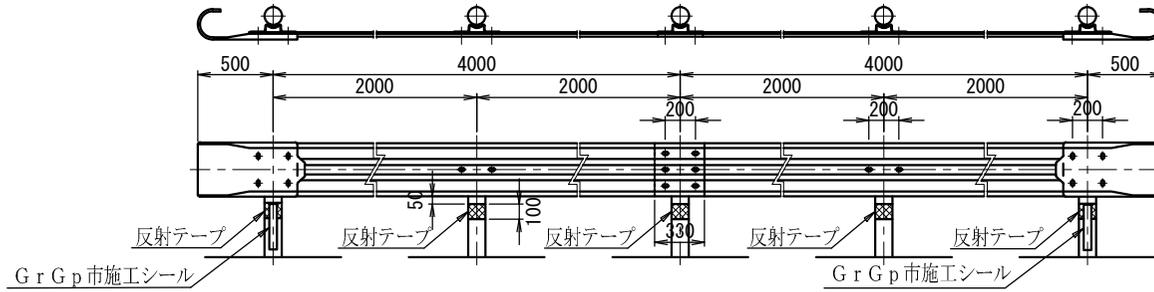
※ 必要に応じて袖ビームについてはラバーキャップを設置すること。

() 内端支間

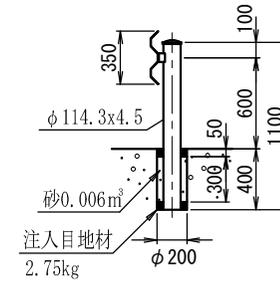
ガードレールC (コンクリート中)

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	ガードレールC	コンクリート中		2019

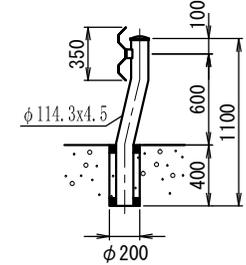
組立図



支柱

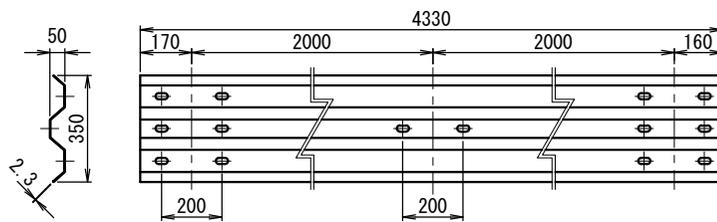


曲柱

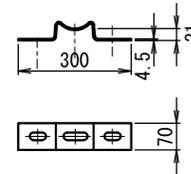


注：補強鉄筋は別途考慮すること

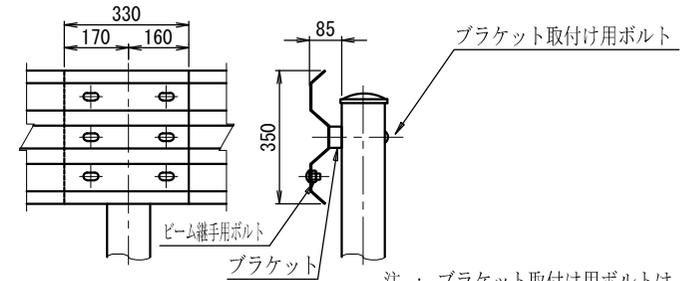
ビーム



ブラケット

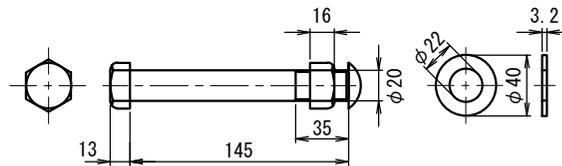


取付け詳細図

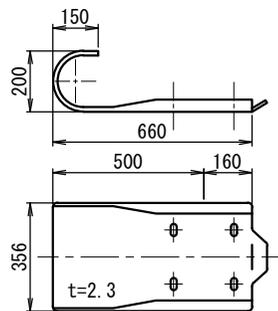


注：ブラケット取付け用ボルトは歩行者がある場合、必ずボルト頭部を丸形とすること。

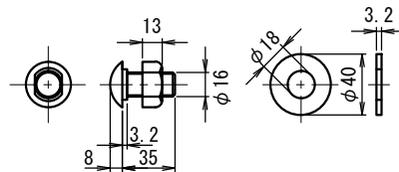
ブラケット取付け用ボルト



巻袖ビーム



ビーム継手用ボルト



※ 必要に応じて袖ビームについてはラバーキャップを設置すること。

材料表

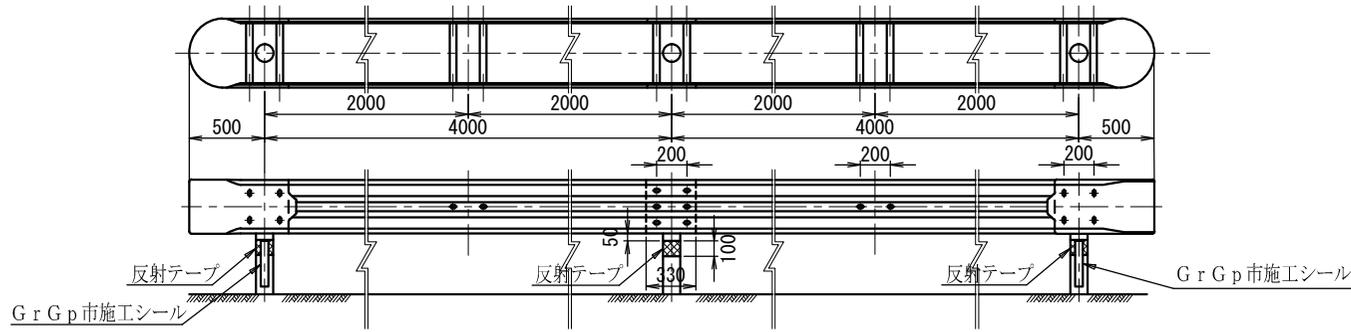
1組当り			
品名	形状・寸法	数量	単位
ビーム	^[50] 350×4330×2.3	1.0	枚
(袖ビーム)	350×660×2.3	2.0	〃
支柱	φ114.3×1100×4.5	(3.0) 2.0	本
砂		(0.02) 0.01	m ³
注入目地材	ガムファルト類	(8.25) 5.50	kg
反射テープ		1.0	式

() 内端支間

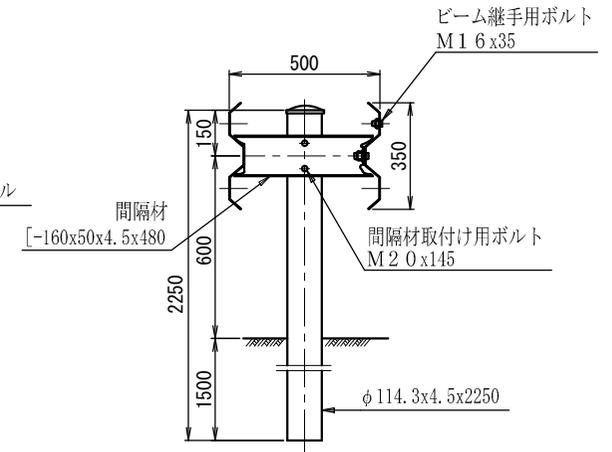
ガードレールBm (土中)

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	ガードレールBm	土中		2019

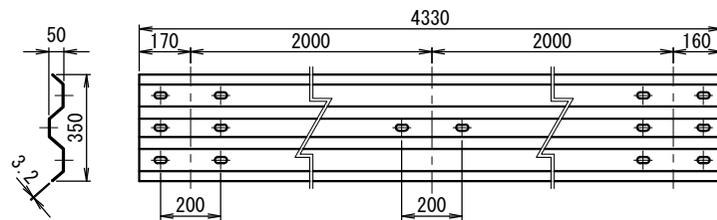
組立図



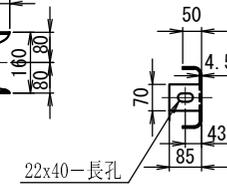
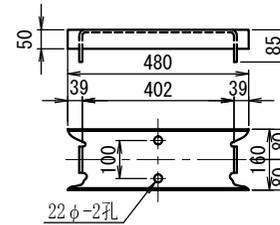
支柱



ビーム

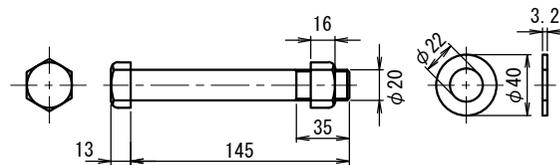
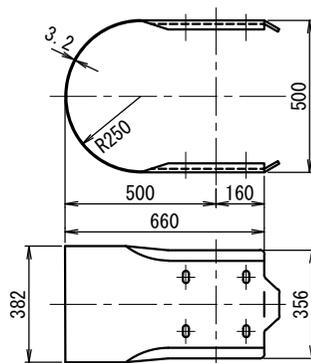


間隔材

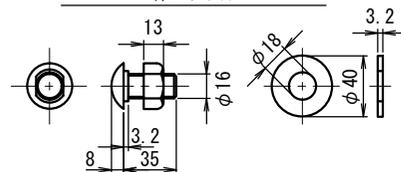


間隔材取付け用ボルト

巻袖ビーム



ビーム継手用ボルト



材料表

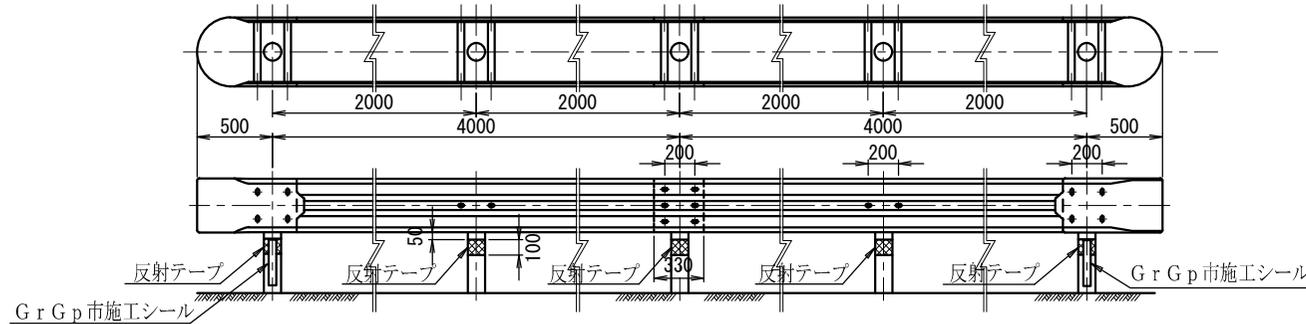
(1組当り)			
品名	形状・寸法	数量	単位
ビーム	^[50] 350×4330×3.2	2.0	枚
(袖ビーム)	350×1115×3.2	2.0	"
支柱	φ114.3×4.5×2250	(2.0) 1.0	本
反射テープ		1.0	式

() 内端支間

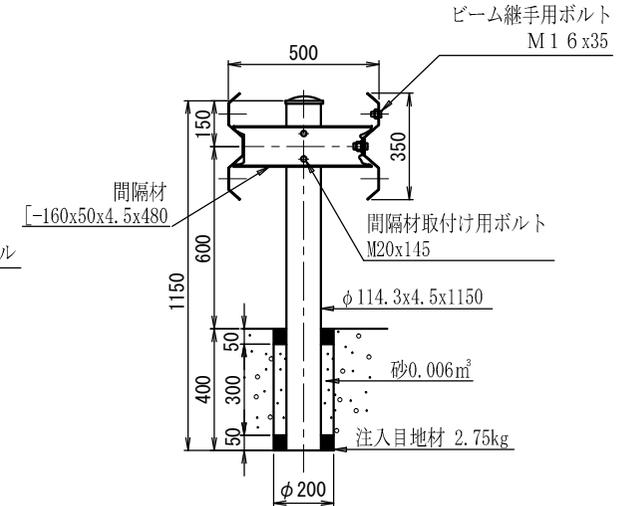
ガードレールBm (コンクリート中)

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	ガードレールBm	コンクリート中		2019

組立図

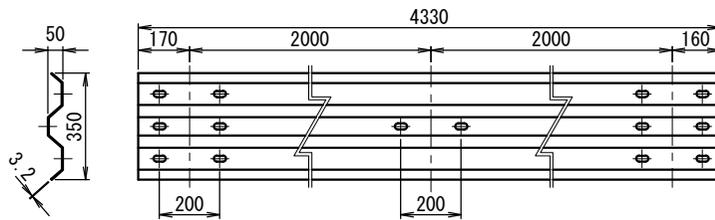


支柱

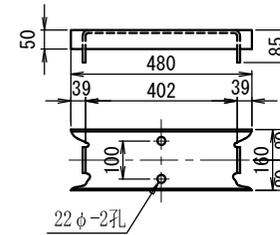


注：補強鉄筋は別途考慮すること

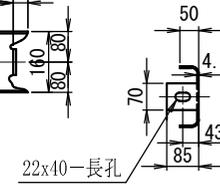
ビーム



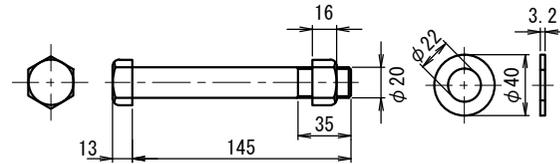
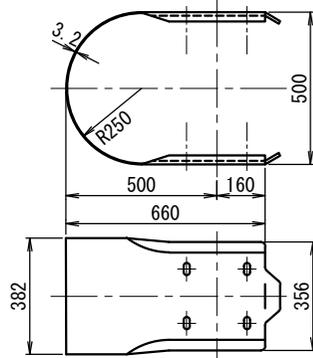
間隔材



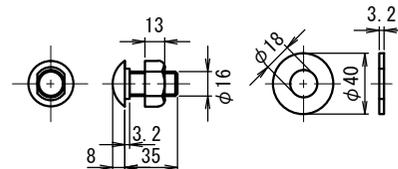
間隔材取付け用ボルト



巻袖ビーム



ビーム継手用ボルト



材料表

(1組当り)

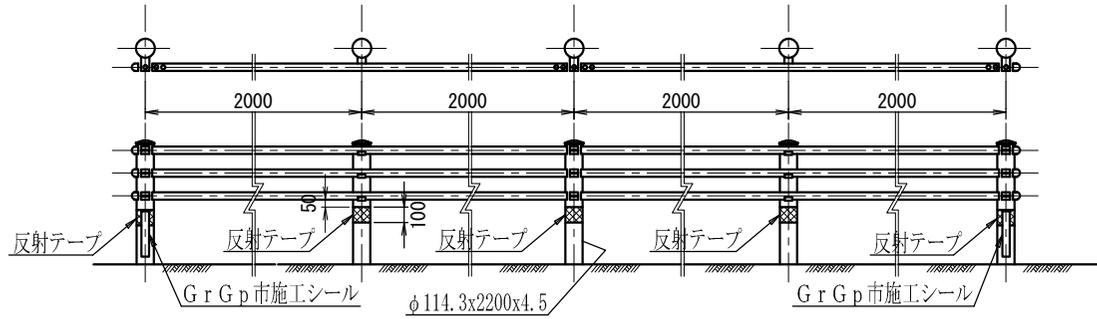
品名	形状・寸法	数量	単位
ビーム	⁵⁰ 350×4330×3.2	2.0	枚
(袖ビーム)	350×1115×3.2	2.0	＃
中間支柱	φ114.3×1150×4.5	(3.0) 2.0	本
砂		(0.02) 0.01	m³
注入目地材	ガムファルト類	(8.25) 5.5	kg
反射テープ		1.0	式

() 内端支間

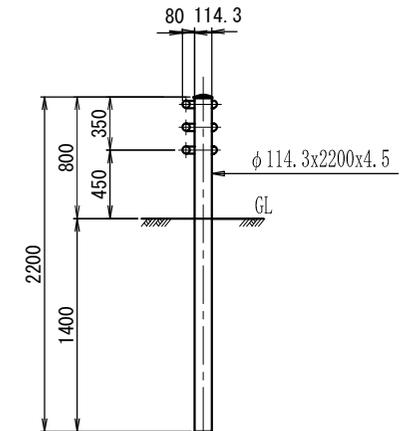
ガードパイプCp (土中式)

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	ガードパイプ Cp	土中式		2019

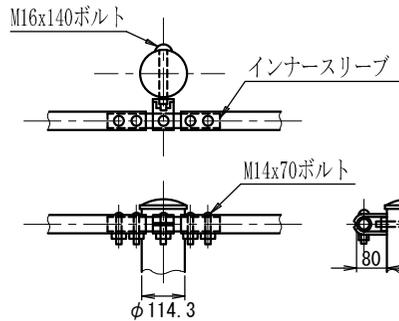
組立図



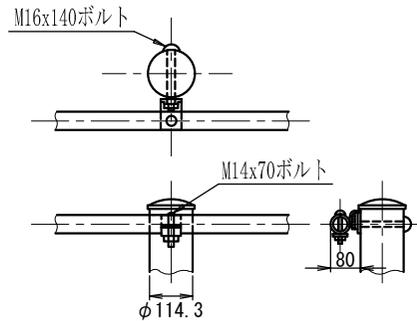
支柱



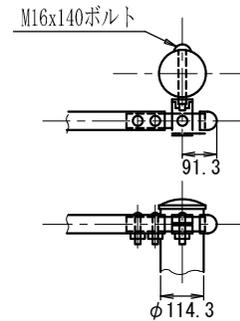
ビームパイプ接合部



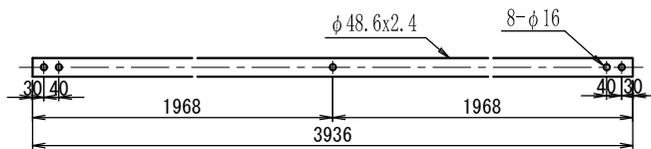
ビームパイプ中間取付け部



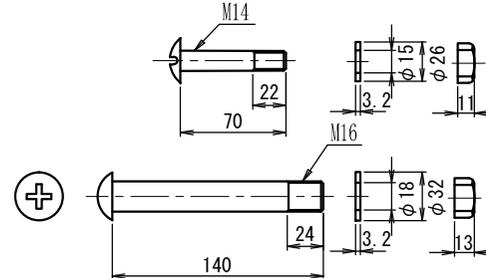
ビームパイプ端部取付け部



ビームパイプ



ボルトナット



材料表

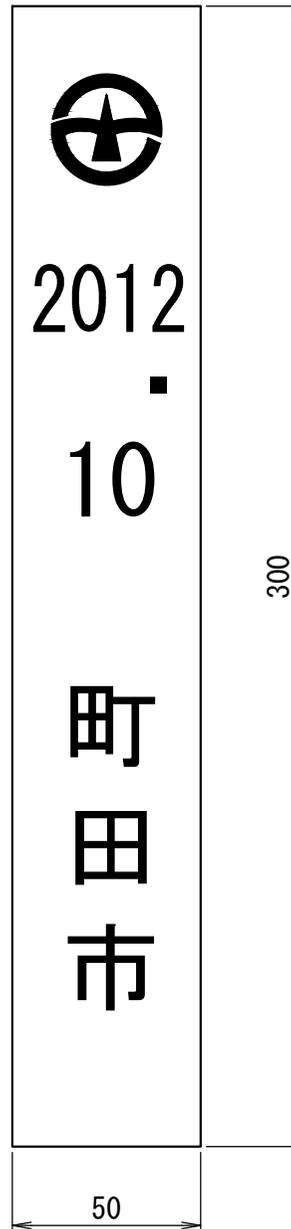
品名	形状・寸法	数量	単位
パイプ		1.0	組
(端末支柱)	(φ114.3×2200×4.5)	2.0	本
中間支柱	φ114.3×2200×4.5	(1.0) 2.0	"
反射テープ		1.0	式

1組当り

() 内端支間

Gr Gp 市施工シール

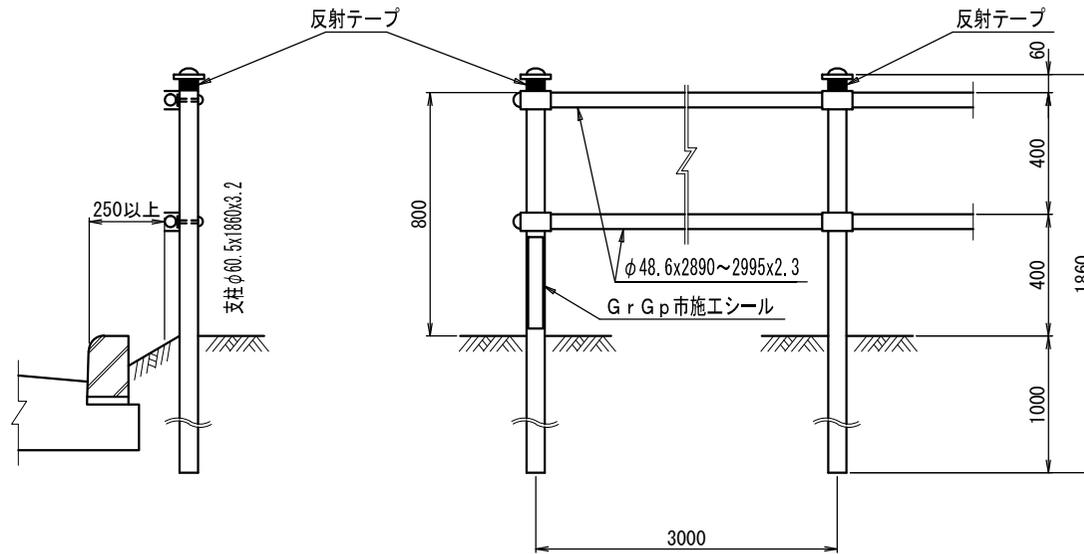
工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	GrGp 市施工シール			2019



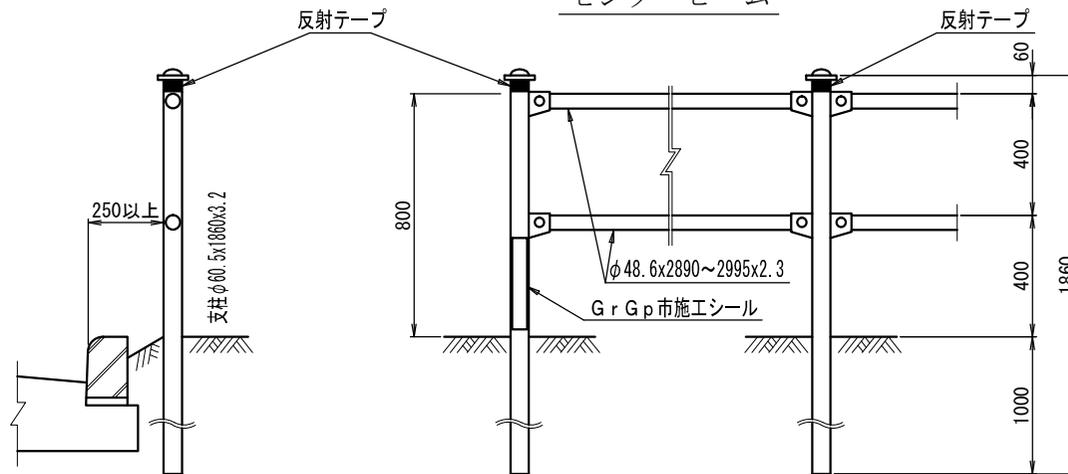
パイプ柵 P p (土中)

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	パイプ柵 P p	土中		2019

フロントビーム



センタービーム



材 料 表

(1組当たり)

品 名	形状・寸法	数 量	単 位
パ イ プ	2-φ48.6× 2890~2995×2.3	1.0	組
中 間 支 間	φ60.5×1860×3.2	1.0	本
(端 末 支 柱)	φ60.5×1860×3.2	(2.0)	〃
反 射 テ ー プ		1.0	式

() 内端支間

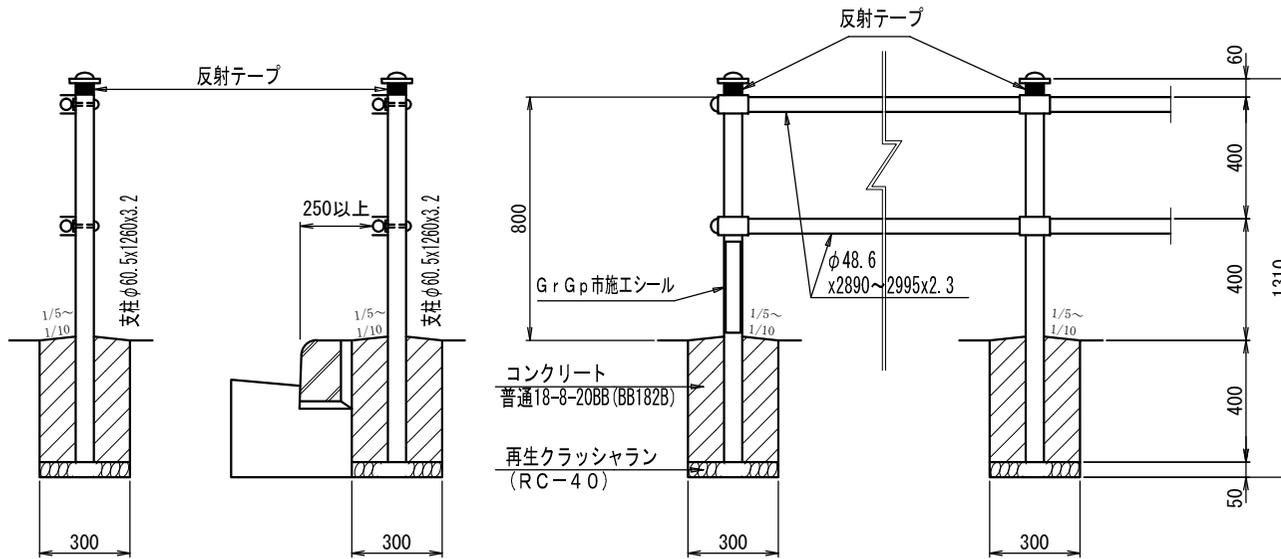
パイプ柵 P p (コンクリート根固め)

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	パイプ柵 P p	コンクリート 根固め		2019

一般

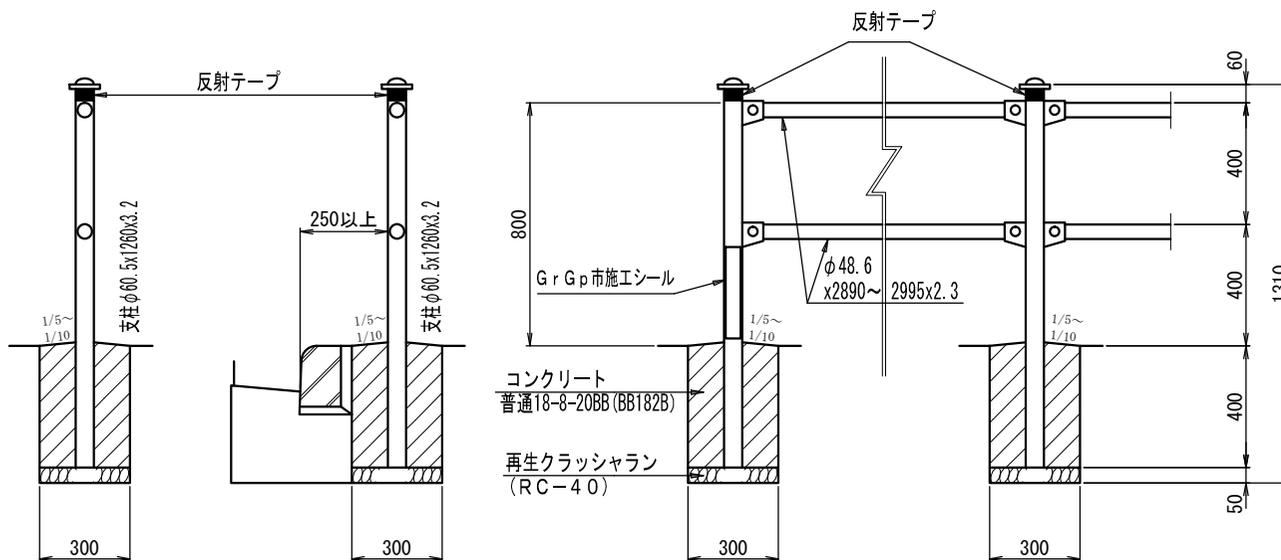
街きよ部

フロントビーム



注：歩行者側に使用するボルトは必ずボルト頭部を丸型とする

センタービーム



材料表

(1組当り)

品名	形状・寸法	数量	単位
パイプ	2-φ48.6× 2890~2995×2.3	1.0	組
中間支間	φ60.5×1260×3.2	1.0	本
(端末支柱)	φ60.5×1260×3.2	(2.0)	〃
再生クラッシャーラン	RC-40	(0.010) 0.005	m ³
コンクリート	普通T8-8-20BB (BB182B)	(0.070) 0.035	m ³
型枠		(0.960) 0.480	m ²
反射テープ		1.0	式

() 内端支間

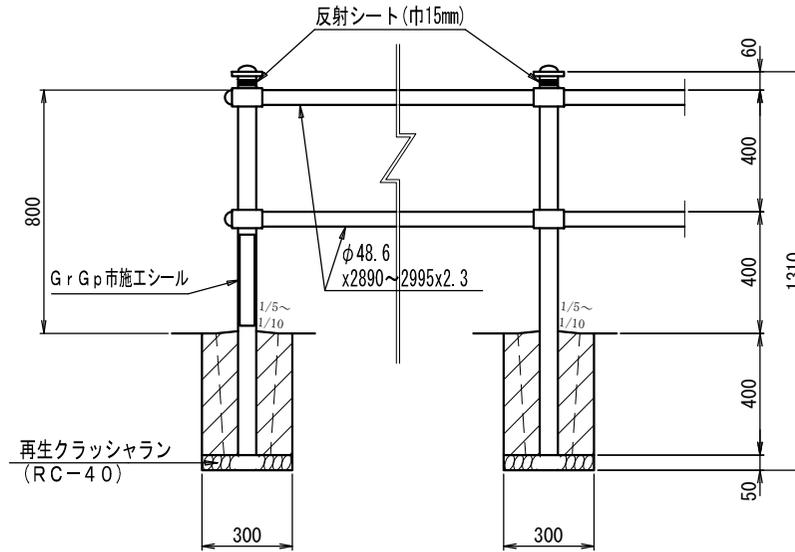
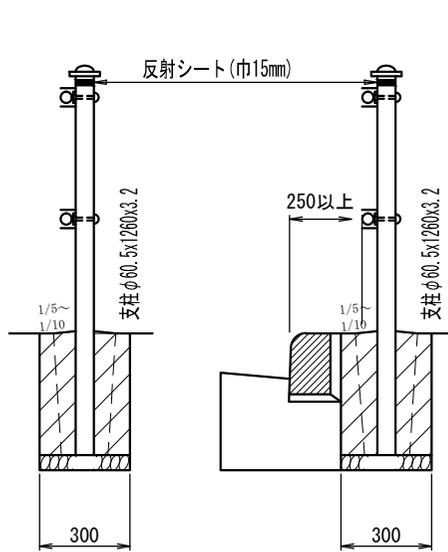
パイプ柵 Pp (プレキャストコンクリートブロック)

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	パイプ柵 Pp	プレキャスト コンクリートブロック		2019

一般

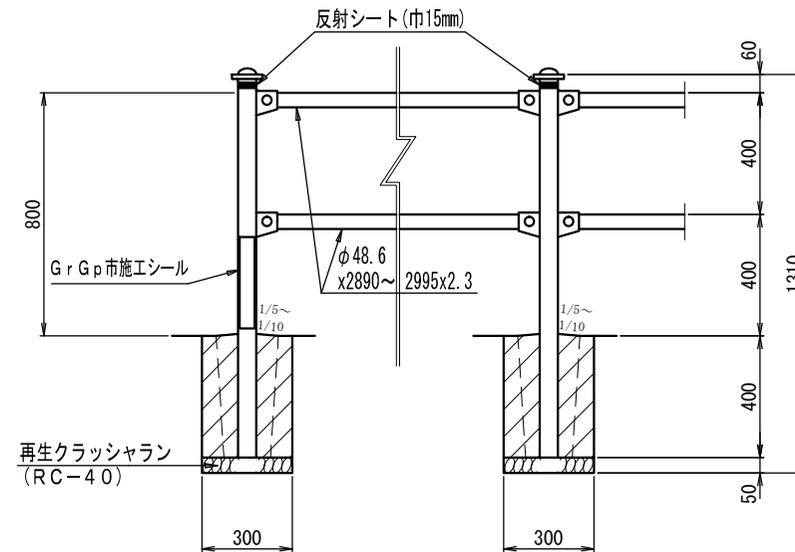
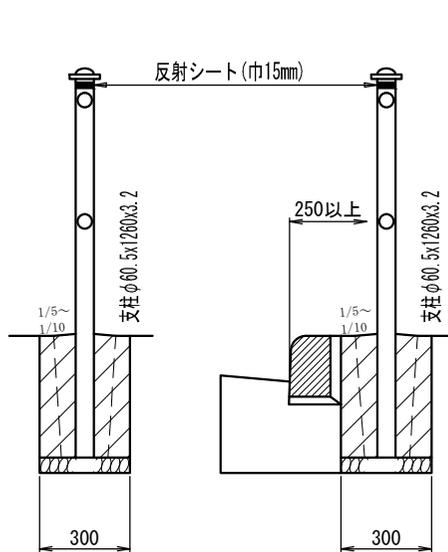
街きよ部

フロントビーム



注：歩行者側に使用するボルトは必ずボルト頭部を丸型とする

センタービーム



材料表

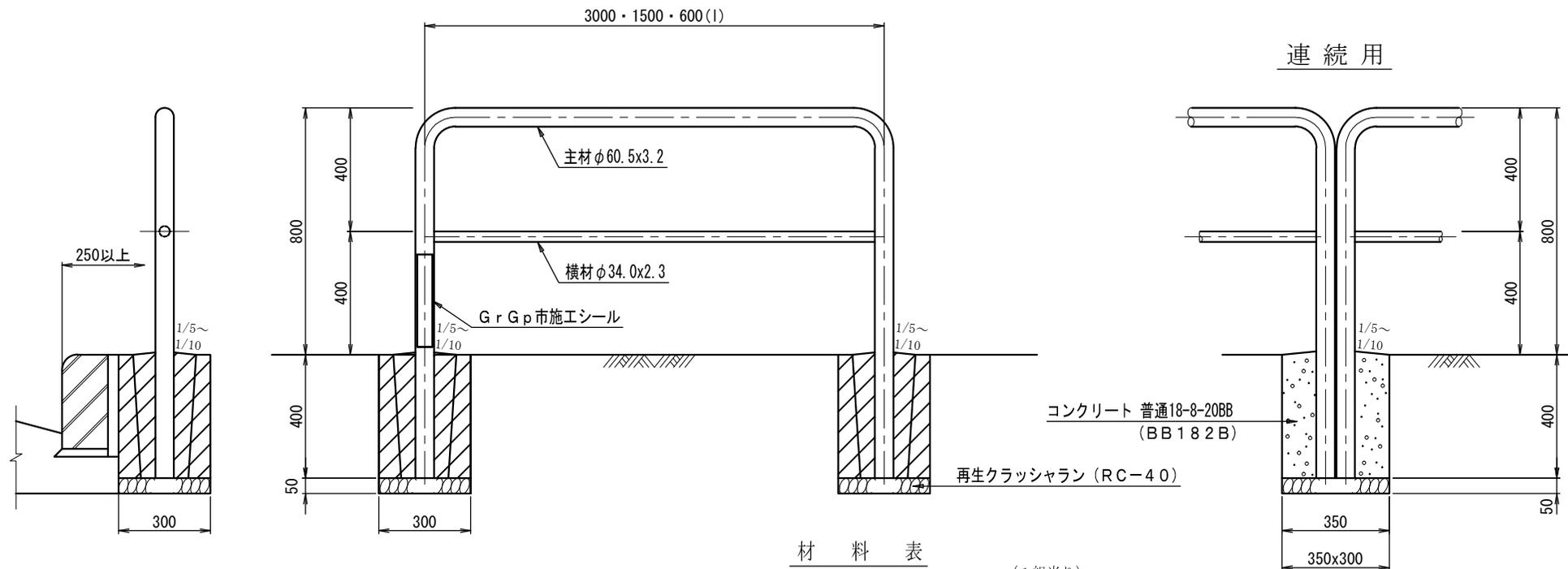
(1組当り)

品名	形状・寸法	数量	単位
パイプ	2-φ48.6×2890~2995×2.3	1.0	組
中間支間	φ60.5×1260×3.2	1.0	本
(端末支柱)	φ60.5×1260×3.2	(2.0)	〃
再生クラッシュラン	RC-40	(0.008) 0.004	m ³
プレキャスト コンクリートブロック	300×300×400	(2.0) 1.0	個
モルタル	1:3	-	m ³

() 内端支間

パイプ柵 P k

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	パイプ柵 P k	コンクリート 根固め	支間 1	2019.10



材 料 表 (1組当り)

品 名	形状・寸法	数 量	単 位
主 材	φ60.5×3.2×1500 600	1	組
横 材	φ34.0×2.3×1435~1440 535~540		

材料表 (プレキャストコンクリートブロック)
(1箇所当り)

品 名	形状・寸法	数 量	単 位
再生クラッシュラン	RC-40	0.004	m ³
プレキャスト コンクリートブロック	300×300×400	1	個
モルタル	1:3	—	m ³

材料表 (コンクリート根固め・連続用)
(1箇所当り)

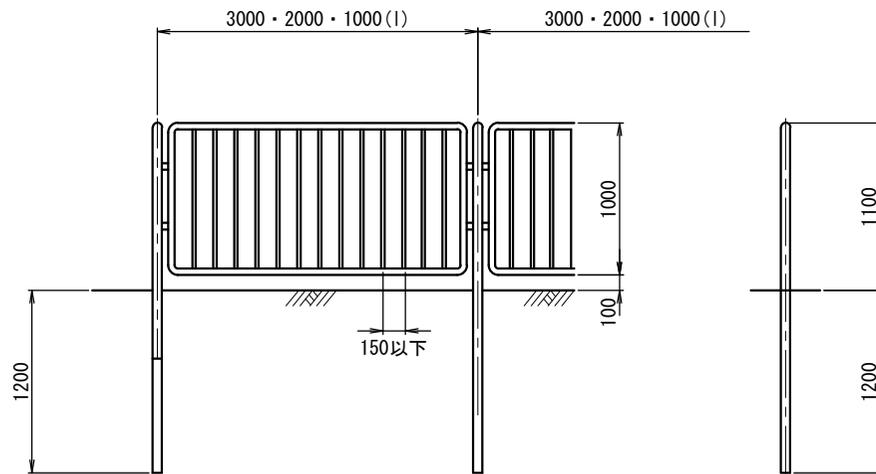
品 名	形状・寸法	数 量	単 位
再生クラッシュラン	RC-40	0.005	m ³
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.039	m ³
型 枠		0.366	m ²

※ 連続用基礎はコンクリート根固めを基本とするが、プレキャストコンクリートブロックを用いることができる。

転落防止用パイプ柵（P2）（土中設置）

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	転落防止用パイプ柵 P2	土中設置	支間 1	2019

土中設置



材 料 表

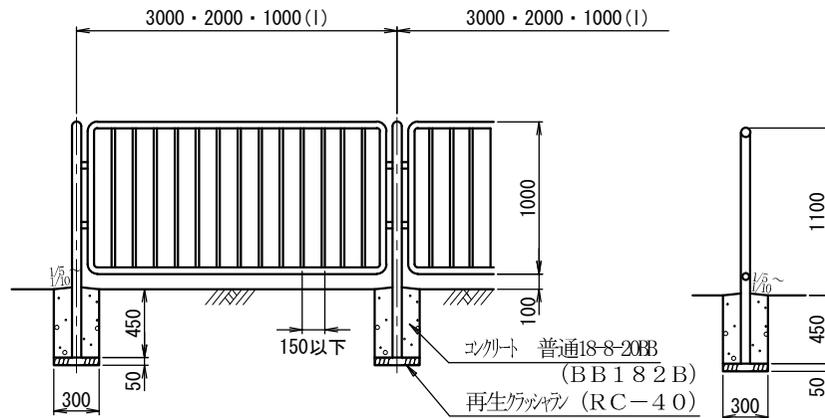
(100m当り)

品名	形状・寸法	単位	支間長 (m)		
			1.00	2.00	3.00
パイプ柵	パイプ φ21.7×1.9 ～φ42.7×2.3 ×2820 ～2830.7 ×1000 支柱 φ60.5×2300 ×3.2	組	100.0	50.0	33.3

転落防止用パイプ柵 (P2) (コンクリート根固め設置)

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	転落防止用パイプ柵 P2	コンクリート根固め設置	支間 1	2019

コンクリート根固め設置



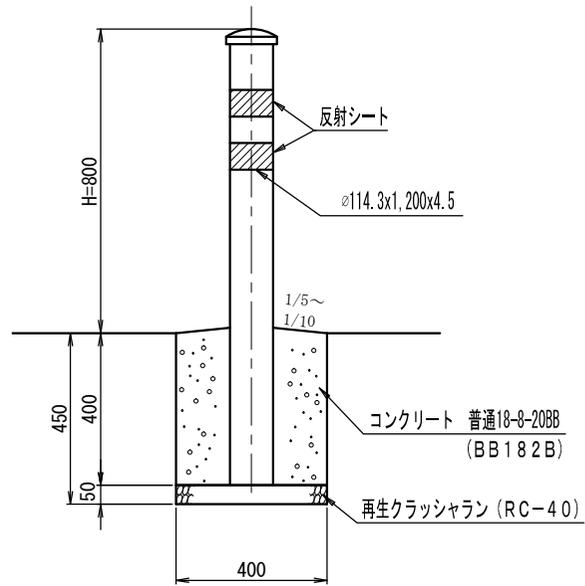
材 料 表

(100m当り)

品名	形状・寸法	単位	支間長 (m)		
			1.00	2.00	3.00
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	3.9	2.0	1.3
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	0.5	0.2	0.2
型 枠		m ²	54.0	27.0	18.0
パイプ柵	パイプ φ21.7×1.9 ~φ42.7×2.3 ×2820 ~2830.7 ×1000 支柱 φ60.5×1550 ×3.2	組	100.0	50.0	33.3

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	車乗り入れ 防止柱			2019

車乗り入れ防止柱



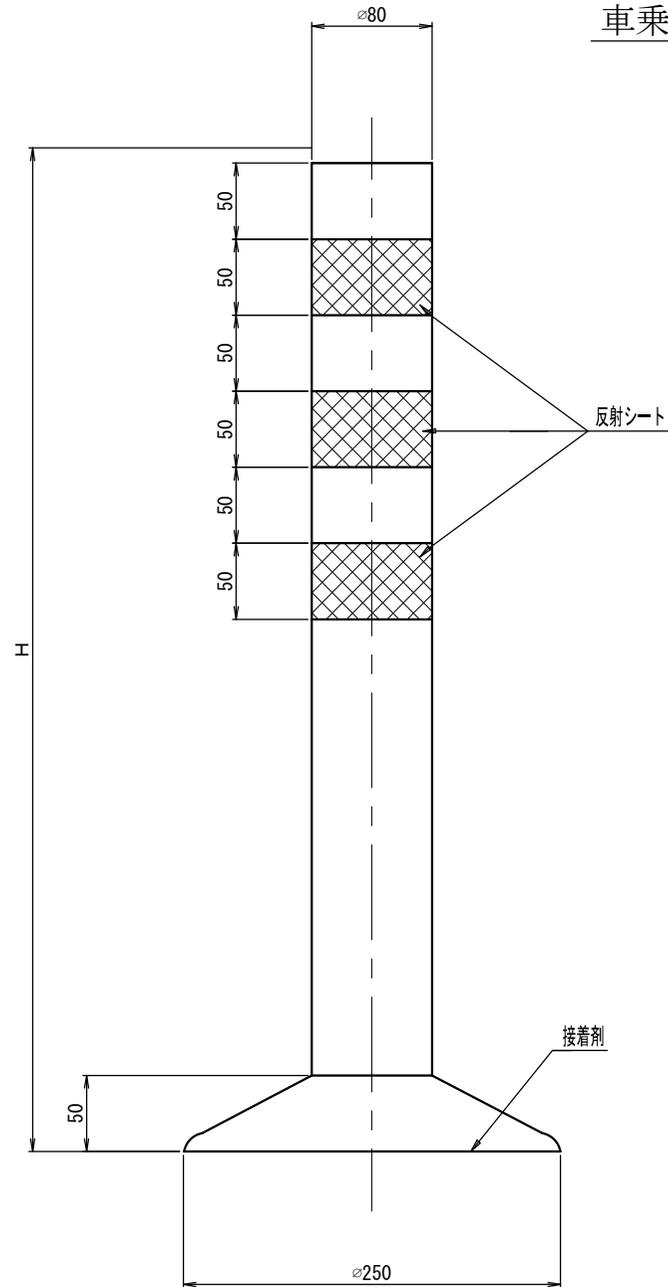
材 料 表

(1箇所当り)

品名	形状寸法	単位	数量
柱	φ114.3×1,200×4.5	本	1.0
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	0.064
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	0.008
型 枠		m ²	0.640
反 射 シ ー ト		式	1.0

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	車乗り入れ 防止柱	ソフト タイプ	H	2019

車乗り入れ防止柱（ソフトタイプ）



材 料 表

(1本当たり)

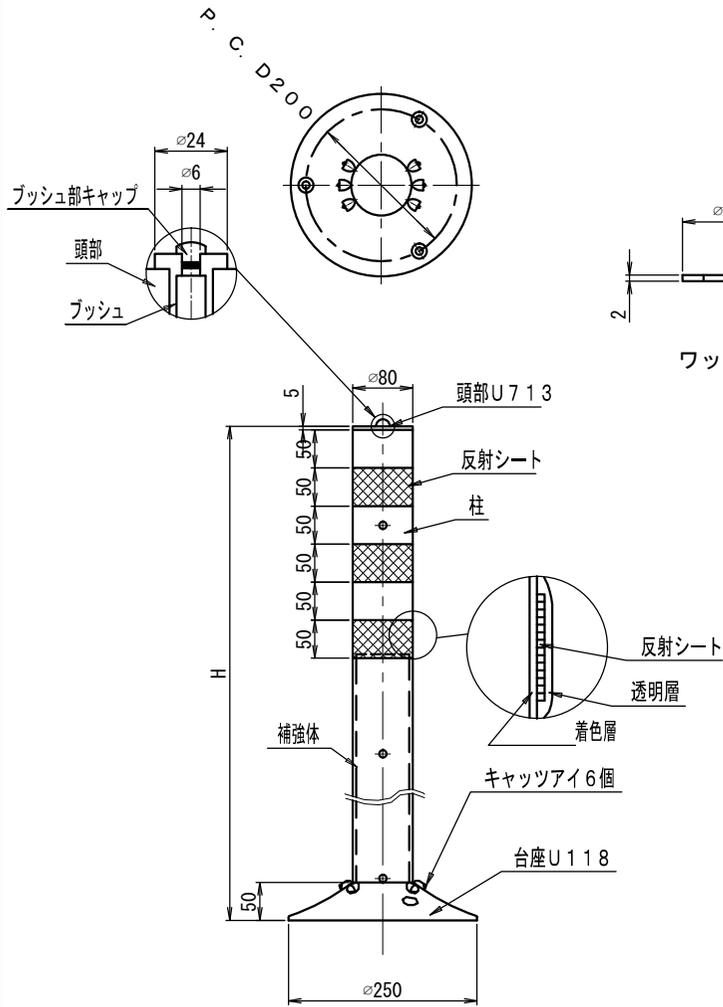
品 名	形 状 寸 法	単 位	数 量		
			400	650	800
柱	φ80 (反射シート付)	本	1.0	1.0	1.0
接 着 剤	2液式エポキシ	g	350	350	350

寸 法 表

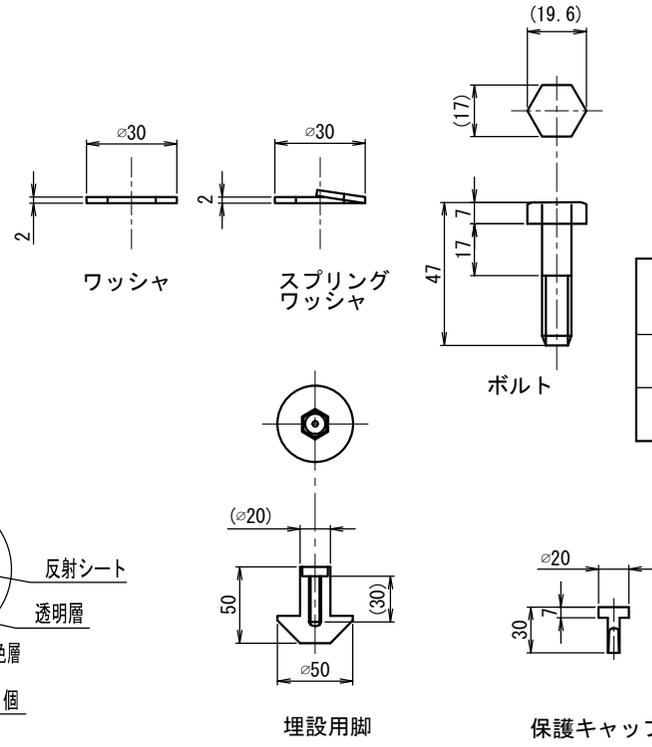
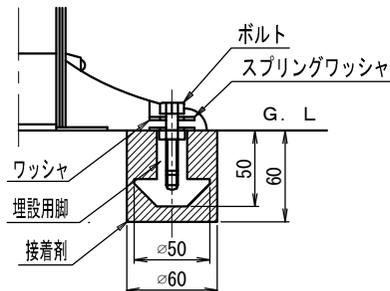
H=400
H=650
H=800

車乗入れ防止柱 (ソフトタイプ) 着脱3本脚

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	車庫入れ防止柱	ソフトタイプ 着脱3本脚	H	2019

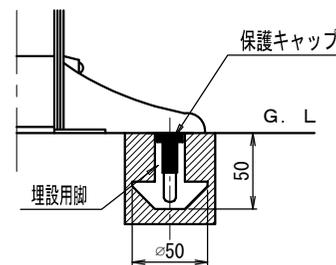


設置時



着脱3本脚の設置状態図

撤去時 (保護キャップ使用)

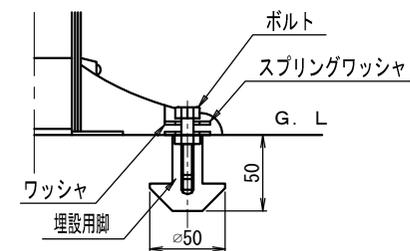


材料表

(1本当たり)

品名	形状・寸法	単位	数量		
			H=400	H=650	H=800
柱	φ80	本	1	1	1

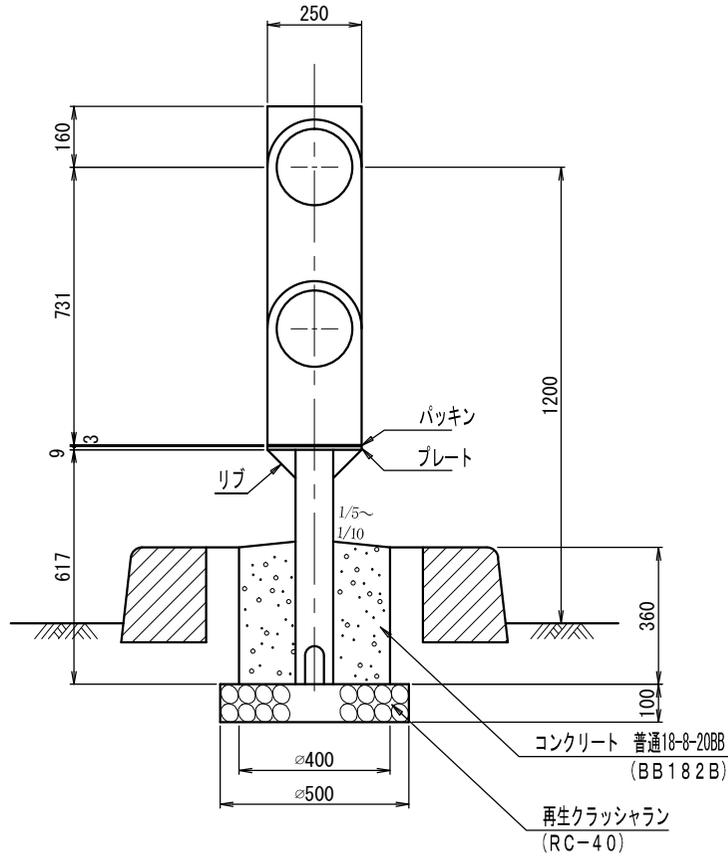
セット図



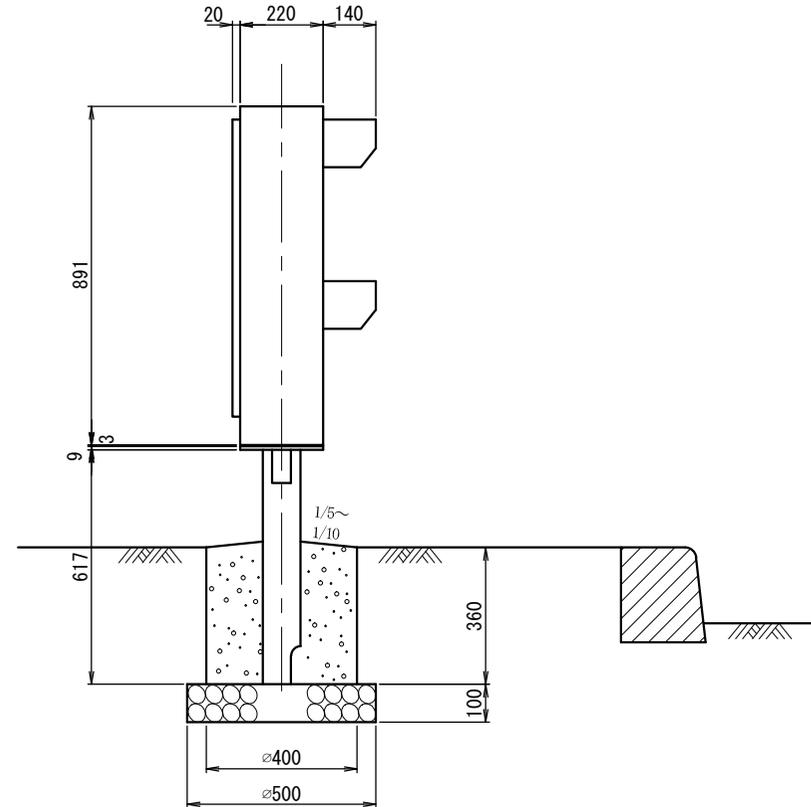
障害物表示灯

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	障害物 表示灯			2019

正面図



側面図



材料表

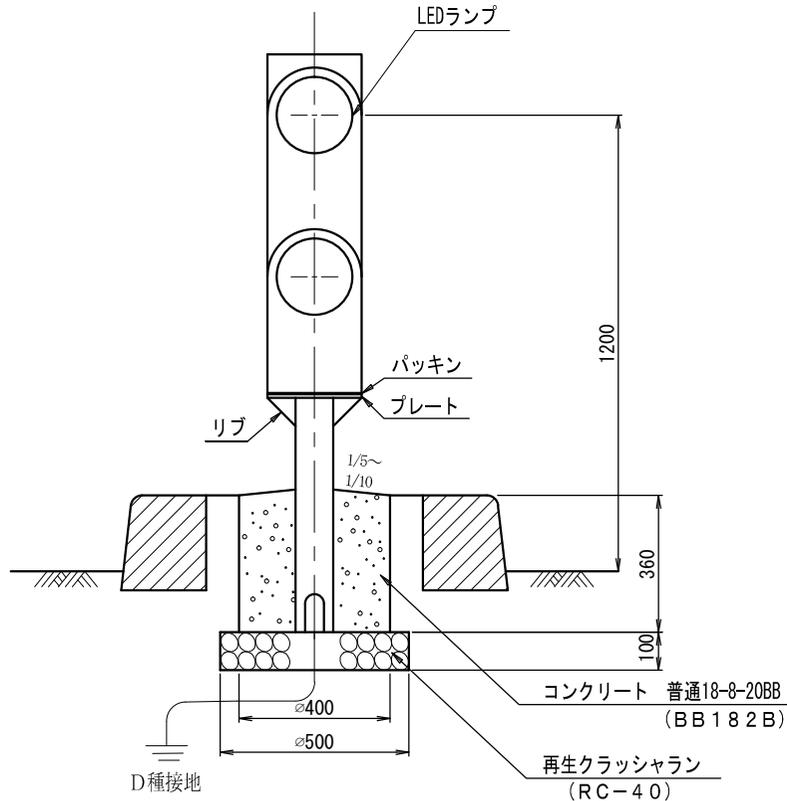
(1基当り)

品名	形状寸法	数量	単位	備考
障害物表示灯	ランプユニット $\phi 200 \times 2$ 灯	1	基	パッキン t=3 } 含む プレート t=9 } 含む
取付脚	STK-400 $\phi 114.3 \times 3.5$	1	本	
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	0.04	m ³	
型枠	スパイラルダクト $\phi 400$	0.36	m	
再生クラッシャーラン	RC-40	0.02	m ³	

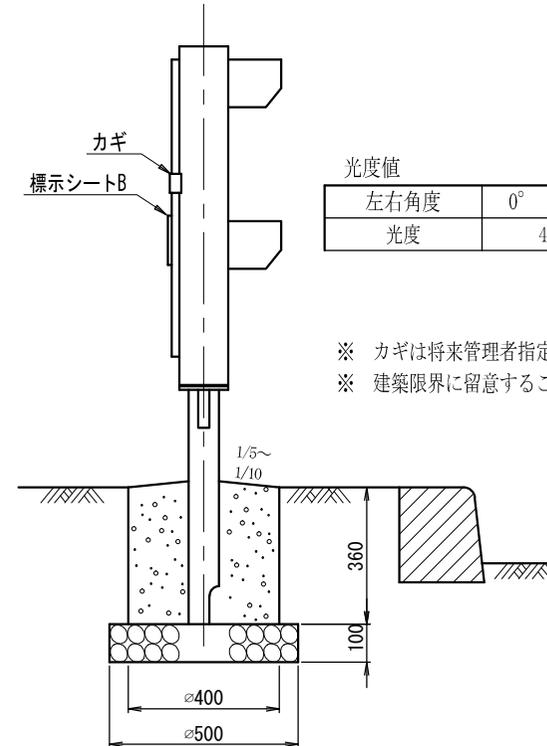
障害物表示灯(LED 2 灯用) S=1/20

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	障害物表示灯	LED 2 灯用		2019

正面図



側面図



光度値

左右角度	0° (正面)	20°	40°
光度	400cd	75cd	20cd

- ※ カギは将来管理者指定のものを使用する。
- ※ 建築限界に留意すること。

材 料 表

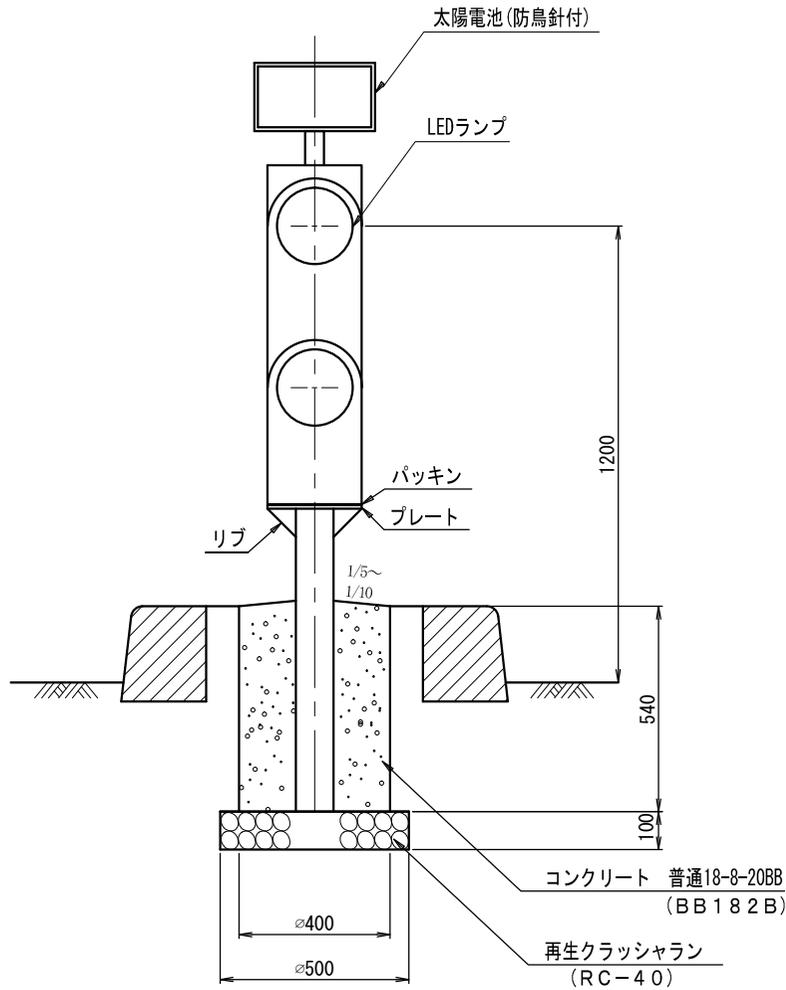
品名	形状寸法	数量	単位	備考
障害物表示灯	LEDランプ φ200×2灯	1	基	パッキン t=3 プレート t=9) 含む
取付脚	STK-400 φ76.3×3.2	1	本	リブ t=4.5×2枚含む
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	0.04	m ³	
型 枠	スパイラルダクトφ400	0.36	m	
再生クラッシュラン	RC-40	0.02	m ³	
標示シート	B	1	枚	

※ 既設の表示灯本体のみを取り替える場合、寸法の異なる取付脚(STK-400 φ114.3×3.5)に LED2灯用の本体を取り付けることができる。その場合、別途取付金具が必要となる。

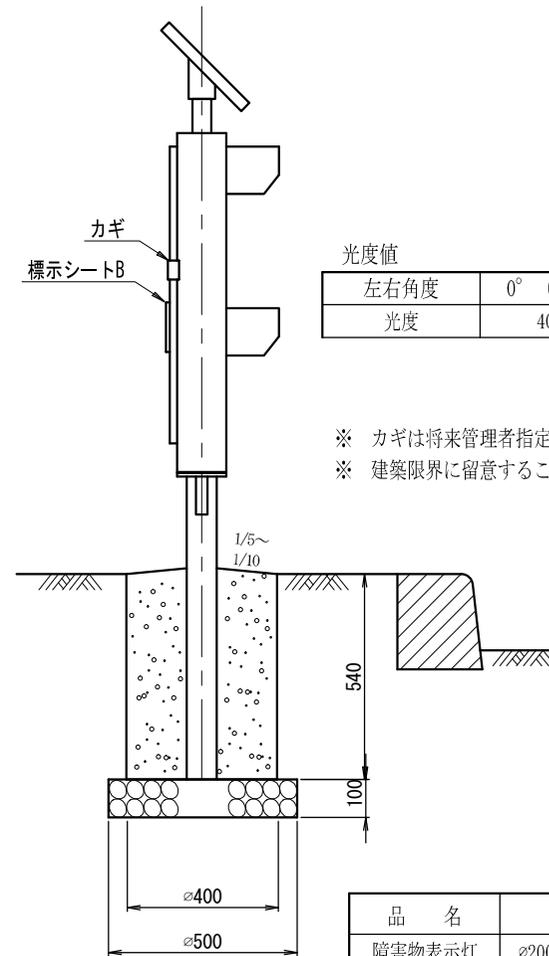
障害物表示灯(ソーラー式LED) S=1/20

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	障害物表示灯	ソーラー式LED		2019

正面図



側面図



光度値

左右角度	0° (正面)	20°	40°
光度	400cd	75cd	20cd

- ※ カギは将来管理者指定のものを使用する。
- ※ 建築限界に留意すること。

材料表

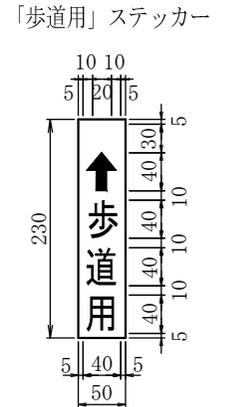
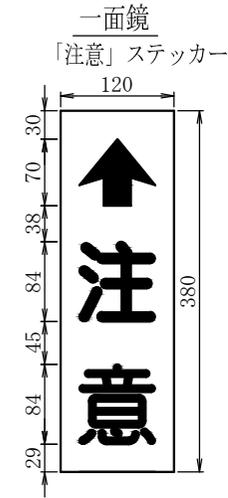
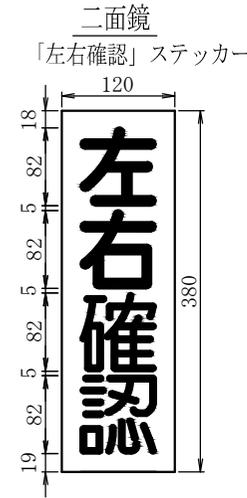
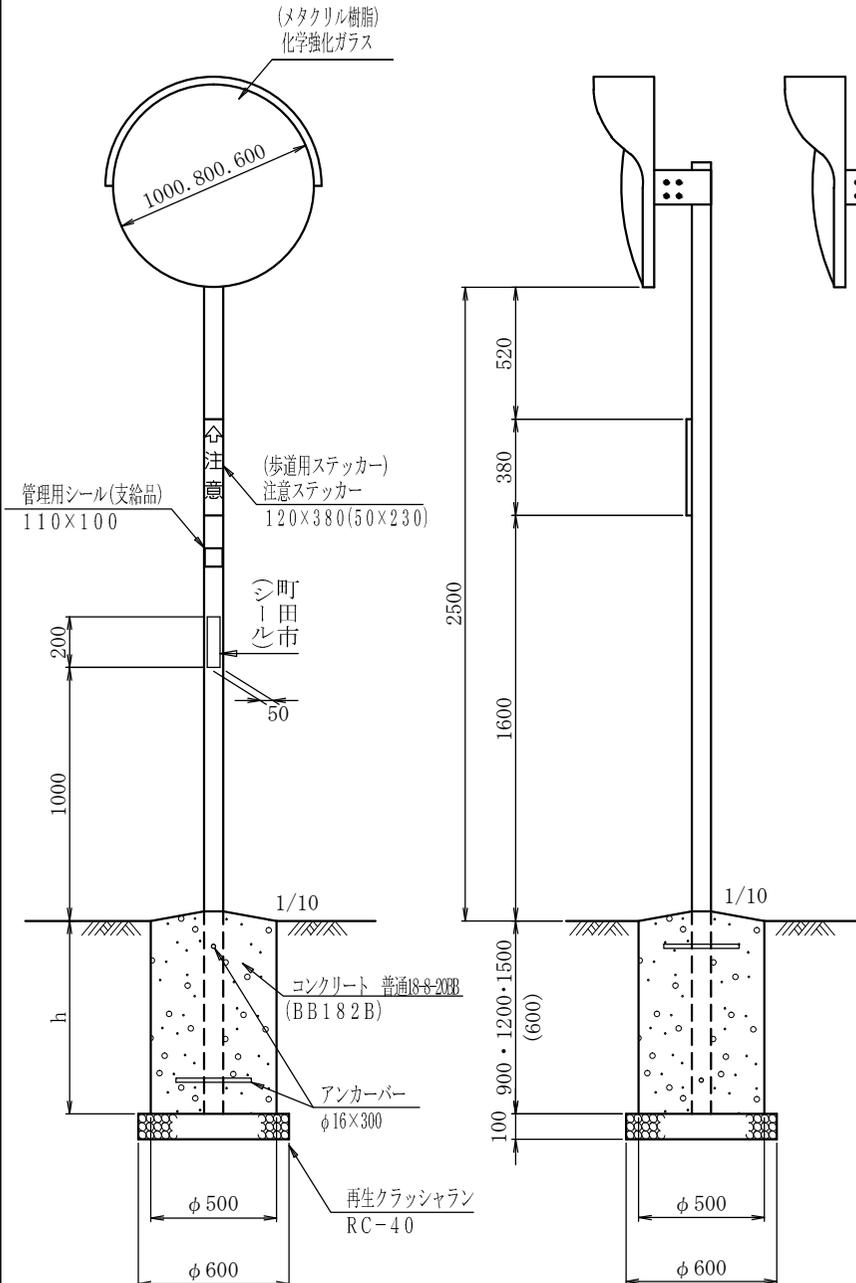
(1基当り)

品名	形状寸法	数量	単位	備考
障害物表示灯	φ200×2灯 蓄電池内蔵	1	基	パッキンt=3 プレートt=9)含む
太陽電池	DC12V	1	基	取付脚、防鳥針含む
取付脚	STK-400 φ76.3×3.2	1	本	リブt=4.5×2枚含む
コンクリート	普通18-8-20BB(BB182B)	0.06	m ³	
型枠	スパイラルダクトφ400	0.54	m	
再生クラッシュラン	RC-40	0.02	m ³	
標示シート	B	1	枚	

- ※ 基礎の大きさが、障害物表示灯(LED2灯用)等と異なるため、注意する。
- ※ 不日照補償日数は、満充電状態より7日間とする。

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	道路 反射鏡	一面鏡 二面鏡		2019

道路反射鏡



サイズ	120×380
素地	灰色
文字	青色
材質	高輝度反射シート

サイズ	120×380
素地	灰色
文字	青色
矢印	赤色
材質	高輝度反射シート

サイズ	50×230
素地	白色
文字	黒色
矢印	赤色
材質	高輝度反射シート

形状組合せ材料表 (丸型)

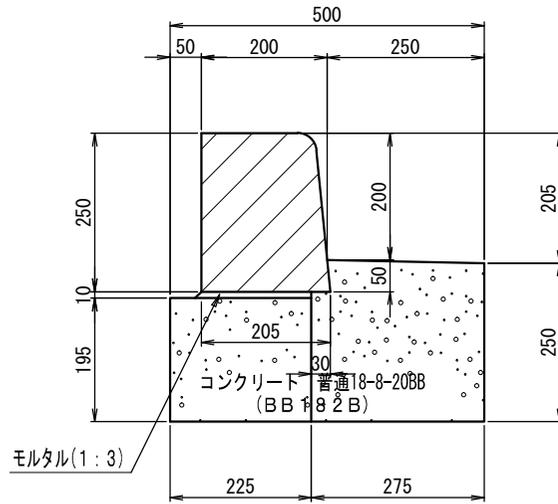
型式	支柱	h (mm)	再生クラッシュラン RC-40 (m ³)	コンクリート 普通18-8-20BB (BB182B) (m ³)	型 枠
					型 枠 φ500 スパイラルダクト(m)
1-φ600	φ76.3×3.2×3600	600	0.03	0.12	0.6
1-φ800	φ76.3×3.2×4000	900	0.03	0.17	0.9
2-φ600	φ76.3×3.2×4000	900	0.03	0.17	0.9
2-φ800	φ89.1×3.2×4400	1200	0.03	0.23	1.2
1-φ1000	φ89.1×3.2×4000	1200	0.03	0.23	1.2
2-φ1000	φ101.6×4.0×4800	1500	0.03	0.28	1.5

(注) 1. 狭い幅員の道路において、道路端に側溝等がある場合は曲支柱を用いたり、路端側の余堀をなくし鏡面が路端にくる様考慮すること。

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	分離帯	一般		2019

分離帯(一般)

横断面図

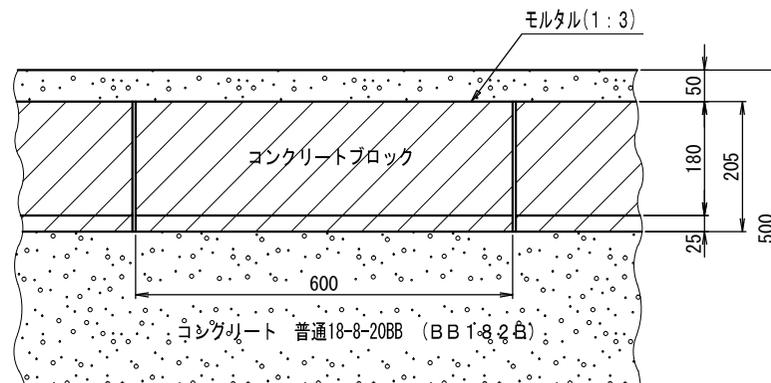


材料表

(100m当り)

品名	形状寸法	単位	数量	摘要
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	11.2	
コンクリートブロック	180×250×600	本	165.0	69 kg/個
モルタル	1:3	m ³	0.2	敷モルタル用
型枠		m ²	64.0	

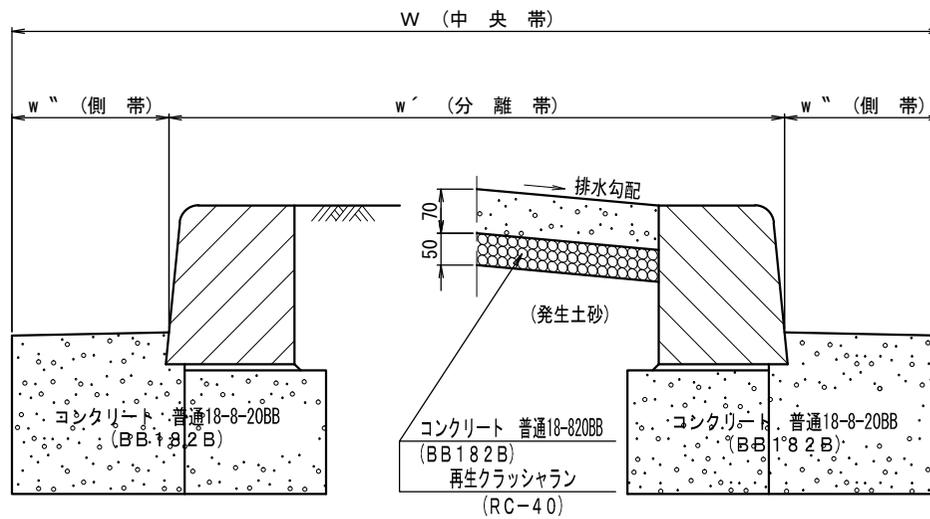
平面図



(注) 各ブロックの間には、目地モルタルを施すこと。

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	中央分離帯構造		W	2019.10

中央分離帯構造



材 料 表

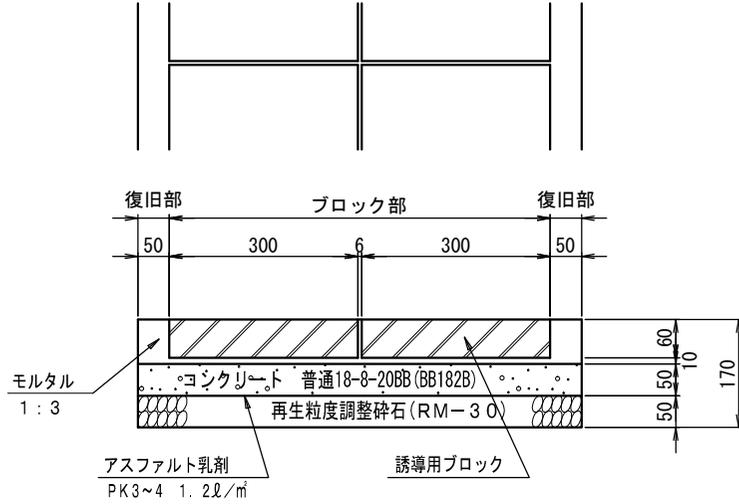
(100㎡当り)

品名	形状・寸法	数量	単位
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	7.00	m ³
再生クラッシュラン	RC-40	5.0	〃

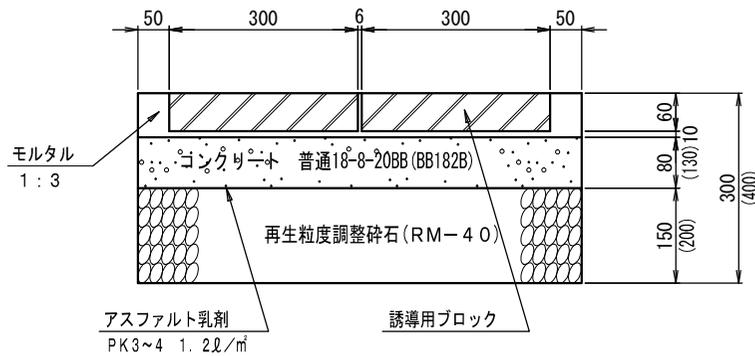
誘導用ブロック

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	誘導用ブロック	一般部 切下部		2019

一般部



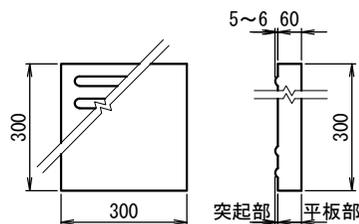
切下部



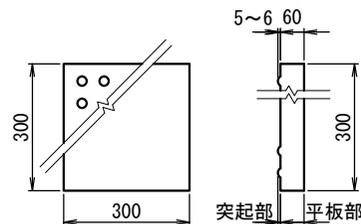
寸法数字は切下舗装A、B、C型 () 表示はD型を示す。

誘導用ブロック構造

線状ブロック



点状ブロック



一般部材料表

(100m当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
誘導用ブロック	300×300×60	枚 (m ²)	653.6 (60.6)	11 kg/個
再生粒度調整砕石	RM-30	m ³	3.5	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	3.5	
モルタル	1:3	m ³	1.3	
アスファルト乳剤	PK3~4	kl	0.085	

切下部材料表

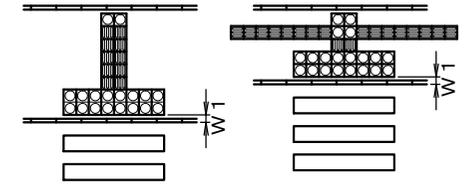
(100m当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
誘導用ブロック	300×300×60	枚 (m ²)	653.6 (60.6)	11 kg/個
再生粒度調整砕石	RM-40	m ³	10.6 (14.1)	
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	5.6 (9.2)	
モルタル	1:3	m ³	1.3	
アスファルト乳剤	PK3~4	kl	0.085	

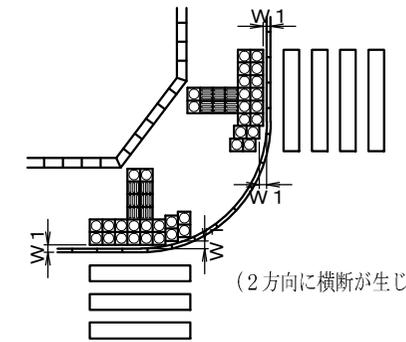
注) 寸法数字は、切下舗装A、B、C型、() 表示は、D型を示す。

設置例

平面的に車両等と混合交通になる箇所の直前の場合歩道切下げ平坦部の延長線内側に設置する。ただし、防護柵、信号機等視覚障害者の歩行を遮る物から30~60cm離すこと。



(継続的直線方向を案内している場合)

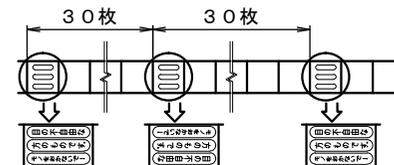


(2方向に横断が生じる場合)

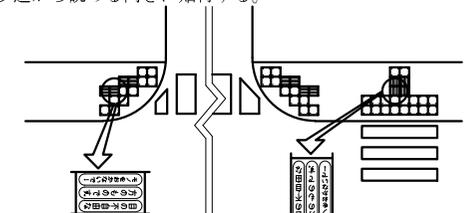
(注) W1:30cm程度 (歩道端からブロック端まで)

PR用のシートの設置

- (1) 誘導用ブロックの設置目的について、住民の理解と協力を得るため、PR用シートを貼付し、放置物件の一扫を図ることにより、視覚障害者の安全な歩行を確保する。
- (2) 全面誘導については、おおむね1.0m(30枚)に1箇所設置し、向きを互い違いに貼付する。
- (3) 部分誘導については、2箇所1箇所程度設置し、歩道から読める向きに貼付する。



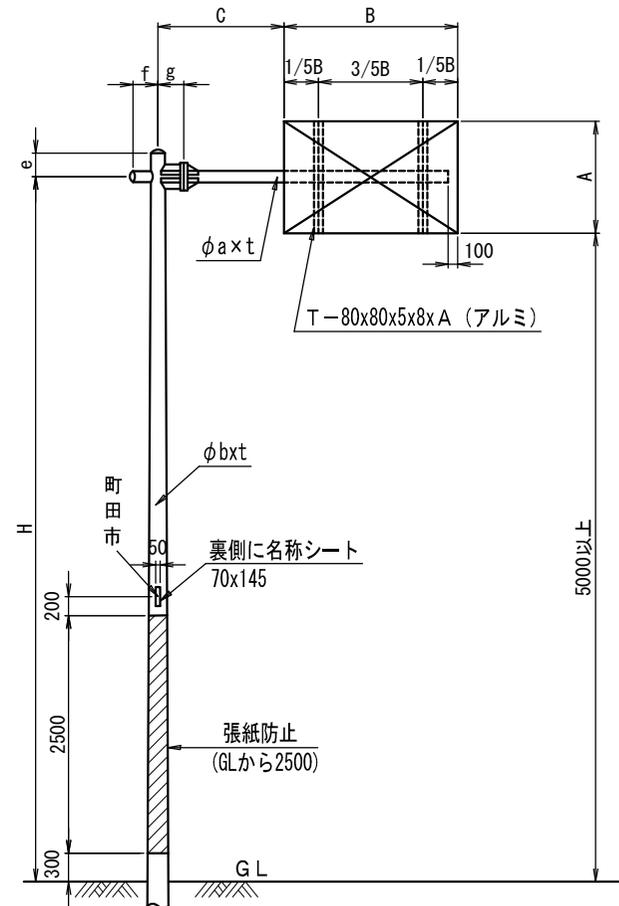
全面誘導(向きを交互に変える)



部分誘導

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	オーバー ハング式 道路標識	固定式 逆L型	A×B C	2019

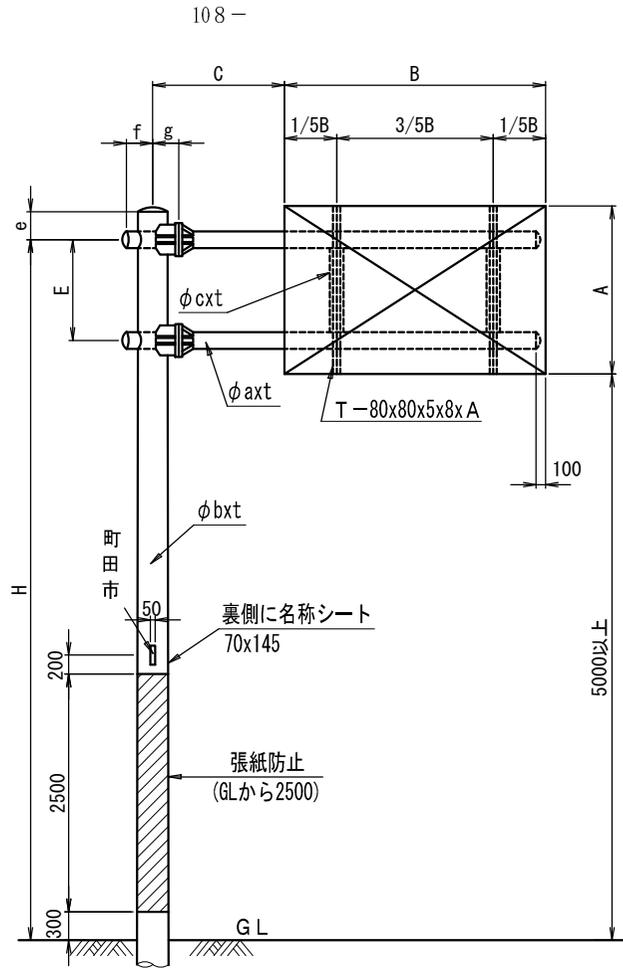
オーバーハング式道路標識（固定式、逆L型）



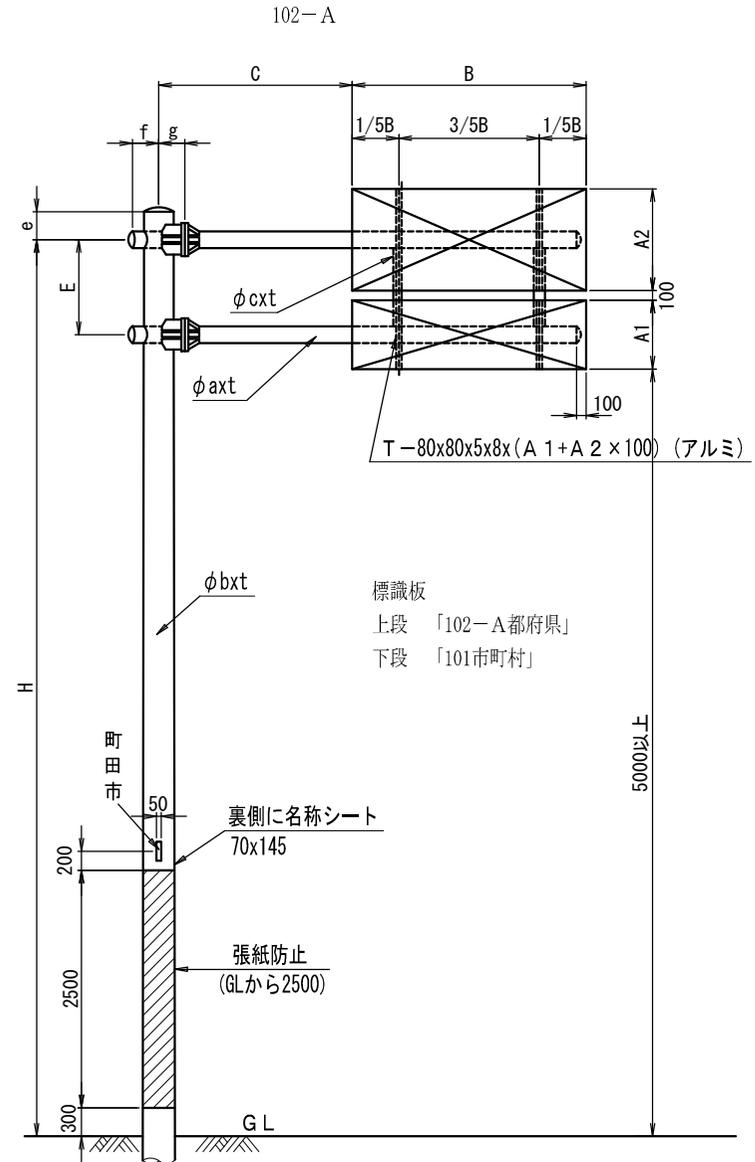
標識板 耐食アルミ t=2.0
 補強材 アルミスライド ctc 30cm以内
 反射装置付
 通しボルトを各吊材につき4ヶ所使用して、
 アルミスライドと固定する。

オーバーハング式道路標識（固定式、F型）

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	オーバー ハング式 道路標識	固定式 F型	A×B C	2019



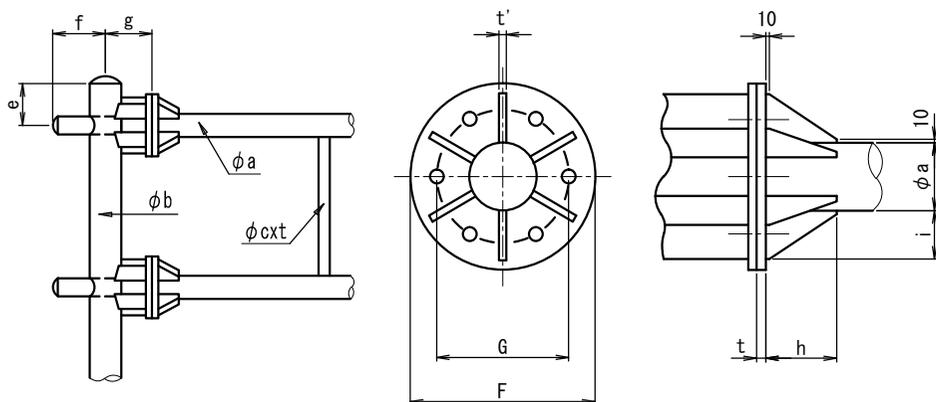
標識板 耐食アルミ t=2.0
 補強材 アルミスライド ctc 30cm以内
 反射装置付
 通しボルトを各吊材につき4個使用して、
 アルミスライドと固定する。



オーバーハング式道路標識

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	オーバーハング式道路標識	取付け詳細		2019

梁、支柱取付け部



材 料 表

(注) ナットはダブルナットを使用すること。

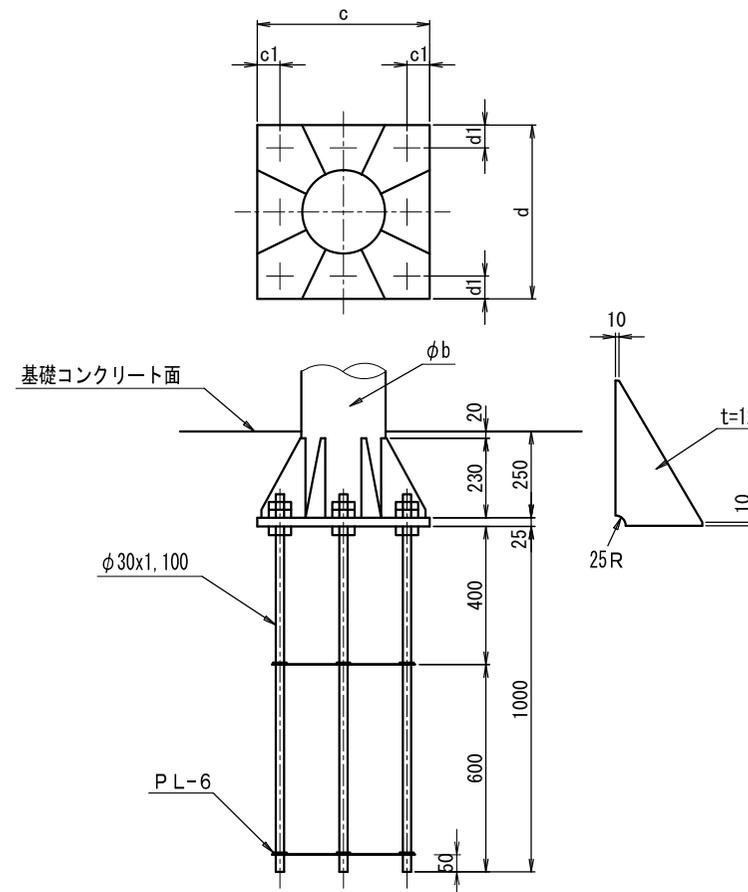
ϕa	ϕb	e	f	g	F	G	t	ボルト数	ボルト径	h	i	t'
89.1	139.8	150	200	200	220	155	12	6	20	100	55	6
"	216.3	200	250	250	"	"	"	"	"	"	"	"
101.6	216.3	250	"	"	230	165	"	"	"	"	"	"
139.8	216.3	"	"	"	290	215	16	"	22	120	65	"
"	267.4	"	300	300	"	"	"	"	"	"	"	"
"	318.5	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
165.2	318.5	350	350	350	340	250	22	8	24	140	75	9
190.7	318.5	"	"	"	350	270	"	"	"	"	"	"

材 料 表

ϕa	$\phi c \times t$
$\phi 89.1 \sim \phi 114.3$	$\phi 76.3 \times 2.8$
$\phi 139.8 \sim \phi 190.7$	$\phi 89.1 \times 3.2$

ベースプレート部

支柱径 (ϕb) $\phi 216.3$ 以上はベースプレート付とする。

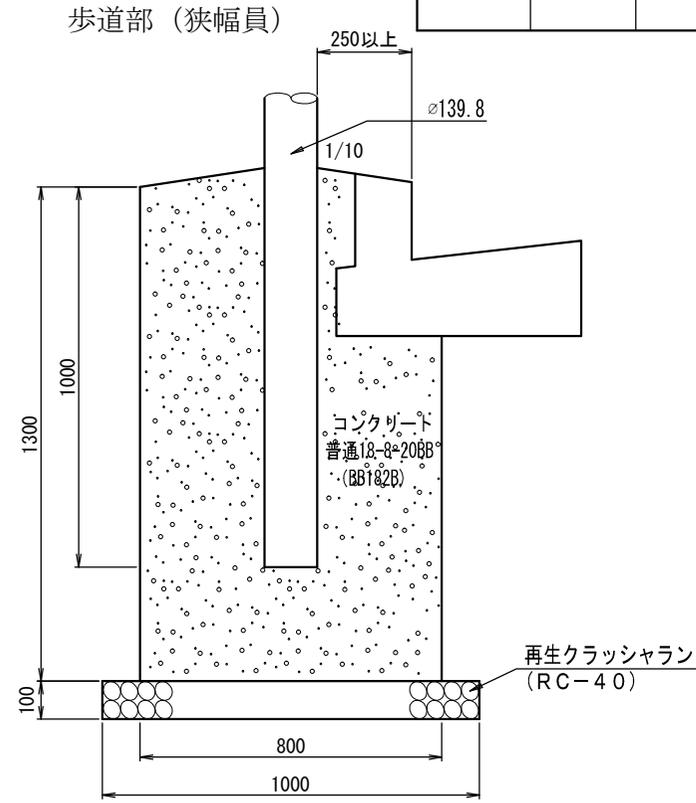
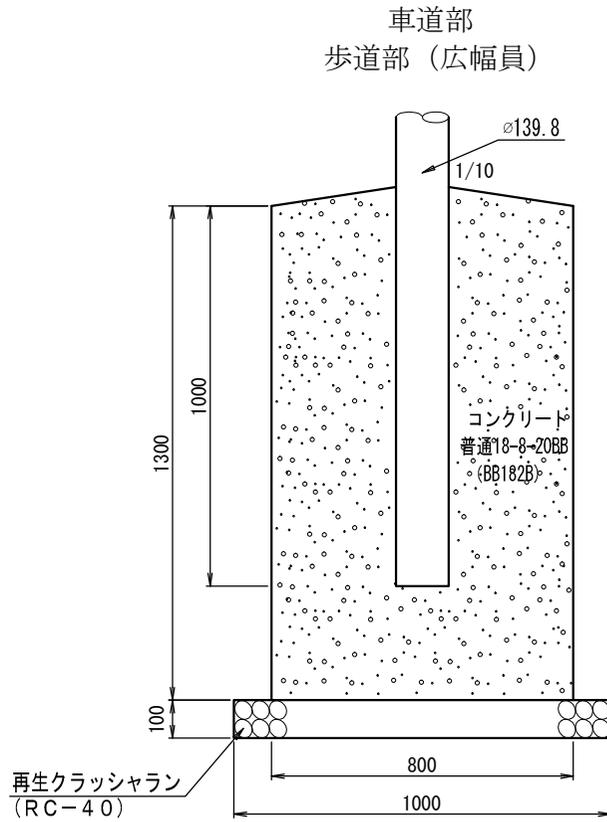


材 料 表

支柱径 ϕb	ベースプレート $c \times d \times t$	$c1,$ $d1$	リ ブ	リブ 枚数	アンカーボルト	アンカーボルト 本 数	アンカーボルト用 プレート
216.3	450×450×25	70	230×110×12	8	$\phi 30 \times 1,100$	8	12PL 370×60×6
267.4	550×550×25	"	230×140×12	"	"	"	12PL 470×60×6
318.5	650×650×25	"	230×170×12	"	"	"	12PL 570×60×6

案内標識基礎 (φ139.8)

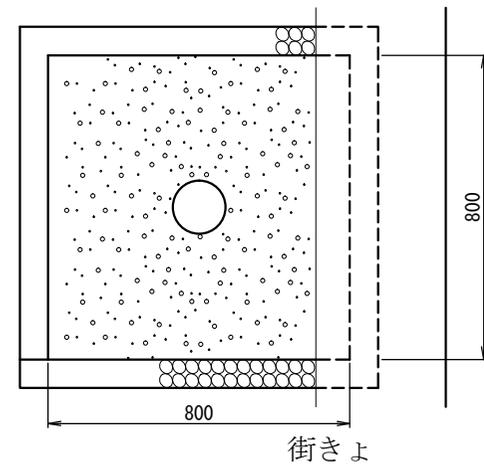
工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	案内標識 基礎	φ139.8		2019



材 料 表

(1箇所当り)

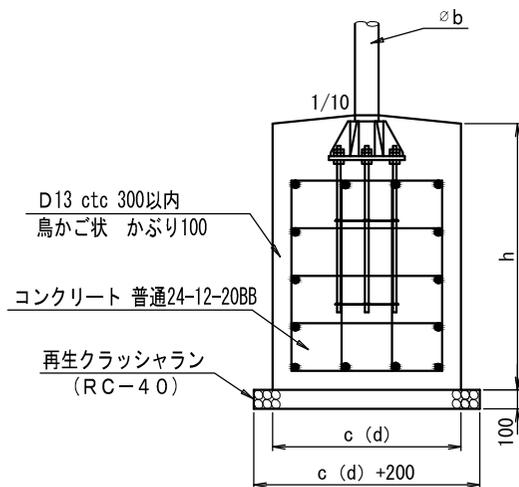
材料名	c × d × h	0.80 × 0.80 × 1.30
コンクリート (m³)	車道部	0.82
	歩道部	0.74
再生クラッシュランRC-40 (m³)		0.10
型 枠 (m³)		4.16



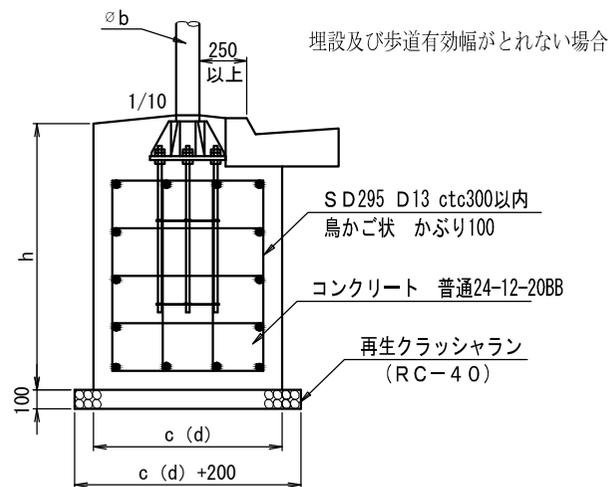
案内標識基礎 (φ216.3~318.5)

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	案内標識 基礎	φ216.3 ~318.5		2019

歩道部 (1)

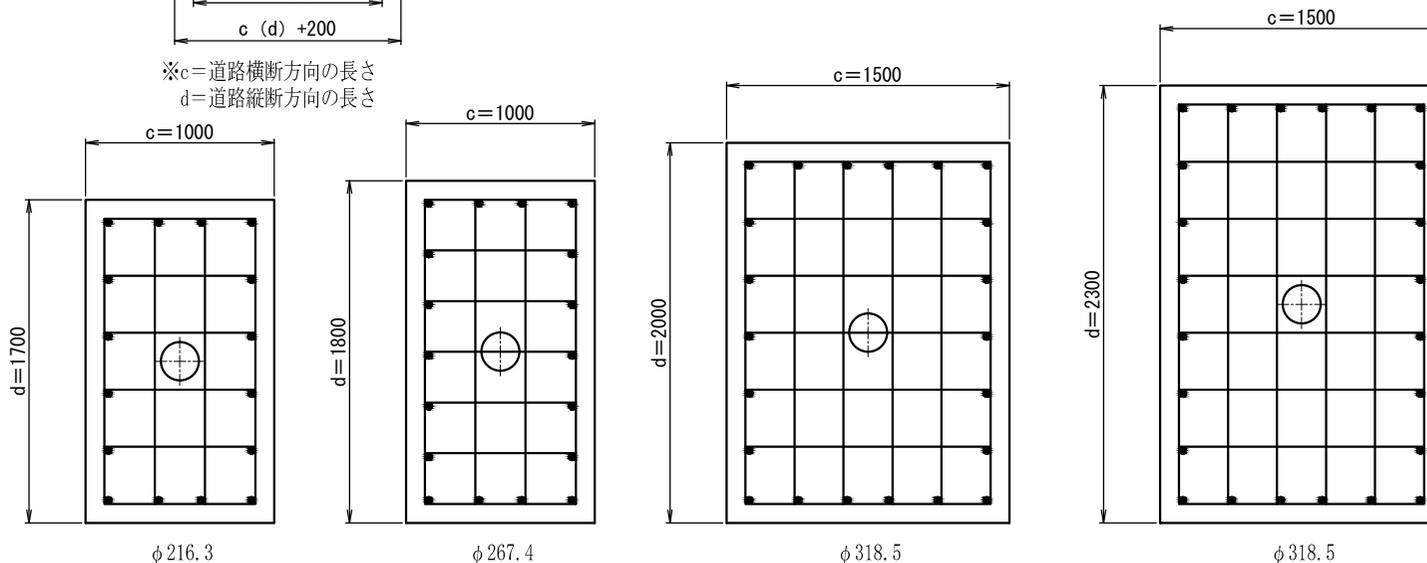


歩道部 (2)



※c=道路横断方向の長さ
d=道路縦断方向の長さ

平面図



材 料 表

品 名		c × d × h			
		1.00 × 1.70 × 1.50	1.00 × 1.80 × 1.50	1.50 × 2.00 × 1.50	1.50 × 2.30 × 1.50
コンクリート (m ³)	歩道部(1)	2.54	2.69	4.48	5.16
	歩道部(2)	2.34	2.49	4.10	4.72
鉄筋 (kg)		51.14	56.12	80.00	89.95
再生クラッシュラン (m ³)		0.23	0.24	0.37	0.43
型 枠 (m ²)		8.10	8.40	10.50	11.40

(1箇所当り)

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	案内標識寸法表		A×B C	2019

案内標識寸法表

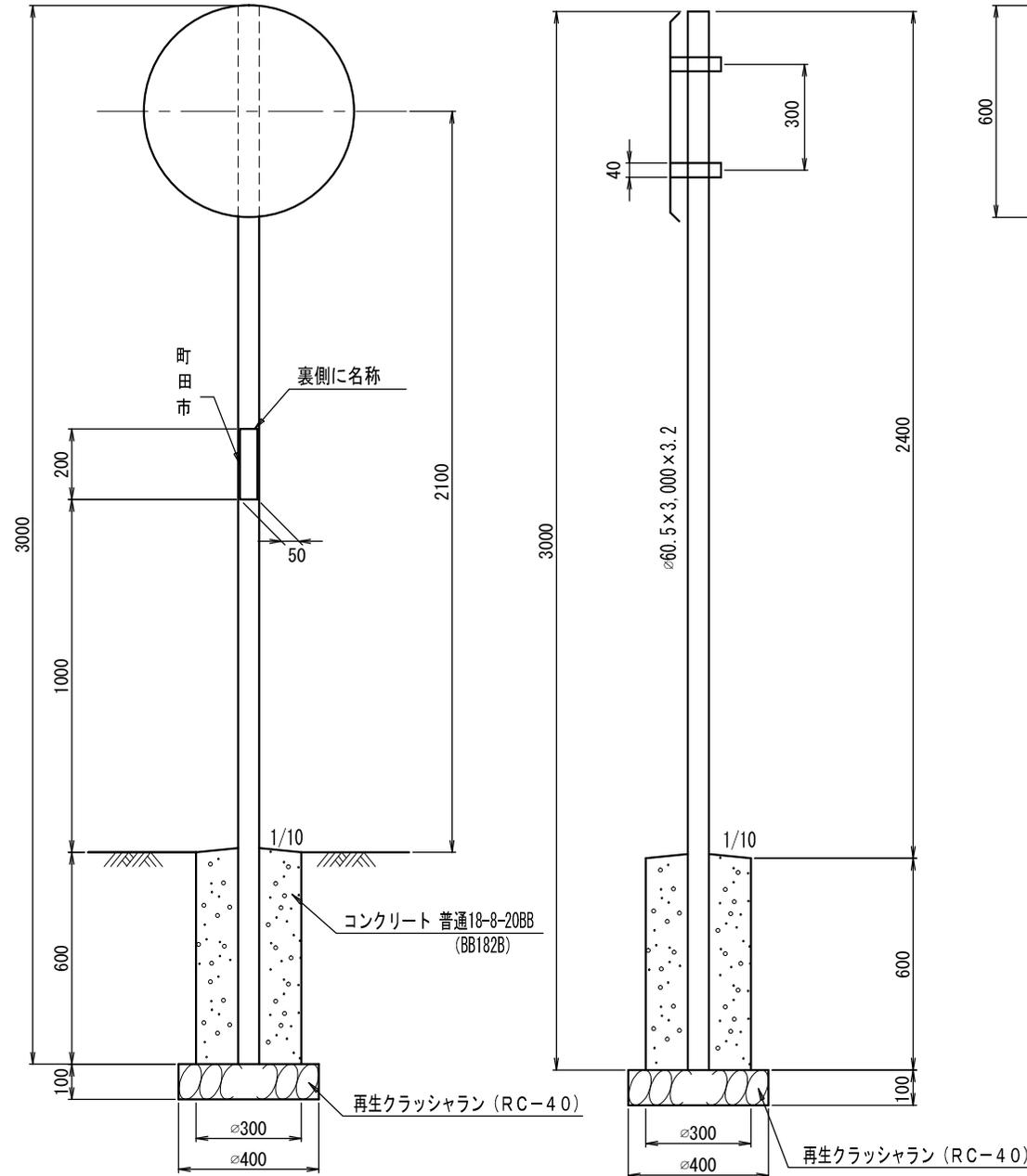
種類	文字の大きさ (cm)	文字数	出幅 C (m)	標識の大きさ たてよこ A × B (m)	面積 S (m ²)	梁材 a × 1 × t (mm)	支柱 b × 1 × t (mm)	H (m)	D (m)	E (m)	基礎コンクリート ※c × d × h (m)	型式 〔固定〕	吊金具	摘要
(101) 市町村 (紋章入)	20	~3	1.50	0.50×1.30	0.65	φ 89.1×2,900×2.8	φ 139.8×6,400×4.5	5.25	—	—	0.80×0.80×1.30	逆L型	2	
		4	1.30	0.50×1.50	0.75	φ 89.1×2,900×2.8	φ 139.8×6,400×4.5	5.25	—	—	0.80×0.80×1.30	逆L型	2	
		5	1.00	0.50×1.80	0.90	φ 89.1×2,900×2.8	φ 139.8×6,400×4.5	5.25	—	—	0.80×0.80×1.30	逆L型	2	
(101)(102-A) 併設	30 20		1.00	0.80×1.90 0.50×1.90	1.52 0.95	2-φ 89.1×3,050×4.2	φ 216.3×6,450×4.5	6.00	1.14	0.75	1.00×1.70×1.50	F型	4	
(108-A) (108の3)	20		1.00	1.70×1.90	3.23	2-φ 101.6×3,050×4.2	φ 216.3×6,850×5.8	6.35	1.14	1.00	1.00×1.70×1.50	F型	4	立体交差表 示の予告標 識
	20		2.50	1.70×1.90	3.23	2-φ 139.8×4,600×3.5	φ 267.4×6,850×6.6	6.35	1.14	1.00	1.00×1.80×1.50	F型	4	
	30		1.00	2.60×2.80	7.28	2-φ 165.2×4,050×4.5	φ 318.5×7,700×6.9	7.10	1.68	1.60	1.50×2.30×1.50	F型	4	
	30		2.50	2.60×2.80	7.28	2-φ 190.7×5,550×5.3	φ 318.5×7,700×6.9	7.10	1.68	1.60	1.50×2.30×1.50	F型	4	
(108-A) (108の3) (108の2-A) (108の4)	20		1.00	1.60×1.90	3.04	2-φ 101.6×3,050×4.2	φ 216.3×6,800×5.8	6.30	1.14	1.00	1.00×1.70×1.50	F型	4	立体交差表の 交差点案内標識 または平面交差 の予告標識
	20		2.50	1.60×1.90	3.04	2-φ 139.8×4,600×3.5	φ 267.4×6,800×6.6	6.30	1.14	1.00	1.00×1.80×1.50	F型	4	
	30		1.00	2.40×2.80	6.72	2-φ 165.2×4,050×4.5	φ 318.5×7,500×6.9	6.90	1.68	1.40	1.50×2.30×1.50	F型	4	
	30		2.50	2.40×2.80	6.72	2-φ 190.7×5,550×5.3	φ 318.5×7,500×6.9	6.90	1.68	1.40	1.50×2.30×1.50	F型	4	
(108の2-A) (108の4)	20		1.00	1.50×1.90	2.85	2-φ 89.1×3,050×4.2	φ 216.3×6,650×5.8	6.20	1.14	0.90	1.00×1.70×1.50	F型	4	平面交差の 予告標識 または交差点 案内標識
	20		2.50	1.50×1.90	2.85	2-φ 139.8×4,550×3.5	φ 216.3×6,700×5.8	6.20	1.14	0.90	1.00×1.70×1.50	F型	4	
	30		1.00	2.20×2.80	6.16	2-φ 139.8×4,000×4.5	φ 318.5×7,250×6.9	6.75	1.68	1.30	1.50×2.00×1.50	F型	4	
	30		2.50	2.20×2.80	6.16	2-φ 190.7×5,550×5.3	φ 318.5×7,350×6.9	6.75	1.68	1.30	1.50×2.30×1.50	F型	4	

注：1. 植栽等により視認性を確保できないおそれがある場合は出幅（C）2.5mとする。

※ c：道路横断方向
d：道路縦断方向
h：深さ

規制標識

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	規制標識			2019



標識板 アルミ板 t=2.0
反射装置付 (広角プリズム)

補助板使用の場合の支柱長3,300とする

歩道橋、ガードレール等に添架するときはアーム使用

標識高さは1.8mを標準とするが、歩行者等の通行の支障となる場合には標識高さを2.5mとする

国土交通省 道路標識設置基準及び警察庁 交通規制基準を参照すること。

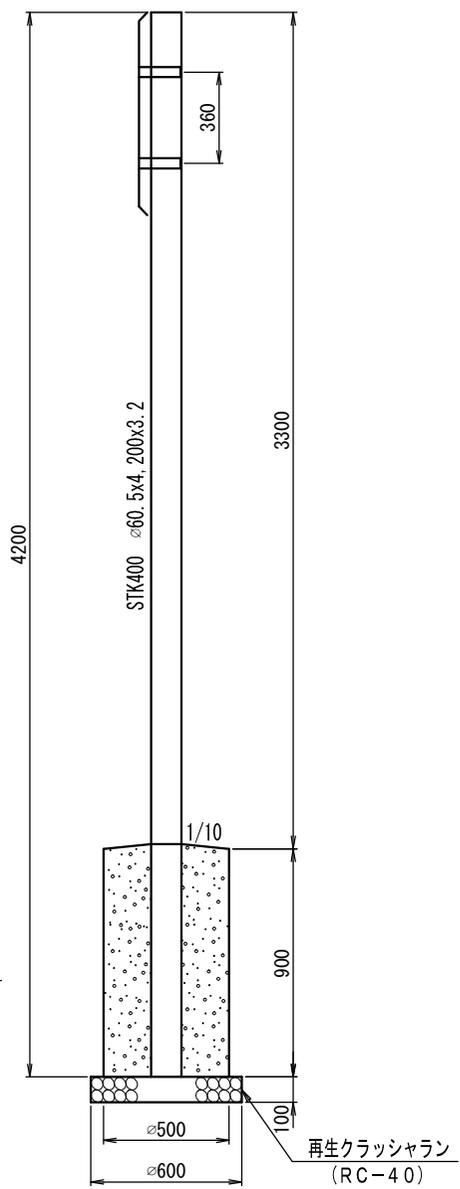
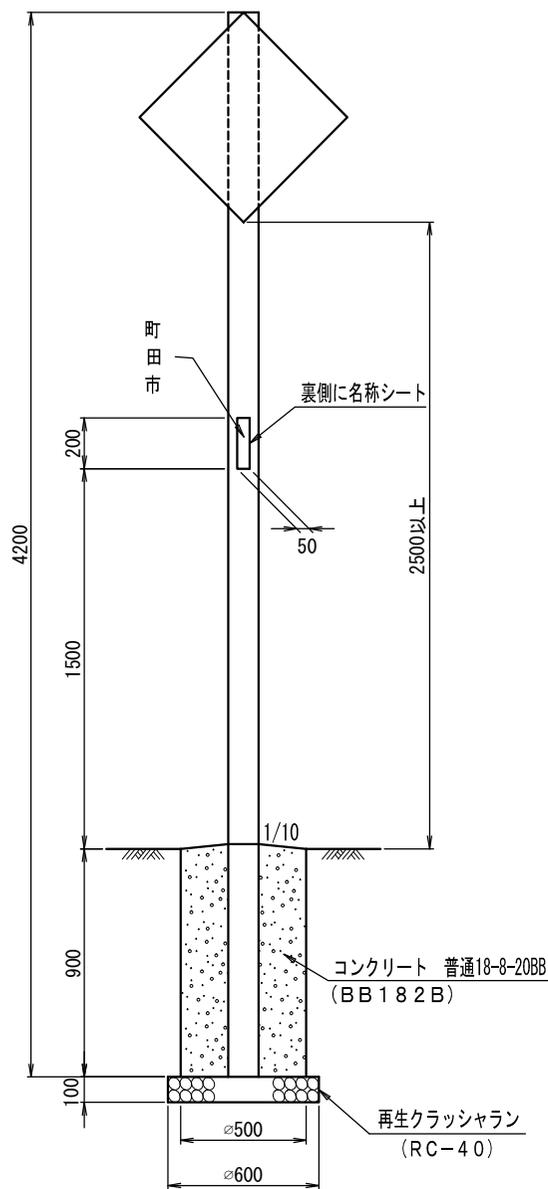
材料表

(1本当り)

品名	形状寸法	単位	数量
標識板	φ600×2.0	枚	1
支柱	φ60.5×3,000×3.2	本	1
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	0.04
再生クラッシュラン	RC-40	//	0.01
型枠	スパイラルダクトφ300	m	0.6

警戒標識

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	警戒標識			2019



標識板 アルミ板 t=2.0
 反射シート (広角プリズム型: 蛍光黄色)

補助板使用の場合の支柱長4,500とする
 歩道橋、ガードレール等に添架するときはアーム使用

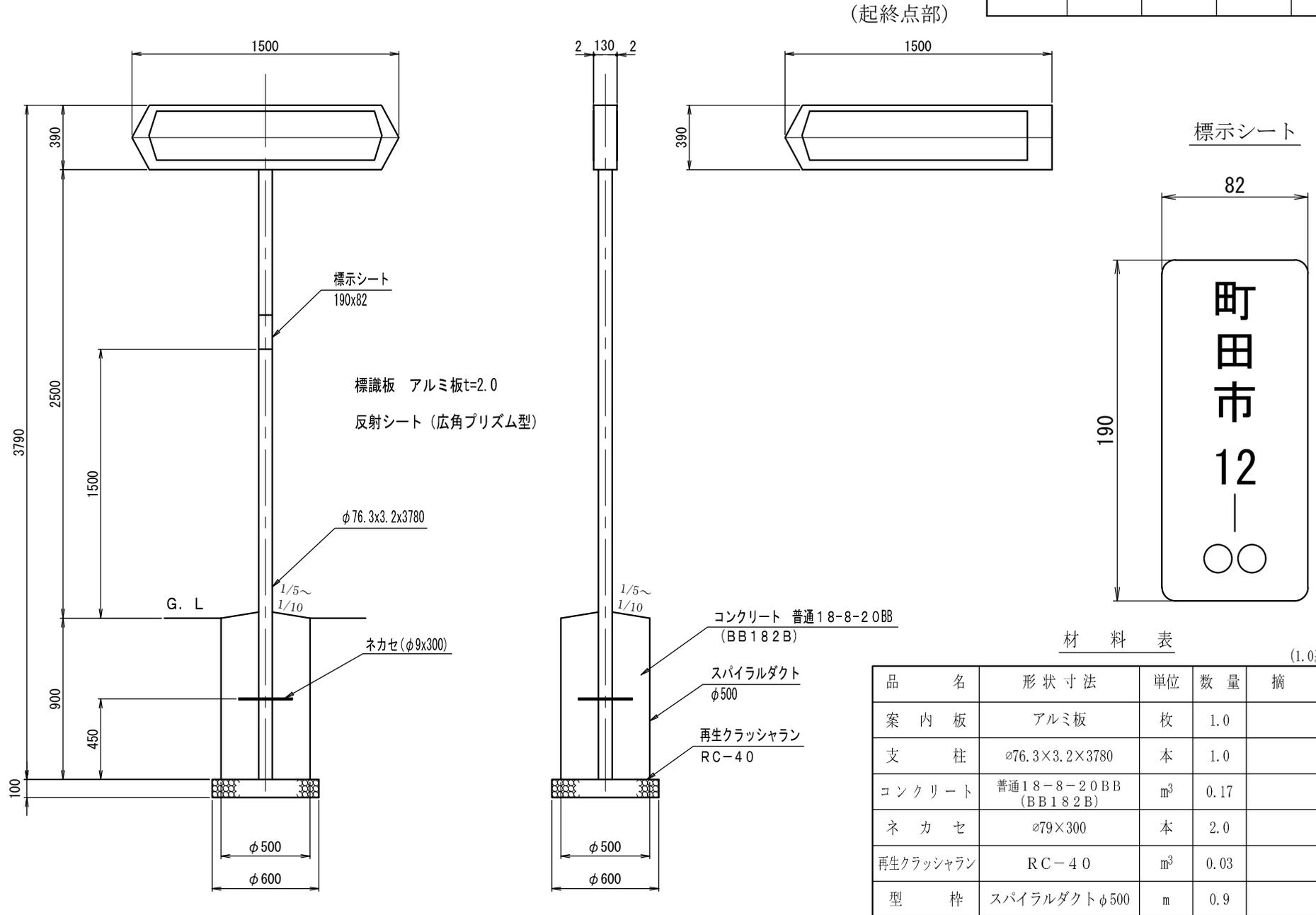
材 料 表

(1本当り)

品 名	形状寸法	単位	数 量
標 識 板	585×585×2.0	枚	1
支 柱	φ60.5×4,200×3.2	本	1
コンクリート	普通 18-8-20BB (BB182B)	m ³	0.18
再生クラッシュラン	RC-40	//	0.02
型 枠	スパイラルダクトφ500	m	0.90

案内標識

工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全施設	案内標識			2019



工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	区画線の 長換 算表			2019

区画線の施工長換算表

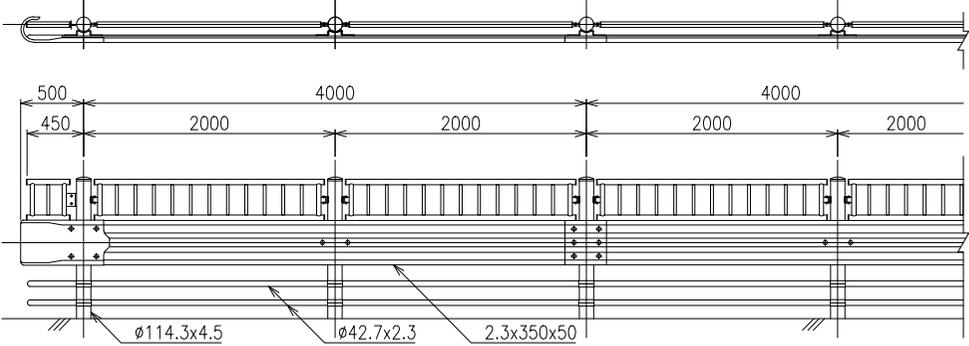
種別			1.5cm換算 施工長 (m)	種別			1.5cm換算 施工長 (m)	種別			1.5cm換算 施工長 (m)
矢		L=5.0m W=0.9	12.19	文	ス	L=2.4m W=1.0	5.27	文	カ	L=3.0m W=1.0	6.53
	↑	"=5.0	6.25		専	"=2.4 #=1.0	7.50		ブ	"=3.0 #=1.35	6.01
	↑	"=5.0	6.66		用	"=2.4 #=1.0	10.50		原	"=3.0 #=1.5	13.58
	↑	"=5.0	8.91		優	"=2.4 #=1.0	9.17		付	"=3.0 #=1.5	8.75
	↑	"=5.0	9.65		先	"=2.4 #=1.0	7.77		二	"=2.4 #=1.5	7.50
印	↑	"=2.0 #=0.45	2.50	7	"=1.5 #=0.7	2.58	輪	"=3.0 #=1.5	15.44		
				一	"=0.15 #=0.4	0.40	四	"=1.2 #=1.0	6.40		
文	×	"=5.0 #=0.8	9.47	9	"=1.5 #=0.7	3.11	輪	"=2.0 #=1.0	7.36		
	8	"=1.5 #=0.45	3.18	・	"=0.15 #=0.15	0.15	貨	"=2.0 #=1.0	6.50		
	—	"=0.15 #=0.30	0.30	3	"=0.75 #=0.4	1.40	物	"=2.0 #=1.0	7.26		
	2	"=1.5 #=0.45	2.30	0	"=0.75 #=0.4	1.65	小	"=2.0 #=1.0	4.42		
	0	"=1.5 #=0.45	3.04		対角2m #=4m	19.97 52.89	大	"=2.0 #=1.0	5.04		
	20	"=5.0 #=1.2	18.49		直径2m #=4m	23.72 64.91	特	"=2.0 #=1.0	6.42		
	30	"=5.0 #=1.2	19.34		1m×2m 2m×4m	17.91 49.91	乗	"=2.0 #=1.0	7.12		
	40	"=5.0 #=1.2	19.80	○	L=4.0 W=1.2	14.56	用	"=2.0 #=1.0	7.65		
	50	"=5.0 #=1.2	18.57	◇	"=5.0 #=1.5	16.51	軽	"=2.0 #=1.0	6.14		
	60	"=5.0 #=1.2	21.08	▽	"=4.5 #=1.5	17.71	車	"=2.0 #=1.0	6.25		
	自	"=2.4 #=0.8	6.24	文	"=2.4 #=0.9	5.54	両	"=2.0 #=1.0	7.80		
	動	"=2.4 #=0.8	7.55	徐	"=2.4 #=0.9	7.55	バ	"=2.0 #=0.7	4.70		
	車	"=2.4 #=0.8	6.26	行	"=2.4 #=0.9	6.17	ス	"=2.0 #=0.7	3.54		
)	"=0.3 #=1.5	1.75	止	"=2.4 #=0.8	5.65	停	"=2.0 #=0.7	5.19		
	二	"=2.4 #=0.8	3.73	ま	"=2.4 #=0.8	6.73	と	"=1.2 #=0.6	1.98		
輪	"=2.4 #=0.9	8.29	れ	"=2.4 #=0.8	6.26	ま	"=1.2 #=0.6	2.48			
を	"=1.2 #=0.4	1.81	ト	"=3.0 #=1.0	8.58	れ	"=1.2 #=0.6	2.98			
除	"=2.4 #=0.8	7.16	ラ	"=3.0 #=1.0	9.41						
く	"=1.2 #=0.4	0.86	ッ	"=1.5 #=0.8	2.37						
軽	"=2.4 #=0.8	7.09	ク	"=3.0 #=1.0	8.91						
両	"=2.4 #=0.8	7.63	右	"=3.0 #=1.0	8.79	表中のL、Wは、下図例のとおり					
バ	"=2.4 #=1.0	6.00	左	"=3.0 #=1.0	7.86						
			急	"=3.0 #=1.0	11.62						

※ 厚みは1.5mm以上とする

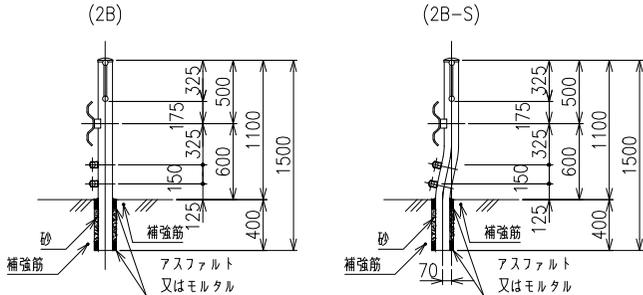
工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	一体型 ガードレール			2019

一体型ガードレール(1/2)

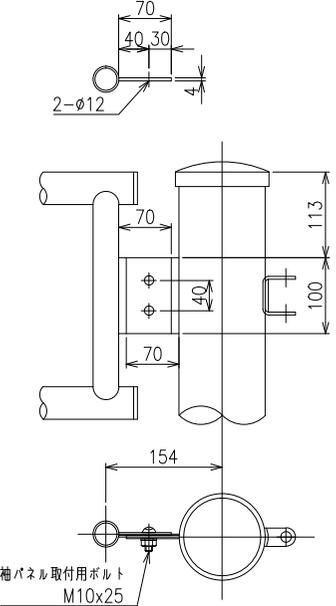
組立図 S=1/60



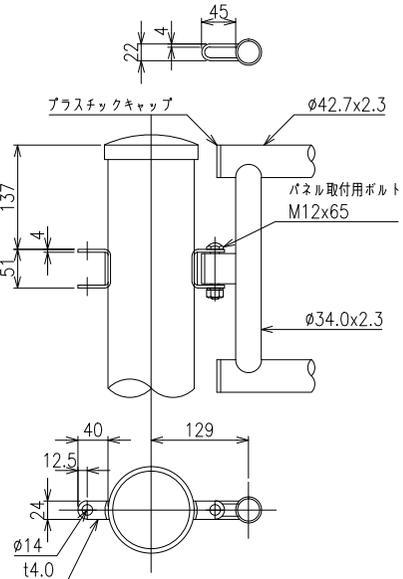
断面図 S=1/60



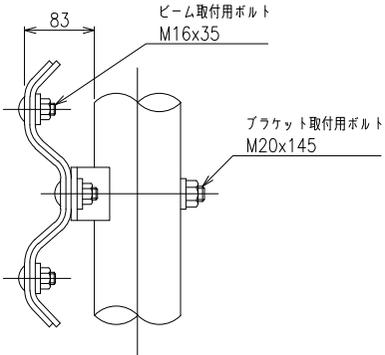
端部パネル取付詳細図 S=1/10



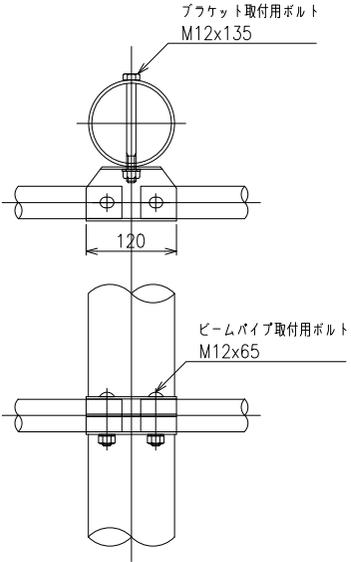
パネル取付詳細図 S=1/10



ビーム取付詳細図 S=1/10

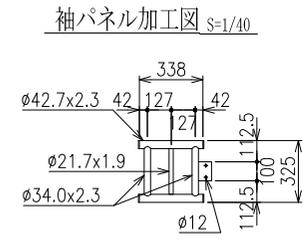
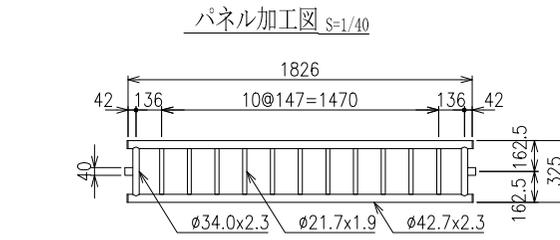
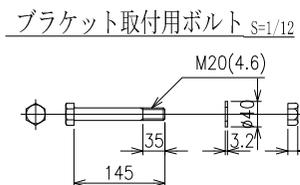
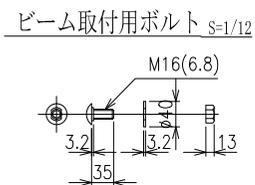
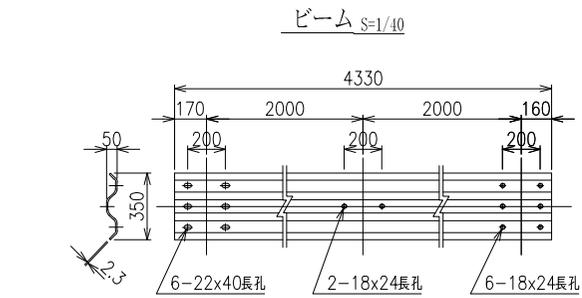
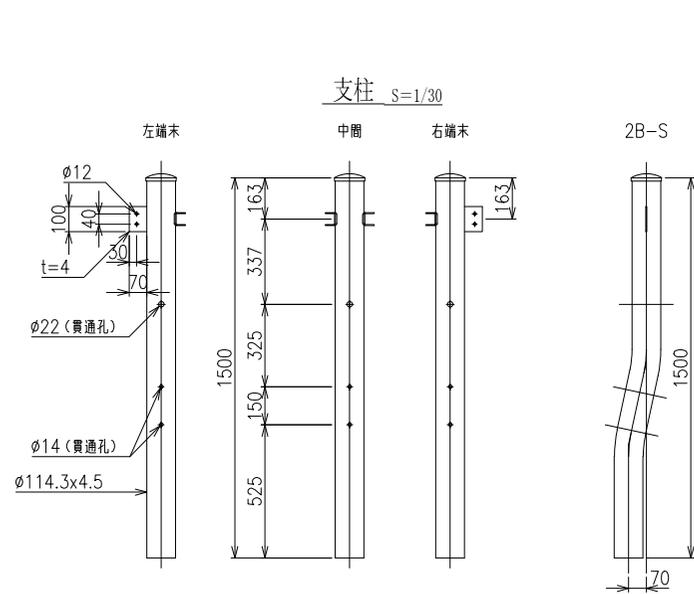


ビームパイプ取付詳細図 S=1/10

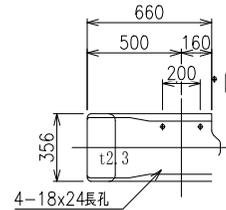


工種	種別	形状	変数	作成年度
交通安全 施設	一体型 ガードレール			2019

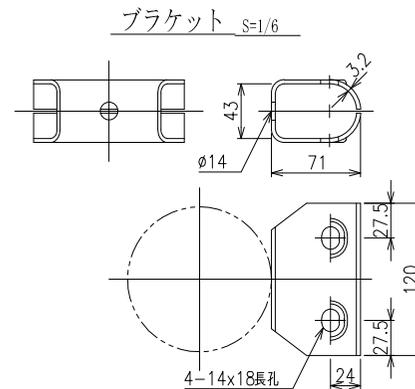
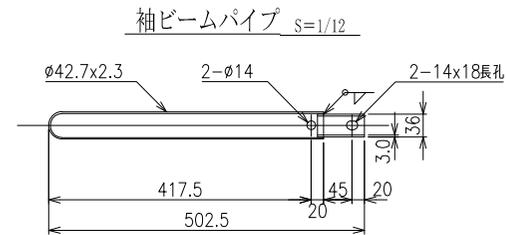
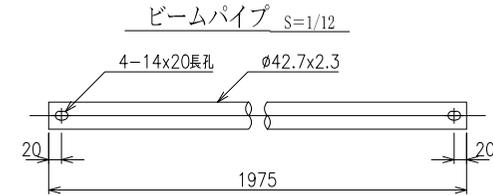
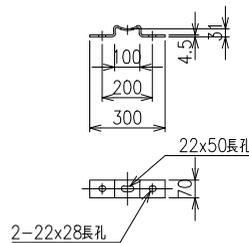
一体型ガードレール(2/2)



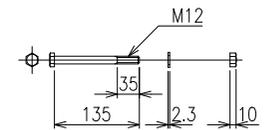
巻袖ビーム S=1/40



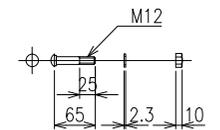
ブラケット S=1/30



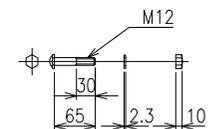
ブラケット取付用ボルト S=1/12



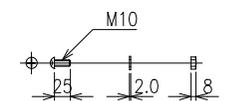
ビームパイプ取付用ボルト S=1/12



パネル取付用ボルト S=1/12



袖パネル取付用ボルト S=1/12



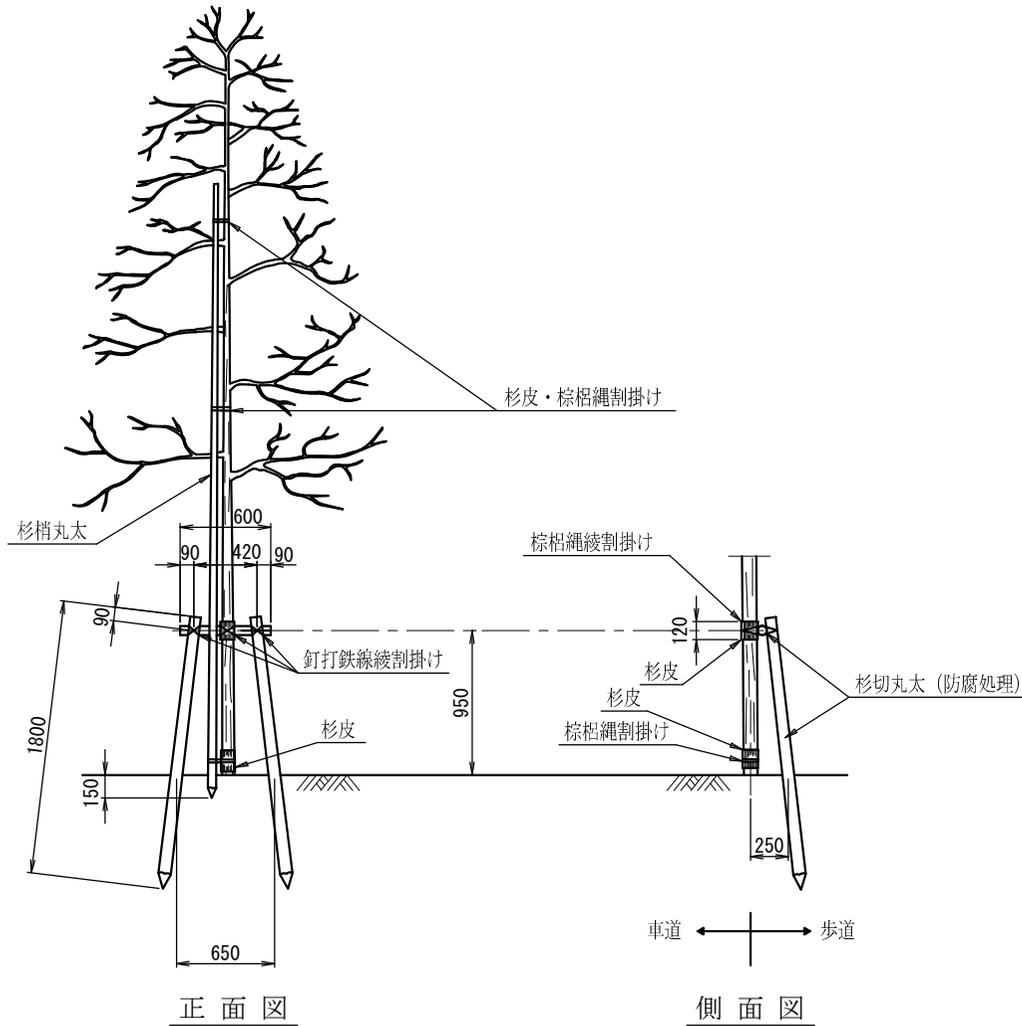
工種	種別	形状	変数	作成年度
道路植栽	二脚鳥居	添木付		2019

二脚鳥居（添木付）

材 料 表

(1本当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
杉切丸太	長1.8m 末口径6cm	本	2.0	控木用
〃	長0.6m 末口径6cm	〃	1.0	〃
杉梢丸太	長4m 末口径3cm	〃	1.0	添木用
釘		式	1.0	打付用
鉄線	亜鉛引#18	〃	1.0	結束用
杉皮	長60cm、 幅30cm	〃	1.0	幹当用
棕枙縄	径3mm	〃	1.0	結束用



- 備考 (1) 幹回り30cm未満または樹高250cm以上の樹木に適用する。
- (2) 丸太材料の防腐処理は防腐剤の加圧注入処理とする。
- (3) 棕枙縄および鉄線による結束は、2本どり3回巻の計6回巻以上とし、結び目を丸太側とする。
- (4) 控木の設置位置は歩道側を標準とするが、現場の状況により判断することができる。

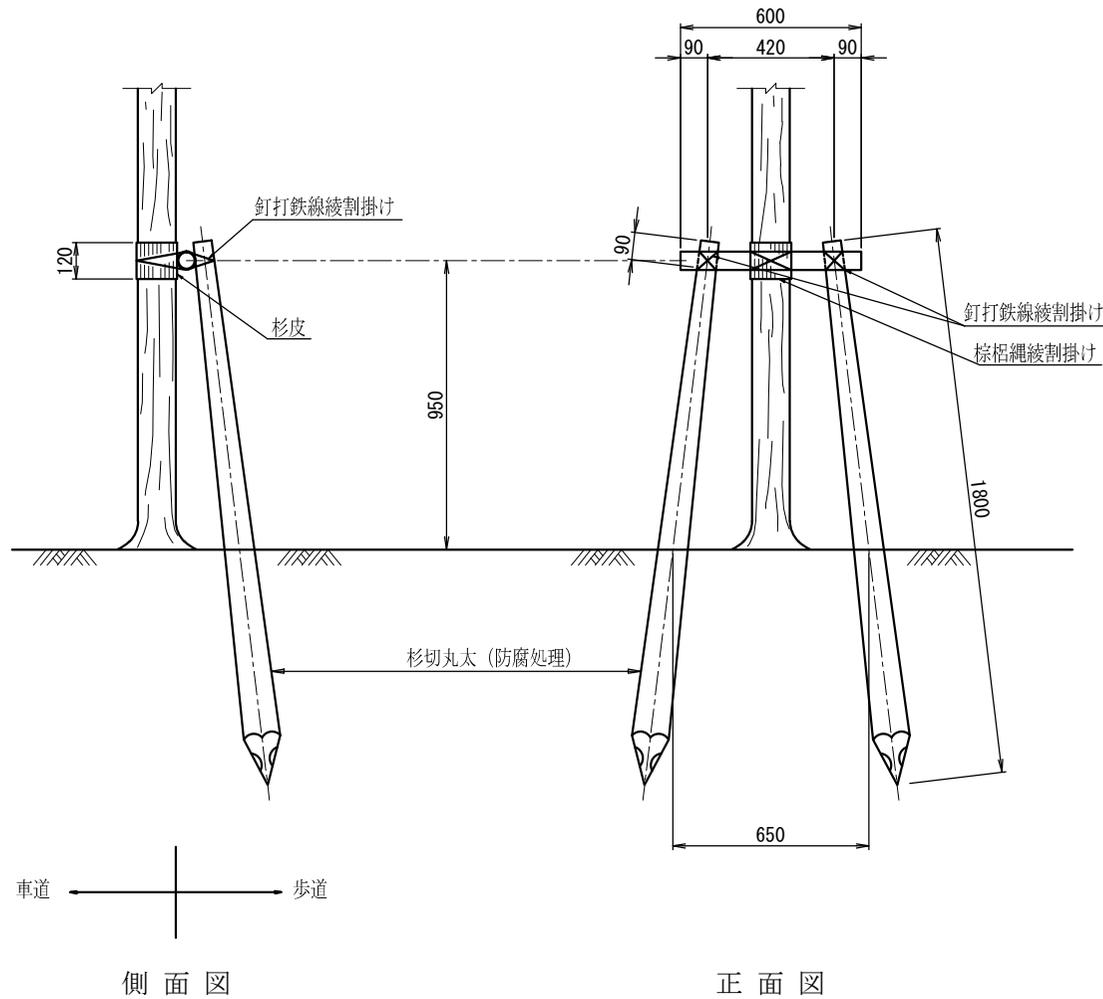
工種	種別	形状	変数	作成年度
道路植栽	二脚鳥居	添木無		2019

二脚鳥居（添木無）

材 料 表

(1本当り)

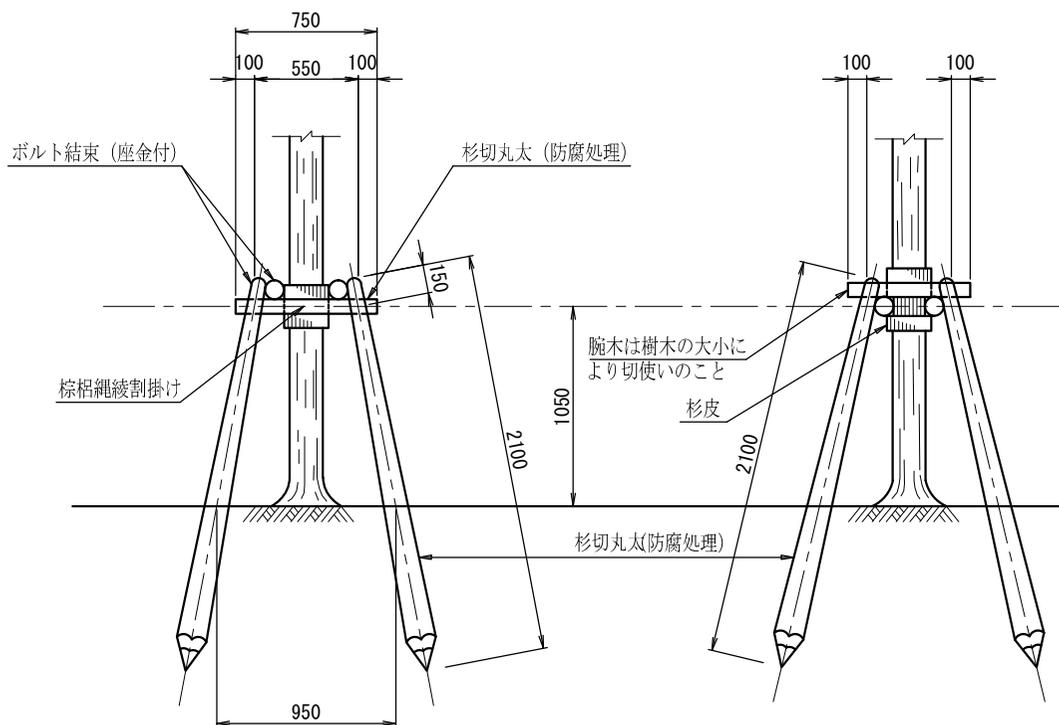
品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
杉切丸太	長1.8m 末口径6.0cm	本	2.0	控木用
"	長0.6m 末口径6.0cm	"	1.0	"
釘		式	1.0	打付用
鉄線	亜鉛引#18	"	1.0	結束用
杉皮	長60cm 幅30cm	"	1.0	幹当用
棕栢縄	径3mm	"	1.0	結束用



- 備考 (1) 幹回り20cm以上、30cm未満の樹木に適用する。
 (2) 丸太材料の防腐処理は防腐剤の加圧注入処理とする。
 (3) 棕栢縄および鉄線による結束は、2本どり3回巻の計6回巻以上とし、結び目を丸太側とする。
 (4) 控木の設置位置は歩道側を標準とするが、現場の状況により判断することができる。

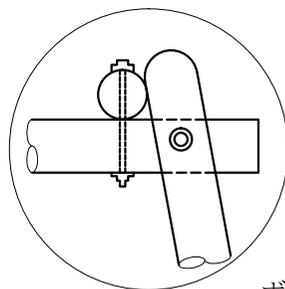
二脚鳥居組合せ

工種	種別	形状	変数	作成年度
道路植栽	二脚鳥居組合せ			2019



正面図

側面図



ボルト結束詳細図

平面図

材 料 表

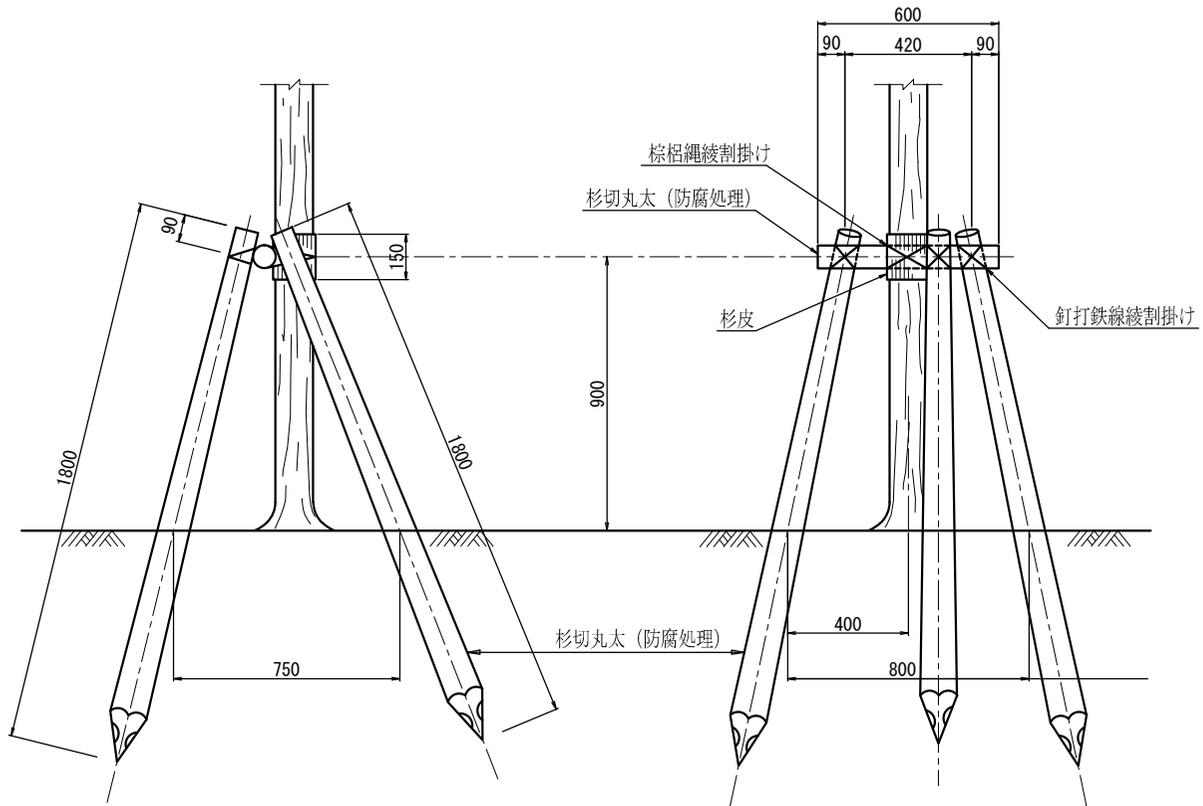
(1本当たり)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
杉切丸太	長2.1m, 未口径7.5cm	本	4.0	控木用
〃	長0.75m, 未口径7.5cm	〃	4.0	〃
杉皮	長60cm, 幅30cm	式	1.0	幹当用
棕栢縄	径3mm	〃	1.0	結束用
六角ボルト	W1/2×180mm 座金ナット共	〃	1.0	〃

- 備考 (1) 幹回り40cm以上、75cm未満の樹木に適用する。
 (2) 丸太材料の防腐処理は防腐剤の加圧注入処理とする。
 (3) 棕栢縄による結束は、2本どり5回巻の計10回以上とし、結び目を丸太側とする。
 (4) ボルト端部は危険のないよう処理すること。

工種	種別	形状	変数	作成年度
道路植栽	三脚鳥居			2019

三脚鳥居



側面図

正面図

材 料 表

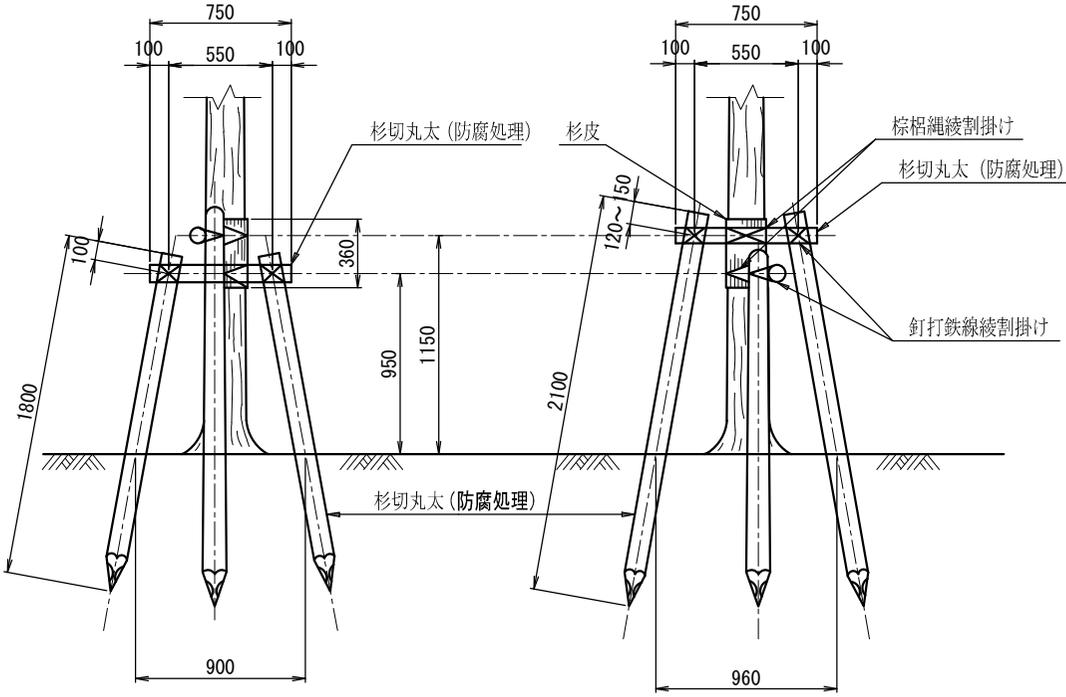
(1本当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
杉切丸太	長1.8m 末口径7.5cm	本	3.0	控木用
〃	長0.6m 末口径7.5cm	〃	1.0	〃
釘		式	1.0	打付用
鉄線	亜鉛引#18	〃	1.0	結束用
杉皮	長60cm 幅30cm	〃	1.0	幹当用
棕櫚縄	径3mm	〃	1.0	結束用

- 備考 (1) 幹回り30cm以上、60cm未満の樹木に適用する。
 (2) 丸太材料の防腐処理は防腐剤の加圧注入処理とする。
 (3) 棕櫚縄および鉄線による結束は、2本どり4回巻の計8回巻以上とし、結び目を丸太側とする。

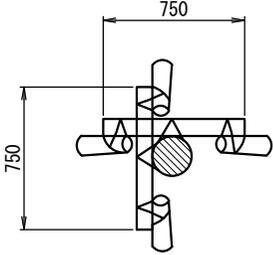
工種	種別	形状	変数	作成年度
道路植栽	十字鳥居			2019

十字鳥居



正面図

側面図



平面図

材 料 表

(1本当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
杉切丸太	長2.1m、末口径7.5cm	本	2.0	控木用
"	長1.8m、末口径7.5cm	"	2.0	"
"	長0.75m、末口径7.5cm	"	2.0	"
杉皮	長60cm、幅30cm	式	1.0	幹当用
棕櫚縄	長3mm	"	1.0	結束用
釘		"	1.0	打付用
鉄線	亜鉛引#18	"	1.0	結束用

- 備考 (1) 幹回り30cm以上60cm未満の樹木に適用する
 (2) 丸太材料の防腐処理は防腐剤の加圧注入処理とする。
 (3) 棕櫚縄および鉄線による結束は、2本どり4回巻の計8回巻以上とし、結び目を丸太側とする。

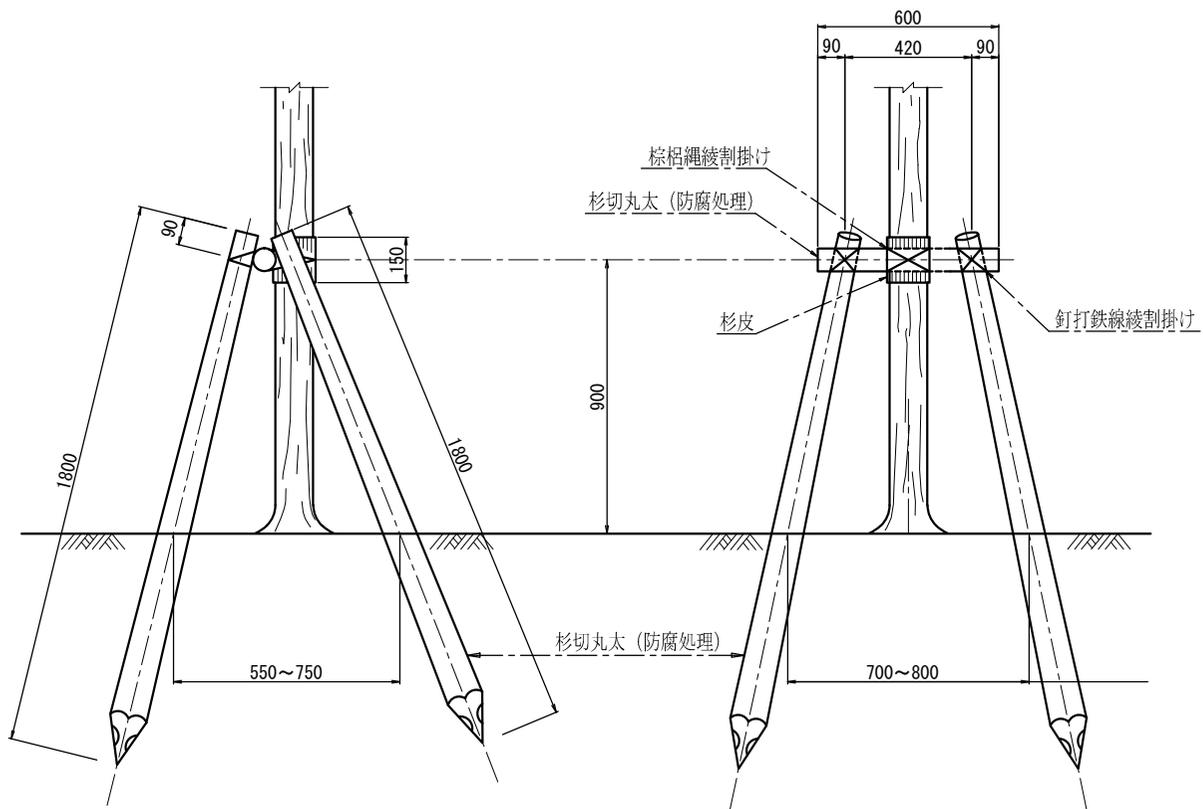
補強型四脚鳥居

工種	種別	形状	変数	作成年度
道路植栽	補強型 四脚鳥居			2019

材 料 表

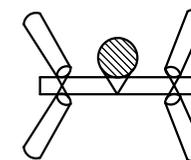
(1.0本当り)

材 料	形状寸法	数 量	単 位	摘 要
杉 切 丸 太	長1.8m 末口径7.5cm	4.0	〃	控木用
〃	長0.6m 末口径7.5cm	1.0	〃	〃
釘		1.0	式	打付用
鉄 線	亜鉛引#18	1.0	式	結束用
杉 皮	長75cm巾30cm	1.0	式	幹当用
棕 櫚 縄	径3mm	1.0	式	結束用



側面図

正面図

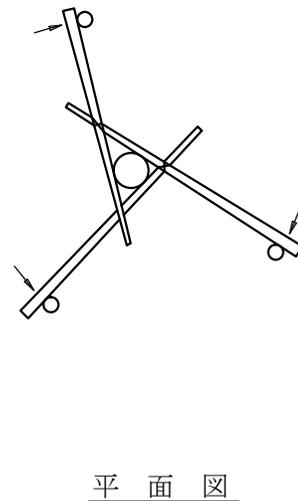
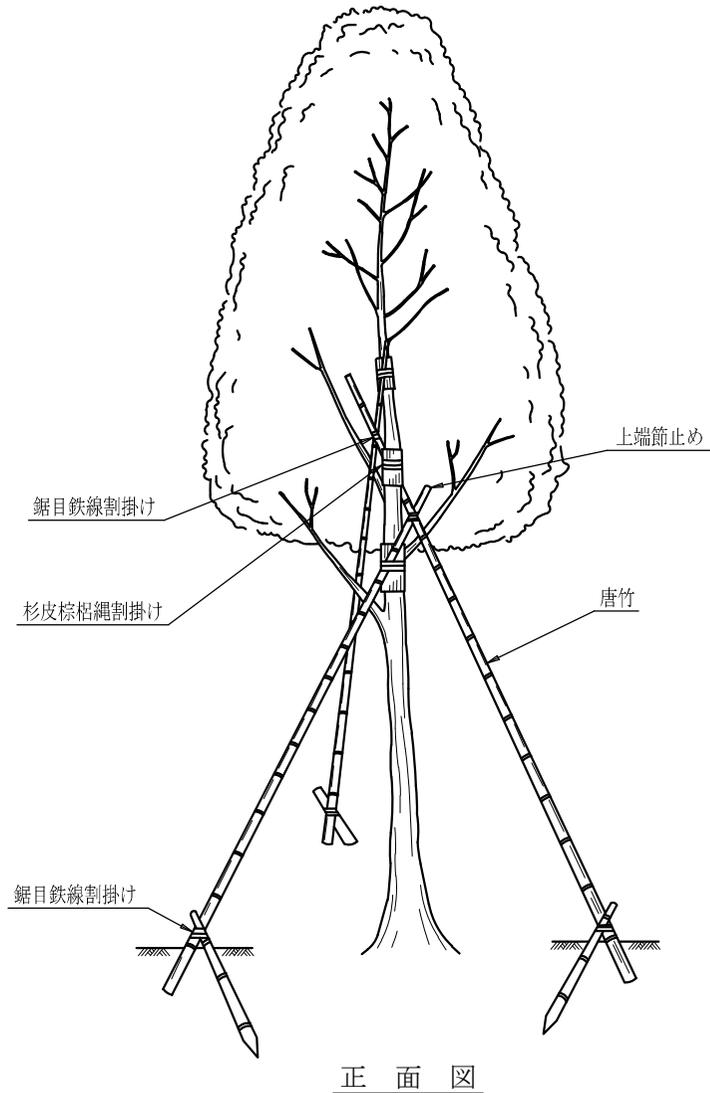


平面図

- 備考 (1) 棕櫚縄および鉄線による結束は、2本どり4回巻の計8回巻以上とし、結び目を丸太側とする。
- (2) 丸太材料の防腐処理は防腐剤の加圧注入処理とする。

ハッ掛 (1型)

工種	種別	形状	変数	作成年度
道路植栽	ハッ掛	1型		2019



材 料 表

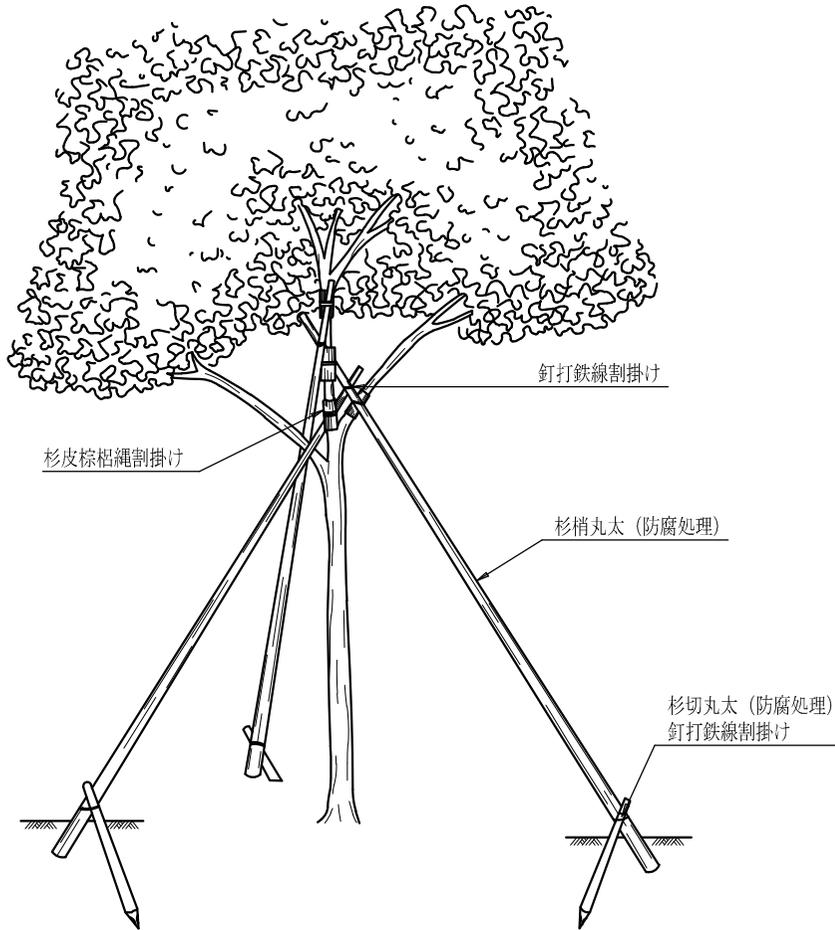
(1本当たり)

品名	形状・寸法	数量	単位	摘 要
唐竹	12本束	3.0	本	控木用
杉皮	長60cm、幅30cm	1.0	式	幹当用
棕櫚縄	径3mm	1.0	〃	結束用
鉄線	亜鉛引#18	1.0	〃	〃

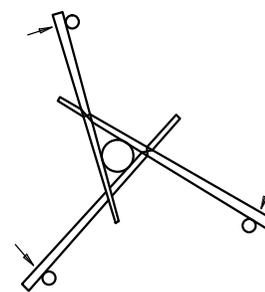
- 備考 (1) 高さ100cm以上または幹周り20cm未満の樹木に適用する。
 (2) 棕櫚縄および鉄線による結束は、2本どり3回巻の計6回巻以上とし、結び目を唐竹側とする。

工種	種別	形状	変数	作成年度
道路植栽	ハッ掛	2型		2019

ハッ掛 (2型)



正面図



平面図

材 料 表

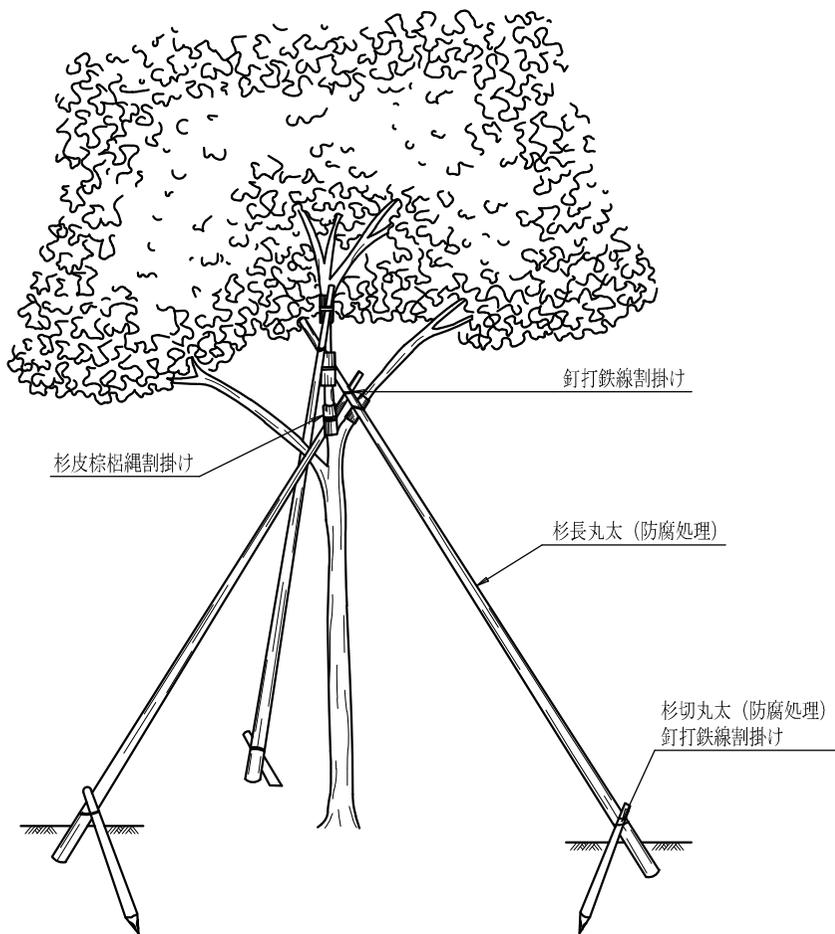
(1本当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
杉梢丸太	長4m上、 元口径6cm	本	3.0	控木用
杉切丸太	長0.6m、 末口径6cm	〃	3.0	控木根止用
杉皮	長60cm、 幅30cm	式	1.0	幹当用
棕梶縄	径3mm	〃	1.0	結束用
釘		〃	1.0	打付用
鉄線	亜鉛引#18	〃	1.0	結束用

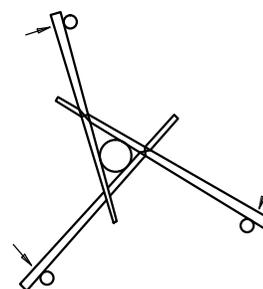
- 備考 (1) 幹回り40cm未満の樹木に適用する。
 (2) 丸太材料の防腐処理は防腐剤の加圧注入処理とする。
 (3) 棕梶縄および鉄線による結束は、2本どり3回巻の計6回巻以上とし、結び目を丸太側とする。

ハッ掛 (3型)

工種	種別	形状	変数	作成年度
道路植栽	ハッ掛	3型		2019



正面図



平面図

材 料 表

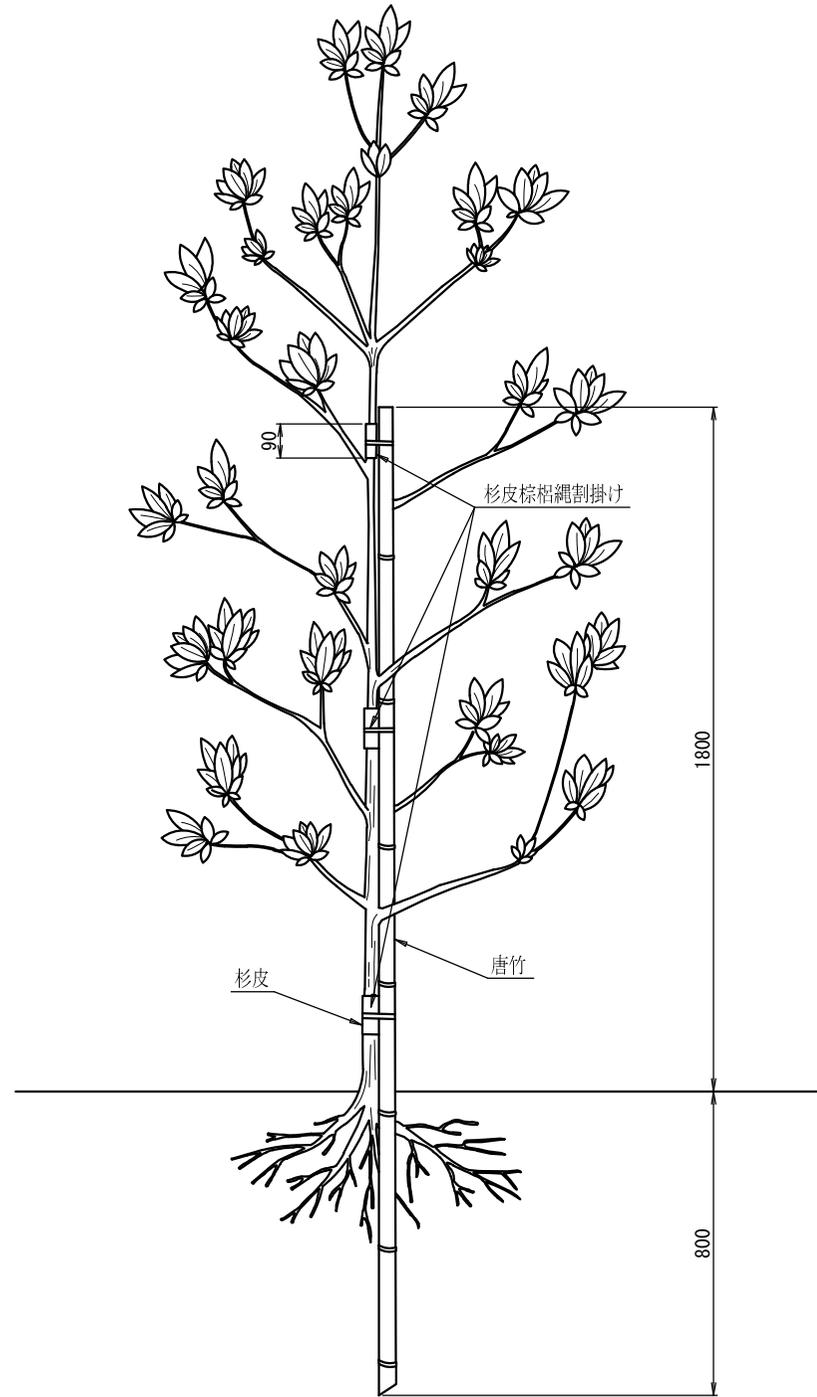
(1本当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
杉長丸太	長6.3m、 中央径6cm	本	3.0	控木用
杉切丸太	長0.6m、 末口径6cm	〃	3.0	控木根止用
杉皮	長60cm、 幅30cm	式	1.0	幹当用
棕梶縄	径3mm	〃	1.0	結束用
釘		〃	1.0	打付用
鉄線	亜鉛引#18	〃	1.0	結束用

- 備考 (1) 幹回り40cm以上の樹木に適用する。
 (2) 丸太材料の防腐処理は防腐剤の加圧注入処理とする。
 (3) 棕梶縄および鉄線による結束は、2本どり3回巻の計6回巻以上とし、結び目を丸太側とする。

添え柱

工種	種別	形状	変数	作成年度
道路植栽	添え柱			2019



材 料 表

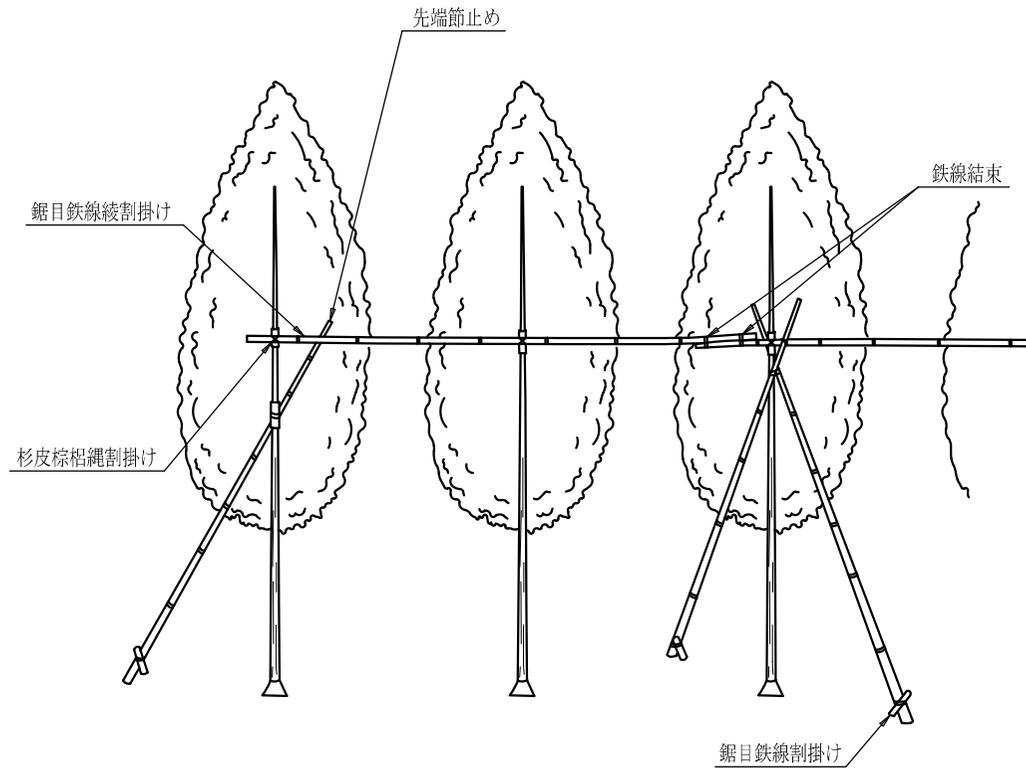
(1本当たり)

品名	形状・寸法	数量	単位	摘要
唐竹	10本束	1.0	本	控木用
棕栲縄	径3mm	1.0	式	結束用
杉皮	長60cm、 幅30cm	1.0	〃	幹当用

- 備考 (1) 高さ100cm以上の樹木に適用する。
 (2) 棕栲縄による結束は、2本どり3回巻の計6回巻以上とし、
 結び目を唐竹側とする。

布掛（1型）

工種	種別	形状	変数	作成年度
道路植栽	布掛	1型		2019



材 料 費

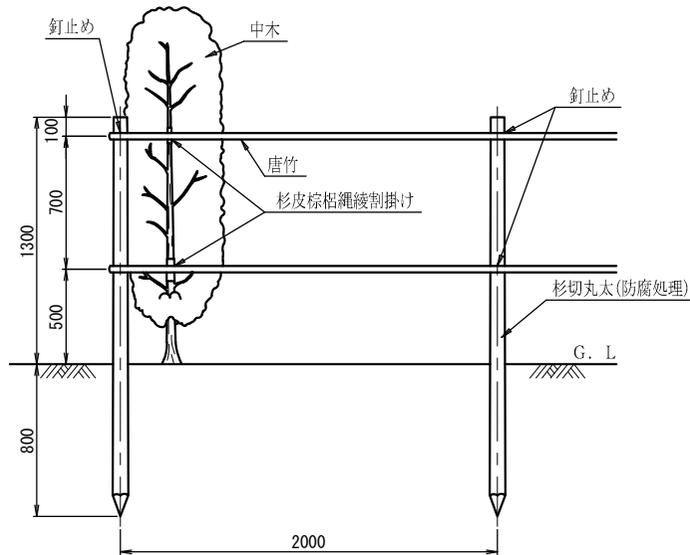
(10m当り)

品名	形状・寸法	数量	単位	摘要
唐竹	12本束	6.0	本	控木用
杉皮	長60cm、幅30cm	1.0	式	幹当用
棕櫚縄	径3mm	1.0	〃	結束用
鉄線	亜鉛引#18	1.0	〃	〃

- 備考 (1) 高さ100cm以上または幹周9~19cmの樹木に適用する。
 (2) 棕櫚縄および鉄線による結束は、2本どり3回巻の計6回以上とし、結び目を唐竹側とする。

工種	種別	形状	変数	作成年度
道路植栽	布掛	S型		2019

布掛 (S型)



材 料 表

(10m当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
唐竹	12本束	本	5.0	控木用
杉切丸太	長2.1m 末口径7.5cm	〃	6.0	〃
杉皮	長60cm、 幅30cm	式	1.0	幹当用
棕栢繩	径3mm	〃	1.0	結束用
釘		〃	1.0	打付用

- 備考 (1) 高さ100cm以上の樹木に適用する。
(2) 中木列植型の歩道植樹帯に適用する。
(3) 丸太材料の防腐処理は防腐剤の加圧注入処理とする。
(4) 棕栢繩および鉄線による結束は、2本どり3回巻の計6回巻以上とし、結び目を唐竹側とする。

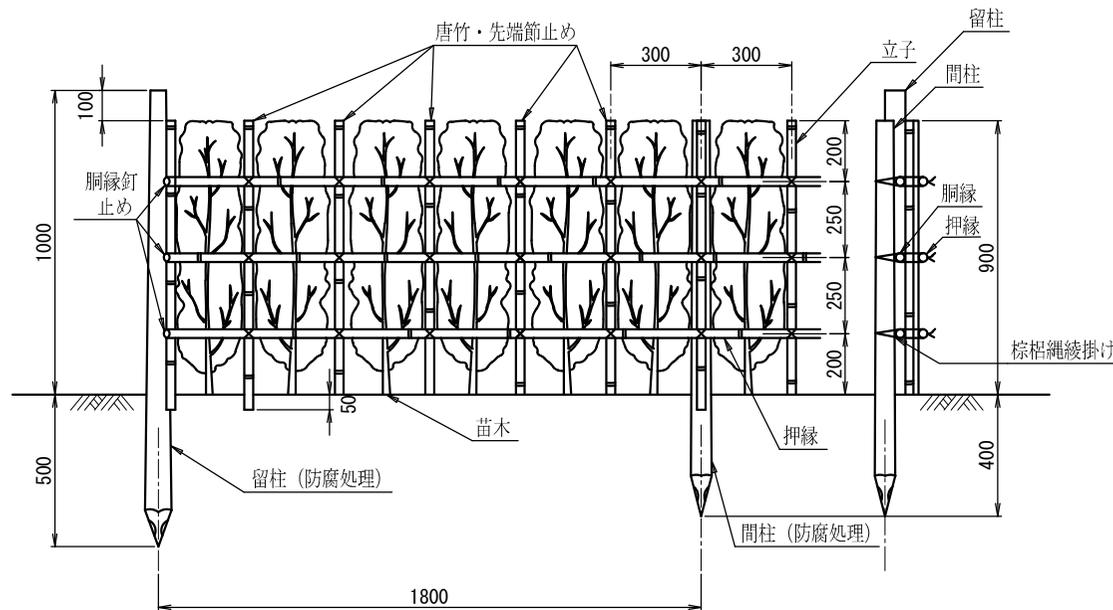
生垣 (高さ1.0m)

工種	種別	形状	変数	作成年度
道路植栽	生垣	高さ0.9m		2019

材 料 表

(18m当り)

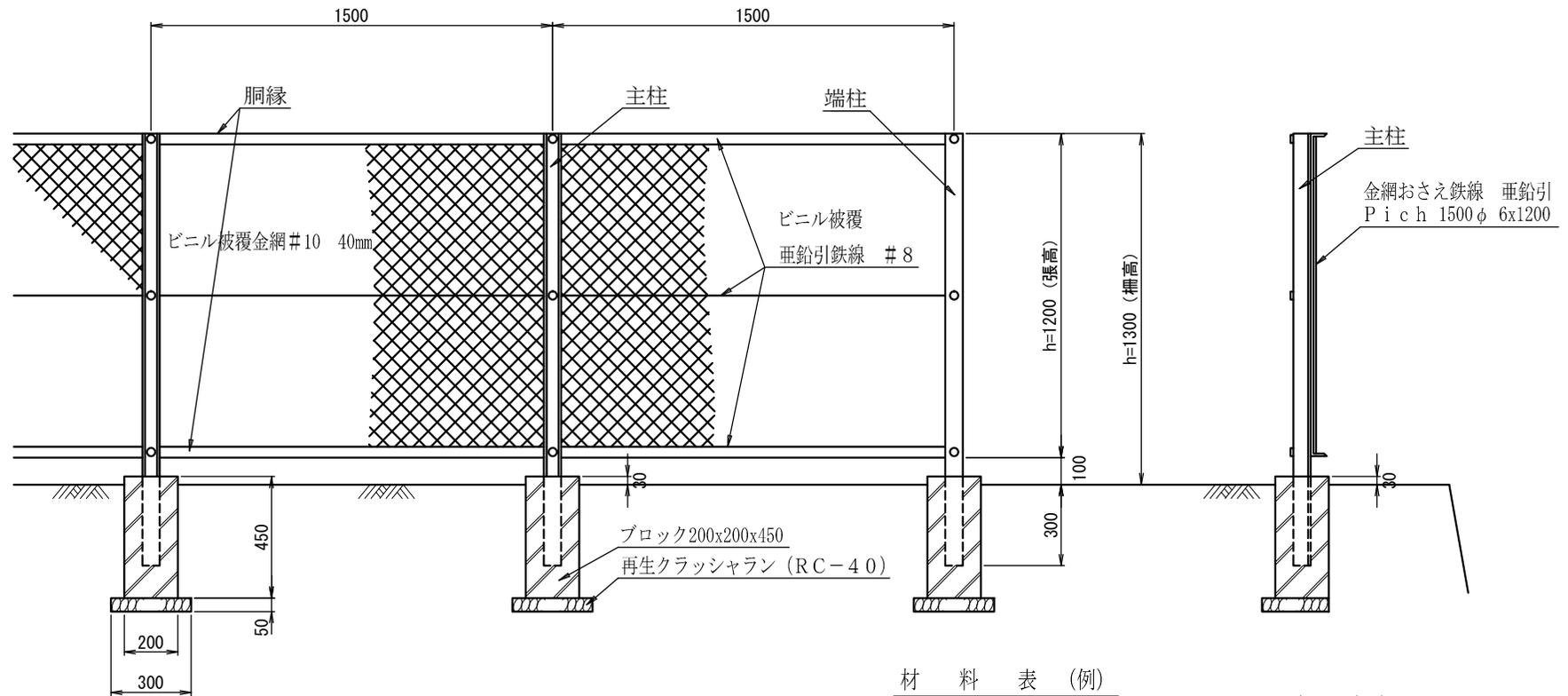
品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
生垣	高90cm	m	18.0	
苗木		本	60.0	植付用
杉切丸太	長1.5m 末口径7.5cm	"	2.0	留柱用
"	長1.3m 末口径6cm	"	9.0	間柱用
唐竹	12本束	"	30.0	胴縁、押縁用
"	16本束	"	16.0	立子用
釘		式	1.0	胴縁打付用
棕梶縄	径3mm	"	1.0	結束用



- 備考 (1) 樹高100cm以上の樹木に適用する。
 (2) 丸太材料の防腐処理は防腐剤の加圧注入処理とする。

工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	転落防止柵	ネットフェンス, 中間柵		2019

転落防止柵（ネットフェンス，中間柵）



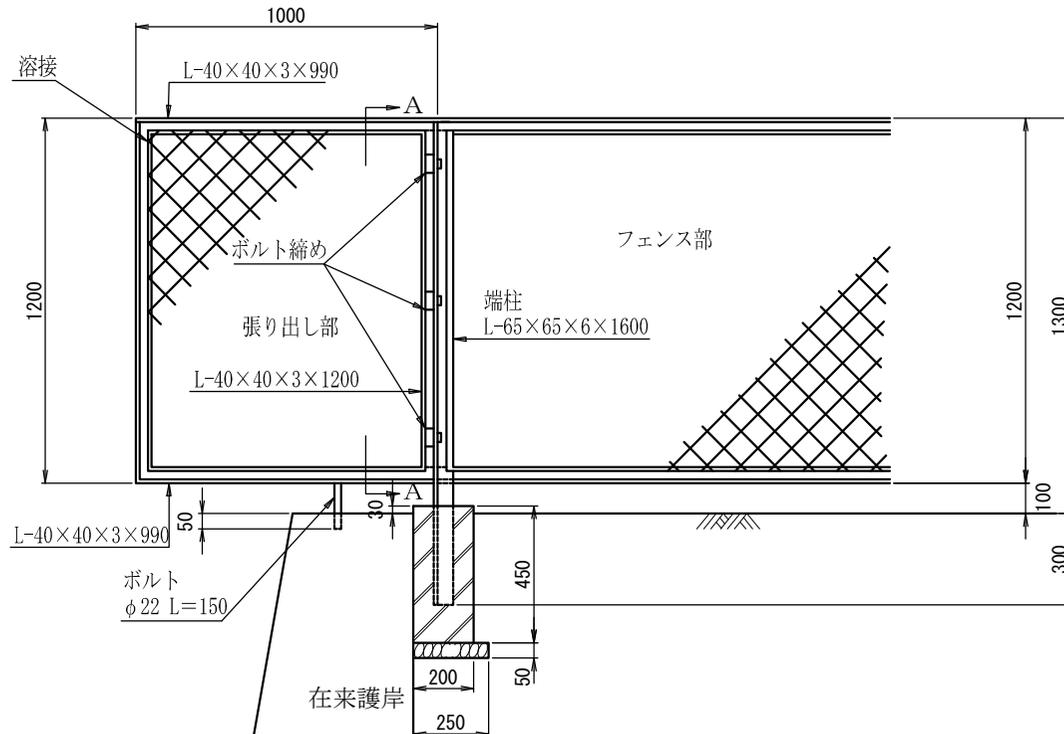
材 料 表 (例)

(30m当り)

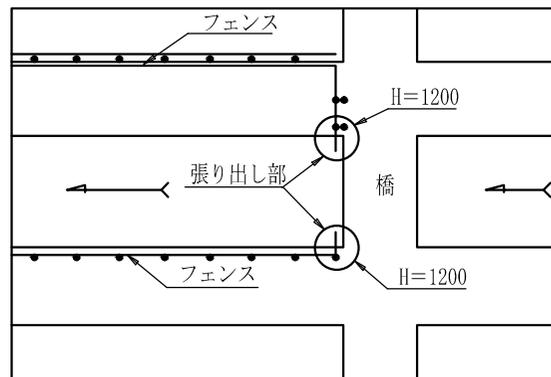
品 名	形状・寸法	単 位	数 量	摘 要
主 柱	厚さ2.3mm以上，高さ40mm 長さ1600mm	本	19.0	断面係数Z×4.29 cm ³ 以上
端 柱	L-65×65×6×1600	本	2.0	
洞 縁	l=30m L-40×40×3mm	本	2.0	断面係数Z×1.20 cm ³ 以上
金網その他	金網#10 (外径3.2mm，芯径2.3mm) 網目 40mm 鉄線#8 (外径4.0mm，芯径3.2mm) おさえ鉄線 φ6mm (亜鉛引)	式	1.0	ビニル被覆金網
モ ル タ ル	1 : 3	m ³	0.06	0.003 m ³ /柱1本
コンクリートブロック	200×200×450	個	21	1個/柱1本
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	0.084	0.004 m ³ /個

転落防止柵 (ネットフェンス, 張り出し柵)

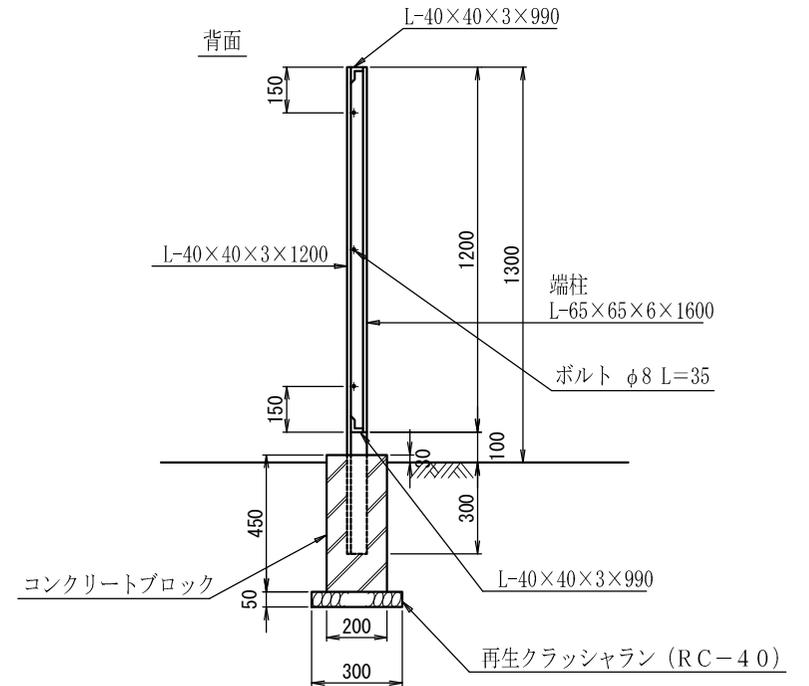
工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	転落防止柵	ネットフェンス, 張り出し柵		2019



設置箇所例平面図



A-A断面図



材料表

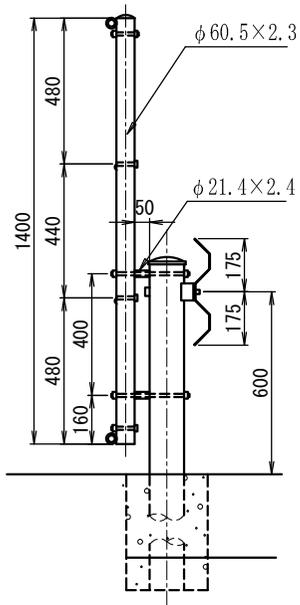
(1箇所当り)

品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
端柱添材	L-40×40×3×1200	本	2.0	
胴縁	L-40×40×3×990	〃	2.0	
ボルト	φ8 l=35	〃	3.0	
鉄筋	φ22 l=150	〃	1.0	
金網その他	金網#10 (外径3.2mm, 芯径2.3mm) 網目 40mm 鉄線#8 (外径4.0mm, 芯径3.2mm) おさえ鉄線 φ6mm (亜鉛引)	式	1.0	ビニル被覆金網

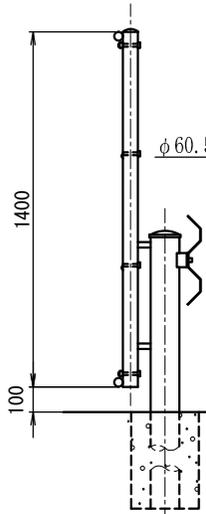
工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	転落防止柵	ガード レール用		2019

転落防止柵 (ガードレール用)
(参考図)

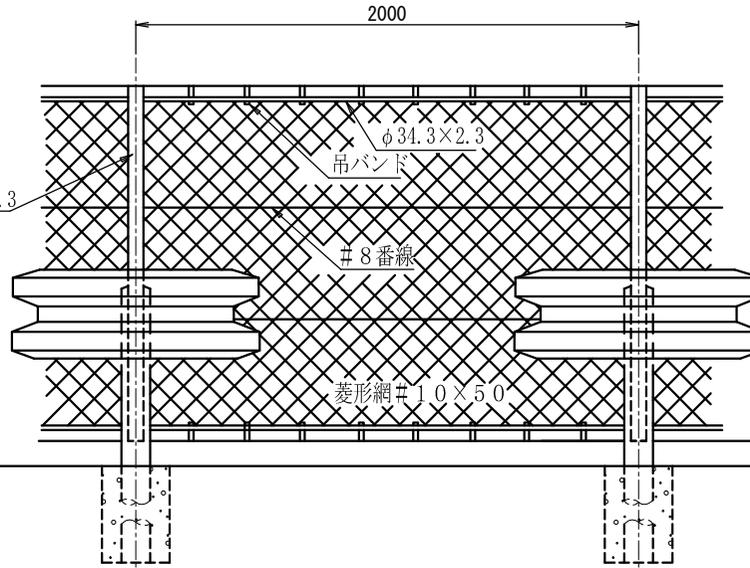
主柱詳細図



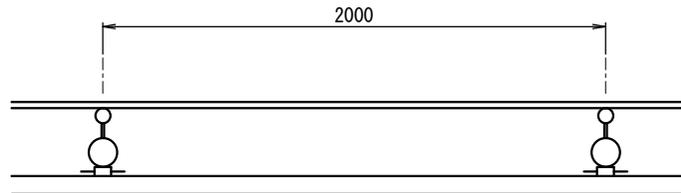
側面図



正面図



平面図



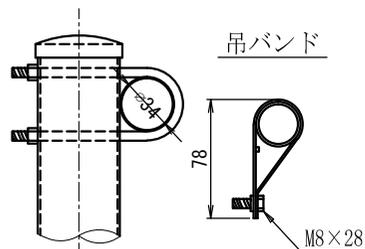
材 料 表

(100m当り)

品名	形状・寸法	単位	数量
主柱	φ60.5×2.3×1,400 JIS-G-3444STK-41 粉体塗装 (50ミクロン以上)	本	26.0
胴縁	φ34.0×2.3×4,000 JIS-G-3444STK-41 粉体塗装 (50ミクロン以上)	組	25.0
金網	#10×50 ビニール被覆 鉄線	m ²	70.0
番線	#8	m	200.0
Uボルト	3/8×115	組	52.0
吊バンド		"	400.0
フックボルト		個	52.0
主柱取付バンド		組	52.0

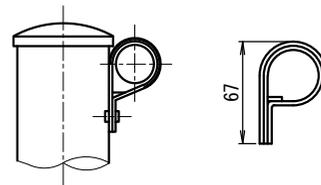
GF (PNタイプ) バンド式

胴縁取付詳細

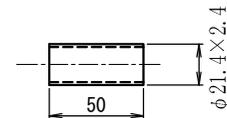


GF (PNタイプ) バンド式

主柱バンド取付図

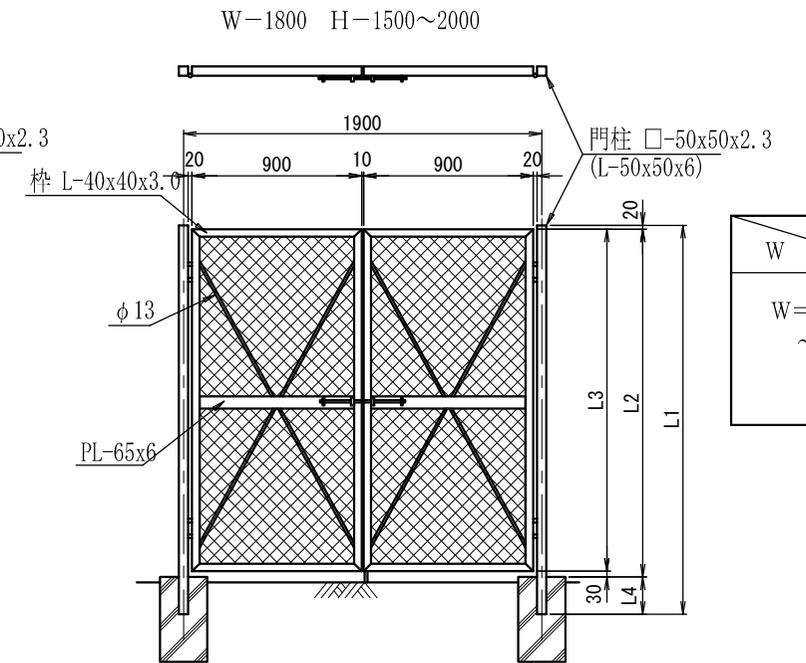
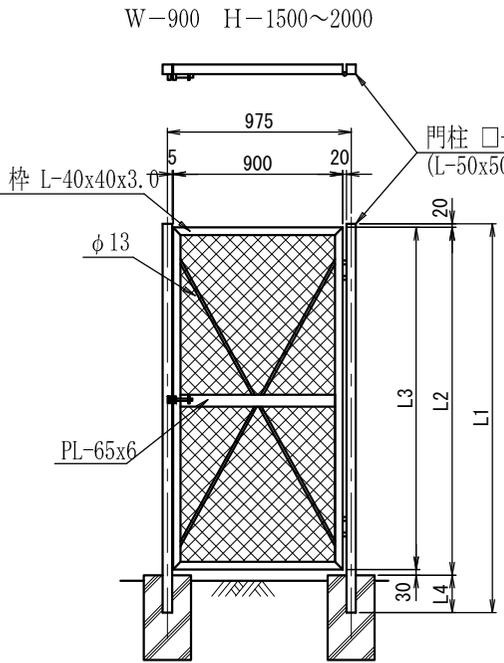
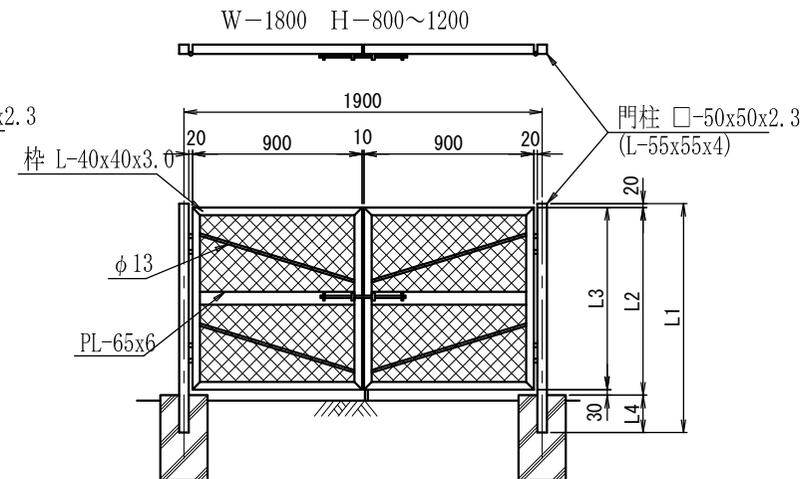
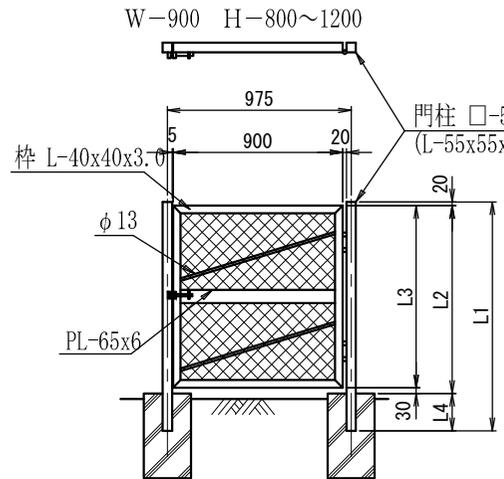


GF (PNタイプ) 貫通ボルト式



工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	転落防止柵	ネットフェンス 門扉		2019

転落防止柵ネットフェンス門扉
(参考図)



寸法表

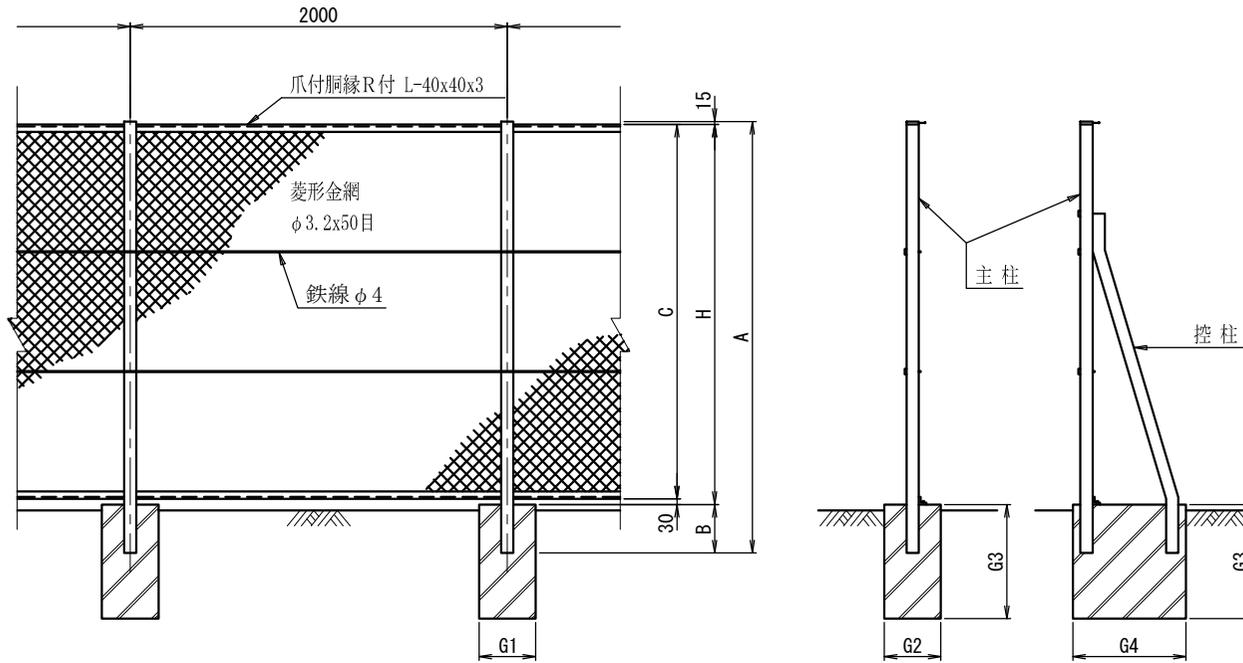
単位: mm

W \ H	H							
	800	900	1000	1200	1500	1800	2000	
W=900	L1	1020	1120	1220	1420	1770	2120	2320
	L2	800	900	1000	1200	1500	1800	2000
1800	L3	770	870	970	1170	1470	1770	1970
	L4	200	200	200	200	250	300	300

※門扉は開口式とする。

金網柵

工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	金網柵			2019

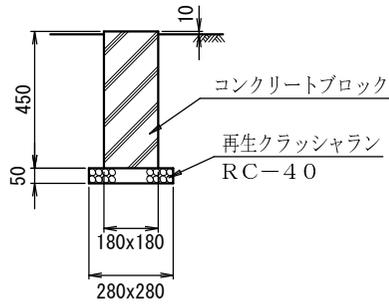


柵高	H	A	B	C	G1	G2	G3	G4	鉄線本数	摘要	
0.9m	900	1120	205	870	180	180	450	—	1		
1.2m	1200	1420	205	1170	180	180	450	—	1		
1.5m	1500	1770	255	1470	180	180	450	—	2		
1.8m	1800	2070	255	1770	200	200	450	—	2		
2.0m	2000	2270	255	1970	300	300	600	—	2		
2.5m	2500	2820	305	2470	300	300	700	—	3		
3.0m	控付き	3000	3370	355	2970	250	250	700	700	4	控柱隔本

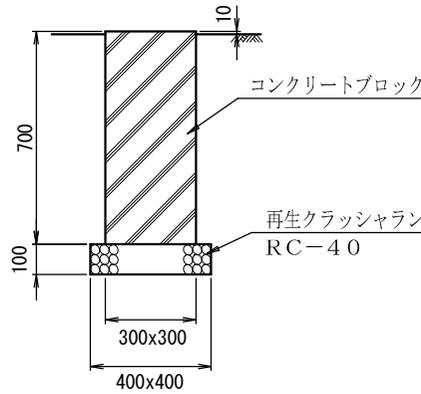
金網柵 (基礎, 金網)

工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	金網柵	基礎 金網	H	2019

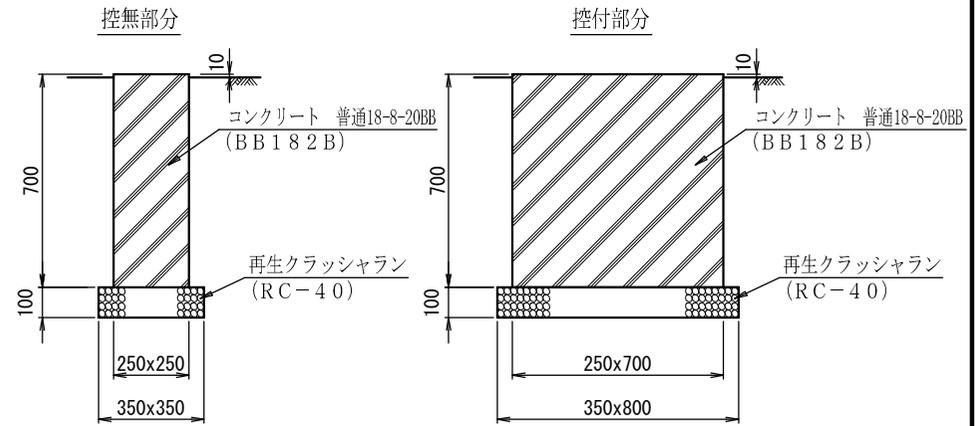
H=900~1500mm (控無)



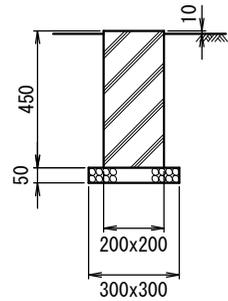
H=2500mm (控無)



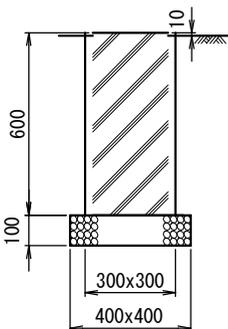
H=3000mm (控付)



H=1800mm (控無)



H=2000mm (控無)



- 1、控付金網柵は控を1主柱おきに設置すること。
- 2、Hは地上柵高とする。
- 3、コンクリートブロックのコンクリート強度は18N/mm²以上とする。
- 4、柱・胴縁その他上記以外の仕様については承認図を提出すること。

(資料)

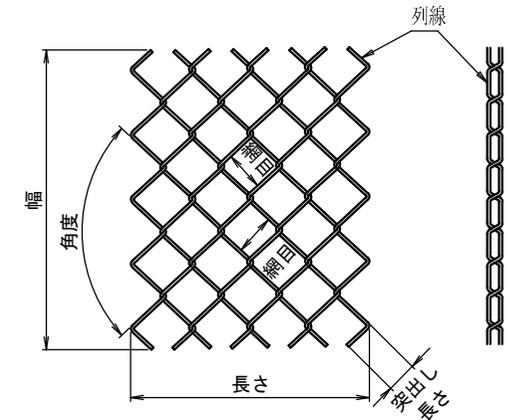
● 菱形金網

菱形金網は、JIS-G3552により次の通り定められております。

■ 線径と網目

		単位: mm			
線径 \ 網目	32	40	50	56	
5.0			○	○	
4.0	○	○	○	○	
3.2	○	○	○		
2.6	○				

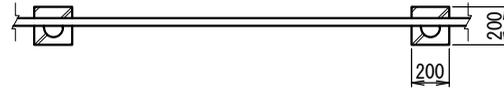
■ 菱形金網の名称



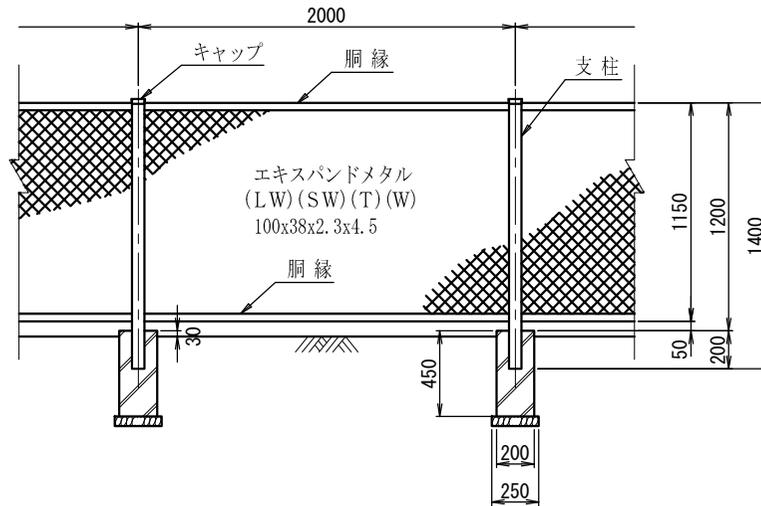
工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	エキスパンドフェンス			2019

エキスパンドフェンス
(参考図)

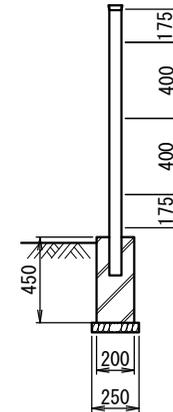
平面図



正面図



断面図

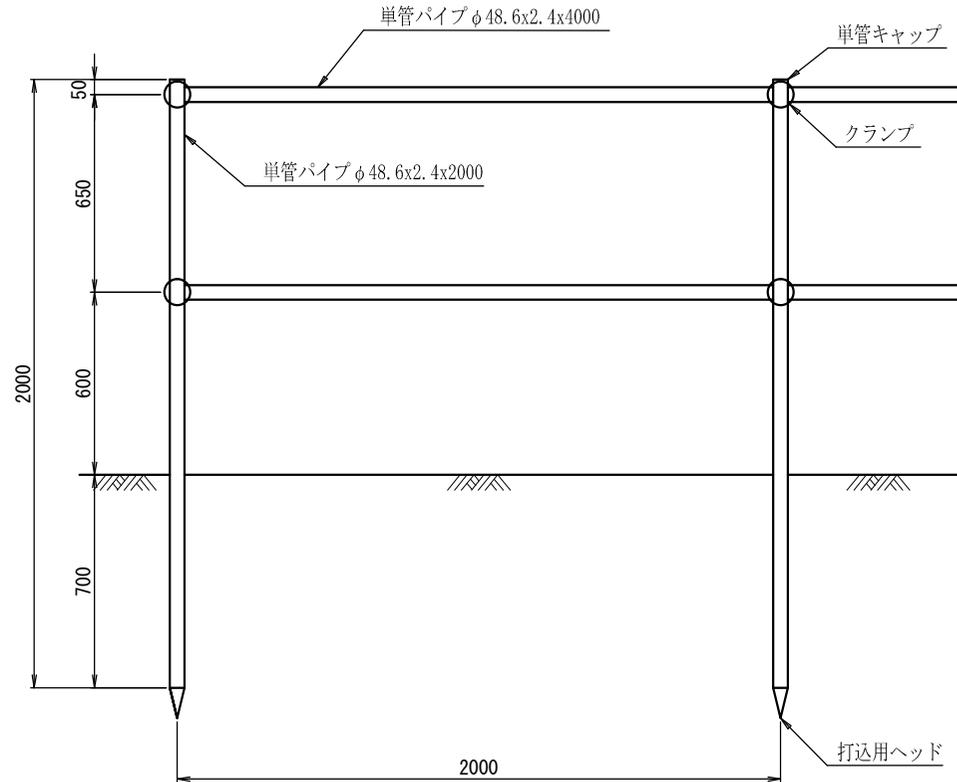


仕 様

	材質・規格	塗 装
支柱・胴縁	SS400	静電粉体 (ポリエステル)
エキスパンドメタル	SPHC	流動浸漬 (塩化ビニル)

用地管理柵

工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	用地管理柵			2019



材 料 表 (100m当り)

単管パイプ (φ48.6×2.4×2000)	51.0本
単管パイプ (φ48.6×2.4×4000)	50.0本
クランプ (自在)	102個
ジョイント	48個
クランプカバー	102個
単管キャップ	51個
打込用ヘッド	51個

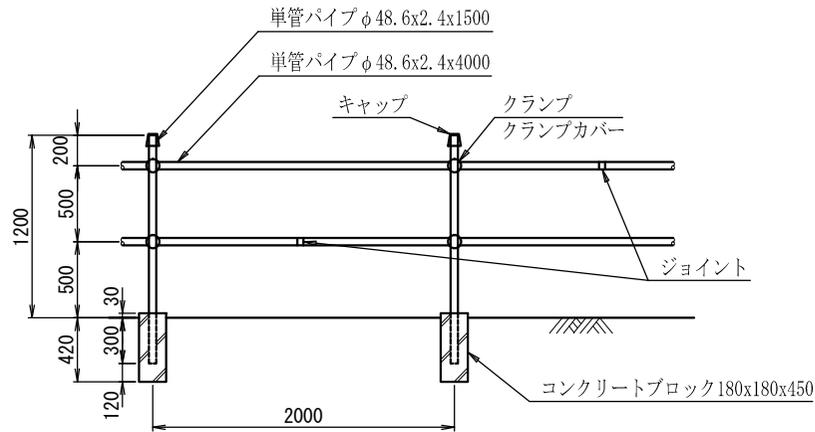
※端末部分には、単管キャップを設置すること。

工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	パイプ柵			2019

パイプ柵

パイプ柵

パイプ柵設置工（商店街等が必要がある場合に使用する）



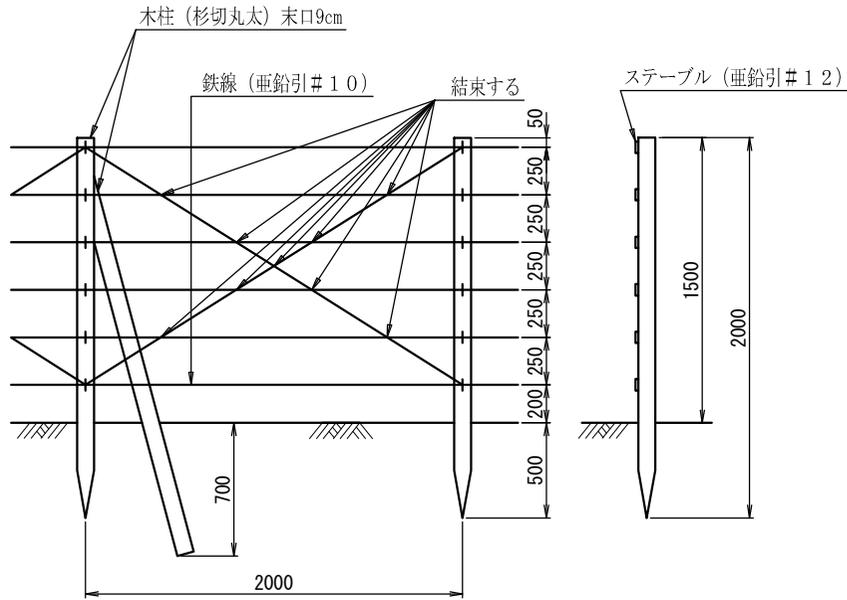
材 料 表

(10.0m当り)

品 名	形状・寸法	単位	数 量	摘 要
単管パイプ	$\phi 48.6 \times 2.4 \times 4000$	本	50.0	
〃	$\phi 48.6 \times 2.4 \times 1500$	〃	51.0	支柱用
ジョイント		個	48.0	
クランプ	自在	〃	102.0	
コンクリートブロック	$180 \times 180 \times 450$	〃	51.0	
モルタル	1 : 3	m^3	0.14	材工共0.0028 m^3 /本
クランプカバー		個	102.0	
キャップ		〃	51.0	

工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	鉄線柵			2019

鉄線柵



(注) 控抗は角及び中央20mにつき1本とする。

鉄線柵設置工 (一般的な場合に使用する)

材 料 表

(100m当り)

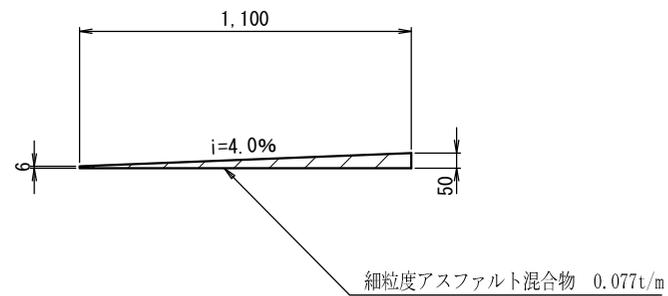
品名	形状・寸法	単位	数量	摘要
杉切丸太	末口9cm長2m	本	57.0	防腐剤加工
亜鉛鉄線	#10	kg	55.3	0.065kg/mx 8.5m/mx100m
雑材料		式	1	

- 備考 1. 支柱は、2mにつき1本、控抗は、20mにつき1本及び角ごとに1本とする。
 2. 雑材料には、かすがい、釘、ステーブル、結束鉄線を含む。
 3. 丸太材料の防腐処理は特記仕様書による。

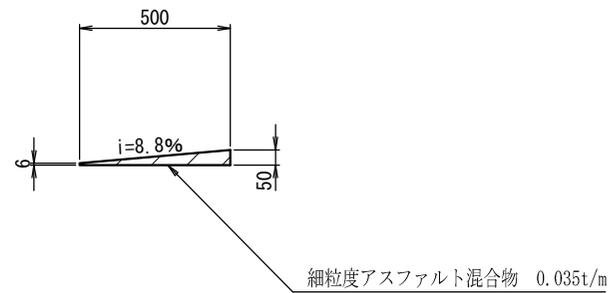
工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	段差すりつけ	タイプA タイプB		2019

段差すりつけ

タイプA (人孔部にも併用)

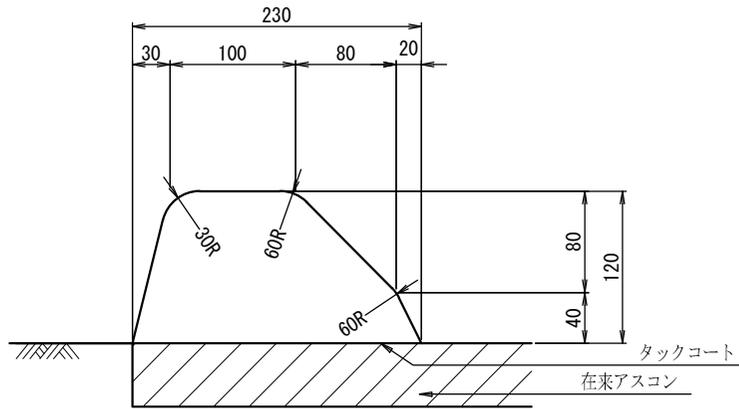


タイプB

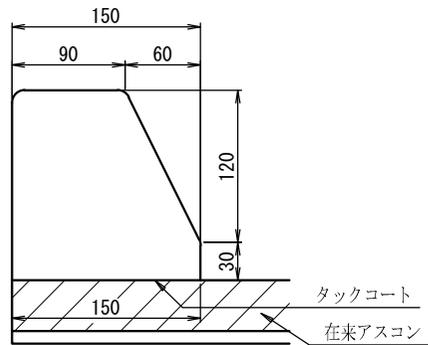


アスカーブ

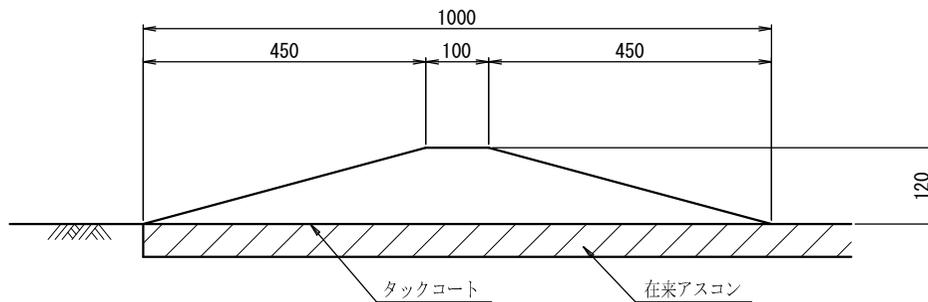
標準(A) S=1 : 5



標準(B)



乗入れ(C) S=1 : 10



工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	アスカーブ	A B C		2019

材 料 表

(A) (100m当り)

品名	形状寸法	単位	数量
細粒度 アスファルト混合物		t	5.55
アスファルト乳剤	PK 3~4	l	10.6

材 料 表

(B) (100m当り)

品名	形状寸法	単位	数量
細粒度 アスファルト混合物		t	4.73
アスファルト乳剤	PK 3~4	l	6.9

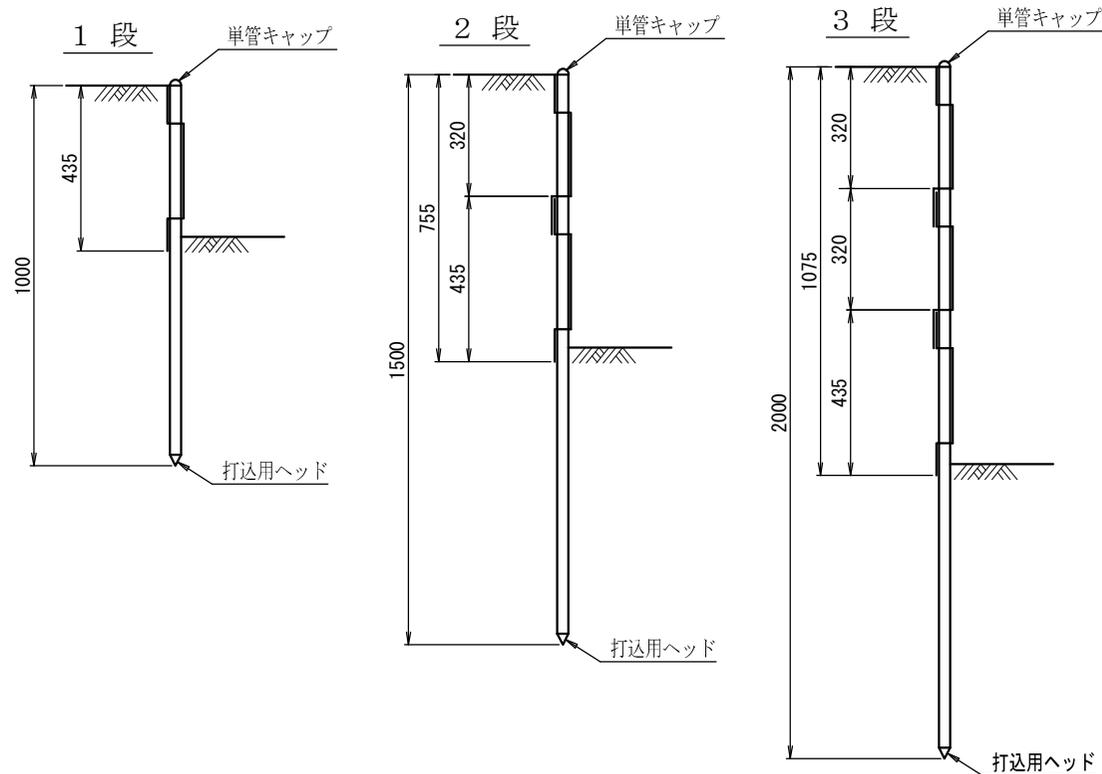
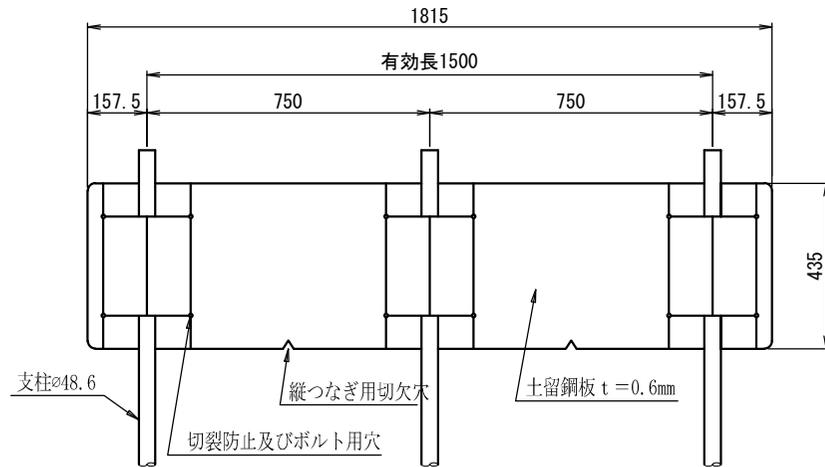
材 料 表

(C) (100m当り)

品名	形状寸法	単位	数量
細粒度 アスファルト混合物		t	16.50
アスファルト乳剤	PK 3~4	l	46.0

土留鋼板

工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	土留鋼板			2019



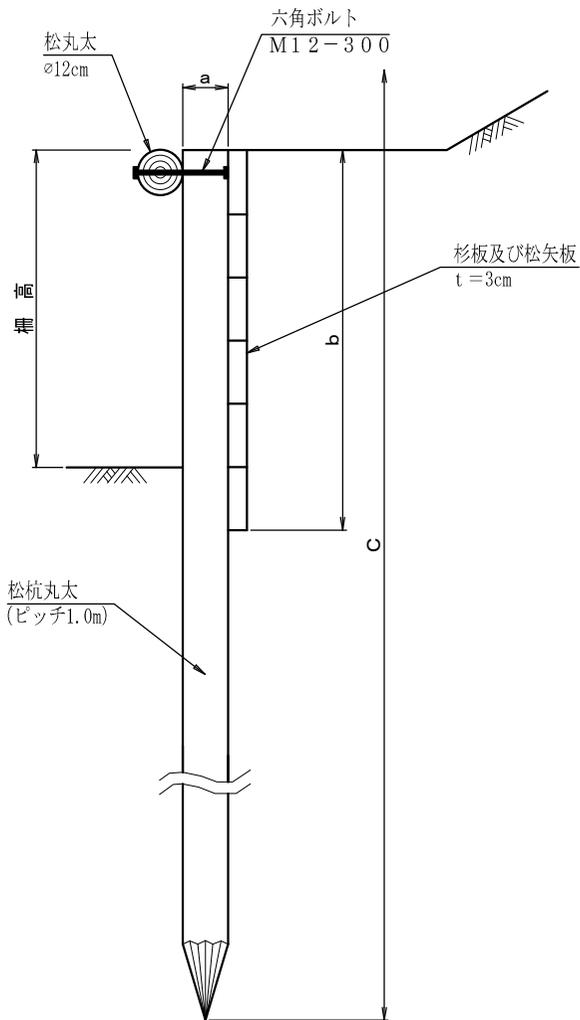
材料表

(100m当り)

段数	品名	単管パイプ φ48.6	土留鋼板 0.6×435× 1815	単管キャップ	打込用ヘッド
1段 (435mm)		135本	67枚	135個	135個
2段 (755mm)		135本	134枚	135個	135個
3段 (1075mm)		135本	201枚	135個	135個

工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	板柵		a b	2019

板柵



材 料 表

柵高	a	b	c
0.8m	末口12cm	1.0m	2.6m
1.0m	末口12cm	1.2m	3.3m
1.2m	末口15cm	1.4m	3.7m

材 料 表

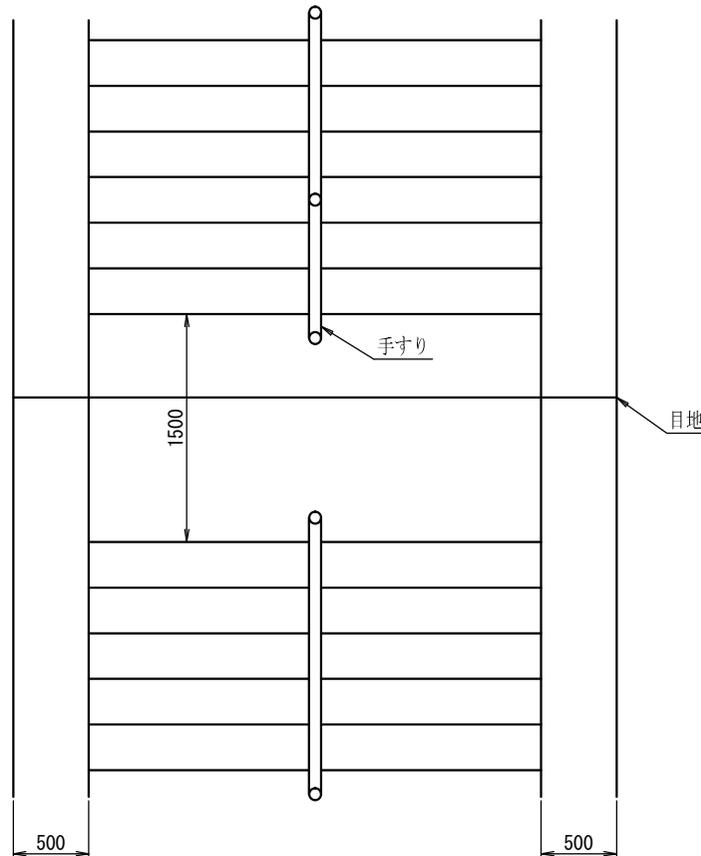
(100m当り)

柵高	松杭丸太 末口12cm	松杭丸太 末口15cm	松丸太 φ12cm	杉板 t=2.4cm	横矢板 t=3cm	六角ボルト M12-300	鉄釘 N-90
0.8m	2.97m	—	1.13m	3.00m 100m ²	—	101本	23.1kg
1.0m	3.77m	—	1.13m	3.60m 120m ²	—	101本	27.7kg
1.2m	—	6.60m	1.13m	—	4.20m 140m ²	101本	32.3kg

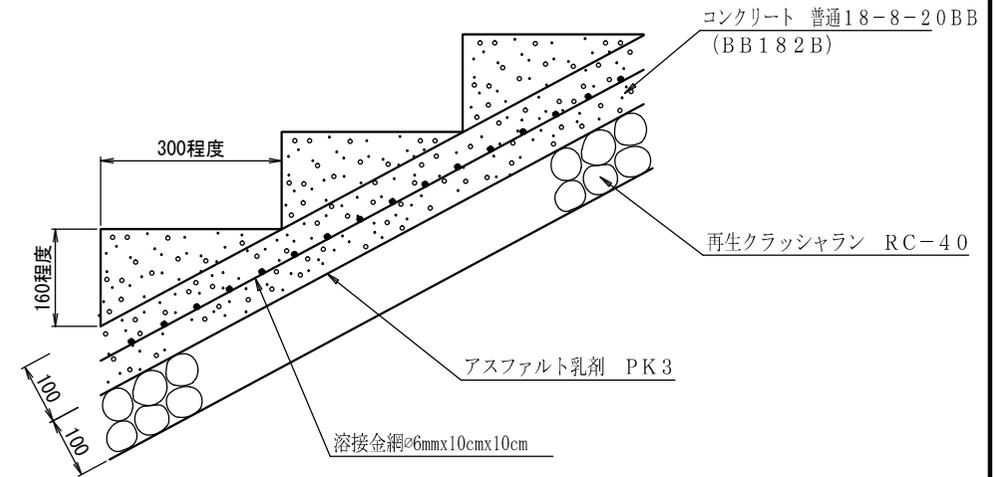
工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	階段工			2019

階段工 (参考図)

平面図



断面図

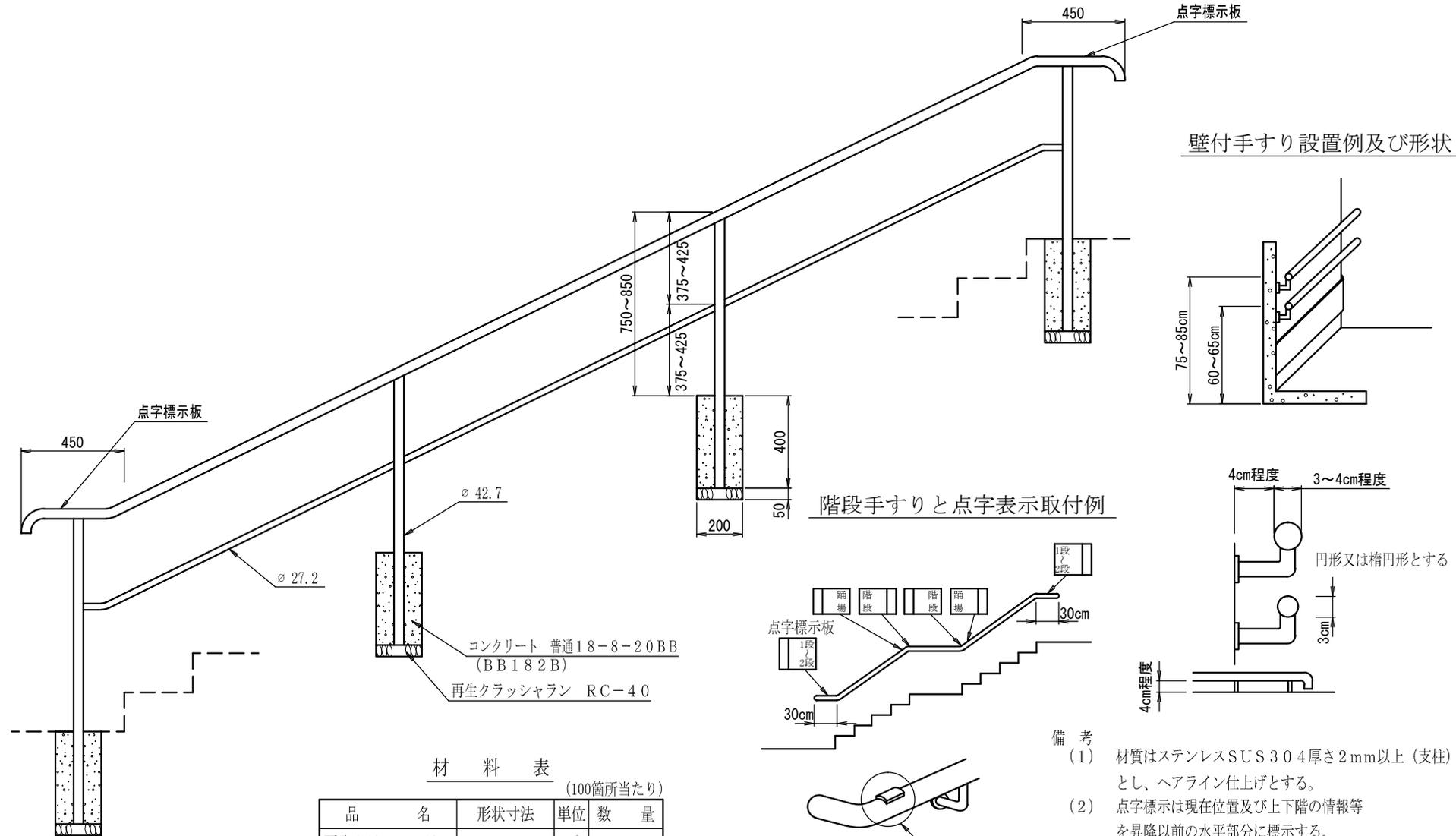


備考

- (1) 踏面は粗面とし、又は滑りにくい材料で仕上げること。
- (2) 階段起終点及び、踊り場には点字ブロックを設置すること。
- (3) 垂直高3.0m以内ごとに、1.5mの踊り場を設けること。
- (4) 両サイドに幅0.5mのスロープを設けること。
- (5) 階段中央にステンレス製の手すりを設けることを原則とする。
- (6) その他、町田市福祉のまちづくり総合推進条例によること。

工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	手すり工	1段		2019

手すり工 (ステンレス SUS304) 1段



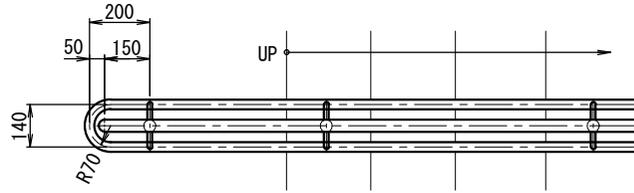
材 料 表

(100箇所当たり)

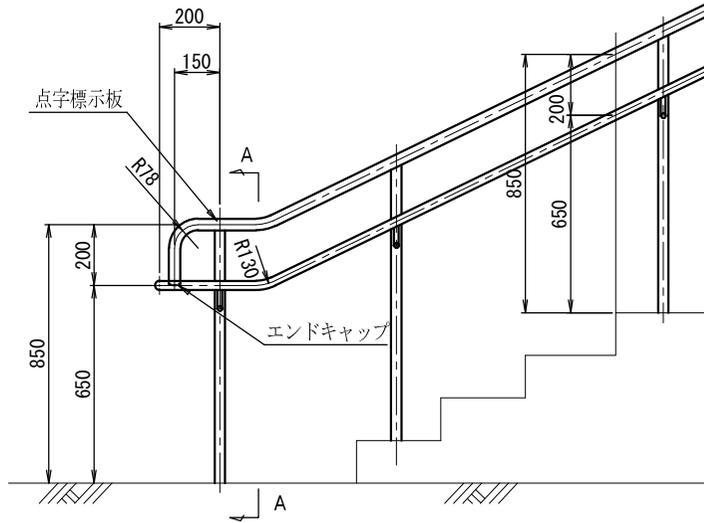
品 名	形状寸法	単 位	数 量
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	0.2
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	1.6
型 枠		m ²	32.0

手すり工 (ステンレス SUS304) 2段

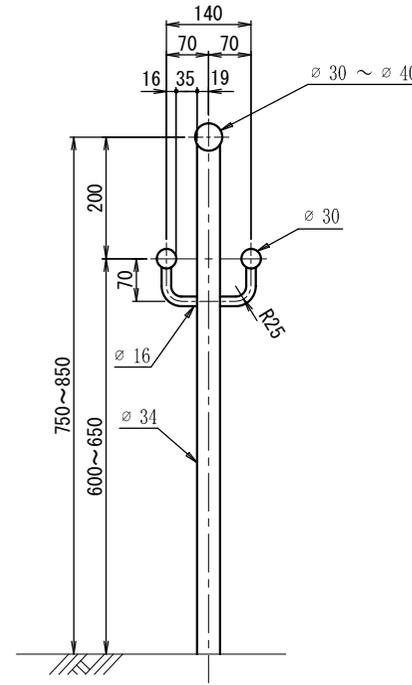
平面図



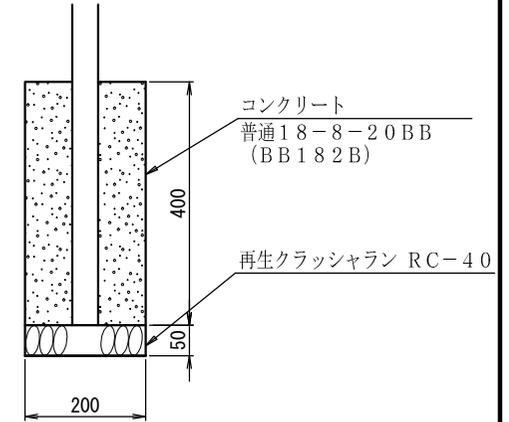
側面図



A-A断面



手摺基礎

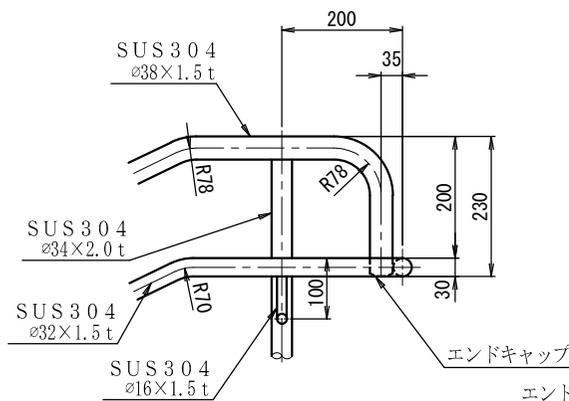


材料表

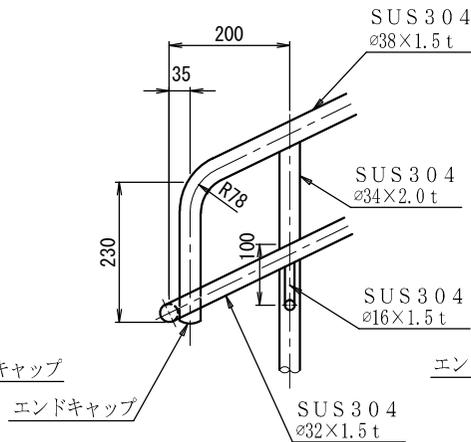
100箇所当たり

品名	形状寸法	単位	数量
コンクリート	普通18-8-20BB (BB182B)	m ³	1.6
再生クラッシュラン	RC-40	m ³	0.2
型枠		m ²	32

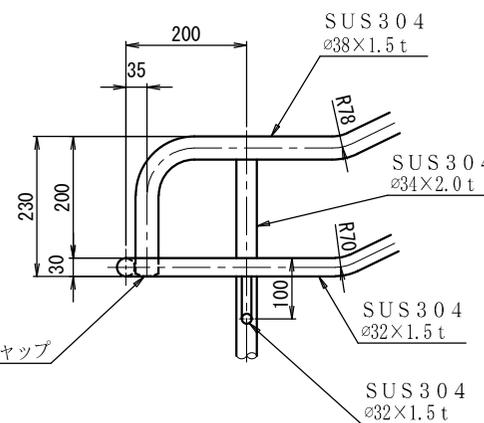
端部 (上) 詳細図



端部 (下) 詳細図



端部 (下2) 詳細図



備考

- (1) 材質はステンレスSUS304厚さ2mm以上(支柱)とし、ヘアライン仕上げとする。
- (2) 点字標示は現在位置及び上下階の情報を昇降以前の水平部分に標示する。
- (3) その他町田市福祉のまちづくり統合推進条例によること。

硬質塩化ビニール管基礎形状一覧表

工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	管きょ工			2019.10

管径 \ 土被り	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0
250	90° 砂基礎	180° 砂基礎	180° 砂基礎				
300	90° 砂基礎	90° 砂基礎	90° 砂基礎	90° 砂基礎	180° 砂基礎	180° 砂基礎	180° 砂基礎
350	90° 砂基礎	90° 砂基礎	90° 砂基礎	90° 砂基礎	180° 砂基礎	180° 砂基礎	360° 砂基礎
400	90° 砂基礎	90° 砂基礎	90° 砂基礎	90° 砂基礎	180° 砂基礎	180° 砂基礎	360° 砂基礎
450	90° 砂基礎	90° 砂基礎	90° 砂基礎	90° 砂基礎	180° 砂基礎	180° 砂基礎	360° 砂基礎
500	90° 砂基礎	90° 砂基礎	90° 砂基礎	90° 砂基礎	180° 砂基礎	180° 砂基礎	360° 砂基礎
600	90° 砂基礎	90° 砂基礎	90° 砂基礎	90° 砂基礎	180° 砂基礎	180° 砂基礎	360° 砂基礎

(注) 基礎形状は道路工事設計基準の基礎種別判定図を参照すること。

工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	管きよ工			2019.10

遠心力鉄筋コンクリート管基礎形状一覧表
(普通地盤)

普通地盤 粘性土														
土被り		1.5		2.0		2.5		3.0		3.5		4.0		
管径	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎
B 形 管	250	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	
	300	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	
	350	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	
	400	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	
	450	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	1種管	砂A形	1種管	砂B形	
	500	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	
	600	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	1種管	砂A形	1種管	砂B形	
	700	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	
	800	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	1種管	砂A形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	
	900	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	
	1000	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	
	1100	1種管	砂B形	2種管	砂A形	1種管	砂A形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	
	1200	1種管	砂B形	2種管	砂A形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	
1350	2種管	砂A形	2種管	砂A形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形		
N C 形 管	1500	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	—	—	
	1650	2種管	砂A形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	—	—	
	1800	2種管	砂A形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	—	—	
	2000	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	—	—	—	—	
普通地盤 砂、砂質土														
土被り		1.5		2.0		2.5		3.0		3.5		4.0		
管径	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎
B 形 管	250	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	—	—	—	—	
	300	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	—	—	—	—	
	350	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	—	—	—	—	
	400	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	—	—	—	—	
	450	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	—	—	—	—	
	500	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	2種管	Co180°	—	—	
	600	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	—	—	
	700	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	—	—	
	800	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	—	—	
	900	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	—	—	
	1000	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	—	—	
	1100	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	2種管	Co180°	—	—	
	1200	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	2種管	Co180°	—	—	
1350	2種管	砂A形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	2種管	Co180°	—	—		
N C 形 管	1500	2種管	砂A形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	3種管	砂B形	—	—	
	1650	2種管	砂A形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	3種管	砂B形	—	—	
	1800	2種管	砂A形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	3種管	砂B形	—	—	
	2000	2種管	砂A形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	2種管	砂B形	—	—	—	—	

(注) 基礎形状は道路工事設計基準の基礎種別判定図を参照すること。

工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	管きよ工			2019.10

遠心力鉄筋コンクリート管基礎形状一覧表
(軟弱地盤)

軟弱地盤 粘性土

管径		土被り													
		1.5		2.0		2.5		3.0		3.5		4.0			
		管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎		
B 形 管	250	1種管	梯子B形	1種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°	—	—	—	—		
	300	1種管	梯子B形	1種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°	—	—	—	—		
	350	1種管	梯子B形	1種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°	—	—	—	—		
	400	1種管	梯子B形	1種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	—	—	—	—		
	450	1種管	梯子B形	1種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°	—	—		
	500	1種管	梯子B形	1種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°	—	—		
	600	1種管	梯子B形	1種管	梯子B形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°		
	700	1種管	梯子B形	2種管	梯子A形	2種管	梯子A形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°
	800	1種管	梯子B形	2種管	梯子A形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°
	900	1種管	梯子B形	2種管	梯子A形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°
	1000	1種管	梯子B形	2種管	梯子A形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°
	1100	1種管	梯子B形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	—	—		
	1200	1種管	梯子B形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co120°	—	—		
1350	2種管	梯子A形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°	—	—			
N C 形 管	1500	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co120°	3種管	Co90°	—	—		
	1650	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co120°	3種管	Co90°	—	—		
	1800	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co120°	—	—	—	—		
	2000	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co120°	—	—	—	—		

軟弱地盤 砂質土

管径		土被り													
		1.5		2.0		2.5		3.0		3.5		4.0			
		管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎	管種	基礎		
B 形 管	250	1種管	梯子B形	1種管	梯子B形	2種管	梯子B形	—	—	—	—	—	—		
	300	1種管	梯子B形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	—	—	—	—	—	—		
	350	1種管	梯子B形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	—	—	—	—	—	—		
	400	1種管	梯子B形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°	—	—	—	—		
	450	1種管	梯子B形	1種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	—	—	—	—		
	500	1種管	梯子B形	1種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°	—	—		
	600	1種管	梯子B形	1種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	—	—		
	700	1種管	梯子B形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	—	—		
	800	1種管	梯子B形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	—	—		
	900	1種管	梯子B形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	—	—		
	1000	1種管	梯子B形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	—	—		
	1100	2種管	梯子A形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°	—	—		
	1200	2種管	梯子A形	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°	—	—		
1350	2種管	梯子A形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	梯子B形	2種管	Co180°	—	—			
N C 形 管	1500	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co120°	3種管	Co90°	—	—		
	1650	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co120°	3種管	Co90°	—	—		
	1800	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co120°	—	—	—	—		
	2000	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co90°	2種管	Co120°	—	—	—	—		

(注)基礎形状は道路工事設計基準の基礎種別判定図を参照すること。

工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	管きょ工			2019.10

遠心力鉄筋コンクリート管基礎形状一覧表
(硬質地盤)

硬質地盤

管径		土被り		1.5		2.0		2.5		3.0		3.5		4.0	
		管種	基礎												
B 形 管	250	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂A形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形
	300	1種管	砂B形	2種管	砂B形	1種管	砂A形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形
	350	1種管	砂B形	1種管	砂A形	1種管	砂B形								
	400	1種管	砂B形	1種管	砂A形	1種管	砂B形								
	450	1種管	砂B形	1種管	砂A形	1種管	砂B形								
	500	1種管	砂B形	1種管	砂A形	1種管	砂B形								
	600	1種管	砂B形	1種管	砂A形	1種管	砂B形								
	700	1種管	砂B形	2種管	砂A形										
	800	1種管	砂B形	2種管	砂A形										
	900	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂A形								
	1000	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂A形								
	1100	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂A形								
	1200	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂A形	2種管	砂B形
1350	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	
N C 形 管	1500	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂A形	—	—	—	—
	1650	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂A形	—	—	—	—
	1800	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	2種管	砂B形	—	—	—	—
	2000	1種管	砂B形	1種管	砂B形	1種管	砂B形	2種管	砂A形	—	—	—	—	—	—

(注)基礎形状は道路工事設計基準の基礎種別判定図を参照すること。

工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	管きょ工			2019

管きょ土工標準図

・土留め有りの場合

1) 標準掘削幅の算出は次式による。

① 砂基礎又は梯子胴木基礎の場合

$$B = b + 2 \times C \quad \dots \text{式1}$$

B : 掘削幅 (m)

b : 管布設及び管吊り下ろし作業幅 (m)

C : 矢板別加算幅 (m)

注) 掘削幅Bは、式3と式4とで求めた値を比較し大きい値とする。

② コンクリート基礎の場合

$$B = d + 2 \times C \quad \dots \text{式2}$$

B : 掘削幅 (m)

d : 管布設及び管吊り下ろし作業幅・コンクリート基礎築造に必要な作業幅 (m)

C : 矢板別加算幅 (m)

注) 掘削幅Bは、式3と式4と式5で求めた値を比較し大きい値とする。

掘削幅 (B) は、5cm単位とし、まるめ方は、直近上位とする。
ただし、mm以下は切り捨てるものとする。

2) 管吊り下ろし作業幅 (b) は次式による。

$$b = b1 + 2 \times b2 + 2 \times b3 \quad \dots \text{式3}$$

b1 : 管外径 (m) (B形管は、ソケット部の外径とする)

b2 : 余裕幅 (片側) 0.075m

b3 : 腹起し材幅 (m)

3) 管布設作業幅 (b) は次式による。

$$b = b1 + 2 \times b2 \quad \dots \text{式4}$$

b1 : 管外径 (m) (B形管は、ソケット部の外径とする)

b2 : 余裕幅 (片側) 0.300m

4) コンクリート基礎築造に必要な作業幅 (d) は次式による。

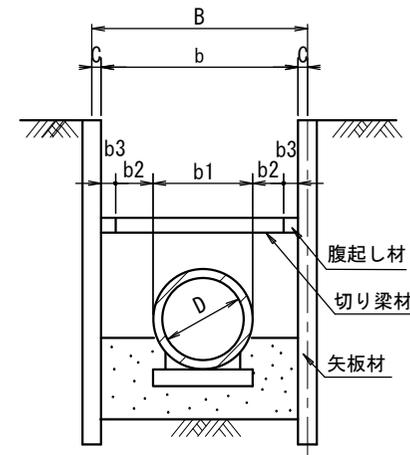
$$d = d1 + 2 \times d2 \quad \dots \text{式5}$$

d1 : コンクリート基礎幅 (m)

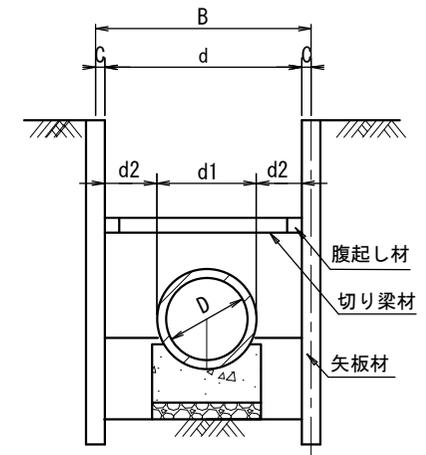
d2 : 基礎築造に必要な余裕幅 (片側)

余裕幅 (m)	
コンクリート基礎高 (H1)	余裕幅 (片側)
0.10 < H1 ≤ 0.20	0.30
0.20 < H1 ≤ 0.50	0.35
0.50 < H1 ≤ 0.80	0.40
0.80 < H1 ≤ 1.10	0.45
1.10 < H1	0.50

砂基礎又は梯子胴木基礎



コンクリート基礎



矢板別加算幅(片側分) (m)

矢板種別	加算幅 (C)
軽量鋼矢板	0.05
鋼矢板Ⅱ型	0.10
鋼矢板Ⅲ型	0.125
横矢板	0.05

(注) 道路工事設計基準の管きょの土工を参照すること。

工種	種別	形状	変数	作成年度
その他	管きょ工			2019.10

管きょ土工標準図
(参考図)

・土留め無しの場合

1) 標準掘削幅の算出は次式による。

① 遠心力鉄筋コンクリート管の場合

$$B = b + 2 \times 0.20 \dots \text{式1}$$

B : 掘削幅 (m)

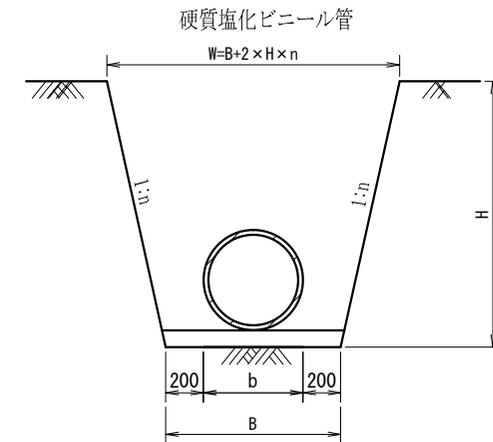
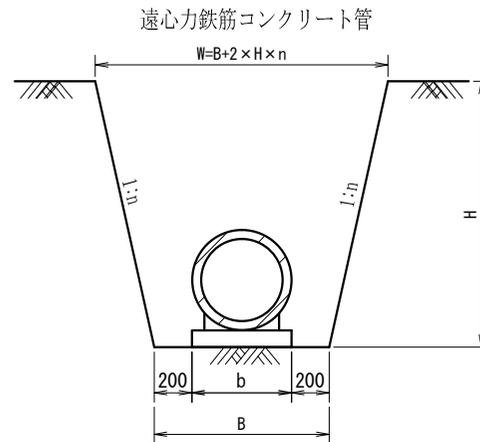
b : 基礎幅員 (m)

② 硬質塩化ビニール管の場合

$$B = b + 2 \times 0.20 \dots \text{式1}$$

B : 掘削幅 (m)

b : 管外形 (m)



※ H ≤ 2mとする。
労働安全衛生規則第356条～358条を参照すること。